

1999(平成11)年度

講 義 内 容

文 学 部

 駒澤大學

KUMAZAWA

# 講 義 内 容

## 目 次

1	専 門 教 育 科 目		
	(1) 国 文 学 科 .....	7	
	(2) 英 米 文 学 科 .....	63	
	(3) 地 理 学 科 .....	119	
	(4) 歴 史 学 科 .....	181	
	(5) 社会学科 (社会学専攻・コース) .....	255	
	(6) 社会学科 (社会福祉学専攻・コース) .....	287	
	(7) 心 理 学 科 .....	333	
	社会学科(心理学コース)		
2	他 学 部 履 修 科 目 .....	377	
3	随 意 科 目 .....	457	
4	日 本 語 ・ 日 本 事 情 科 目 .....	471	
5	教 職 ・ 資 格 講 座 .....	493	

専 門 教 育 科 目	国 文
	英 米 文
	地 理
	歴 史
	社会(社会学)
目	社会(社会福祉学)
	心理(社会心理学)
他学部履修科目	
随意科目	
日本語・日本事情科目	
教職資格講座	

## (注 意)

講義内容に掲載している配当学科（学年）の欄は、それぞれの学科名で表記していますが、社会学科・心理学科については次のとおりになっています。誤りのないように履修してください。

社会学科	社会学専攻	.....	社会
	社会学コース	.....	社会
	社会福祉学専攻	.....	福祉
	社会福祉コース	.....	福祉
	心理学コース	.....	心理
心理学科	.....	.....	心理

# 1 專門教育科目

## (1) 国 文 学 科





# 1 専門教育科目

## (1) 国文学科

基礎国語学	(土井光祐)	7
基礎国文学 I	(高橋文二)	7
基礎国文学 I	(松井健児)	8
基礎国文学 I	(田中徳定)	8
基礎国文学 II	(畑 實)	9
基礎国文学 II	(高田知波)	9
基礎国文学 II	(勝原晴希)	10
漢文学	(今浜通隆)	10
国語学概論	(木村 晟)	11
国文学概論	(村上光徳)	11
国文学史 I (古典)	(小野 寛)	12
国文学史 I (古典)	(富士昭雄)	12
国文学史 II (近現代)	(勝原晴希)	13
国文学史 II (近現代)	(島田昭男)	13
国語史	(大友信一)	14
国語学史	(休 講)	
国語学研究 I	(木村 晟)	14
国語学研究 II	(休 講)	
上代文学研究 I	(小野 寛)	15
上代文学研究 II	(金井清一)	15
中古文学研究 I	(高橋文二)	16
中古文学研究 II	(松井健児)	16
中世文学研究 I	(村上光徳)	17
中世文学研究 II	(田中徳定)	17
近世文学研究 I	(富士昭雄)	18
近世文学研究 II	(休 講)	
近代文学研究 I	(畑 實)	18
近代文学研究 II	(高田知波)	19
国語学特講 I	(大友信一)	19
国語学特講 II	(田中章夫)	20
国文学特講 I	(三浦廣子)	20
国文学特講 II	(中村 文)	21
国文学特講 III	(原岡文子)	21
国文学特講 IV	(多田圭子)	22
国文学特講 V	(神野志隆光)	22
国文学特講 VI	(小嶋菜温子)	23
国文学特講 VII	(植田恭代)	23
国文学特講 VIII	(延広真治)	24
国文学特講 IX	(中村三代司)	24
国文学特講 X	(井上理恵)	25
国文学特講 XI	(近藤裕子)	26
国語学演習 I	(木村 晟)	27
国文学演習 I	(小野 寛)	27
国文学演習 I	(勝原晴希)	28

国	文	学	演	習	I	(高	橋	文	二)	.....	28
国	文	学	演	習	I	(高	田	知	波)	.....	29
国	文	学	演	習	I	(田	中	德	定)	.....	29
国	文	学	演	習	I	(畑			實)	.....	30
国	文	学	演	習	I	(林		達	也)	.....	30
国	文	学	演	習	I	(富	士	昭	雄)	.....	31
国	文	学	演	習	I	(松	井	健	児)	.....	31
国	文	学	演	習	I	(村	上	光	德)	.....	32
国	語	学	演	習	II・III	(木	村		晟)	.....	32
国	文	学	演	習	II・III	(小	野		寛)	.....	33
国	文	学	演	習	II・III	(勝	原	晴	希)	.....	33
国	文	学	演	習	II・III	(神野志		幸	恵)	.....	34
国	文	学	演	習	II・III	(小	嶋	葉	温子)	.....	34
国	文	学	演	習	II・III	(近	藤	裕	子)	.....	35
国	文	学	演	習	II・III	(高	橋	文	二)	.....	35
国	文	学	演	習	II・III	(高	田	知	波)	.....	36
国	文	学	演	習	II・III	(田	中	德	定)	.....	36
国	文	学	演	習	II・III	(中	村		文)	.....	37
国	文	学	演	習	II・III	(中	村	三代	司)	.....	37
国	文	学	演	習	II・III	(畑			實)	.....	38
国	文	学	演	習	II・III	(林		達	也)	.....	38
国	文	学	演	習	II・III	(富	士	昭	雄)	.....	39
国	文	学	演	習	II・III	(松	井	健	児)	.....	39
国	文	学	演	習	II・III	(村	上	光	德)	.....	40
国	語	学	演	習	IV	(木	村		晟)	.....	40
国	文	学	演	習	IV	(小	野		寛)	.....	41
国	文	学	演	習	IV	(勝	原	晴	希)	.....	41
国	文	学	演	習	IV	(高	橋	文	二)	.....	42
国	文	学	演	習	IV	(高	田	知	波)	.....	42
国	文	学	演	習	IV	(田	中	德	定)	.....	43
国	文	学	演	習	IV	(畑			實)	.....	43
国	文	学	演	習	IV	(林		達	也)	.....	44
国	文	学	演	習	IV	(富	士	昭	雄)	.....	44
国	文	学	演	習	IV	(松	井	健	児)	.....	45
国	文	学	演	習	IV	(村	上	光	德)	.....	45
中	国	文	学	演	習	(南	雲		智)	.....	46
比	較	文	学		(満谷	マー	ガレ	ット)	.....	46	
児	童	文	学		(山	口	節	子)	.....	47	
有	職	故	実		(大	塚	英	子)	.....	48	
日	本	民	俗	学	(谷	口		貢)	.....	49	
民	間	信	仰	論	(谷	口		貢)	.....	50	
日	本	史	概	説	I	(松	本	信	道)	.....	50
日	本	史	概	説	II	(佐	藤	元	英)	.....	51
日	本	文	化	史	I	(廣	瀬	良	弘)	.....	51
日	本	文	化	史	II	(休		講	)	.....	51
日	仏	教	概	論	(平	井	俊	榮)	.....	52	
東	洋	思	想	史	(末	木	恭	彦)	.....	52	
西	洋	思	想	史	(麻	生		建)	.....	53	

美	術	史	概	說	(矢	野	陽	子)	.....	53
演	劇		概	論	(井	上	理	惠)	.....	54
書	道		概	論	(金	子	卓	義)	.....	54
書		道	習	史	(那	須	隆	吉)	.....	55
書	道	道	習	I	(金	子	卓	義)	.....	55
書	道	道	實	II	(野	村	宙	弘)	.....	56
編	道	道	實	III	(那	須	隆	吉)	.....	56
	集		實	務	(長	谷	川	孝)	.....	57





科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国語学	と い 井 こ う 祐 土 井 光 祐	国文1必	4

講義のねらい

国語学とは、日本語を科学的に分析し、言語としての特質を解明していく学問であって、明治時代以来の膨大な研究の蓄積がある。特に国語史の研究成果は、古典文学の研究において非常に重視される。最近では、コンピュータを利用して大量の言語データを解析し、新たな言語法則を見付け出す試みも盛んである。

本授業は、日本語を科学的に分析するための国語学の基本的知識を身に付けることを目的とするものである。テーマの中心は、日本語の文法であって、特に文法史に重点を置く。高校までのような丸暗記の対象としての文法ではなく、あくまで言語法則の合理的な説明としての文法論の認識を高めて貰いたい。

文法は、原則として「国語資料」の客観的な観察、分析に基づいて帰納していくことが基本となるので、文献資料（特に江戸時代以前）の取り扱い方、文献学の基礎についても併せ解説し、今後の国文学全般の研究の基盤となるよう配慮する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 国語学の領域。
2. 「文法」と「文法論」、「語論」と「統語論」。
3. 山田孝雄、橋本進吉、時枝誠記の文法学説と「学校文法」。
4. 統語論より見た日本語の「主語」について。
5. 口語史と文語史。
6. 文法史のための「国語資料」の概略。
7. 「語」の認定と「品詞」「語構成」。
8. 現行の古語辞典に見る品詞付けの諸問題。
9. 「活用」とは何か。
10. 活用形式の変遷（動詞、形容詞、形容動詞）。
11. 副詞、接続詞、連体詞の展開。
12. 代名詞の変遷と待遇表現。
13. 助動詞の「文法的意味」の問題。
14. 「格」とは何か。
15. 助詞の機能と分類、変遷。

履修上の留意点

授業中の解説だけに頼るのではなく、授業中に紹介する参考文献を各自図書館でコピーし、学習すること。試験では紹介した参考文献からも出題する。従って、図書館における資料検索のテクニックが絶対不可欠である。条件が整えば、インターネット上に公開されている国語学関係情報の利用方法も解説したい。

成績評価の方法

試験

教科書

小池清治『基礎古典文法』（朝倉書店）2,266円

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国文学 I	たか はし ぶん じ 高 橋 文 二	国文1必	4

講義のねらい

『今昔物語集』の「本朝世俗部」を読み、そこに描かれた貴族や庶民の生活の特質を探り、彼らの人生観や宗教観や自然観のありようを考えたい。

履修上の留意点

新潮日本古典集成本や岩波古典文学大系本（新・旧）の注釈などを参考にしながら、あらかじめ該当箇所を予習しておくこと。

成績評価の方法

出席の状況、夏期レポートの提出、期末テストの成績によって評価する。

教科書

角川文庫『今昔物語集 本朝世俗部』下巻

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 I	まつ い けん じ 児 松 井 健 児	国 文 1 必	4

講義のねらい

古典文学読解のための基礎的な知識と方法を学ぶ。古語による言語表現の持つ広がりや深さを実感する。成立や時代背景の違いによる表現の多様性を受容し、積極的な理解へといたる教養を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

韻文・散文における、代表的な古典文学作品の具体的な読解を示す。歴史的・表現史的な背景に触れ、あわせて研究への指針となるような術語についても解説する。

履修上の留意点

自主的と積極性。欠席の多い場合は評価の対象としない。

成績評価の方法

①筆記試験 ②レポート ③出席状況 ④その他を総合しておこなう。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 I	た なか のり さだ 田 中 徳 定	国 文 1 必	4

講義のねらい

古典文学作品を、本文に即しながら読解し、併せて古典文学研究の方法を学ぶことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

上代～近世の代表的な古典文学作品について、文学史の流れを考えながら読解する。その中で、文学作品と歴史・社会との関わりを考える。

履修上の留意点

専門科目の必修科目であるので、出席を基本とし、1/3以上欠席した場合には評価の対象としないことがあり得る。

成績評価の方法

授業時間内に行う小テストと前期末に課すレポート、および年度末試験。

教 科 書

増淵勝一他編『日本文学原典抄 第二版』(国研出版刊) 1,600円

参 考 書 等

授業中に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 II	はた 畑 <small>みる</small> 實	国 文 1 必	4

- 講義のねらい** 明治時代に出た文芸評論を読み、その頃の文章になれるとともに、日本の近代化発展に従って文学とはどうあるべきものなのか、社会に対してどんな役目をもっているものなのかなど、当時の人たちが模索し追究していったあとをたどっていき、評論の果たした役割を考えていきたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前後期とも明治初年から末年までの主要な評論の全部ないしは一部を読んでいく。それぞれの論の理解を助けるため筆者のこころ、当時の小説や社会との関係等についての解説を加えていく予定である。その結果日本近代文芸評論史的色彩を持つと思う。
- 成績評価の方法** 前期、後期に各一回テストを行い、出席状況を考慮しながら総合的に評価する。
- 教科書** 授業担当者が用意して配付する予定。
- 参考書等** 授業時に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 II	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国 文 1 必	4

- 講義のねらい** 近代の小説作品の読みを通じて、大学における国文学研究の基礎について学習する。
- 講義の内容・授業スケジュール** 1年間を3期に分け、第1期は夏目漱石の『坊っちゃん』、第2期は森鷗外の『舞姫』、第3期は太宰治『人間失格』をそれぞれ精読することによって、制度的な読みの定式を問い直す作業を臨牀的に試みる。
- 履修上の留意点** 小説の読みに、唯一絶対の《正解》というものには存在しない。作品解釈についての固定観念を根底から疑い、論拠に基づいた自分自身の《読み》を追求することが近代文学研究の基本なのだというこころを、この授業を通して理解してほしいと思う。
- 成績評価の方法** 原則として、年度末の筆記試験の結果によって評価を出す。欠席時数が多いと年度末試験の受験資格を失うことがある。
- 教科書** 夏目漱石『坊っちゃん』（新潮文庫）  
森 鷗外『阿部一族・舞姫』（新潮文庫）  
太宰 治『人間失格』（新潮文庫）
- 参考書等** 教場で指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 II	かつ ばら はる き 勝 原 晴 希	国 文 1 必	4

講義のねらい

近現代の文学研究へのオリエンテーションと、具体的な作品を使つてのアプローチの方法習得。

講義の内容・  
授業スケジュール

数回を費やして、近現代文学についての概略的な講義を行なった後、近現代の代表的な短篇小説・詩歌について作品の分析読解を進めて行く。

履修上の留意点

文学研究には基礎的な知識・技術の習得と主体的独創的な個別アプローチの両方が必要である。どちらか一方に偏らないよう、バランスを取りながら身につけて行って欲しい。

成績評価の方法

レポート・平常点およびテストによる。

教 科 書

プリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
漢 文 学	いま はま みち たか 今 浜 通 隆	国 文 1 必	4

講義のねらい

現存する中国最古の小説集と言われる『世説新語』について講義し、その文学性について言及し、漢文訓読の能力を養成する。

講義の内容・  
授業スケジュール

中国六朝時代の宋朝の劉義慶(403-444)の手になったとされる『世説新語』という文学作品について、その書誌・注釈書・日本文学への影響などについて、まずは概観する。また、その前段階で、同書が「小説」のジャンルに分類されていることから、中国および日本の古代の人々にとって、「小説」とはどのようなものと認識され、どのような価値観を持つものと意識されていたのかを論ずることとする。さらに、同上書はわが平安朝に早くから将来され、日本文学に大きな影響を与えたとされているが、その軌跡を具体的に見ていくことも本授業の重要な眼目としたい。以上の概説を終えてから、テキストを漢文訓読法によって実際に読み進めることになる。

履修上の留意点

教材は中国で出版された『世説新語校箋』をプリントして各自に配付する。各自はその原文に返り点や送りがな等を入れる作業を進めることになる。授業には漢和辞典を必ず持参のこと。予習も必要となる。

成績評価の方法

前・後期の定期試験の成績のほかに、レポートの提出、出席率を重視する。

教 科 書

随時プリントを配付。

参 考 書 等

授業中に必要に応じて指定。

そ の 他

授業への積極的な参加を要望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 概 論	木 村 晟 きむらあきら	国文1・2必	4

講義のねらい

国語学が特殊言語学の一つであって、一般言語学の学問研究の方法が国語学にも応用される面も多くあるが、日本語独自の特徴があるゆえに、国語学特有の研究法もあることを理解する必要がある。そのために音韻・文字・語法・語彙・文体の各分野に関して概説をするとともに、それらの研究方法についても講ずることとする。問題意識を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期（4月～9月）には国語学の総論と音韻論・文字論・語法論について、実際の研究論文なども紹介しながら、その研究方法を講義する。特に音韻研究には重点をおく。

後期（10月～1月）には語彙論・文体論と方言研究について、やはり実際の研究論文を紹介しながら、研究法を講ずる。特に文体研究に重点をおく。

履修上の留意点

授業中に必要な参考文献（書籍・雑誌論文など）を紹介するので、各自図書館でよく調べ自習しておくことが肝要である。授業にはよく出席をして、欠席しないように努めること。

成績評価の方法

期末試験によって評価する。

教 科 書

福島邦道著『国語学要論』（笠間書院）800円

参 考 書 等

橋本進吉著『国語学概論』（岩波書店）  
時枝誠記著『国語学原論』（岩波書店）  
山田忠雄著『国語学概論』（日大通信教育部）

そ の 他

その他各項目毎に授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 概 論	村 上 光 徳 むらかみみつのり	国文1・2必	4

講義のねらい

授業の方法 — 講義の方式を採るが、必要に応じて討議する場合もある。  
国文学とは何か。日本文学の研究はどうあるべきか。また研究方法は、等の問題を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

古代から近代にいたるまでの各時代の研究方法や文献学とか民俗学、歴史科学的な方法等について整理してみたい。

履修上の留意点

テキストなしの講義になるから欠席しないように。

成績評価の方法

定期試験、出席状況による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学史 I (古典)	おの野 ひろし 寛	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本文学の発生からその成長・変遷・展開・発展を、日本文学の独自のジャンルである和歌について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

和歌の文芸としての確かな出発といえる『古今和歌集』の前後から時代をたどってゆくが、今年度は先へ進みたい。

履修上の留意点

講義は毎時間、どんな話が出てくるかわからない。必ず出席して、ひたすらノートをとること。問題点は自ら積極的に調べる習慣を身につけてほしい。

成績評価の方法

数回のレポートと、学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教 科 書

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学史 I (古典)	ふじ 昭 雄	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

古典文学における文芸評論の系譜を講ずる。文芸評論は、詩歌論・物語（小説）論・演劇論に分けられる。また詩歌論は、詩論・歌論・連歌論・俳論に細分される。本年度は中世及び近世の評論の系譜を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

中世では、『毎月抄』『後鳥羽院御口伝』などの歌論、『無名草子』の物語論、『風姿花伝』『花鏡』の能楽論、『筑波問答』などの連歌論を取り扱う。近世では『去来抄』などの俳論、『源氏物語玉の小櫛』の物語論、『難波土産』問書などの演劇論を取り扱う。

履修上の留意点

学年末の定期試験で評価するが、出席状況も考慮に入れる。

成績評価の方法

プリントを配布する。

教 科 書

○久松潜一著『日本文学評論史』全5巻（至文堂）『久松潜一著作集』第3～6巻（至文堂）  
○市古貞次編『日本文学全史』第3巻（中世）・第4巻（近世）（学燈）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 史 II (近 現 代)	かつ はら はる き 勝 原 晴 希	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『新体詩抄』に始まる日本の近現代詩の流れを通観し、把握する。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストに従って代表的な詩作品を読んでいく。

成績評価の方法

前後二回の試験による。

教 科 書

適宜プリントを配布。

参 考 書 等

和田博文編『近現代詩を学ぶ人のために』（世界思想社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 史 II (近 現 代)	しま だ あき お 島 田 昭 男	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

現代日本文学の史的展開を個々の文学者の作品を通して具体的に把握し、理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1920年代以降の林芙美子・平林たい子・岡本かの子などを始めとする女性文学者を対象とする（問題によっては男性文学者も対象とする）。具体的には〈戦争〉〈都市〉〈植民地〉〈性〉などの視点から作品を検討し、文学史的意義、役割を考えていくことにする。文学史を読み替えていく一つの試みでもある。

履修上の留意点

課題を提示した時は必ず提出すること。

成績評価の方法

期末の試験による。  
場合により出席点を加味する。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

必要に応じ指定する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 史	おおともしんいち 大 友 信 一	国文・2・3・4選必	4

講義のねらい	日夜使用している母国語のルーツを辿る。
講義の内容・ 授業スケジュール	古代語の典型である平安時代語を中心に、講義する。
履修上の留意点	出席重視。私語厳禁。
成績評価の方法	筆記試験と平常点による。
教 科 書	佐藤喜代治編『国語史上』（おうふう）1,845円
参 考 書 等	授業中、その都度指摘する。
そ の 他	教科書にない重要事項・資料を、補助プリントとして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 研 究 I	きむらあきら 木 村 暁	国文2・3・4選必	4

講義のねらい	連歌用語の語彙的研究を行なう。
講義の内容・ 授業スケジュール	連歌の用語は和歌の用語と基本的には同一の語彙が多いが、その用法においては異にする面が多い。その連歌独特の用法について、語彙・語法の両面から追究する。
履修上の留意点	『節用集』や『日葡辞書』、それに『匠材集』や『無言抄』などの連歌辞書も参照する。
成績評価の方法	期末試験と出席状況により評価する。
教 科 書	プリントを用意する。
参 考 書 等	授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 代 文 学 研 究 I	おの の ひろし 小 野 寛	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

昨年は万葉集巻一をよみ進めて来たが、今年度はその続きを同じく巻一から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教 科 書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 代 文 学 研 究 II	かな い せい いち 金 井 清 一	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本神話、特に古事記上巻の神話の正確な理解をねらいとする。また、日本神話の理解を通して、神話とはいかなるものか、現代のわれわれにとっても神話が決して無縁の存在ではないことを知ってもらおうと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

古事記上巻を、日本書紀の神代記と対象比較しながら、その同質性よりも、むしろ異質性に重点を置いて問題点を解説、従来の解釈を説明した上で、私の解釈を講義する。最初に古事記編纂の理念を考察し、日本書紀編纂の理念との相違を十分に認識してもらう。ついで古事記本文の訓読を、編纂理念に即して行ないながら、他方で当該神話が古事記に政治的に組み込まれる以前の姿すなわち原形を追求し、日本の文化の根源、あるいは人類普遍の物の考え方などを考える。こうして一年間の講義で古事記上巻の全体を取り扱いたく思っているが、毎年度、講義の進行は大幅に遅れるので、今年度は取捨選択を行い、重点的に講義する予定。

履修上の留意点

講義時に希望に応じて質問用紙を配布するから、講義内容に関連した質問や意見を随時提出してもらいたい。質問が受講生全員に回答するのが適当と判断される場合は、次週講義の冒頭に口頭で回答する。その他の場合は回答を質問に添付して返却する。真面目で内容のある質問は成績評価に加味する。要するに授業への積極的な取り組みが望ましい。

成績評価の方法

定期試験あるいはレポートかは未定。また毎時出席をとり、前述の質問と問い合わせて評価に加える。

教 科 書

神田典城編『対照神代記紀』（笠間書院刊）1,300円 定価は2、3年前のもの

参 考 書 等

参考書、主要研究文献は教室で指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中古文学研究Ⅰ	たか はし ぶん じ 高 橋 文 二	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

平安朝の女流文学作品の中に表れた人間観、宗教観、自然観の意味するところを問い尋ね、その文学世界の特徴を考える。

履修上の留意点

講義の該当箇所を予習し、そこに出てきている作品の原文を確認しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席の状況、夏休みの課題レポートの提出、期末テストの成績で評価する。

教 科 書

未定（4月出版予定のものを使用予定）

参 考 書 等

講義時間内に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中古文学研究Ⅱ	まつ い けん じ 松 井 健 児	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

王朝初期物語のなかから『伊勢物語』を読む。『伊勢物語』は「歌物語」という、日本文学史においても特異な形態を有している。したがって、一般的な古代物語としての方法を考察すると同時に、日常生活状況における歌の詠出方法の考察が必要となる。また主人公のモデルとされる在原業平をめぐる人間関係や歴史的な社会構造の理解も必須の要件となる。この講座ではこれらをふまえつつ、歌と物語との交互関係、および、かれら王朝の男女が歌に託したコミュニケーション機能の問題を中心に探っていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

本文講読の形式をとる。短章段形式の作品であるが、いくつかの有機的なまとまりを持つ章段群を設定し、物語全体を統一的な視点のもとに読み進める。

履修上の留意点

自主性と積極性。

成績評価の方法

①の論述を中心とした筆記試験 ②出席状況 ③その他を総合しておこなう。

教 科 書

新渡辺実・校注、潮日本古典集成『伊勢物語』（新潮社）

参 考 書 等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 世 文 学 研 究 I	むら 村 かみ 上 みつ 光 のり 徳	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

中世隠者文学について講ずる。隠者とは何か。中世の隠者文学の特色などを考え、西行・長明、兼好、正徹、心敬などの遁世の動機や生き方、物の考え方、さらにそれぞれの作品を読み、自然観、無常観、美意識などを考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義が中心、そのときどきに応じて講読する作品を配布し、西行から一人一人について考えて行く。

成績評価の方法

①筆記試験、②出席状況。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 世 文 学 研 究 II	た 田 なか 中 のり 徳 さだ 定	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

保元・平治の乱、源平の合戦に始まり、中世は戦乱の世であった。その中において、平安朝文学とはまったく異質の、軍記文学・説話文学・劇文学等が花開いていった。それら中世独自の文学について、中世という時代を考えながら考察していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

中世文学の諸分野（和歌・連歌、日記、随筆、評論、軍記、説話、能、狂言、室町時代物語）における代表的作品を読みながら中世という時代を考える。

成績評価の方法

レポートによる（課題は授業中に指示する）。

教 科 書

岩佐美代子他編『新選中世の文学』（和泉書院）1,500円

参 考 書 等

授業中に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 世 文 学 研 究 I	ふ じ あき お 雄 富 士 昭 雄	国 文 2・3・4 選 必	4

講義のねらい	芭蕉の俳諧紀行の講読を通して、芭蕉の俳諧文学の特質を考察する。
講義の内容・ 授業スケジュール	『野ざらし紀行』『笈の小文』などを精読して、『おくのほそ道』へ至るまでの俳諧紀行文の成立と展開の諸相について理解を深める。
成績評価の方法	学年末の定期試験で評価するが、出席状況も考慮に入れる。
教 科 書	プリントを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 代 文 学 研 究 I	はた みのる 畑 實	国 文 2・3・4 選 必	4

講義のねらい	明治の末に文壇の中心的存在であった自然主義文学をとりあげる。その当時に出た小説、評論類を考察して日本の自然主義文学の特色をあきらかにすると共に、文壇の主流を占めた理由、およびその限界等を考えていくことを目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	前後期とも講義を中心とするが、必要に応じてプリントを配付し小説や評論の一部を読むことにより理解を深めたいと考えている。
成績評価の方法	学年末に試験を行い出席状況等を考慮しながら総合的に評価する。
教 科 書	使用しない。
参 考 書 等	授業時に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 代 文 学 研 究 II	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国文2・3・4選必	4

講義のねらい	明治20年代の小説を読む
講義の内容・ 授業スケジュール	明治の第一期言文一致運動期を代表する二葉亭四迷『浮雲』と、雅俗折衷文体を代表する樋口一葉『たけくらべ』を読む。
成績評価の方法	原則として年度末の筆記試験の結果にもとづいて評価を出す。欠席時数が多いと年度末試験の受験資格を失うことがある。
教 科 書	二葉亭四迷『浮雲』（岩波文庫）、樋口一葉『にごりえ・たけくらべ』（新潮文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 特 講 I	おお とも しん いち 大 友 信 一	国文2・3・4選必	4

講義のねらい	古典語を、新しい言語理論によって考察する。従来の語形中心のあり方から、文法範疇中心のあり方に移向する方法を学ぶ。
講義の内容・ 授業スケジュール	従来の見地からすれば、通釈付き、品詞分解付き、文法解説付きの至れり尽せりの教科書であるから、それを踏み台として、特に助動詞の承接関係に着目しながら、古典語のヴォイス・アスペクト・テンス・モダリティなどを考える。
履修上の留意点	講義への積極的参加の重視。私語厳禁。
成績評価の方法	レポートと平常点による。
教 科 書	橋純一・慶野正次共著『詳説徒然草の語釈と文法』（武蔵野書院）948円
参 考 書 等	授業中、その都度指摘する。
そ の 他	ゼミ形式を中心に、講義を交じる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 特 講 II	た なか あき お 田 中 章 夫	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

現代日本語が形成されてきた過程を、資料に基づいて考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、主として、中世から幕末期までに焦点をあてる。京都のことばを中心として展開されてきた日本語が、江戸の発展とともに上方語と江戸語の二つの極をもつにいたった様子を観察する。

後期は、明治期以降、東京の山の手ことばをベースとして、現代の標準日本語が形成されてきた様相を観察し、その過程で生じた諸問題を考察する。

成績評価の方法

評価は、前後期、各一回、課題についてのレポート提出をもって行う。

参 考 書 等

田中章夫『東京語－その成立と発展』（明治書院）。同『標準語』（誠文堂新光社）などがある。いずれも現在、入手困難なので、講義はプリントによって行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 I	み うら ひろ こ 三 浦 廣 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

「世界」と「趣向」ということばがある。これは歌舞伎の作劇法を語るときによく使われることばである。「世界」とは狂言の背景・枠組であり、「趣向」は狂言を新しくみせるための大事の眼目であった。この歌舞伎における趣向について考えてみたい。扱う作品は「謎帯一寸徳兵衛」と「桜姫東文章」という鶴屋南北の二作品である。「謎帯一寸徳兵衛」は「夏祭浪花鑑」の書替えであり、「桜姫東文章」はいくつかの「世界」を取り合せた絢交ぜの狂言である。いずれも趣向の働きが十分に発揮された作といえる。特に当時の社会相との関わりにおいて両作がどのような新しい趣向をみせているかを考えて行く。

成績評価の方法

レポートによって行なう。出席の状態も加味する。レポートは前期後期の2回の予定。

教 科 書

テキストは未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 Ⅱ	なかむらあや 中 村 文	国文2・3・4選必	4

**講義のねらい** 鎌倉時代前期に成立した日記的家集『建礼門院右京大夫集』を講読する。作者は平清盛の娘徳子（高倉天皇中宮）に女房として仕えた人物で、作品の前半には平家の公達を初めとする貴公子達との交流が描かれる。宮廷を背景として交わされる贈答歌の読解方法に親しみ、そのネガティブなコミュニケーションの形に理解を深めるとともに、平安時代末期に展開された王朝の残映とも言ふべき優雅な文化の性格について考察したい。また、右京大夫は恋人であった平資盛を源平の争乱で失い、後半部分が悲嘆の言葉で埋め尽くされてもいるため、この作品は〔愛と追憶の文学〕と呼ばれもするが、和歌の配列や用語等には明らかな虚構が見て取れる。作品全体の構成に留意しながら、右京大夫の執筆意図を探っていきたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 講義形式で行う。必要な参考資料をプリントで配付して、時代背景や登場人物についての理解を深めながら読み進めていく。和歌読解に必要な知識や、古典文学研究のための基礎的な調査方法を身につけることを目指したい。

**成績評価の方法** 前期末には記述形式の試験を行い、学年末にはレポートを課して、その評価と授業時の態度を勘案して判定する。

**教 科 書** 糸賀きみ江校注、新潮日本古典集成『建礼門院右京大夫集』（新潮社）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 徳 講 Ⅲ	はらおかふみこ 原 岡 文 子	国文2・3・4選必	4

**講義のねらい** 『源氏物語』第一部の帯木系と呼ばれる物語の世界の構造をめぐって、夕顔の巻を中心に考えたい。夕顔の巻には、女房の人物造型と自ら歌を詠みかける行為との矛盾、もののけの正体の問題など、様々な謎が仕掛けられている。古注をはじめとする分厚い研究史を踏まえ、受講生と共にその謎に挑みながら、帯木系列の物語世界の論理、その意味について検討する。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 『源氏物語』の三部構成説について検討する。
- 研究史、享受史の概観。また『源氏物語』本文について。
- 帯木系列の物語について。帯木冒頭と夕顔末尾の草子の呼応の検討。
- 夕顔の巻の諸問題を検討する。
  - △夕顔からの贈歌の問題。
  - △三輪山説話などの話型について。
  - △夕顔と衣裳。
  - △准掬について考える。
  - △もののけの正体について。
  - △夕顔の巻の位置とその意味。

**履修上の留意点** 『源氏物語』全体を、口語訳でなりとも通読することを望みたい。

**成績評価の方法** 前後期末に各々試験を行う。

**教 科 書** 玉上琢弥訳注『源氏物語』第一巻（角川文庫）

**参 考 書 等** 適宜教室で指示する。

**そ の 他** 講義形式で行うが、適宜討論を交え考えたい。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 IV	た だ けい こ 多 田 圭 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

中世の歴史叙述の方法と特質を考える。  
 古典的貴族政権から武家政権への移行期にあたる平安末期から中世にかけては、歴史的転換期特有の混乱の中で、その変革に対処する術を探り、また揺れ動く自己の存在意義を再確認しようとする人々によって、多様な歴史叙述が試みられた。その営為は前代までの「史書」「歴史物語」といった枠組みを超えて、史論の成立、軍記物語の展開、寺社縁起や聖者伝の生成・再編等の問題とも密接に関わっている。そこでこうした中世の新たな歴史叙述をとりあげて、その方法と特質について考えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：中世の歴史叙述の規範あるいは母胎となった古代の歴史叙述から、中世期の諸作品(史論・軍記物語等を含む)までを通時的に概観し、歴史叙述の流れを確認する。  
 後期：歴史物語・軍記物語を中心として、その構想や表現と密接な関係を持つ中世の歴史認識の諸相を理解し、更にその叙述方法と特質を検討する。

成績評価の方法

前期：筆記試験  
 後期：レポート提出(2回程度)

教科書・参考書等

教科書は特に定めず、必要に応じて参考書・参考文献を紹介する。

その他

講義形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 V	こう の し たか みつ 神 野 志 隆 光	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

古事記の表現について考える。古事記は、訓主体の漢字文(非漢文)として成り立っている。訓読の回路を基盤として成り立つものとして、その表現について見たい。伝承とは別なレベルの問題としてとらえねばならぬことが明確にされよう。古事記の本質であり、文学史の基本問題というべきところにせまることとなる。

講義の内容・授業スケジュール

文字の現実から古事記をとらえる立場をはっきりさせながら、古事記の表現について具体的に考察する。章だてのかたちでいえば、Ⅰ非漢文の成立と古事記、Ⅱ非漢文としての古事記——訓の方法化、Ⅲ会話の方法、Ⅳ歌の方法、となる。Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの章では古事記の物語を読むことをひとつの目的とする。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

出席と、授業中に実施する小テストによる。

教科書

『古事記』(岩波文庫)『日本書記』(岩波文庫)もできれば用意されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 VI	こ 嶋 菜 温 子 こ じま な お こ	国 文 2・3・4 選 必	4

講義のねらい

平安文学を理解することによって、日本文化の多面的な基層へとせまる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、『古事記』『竹取物語』を中心に日本文学史の読み直しをはかる。  
後期は、『源氏物語』など、王朝の女流文学の位相をただすことによって、日本文化史を再構築する。

教 科 書

小嶋『かぐや姫幻想』（森話社）2,678円など

参 考 書 等

追って指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 VII	う え た や す よ 植 田 恭 代	国 文 2・3・4 選 必	4

講義のねらい

『源氏物語』「若菜上・下」巻をとりあげ、その諸問題を検討し、物語第二部の世界を考えるとともに物語というジャンルについても理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

『源氏物語』の全体像を把握したうえで、前期は「若菜上」巻を、後期は「若菜下」巻を中心にいくつかの主要な場面をとりあげて検討していく。物語の重要な部分と位置づけられ、ドラマティックな事件の展開するこの巻には、さまざまな人や物、行事などが描かれている。本文をたどり、そこから見出される問題点を研究史にふれつつ考え、同時に周辺の物語作品や背景をも視野に入れることによって、こうした作品が生み出されるに至った事情を探ってみる。随時受講者にも意見を聞いたり書いてもらったりする機会を設けながら、進めてゆきたい。

履修上の留意点

『源氏物語』のストーリーを把握するようこころがけてほしい。

成績評価の方法

学年末に記述式の試験を行う。その結果と出席状況をあわせて評価する。

教 科 書

新潮日本古典集成『源氏物語五』（新潮社）

参 考 書 等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 Ⅷ	のぶ ひろ しん じ 延 広 真 治	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

絵の読み方を考えたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

山東京伝作『奇妙図彙』を取り上げ、順次読んで行く。

教 科 書

テキストはコピーで配布する。

参 考 書 等

山東京伝の諸作、注釈書を極力よむこと。授業中で触れる。

そ の 他

絵画資料を使うので、OHP等の設備のある部屋で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 Ⅸ	なか むら み よ し 中 村 三 代 司	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

昭和前半期を代表する太宰治・坂口安吾の初期作品を精読しながら、時代状況との関わりなどを踏まえながら、それぞれの作品のモチーフやテーマについて考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、太宰の第一創作選『晩年』の収録作品「思い出」「道化の華」、或いはまた「ダス・ゲマイネ」などを中心に取り上げる。後期は、安吾の「木枯の酒蔵から」に始まり、「ふるさとに寄する讃歌」「風博士」などへと続くファルスの実験作を読む。

履修上の留意点

次回取り上げる作品を指示するので、必ず読んでから受講すること。

成績評価の方法

年2回のレポート、及び出席状況を勘案して評価する。

教 科 書

『太宰治全集』第1巻（ちくま文庫）定価880円

『坂口安吾全集』第1巻（ちくま文庫）定価980円

参 考 書 等

取り上げる作品毎に異なるので、その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 X	井 上 理 恵	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本近代戯曲を取り上げ、そのドラマトウロジーを検討しながら戯曲研究の方法を考える。これまでは戯曲は文学作品として研究されることが少なく上演と関連づけて検討されることが多かった。本講座では文学としての戯曲という視点で近代戯曲にアプローチする。

講義の内容・  
授業スケジュール

明治期では、森鷗外、有島武郎、岡本綺堂、木下李太郎、久保田万太郎、長谷川時雨、岡田八千代ら的一幕物を読み、時代との関係、斬新さ、歴史的価値等々を検討する。大正期は「大正の戯曲時代」といわれている。その多くが一幕物であるが、何故戯曲時代であったのか、小説と比較して戯曲はいかなる位置付けで作家たちは考えていたのか……等々に言及しながら武者小路實篤、中村吉蔵、平沢計七、菊池寛、鈴木泉三郎、金子洋文、泉鏡花、秋田雨雀、岸田国士、小山内薫らの戯曲を読む。昭和期ではプロレタリア戯曲からリアリズム戯曲への転換を身ながら三好十郎、久保栄らを、そして木下順二まで読みたい。

履修上の留意点

戯曲の舞台化はビデオ視聴するつもりだが、本講座を選択する者には実際の舞台を見に行ってもらうことを義務付ける。4,000円位を予定してほしい。高、演劇、映画、テレビ、ラジオ等の創造部門に就職を希望する者は受講するといいだらう。

成績評価の方法

発表、レポート（2回観劇批評含む）、テストで評価する。

教 科 書

『日本の近代戯曲』（翰林書房）2,500円

参 考 書 等

井上理恵著『久保栄の世界』（社会評論社刊）4,120円、日本近代演劇史研究会編『20世紀の戯曲』（社会評論社刊）4,700円

そ の 他

講義形式だが、ビデオ視聴や学生の発表も取り入れる

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 XI	こん とう ひろ こ 近 藤 裕 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

1980年から現在までに発表された諸作品（主として短編を取りあげる）を対象に、作品を構成するモチーフやテーマ、人間関係や時空構造などを分析する。特に、文体に内在する揺れや、表層の物語を裏切るような身体性（癖・無意識の発話や行為・夢）に注目し、現代文学が描きだそうとしている〈わたし〉が、いわゆる「近代的自我」と呼ばれているものとどのように異なっているかを考える。分析と考察にあたっては、臨床心理学や精神病理学など、人間の無意識の働きを扱う近接領域の発想や方法も援用したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

各回の前半は受講者が提起する、現代的事象や現代的自己のありようについてのトピックスをめぐって、自由にディスカッションする。後半は、ひとつの作品を取りあげ具体的に分析したうえで、上記の観点から講義を行なう。今年度は、村上春樹、村上龍、吉本ばなな、多和田葉子、笹野頼子、松浦理英子などを取りあげる予定だが、受講者の希望も考慮して選択決定したい。

履修上の留意点

現代文学の入手は、文庫化されたものでも案外時間がかかるので、早めに注文し読んでおいて欲しい。また、発言発表など積極的に能動的な参加を望む。

成績評価の方法

出席率、授業への貢献度、学年末テストを総合して評価する。

教 科 書

必要に応じて、その都度紹介する。

参 考 書 等

近藤裕子ほか編『大江からばななまで』（日外アソシエーツ）2,500円ほか

そ の 他

授業前半は受講生のスピーチをめぐるフリー・ディスカッション。後半は講師作成のレジュメをもとにした講義。可能であれば、映画化された作品をビデオ上映し、メディアの違いについても考えたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 演 習 I	木 村 晟 <small>きむら あきら</small>	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

中近世の語彙・語法・音韻・仮名遣い等について国語史的に学び、近代語の成立について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

【かながき大学・中庸】や「抄物」、「キリシタン資料」などを採り挙げ、それぞれの語彙・語法・音韻・仮名遣いなどの特徴を考察する。特に国語史の基礎を十分学ぶようにする。

履修上の留意点

『類聚名義抄』『色葉字類抄』『下学集』『節用集』『日葡辞書』等の古辞書の類は常に参照する。

成績評価の方法

平常点で評価する。研究発表（分担）とその資料、出席状況などを見て、総合的に評価する。

教 科 書

プリントを用意する。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	小 野 寛 <small>おの ひろし</small>	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

万葉集をよむ。

講義の内容・  
授業スケジュール

万葉集巻一の歌を各自分担し、その歌の本文はどうなっているか、訓みはどうか、語句の意味・用法、作歌の背景など、くわしく調べて、一人ずつ報告・発表し、全員で検討する。

履修上の留意点

遅刻・欠席すると自分一人おくれ、皆の進歩から取り残される。何が何でも出席すること。

成績評価の方法

発表・質疑に対する応答と、討論への参加、レポートの提出、学年末の筆記試験によって評価する。

教 科 書

鶴久・森山隆編『万葉集』（おうふう刊）  
小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	かつ 勝 はら 原 はる 晴 き 希	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい

演習における研究報告と質疑応答の具体的な方法習得をねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

宮澤賢治の作品を分担、報告をしてもらう。

履修上の留意点

学生自身の積極的な参加が必要である。

成績評価の方法

平常点並びにレポートによる。

教 科 書

宮澤賢治『注文の多い料理店』（角川文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	たか 高 はし 橋 ぶん 文 じ 二	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい

土佐（左）日記を読み、そこに表れている人間観、自然観の意味するところを探り、平安時代の日記文学の特質を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめの4～5回は問題点につき、概論風の講義をするが、あとは各自担当箇所を決めて、研究発表をする。

履修上の留意点

研究発表にあたっては担当箇所の語彙の用例調査、諸注釈の検討、時代状況の確認などをあらかじめなして臨む。

成績評価の方法

年二回のレポートの提出、研究発表の内容、出席の状況によって評価する。

教 科 書

- 影印本『土左日記』（新典社）
- 字典『かな』（笠間書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい

夏目漱石とその時代について学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

夏目漱石の代表的作品を、学生の分担発表と、演習生全員によるディスカッションを軸にしながら読んでいく。

成績評価の方法

年度末のレポートと、平常点を総合して評価を出す。

教 科 書

夏目漱石『坊っちゃん』、『三四郎』、『それから』、『行人』、『こころ』いずれも（新潮文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	た なか のり さだ 田 中 徳 定	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい

古典文学を読解・調査していくための基本的な文献を学び、それらの文献によって実際に古典文学作品を読解する方法を身につけることを目的とする。

『宇治拾遺物語』をとりあげ、説話集中に登場する人物調査の方法や歴史的史料の扱い方を学ぶ。また、他作品における同類話との比較から、個々の作品の性格と話の伝承形態を探究する。

成績評価の方法

授業時間内に行う口頭発表とその内容をまとめたレポートによる。

教 科 書

新潮日本古典集成『宇治拾遺物語』（新潮社）3,500円

参 考 書 等

授業中に適宜指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	はた 焔 <small>みゆる</small> 實	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

白樺派、新現実派、新感覚派などさまざまな流派の代表的作家の主要な作品を読んでいく。そのことにより大正期の小説の特色と意義などを考えていきたい。さらに一年を通して演習とはどのように行うのか、どんな役割を各人が果たすのか等、演習の方法や心構えを学ぶのも目的の一つである。

講義の内容・  
授業スケジュール

演習は学生が自ら学び、互いにその学力を伸ばすため切磋琢磨する場である。そのため発表担当者をきめ、担当者の発表をめぐってめいめいが活発に発言し討論をしていくことが大切だ。そのためには各人が充分に予習しておくことが必要である。細かいことは最初の授業時間に指示する。

履修上の留意点

出席を重視する。出席が授業時間数の三分の二に足りない者は原則として単位を認めないので注意すること。

成績評価の方法

学年末提出のレポート、発表の内容、授業時の発言内容、出席状況などを総合して評価する。

教科書・  
参考書等

授業時に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	はやし 林 <small>たつ</small> 達 <small>や</small> 也	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

- ・『伽婢子』研究。
- ・本講義は基礎演習的な要素をもつ。テキストを理解するとはどういうことか、理解のためにはどういう手続きが必要か、などのことについて、身をもって修得することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・テキストを一字一句にこだわって、丁寧に読む。
- ・適切な辞書の使い方を覚える。
- ・参考文献の探し方・利用方法を身につける。
- ・効果的な発表方法を考え、実行する。

履修上の留意点

- ・演習であるので、出席を義務とする。
- ・授業には積極的に参加しなければならない。
- ・レポーター（発表者）は、参考資料を作成する。

成績評価の方法

- ・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方と学年末提出のレポートの二点によって評価する。

教科書

4月開講時に指示する。

参考書等

4月開講時に指示する。

そ の 他

- ・授業はレポーターの発表を中心に進める。
- ・発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法（例えば、図録・絵画活用等）をとること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	ふ じ あき お 雄 富 士 昭 雄	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい

近世小説研究。西鶴の町人物を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

西鶴の『世間胸算用』を精読して、近世語の用字・文体に習熟し、西鶴町人物の特色を理解する。

履修上の留意点

予習を必ずすること。

成績評価の方法

出席状況や発表の内容、さらに年度末の試験の成績などを勘案して評価する。

教 科 書

富士昭雄編『世間胸算用』（明治書院）

参 考 書 等

麻生・富士共編『世間胸算用』（対訳西鶴全集・13）（明治書院）など。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	まつ い けん じ 児 松 井 健 児	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい

平安時代物語の研究を自立的に展開できる基礎的な方法および意識を養う。具体的には、『源氏物語』を対象とし、その物語内容を理解するのみではなく、その内容を導き出す、古代物語の方法や構造をとらえることに主眼を置く。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』『賢木』の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、たんなる感情移入や印象批評におわることなく、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえで分析的な研究を展開できる技術を養う。

履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。

成績評価の方法

受講者による ①演習発表資料 ②発表内容 ③レポート ④出席状況 ⑤その他を総合しておこなう。

教 科 書

石田穰二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 二』（新潮社）

参 考 書 等

参考書は授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	むら 村 かみ 上 みつ 光 のり 徳	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

中世軍記物語の代表である『平家物語』を読む。作品全体を理解できるようになるべく多くの句を講読し、内容と特色を把握し、さらに作品論、時代背景、文化史的な問題を追究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

本文講読が中心。学生主体ですすめる。読み、語句の意味、他本との関係などにも注意して読む。

成績評価の方法

演習なので出席重視、他にレポート、発表方法など評価の対象とする。

教 科 書

『平家物語抄』（おうふう）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 演 習 II	き 木 むら 村 あきら 巖	国 文 3 必・国 文 3 選	4
国 語 学 演 習 III		国 文 4 必・国 文 4 選	

講義のねらい

国語文字史の研究を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は特に伝具平親王撰の『真名本伊勢物語』を用いて、真名本の文字使用の方法と、文字運用の意識とを学ぶ。後期は万里集九撰の『新韻集』を用いて、古辞書の用字や字体の実際を学ぶ。併せて国語史の諸問題にも触れる。

履修上の留意点

『類聚名義抄』『色葉字類抄』や『下学集』『節用集』『日葡辞書』等の古辞書類は常に参照する。

成績評価の方法

平常点で評価する。ただし研究発表（分担）とその資料、出席状況などを見て、総合的に評価する。

教 科 書

プリントを用意する。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	おのの 野 寛 <small>ひろし</small>	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

本文、注釈、作品論、作家論などについての正確な結論を得るためには、大量の情報をしっかりと整理する必要がある。その情報処理の能力を養ってもらうことをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

古事記・万葉集を対象として、各自が選んだ作品の本文研究と解釈について発表し、出席者全員で討論することによって進行する。

履修上の留意点

遅刻・欠席すると自分一人おくれ、皆の進歩から取り残される。何が何でも出席すること。

成績評価の方法

発表・質疑に対する応答と、討論への参加、学年末に提出するレポートによる。

教 科 書

万葉集は、鶴久・森山隆編『万葉集』（おうふう）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	かつ 原 晴 希 <small>はる き</small>	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

個々人の卒論とは直接連動させず、代表的な文学作品についての研究報告と質疑応答によって、作品研究への実践的、主体的なアプローチの方法を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

数回のオリエンテーションに引きつづき、個々人の研究報告と質疑応答によって進めて行く。なお対象作品はあらかじめ選定されたテキストから選んでもらう。

履修上の留意点

研究史（先行論）を踏まえたうえで独自の視点で分析を行なえるよう、積極的に取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

平常点並びに最終レポートによる。

教 科 書

文学史研究会編『昭和の短編』（笠間書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 II	こ う の し さち え 神 野 志 幸 恵	国 文 3 必 ・ 国 文 3 選	4
国 文 学 演 習 III		国 文 4 必 ・ 国 文 4 選	

講義のねらい

万葉集巻一を読み、歌の解釈に関する手続きを押えながら、初期万葉の世界に触れることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

各人が一つの作品を担当し、調査して発表する形ですすめる。前後期各一回発表する予定。

履修上の留意点

出席を重視する。自分の発表だけでなく、他の人の発表を聞き、考えることも大切なことと考えて欲しい。受講者相互の討論を期待する。

成績評価の方法

平常点と学年末のレポートによる。

教 科 書

鶴久・森山隆編『万葉集』（おうふう）

参 考 書 等

授業の時々文献は指示するが、全般的に有意義なものとして、西郷信綱『万葉私記』（未来社）、稲岡耕二『上代の日本文学 初期万葉歌を読む』（放送大学教材）がある。事典として、稲岡耕二編『万葉集事典』（別冊国文学、学燈社）が便利なので、推奨する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 II	こ じ ま な お こ 小 嶋 菜 温 子	国 文 3 必 ・ 国 文 3 選	4
国 文 学 演 習 III		国 文 4 必 ・ 国 文 4 選	

講義のねらい

日本の伝統的美意識、あるいは文化的な規範としての〈あはれ〉〈みやび〉の枠組について、その成り立ちを考えてみたい。ついでに平安朝の風雅を代表する、『源氏物語』をとりあげ、そこに描かれる美的世界の拠って立つ基盤を明らかにしていく。

対象とするのは、藤裏葉巻である。光源氏の六条院が権力を拡大していこうとする過程で、薫物や書芸といった芸道が注目され利用されていく。後宮の支配とそうした芸術の掌握は、不可分のものであり、風雅の追求は天皇との婚姻関係によって家を充実させねばならない臣下たちの強力な武器なのであった。

美と権力。欲望と権力。そして美と欲望。王朝の〈みやび〉〈あはれ〉をとりまく、人間的な営みを文学の想像力がいかに描きだしていくのか。注視していこう。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回レポーターを立て、レジュメをもとに発表してもらう。テキストはプリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	こ 近      どう      ひろ 藤      裕      子	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

私たちはこれまで無意識の内に男性の登場人物を中心に据えて作品を読もうとする傾向にあった。しかしそれでは反対に、女性の身体・女性の視点か世界を眺め（感受し）返した時、世界はどのように様相を変えるのだろうか。本演習では、90年代の現在から明治へと遡って文学作品のヒロインの系譜を辿ることで、いわゆる「女性的なるもの」とはどのようなものなのかを探ると共に、個別で自由だと思われている私たちの発想を枠づけているものの洗い直しを試みたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

『近代文学ヒロインの系譜』所収作品のほか、現代文学の方は原則的に文庫で読める小説、例えば笹之頼子「居場所もなかった」や多和田葉子「犬婿入り」、松浦理英子「ナチュラル・ウーマン」などを取り上げ、時代を遡る形で読み進める。作品はそのほか授業参加者の希望を入れて選定する。各回、レポーターによる分析結果と考察を発表してもらい、それに基づいて参加者全員でフリー・ディスカッションする。

履修上の留意点

自分自身を問い直すことも含め、積極的な発言を望む。

成績評価の方法

授業中の発表と発言及び学年末レポートの成果により評価。

教 科 書

高田知波・北田幸恵・金子幸代編『近代文学ヒロインの系譜』（双文社出版）2,266円他。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	た 高      はし      ぶん 橋      文      二	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

『源氏物語』の「幻」巻を読み、光源氏晩年の文学世界の意味あいを考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめの4～5回は概論風の講義をし、「幻」巻の問題点について触れる。あとは出席者各自の研究発表の形をとる。

履修上の留意点

語彙索引の類を十分に活用して、担当箇所に出てくる言葉の用例などを綿密に調べ、古注釈なども検討する。細い方法等については授業時間内に指示する。

成績評価の方法

研究発表の内容、年二回のレポート、出席の状況などを勘案して評価する。

教 科 書

影印本『幻』（新典社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

近代小説の名作を読む。

講義の内容・  
授業スケジュール

明治から昭和前期までの小説の中から、学生の希望を尊重して代表的な作品を選び、学生の分担発表と演習生全員によるディスカッションを軸にしながら読んでいく。

成績評価の方法

年度末のレポートと、平常点を総合して評価を出す。

教 科 書

教場で学生と相談して決める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	た なか のり さだ 田 中 徳 定	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

仏教の教えが説かれていく際に、さまざまな説話が、例証としてまた比喩として語られることがある。そのような説話について、どのような出典によっているのか、また、どのように改変されて語られているのか、という点について考察していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

『宝物集』をとりあげ、この中に引用されている説話の出典確認と、『宝物集』における改変の様相を探る。その作業により、『宝物集』において説話がどのように扱われているのかを探っていく。

履修上の留意点

仏教に関する説話を多く扱うことになるため、必然的に経典類や他の仏教書を調査することになることを承知しておいてもらいたい。

成績評価の方法

授業時間内に行う口頭発表とそれをまとめたレポートによる。

教 科 書

山田昭全他編『宝物集』（おうふう）2,900円

そ の 他

授業は演習形式で、受講生がレジュメを作成し、口頭発表する形で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅱ	なかむらあや文	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

**講義のねらい** 鎌倉時代の初頭に編纂された第七番目の勅撰集「千載集」を読む。和歌に用いられる言葉〔歌語〕には、長い伝統の中で様々なイメージが貼り付けられている。そうした言葉の一つ一つにこだわりながら、イメージのゆるやかな結びつきの上に成り立つ豊穡な和歌の世界を読み解いていきたい。また、千載集は治承・寿永の内乱という未曾有の内戦の後に成立した勅撰集である。天皇家の命によって編纂される歌集に、時代背景がどのような影響を与えているのかについても考察を深めたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 和歌読解のための基本的な調査方法に習熟し、和歌の読み方に親しみ慣れることを第一の目標とするが、本人の取り扱い方や伝記・歌壇史研究の方法、或いは近年急速に研究が進展している学術的なアプローチ等についても随時ふれていきたい。

**履修上の留意点** 一人二首程度を担当してもらい、その報告によって授業を進める。受講者は必ず報告を行わなければならないが、担当に当たっていないときにも積極的に発言してもらいたい。

**成績評価の方法** 学年末に一首の和歌を課題としてレポートを提出して貰う。報告とレポートの内容に、授業にどれだけ積極的に関わったかを加味して判定する。

**教科書** プリントを使用する。

**参考書等** 松野陽一『千載集 勅撰和歌集はどう編まれたか』（平凡社）2,000円、小林幸夫他編著『うた』をよむ三十一文字の詩学』（三省堂）2,000円。報告に際して参照すべき文献については、授業開始時にプリントを配布して説明する。

**その他** 報告の具体的なやり方については、最初の授業時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅱ	なかむらみよし三代司	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

**講義のねらい** 明治40年代の森鷗外・夏目漱石等、大正期の芥川龍之介・谷崎潤一郎・志賀直哉・有島武郎・佐藤春夫等、昭和初年代の江戸川乱歩・夢野久作・横光利一・川端康成等の主要作品を読み、作品研究の方法を考える。また、作品を研究する場合の参考文献の調べ方、レジュメの作成法、分かりやすい発表の技術等も併せて習得する。

**講義の内容・授業スケジュール** 毎回1作品につき、2名程度がレジュメを準備してレポートする。そして、その発表に基づいて討議を行なう。また、レポーター以外の履修者には、予習の意味を含めて当該作品の簡単なレポート（400字以内）を毎回提出してもらおう。なお、取り上げる作品については開講時に指示する。

**履修上の留意点** 毎回取り上げる作品を読了した上で演習に参加するのはいうまでもないが、作品をいかに読むかが必要である。問題意識をもって演習に臨んでほしい。

**成績評価の方法** 前・後期各1名の発表、出席状況を重視して評価する。また、授業中の発言も勘案する。

**教科書** 各社文庫本。作品毎に指定する。

**参考書等** 取り上げる作品毎に異なるので、その都度指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	はた 畑 <small>みのる</small> 實	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

明治、大正、昭和に活躍した主要な作家の主に短篇小説をとりあげて演習をする。このことにより、明治から昭和にかけての日本の近代小説の流れをつかむことを目的としている。なお、前年度演習ⅡⅢで扱った作品はとりあげない。

講義の内容・  
授業スケジュール

演習は学生自らが調査発表をし互いに切磋琢磨して学力を伸ばしていくものである。そのためには発表担当者をきめ、担当者の発表をめぐってめいめいが活発に発言し討論して読みを深めていかなくてはならない。とりあげる作品の選択、発表者のきめかたなど細かいことは最初の授業時間に指示する。

履修上の留意点

出席を重視する。出席が授業時間の三分の二に足りないものは、原則として単位を認めないので注意すること。また発表者だけでなく全員必ず予習をしてこることが必要。

成績評価の方法

学年末提出のレポート、発表の内容、授業時の発言の内容、出席状況などを総合して評価する。

教 科 書 ・  
参 考 書 等

授業時に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	はやし 林 <small>たつ</small> 達 <small>や</small> 也	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

- ・『俳諧七部集』を読む。
- ・本年は「阿羅野」の連句を読み、連句の作られ方、連句の楽しみ方を知ることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・俳諧の本来は連句にある。連句に親しみ、俳諧の世界を探る。
- ・「わび」だとか「さび」だとか、抽象的な言葉は、この演習では禁句にする。
- ・言葉を実際に捉えるところから始める。
- ・各句の意味、光景を把握した上で、前句と付句の関係を理解し、そこに展開する世界を具体的に理解する。
- ・俳諧の世界と和歌の世界の違い、俳諧の語法と和歌の語法の違いにも注意を払う。
- ・注釈の歴史を知る。

履修上の留意点

- ・演習であるので、出席を義務とする。
- ・授業には積極的に参加しなければならない。
- ・レポーター（発表者）は、参考資料を作成する。

成績評価の方法

- ・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方。
- ・学年末提出のレポート  
の二点によって評価する。

教 科 書

『俳諧七部集』岩波文庫

参 考 書 等

- ・幸田露伴『評釈 芭蕉七部集』（岩波書店）
- ・島居 清『芭蕉連句全註解』（おうふう）
- ・復本一朗編『芭蕉連句評釈』（雄山閣）
- ・安東次男『連句入門』『風狂始末』『続風狂始末』（筑摩書房）
- ・新古典文学大系『芭蕉七部集』（岩波書店）

そ の 他

授業は、レポーターの発表を中心に行う。  
レポーターは古注釈に至るまで充分理解し、発表すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 II	ふ じ あき お 富 士 昭 雄	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 III		国文4必・国文4選	

講義のねらい

西鶴の雑話物研究。西鶴の『万の文反古』という書簡体小説を精読する。

講義の内容・  
授業スケジュール

『万の文反古』の読解を通して、書簡文体に習熟し、西鶴の雑話物の特色を理解する

履修上の留意点

予習を必ずして出席すること。

成績評価の方法

授業での出席・発表状況や、年度末の試験の成績などを勘案して評価する。

教 科 書

東明雅編『万の文反古』（明治書院）

参 考 書 等

麻生・富士編『万の文反古』（対訳西鶴全集・15）（明治書院）など

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 II	まつ い けん し 松 井 健 児	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 III		国文4必・国文4選	

講義のねらい

『源氏物語』にあらわれる、王朝貴族の美意識や生活様式を探り、その作品世界への文芸化の方法を考察する。古代物語を形成するうえでの基礎的な構造の把握と、その制度的な構造から逸脱する、一回的な感覚世界との緊張関係を読み解くことによって、作品自体が常に新たなものとして生成していく、動態としての『源氏物語』観を獲得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』の玉鬘十帖を扱い、具体的には「篝火」「野分」「行幸」の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究をおこない、それらによって得られた知見を論理的に構成し、批評できる力を養う。

履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。

成績評価の方法

受講者による ①演習発表資料 ②発表内容 ③レポート ④出席状況 ⑤その他を総合しておこなう。

教 科 書

石田穰二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 四』（新潮社）

参 考 書 等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 II	むら 村 上 光 のり 徳	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 III		国文4必・国文4選	

講義のねらい

『平治物語』を読む。保元の乱後三年目に京都で起った平治の乱を描いた作品であるが、これを影印（写真版）で読む。この乱は源平両氏の対立が中心となって物語られた作品で、保元の乱との関連や乱の原因などが注意される。『保元物語』との比較や作品と特色、研究の動向などに注意する

講義の内容・  
授業スケジュール

影印版のテキストを用い、学生主体ですすめる。乱の原因や作品としての評価など注意深く読む。

成績評価の方法

演習であるから出席最重視。その他レポート、発表の方法、調べ方などを注意。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 演 習 IV	き 木 村 あきら 晟	国 文 4 必	4

講義のねらい

国語学を専攻する学生の卒業論文の指導をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

国語学の各領域のうち、方言研究・文字論・語彙論・文体論などの専門的な論文を読み、検討をし、解説を加える。これを重ねることによって、学生が論文の書き方が学べるようにする。

履修上の留意点

卒業論文は力いっぱい努力をして、骨惜しみをしないこと。質問は遠慮せず、たびたびすること。

成績評価の方法

平常点により評価する。

教 科 書

特に使用しないが、プリントは用意する。

参 考 書 等

授業はグループ毎に読んだ論文を報告し、質疑応答をする。また後期には各自の論文の中間報告もさせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	おのの 野 寛 <small>ひろし</small>	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文に上代文学を選ぶ者に対する指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は演習形式で、各自が卒業論文に選んだテーマに沿って作品を選び、詳細な本文研究と確かな解釈の上に立つ作品研究を報告し、みんなで討議する。

履修上の留意点

卒業論文のテーマを一日も早く決定する。4月の開講時には各自の卒業論文の計画書を提出してもらう。

成績評価の方法

卒業論文提出のあと、学年末にレポートを提出する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	かつ 原 晴 希 <small>はら てる ぎ</small>	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文を作成するための、実践的な指導を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒業論文提出までのスケジュールの作成、調査研究の方法、書誌等のツールや図書館等の利用方法、中間報告と質疑応答、卒論の構成等々、具体的な作業に必要な事項についての講義、個別指導、演習形式での授業等を行なう。

履修上の留意点

明確な目標を持つこと、具体的な作業を行なうこと。

成績評価の方法

演習における平常点による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	たか はし ぶん し 高 橋 文 二	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の指導。

講義の内容・  
授業スケジュール

各自のテーマに応じて作品を読み、夏休み前に一度研究発表をする。

履修上の留意点

問題点を整理し、資料(用語例など)調査の中間報告を夏休みの課題レポートとして提出する。  
九月中に卒論の構想を示すこと。

成績評価の方法

研究発表と課題レポートで評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	たか た ち なみ 高 田 知 波	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための演習である。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は卒業論文のテーマの絞り方や、参考文献蒐集の方法等に重点を置き、後期は具体的な論の展開に重点を置く。

履修上の留意点

卒業論文の成否にかかわる演習だということを十分に理解してほしい。

成績評価の方法

平常点と卒業論文によって評価を出す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 学 演 習 IV	た 田 中 のり きた 徳 定	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための指導を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

全体的には、卒業論文作成に必要な調査方法や諸手続きについて指導を行う。また、個々の卒業論文のテーマにあわせ、個人ごとの指導を行っていく。卒業論文の論題提出時までに、研究計画書を提出してもらい、卒業論文作成過程においては、卒論中間発表会においてその内容を口頭発表してもらう。

そ の 他

授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 学 演 習 IV	はた 畑 のり 実	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための指導を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は卒業論文作成のための基礎知識を与えると共に作品を読む。後期にはめいめいに論文の中間報告をさせて指導していく予定。

成績評価の方法

授業の出席状況、授業中の発言の内容、レポート、卒業論文等を考え合わせて評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	はやし 林 達也	国 文 4 必	4

講義のねらい

本演習は、卒業論文指導のための授業である。  
近世文学及び中・近世和歌で卒業論文を書く学生を対象とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

5月連休明けまでに、卒業論文の対象を決める。  
6月中に対象をどれだけ理解しているか、どういう点に興味をもっているのか、などについて、  
第一回目のレポート（400字原稿用紙10枚）提出。  
前期末までに、前期提出レポートについて教師と面談。  
10月末までに、第二回目レポート（30枚）提出。  
11月中旬、卒業論文目次提出。  
12月10日 卒業論文提出。

履修上の留意点

講義のねらいと講義の内容・授業スケジュールの日程を守れば、慌てずに、よい卒業論文を書ける。  
講義のねらいと講義の内容・授業スケジュールの日程を守らない学生については、責任をもたない。

成績評価の方法

一般的には、卒業論文による。  
論文作成までの道程も評価の対象とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	ふ 士 昭 雄	国 文 4 必	4

講義のねらい

受講生の卒業論文のテーマと関連する近世文学の演習。併せて卒業論文の指導もする。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講生の卒業論文のテーマと関連する近世文学の作品を選定して、演習形式で発表者の研究発表を中心に考察を深める。

履修上の留意点

演習であるから課題の予習を行うこと。

成績評価の方法

学年末の定期試験のほか、平生の学習状況から総合して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	まつ い けん し 松 井 健 児	国 文 4 必	4

講義のねらい

平安時代文学を対象とした、卒業論文作成の指導、助言。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒業論文は学生生活の総決算ともいえる重要な課題である。対象の決定－問題設定－問題への効果的な取り組み方－参考文献の検索の方法－論文目録の作成－現時点における研究史および研究状況の把握－具体的な論述にいたるための資料作成－口頭による中間的な研究報告－具体的な論述の方法－など、いくつかの段階を設定して、文学研究としての要件を備えた論文の作成を自律的におこなえるよう指導、助言する。

履修上の留意点

自主性と積極性。

成績評価の方法

①研究論文としての形式的要件を備えていること。②問題意識にそって本文が十分に読み込まれていること。③研究史をふまえて個性的な論述が明晰に展開されていること。以上を総合しておこなう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	むら かみ みつ のり 村 上 光 徳	国 文 4 必	4

講義のねらい

『竹むきが記』を読む。中古の『蜻蛉日記』から始まる女流日記というジャンルの最後の作品で、作者は持明院統廷臣日野資名の女名子の日記で、太平記と時代が重なり、激動の時代に生きた女性の生きざまが記されている。これを歴史背景を踏まえながら丹念に読む。

講義の内容・  
授業スケジュール

学生主体で読みすすめる。また卒業論文指導も行なう。

成績評価の方法

出席中心。他にレポート提出を求める。

教 科 書

『竹むきが記』（おうふう）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 文 学	南 <sup>な</sup> 雲 <sup>ぐも</sup> 智 <sup>さとる</sup>	国文2・3・4選	4

講義のねらい

詩や文がどのようにして生まれ、定着し、人びとに読みつがれていったのかを考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

長い歴史を持つ中国文学のすべてを見渡すことは難しいと思われるが、代表的なジャンルと作品に触れながら、それらを生み出した社会をあわせてみておきたい。

成績評価の方法

評価はレポートによっておこなう。

教 科 書

講義を進めるなかでプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 文 学	満 <sup>みつたに</sup> 谷 <sup>たに</sup> マーガレット	国文2・3・4選	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。明治時代の日本は西欧文化のすべてを「翻訳」しようとしていたといっても過言ではないが、授業では、比較的扱いやすい詩の問題が中心になる。前期では、讚美歌、イギリスの浪漫派、フランスの象徴派の詩人たちがシェークスピアなどが近代日本にどのようにして翻訳されてきたか、作品を精読しながらみていきたい。後期では、逆に日本語の詩（短歌、俳句を含めて）の翻訳問題を焦点にして、十九世紀からの英訳短歌、E. パウンドの英訳謡曲や戦後のハイク・ブームなどをみていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義科目ではあるが、授業中、なるべくたくさんのテキストを精密に読んでいきたい。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教 科 書

プリント

参 考 書 等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995  
『翻訳の思想』日本近代思想体系15（岩波書店）1991  
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994など

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 文 学	やま ぐち さつ こ 山 口 節 子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

子どもの発見に始まる日本児童文学の流れの中で、リアリズム作品、ファンタジー作品がそれぞれどう描かれてきたかを、具体的作品を通して理解する。特に宮沢賢治の日本的ファンタジー作品については、作品の底を流れる賢治童話のフィロソフィーを共に考え合う。また、ファンタジー作品が今日の状況をのり超える力をもつことを、M. エンデの『モモ』やルグインの『ゲド戦記』などの海外児童文学も含めて読み解く。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本児童文学の成立と展開を年代を追ってリアリズム、ファンタジー作品ごとにとりあげる。今日の現代児童文学の状況と新しい潮流について、作家・作品を具体的にとりあげながら児童文学の流れとこれからの展望を考察する。賢治作品については、人間とは何か、真実とは何か、生きるとは何かといった人間の本質を、作品を通して共に考え合い、生きる力を得る授業としたい。海外児童文学では、テーマ、モチーフ、全体の構成を理解し、ファンタジーのもつ力とは何かに迫る。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品は事前に予告するので、必ず読んで授業に臨んでいただきたい。

成績評価の方法

前・後期2回のレポートによる。出席状況や授業態度も考慮に入れる。

教 科 書

授業の際に、事前に紹介する。

参 考 書 等

授業の進行に併せて関連図書を紹介する。

そ の 他

講義を中心に、ビデオなども用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
有 職 故 実	おお つか ひで こ 大 塚 英 子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

「有職故実」の本来の意味は、故実（正しい前例）に精通している事であって、博搜された前例に基づき、多くは国家的行為の当事者が正しいと判断した方法によって行事を実施し、それをまた記録して故実化しようとするという、政治的文化的営為によって形成された前近代のシステムである。本講座は、こうした「有職故実」の細目を学習して古典解読の参考に供するだけでなく、そのシステムを対象化して論ずることにより、国文学や国史の研究に一視点を提供したい。具体的な方法としては、平安朝の儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗・文化との関係を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期A、「有職故実」とは何か。学年最初の講義日に説明する。必ず出席してほしい。

B、平安朝の年中行事

1. 「年中行事絵巻」を映像資料として、平安朝における年中行事の意義を考える。
2. 正月の年中行事を詳説し、政治と年中行事（特に朝賀）との関係を考察する。
3. 『源氏物語』花宴の巻が書かれるまでの「花の宴」の伝統を考察し、文化的年中行事成立の条件について示唆する。
4. 平安朝において二月～十二月に行われていた年中行事の一つを題にレポート作成。

後期A、『源氏物語絵巻』と服飾

1. 平安貴族社会の服飾を制度と流行の二側面から概説、『かさね色目』の展示。
2. 摂関時代の男性装束と女性装束を、故実書や文学から例文を引用して解説する。
3. 絵巻の内容について、服飾の観点から解説を試みる。

B、平安朝における官職位階の制度

成績評価の方法

後期で学習した事項について学年末にテストを行い、前期のレポートとあわせて評価する。

教 科 書

河鱒実英『有職故実』（塙書房）1,900円  
コンパクト版『日本の絵巻1』（中央公論社）1,400円及びプリントを使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼——出産と子育て——
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民間信仰論	谷口 貢	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定で、筆記試験は実施しない。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、桜井徳太郎・他編『シャーマニズムとは何か』（春秋社）の3冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史概説 I 〔古代・中世〕	松本 信 道	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講座では、とくに飛鳥・奈良・平安時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通して概観したい。

履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の平均点で成績を評価する。

教科書

『史料による日本の歩み 古代編』（吉川弘文館）2,900円

参考書等

青木和夫『日本古代史』（日本放送出版会）1,650円 笹山晴生『日本古代史講義』（東京大学出版会）

その他

授業の方法は講義形式で進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史概説Ⅱ 〔近世・現代〕	佐藤元英	国文2・3・4選	4

講義のねらい

近世・近代における対外交渉史を概説する。時期区分によって歴史的発展段階の特徴を明確にすること、個々の対外交渉史上の事実に関し、歴史的な性格ならびに位置づけを確定する枠組をつくりあげていくことをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、近世初期の対外関係・ポルトガル貿易と糸割符・来航外国船と管理統制・長崎貿易の展開・日朝関係の展開・幕藩体制と琉球問題を論じ、後半は幕末維新期における列国の対日政策と日本の対応・明治初年の領土問題・条約改正運動・日清日露戦争・日露戦後の日米対立・第一次大戦とシベリア出兵・ワシントン体制と幣原外交及び田中外交・満州事変と国際的孤立化・日中戦争・日米交渉・太平洋戦争などについて講述し、近世より近代の対外交渉の時期区分を試みる。

成績評価の方法

定期試験及び出席状況による。

参考書等

中田易直編『近世対外関係史論』  
池井優『日本外交史概説』

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本文化史Ⅰ	廣瀬良弘	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに①～⑦以降の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	ひら い しゅん えい 平 井 俊 榮	国文2・3・4選	4

講義のねらい

仏教について基本的な教理を中心に概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

次の大綱にしたがって授業をすすめる。

- 序 章 仏教とは何か
- 第1章 仏陀の生涯
- 第2章 仏の本質
- 第3章 法－仏教の真理観－
- 第4章 一切法－法の種類－
- 第5章 輪廻と業と煩惱
- 第6章 悟りへの道
- 第7章 心－実践の主体
- 第8章 修行者の理想像
- 第9章 戒律と教団の組織
- 第10章 仏教の歴史

履修上の留意点

出欠は随時採る。

成績評価の方法

期末筆記試験の成績により評価

教 科 書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）1,600円（変更あるやも知れず）

参 考 書 等

平川彰著『三国仏教通史』（春秋社）2,575円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 思 想 史	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	国文2・3・4選	4

講義のねらい

始めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を講読する。講読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に觸れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

書き下し文が理解できる程度の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。

1. 試験又はレポート（年1回以上）
2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）
3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

教 科 書

授業は、講師が用意したプリントを用いる。参考書は適宜授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋思想史	あ 麻 生 けん 建	国文2・3・4選	4

講義のねらい	ヨーロッパ人の基本的なものの考え方、さらに思想史という形で何が形成され、求められてきたかを、できるだけ日本との比較の視点から明らかにする。 特に言語の問題に焦点を当て、教科書に基づきながら説き明かし、その背景をも考察する。
講義の内容・授業スケジュール	教科書は毎回持参すること。問題を自分なりに整理し直すため、ノートをとることを勧める。講義は連続しているので、可能なかぎり続けて出席するよう努力すること。
成績評価の方法	学年末の試験による。教科書に記述されていることのみが講義の内容ではないから、その都度の講義に留意すること。
教科書	麻生建著『ドイツ言語哲学の諸相』（東京大学出版会）3,502円
参考書等	特になし。必要な場合は授業中に指示する。
その他	講義。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
美術史概説	や 矢 の よう こ 陽 子	国文2・3・4選	4

講義のねらい	美術史とはどういう学問か、その方法にはどんなものがあるのかを具体例を通して考えながら、西洋美術史の基礎知識を学んでいきます。
講義の内容・授業スケジュール	研究分野としての美術史に関して以下のような視点で講義を進めます。 美術史の起源 西洋美術史学の方法と歴史 原作、複製、文献 描写と解釈 合せて古代から現代への流れを概観していきます。
成績評価の方法	前期レポートと学年末試験によって評価する予定です。
参考書等	マーク・ロスキル著 中森義宗訳『美術史とはなにか』（日貿出版社） マルシア・ポイント著 木下哲夫訳『はじめての美術史』（スカイドア） 高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』（美術出版社） このほか適宜、授業中に参考文献を紹介します。
その他	スライドで具体的に数多くの作品を見ながら、授業を行ないます。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 概 論	井 上 理 恵	国文2・3・4選	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深くて広い大河をいかに収斂すればいいのかについて考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

演劇史、ドラマトウルギー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになる。ビデオで舞台に展開される演劇を視聴しながら西洋と日本の演劇の違いもりである。

履修上の留意点

個別な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は国文学特講Xを同時に受講されることが望ましい。

また、実際の舞台を見にいて批評を書いてもらうつもりであるから本講座を受講する者は劇場に足を運ぶことを条件としたい。(観劇料3,500～4,500円)

成績評価の方法

レポート(二回、観劇批評含む)とテストによる。

教 科 書

木下順二『劇的とは』(岩波新書)650円、平田オリザ『演劇入門』(講談社現代新書)640円(必携)

参 考 書 等

毛利三彌『東西演劇の比較』(放送大学教育振興会)

そ の 他

講義形式ではあるが、ビデオ視聴や観劇後に討論をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 概 論	金 子 卓 義	国文2・3・4選	4

講義のねらい

古今の書の作品を鑑賞し、書芸術に対する理解を深め、書に親しむ心を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

ビデオ、スライド、コピーなどを用い、なるべく視覚的な授業を行う。歴史的に重要な作品から、現代の書まで幅広く鑑賞することにより、書の流れや本質を理解してゆく。

成績評価の方法

年間10回程度の復習試問の小テストを行い、また展覧会などの鑑賞レポートを提出して採点の基とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 史	な す たか よし 那 須 隆 吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教 科 書

伏見冲敬著『書の歴史』（二玄社）  
日本書道史のテキストは後期に指示する。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 実 習 I	かね こ たか よし 金 子 卓 義	国文2・3・4選	4

講義のねらい

書の歴史を探りながら、古典の臨書を学び、表現技術の習得と、書の理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半（9月頃までは）楷、行、草の各体の古典を広く学び、後半は中国北魏時代の楷書「高貞碑」を細かに深く研究する。

教 科 書

『書道I』（高校用教科書）（光村図書出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 実 習 II	の 野 むら 村 おき 宙 ひろ 弘	国文2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。

履修上の留意点

書道実技の為、墨・硯・筆・文鎮・下敷・半紙等の文房四宝の用意が必要。  
(正しい用筆法・正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う)

教 科 書

王 羲之『蘭亭序』(清雅堂) 360円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 実 習 III	な 那 す 須 たか 隆 よし 吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい

一口に書道といっても多様なジャンルがある。本講では、隸書法、篆書法、篆刻法を実習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

隸書、篆書の学習は、古典の臨書を中心に行ない、基礎的知識と技法を習得し、鑑賞力を養いたい。篆刻は基礎的技法を習得することと、併せてその歴史も概観し、東洋文化の粋ともいわれる、この「方寸の世界」の奥深い楽しみをさぐりたい。

履修上の留意点

文房具を愛することは、古来文人のたしなみであるので、用具を忘れて人に借りるなどということのないよう注意されたい。

成績評価の方法

出席及び清書提出、随時レポートの提出等を総合して評価する。

教 科 書

コピーによる。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
編 集 実 務	はせがわ たかし 長 谷 川 孝	国文2・3・4選	4

講義のねらい

編集とは、「だれかに — 何かを — 伝える」という過程に携わる仕事です。つまり「何か」に気づき、その中の意味をとりたて、表現の形を与えて、受け手に引き渡していく、一連の過程が編集という仕事です。そこでは、ものごとの何に目をつけ、何を読みとるのかという「視点(目のつけどころ)」が問われます。この授業では、書籍・新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の整理やレイアウト、原稿づくりなどの、「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを主要なテーマとして考えながら、「自分の視点」を育てることを目指したいと思っています。

「だれかに — 何かを — 伝える」という過程は本来、日常生活や仕事の中でだれもが行っていることでもありますから、編集について考えることは実は、一人ひとりが何をどのように読みとり、どのように伝えて生きているかを考えることだ、とも言えます。現在の情報社会は、多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、一人ひとりが情報の発信人になるよう求められていると言われます。こうした観点からも、編集を考えてみることであれば、と思います。個人紙(誌)づくりの課題には、こうしたねらいもあります。

成績評価の方法

B4判2つ折り4ページの個人紙(誌)を課題作品として提出してもらいます。

教 科 書

教科書は使いません。(随時、プリントを使用)



# 1 專門教育科目

## (2) 英 米 文 学 科



# 1 専門教育科目

## (2) 英米文学科

作品講読 I (東 雄一郎)	63
作品講読 I (高野正夫)	63
作品講読 I (佐藤真二)	64
作品講読 I (中岡 洋)	64
スピーチ・アンド・コミュニケーション I (サンダース, L. P.)	65
スピーチ・アンド・コミュニケーション I (マーティン, S. F.)	65
スピーチ・アンド・コミュニケーション I (レイン, R. V.)	66
作品講読 II (富士川 義之)	66
作品講読 II (佐藤千春)	67
作品講読 II (中岡 洋)	67
作品講読 II (東 雄一郎)	68
作品講読 II (河崎 征俊)	68
スピーチ・アンド・コミュニケーション II (ブランケン, D. L.)	69
スピーチ・アンド・コミュニケーション II (島袋 エリザベス)	70
スピーチ・アンド・コミュニケーション II (ハバード, W. D.)	71
英語学概論 (佐藤真二)	72
英語表現法 (高野正夫)	72
英語表現法 (河崎 征俊)	73
英語表現法 (佐藤千春)	73
英語表現法 (佐藤真二)	74
アメリカ文学史 (佐藤千春)	74
イギリス文学史 I (河崎 征俊)	75
イギリス文学史 II (中岡 洋)	76
英語史 (荒井良雄)	77
イギリス文学特講 I (石原孝哉)	78
イギリス文学特講 II (高野正夫)	78
イギリス文学特講 III (岡崎 寿一郎)	79
イギリス文学特講 IV (富士川 義之)	79
イギリス文学特講 V (高松 雄一)	80
イギリス文学特講 VI (丸小 哲雄)	81
演劇特講 (イギリス・アメリカ) (荒井良雄)	82
演劇演習 (イギリス・アメリカ) (逢見明久)	83
アメリカ文学特講 I (新倉 俊一)	83
アメリカ文学特講 II (杉浦 銀策)	84
アメリカ文学特講 III (足田 和人)	84
アメリカ文学特講 IV (杉浦 銀策)	85
アメリカ文学特講 V (杉浦 銀策)	85
イギリス文学演習 I (高松 雄一)	86
イギリス文学演習 II (富士川 義之)	86
イギリス文学演習 III (芦澤 久江)	87
イギリス文学演習 IV (増田 恵子)	87
イギリス文学演習 V (高松 雄一)	88
アメリカ文学演習 I (川崎 浩太郎)	88
アメリカ文学演習 II (サンダース, L. P.)	89



アメリカ文学演習Ⅲ	(川崎笑佳)	89
アメリカ文学演習Ⅳ	(古富猛)	90
アメリカ文学演習Ⅴ	(足田和人)	90
時事英語	(サンダース, L. P.)	91
商業英語	(町井靖)	91
ラテン語	(佐藤玖美子)	92
ギリシヤ語	(長谷川岳男)	92
英米文化	(広川治)	93
外国文学	(杉山秀子)	93
英米思想史	(杖下隆英)	94
現代美術	(矢野陽子)	94
日本文化史Ⅰ	(廣瀬良弘)	95
日本文化史Ⅱ	(休講)	
放送英語	(大庭直樹)	96
英作文演習	(荒井良雄)	97
英作文演習	(東雄一郎)	97
英語学演習Ⅰ	(荒井良雄)	98
英語学演習Ⅰ	(ピアス, D. M.)	98
英語学演習Ⅱ	(佐藤真二)	99
英語学演習Ⅲ	(町田尚子)	100
英語学演習Ⅳ	(桧山晋)	101
英語学演習Ⅴ	(ブランケン, D. L.)	102
オーラル・イングリッシュ	(ナトウシュ, B. A.)	103
オーラル・イングリッシュ	(ハバード, W. D.)	104
オーラル・イングリッシュ	(リアーディ, N.)	105
オーラル・イングリッシュ	(レイン, R. V.)	106
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(東雄一郎)	106
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(荒井良雄)	107
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(河崎征俊)	107
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(佐藤真二)	108
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(佐藤千春)	109
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(サンダース, L. P.)	109
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(杉浦銀策)	110
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(高野正夫)	110
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(高松雄一)	111
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(中岡洋)	111
3年次ゼミ・4年次ゼミ	(富士川義之)	112

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 I	あずま 東 ゆう いち ろう 雄 一 郎	英 米 文 1 必	2

講義のねらい

基礎的な読解力の養成を主眼とします。テキストは、Anzia Yeziarska の名作 *Hungry Hearts* (Penguin Books) を使用。“Wings”から“*How I Found America*”の全10篇の短篇小説を完読します。この *Hungry Hearts* には、20世紀初期のニューヨーク、ロワーイーストサイドにおけるユダヤ移民の生活が鮮明に記録されています。時に、Yiddish English と出会いますが、決して難解な文章ではありません。何度も音読して下さい。言語は「息」(breath)、そして「音」(sound) ですから。最後まで辛抱強く読み通せば、そこには移民国家アメリカの実像が浮かびあがってきます。How and what can you find - America and in America?

英  
米  
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 I	たか の まさ お 高 野 正 夫	英 米 文 1 必	2

講義のねらい

イギリス20世紀の短編小説を精読しながら、現代のイギリス国民の諸相を考察していく。

履修上の留意点

発表の時以外にもできる限り予習をして、授業に出ること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく、授業における発表や出席状況を考慮しながら評価する。

教科書

教科書は教場にて指示します。

その他

授業は演習形式で行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 I	ま とう しん じ 佐 藤 真 二	英米文1必	2

講義のねらい	英米文学の様々な作品を読む事によって、作品を味わい、解釈する力を養うとともに、作品を一人で読んでいくことのできる英語力の向上を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は英米の短編小説を読む。後期では、劇を一本通読する予定。また、夏休みに、原書を1冊以上読む課題を出す。
履修上の留意点	英語力の向上には予習・復習が不可欠である。必ず予習をして授業に臨むこと。欠席は慎むこと。
成績評価の方法	前期末・後期末の試験のほか、授業内の発表およびレポートで評価する。
教科書	テキストは開講時に指示する。
その他	授業は演習形式で行う。実際の進め方については教場において指示をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 I	なか おか ひろし 中 岡 洋	英米文1必	2

講義のねらい	何を読んだか後になってもわかるような英語作品の読み方をすることがねらい。論語読みの論語知らずにならないように、作品がきちんと記憶されるよう勉強してほしい。
講義の内容・授業スケジュール	具体的には現代作家 Jean Rhys の <i>Good Morning, Midnight</i> を材料して、学生が順次順番を決めて一ページ一ページ読み進む。一年間で一作品を最初から最後まで完全に読み終えたいと思っている。
履修上の留意点	出席に励むこと。必ず予習すること。自分の割り当てだけやって、他のことは知らないという態度は許さない。
成績評価の方法	出席回数と試験の結果と受講態度によって評価する。
教科書	Jean Rhys, <i>Good Morning, Midnight</i> (Penguin Books)
参考書等	その都度教場で指示する。
その他	特に試験だけを重視して成績評価をするわけではない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文 1 必	2

講義のねらい

This course is designed to give students basic listening and speaking skills needed for effective communication in English.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will consist of practical listening exercises, followed by short videos on related topics. Follow-up activities for speaking practice will include screen English dialogs for pair work, role plays, short speeches and recitations.

成績評価の方法

Attendance, participation in class activities, speech and / or recitation, two tests (one at the end of each semester).

教 科 書

教材は教室にて配布する。

そ の 他

ビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	Martin, Steven Franklin. (マーティン, S. F.)	英米文 1 必	2

講義のねらい

This class is designed to allow students to access and build upon existing knowledge of English through task based listening and speaking activities.

講義の内容・授業スケジュール

Students are expected to engage in activities using pair work, group work, and individual speaking. A variety of games, music, literature, and newspaper, video, and radio derived materials will be used in addition to the text. The class approach is heavily biased toward humanistic, values clarification type exercises drawing on the personal lives of the students.

成績評価の方法

Student Evaluation will be based on attendance, homework (when applicable), class performance, and occasional quizzes, as well as an exam at the end of each semester.

教 科 書

*Getting By – Basic Conversations for Communication*  
by Diane Nagatomo  
Kinseido Ltd.  
ISBN 4-7647-3634-9

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	Lane, Ronald Vincent (レイン, R. V.)	英米文 1 必	2

講義のねらい

This class will provide students with the opportunity to improve their speaking ability with an emphasis on the usage of American idioms in a conversational context.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will consist of two parts. The first [approximately 30 minutes] consists of drill activities of basic language patterns based on handouts provided by the teacher. The second [approximately an hour] consists of activities derived from the textbook. Here students will work both individually and in pairs creating stories using idioms from the text and making class presentations of both original stories and advertisements using American idioms.

成績評価の方法

Students will be graded regularly during the year on both the drill activities and class presentations. Additionally, there will be an exam at the conclusion of each semester on the idioms studied from the textbook.

教科書

*The Idiom Advantage* by Dana Watkins. Prentice Hall Regents

科目名	担当者名	配当学科	単 位
作品講読 II	ふじかわ よしゆき 富士川 義之	英米文 2 必	2

講義のねらい

Lafcadio Hearn の英文学入門書を読む。これは平易な言葉で日本の学生たちに語りかけた文学と人生の優れた指針の書でもある。また、イギリス・ロマン主義文学への入門書としても定評がある。この名エッセイを読みながら、英文学の魅力について語りたい。

講義の内容・授業スケジュール

Lafcadio Hearn の *Interpretation of Literature* をテキストに用いながら、文学解釈上のさまざまな問題を指摘する。

履修上の留意点

履修者にはあらかじめ担当箇所をあておくので十分な予習をして出席してほしい。

成績評価の方法

出席は毎回とる。成績は試験ないしレポートによって評価する。

教科書

Lafcadio Hearn (池田雅之編注), *Life and Literature* (北星堂書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	佐 藤 千 春 <small>さとうちほる</small>	英米文2必	2

## 講義のねらい

アメリカ文学史で扱われている作家の作品を講読するが、作家および作品は、その年度により異なるし、また扱う作家も複数の時もある。

講義の内容・  
授業スケジュール

作品の精読、内容の分析・解釈・他の作家の作品との比較などを織りまぜる。

## 履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので、十分な予習をもって授業に臨むこと。授業時間における発表内容、授業に臨む姿勢、遅刻・欠席はマイナスの評価として扱うので注意すること。

## 成績評価の方法

(3)での留意点を考慮し、前期・後期のテストの結果で決定する。尚、遅刻・欠席が多い場合には、受験資格を失うので留意しておくこと。

## 教 科 書

テキスト、参考書、その他注意すべきことは、授業開講時および授業内において連絡、指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	中 岡 洋 <small>なかおかひろし</small>	英米文2必	2

## 講義のねらい

何を読んだか後になってもわかるような英語作品の読み方をすることがねらい。論語読みの論語知らずににならないように、作品がきちんと記憶されるように勉強してほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的には19世紀作家 Barbara Whitehead の crisis novel を材料して、学生が順次順番を決めて一ページ一ページ読み進む。一年間で一作品を最初から最後まで完全に読み終えたいと思っている。

## 履修上の留意点

出席に励むこと。必ず予習すること。自分の割り当てだけやって、他のことは知らないという態度は許さない。

## 成績評価の方法

出席回数と試験の成果と受講態度によって評価する。

## 教 科 書

Barbara Whitehead 未定

## 参 考 書 等

その都度教場で指示する。

## そ の 他

特に試験だけを重視して成績評価をするわけではない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
作品講読Ⅱ	あづま 東 ゆう いちろう 雄 一 郎	英米文2必	2

## 講義のねらい

基礎的な読解力の養成を主眼とします。Be punctual. Don't be absent. And be active. And what comes first is concentration.

## 教科書

テキストは、*The Urban Muse : Stories on the American City* (Delta) を使用。アメリカ文学を代表する作家たちの短編小説の貴重なアンソロジーです。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
作品講読Ⅱ	かわ 河 さき 崎 まさ 征 とし 俊	英米文2必	2

## 講義のねらい

Jane Austin の小説を読みながら、時代背景及び時代思潮を学ぶ。

## 講義の内容・授業スケジュール

Austin の *Pride and Prejudice* をできるだけ読み進み、小説技法を習得する。

## 履修上の留意点

演習形式をとるため、出席を重視する。予習に専念してほしい。

## 成績評価の方法

年2回の試験、演習状況、及び出席等を中心に総合的に評価する。

## 教科書

Jane Austin, *Pride and Prejudice* (ペンギン版) 950円位

## 参考書等

開講時に指示する。

## その他

時々、参考資料としてコピープリントを配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	Blanken, David L. (ブランケン, D. L.)	英米文 2 必	2

講義のねらい

To (a) increase student aural-oral proficiency, (b) abet vocabulary mastery, and (c) promote willingness to speak English. Students will produce spoken English through memorized passages, dialogs and readings – they will record themselves in various speaking situations – and conversation with the instructor.

講義の内容・授業スケジュール

The schedule will be as follows. :

Spring Semester

Fall Semester

Week 1 : Vetting of student oral proficiency  
 Wks 2 & 3 : *English on the Move*(EOM), Unit 1  
 Wks 4 & 5 : *EOM*, Unit 2  
 Wks 6 & 7 : Outside material & activities (1)  
 Wks 8 & 9 : *EOM*, Unit 3  
 Wks 10 & 11 : *EOM*, Unit 4  
 Wks 11 & 12 : Outside material & activities (2)  
 Week 13 : Book check : makeup work  
 Week 14 : Final Examination

Fall Semester overview  
*EOM*, Unit 5  
*EOM*, Unit 6  
*EOM*, Unit 7  
 Outside material & activities (3)  
*EOM*, Unit 8  
*EOM*, Unit 9  
 Book Check : makeup work  
 Final Examination

履修上の留意点

Two class periods will be allocated for each of the nine units in the textbook, *English on the Move*. Four such units will be covered in the first semester, and the remaining five in the second. The goal is to cover some five pages of the text per class period. Four weeks are reserved for both supplementary material and taping activities. This material will augment the contents of the text : it will take the form of puzzles, games, music and simple reading-and-speaking activities. The presentation of *English on the Move* will proceed sequentially from unit to unit, with pauses for supplemental material as indicated above in the *Schedule for the Semester*. Within any given unit, however, the teaching may be entirely non-sequential. The text provides for weekly listening and speaking activities (role playing) as a matter of course : students are obliged to prepare and perform the latter.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded according to these criteria : (1) classwork, using *English on the Move* : 30% ; (2) classwork, using supplemental materials : 20% ; (3) attendance and weekly speaking performance : 30% ; and final Examination : 20%

教科書

Name : *English on the Move*  
 Authors : Baxter and Pustulka  
 Publisher : Metropolitan English Publications, 1999  
 Price : 2,200円

参考書等

A suitable English-English dictionary is strongly recommended, but not required : the instructor will address this issue during the first class meeting, when course goals and contents will be outlined.



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	<sup>しまぶくろ</sup> 島袋 エリザベス	英米文 2 必	2

英米文

講義のねらい	Course will be based on developing practical speaking skills for the intermediate level student.
講義の内容・授業スケジュール	Daily classroom work will focus on pairwork exercises and small group activity. 2 exams, a mid-term and a final, will be given at the designated time.
履修上の留意点	Students must attend class regularly and make every effort to participate in activities with enthusiasm.
成績評価の方法	Will be based on class attendance, participation, and exam results. Homework assignments will also count.
教科書	<i>Everybody's Talking : Devetoping Botter Speaking Skills</i> , by Date Fuller, Clyde W. Grimm
参考書等	Other supplementary material may be
その他	provided, as needed.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	Hubbard, William D. (ハバード, W. D.)	英米文 2 必	2

講義のねらい

This course is designed to help university students improve their speech and communication abilities. Various dialogues, topics, sentence patterns, and rhythm practices are used to introduce the student to new ideas and vocabulary and to improve the student's speech and communication abilities. This course can be used for vocabulary enhancement, preparation for STEP (EIKEN) level II or III tests, as well as an introduction to basic speech and communications skills in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

In the first semester (class periods 1-12), dialogues with new sentence patterns and vocabulary will be introduced and practiced. Then, general questions will be provided to help the students judge their comprehension of the material and familiarity with any new vocabulary and situations introduced through the dialogues. After this, general exercises will be introduced. These exercises are designed to help the students improve their intonation, stress, rhythm, and pronunciation, ability to express themselves, and comprehension in general. During the next class period, students will be asked to show their competence in using this material.

In the second semester (class periods 13-24), a more concentrated effort will be placed on improving stress, intonation, rhythm, pronunciation, and speaking ability in general. Students will give a short presentation on the material provided. Useful hints will then be given to help the students improve their ability to express themselves in an understandable way. This material is S. T. E. P (EIKEN) oriented and will help the student prepare for the such tests as the EIKEN level II or III.

履修上の留意点

Students will be evaluated (graded) according to their attendance, homework, class work, other assigned work, and tests (2).

教 科 書

No textbook. New text material will be handed out during each class session.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 学 概 論	佐 藤 真 二	英米文 2 必	4

講義のねらい

英語学の諸項目に関する基礎的な知識を身につける事を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

主な講義内容は以下の通り。

- 1) What is linguistics? (言語学とは何か)
- 2) Phonetics (音声学)
- 3) Phonology (音韻論)
- 4) Morphology (形態論)
- 5) Lexicology (語彙論)
- 6) Syntax (統語論)
- 7) Semantics (意味論)
- 8) Linguistic schools in the twentieth century (20世紀の諸言語学派)
- 9) Branches of linguistics (言語学の諸部門)

成績評価の方法

試験によって評価する。

教 科 書

Loreto Todd, *An Introduction to Linguistics* (York Handbooks)  
(Longman, York Press, 1987)

参 考 書 等

参考文献は教場にて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 表 現 法	高 野 正 夫	英米文 2 必	4

講義のねらい

いわゆる英作文の学習において基本となるのは、英語の文法的な知識である。どのような易しい英文を書く場合にも、この文法的な知識なくしては、それが不可能なことは言うまでもありません。このような自然な英作文を書くのに必要な文法は、「生きた英文法」と言われるものであり、単なる書かれた知識としての文法ではなく、現実の生活の様々な場面で使われる言語表現に不可欠な文法的な知識である。それ故、基本的な英文法の知識を再確認しながら授業を進めていく予定です。

履修上の留意点

授業は、毎回演習形式で行うので、あつた時には十分準備をすること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく出席を重視する。また、あつた時の発表など、総合的に判断しながら評価する。

教 科 書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現法	かわ さき まさ とし 河 崎 征 俊	英米文 2 必	4

## 講義のねらい

平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英文作成を目指した授業を行う。英語表現の熟達を望む人は、一般に、ややもすると日本語から英語へといった機械的かつ単純な方式を踏む傾向があるが、一方において、より優れた模範的英文に触れることも必要である。また、使用する辞書も英和辞典や和英辞典を用いるだけではなく、英英辞典を多用することも大切である。日本語から英語へと文章を変換すること自体、困難な作業であるので、できるかぎりわれわれの頭の中でイメージの拡散を起こさないようにすべきであろう。英語で英文のイメージをまとめ、英語で直接思考し、発音し、そしてライティングへと向かうべきである。そのような問題意識をもって着実な努力を重ね、多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英文の表現法を習得してほしい。

## 講義の内容・授業スケジュール

授業では、日常的レベルの内容の英文作成から、一歩すすんだ内容の英文作成を目標とし、テキストとプリント類を使用しながら大体1年間で終了できるような形をとっていく。

## 履修上の留意点

すべて演習形式をとるので、予習・復習を必須とする。従って、出席を重視し、積極的に意欲的な授業への参加が求められる。

## 成績評価の方法

年2回の筆記試験および平常時の授業態度・出席状況などをもとにして、総合的な角度から評価する。

## 教科書

中内正夫『新实用英作文』（南雲堂）1,200円

## 参考書等

授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現法	さ とう ち はる 佐 藤 千 春	英米文 2 必	4

## 講義のねらい

この授業で扱う英文はすべて日常会話のものばかりである。いわゆる書き言葉なるものは一つとしてない。口語英作文と考えてもらえばよい。初めに基本となる表現を確認する。次に口頭で答えてもらえる程の短い文を与え、基本が身についているかどうかのトレーニングを行う。次にコミュニケーションの実際の場面を想定し英語訳を行う。この授業で扱う表現はすべて実際の会話に役立つものばかりである。できるだけ簡単な表現で巧みな自己表現ができるようになること、これが授業のねらいと目的である。

## 講義の内容・授業スケジュール

下記にあげるテキストの Part I より始める。それぞれ定められた場面に必要とされる表現の例文、Useful Expressions の説明、及びテキストに収録されているもの以外の表現を簡単に説明して行く。この後はすべて学生諸君に一問ずつ質問に答えてもらう。Writing Practice はあらかじめあておくので準備をし、板書をしてもらう。

## 履修上の留意点

授業に臨むにあたっての注意事項は授業開講時に説明をする。毎回出欠をとることは言うまでもない。

## 成績評価の方法

毎回あてる Quiz、出欠の結果、各学期末に行うテスト等、総合的に判断し評価を行う。

## 教科書

*The Road from Writing to Speaking*  
『コミュニケーションのための口語英作文』（成美堂）

## 参考書等

授業内にて紹介して行く。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現法	佐藤真二	英米文2必	4

講義のねらい

一年次で養った英語力を基礎として、英語による表現力の一層の向上を目的とする。具体的には、手紙や日記ほどの長さの、自分の考えや感じ方を表現するエッセイが容易に書くことのできる力をつけることを目指す。文字による表現のみならず、声による表現も取り入れる。

講義の内容・授業スケジュール

様々なテーマで、自由英作文を多く行う。主な項目は以下の通り。

- 1) Writing about Yourself
- 2) Friendly letters, Formal Letters
- 3) Telling a story
- 4) Movie Review
- 5) Tourist Pamphlet
- 6) Speech

履修上の留意点

英語の表現力を養うためには、実際に表現する作業を数多く行うことが大切である。毎回与えられる課題を確実にこなし、予習をしたうえで授業に望むこと。欠席を慎むことは言うまでもない。

成績評価の方法

毎回の課題が大きな比重を占める。

教科書

*Words in Motion* (Oxford)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学史	佐藤千春	英米文2・3選必	4

講義のねらい

一般にアメリカの歴史は17Cから始まると言えるが、この地への植民がどのような夢を抱いてなされたものかという序論から論じ、ある意味ではその夢が各作家の様々な作品の中に具現されていると考えて行くのがこの講義のねらいである。一口で言えば、アメリカの夢なるものが、どのような作家の、どのような作品の中に見られるか、またはその夢の挫折の表われは何か、等を探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカへの移民の動機、すでにその中にアメリカの夢の原型はあったとするのが出発点である。この植民地時代の思想にふれ、次に18C合理主義の時代、これはアメリカ独立革命の時代であるが、これを経てアメリカ・ルネッサンスと呼ばれる文学史上の時期に入る。講義はできるだけ作家、作品の羅列を避け、作家の主要作品に込められた中心思想、テーマなどに焦点を絞り、分析と解説を行ってみる。もちろん時代の動向や文芸思潮をからませ講義を進めて行く。

履修上の留意点

講義内容を適宜ノートにとり、内容をまとめておくこと。

成績評価の方法

毎回ではないが出席をとる。場合によってはレポートの課題も与え、期末に筆記試験を行うが、ノート、参考書等、持ち込みは許可していない。

教科書

井上謙治編『アメリカ文学史入門』(創元社)

参考書等

講義を進めて行く間、適宜紹介して行く。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学史 I	かわ 河    さき 崎    まさ 征    とし 俊	英米文2・3選必	4

## 講義のねらい

古代・中世・近代のイギリス文学を学び、歴史・時代思潮を含めた各時代の代表的文学者の特質を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

アングロサクソン文学、中世文学、ルネサンス文学、17世紀文学及び18世紀文学までを講義する。

## 履修上の留意点

イギリス文学の流れを学ぶため、授業は休まずに出席されたい。各時代の特質を整理・習得するためにも、ノート整理を欠かさず行ってほしい。

## 成績評価の方法

年1回の試験及び年1回のレポート課題により評価する。

## 教 科 書

相島倫嘉『ペンギン・最新イギリス文学史』（南雲堂）3,914円

## 参 考 書 等

開講時に指示する予定。

## そ の 他

年数回にわたりコピープリントを配布する。試験の時に必要となるので、大切に保存すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学史Ⅱ	なか 中 岡 ひろし 洋	英米文2・3選必	4

## 講義のねらい

ロマン主義文学以降のイギリス文学の歴史をたどり、時代や社会の価値観を知って、歴史的感覚を養うとともに、教養を深め、資質を向上させることをねらいとする。

## 講義の内容・授業スケジュール

ロマン主義の台頭から現代まで、約250年間イギリスの文学がたどってきた歴史を跡づけ、歴史のうねりを広範囲に取り扱う。それは社会そのものの動きであり、変化である。文学は時代・社会の反映であり、人間は時代の子であらざるを得ず、文学がその如実な表現であることを知ることになる。

具体的にはロマン主義の黎明期から取り扱う。まず Romantic Revival といわれる所以を説明し、それがさらに大きな歴史のうねりの一部であることを理解し、William Wordsworth (1770-1850) をはじめとする湖畔派詩人から、George Gordon Byron (1788-1824) らのきらびやかなイギリス詩人たちについて語る。またいかにかして Realism 小説が生まれてきたかを、小説の発生から Jane Austen (1775-1817) へ、さらにロマンティックな趣をたたえる小説の歴史を Sir Walter Scott (1771-1832) から Charlotte Brontë (1816-55) らの姉妹へと語っていく。ヴィクトリア朝作家・詩人として Charles Dickens (1812-70)、William Makepeace Thackeray (1811-63)、Alfred Lord Tennyson (1809-92)、Robert Browning (1812-89) らの巨匠たちを調べた後は、George Eliot (1819-80) の近代小説の始まりについて語り、ラファエロ前派から象徴主義へ移り、世紀末の Oscar Wilde (1854-1900) の唯美主義について語り継ぐ。Wilde は小説、童話、戯曲、エッセイを書き、世紀末の文学を代表する。William Butler Yeats (1865-1939)、Lady Isabella Augusta Gregory (1852-1932)、John Millington Synge (1871-1909)、Sean O'Casey (1880-1964) らの Irish Renaissance が起こり、イギリスの美意識はよりゆたかになった。また Thomas Hardy (1840-1928)、Henry James (1843-1916) らの小説は世紀末を越えて、20世紀文学に引き継がれ、Joseph Conrad (1857-1924)、Herbert George Wells (1866-1946)、John Galsworthy (1867-1933)、Arnold Bennett (1867-1931)、Edward Morgan Forster (1879-1970) の小説の展開を述べ、やがて James Joyce (1882-1941)、Virginia Woolf (1882-1941)、David Herbert Lawrence (1885-1930) らの「意識の流れ」小説に繋ぐ。詩歌の面では Georgian Poets, Imagists らの登場、Thomas Stearns Eliot (1888-1965) の詩的革命について語る。二度の大戦と絡みながら Auden Group の活躍、演劇の面では一大金字塔 George Bernard Shaw (1856-1950) の出現と、それに続く傑出した多くの劇作家について語り、社会問題意識を明らかにする。時代の先端を走り、戦争の苦しい時代を生きのびたイギリス文学は着々とその富を蓄え、Aldus Huxley (1894-1963)、George Orwell (1903-1950)、Graham Greene (1904- ), Edith Sitwell (1887-1964)、Dylan Thomas (1914-1953)、John Boynton Priestley (1894-1984) らの文人について語る。第2次世界大戦後の「怒れる若者たち」(Angry Young Men) は時代の歪みに対して激しく抵抗し、Kingsley Amis (1922-95) の Lucky Jim (1954)、John Osborne (1929- ) の Look Back in Anger (1956) は戦後の価値観の変化を実感的に写し取り、当時の社会を代表した。その後こうした伝統と変化は Philip Larkin (1922- ), John Wain (1925- ), Ted Hughes (1930- ), Seamus Heaney (1939- ) らを生み出した。次に Muriel Spark (1918- ), Doris Lessing (1919- ), Iris Murdoch (1919- ), Edna O'Brien (1932- ), Margaret Drabble (1939- ), Susan Hill (1942- ) らの女性作家、William Golding (1911- ), Lawrence Durrell (1912- ), Anthony Burgess (1917- ) らの新風と、Samuel Beckett (1906- ), Harold Pinter (1930- ), Arnold Wesker (1932- ) の新しい劇について講ずる。

## 履修上の留意点

受講学生は出席に励み、まじめに受講し、知識が知恵となるよう真剣に勉強してほしい。

## 成績評価の方法

出席回数、受講態度、授業への積極的参加、および各種レポートや学年末における試験によって習熟度を測り、評価する。決して試験の結果のみにて判定することはない。

## 教科書

『ペンギン・最新イギリス文学史』(南雲堂) 3,990円

## 参考書等

イギリス文学史については各種の参考書があり、枚挙にいとまがない。従って教場で適宜指摘するので、聞きもらさないよう注意すること。それぞれの作品についても同様であるのでその都度必要な書物は読むように心がけること。

## その他

授業は発表形式でおこなう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 史	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文3必	4

#### 講義のねらい

世界の人々をつなぐコミュニケーションの手段としての英語は、万国共通の国際語として、その地位を実質的に確立している。したがって、国際社会で活躍するためには、英語の運用能力に堪能になる必要があって、その基礎として、英語史の正確な知識は不可欠である。この講義では、今や世界語になりつつある英語の生成発展過程や、語彙と構造と発音の歴史的变化を、文化史、文学史、社会史などを背景にすえて明らかにし、国際交流に役立てる英語の実力養成の一助としたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

英語の語形、音韻、語彙、辞書などの歴史を、Old English, Middle English, Early Modern English, English Around the World に大別し、戯曲、詩歌、演説、小説、随筆、日記、手紙などを材料にして考察する。主な講義内容は下記の通り。

1. From Runes to Printing
2. Old English (*Beowulf*)
3. Middle English (Geoffrey Chaucer)
4. Shakespeare's English
5. The Authorized Version
6. Dr. Johnson's Dictionary
7. The Older Scottish Tongue
8. The Language of Old Ireland
9. Noah Webster's Dictionary
10. Cockney
11. Yenglish (Yiddish and English)
12. British and American English
13. English around the World
14. English Today

#### 履修上の留意点

*The Oxford English Dictionary* (O. E. D.)をはじめ、*Webster's Third International Dictionary* ほか、多くの英語辞書や参考書を駆使して、英語史や英語学や音声学の世界へ、少しでも深く踏み込むための興味を喚起し、基礎を養いたい。

#### 成績評価の方法

前期の最終講義と、12月の最終講義と学年末試験の3回の試験の結果で評価する。7月と12月の試験で合格点に達しなかった学生にはレポートを課す。

#### 教 科 書

Gerry Knowles 著、小野茂・小野恭子訳『文化史的にみた英語史』(*A Cultural History of English Language*) (開文社) 2,000円

#### 参 考 書 等

David Crystal 著、久保内端郎・山縣宏光・馬場彰・編注『クリスタル：英語史入門』(*The History of English*) (金星堂) 2,700円  
 R. W. バーチフィールド著、加藤知己訳『オックスフォード英語史概論』(オックスフォード大学出版局) 2,800円  
 ロバート・マクラム他著／岩崎春雄他訳『英語物語』(*The Story of English*) (文芸春秋)

#### そ の 他

例文の朗読に英米の専門家や俳優の録音テープを、必要に応じて使用する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	石原孝哉	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

シェイクスピアを中心にルネッサンス期のイギリス文学を、広くヨーロッパ文学の流れの中で講じる。

講義の内容・授業スケジュール

主としてとりあげる内容は：①神話と文学 ②文学の源流 ③詩・民話・劇 ④ルネッサンスと新学問 ⑤トマス・モアと新しい流れ ⑥エドモンド・スペンサーと『妖精の女王』 ⑦クリストファー・マーロウとヒューマニズム ⑧ウィリアム・シェイクスピアの世界Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ ⑨獄中作家ジョン・バニヤン ⑩ミルトンの世界 ⑪文学とイギリスの文化

履修上の留意点

完全な講義形式で行なうので予習は必要ないが、トマス・モア、エドモンド・スペンサー、クリストファー・マーロウ、ウィリアム・シェイクスピア、ジョン・バニヤン、ジョン・ミルトンなどの主要作品を、読んでいることが前提となる。このため3・4年生の受講を希望する。

成績評価の方法

成績はレポート、期末試験で評価する。

教科書

『シェイクスピア喜劇とロマンスの発展』（三修社）2,000円

参考書等

『同一性の寓話』 法政大学出版局、その他教場にて指示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅱ	高野正夫	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope など代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された *Lyrical Ballads* という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

履修上の留意点

授業ではよくノートをとること。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	おか ぎき とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernityという言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

## 講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出發として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S.エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD.H.ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

## 成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

## 教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

## 参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅳ	ふ じ かわ よし ゆき 富 士 川 義 之	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

18世紀と19世紀における文学と絵画の関連（いわゆる「<sup>シスター・アーツ</sup>姉妹芸術」）について、とくに風景画と風景庭園の流行、ピクチャレスク美学の成立、ワーズワスからラスキンやペイター等にいたる文学者たちにおける風景志向等に注目しながら講義する。

## 講義の内容・授業スケジュール

主として取り上げるのは、理想風景、ピクチャレスク美学、風景の発見、ゲインズボロ、ターナー、コンスタブルなどの風景画家、ワーズワス『序曲』、ラスキンのターナー解釈、ペイターにおける風景と記憶の問題、ワイルドの庭など。

## 履修上の留意点

講義を中心とし、機器を使って風景画などを見る予定。

## 成績評価の方法

出席は毎回とる。成績はレポートと試験により評価する。

## 教科書

必要に応じて、プリントを配布する。

## 参考書等

教室でその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 V	たかまつ ゆう いち 高 松 雄 一	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

本講義ではイギリスにおけるモダニズム文学の種々相を考察する。モダニズムとは20世紀の初め、1910年前後に、英米およびアイルランドに出現した若い文学者たち、たとえば小説のジェイムズ・ジョイス、ヴァージア・ウルフ、批評のT. E. ヒューム、詩のエズラ・パウンド、詩と批評のT. S. エリオット、それに年長の詩人イェイツなどが、それぞれの分野で新しい実験的な表現法による作品を生みだし、従来の伝統的な手法を革新した1つの文学運動というべきものである。

彼らはこの運動の存在理由を自らの批評活動によって論理づけ主張することを怠らず、1920年代から40年代の初めまでイギリス文学の主流を占めるに至ったが、今日のいわゆるポストモダニズムの時代にも、有形無形の影響を残していると言っている。

## 講義の内容・授業スケジュール

この運動は、しかしながら、唐突に生じたのではない。当時の社会的な変動や、19世紀から20世紀にいたる一連の文学的な展開と密接に結びついている。本講義では19世紀初めのロマン主義文学運動、および世紀末の唯美主義批評との関連にも触れながら、モダニズムの特質を明らかにしてゆきたい。ただし主義主張を羅列するのではなく、上記の詩人や作家の作品から適宜抜粋して具体的に読み、分析しながら考察を進める。

## 教 科 書

講義内容に応じてプリントアウトした作品や批評を読む。

## 参 考 書 等

高松雄一編『イギリス文学』（放送大学教育振興会）。イギリス文学の流れをつかむのに役立つであろう。

高松雄一編『想像力の変容』（研究社出版）。主としてモダニズム関係の論考を集めたもの。内容は専門的。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	丸 小 哲 雄	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

批評行為は人間の本能です。文学テキストの読みについての論議が必要なのは、やみくもに文学テキストを読んでもそれほど大きな効用がなく、テキストの読み・解釈・批評の交通整理が必要であるからです。テキスト間の相違に折り合いをつける枠組は、いわば、作者の「方法」を読みとるためであり、読み手自身のテキストを作ることでもあります。その「方法」は一般化、普遍化できるものですが、人間の不合理や不条理を取り扱う文学論はテキストの神秘的な解釈から脱神秘的な解釈へいたる回路をいかに創り出してゆくかが問題となります。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての〈持続する〉テキストをどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、テキストに対してどのようにして責任をとるかを見出すことです。文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。そのために文学テキスト内部からテキスト外部へどう出てゆくのかの手順を批評的ディスカールとして説明してゆきます。

## 講義の内容・授業スケジュール

テキストの読み方と研究の仕方を覚えるためにさまざまな文学テキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

1. 文学テキストの虚構の世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か：日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程：文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

## 成績評価の方法

試験等による成績評価については、平常点50%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）50%。クラスでの発表者には別途評価。

## 教科書

『〈持続する〉テキストへの意匠』（英宝社）

## 参考書等

開講時に読書リストのプリントを配布します。また、読書のための参考書は適宜必要に応じて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 特 講 ( イギリス・アメリカ )	<sup>あら</sup> 荒 <sup>い</sup> 井 <sup>よし</sup> 良 <sup>お</sup> 雄	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	イギリス演劇史とアメリカ演劇史を、欧米演劇の原点であるギリシア・ローマ演劇の伝統をはじめ、最近のロンドンやブロードウェイにおける上演や、映画化作品、さらには日本における受容をも視界に入れて講義する。とくに近代劇と現代劇を中心に、ミュージカルも取り上げて、世界中で上演されている英米演劇の特色と魅力を明らかにしたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	<p>前期はアメリカ演劇を、ユージン・オニールの作品を中心に講義する。後期はバーナード・ショーとノエル・カワードの演劇が中心である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Tragedy and Comedy</li> <li>2. Eugene O'Neill</li> <li>3. Lillian Hellman</li> <li>4. Arthur Miller</li> <li>5. Tennessee Williams</li> <li>6. Edward Albee and Sam Shepard</li> <li>7. Mediaeval Religious Drama</li> <li>8. Elizabethan Drama</li> <li>9. William Shakespeare</li> <li>10. Comedy of Manners</li> <li>11. Oscar Wilde</li> <li>12. Maugham, Coward and Rattigan</li> <li>13. Peter Shaffer</li> <li>14. Musicals</li> <li>15. Theatre and Film</li> </ol>
履修上の留意点	戯曲を読んだり、舞台を見たり、映画化作品を映画館やビデオで見たりして、英米演劇を積極的に鑑賞したり研究したりするのが好きな学生の受講を期待する。
成績評価の方法	レポートと学年末試験の成績で評価する。
教 科 書	特定の教科書は使用しない。戯曲や参考書は講義の主題毎に紹介する。
参 考 書 等	荒井良雄著 『英米文学映画化作品論』(新樹社) 2,500円 太平和登・荒井良雄共著 『ブロードウェイ!ブロードウェイ!』(朝日新聞社) 1,200円
そ の 他	舞台や映画のビデオや演劇の朗読テープを随時使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 演 習 (イギリス・アメリカ)	おの 逢 見 明 久	英米文2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

1950年代のアメリカの劇壇で活躍した劇作家ウィリアム・インジの代表作とハリウッドの映画史上に残るオリジナル脚本『草原の輝き』を中心に取り上げます。

## 成績評価の方法

レポートと授業中における発表の結果から判断します。総合的な評価の割合は、授業における発表が50%、レポートが50%です。

## 教 科 書

『草原の輝き』（金星堂）1,100円その他プリント配布。

## そ の 他

劇作品の場合は、読物としてではなく芝居として作品をとらえることを徹底します。そのためには、演じる側の立場でテキストを読み込まなければなりません。映画の脚本の場合も同様の手順を踏みますが、映像処理と音楽などの記号を読み取り、映画監督の作品解釈を探ることを試みます。こうしたことを討論形式で行ないますので、履修者はテキストを綿密に読み込んだうえで、どのような演出がなされべきかを事前に考察し、それを具体的に説明しなければなりません。そうして、各自が最終的に到達した作品解釈をレポート提出することになります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講 I	にい くら とし かず 新 倉 俊 一	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

アメリカにおける近代詩の成立の歴史的状況をふまえて、いかにイギリスとは異なるユニークなアメリカ詩が発展したかを、具体的な作品に即して説明していく。それと併せて、新体詩以来の日本の詩にアメリカ詩が及ぼした影響を取り上げたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は主として19世紀までのアメリカの詩人たちを紹介し、ポー、ホイットマン、エマソン、ディキンソンからロビンソン、フロストまでの作品を対象とする。後期は第一次大戦前後からアメリカ詩に大胆な革新をもたらしたパウンド、エリオット、ウィリアムズ、ステイーヴンズ、ムア、カミングズ、ハート・クレインから、第二次大戦後に詩と人間の間関係を問い直したロバート・ローエル、ベリマン、スナイダー、ギンズバーグ、ブライなどの現代詩人の作品を取り上げる。なお、適宜に、エマソンと北村透谷、ポーと萩原朔太郎、ホイットマンと有島武郎、エリオットと西脇順三郎、それに「荒地」の詩人たちやギンズバーグらのいわゆる「ビート詩人」たちの影響などをふれていきたい。

## 履修上の留意点

講義を中心とし、適宜、ビデオで詩人の紹介を行う予定。

## 成績評価の方法

前期はレポート提出。後期は詩の解釈および訳についてテストを行う。

## 教 科 書

新倉 『アメリカ詩の世界』（大修館書店）1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅱ	<sup>すぎ</sup> 杉 <sup>うら</sup> 浦 <sup>ぎん</sup> 銀 <sup>さく</sup> 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカの歴史と文学に大きな影響を落としているものは、やはり黒人奴隷制である。したがってこの講義では、「アメリカ文学における黒人像」と題して、主として小説の分野で黒人がどのように扱われ、また描かれてきたかの問題を歴史的に検討してみる。

講義の内容・授業スケジュール

- a) アメリカの歴史における黒人奴隷制の成立過程。
- b) 1831年ヴァージニア州に起こった Nat Turner の反乱を頂点とする一連の黒人奴隷の暴動。
- c) 黒人奴隷の暴動を基軸として、Herman Melville, "Benito Cereno" (1855)、Arna Bontemps, *Black Thunder* (1936)、William Styron, *The Confessions of Nat Turner* (1967) について考える。
- d) 黒人奴隷制の不条理性は自明のこととして、これに文学的想像力を加えて逆照射してみた場合どのような悲喜劇の展開が可能であるか。この問題を Mark Twain, *The Tragedy of Pudd'nhead Wilson* (1894) との関連において考える。
- e) 黒人奴隷解放の文学的原動力となった Mrs. Stowe, *Uncle Tom's Cabin* (1852)。
- f) 黒人奴隷制の崩壊と南部の悲劇については William Faulkner, *Absalom, Absalom!* (1936)。
- g) 黒人文学を初めて文学史の主流近くまで高めた Richard Wright, *Native Son* (1940)。

履修上の留意点

受講者も奴隷制について独自に勉強することが望ましい。

成績評価の方法

成績評価の方法は出席および試験。

教 科 書

プリント配布

参 考 書 等

池本・布留川・下山著『近代世界と奴隷制』（人文書院）

そ の 他

授業方法は講義形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	<sup>あし</sup> 足 <sup>だ</sup> 田 <sup>かず</sup> 和 <sup>ひと</sup> 人	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションと呼ばれる作家の短編小説を読み、その特徴を探る。また歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの技法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の作品に目を通しながら、講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定された英文テキストを呼んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求められることもあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間、小レポートを提出してもらい出席とする。加えて、前期・後期あわせて2回のレポートを課し、年間の評価とする。

教 科 書

『現代アメリカ短編小説選(3)』（南雲堂）

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅳ	すぎ 杉 浦 銀 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	アメリカ文学における批評。
講義の内容・ 授業スケジュール	アメリカ文学史におけるロマン主義、リアリズム、自然主義、モダニズム、ポストモダニズム等の概念について西欧文学との対比において講義を行い、同時にニュー・クリティシズムおよびデコンストラクションについても解説する。
成績評価の方法	成績評価の方法は出席と試験。
教 科 書	教科書はなし。必要に応じてプリント配布。
参 考 書 等	参考書は教場にて指定する。
そ の 他	授業の方法は講義形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅴ	すぎ 杉 浦 銀 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	1920年代、30年代はかつてあるフランスの批評家によって「アメリカ小説の時代」と呼ばれたこともあり、数多くの傑作が世界の注目を浴びた。この時代のアメリカにおける文学的活況の面白さについて語りたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	a) Ernest Hemingway, <i>The Sun Also Rises</i> (1926) と“lost generation”。 b) William Faulkner, <i>The Sound and the Fury</i> (1929) と“modernism”。 c) ……; <i>Light in August</i> (1932) と“mulatto”。
履修上の留意点	受講者は翻訳で作品を読むことが望まれる。
成績評価の方法	成績評価の方法は出席およびレポートないしは試験。
教 科 書	作品の原文引用はコピー配布。
参 考 書 等	参考書は教場にて挙げる。
そ の 他	授業方法は講義形式。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学演習Ⅰ	たか まつ ゆう いち 高 松 雄 一	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

シェイクスピアの『ソネット集』から選んで読む。シェイクスピアは言うまでもなく、イギリス文学を代表する劇作家であるが、当時の劇は主として韻文のせりふによって構成される詩劇であったことを忘れてはならない。劇作家はまたしばしば詩人でもあった。

ソネットは14行で書かれた短い詩であるが、精緻な韻律をもつ技巧的な詩形式でもある。1590年代に、このソネットをいくつも連ねて女性への愛を告白し、その経緯を語る「恋愛ソネット連作」が大流行した。シェイクスピアの『ソネット集』もこの風潮のなかで書かれたと言えるが、そこには多くの謎が含まれている。一つにはシェイクスピアが自分の生涯については一切自ら語るものがなかったせいでもある。

## 講義の内容・授業スケジュール

本演習では、ここに表現されている愛の告白や美の賛美がいかにか中世以来の様式を踏まえているか、しかもなおシェイクスピア個人の感情や当時の社会的背景と結びついているかを、丹念に原文を読みながら分析していきたい。シェイクスピア時代の英語にはまだ現代英語とはかなり異なる部分がある。注釈を頼りにしていいが、易しい作品ではないから受講者にもそれなりの心構えが要る。また可能なかぎり、シェイクスピアのほかの作品にも目を配るようにしたい。

## 教 科 書

川西進注釈 *Shakespeare's Sonnets* (鶴見書房) 1,400円

## 参 考 書 等

小津次郎『シェイクスピア伝説』(岩波書店)  
S. シェーンボーム、川地美子訳『シェイクスピア——人生・言葉・劇場』(みすず書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学演習Ⅱ	ふ じ かわ よし ゆき 富 士 川 義 之	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

現代イギリス作家の短篇小説を精読する。現代イギリス文学は、長篇だけでなく、短篇の分野でも目ざましい成果を挙げているが、この演習ではV. S. Pritchett “*The Saint*”, A. S. Byatt “*The July Ghost*”, Salman Rushdie “*The Prophet's Hair*”, Ian McEwan “*Last Day of Summer*”, Kazuo Ishiguro “*A family Supper*”を丁寧に読んでいく。題材もテーマも大いに異なるこれらのすぐれた短篇を読めば、現代イギリス作家の代表的な短篇がどのようなものであるか、いかに高いレベルに達しているか、その魅力はどこにあるか、などといったことが明瞭にうかがえよう。

## 講義の内容・授業スケジュール

いずれも粒よりの短篇ばかりで、内容面でも読みごたえがあり、おそらく語学的にも相当骨の折れることがあるかもしれない。しかし少々歯ごたえがあっても投げ出さず、辞書と知性と想像力を十分に活用して積極的に読解に挑んでほしいと思う。

## 成績評価の方法

出席は毎回とる。成績はレポートと試験により評価する。

## 教 科 書

富士川義之・松村伸一編注 *The Prophet's Hair and Other Stoies* (英宝社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学演習Ⅲ	あし ぎわ ひさ え 芦 澤 久 江	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

英詩は英文学の華である。それを理解するためにイギリス・ロマン派詩人たちの作品を読んで鑑賞し、各自の精神的成長の一助となすことを目的とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

まず、ロマン派詩人のウィリアム・ブレイクの有名な詩『無垢と経験の歌』を読みロマン主義の特徴である二項対立から統一に至る過程を追ってみたい。またその他にワーズワス、コウルリッジ、バイロン、シェリー、キーツの詩についても鑑賞していく。

## 履修上の留意点

予習をしてくること。

## 成績評価の方法

出席状況とレポート等で判断する。

## 教科書

『イギリス名詩選』（開文社）1,670円

## 参考書等

適宜、教場で指示する。

## その他

講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学演習Ⅳ	ます だ けい こ 増 田 恵 子	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

19世紀のイギリス小説を読みながら、当時の文体や表現方法に親しみ、時代の精神性や風潮を体感する。さらに精読を通して、学生が自主的に作品の分析的研究をおこない、その特徴などを議論し合い、独自の「読み」に到達することをねらいとする。

今回はアン・ブロンテの『ワイルドフェル・ホールの住人』を読む。アン・ブロンテは有名な二人の姉、シャーロットとエミリの影に隠れて、これまであまり注目されることのなかった作家である。またこの作品も発表当初から小説のテーマがヴィクトリア朝の道徳基準に合わなかったために酷評され、のちには姉のシャーロットにまで失敗作とみなされたので、しばらく正当な評価を受けることがなかった。しかしながら今日では、地味で穏やかな作風の処女小説『アグネス・グレイ』よりも物語性豊かな『ワイルドフェル・ホールの住人』がアン・ブロンテの代表作として挙げられることが多い。

この作品を研究することによって『アグネス・グレイ』だけでは計り知れない作家としてのアンの本質や彼女の実像を探っていきたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

各章を学生に割り当てるので、担当する者は英語のテキストに独自の訳をつけ、解釈をほどこし、そこから何が読み取れるかを発表する。それに対して参加者全員が意見や質問を投げ掛け、活発な議論のうちに、それぞれが自分の作品論、作家論を見出ししていくことが望ましい。

## 履修上の留意点

授業は徹底した「演習形式」をとるので、発表者以外の者も綿密なテキストの予習と積極的な参加姿勢が必要である。

## 成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前期後期レポートを総合的に判断して評価する。

## 教科書

Anne Brontë, *The Tenant of Wildfell Hall* (Penguin Classics)

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学演習 V	高松雄一	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ジェームズ・ジョイスの『若い芸術家の肖像』を読む。ジョイスについては特講でも触れることになるが、20世紀のモダニズム文学を代表する作家の一人である。いわば国際的な評価を勝ち得た文学者であるが、彼はアイルランドのダブリンに育ち、カトリックの私立学校で厳しい教育を受け、ダブリンの大学で文学を学んだ作家である。彼の幼年時代から青年時代、つまり世紀末から20世紀初頭にかけてのアイルランドは、政治的にはイギリスの支配下にあり、宗教的にはローマ・カトリック教会の統制の下にあった。この『若い芸術家の肖像』はジョイスの自伝的な小説であるが、幼年時代から大学を卒業するまでの生長の過程を、特異な表現技法と丹念な風俗描写を織りまぜながらどってゆく。疑うことを知らない信仰から芸術家の意識に目ざめてゆく過程であり、政治的な論争にどう対処するか自分の姿勢を固めてゆく過程でもある。これらの社会的、宗教的背景を踏まえながら、モダニズム初期の小説の特徴をとらえてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、主として作中の主人公スティーヴン・ディーダラスの高校から大学にかけての生活を中心に読むことにしたい。この小説では、モダニズム小説の尖鋭な手法はまだ姿を見せていないが、極めて丹念な緻密な文体で書かれているから、注意して原文を読む必要がある。受講者は辞書をしっかり引く習慣をつけてもらいたい。

教科書

安藤一郎注 *A Portrait of the Artist as a Young Man* (英潮社ペンギンブックス)

参考書等

伊藤整編『ジョイス』(研究社「20世紀英米文学案内」)  
宮田恭子『ジョイス研究——家族との関係における作家像』(小沢書店)  
コリン・マッケイブ著、加藤幹郎訳『ジェームズ・ジョイスと言語革命』(筑摩書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学演習 I	川崎浩太郎	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ詩の全体的な流れを把握すること、および、特定の作家、作品について論じる能力の向上を目標とする。また、詩とは何かについてクラス全体で考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカ詩を毎時間ごとに二編ほど選んで、2～3人のグループで発表してもらおう。発表者にはまず、作家についての説明、その作品が書かれた時代背景等を説明してもらった上で、作品の音読と自分なりの訳をし、いくつかの問題点をあげてもらおう。その問題についてクラスで話し合っていく。作品は、ピューリタンの詩から、ポストモダンの詩まで、時代順に扱って行くつもりである。授業中に読んだ作品から一編を選び400字詰め原稿用紙5枚ほどのレポートを前期と後期の最後に提出してもらおう。

履修上の留意点

アメリカ文学のおおよその流れを把握していることが望ましい。

成績評価の方法

年2回のレポートと、授業中の発表をもとに評価する。

教科書

こちらでプリントを用意する

参考書等

新岩俊一著『アメリカ詩入門』(研究社出版) 2,200円  
『アメリカ名詩選』(岩波文庫) 670円

その他

授業は基本的に、議論を中心に進めていくつもりなので、活発な発言を期待している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学演習Ⅱ	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

コンテンポラリー文学と映画や文化、言語との関係を、最近のポストモダン作家の作品を通して学ぶ。ポストモダニズムの学習は、ビート・ジェネレーションのケルアック『On the Road』から始め、ジェネレーション X 作家ダグラス・コーブランド『Life After God』で締めくくる。また、最近のアメリカンフィクションとニューハリウッド（1960年～現在）をジャンル別に学ぶ。

成績評価の方法

前期にテストを行い、後期はレポート提出とする。

教 科 書

プリントを配布する。

そ の 他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学演習Ⅲ	かわ 川 さき 崎 えみ 笑 が 佳	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

J. D. Salinger の短篇を読み、それぞれの作品を通して垣間見られる彼の東洋思想や時代精神等について考察していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回数名の学生に作品を音読、和訳してもらう。その際問題と思われる箇所、疑問点等について発表してもらいそれらについて考えていく。各作品を読み終える毎にレポートを提出してもらう。

履修上の留意点

単語の意味等きちんと辞書で調べて内容を吟味してくること。

成績評価の方法

授業態度（授業中の発表）とレポートをもとに評価する。

教 科 書

*The Laughing Man and Other Short Stories*（南雲堂）1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学演習Ⅳ	こ 富 猛 とみ たけし	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会は益々混迷の度を深め、情報化時代はもはや経済問題ひとつとってみても、世界はいかにつながっているかがはっきりとさせてくれた。後期のフォークナーの主要な作品である「スノーブス三部作」は、テーマ的にも興味深い作品で、現代の価値観の多様性を予言しているとも取れるものである。私自身まだスノーブスに関して、勉強不足でもあるので、教科書は前年と同じものですが、さらに角度を変えて読んでみたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

英語という言語がこれからは、ひとつの意志疎通の有効な手段になる時代に入った。英米文学科の学生はさらに話すことも含めて、深く読むことも必要と思われる。フォークナーのやっかいな文体に直接ぶつかることも、文学的修業になると考えて、勉強されることを願うばかりです。独自性のあるものから刺激を受けるわけです。

履修上の留意点

授業の初期にフォークナーについての入門的イントロダクションを行い、その作品の現代的意味を論じたい。予習して出席することを希望します。

成績評価の方法

平常点ならびに、希望者のみレポート提出。後期のみ筆記試験を実施し、総合的に評価します。

教 科 書

*Three Famous Short Novels* by  
William Faulkner  
VINTAGE BOOKS  
A DIVISION OF RANDOM HOUSE

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学演習Ⅴ	あし だ かず ひと 足 田 和 人	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

Mark Twain の短編を読みすすめ、彼の語りの本質を探る。

講義の内容・授業スケジュール

作品を読みながら、ディスカッション形式で授業を行う。

履修上の留意点

予習を前提に授業をすすめる。

成績評価の方法

積極的な授業態度が必須である。出席と授業中の発言や小レポートを平常点とし、前期・後期あわせて2回のレポートを加えて、年間の評価とする。

教 科 書

『マーク・トウェイン選集』（研究社）

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TV ニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。  
Intertextual Analysis のメソッドで行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

## 成績評価の方法

年に2回テストを行う。

## 教 科 書

長谷川潔、L. P. サンダース著 *ASIAN CROSSROADS* (成美堂)

## そ の 他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 英 語	<sup>まち</sup> 町 <sup>い</sup> 井 <sup>やすし</sup> 靖	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト「ビジネス英語」に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファ、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるので、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門的用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

## 履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

## 成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

## 教 科 書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

## 参 考 書 等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ラテン語	佐藤 玖美子	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

この講座は、英米語をはじめとする現代ヨーロッパ言語のより良い理解者となるための、古典ラテン語の基礎知識の習得、とくに文法規則を学び、動詞、名詞の変化に慣れることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

ラテン語の文字及び推定される当時の発音の説明からはじめて、ラテン語の初級文法全般を出来る限りやさしく説明します。また皆さんの興味を少しでも高める目的で、おりに触れて現在私達の知る英語やその他フランス語、スペイン語、イタリア語などのラテン系の言語とのつながり、発展過程などについても話したいと思います。

また、文法の進度に従って、簡単な物語りの講読を行い、ローマの歴史や伝説にも親しんでもらいたいと思います。

履修上の留意点

テキストは…応講義のガイドとして用いますが、内容的にはテキストから逸脱する部分が多いので、必ずノートをとって下さい。また、教室に必ず辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

前期の文法テスト及び後期の翻訳テストの結果に、平常の学習態度、出席状況を加味して成績評価を行います。

教科書

松本悦法著『ラテン語入門』（駿河台出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ギリシャ語	長谷川 岳 男	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違うが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書のある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への(特に近代以降の欧米文化)影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学(例えばヘッセの『車輪の下』)でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をとまなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教科書

田中利光著『新ギリシア語入門』（大修館書店）1994

参考書等

参考となる資料は随時、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 米 文 化	ひろ かわ おさむ 広 川 治	英米文2・3・4	4

## 講義のねらい

映画を文化を映し出す鏡としてとらえ、英米の文化の諸相を映画を通して考察していきたい。映画の他に、美術、音楽、演劇などの芸術文化、大衆文化も考察の対象として講義していく予定である。

## 講義の内容・授業スケジュール

以下の講義内容を基本項目とし、受講者のアンケート結果を見て、最終的に講義内容を決定する。演劇や映画の上演、上映や展覧会等のイベントに合わせてスケジュールは調整、変更されることがある。

- ・聖書の映画化
- ・ギリシア神話と映画
- ・Shakespeare 劇の上演と映画化
- ・イギリス王室の映画／米大統領の映画
- ・映画に見る英米のクリスマス
- ・The Beatles と英米のロック、ポップス
- ・映画で学ぶ英米の地理、歴史
- ・英米文学の映画化
- ・アカデミー賞受賞、ノミネート作品研究
- ・ロンドン、ブロードウェイのミュージカル

## 履修上の留意点

必ず初回の授業に出席して受講許可を得てから履修登録すること。受講人数を制限する場合もある。

## 成績評価の方法

レポート、テストなどを中心として評価する。詳細は第1回の授業で説明。

## 教科書

プリントを配布する予定だが、必要に応じて授業内にて指示する。

## 参考書等

授業内にて説明。

## その他

ビデオ教場を使用し、カセットテープやビデオなど視聴覚資料を活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外 国 文 学	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

シチュエリン、ゴーゴリ、チェホフ等の作家に光をあて、ロシア文学の底流に脈々と流れている批判的リアリズムと諷刺性について考察する。とりわけチェホフ文学の中の“笑い”の要素をとりあげ、そのよってきたる意味を考えていきたい。

授業ではできるだけ多くのビデオや映画をみることにより、それらを通して少しでもロシア文学やロシア人のアイデンティティに触れることができれば幸いと思っている。

## 成績評価の方法

各人に必要に応じて小論文を書いて貰い、提出して貰う。

## 教科書

無し。参考書などはその都度指摘する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
英米思想史	つね した りょう せい 杖 下 隆 英	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

英米思想を理論哲学、道徳思想と必要に応じて法・経済思想等の観点から歴史的、問題的に概観し、英米の文学、思想風土等の解明に資することを目的とする。その場合、英米思想にとってもその源泉である古代ギリシア以来の西欧の思想史的背景を概観し、また、他国の思想をも検討してそれらとの比較を試みることも重要な課題となる。

## 講義の内容・授業スケジュール

前半のかなりの部分は以上の思想史的背景の概観を重視し、後半にかけて英米思想を中心的にとりあげ検討する。

## 履修上の留意点

出席して講義を聴くこと、また、大学教育の一環としても、ノートをとることを練習し、それ以上達することを希望する。

## 成績評価の方法

成績は出欠を加味し、期末の筆記試験によるが、さらに7月か9月に中間試験を行う。

## 教科書

次の書をテキストとして用いる。  
原、井上、杖下、坂部著『西洋哲学史（第3版）』（東京大学出版会）1,700円

## 参考書等

参考書等は必要に応じて授業中に挙げる。

## その他

授業の方法は講義によるが質問を歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代美術	や の よう こ 矢 野 陽 子	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

現代美術は難しい、つまらないという声をよく聞くが、確かにルネサンスや印象派の美術に比べ、現代美術の作品は理解しにくいものが多い。しかし、美術作品は、現代のものに限らず、ただ好きなものを眺めていればわかるというものではない。理解するためには、制作された当時の社会背景や、作者の意図などを正確に知る必要がある。現代美術は、現代という時代と、そこに生きている我々のあり方を反映していると言ってよい。したがって、現代美術の考え方や表現技術を理解することは、我々の生活と決して無関係なものではなく、現代社会の問題点を考える手がかりになりうるだろう。

## 講義の内容・授業スケジュール

現代美術とは、一般に20世紀の美術を言う。この授業では、めまぐるしく変化をとげながら、新鮮で多様な表現を生み出してきた現代美術の流れをつかみ、それぞれの運動、主張、作品の特徴を理解することを目的とする。20世紀の美術は、それ以前の美術の歴史の継承と断絶であるから、19世紀美術から講義を始めることになる。前期では19世紀中頃（写実主義、印象主義など）から20世紀初頭までを、後期では抽象絵画の誕生以降、1960年代の多様な美術までを見ていく予定である。

## 履修上の留意点

美術史を学ぶには、実物を見るが大変重要である。展覧会や美術館に積極的に足を運んでほしい。

## 成績評価の方法

前期レポートと学年末試験で評価する。

## 参考書等

参考図書として、ニコラ・スタンゴス編宝木範義訳『20世紀美術』パルコ出版  
美術出版社編集部編『現代美術入門』美術出版社  
を挙げておく。このほか適宜、授業中に文献を紹介する。

## その他

授業では毎回スライドを使用する。また必要な資料はコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史 I	ひろ 瀬 せ りょう 良 弘	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに①～⑦の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

## 履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれるものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

## 成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

## 教 科 書

とくに指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

## 参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 送 英 語	おお ば なお き 大 庭 直 樹	英米文3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

このクラスでは、ネットで流れている「大庭直樹のホームページ」(www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/gaikoku.html)上の「Lecture notes 1999」に従って課題をこなしていく。

インターネットから流れてくる最新の報道から、「放送英語」を学ぶ。総合情報センター(4号館)の「インターネット」を利用して、世界中の最新の報道(CNN、New York Times)をコンピューターでアクセスする。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく(例えば、ニュース・サイト Patherfinder (http://pathfinder.com/)にあるTime誌、アメリカの日報USA Today、New York Times、あるいはエンターテイメント・サイト (http://www.imdb.com/)にある映画のデータベース、そしてCNN ニュースなど)。しかし、ネット・サーフィンで大切なことは、インターネットを一人歩きし、必要な情報検索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。受講生は、欲しい情報をリアルタイムで直接手に入れ、それをサーバーの自分のフォルダに入れて、情報内容を要約する訓練をする。

受講生は、通信の知識を身につけ、時間と距離を超えて、居ながらにして情報の交換を可能にする方法を学び、各自全員がEメール・アドレスを取得し、電子メールによる情報の交換をする。

受講生は、インターネットの語学学習のホームページを使って、英会話、英文読解、英文作成、TOEFL、TOEICの問題に挑むことができる。教室では、コンピューターを使った語学教材を紹介していくので、受講生は、それらを自主的に利用する。

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピューターを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが第一条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度の下ドキュメントを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

教 科 書

受講者が購入するもの  
教場で指示する

そ の 他

受講生は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室(朝9時より夜9時まで開館)で補修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 作 文 演 習	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文3・4選	4

## 講義のねらい

英語で自己表現ができるようになることを目標にした発信型英作文の演習。「天声人語」くらいの長さの日本語が英訳できるようになることと、短かい一分間くらいのスピーチ原稿が英語で書けるようになることを目標に授業を進める。

## 講義の内容・授業スケジュール

毎時間、英作文の基本文型や話題別の短文による Oral Composition をおこなって基礎の復習をしてから、「天声人語」などを使った最新的话题や名文の和文英訳演習をおこなう。

## 履修上の留意点

地道に、こつこつと、基礎に立ち帰って、毎週英語を書いてみたいという意欲と忍耐力のある学生の参加を期待する。

## 成績評価の方法

毎時間の演習の平常点と、学年末試験の成績を総合して評価する。平常点を重視する。

## 教科書

特定の教科書は用いない。例文の豊富な和英辞典を必ず毎時間持参すること。

## 参考書等

朝日新聞論説委員室編英文対照『天声人語』（第一号から最近までのどれか1冊）（原書房）  
トミー植松著『1分間スピーチ』（ジャパン・タイムズ）  
新編『和英活用人辞典』（研究社）  
F.J. ダニエルズ著『英文を書くための辞書』（北星堂書店）  
笹井常三著『英文ライティング・ハンドブック』（研究社）1,845円

## その他

毎時間、基本文のオーラル・コンポジションと和文英訳の演習を、出席者全員でおこなう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 作 文 演 習	あずま ゆう いち ろう 東 雄 一 郎	英米文3・4選	4

## 講義のねらい

英作文の力を養う。

## 講義の内容・授業スケジュール

対話、主語、時制、述部、法助動詞、比較、仮定表現、名詞節、形容詞節、副詞節、非定形動詞、時制の照応の順に、授業を進めていく。各週の発表者が自分の英文を黒板に書き、それを点検、討議する。授業中に中英和辞典並びに英英辞典を頻繁に引くことになる。年間、300ほどの英文を作ることになるが、履修学生は自分の〈英作文ノート〉を必ず作る。

## 履修上の留意点

発表者でなくとも各週の予習をしておくこと。疑問点を用意しておくこと。遅刻、授業中の私語は一切認めない。

## 成績評価の方法

前期、後期の二回の試験（平常授業内試験）の結果、レポート等により評価を下す。年間の欠席数が3分の1以上の者は評価を拒否する。

## 教科書

『現代英作文』（南雲堂出版）定価1,300円

## 参考書等

英語表現辞典、英作文用例辞典、英文手紙用例辞典等は、授業内において紹介する。

## その他

英作文に関しては、日本語のニュアンスを忠実に英語に移し、しかも「工夫した英語」の名訳であるという一種の完全主義を目指すことより、あくまでも基本的な英語を用いて、反射的に英語が出てくるようにすることが大切。2年次で培った基礎力をさらに強化してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語学演習 I	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文3・4選	4

講義のねらい

英語音声学の演習を、Speech in Action の理論と実践を中心におこなう。前期は英語の Rhythm と Rhyme の研究、後期は Rhythm と Stress (Emphasis) の研究。Public Reading と Public Speaking と Oral Interpretation の演習である。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間、音声教材として、演説、演劇の名場面、映画シナリオの名場面、長篇小説の名場面、短篇小説、随筆、聖書などの技粋集と、その録音史料を使って、リズムと強勢の研究をおこなう。

履修上の留意点

講義でなく、演習なので、毎時間、英文の効果的な音声表現法の実習をおこなう。美しくて達意の英語音声表現法を探究し習得したい学生の参加を期待する。

成績評価の方法

平常の授業の発表とレポートの両方で評価する。学年末試験はおこなわない。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

*Speech in Action*, by Karl F. Robinson and Charlotte Lee, Scott, Foresman and Company

その他

Old English の *Beowulf* から Ronald Reagan の Second Inaugural Address まで、テープや LP に録音された数機を使ってリズムと強勢の分析をおこなう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語学演習 I	PIERCE, D. M. ピアス, D. M	英米文3・4選	4

講義のねらい

The members of this class are very special students. Since you are majoring in English-American Literature, I expect that want to use English your whole lives as English teachers, Professors, interpreters, translators, travel agents, and international businessmen. The course is therefore career oriented for students who seek careers as specialists in English. Without the ability to speak English, you cannot be successful ; the course provides an important opportunity to learn to speak English fluently. You will be speaking English for the full ninety minutes of every period. Choose this class only if you sincerely want to improve your ability to speak English ; a lot of effort is required. To the purpose of scoring well in TOEFL, TOEIC, EIKEN, etc., there will also be intensive practice in lecture comprehension and composition. The course furthermore prepares you to extend your English proficiency with intensive English study programs overseas and foreign exchange programs.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 学 演 習 II	さ とう しん じ 佐 藤 真 二	英米文3・4選	4

## 講義のねらい

文法を中心として、様々な英語の変種 (Varieties of English) に関する考察を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを読んで英語の varieties に関する知識を得ることから始めて、資料を用いて実際にそうした変種に接することへ進み、最終的には学生が自分で資料を収集し、分析、発表することへ展開する予定。文法が中心であるが、語彙や発音も勿論含まれる。

考察する内容は以下の通り。

- 1) 地域による差異 (British English と American English、方言など)
- 2) 階級による差異 (上流階級の英語、下層階級の英語など)
- 3) 媒体による差異 (話し言葉の英語、書き言葉の英語など)
- 4) 談話の場による差異 (formal な英語、informal な英語など)
- 5) その他

## 履修上の留意点

夏休みに、自分でテーマを決定し、資料を収集し、分析を行うというレポートをまとめ、後期の授業で発表してもらう。そのため、普段から様々な英語に接していることが必要となる。また、テキストは原書の文法書を用いるため、相応の英語力が要求される。

## 成績評価の方法

上記のレポートと発表及び出席で評価する。

## 教 科 書

“*A Communicative Grammar of English*” Second Edition (Longman) 1994

## 参 考 書 等

David Crystal, *The English Language* (Penguin Books)  
Ed. Tom McCarthur, *The Oxford Companion to the English Language* (Oxford UP) 1992  
Jon Blundel et al. *Function in English* (Oxford UP) 1982  
その他教場において紹介する。

## そ の 他

始めは講師が指導するかたちになると思うが、徐々に、学生が中心となる作業に移行してゆく。具体的な進め方に関しては、教場にて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 学 演 習 Ⅲ	まち だ なお こ 町 田 尚 子	英米文3・4選	4

講義のねらい

英語はどのような言語でしょうか。「英語の歴史は侵略 (invasion) の歴史である」と言われるのはなぜでしょうか。ヨーロッパの諸言語と比べて、語形変化でことばの約束事=文法を示すことがとても少なくなり、語順や助動詞、前置詞などの比重が高くなっています。語彙数は世界の言語の中で最も多い50万語。そのうちの約3割強が語属を異にするロマンス語のフランス語とラテン語からの借入語です。借入による同義語の多さは、英語の表現力を豊かにすると同時に、微妙な使い分けを直感的に求めることにもなりました。これは外国人の英語学習者にとっては、とりわけ厄介な問題です。また、英語を母語とする人達も煩雑だと認める綴字と発音の不一致は、なぜ生じたのでしょうか。「ことばは変わる」という観点から英語の諸特徴を歴史的に考察します。

講義の内容・授業スケジュール

Charles Barber, *The English language : a historical introduction* を主なテキストとして、言語学・英語学の基礎知識を復習した後、次の項目を中心に授業を進めていきます。

- 1) 英語の歴史的概観
- 2) 英語の語彙：言語接触と借入
- 3) 文法
- 4) 語の意味
- 5) 発音と綴字
- 6) 標準語と方言：辞書：規範文法

資料に基づく簡単な課題の提出をもとめます。

成績評価の方法

前期末と後期末の筆記（論述）試験と授業中の課題レポートの成績で評価します。

教 科 書

Charles Barber, *The English language : a historical introduction* (Cambridge U. P.) (ISBN 0521 42622 7 paperback) 2,500円（予定）  
ハンドアウト・プリント コピー

参 考 書 等

A. C. Baugh T, Cable *A History of the English Language* (4th edition) Routledge  
Stanley Hussey, *The English Language : Structure Development* (Longman)  
David Crystal 『クリスタル：英語史入門』（金星堂）  
松浪有（編）『英語学コース〔1〕：英語史』（大修館書店）  
その他、問題に即した参考書をその都度、授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 学 演 習 IV	ひ やま すずむ 椛 山 晋	英米文3・4選	4

講義のねらい	基本文法を学びながら、初歩的な古英語文献を読む。同時に英語史における古英語の位置を確認し、現代英語の理解向上に役立てる。
講義の内容・授業スケジュール	事前に英語史を扱った本の「古英語・中英語」章を読んでおくこと。書名等は問わない。
成績評価の方法	出席・予習を重視。
教 科 書	森田貞雄・三川基好・小島謙・『古英語文法』（大学書林）4,010円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 学 演 習 V	Blanken, David L. (ブランケン, D. L.)	英米文3・4選	4

講義のねらい

To develop listening and reading skills for English proficiency tests like TOEFL, TOEIC and the STEP (Eilen) series. The specific goals are to (1) develop student aural-oral ability; (2) abet vocabulary mastery necessary for reading ability; and (3) underpin these skills with relevant grammatical knowledge.

講義の内容・  
授業スケジュール

Spring Semester

Week1: TOEIC materials & methods  
Week2-6: Presentation of topics: drills  
Week7: Sample TOEIC Test 1  
Week8-12: Presentation of topics: drills  
Week13: Sample TOEIC Test 2  
Week14: Analysis of test performance

Fall Semester

TOEFL materials & methods  
Presentation of topics: drills  
Sample TOEFL Test 1  
Presentation of topics: drills  
Sample TOEFL Test 2  
Analysis of test performance

Homework is a major part of this course. This means doing sample exercises and reading passages from the textbook and prints for 30-45 minutes a day. Homework will be checked: the more you do, the better your progress. Also, the instructor will suggest further materials for each student. It is optional, but highly recommended.

履修上の留意点

Half of each class will cover listening, the other half reading. Several points & concepts will be introduced each week. Aural testing will proceed each week: reading and grammar testing will occur every second week.

Two full sample TOEIC tests will be given in class in the first semester, and two full TOEFL tests in the second. Students will also be encouraged to register for actual TOEIC and TOEFL tests in the second semester or afterwards.

To the students: You will be expected to attend class on time and do your best to understand the material. Be positive in class and study regularly at home. About 30-45 minutes each day is enough - you will lose concentration if you work longer.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded as follows: (1) classwork, the use of the textbook & prints, 25%; (2) classwork, attendance and performance, 25%; (3) homework, amount of exercises and readings done, 25%; and (4), test performance in terms of progress shown, 25%.

教 科 書

To be announced in class and supplied by the instructor. Also, there will be printed exercises and readings given each week.

参 考 書 等

Materials Each student must bring an English-English dictionary to class. The instructor will give advice on suitable dictionaries in the first meeting.

Students are urged to have Internet access or E-mail addresses. The instructor will post information and news, and students may access TOEIC and TOEFL, as well as EIKEN and even SAT sites for materials.

科目名	担当者名	配当学科	単位
オーラル・イングリッシュ	Natusch, Barry A. (ナトウシュ, B. A.)	英米文3・4選	2

講義のねらい

To improve students' productive proficiency in speaking.

講義の内容・  
授業スケジュール

Warm Up Activities

Students converse using simple telephone dialogues to practice listening, note taking, pronunciation and speaking skills. (Pair work)

Vocabulary Expansion

Quizzes on word definitions and synonyms based on a weekly theme to extend active vocabulary usage. (Pair and team work)

Fluency Development

Exercises using fixed expressions to develop fluency. (Pair and group work)

Listening for Main Points

Retelling a news item after 2 – 3 repetitions of a short talk. (Individual)

成績評価の方法

Class attendance, quiz performance, participation in asking questions, communicative performance, two written tests at end of Semesters 1 and 2, video project.

教科書

*Real Life Spoken English* Series 2 (3 small workbooks)  
Photocopied materials will also be used.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
オーラル・イングリッシュ	Hubbard, William D. (ハバード, W. D.)	英米文3・4選	2

講義のねらい

The aim of this course is to address the special needs of Japanese college-age students in developing their language skills further by giving them opportunities to practice using English they already know. Topics are dealt with in a refreshing and unique manner so as to keep students interested and motivated throughout the academic year.

講義の内容・  
授業スケジュール

Topic covered during the academic year :

- ・ Exchanging personal information
- ・ Making friends
- ・ Hometowns
- ・ Talking about the past
- ・ Personal experiences
- ・ High school days
- ・ Appearances
- ・ Describing people
- ・ Vacations
- ・ Money
- ・ Weekend activities
- ・ The future
- ・ Sports
- ・ Traveling in Japan
- ・ Interesting lifestyles

成績評価の方法

Final grade will be determined by attendance, class participation, and test scores.

教 科 書

Class textbook is *Changing Times* by Dale Fuller and Linda A. Fuller.  
Published by Macmillan Languagehouse Ltd., Tokyo

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	リアーディ, N	英米文3・4選	2

## 講義のねらい

To improve the student's listening and speaking ability to a degree where they are able to take the STEP Test Grade 1 by the end of the academic year or early in the following year :

講義の内容・  
授業スケジュール

The first semester will be concerned with improving the student's Listening and Speaking ability. As listening seems to be one of the rather weak points of most students, they will be taught in such a way that they should be able to listen and comprehend a variety of English sentences with comparative ease.

The second semester will place emphasis on speaking and writing.

Here, the students will be given ample opportunity to construct compositions on a wide variety of subjects and present them individually to the class as a whole. Any mistakes in grammar, intonation, reading speed and pronunciation, etc, will be corrected by the instructor during the above-mentioned presentations.

Thus, by the end of the year, most students should be ready to sit for the STEP Test and pass it with confidence.

The method of improving the student's listening ability in the first semester will be attained by individual and group training. We will be using a textbook and tapes during this time in order to train the student's ear in listening to and comprehending English spoken at normal speed.

In the second semester, individual presentations should serve to break down any inhibitions that the student might have with regard to speaking before a group of people.

As the student is giving his or her presentation, the instructor will carefully correct any mistakes being made as mentioned above.

## 成績評価の方法

There will be two principle tests during the academic year : one in the first semester and one in the second. However, the student will be able to earn additional points for the content and quality of his or her presentations given in the second semester.

At the end of the academic year, all grade will be added together and divided by two. This will constitute the final grade.

## 教 科 書

In the first semester we will be using a textbook [the level of which will be decided on the ability of the class as a whole]. There is a set of tapes that come with the textbook, and copies of these can be obtained from the instructor before the end of the semester.

In the second semester, we will probably be using the materials for the STEP Test Grade I. These will be supplied by the instructor.

The only article that the student is required to purchase is the textbook used in the first semester. All other materials : tapes, STEP Test materials, etc, will be supplied by the instructor.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	Lane, Ronald V. (レイン, R. V.)	英米文3・4選	2

講義のねらい

This discussion-oriented class will provide students with the opportunity to improve their ability to think logically, formulate opinions and express those opinions effectively in English.

講義の内容・授業スケジュール

Students will be provided with handouts on topics ranging from the *Daily Yomiuri* advice column ["The Troubleshooter"] to short newspaper articles dealing with high-interest cultural issues. Students are expected to have read the handouts carefully before class such that during each class students will be able to discuss the content of the handout intelligently with direction and support from the instructor. At the conclusion of the discussion of each handout, students will prepare a short class presentation on a topic to be assigned by the instructor.

成績評価の方法

Students will be graded regularly during the year on class preparation, participation and the quality of class presentations.

教 科 書

handouts

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年 次 ゼ ミ	あずま 東 ゆう いち ろう 雄 一 郎	英米文3必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文4選	

講義のねらい

植民地時代から現在にいたる主要なアメリカ詩・詩人を取り上げ、アメリカ詩の変遷、発展を考えて行きます。詩の言語的イメージに加え、視覚・映像的イメージを楽しむために、各時代又は芸術思潮に特徴的な絵画、ポスター、写真等もあわせて見て行きます。多くの詩人たちが感じ、思考し、観て唄ったその時折のアメリカ、その歴史、そして現在、アメリカが抱えている様々な矛盾、人々が共有している大きな喜び、巨大なテクノロジーと個の自由、規制と解放、複合性と単一性、都市と自然、America in Poetryを通じて、思い思いのパッチワークを完成させてください。このゼミの成績評価は、参加者の授業時における発表内容と、ゼミ論集への提出レポートを基盤とします。テキスト、その他の参考文献は、開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
3 年 次 ゼ ミ	あら 井 よし お 荒 井 良 雄	英米文 3 必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文 4 選	

## 講義のねらい

この英語演劇ゼミナールの主題は、「シェイクスピアの英語と英国ルネッサンス文化」と「英米演劇の英語と文化」である。この二つのテーマを中心に、音声学の発音音声法や英米演劇の映画化作品も研究対象とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

シェイクスピアの喜劇『十二夜』と、ワイルドの喜劇『まじめが大切』をテキストにして、喜劇論の批判も取り上げる。

## 履修上の留意点

シェイクスピア劇、英米演劇、音声学（発音発生と朗読法）に関心のある学生の参加を希望する。

## 成績評価の方法

毎時間の発表とレポートと学年末の成績を総合して評価する。

## 教科書

*Twelfth Night* (大修館書店) 2,500円  
*The Importance of Being Earnest* (北星堂書店) 1,359円

## 参考書等

*The Complete Works of Shakespeare* (Alexander Text), Collins.  
小田島雄志訳『シェイクスピア全集』(白水社) ほか。  
*The Complete Works of Oscar Wilde*, Collins.  
西村孝次訳『オスカー・ワイルド全集』(青土社) ほか。

## その他

毎時間、発表形式で授業を進めるので、出席を重視する。学生主体の授業運営を期待する。ゼミ論集出版のため、前期と後期に小論文を提出することになる。それを覚悟の上でゼミに参加するかどうかを判断すること。“Decision is yours, not mine.”

科目名	担当者名	配当学科	単 位
3 年 次 ゼ ミ	かわ 崎 まさ とし 河 崎 征 俊	英米文 3 必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文 4 選	

## 講義のねらい

イギリスの14世紀は、百年戦争、農民一揆、黒死病の流行、政治的闘争など、多彩な時代であった。と同時に、英語が復権し、騎士道精神華やかにし時代でもあった。この時代に現れた詩人ジェフリー・チョーサーはこのような時代の特徴をすべて吸収し、その独特なパーソナリティーをとおして、イギリス文学の特性ともなるヒューモアとか風刺の精神を、いわゆる、デタッチ・ドな態度で描いている。そして、この詩人は当時の宮廷と深く関わりながら、ウェルギリウス、オウィディウスといったラテン詩人や、ダンテ、ボッカチオといったイタリア詩人、およびギョーム・ド・ロリス、ジャン・ド・マン、ジャン・フロワサルといった中世フランス詩人たちの古典文学に通じ、当時のイギリスに初めて文学らしきものを確立したと言われている。この詩人の作品を精読しながら、イギリス文学および英語のものと姿をとらえ、学習・研究の幅を広げるのが、このゼミのねらいである。

## 講義の内容・授業スケジュール

チョーサーの作品を中心に、14世紀の英語の発音の仕方や文法を学習し、当時の英語が基本的に読めるように授業を進めたい。ある段階において、各自に課題を課し、自発的なゼミ運営を計りたい。

## 履修上の留意点

ノート整理を怠らず、着実な研究姿勢を身につけてもらいたい。

## 成績評価の方法

年1回の筆記試験およびレポート課題が中心であるが、平常時の学習態度をもとにして総合的に判断する。

## 教科書

教科書は、A. C. Baugh 版をコピーにして使用する予定。

## 参考書等

参考書は、授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	佐藤真二	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

講義のねらい

Charles Dickens の最初の長編小説である *The Pickwick Papers* を材料として、作品の中に含まれる、様々なタイプの英語に関して、主に英語学的観点から考察を行う。

講義の内容・授業スケジュール

主として考察する事項は以下の通りである。

1) 登場人物が用いる英語

19世紀のイギリスが舞台であるこの作品には、様々な階級に属する様々な人物が登場する。そこで、こうした人物たちの地位や身分の相違を表現する要素のひとつである、人物たちが使う英語に関して、語彙、文法、音声などの面から考察する。考察に際しては、テキストは勿論、映画や朗読テープ等を利用して、比較研究する。映画や朗読テープにおいて、非標準的な英語をどの様に発音され、どの様な特徴が強調されているのかなどを分析するなどの作業を行いたい。

2) その他、Dickens の英語の諸特徴にもふれ、その全体像を展望したい。

3) 原作と朗読台本の比較研究

Dickens は劇を愛好し、晩年には、自らの作品を、聴衆を前にして公開朗読し、熱烈な歓迎を受けた。この *The Pickwick Papers* からも、2つのエピソードが朗読台本化され、人気を博した。そこで、主に文字を媒体とする原作と、声を媒体とする朗読台本との間に、文体などの表現様式の違いが在るのか否か等を検討する。

4) Dickens は言葉を実際に口に出しながら執筆をしていたというエピソードがあるが、その英語のリズム等を体感するためにも、作品を実際に音声化して読むことも、重要な作業の一環である。それゆえ、学生にもそうした作業をおこなってもらおう。

5) 文学的にも深い読み込みをめざしたい。

履修上の留意点

夏休み中に、800ページほどの原作を原書で通読し、レポートをまとめてもらうため、相応の英語力が必要となる。また、前期では毎回1～2章ずつ読み進み、毎回全員に意見を発表してもらうことになるので、毎回予習のうえ、欠席せずに出席することが要求される。

成績評価の方法

毎回の授業内の発表と、夏休み中にまとめたレポート（後期に発表）で評価する。

教科書

Charles Dickens, *The Pickwick Papers*, (Everyman) (Paperback)  
Ed. Philip Collins, *Sikes and Nancy and Other Public Readings* (Oxford UP)

参考書等

John Forster, *The Life of Charles Dickens* (Everyman)  
Angus Wilson, *The World of Charles Dickens* (Penguin)  
小池 滋『ディケンズ—十九世紀信号手』(冬樹社)  
松村昌家編『ディケンズ小事典』(研究社)

その他随時紹介する。

現在使用を予定している映像資料と音声資料は以下の通りである。

映像資料：*The Pickwick Papers* (1952, directed by Noel Langley)

音声資料：*The Pickwick Papers* (1988, read by Paul Scofield)

*The Pickwick Papers* (1997, dramatised by Martyn Read)

'The Case of Bardel vs Pickwick' (read by Laurence Olivier)

*An Audience With Charles Dickens* (performed by Simon Callow)

*Dickens - The Sparkler of Albion* (performed by Geoffrey Harris)

その他

夏休み中に、原作と朗読台本の比較研究を中心とした合宿を行う予定。(自由参加)

科目名	担当者名	配当学科	単位
3 年 次 ゼ ミ	ま とう ち はる 佐 藤 千 春	英米文 3 必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文 4 選	

講義のねらい

19C. アメリカ・ルネッサンスには二つの流れがある。一方はエマソンを代表とするオプティミスティックな思想、もう一方はホーソンを中心としたペシミスティックな思想である。これが特にホーソンの場合、その人間観、世界観などにどのような形で表われているか、他の作家たちとも比較しながら調べ、さらにアメリカ・ルネッサンスという時代の特徴を探ることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

ホーソンの作品を精読し、その間、これらの作品と共通、あるいは対照的な他の作家の作品なども紹介して行く。

履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので十分な予習をもって授業に臨んでほしい。作品の訳読、ならびに難解な部分の説明を求める形式で進めて行く。

成績評価の方法

授業の最終時に、作品の和訳ならびに作品の解釈上の説明を求める形式のテストを予定し、あわせて原稿用紙（400字詰）5～10枚程度の課題を出し、これにもとづいて評価する。

教科書

*Nathaniel Hawthorne, Selected Tales & Sketches*  
(Penguin Classics)

参考書等

授業内において、その都度紹介して行く。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3 年 次 ゼ ミ	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文 3 必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文 4 選	

講義のねらい

このクラスではコンテンポラリー文学、特にリアリズムの作家、レイモンド・カーヴァーの『頼むから静かにしてくれ (Will you Please Be Quiet, Please ?)』をメインの作品として学習する。また、関連のリアリズム作家、Ann Beattie, Tobias Wolff, Bobbie Ann Mason などの作品も学習していく。そして、リアリズム作家と比較しながら他のポストモダン作家のトーマス・ピンチョンの作品にも目を通して行く。最終的には、これらのコンテンポラリー文学と映画、文化、言語の関係を深く理解する。

成績評価の方法

後期にレポート提出とする。

その他

ビデオを使用する。英語で授業を行う。



科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	すぎ杉 うれ浦 ぎん銀 さく策	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

講義のねらい	F. Scott Fitzgerald は第一次世界大戦後の時代における「アメリカの夢」(the American Dream) とその崩壊の過程と運命をともにした作家といえるのだが、この授業では彼の代表作を味読することによって、1920年代の〈バブル〉(the Great Boom) の意味について考える。
講義の内容・授業スケジュール	<i>The Great Gatsby</i> (1925) のさわりの部分を原語で読みながら、物語の構造と意味の理解を深める。
履修上の留意点	翻訳(新潮社文庫)を各自購入し、内容の把握につとめることが望まれる。
成績評価の方法	成績評価の方法は授業が始まってから考える。
教科書	テキストは F. Scott Fitzgerald, <i>The Great Gatsby</i> (英潮社) を駒大書房にて購入すること。
参考書等	参考文献は教場で指定する。
その他	授業の方法は、演習形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	たかの野 まさ正 お夫	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

講義のねらい	1930年代に最も活躍し、そして最も典型的な詩人であった W. H. Auden は、1939年1月にアメリカに渡った後アメリカに住み続け、代表的な長編詩を次から次へと発表していった。激動の時代を常に放浪者として生きながら、故国イギリスを離れて自由の地アメリカで新たな詩作の生活を歩み出した、1939年以降のオーデンの詩を読んでいく予定です。
履修上の留意点	積極的に提起された問題をそれぞれの視点から捉えること。
成績評価の方法	前期のレポートや後期の試験だけでなく、授業中の発表や出席状況により評価する。
教科書	W. H. Auden, <i>Collected Shorter Poems 1927~1957</i> (Faber)を使用する。
その他	毎時間、1、2名に発表してもらいながら授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	たかまつ ゆういち 高松雄一	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

## 講義のねらい

ジェイムズ・ジョイスの短篇集『ダブリンの市民』を読む。ジョイスは20世紀のモダニズム文学を代表する作家の一人で、国際的な評価を得ているが、その作品はすべて、自分が生れ育ったダブリンの社会と人々の生態を描くことに終始した。『ダブリンの市民』は彼の第一作だが、世紀末から20世紀初頭にかけての人々の日常生活の種々相を、丹念な写実的手法によって、時に鋭く、時には暖かく描きだしている。当時のアイルランドの政治的、宗教的背景も織りまぜられている。これを踏まえて、ジョイスの小説世界の原点とも言うべき作品群を読みほぐしてゆきたい。

## 履修上の留意点

ジョイスの丹念な文体を理解するためには精密な訳読が求められる。受講者はしっかり辞書を引いて考える習慣をつけてもらいたい。

## 教科書

工藤好美・米本義孝注 *Dubliners* 『ある出会い』他 (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	なか おか ひろし 中岡洋	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

## 講義のねらい

イギリス小説を扱いながら、それを分析研究する知識と方法を身につけていくことをねらいとする。ただしただ単に小説を読み、物語を知るだけにとどまらず、文学全体、さらには学問全体に眼を開き、柔軟な発想ができるようになることが望ましく、そのためにはたくさんの本を読むことを心がけてほしい。方法論は各種さまざまなものがあるけれども、自分がもっとも有効に使いこなすことができるのはどのような方法であるかを発見してもらいたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

具体的には Emily Brontë (1818-48) の *Wuthering Heights* (1847) を材料にして、学生が順番を決めて順次各章から感銘ぶかい箇所を選び、テキストを読み、解釈をほどこし、感想を述べ、みんなで討論する。英語のテキストを正確に読みこなすのは当然、そこから何を読み取るかという主体的問題にまで勉強を深めていく。腰を落着けてじっくりと勉強するのも学生時代には特に重要なことである。なお学年末に『中岡ゼミ論集』を発行し、これが勉強の成果として形に残る。すでに先輩たちの残したものが多数あるので、参考になるであろう。またそれらがそれなりの伝統を形成しており、その伝統に進んで参加されるよう希望する。

## 履修上の留意点

出席に励むこと。毎年経験であるが、3年次から4年次への急激な成長ぶりは驚嘆すべきものがあり、単なる知識の詰め込みに終わらないよう各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

## 成績評価の方法

出席回数と発表成果によって評価する。

## 教科書

Emily Brontë, *Wuthering Heights* (Penguin classics)

## 参考書等

非常に豊富な資料があるので、教場で適宜指示する。

## その他

ゼミは学生の所属クラスであるから、そのまま卒業論文に繋げるように努力しよう。4月には新入ゼミ生歓迎会、夏休みには夏合宿、秋には秋合宿、2月には謝恩会、3月には卒業祝賀会を行う予定で、そのための費用がかかる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
3 年 次 ゼ ミ	ふじかわ よしゆき 富 士 川 義 之	英米文 3 必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文 4 選	

## 講義のねらい

Walter Pater の *The Renaissance: Studies in Art and Poetry* を読みながら、唯美主義とは何かについて考察したい。『ルネサンス』は、19世紀後半のヨーロッパで開花した唯美主義批評の、イギリスにおける代表作である。初版の刊行は1873年、つまりペイター33歳のときの作品で、著者の処女作にあたる。表題が示すように、これは、ルネサンス時代の画家・彫刻家・詩人・学者などの肖像を優雅典麗な文体を駆使して描くことを通じて、ペイター自身の芸術観、文学観、さらには人生観を提示しようとする野心的な意図をもつ、極めて独特なルネサンス論の古典である。扱われているのは、ボッティチェリ、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロなどルネサンス時代の巨匠たちであるが、副題が示すように、これは文学と絵画の相関関係を探る批評的著作でもある。これが、ワイルドをはじめとする世紀末の文学と芸術にあたえた影響は莫大なものがある。そうした文化史的背景についても当然触れることになる。

講義の内容・  
授業スケジュール

ペイターの精緻な文体を理解するためには、何よりも精密な読解力が要求される。丹念に辞書をひいて積極的な読解に挑んでほしい。あらかじめ発表部分をあておくので、そのつもりで授業に出席してほしい。議論を重視するつもりだから、遠慮しないで発言してもらいたい。

## 成績評価の方法

出席は毎回とる。成績はレポートと発表で評価する。

## 教 科 書

田部重治注 *The Renaissance* (北星堂書店)

## 参 考 書 等

富士川義之『ある唯美主義者の肖像』(青土社)

# 1 專門教育科目

## (3) 地 理 学 科



# 1 専門教育科目

## (3) 地理学科

自然地理学概論(小池一之) .....	119
自然地理学概論(長沼信夫) .....	120
人文地理学概論(桜井明久) .....	120
人文地理学概論(竹内啓一) .....	121
自然地理学実習〈地図学実習含む〉(早船元峰) .....	122
〔平成9年度以前入学生：自然地理学実習〈地図学実習含む〉A〕	
自然地理学実習〈地図学実習含む〉(小池一之) .....	122
〔平成9年度以前入学生：自然地理学実習〈地図学実習含む〉B〕	
自然地理学実習〈地図学実習含む〉(長沼信夫) .....	123
〔平成9年度以前入学生：自然地理学実習〈地図学実習含む〉C〕	
自然地理学実習〈地図学実習含む〉(高木正博) .....	123
〔平成9年度以前入学生：自然地理学実習〈地図学実習含む〉D〕	
自然地理学実習〈地図学実習含む〉(中村和郎) .....	124
〔平成9年度以前入学生：自然地理学実習〈地図学実習含む〉E〕	
人文地理学実習〈地図学実習含む〉(藤島範孝) .....	124
〔平成9年度以前入学生：人文地理学実習〈地図学実習含む〉A〕	
人文地理学実習〈地図学実習含む〉(桜井明久) .....	125
〔平成9年度以前入学生：人文地理学実習〈地図学実習含む〉B〕	
人文地理学実習〈地図学実習含む〉(土谷敏治) .....	126
〔平成9年度以前入学生：人文地理学実習〈地図学実習含む〉C〕	
人文地理学実習〈地図学実習含む〉(小田匡保) .....	127
〔平成9年度以前入学生：人文地理学実習〈地図学実習含む〉D〕	
人文地理学実習〈地図学実習含む〉(須山聡) .....	127
〔平成9年度以前入学生：人文地理学実習〈地図学実習含む〉E〕	
人文地理学実習〈地図学実習含む〉(竹内啓一) .....	128
〔平成9年度以前入学生：人文地理学実習〈地図学実習含む〉F〕	
人文地理学実習〈地図学実習含む〉(佐藤哲夫) .....	128
〔平成9年度以前入学生：人文地理学実習〈地図学実習含む〉G〕	
地理学調査法〈現地調査含む〉A(須山聡) .....	129
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法〈現地調査含む〉〕	
地理学調査法〈現地調査含む〉B(高木正博) .....	129
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法〈現地調査含む〉〕	
地理学調査法〈現地調査含む〉C(中村和郎) .....	130
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法〈現地調査含む〉〕	
地理学調査法〈現地調査含む〉D(藤島範孝) .....	130
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法〈現地調査含む〉〕	
地理学調査法〈現地調査含む〉E(早船元峰) .....	131
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法〈現地調査含む〉〕	
地理学調査法〈現地調査含む〉F(小池一之) .....	131
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法〈現地調査含む〉〕	
地理学調査法〈現地調査含む〉G(土谷敏治) .....	132
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法〈現地調査含む〉〕	
地理学調査法〈現地調査含む〉H(竹内啓一) .....	132
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法〈現地調査含む〉〕	

地理学調査法〈現地調査含む〉I (佐藤哲夫)	133
[平成9年度以前入学生：地理学調査法〈現地調査含む〉]	
地理学調査法〈現地調査含む〉J (長沼信夫)	134
[平成9年度以前入学生：地理学調査法〈現地調査含む〉]	
地理学調査法〈現地調査含む〉K (桜井明久)	134
[平成9年度以前入学生：地理学調査法〈現地調査含む〉]	
地域概論 (須山聡)	135
[平成9年度以前入学生：地誌学概論]	
地理学演習I A (長沼信夫)	136
[平成9年度以前入学生：地理学演習I]	
地理学演習I B (佐藤哲夫)	136
[平成9年度以前入学生：地理学演習I]	
地理学演習I C (竹内啓一)	137
[平成9年度以前入学生：地理学演習I]	
地理学演習I D (中村和郎)	137
[平成9年度以前入学生：地理学演習I]	
地理学演習I E (早船元峰)	138
[平成9年度以前入学生：地理学演習I]	
地理学演習I F (高木正博)	138
[平成9年度以前入学生：地理学演習I]	
地理学演習I G (土谷敏治)	139
[平成9年度以前入学生：地理学演習I]	
地理学演習I H (藤島範孝)	139
[平成9年度以前入学生：地理学演習I]	
地理学演習I I (須山聡)	140
[平成9年度以前入学生：地理学演習I]	
地理学演習I J (桜井明久)	140
[平成9年度以前入学生：地理学演習I]	
地理学演習I K (小田匡保)	141
[平成9年度以前入学生：地理学演習I]	
地理学演習II (小田匡保)	141
地理学演習II (小池一之)	142
地理学演習II (桜井明久)	142
地理学演習II (佐藤哲夫)	143
地理学演習II (須山聡)	144
地理学演習II (高木正博)	144
地理学演習II (竹内啓一)	145
地理学演習II (土谷敏治)	146
地理学演習II (早船元峰)	147
地理学演習II (藤島範孝)	147
地理学演習II (中村和郎)	148
地理学演習II (長沼信夫)	148
巡検 C (小田匡保)	149
地函学 (柳瀬訓)	149
函学実習 (清水長正)	150
日本地誌 (休講)	
外国地誌特講 (梅原弘光)	150
文化生態学 (中俣均)	151

ア	ジ	ア	地	誌	(佐藤哲夫)	.....	152		
ア	メ	リ	カ	地	誌	(須山聡)	..... 153		
ヨ	ー	ロ	ッ	地	誌	(桜井明久)	..... 154		
経	済	地	理	学	(生井沢進)	..... 154			
経	済	地	理	学	特	講	(須山聡) ..... 155		
村	落	地	理	学	(藤島範孝)	..... 155			
地	形	学	学	(小池一之)	..... 156				
地	形	学	実	習	(清水長正)	..... 156			
社	会	地	理	学	(宮口侗廸)	..... 157			
交	通	地	理	学	(土谷敏治)	..... 157			
外	書	講	読	(休講)					
気	候	学	学	(中村和郎)	..... 158				
気	候	学	実	習	(中村和郎)	..... 159			
水	文	学	学	(長沼信夫)	..... 159				
水	文	学	実	習	(高木正博)	..... 160			
都	市	地	理	学	(休講)				
人	口	地	理	学	(大友篤)	..... 160			
歴	史	地	理	学	(小田匡保)	..... 161			
歴	史	地	理	学	実	習	(小田匡保) ..... 161		
地	球	物	理	学	(柳田誠)	..... 162			
土	壤	地	理	学	(漆原和子)	..... 162			
生	物	地	理	学	(清水善和)	..... 163			
環	境	地	理	学	(早船元峰)	..... 164			
地	理	思	想	史	(休講)				
計	量	地	理	学	(土谷敏治)	..... 164			
計	量	地	理	学	実	習	(土谷敏治) ..... 165		
測	量	学	学	(小池一之)	..... 165				
リ	モ	ー	ト	セ	ン	シ	ン	グ	(佐藤哲夫) ..... 166
文	化	地	理	学	(小田匡保)	..... 167			
第	四	紀	学	(鈴木毅彦)	..... 168				
応	用	地	理	学	(高木正博)	..... 168			
地	域	計	画	論	(今野修平)	..... 169			
地	理	情	報	論	(村山祐司)	..... 170			
現	代	地	理	学	特	論	(長谷川均) ..... 171		
地	理	学	特	講	I	(休講)			
地	理	学	特	講	II	(生井沢進) ..... 171			
地	理	学	特	講	III	(沖野行男) ..... 172			
地	理	学	特	講	IV	(竹内啓一) ..... 173			
地	理	学	特	講	V	(中村和郎) ..... 174			





科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学概論	こ いけ かず ゆき 小 池 一 之	地理 1 必	4

講義のねらい

周囲を海に囲まれ山がちな日本列島の自然は変化に富んでいる。この講義は地理学科に入学したばかりの学生に対して、日本列島の成立と多様な自然環境について解説するものである。まず、自然地理学の基礎的概念を説明し、次いで、日本列島を特徴付ける代表的な自然についてふれていく。同時に、関連する世界各地の自然も紹介する。時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：

1. 自然地理学の基礎的概念
2. 地球の歴史と第四紀、
3. 第四紀の気候変化と海面変化
4. 人間活動と自然環境の変化
5. 地球温暖化にまつわる諸問題

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修しなかった学生にも理解できるよう出来るだけ基礎的概念から説明する予定である。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価するが、出席点や時に応じて与える課題の提出状況などを3割ほど加味する。

教 科 書

小池・太田編『変化する日本の海岸』（古今書院）2,884円

参 考 書 等

日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,200円  
 小池一之・坂上寛一ほか著『新版地学教育講座⑨「地表環境の地学－地形と土壌」』（東海大学出版会）2,575円  
 小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

そ の 他

プリント類を配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学概論	なが ぬま のぶ お 夫 長 沼 信 夫	地理 1 必	4

講義のねらい

地理学を専攻する学生諸君のために、自然地理学的な立場から基礎的知識を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、第四紀時代における自然環境の変遷を中心に行っていく。その講義概要は次の通りである。

- 1) 地理科学における自然（地理学）とは
- 2) 最新の地質時代である第四紀の特徴とその自然環境
- 3) 身近かな地形の在り方とその生い立ち：丘陵地、台地、低地  
世田谷南部地域と渋谷駅付近、東京とその周辺地域を事例に概説する。
- 4) 第四紀時代の地殻変動と氷河性海面変動
- 5) 自然環境の変貌に伴う災害の諸問題
- 6) 世界と日本における地理学的な自然誌論

履修上の留意点

高校までの地理教育において、自然分野に費やす時間は少なく、自然系は不得意であるという学生諸君も多いと思われる。そこで我々の生活舞台となる身近かな土地の成り立ちなどから理解を深めていき、地理学に対する見方、考え方が広がることを期待する。

成績評価の方法

筆記試験を前期と後期に各 1 回実施する。また、前期には地理学書 2 冊以上を読み、レポートを作成してもらう。

教科書

田淵 洋編『新版 自然環境の生い立ち — 第四紀と現在 —』（朝倉書店）2,800円

参考書等

講義中に適時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学概論	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久	地理 1 必	4

講義のねらい

専門としての人文地理学のオリエンテーションである。講義全体を通じて、人文地理学とは何か、その方法上の特色はどこにあるかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、人文地理学の特徴を考える。つまり、事象と場所（位置、方位）、事象間の距離、縮尺：事象群の分布と密度、領域・地域と地球：地域的複合、地域系（地域構造）といった問題を考え、「地図」で考えるという意味について検討したい。後期には、本学の先生方の研究を中心に、具体的な研究を例として挙げながら、人文地理学の各研究分野のおおよそを紹介し、本学で人文地理学を深く学ぶための助けとなるよう、情報を提供したい。

履修上の留意点

出来る限り、毎授業の最後に疑問や質問をミニ教場レポートという形で書いてもらい、次時にはその学生の疑問や質問を取り上げるつもりであるので、授業に積極的に参加するよう望みたい。

成績評価の方法

出席とミニレポート50点、夏休みレポート20点、試験30点といったバランスで評価したい。

教科書

『地理学講座 1 地理学への招待』（古今書院）2,500円

参考書等

- 『地理学講座 3 環境と生態』（古今書院）2,800円
- 『地理学講座 4 地域と景観』（古今書院）2,800円
- 『地理学講座 5 立地と空間的行動』（古今書院）2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 文 地 理 学 概 論	たけうち けいいち 竹 内 啓 一	地 理 1 必	4

講義のねらい

現代の人文地理学の全貌を体系的に提示するとともに、人文地理学という学問を勉強するためのモラル、すなわちその実社会への応用はいかになされるべきか、調査はいかになされるべきかということについても考えてもらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記の教科書に従って、現代の地理学が直面している諸問題を概観する。この教科書に欠けている分野として、社会地理学、文化地理学、政治地理学、経済の各部門を統合的に取り扱う経済地理学、そしてフィールド・ワークの作法について、講述による補足を行う。高校での地理の授業を受けたことがない、入試で地理をとらなかつたなどということは、この講義を受講するのに何の障害にもならない。

履修上の留意点

授業時間中に欠席をチェックすることはしないが、レポート内容および返却レポートの受理状況から、講義への出席状況がおのずと判断される。レポートにはすべて朱をいれて返却する。これは私にとって大変な仕事であるから、私のコメントを参考にして、レポートの改善に努めること。また、学年末試験は授業に出席していないと解答できないような出題をするのが私の理想である。

成績評価の方法

講義でふれられたことについて、自由にトピックを選ぶか、教科書に掲げられている課題について、講義内容をさらに深めた勉強の成果を、年間を通じて6回レポートとして提出してもらい、さらに、学年末には持ち込み一切自由の筆記試験を行う。配点は、6回のレポートが60点、学年末試験が40点である。

教 科 書

浮田典良：『地理学入門：マルチ・スケール・ジオグラフィー』（大明堂）1995年 2,060円

参 考 書 等

教科書に多くの文献が掲げられており、これらの文献にはできるだけ目を通してもらいたいですが、それ以外に下記の文献を講義全般にわたる参考書として指示しておく。

- 西川治（編）『地理学概論』（総観地理学講座 第1巻）（朝倉書店）
- 坂本英夫・浜谷正人編『最近の地理学』（大明堂）2,600円
- グールド、矢野・立岡・水野訳『現代地理学のフロンティア（上）（下）』（地人書房）
- 川島哲郎『経済地理学』（総観地理学講座 第13巻）（朝倉書店）
- 山本健児『経済地理学入門』（大明堂）3,450円
- 矢田俊文（編著）『地域構造の理論』（ミネルヴァ書房）
- 石井素介（編）『産業経済地理、日本』（総観地理学講座 第14巻）（朝倉書店）
- 山本正三（編）『産業経済地理、世界』（総観地理学講座 第15巻）（朝倉書店）
- ハーヴェイ（水岡訳）『都市の資本論』（青木書店）7,725円
- クラヴァル（竹内訳）『現代地理学の論理』（大明堂）1,854円
- 竹内啓一『とぼろうぐ』（古今書院）2,900円
- ハーヴェイ（竹内・松本訳）『都市と社会的不平等』（日本ブリタニカ）
- ハーヴェイ（松石・水岡ほか訳）『空間編成の経済理論 上、下』（大明堂）
- スミス（竹内監訳）『不平等の地理学、みどりこきははずこ』（古今書院）
- 大島・浮田・佐々木（編著）『文化地理学』（古今書院）
- 高橋・田林・小野寺・中川『文化地理学入門』（東洋書林）2,575円
- ジャクソン・スミス（浜谷訳）『社会地理学の探検』（大明堂）
- ノックス（小長谷ほか訳）『都市社会地理学上、下』（地人書房）
- 吉原直樹『都市空間の社会理論、ニュー・アーバン・ソシオロジーの射程』（東大出版会）
- 吉原直樹『都市の思想、空間論の再構築にむけて』（青木書店）
- 柴田徳衛『現代都市論』（改訂版）（東大出版会）
- 柴田徳衛『都市経済論』（有斐閣）
- テイラー（高木訳）『世界システムの政治地理』（大明堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学実習(地図学実習含む)(後期)	はや ふね げん ぼう 早 船 元 峰	H10以降入学生/地理1必	1
自然地理学実習(地図学実習含む)A(後期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

地理学を修める上に必要な自然関係の基礎的作業を中心に行う。

- 2.5万分の1あるいは5万分の1地形図を用いた主題図の作成(切峰面図・帯状平行投影地形断面図など)
- 試料の収集・分析・整理の方法(粒度分析など)
- 調査器械・器具の使用法
- 空中写真判読(裸眼実体視)
- 微地形・表層地質調査(ポール・ハンドレベル・ハンドボーリングステッキ・標準土色帖など使用)班分け

履修上の留意点

地形図や製図用具は各人用意してもらう。  
現地での班行動や共同室内作業があるので努めて出席をこころがけること。  
成果の提出期限を守ること。

成績評価の方法

出席状況・提出物の内容などにより評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学実習(地図学実習含む)(後期)	こ いけ かず ゆき 小 池 一 之	H10以降入学生/地理1必	1
自然地理学実習(地図学実習含む)B(後期)		H9以降入学生/地理1必	

講義のねらい

自然地理学-特に地形学-の基礎はまず地図を使いこなすことにある。この科目では地形図の読図と現地との対応などを中心に実習を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 実習のスケジュールは、
- a. 1/2.5万地形図の読図(等高線、水系、各種地形)、
  - b. 1/2.5万地形図をもとに種々のメッシュ・データや主題図の作成(高度-頻度分布、地形断面、河床縦断面、水系図、起伏量図など)、
  - c. 駒澤大学本部一玉川校舎周辺の地形(原地形)とその改変状態の観察(明治時代発行の地形図の読図、空中写真の判読、現地調査など)

履修上の留意点

実習であるのでまずは必ず出席し、課題の提出は締切日を厳守すること。

成績評価の方法

成績の評価は、出席点・提出期限・提出物の内容をほぼ等分に評価する。

教科書

教科書は無い。授業時に実習マニュアルを説明してから実習を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む) (前期)	ながぬまのぶお夫 長 沼 信 夫	H10以降入学生/地理1必	1
自然地理学実習(地図学実習含む) C (前期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

この実習は自然地理学的立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。この実習を通して種々の資料蒐集・整理、その結果から図表の表現化、作成した図表の読み方などを行う。さらに野外調査の際に必要な技術的作業の方法についても実習する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

実習内容は次のような作業を予定している。

- 1) 地形図の読図、地形図を用いて地形計測(水系分布図、起伏量図などの作成)
- 2) 海図の読図、海図を用いて海底地形や底質の分布図作成
- 3) 地質図の読図、描き方、地層の厚さの求め方
- 4) 各種の統計・調査資料の検討とその整理方法
- 5) 簡易測量(高さ・距離などの測定、平板測量)

地  
理

履修上の留意点

地形図や図版作成のために必要な器具などを用意してもらうことになるが、これらは実習の時間に適時指示する。

成績評価の方法

出席を重視し、定期的に提出する図版やレポートなどを基に総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

谷岡武雄ほか著『新訂 地理実習』(大明堂) 2,520円

その他

実習内容に関する資料は随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む) (前期)	たかぎまさひろ 高 木 正 博	H10以降入学生/地理1必	1
自然地理学実習(地図学実習含む) D (前期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

自然地理学を学ぶために必要な地形図の読図や空中写真判読など基礎的な技術の修得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

次の内容を予定しているが、進捗状況に応じて指示する。

- 1) 地形図の読図(等高線から地形断面や河川地形などを読む)
- 2) 地形図を使用して水系図、起伏量図など主題図の作成
- 3) 空中写真の実体視・判読ならびに主題図の作成(空中写真と地形図を対照して地域の変容を調べる。現地調査を含む)
- 4) 資料・計測結果の整理と製図(水文データの解析など)

履修上の留意点

最後まであきらめずに出席し、成果は期Hまでに提出してほしい。

成績評価の方法

出席日数、作業の進捗状況、提出日、提出物の内容を合わせて評価する

教科書

各課題毎にプリントを配布して説明する。特定の教科書はない。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

地形図、製図用筆記具は個人で購入してもらう。30cm程度の定規、図面保護筒は必需品。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む)(前期)	なかむら かず お 中 村 和 郎	H10以降入学生/地理1必	1
自然地理学実習(地図学実習含む)E(前期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

自然地理学の学習・研究に必要ないくつかの基礎的な技術の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 自然現象(事象)の観察  
大学周辺の身近な自然(起伏、気温・風など)を観察し、地図に表現する。
2. 地形図の作業  
地形図の線種、文字、色の種類。位置・距離・方位の計測など。
3. 等値線図の作成と読み取り  
等高線図、等圧線図など。
4. 製 図  
製図用ペンを用いて、地図やグラフを描くための基礎的な技術を習得する。

履修上の留意点

地理学は教科書の勉強だけでは本当の理解が得られない。実習の時間は、教科書の知識を暗記するのではなく、自分から進んで手足を動かして、地理学的なものの見方考え方を習得するように心がけること。机の上の作業ばかりでなく、屋外に出て行うこともあるので遅刻したり、欠席したりすると、実習を受けられないことがあるので注意。

成績評価の方法

出席状況と、平常の取り組み方、および提出物によって評価する。

教 科 書

特に指定しない。

そ の 他

製図用ペン2本と地形図を購入してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む)(後期)	ふじしま のり たか 藤 島 範 孝	H10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習(地図学実習含む)A(後期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

商業の近代化と地域計画 生活圏と商業圏と都市圏の機能の分担化・住宅の郊外拡散、大型店進出等の環境に変化した既存商店街の現状と活性化。中心商業地の再開発などを考えてみる。地理学でいう圏構造の設定を再考する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は各都市の近代化計画書を土台として、商店街の圏構造を把握する。授業は商業調査の基礎的な課題から始める。①調査対象地域の把握、②気象概況、史的背景、商業立地過程、③地域に占める地位、④商業動向、⑤市街地地区の人口増減図、人口密度図、⑥生活環境評価図、⑦消費者業態動向図。その他商業施設の分布、構成や人間買物動向など試作し、商業地域の再開発、振興などについて基礎的な都市構造の把握に努力する。

履修上の留意点

各商業地の設定、顧客の動向について実際調査をして、報告するを義務とする。

成績評価の方法

各地の商業地の特色を着実に把握して近代化都市の策定に寄与できると思われるものを評価の対象とする。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、商業による都市の近代化計画に関するものを各自用意されたし。(各都市の企業課、商業観光課の資料を買入れて揃えることも努力されたし)

参 考 書 等

都内各区の区役所にて商業近代化の資料を教授願われたし。(都市再開発協会等にも参考書ある)

そ の 他

最初当分の間講義で要領を伝授するが、後日、自らの行動力で、商業圏構造の分析をされたし、必要によってはゼミ、討論等行うものとする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む) (前期)	さくら 桜 井 明 久	H10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習(地図学実習含む) B (前期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

人文地理学の研究・調査のための基礎的な方法を習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

図書館の利用、ワープロの利用、土地利用図の作成、統計資料の収集、統計図の作成、統計地図の作製、統計手法の利用、データベースの意味と利用などについて実習する。

履修上の留意点

実習であるので、とりわけ授業に出席することが必要となる。なお、事前に準備すべきものは前もって伝える予定であるが、欠席した場合は、次の授業で準備すべきものを、出席した同級生にあらためて確認しておくこと。

成績評価の方法

授業で制作、作成する作品・レポートとその提出状況で評価される。

そ の 他

様々な地域の地形図、色鉛筆、定規、ロットリング、計算機などを準備する必要がある。詳細は授業開始時に指示する予定。



科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む)(後期)	つち 土 たい 谷 とし 敏 ほる 治	H10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習(地図学実習含む)C(後期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

人文地理学の調査・分析に必要な資料の収集・整理方法、統計的分析方法、製図技術を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

9・10月：コンピュータによって資料の基礎的な統計分析を行う。  
11～1月：用意した資料を用いてデータの整理・図表作成の実習を行うとともに、分析・考察能力を身につける。主な実習項目は、次のとおりである。

- ① コンピュータによるデータ処理  
コンピュータを用いて、統計データの整理・集計を行うとともに、その結果をグラフ化・地図化する。
- ② 地域の年齢別人口構造  
大都市内部、衛星都市、農村地域の人口ピラミッドを作成し、年齢別人口構造の特色やその要因について分析する。
- ③ 都市の順位規模分布と都市システム  
対数グラフを用いて、都市の順位規模分布を図化し、国別・年代別の都市システムの特色を考察する。
- ④ 機能地域構造  
通勤・通学人口移動データをもとに、通勤・通学圏の分析を行う。
- ⑤ 中心地の階層構造  
通勤・通学人口移動データによって、日常的な都市システムの階層構造を分析する。
- ⑥ その他

12・1月：冬休みを利用して、野外での調査実習を行う。

履修上の留意点

毎回必ず出席し、授業で説明を聞いた上で、各課題について実習する。上記のスケジュールにしたがって課題を与えるので、その結果の図・表と分析・考察を必ず提出する。製図の実習にあたっては、製図用のペンやスケールなどが必要となるが、地理学科の学生として最低限必要と思われる製図用具類については、授業時に説明する。また、コンピュータを使用するので、総合情報センターの使用登録を行う必要があるが、その方法についても授業時に指示する。コンピュータ使用の経験者・未経験者を問わず、基礎から使用方法を学習することを原則とするので、未経験者もとくに心配する必要はない。ただし、経験者ならびに希望者は統合情報センターの設備のみでなく、地理学科の地理分析用コンピュータやソフトウェアを使用して、さらに高度な分析方法を学習することも可能である。

成績評価の方法

すべての提出物を点数化して評価する。提出物の図・表と分析・考察は1：1の比重とする。休み中の課題は、それまでの学習成果のまとめであり、多くの時間を必要とすることから、他の課題の2倍の比重で評価する。また、実習としての授業の性格上出席を重んじ、出席率が7割に達しない者は単位を認定しない。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

地理学の基礎的な調査・研究方法を学ぶ上で、たとえば次のような文献が参考となる。  
浮田典良編『ジオグラフィックパル 地理学便利帖』(海青社)  
中村和郎・高橋伸夫編『地理学講座1 地理学への招待』(古今書院)  
菅野峰明・安仁屋政武・高阪宏行著『地理学講座2 地理的情報の分析手法』(古今書院)  
高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』(古今書院)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む) (前期)	お だ まさ やす 小 田 匡 保	H10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習(地図学実習含む) D (前期)		H9以前入学生/地理1必	

#### 講義のねらい

この科目では、人文地理学の研究調査に必要な資料について学習し、さらに基本的な図表の作成ができるようにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

①文献利用の方法、②参考図書、③地形図、④統計、⑤主題図の作成、⑥グラフの作成

#### 履修上の留意点

毎回課題を出すので、出席はもちろんのこと、課題を遅れずに提出すること。ただし、不十分な内容の場合は再提出を求める。

#### 成績評価の方法

成績評価は、出席状況、課題の提出状況(遅れずに提出したかどうか)によって行なう。提出された課題のできばえも勘案する。ただし、提出されない課題がある場合は、単位認定は保証できない。

#### 教科書

担当教員作成のプリントを配布する。

#### その他

製図ペン・定規・計算機などを使用することになる。詳細は、授業時に随時指示する。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む) (後期)	す やま さとし 須 山 聡	H10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習(地図学実習含む) E (後期)		H9以前入学生/地理1必	

#### 講義のねらい

人文地理学の調査研究に必要な資料収集・統計解析・図的表現の方法を体得する。今年度はコンピュータによる統計地図の作製に重点を置く。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 文献の検索法
- (2) 地形図・空中写真の利用
- (3) フィールドノートの作成
- (4) 統計データの種類と利用法
- (5) 統計データの分析と図的表現
- (6) コンピュータを使った統計地図の作製(Photoshop、Illustratorの使い方)など基礎的な技法を中心に進める。

#### 履修上の留意点

受け身の講義ではなく室内作業が中心となるので、受講者諸君の主体的な参加を望む。

#### 成績評価の方法

毎回の授業で課されるレポートと出席をもとに判断する。

#### 教科書

毎回資料を配布する。

#### その他

ロットリング・電卓を使用するので、事前に購入する必要がある。また、地形図・空中写真の購入にも実費がかかる。コンピュータの知識は不要。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む)(前期)	たけうち けい いち 竹内啓一	H10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習(地図学実習含む)F(前期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

問題の立て方、認識の方法、レポートの書き方、発表の仕方など、大学で学ぶために必要な技術と作法を習得してもらうとともに、人文地理学の学習・研究にあたって必要な基本的知識と知識と図表などの作成技術を心得てもらふことを目的にする。

講義の内容・授業スケジュール

以下の2冊の教科書を並行して用いる。前者については、参加者一人一人がいくつかの章を担当して報告要旨を作成してもらう。後者については、文献検索や図表作成などの作業を各人にしてもらう。夏休みには、各人の関心にしたがっていくつかの専門論文を読み、要旨を作成してもらう。イギリスのOpen Universityの講義をビデオで聞き取ってもらう時間ももうける。

履修上の留意点

実習であるので、出席し、積極的に参加することが重要である。

成績評価の方法

出席および課題に対するレポート、および学期末の筆記試験による。討論への活発な参加を特に重視する。

教科書

小林康夫・船曳建夫編『知の技法』(東京大学出版会)1994年 約2,000円  
浮田典良編『ジオグラフィックパル 1998-1999年版』(海青社)1998年 約2,500円

参考書等

上記の教科書に指示されている参考文献および授業時間中に指示する参考文献をできるだけ多く読むようにすること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む)(前期)	さとう てつ お 佐藤哲夫	H10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習(地図学実習含む)G(前期)		H9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

この実習は、パソコンを用いて、人文地理学的分析のレポートが作成できるようになることを目標としている。地域論の基礎的理論とともに、統計分析や地図作製などの基礎的技術、および図表やレポートの体裁について学ぶ。題材として、東京23区を取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

以下の予定に従って作業を進めるつもりであるが、内容がかなり豊富なので、受講者の理解度を見ながら、内容を調整したい。

- 情報の検索 : 地理の資料、文献の検索、インターネットの利用
- 論文要旨の作成 : ワードプロ(ワード)の使用、論文要旨の体裁
- Geographic Matrix : 表ソフト(エクセル)の使用、統計情報の地理的整理
- 基本統計量の利用 : 平均と標準偏差、特化係数、ヒストグラム
- 等質地域区分 : 度数分布、階級区分、クラスター、等質地域
- 機能地域区分 : OD行列、移動流、機能地域
- モデルと予測 : 指数、シフトシェア・アナリシス、回帰分析
- 統計地図の作成 : 図形処理ソフト(フォトショップ)の使用、統計地図
- 地形図の計測・分析 : 数値地図の利用
- メッシュ・データ : メッシュ・システム
- レポートの作成 : カードによる情報整理、図表、文献リスト

履修上の留意点

パソコンによる学習なので、自宅でウィンドウズを利用できない場合は、総合情報センターの利用登録を行い、自習室を利用すること。授業時間内に終わらなかった作業課題は、持ち帰って仕上げてもらふことになる。

パソコンやソフトの操作法については、あまり時間をかけず、むしろ作業の意味や原理について詳しく説明したい。従って、すでにパソコンの操作に習熟している人は、進んで初心者の友人の手助けをして欲しい。また、わからなくなったら、いつでも誰にでも遠慮なく質問して欲しい。

成績評価の方法

各回の課題の提出状況で評価する。出席も取るが、これは主に各人の進捗を把握するためのものである。課題提出の最終的な締め切りは7月19日であり、遅れた場合は不可となる。

教科書

教材と作業課題は授業時間に配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) A	す 須 <small>やま</small> 山 <small>さとし</small> 聡	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

1つの対象地域を現地調査することをきっかけに、研究課題の設定・事前調査・調査計画の立案、現地でのフィールドワーク、収集資料の分析、報告書の作成といった一連の過程を経験し、そのなかから地理学調査の具体的な方法を学びとる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は研究課題の設定から調査計画の立案までを行い、10月に3泊4日程度の現地調査を実施する。後期は現地で収集した資料の分析、報告書の執筆を行う。最終的には報告会を実施する。対象地域としては、粟島(新潟県)・利島(東京都)・御蔵島(東京都)などの離島を想定している。

履修上の留意点

東京から比較的近い離島を選定するが、それでも交通費・宿泊費に多額の出費が見込まれるので、本当に関心のある学生のみに参加してもらいたい。

成績評価の方法

参加の積極性と報告書の達成度を規準とする。

教 科 書

正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル——よりよい地理学論文作成のために——』(古今書院)1994 214p.  
市川健夫『フィールドワーク入門——地域調査のすすめ——』(古今書院)1985 237p.  
上野和彦編『地域研究法』(大明堂)1990 191p.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) B	たか <small>ぎ</small> 高 木 <small>まさ</small> 正 <small>ひろ</small> 博	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

本科目のねらいは、地理学の基本とも言える「地域」の捉え方を、現地調査を含めて1年間にわたり学ぶことにある。とくに、それぞれの地域に固有な水と人々のかかわりを測水調査や利水慣行などの視点から明らかにしたい。現地調査を重視し、結果・考察を報告書にまとめる。

講義の内容・  
授業スケジュール

現地調査の準備段階として文献調査、資料収集、地形図・空中写真などによる地域概要の把握を行い調査マニュアル(資料集)を作成する。現地調査は班別行動を原則とし、各班毎の主題に沿って、各種の実測調査、聞き取り調査や資料収集などを実施する。現地では効率的かつ精度の高い調査が要求される。調査期間中は毎日の成果を報告し、レポートを作成する。終了後は、各自の成果をまとめた個人レポートを提出すると共に、各班毎に行なった調査結果を整理・分析・考察して発表し、最後に報告書を作成する。

履修上の留意点

調査テーマは各自の希望を尊重するが、場合によってはこちらで指示することもある。現地では班別行動をとるので、同様なテーマを持つ人同士で班を構成してもらおう。資料集および報告書は、ワープロの使用を義務づける。

成績評価の方法

レポートの内容を主に判断するが、授業への出席状況や現地での調査行動、報告書作成への取り組みなどを総合的に評価する。

参 考 書 等

参考書は適宜指示する。

そ の 他

調査地域は、山形県東根市周辺(小見川湧水)を予定している。実施期間は9月下旬を予定しているが、内容などの詳細についてはガイダンスの際に発表する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) C	ながむら かつお 中 村 和 郎	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい	小地域の調査法を学ぶ。事前の文献調査、現地における観察と観測、事後の報告書作成の3段階がある。全員が協力して行う共同調査によって成果をまとめることをねらいとしている。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事前調査：文献調査、旧版地形図と現在の地形図の比較、各種統計資料の解析など</li> <li>2. 現地調査：ルートマップの作成、観察と観測、聞き取り調査など</li> <li>3. 調査報告書の作成：オリジナルマップの作成など</li> </ol>
履修上の留意点	原則として4～5人程度のグループを編成し、グループごとに共同調査を行って成果をまとめる。報告書の作成まで協調的であってほしい。
成績評価の方法	事前調査のレポートと、現地調査を終えた後の調査報告書の提出を求める。平常の取り組み方と合わせて評価する。
教科書	とくに指定しない。
参考書等	市川健夫『フィールドワーク入門 地域調査のすすめ』（古今書院）1985 小野有五『フィールドワーク論 地理』25巻3号 1980 川喜田二郎・尾崎正澄、探検とフィールドノート 朝日新聞社編『探検と冒険』第5巻 1972

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) D	ふじしま のりたか 藤 島 範 孝	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい	港湾岸地域開発に係る環境保全について。石狩新港を例に採るが、アジアの各港湾に手法を適用できるのではないかと考える。流通機能の核とし結節点としての意義。生産基地と都市機能との関連。開発にあたって公害のない緑豊かな環境づくりと、開発の担い手である事業者の良好な労働環境の確保及び周辺農漁業の保全と振興に留意し、地域住民が安全で、健康な、しかも快適に暮らせる地域社会を作り出す多角的計画を検討する。
講義の内容・授業スケジュール	地域の環境の現況、自然条件（地象・水象・気象・植物・動物）と社会的条件（人口、産業、交通、公共施設、保全地域）、保全施設、宅地造成区、埋蔵文化財、行楽地、レクリエーションの地域現況、土地利用、水域利用（河川、漁業権状況）併せて開発の意義と計画の経緯等について述べ、流通地区の配置、業種の選定、緑地の配置、交通施設の整備、道路の構造について考えて貰うことにする。
履修上の留意点	特に保全地域設定の考え方、海岸草原や海岸防風保安林、内陸防風林等の各地域、公園、緑地の整備方針、遮断緑地及び緩衝緑地の配置造成と造成方法等について地図化することを要求する。
成績評価の方法	講義ノートの整理、適正な土地の利用計画や環境状況の適否を確かめ乍ら開発をすすめる諸策に関するレポートを要求する。
教科書	適切な教科書はないが、都市計画、地域計画、環境保全に関する参考書を利用することを望む。
その他	当分は講義形式とし、時期を決めて現地視察報告文の作成を要求する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) E	はや 船 げん ぼう 早 船 元 峰	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

文献目録の作成方法・資料データの収集・測定方法・分析方法や現地調査の方法を修得、さらに教室の講義のみでは理解しがたい地理学的事象（自然的・人文的）を、学生自らの現地での体験（観察・調査）を通じて理解してもらおう。

講義の内容・  
授業スケジュール

現地調査 北海道  
期日 6～7月あるいは9～10月（3泊4日）予定  
自然班・土地利用（農業）班・リゾート班に分れ行動する。  
現地集合・現地解散の予定（公共交通機関を利用すること）  
目的～自然と人間とのかかわりあい  
地形図より主題図作成・当日レポート・個人レポート（実施後）を課し、成果集を作成する。

履修上の留意点

班作業もあり、欠席なきよう努めること。

成績評価の方法

事前調査（地形図の作業・資料収集・整理）・現地調査・成果口頭発表・レポートなどにより評価する。

地  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) F	こ 池 かず ゆき 小 池 一 之	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

地域の特性を研究することを主たる目的とする地理学においては、「百聞一見にしかず」という諺があるように、現地調査（野外巡検）に勝る教育方法はまず見当たらない。  
野外調査法の習得を主な目的とするこの科目は野外巡検を中心としてすすめられる。共通テーマは地形を中心とするものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 地理学調査法入門（4～5月）
2. 調査地と調査テーマの選定（6～7月）
3. 現地調査日程と調査計画（7～9月）
4. 現地調査、本年度は巡検予定地を「北海道松前半島（函館～松前地域）」とし、10月上旬に3泊4日の日程で実施する予定である。2日は参加学生の班別自由テーマによる自主巡検を予定している。  
巡検実施までには、ほぼ毎週基礎事項の説明、関係地図の読図、関係文献の紹介などがある。また、自由テーマにそった資料などの収集もきわめて重要である。
5. 現地調査結果のまとめと発表（11月以降～）

履修上の留意点

実習と同じようにまずは参加することが絶対条件である。平常の授業も必ず出席すること。

成績評価の方法

出席などの平常点、現地での学習態度、終了後の総合レポートなどで評価する。

そ の 他

参考書などは授業時に随時紹介する。  
最初は、講義形式で進め、班の編成が終わり準備が整い次第ゼミ形式となる。なお、現地では、夜間も2～3時間のゼミ・討論などを予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学調査法(現地調査含む) G	つち なた とし ほる 土 谷 敏 治	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

地理学の調査・研究においては、もちろん現地調査は最も重要なものの1つである。しかし、現地調査を実施するにあたっての調査目的・調査地域・調査スケジュールの設定、統計資料を用いた調査地域の特色の把握や事前の準備、現地調査後の収集資料の整理・分析、報告書の作成も同様に重要である。本授業では、都市の問題、とくに都市構造や商業活動、都市の交通問題を主要テーマとして、現地での調査能力に加え、このような現地調査前後の準備段階から最終的な報告書作成までの総合的能力を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

現地調査対象地域：九州の一都市を対象とする予定であるが、詳細は4月の地理学調査法振り分け説明会の際指示する。

現地調査日程：10月下旬（予定）

下記のようなスケジュールに沿って授業を行う。

- ① 各種統計資料などによって、調査地域の特色について分析を行い、レポートにまとめる。
- ② 各自の調査目的、調査地域を決定する。なお、複数人で共同研究してもよい。
- ③ 現地での調査内容や調査スケジュールを決定する。
- ④ 現地調査。
- ⑤ 調査結果の整理・分析、図表化を行う。
- ⑥ 調査結果をレポートとしてまとめる。
- ⑦ 調査結果を発表し、全員で討論する。
- ⑧ 各自のレポートをまとめて、報告書を作成する。

履修上の留意点

現地調査とともに、事前準備、事後の分析が重要であり、現地調査当日はもちろん、大学での授業への出席、口頭発表、討論への参加、レポートの提出、報告書作成作業への参加が不可欠である。

事前のレポート、調査結果のレポート、口頭発表の内容、討論・報告書作成作業への参加状況、授業への出席を総合して評価する。

教科書

特に指定しない。

その他

事前の準備、統計の分析はグループに分かれて、それぞれの担当内容を決めて行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学調査法(現地調査含む) H	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

地理学の調査には、文献、地図、航空写真、統計資料などの検討という屋内での作業と、屋外作業である現地調査とがある。また、調査の対象にする場所が国内であるか、国外であるかによって、言語の問題等、調査法はおおいに異なる。この4単位の授業では、国外の現地調査をすることはできないが、国内地域の調査のための方法を身につけてもらい、現地調査（高知県宿毛市で行う予定）を行うほか、履修者が選んだ選定の国外の場所についての文献地図等、資料による調査の実習をしてもらう。この機会に新しい外国語を一つ習得するのもおおいに歓迎する。

講義の内容・授業スケジュール

現地調査は夏休み後に行う予定である。宿毛市を事例にして屋内作業を手分けして行うとともに、学年のはじめに履修者は国外地域を一つ選んで、それについての資料による調査を行い、何回かその成果を報告しなければならない。

履修上の留意点

調査実習であるので、必ず出席しなければならない。

成績評価の方法

レポート、報告の内容のみでなく、仲間の報告に対して積極的に問題を提起し、討論に参加することを重視する。

参考書等

授業の中で全員に共通する参考書は示すが、国外調査については、各自が必要な資料、文献等を探し出すことも調査の重要な一部である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学調査法(現地調査含む)Ⅰ	さ とう てつ お 佐 藤 哲 夫	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		H9以前入学生/地理3必	

#### 講義のねらい

この調査法では、私たちがよく知っている「日本」とは異なった自然環境、歴史的・文化的背景を持った地域を理解するために、地理学的視点からどのような調査を行ったらよいか、その方法を学習する。

現地調査の対象地域は「那覇市とその周辺」で、調査テーマは「沖縄の都市景観」。この調査テーマのもとに、参加者が小テーマを定めて事前準備作業を行い、現地調査後に最終報告書を作成する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(事前準備：4月～10月)

1. 沖縄研究のあり方、さらには海外地域研究との関係について学ぶ。  
開講後、数回、講義を行う。その際、教科書の利用法についても解説する。
2. 沖縄の自然や、文化、歴史の特殊性など、基本的背景となる知識を学ぶ。  
参加者が分担して文献を読んで報告し、沖縄に関する共通の理解を深める、
3. 地理学的手法（例えば地域統計分析や地図・空中写真分析）による分析を行う  
参加者が分担して統計あるいは地図などの収集・分析を行う。  
(夏休みに入る前に、作業結果の中間報告会を行う。)
4. 参加者の中から希望者を募って、後期授業開始直前に予備調査を行う。  
予備調査の結果は、全員に対して夏休み明けに報告する。
5. 予備調査の結果をふまえて、本調査に向けた調整を行う。  
参加者の関心に従って各自の小テーマ、調査目的、調査地などを定める。
6. 10月に事前準備の作業結果を発表する。

(現地調査：11月4日～7日を予定) 現地では以下のような作業を行う。

1. 「沖縄の都市」というテーマで、写真レポートを作成する
2. 図書館などで資料の収集、または関係機関などでヒアリングを行う
3. 特定地区または特定路線の景観を表現した地図を作成する
4. 自由調査

(調査結果の集約：11月～12月)

1. 現地調査の後、直ちに写真レポートの発表会を行う。
2. その他の調査結果を12月までにまとめて発表し、全員で討論する。
3. その後、最終報告書を作成して提出する。

#### 履修上の留意点

調査テーマは、なるべく参加者の希望を認めたいが、調整する場合もある。  
レポートなどは、すべてワープロで作成するものとする。

#### 成績評価の方法

事前調査での授業への出席状況、発表内容、事前調査報告の内容、現地調査での積極性、最終調査報告の内容、報告書作成作業への参加状況などを総合的に評価する。

#### 教科書

浮田典良編『ジオグラフィック・パル』（海青社）

#### 参考書等

堂前亮平『沖縄の都市空間』（古今書院）2,500円＋  
山本英治・高橋明善・蓮見音彦編『沖縄の都市と農村』（東京大学出版会）7,600円＋

#### その他

将来、アジア地域で地理学的研究を行いたいと思っている者にとっては、海外地域研究への導入となるであろう。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) J	ながめまのぶお夫 長 沼 信 夫	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

ある地域を題材に、地理学の調査方法の修得、および現地調査で得られた資料を基に、その地域的特色の一端を把握・検討することを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

この科目では現地調査を中心に行うため、その事前準備・現地調査・資料整理作業・レポート作成・報告会からなる。

現地調査は次の要領で実施する予定である。

主要テーマ：山国飛騨地方における自然と人々の生活

地域：岐阜県高山市とその周辺地域（宿泊場所：高山市内の旅館）

期間：平成11年6月28日(月)～7月2日(金)《4泊5日》

内容：1) 飛騨地方の自然と水環境

2) 飛騨地方の交通網体系

3) 高山地域の歴史的遺産と伝統文化（町並み、商家・民家、飛騨匠の技など）

4) 高山地域の伝統産業（木工業など）

5) 高山地域の商業活動

6) 高山地域の観光産業

履修上の留意点

特に出席を重視するので、遅刻・欠席をしないよう望む。

成績評価の方法

レポートの提出などによって評価する。

教科書・  
参考書等

必要な文献・資料・地形図などは現地調査前の準備段階で指示する。

そ の 他

各自の調査テーマや内容は、学生諸君の自主性に委ねる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) K	さくらいあきひさ 桜 井 明 久	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

人文地理学の調査方法について実践を通じて学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、人文地理に関する調査方法について概略を学び、各人ないしは各グループでテーマを決め、討論を通じて、調査の設計をする。後期は、鹿児島県国分市（予定）周辺で現地調査を行い、その結果を報告書にまとめる。

成績評価の方法

出席、討論への参加の状況、報告書を総合して行う。

履修上の留意点

実習・演習型の授業であり、グループでの活動が多くなるので、欠席は厳しく扱う。

教科書

正井泰夫・小池一之編（1994）『卒論作成マニュアル』（古今書院）

参考書等

必要なものについては適宜授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地域概論	す 須 <small>やま</small> 山 <small>さとし</small> 聡	H10以降入学生/地理2・3・4選	4
地誌学概論		H9以前入学生/地理2必	

## 講義のねらい

地誌学は地域をひとまとまりとして捉え、そこに展開するさまざまな自然・文化現象を総合的に理解できるきわめて魅力的な学問である。本講義ではその視点・概念・方法論を紹介し、地域の理解のしかたを修得することを目的とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

本講義は(1)地誌学の目的・理念、(2)基本的概念、(3)方法論、(4)ケーススタディの4つによって構成される。ケーススタディでは「環日本海地域」を取りあげ、前半紹介した概念の適用を試みる。予定は以下の通りである。

1. 地誌学の目的（地域性・地域差・空間認識）
2. 地誌学の対象（「地域」の概念）
3. さまざまな「地域」（等質地域・結節地域）
4. 土地利用と景観
5. 立地・分布・拡散
6. 地域構造
7. 認知と行動
8. 地域論：「環日本海地域」論

## 履修上の留意点

出席を厳格にとる。

## 成績評価の方法

学年末試験（60％）、出席状況（40％）で判定。

## 教科書

適宜資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習 I A	ながめまのぶお夫 長 沼 信 夫	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

水文地理学とその応用（水環境、水資源、水利用、自然災害など）に関連する文献・資料の研究を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期：担当者が用意する水文学関係の文献・資料を用い、水の地理学に関する知識を養うとともに、論文構成のあり方やその読み方などを学ぶ。  
後期：受講者各自が関心をもつ論文を2編以上読み、これを基に要旨の作成、口頭発表並びに討論を行う。

履修上の留意点

小人数のゼミ形式で行うため、発表や討論への積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

出席回数、口頭発表、レポート作成などを基に評価する。

教科書

前期に使用する文献・資料については、担当者が用意する。

参考書等

必要に応じて適時指示する。

その他

年度内に1回（時期未定）、1泊2日程度の小巡検あるいは合宿を実施する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習 I B	さとうてつお夫 佐 藤 哲 夫	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

この演習では、英文の地理資料を読み、地理でよく用いられる英語に親しむ。前期に用いるテキストは、中学生が使う日本地理の教科書の英訳本なので、内容は簡単である。なるべく早く、多く読み、語彙を増やすと同時に、平易な英語表現を身につけるよう心がける。後期に用いるテキストは、アメリカの大学1年生を対象にした世界地誌の教科書で、英語表現としては少しレベルアップするが、やはり日本の地理について書いてある部分を読むので、理解が困難ということはない。アメリカ人が日本をどのように見ているのか、考える材料にしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前後期とも、参加者にワンセンテンスずつ逐次訳をしてもらい、それに解説を加えながら進める。  
前期は日本の自然についての章から読み始め、歴史、文化、産業、人口、国際関係の章を読んだ後、関東地方についての章へと進む。後期は、ある程度1回あたりの分量を区切って、少し熟読したい。時には英文の地図や統計、様々な記事を使って、知識の幅を広げたい。

履修上の留意点

順不同で毎回少なくとも1度はあてるので、必ず予習してきて欲しい。英和辞典を持ってくること。電子辞書は薦めない。専門的な用語は、普通の英和辞典に載っていないものもあるので、その場合は地理学辞典を調べる必要も出てくる。

成績評価の方法

成績は出席と参加の積極性で評価する。

教科書

テキストは配布する。出所は下記のとおり。  
前期は Yagasaki, Noritaka, ed. 1997. *JAPAN*. 3<sup>rd</sup> ed. Tokyo : Teikoku-Shoin.  
(矢ヶ崎典隆『ジャパニ：ジオグラフィカル パースペクティブズ オン アン アイランド ネイション 三訂版』(帝国書院) 1,800円  
後期は De Blij, H. J. and Peter O. Muller. 1997. *Geography*. 8<sup>th</sup> ed. New York : John Wiley & Sons.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I C	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

手分けして内外の人文地理学の専門的研究論文を読んで論文要旨を作成し、各自が読んだ論文について順に報告してもらい、全員で討議して地理学を勉強するための足腰を鍛えてもらう。イギリスの Open University の講義をビデオで聞き取ってもらう時間ももうける。

講義の内容・授業スケジュール

前期は下記の教科書の章ごとの要旨あるいはそこにあげられている文献の要旨を作成し、報告してもらいが、後期には各自の関心にしたがって文献を、各自がデータベース、CD-ROM などから検索してきて読み報告してもらう。段階的に、自主的かつ自立的に勉強する態度を身につけてもらう。

履修上の留意点

演習であるので、出席し、積極的に参加（報告および討議への参加）することが重要である。

成績評価の方法

出席状況、文献の探し方、論文要旨と報告の内容、および討議への積極的かつアグレッシブな参加の状況による。

教科書

上野和彦編『地域研究法』（大明堂）2,400円

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I D	なか むら かず お 中 村 和 郎	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

主題地図の作成を目標としたい。何回かの課題を通して、主題地図とは何か、地理学にとって主題地図がいかに大事であるかなどを学びとってほしいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 既往の各種の主題地図収集と、主題地図に関する文献（日本語と英語）の講読
- (2) 主題地図作成のために必要な資料の所在探索と収集
- (3) 地図化するための技術の習得
- (4) 地図による考察とその発表

履修上の留意点

毎回出席して、課題をきちんとやること。主体的に勉強してほしい。

成績評価の方法

学年度末に自分で作成した主題地図とそれに基づく考察結果をレポートに基づいて行う。

教科書

特定の教科書は用いない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I E	はや 船 げん ぼう 早 船 元 峰	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

自然と人間とのかかわりあいを利用・水利用・環境保全・リゾート開発（グリーンツーリズム・エコツーリズム）などを通して共に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

各班分けをし、関連した論文や文献資料の内容の紹介や所感、現地研究の成果を発表してもらい、討論しあう。

履修上の留意点

資料の収集や発表・まとめがあるので、欠席なきよう努めること。  
活発な討論がなされるよう、積極的態度をのぞむ。

成績評価の方法

出席状況・口頭発表状況・レジュメの内容などで評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I F	たか ぎ まさ ひろ 高 木 正 博	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

水文学や水の地理学に関する論文を読み、研究の動向や論文の書き方などを修得することが目的である。前・後期の発表では、参加者相互に活発な討論をして意識を高めてゆく。  
4年次の卒業論文に向けて興味ある研究テーマを見いだしてほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期はテーマ別の論文を分担して読む。該当者にはあらかじめ分担内容・発表日を決めておき、論文の要旨をまとめたレジュメをもとに全員でその内容を討論する。  
後期も同様に発表形式をとる。ただし、紹介論文は各自が興味あるテーマを選択し、その内容について詳しく説明する。また、夏休みの調査などを報告してもよい。

履修上の留意点

受講者は日頃から積極的に発表・討論に加わる意識が求められる。  
発表者は無断欠席しないこと。

成績評価の方法

発表内容、レポート、討論への参加状況などの平常点で決める。

参 考 書 等

肥田 登『秋田の水 ― 資源と環境を考える ―』（無明舎出版）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習 I G	つち 谷 とし はる 土 谷 敏 治	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

都市・交通・人口などに関する問題を主要テーマとして、論文の講読を行うことにより、読解能力、分析・考察力を養うとともに、研究論文の書き方、構成の仕方などについて学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

各自が課題論文の要旨をまとめ、レポートとして提出する。また授業では毎回担当を決め、その担当者は資料・レジュメを用意した上で、論文の要旨を発表する。その後、全員で当該論文の特色や問題点について討論する。取り上げる論文については、前期は担当教員が用意するが、後期は発表者にその選択をまかせる予定である。

履修上の留意点

授業で取り上げる論文については、全員が事前に読んでおくことを前提とする。演習であるため、毎回の出席と発表内容・討論への参加状況が重要である。授業中の発言がきわめて少ない者は、高い評価は得られない。また、出席率が7割に満たない場合は、単位の認定をしないので注意すること。

成績評価の方法

レポート、発表の内容、毎回の討論への参加状況を点数化し、出席率を加味して成績を評価する。

教科書

各授業時間に取り上げる論文。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習 I H	ふじ しま のり たか 藤 島 範 孝	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

中国の古道の研究、殊に南方絲綢路といわれる西南古道について、交通貿易、文化交流等と少数民族の関わりを追求する。

日本文化の源流を考える上で重要な地域といわれているので、ルートを各自確認することと、蜀文化の源流、日本文化のルーツ、中国少数民族の解明を行い、水稲信仰と儀礼、高床建築、貫頭衣、歌垣、妻問婚、桑樹崇拜、養蚕と紡績等究明し、作図し報告して貰う。

教科書・  
参考書等

教科書として、孔健『秘境・西南シルクロード』（学生社）1,700円を使用。参考書として、司馬遼太郎『中国・蜀と雲南のみち』街道をゆく20巻（朝日新聞社）、飯倉照平編『雲南の民族文化』（研文出版）等読まれたし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I I	す 須 <small>やま</small> 山 <small>きよし</small> 聡	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		H9以前入学生/地理3必	

- 講義のねらい** 人文地理学・地誌学における研究課題の設定、データの収集方法、分析手法、論文のまとめ方、およびプレゼンテーションの技術を、論文の講読を通じて修得する。
- 講義の内容・授業スケジュール** 毎回数人に興味のある論文の内容を発表してもらう。論文は『地理学評論』、『人文地理』、『経済地理学年報』、『歴史地理学』などの専門誌から各自が選定する。発表をもとに参加者が内容に関して討論を行う。
- 成績評価の方法** 演習であるので、発表内容はもちろんのこと、質疑参加の状況も評価の対象となる。
- 教科書** とくに定めず、各自に適切なものを紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I J	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		H9以前入学生/地理3必	

- 講義のねらい** 東京の近郊農業及び近郊農村について、都市化と農民の対応から考える。
- 講義の内容・授業スケジュール** 東京の都市内農業、近郊農業に関する従来の研究を収集し、文献を読んで、情報交換し、いくつかの研究グループを作り、現地を訪れるなどして、現状を調べ、文献が書かれた時代のそれと現状とを比較して、東京の農業の特色とその変化、将来像などを検討する。農業にとどまらず、農家の人々が都市化にいかに対応して生きてきたかという視点でも検討したい。
- 履修上の留意点** 演習であるから、各自が責任を持って決められた日程にしたがってレポートを行うことと、討論に参加することが重要であり、出席が不可欠である。
- 成績評価の方法** 出席、討論への参加状況、発表を総合的に勘案して行う。
- 教科書・参考書等** 授業の中で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I K	小 田 匡 保	H10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		H9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

地理学論文作成のハウツーを、マニュアルの本（ただし英語だが）と、実際の論文例から学習する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、地理学論文の書き方に関する英語の本（の一部）を全員で読む。後期は、各自が関心のある人文地理学（特に文化・歴史地理学分野）の論文について、その問題点、改善すべき点などを発表してもらう。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況・発表内容・レポートによって行なう。

教科書

『新訂 江戸名所図会3』（ちくま学芸文庫）（筑摩書房）1,359円

その他

以上の講義内容では3年生（必修）の希望が少なかったため、前期は予定を変えて英文の講読をやめ、近世の江戸の地誌・案内書である『江戸名所図会』を読んでいく。履修者には、テキスト中の地名・用語を、地図や辞典類を使って調べ発表してもらう。活字に翻刻してあるものを使うので、くずし字の知識は不要だが、古典の嫌いな人には向いていないだろう。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 II	小 田 匡 保	地理 4 必	4

講義のねらい

この科目のねらいは、①卒業論文の作成を通じて、論文・レポートがきちんと書けるようになること、②人前でわかりやすく発表できること、③他の人の発表・報告に対して、質問したり、自分の意見を言えるようになること、の三つである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、従来の研究史を中心に、各自が自分の卒論の構想について発表する。後期は、現地調査・データ整理の結果をふまえた発表を再度行なう。卒論提出後、簡単な卒論発表会をする。今年度は履修者が少ないので、発表のない週は、みんなで1冊の本を読んでいきたいと考えている。何を読むかについては、最初の授業時に相談する。

履修上の留意点

発表の後は、受講者の間で互いにディスカッションをする。素朴な質問でよいから、受講者全員がディスカッションに参加することを期待する。もちろん、担当教員もできる範囲で助言する。就職活動・教育実習などで忙しいだろうが、できるだけ出席して他の人の発表を聞き、討論に参加すること。特に4月最初の授業は必ず出席すること。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況と発表・討論内容によって行なう。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	小池 一之	地理 4 必	4

講義のねらい

地形学を含む自然地理学の基礎から最新の情報までの習得を主目的とする演習である。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず演習参加者全員に共通するテーマを設定し、次いで、各人のテーマ（卒論課題）を決定する。前期は共通テーマに対応する現地調査地域（本年度は房総半島を予定）を決め、共同調査を行う。平行して、各人のテーマにそった研究・調査をすすめる。夏休みに各人のテーマにそった現地調査を実施し、後期にゼミ形式で討論を進めていく。

成績評価の方法

平常点をもって評価する。

教科書

演習進行時に、適宜紹介する。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	桜井 明久	地理 4 必	4

講義のねらい

農村・農業地理学を中心とする人文地理学、地理教育などに関する卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期のはじめに、論文作成の方法・スケジュールについて簡単に説明し、その後、各自、研究テーマと研究方法、調査の具体的手順を考えてもらい、ゼミ形式でそれを深め合う。後期には、毎回、簡潔に調査結果の中間報告を行い、研究を深め合う。卒論完成後は、要旨集を作り、発表会を行う。

履修上の留意点

卒業論文は各自の研究ではあるが、互いに研究を助言し、仲間同士で研究を深め合うことが求められる。欠席する場合は、事前に、各自の研究の進捗状況をレポート用紙に簡単にまとめて提出しておくこと。論文、ゼミ資料はワープロで作成する。

成績評価の方法

卒業論文の成果、ゼミへの出席、討論への貢献の程度、他の人の研究への助言の適切さなどから、総合的に行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習Ⅱ	佐藤哲夫	地理4必	4

#### 講義のねらい

この演習では、卒業論文の作成の技法について指導する。課題研究コースと自由研究コースの2つを設けて、下記の要領で行なうので、どちらか一方を選択すること。

課題研究コースは、指示される作業とレポートの積み重ねによって論文を作成しようとするものである。「東京近郊の景観の変遷について」をテーマとする。一方、自由研究コースでは、各自が設定した地域とテーマで研究を行い、論文を作成する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

課題研究コースでは、東京近郊（1万分の1地形図が販売されている地域とする）の地域で、3km×3km程度の地区を対象として、過去の地形図、市街図や空中写真などから時系列的な各種主題図の作成と計測を行い、現地調査と文献資料で補足しながら、それらの解説文を作成する。研究のステップは、おおむね以下の通りである。

- 1 対象地区の決定と現地踏査
- 2 注目する景観構成要素の指摘
- 3 当該地区の図像資料の所在確認と入手
- 4 図像資料からの主題図の作成
- 5 現地調査と文献資料による主題図解説の作成
- 6 東京大都市圏の発達との関連を考察する。又は景観分析の事例として事後評価する。

自由研究コースでは、研究対象地域とテーマの設定は自由。研究計画は、おおむね次のようなステップに従う。5月の段階では3まで、10月の段階では5までを目途に進める。

- 1 研究対象地域を決定し、その概況を把握して研究テーマの方向付けを行う。
- 2 文献調査で研究の目的・方法を限定する。
- 3 仮説（あるいは暫定的な解釈）を設定する。
- 4 現地調査などにより、仮説の検証に必要な資料を収集する。
- 5 収集した情報を整理し、章立てによって論文の構成を組み立てる。
- 6 論文構成を修正しつつ、執筆を進める。

#### 履修上の留意点

4月の第1回までに研究対象地区を決定し、調査地域をカバーする国土地理院の地形図を直ちに購入しておくこと。できれば現地を踏査して、概況を把握してほしい。

自由研究コースでは、研究計画の立案と進行は各自の責任となる。これまでの学習で調査の基礎的な方法を身につけることができたことと自覚している諸君にのみお勧めする。緊密なコンタクトをとって個人指導を受けることが必要である。電子メールを通じた指導も可能であるので、積極的に利用してほしい。

卒論作成の進行状況について報告・相談する場合には、必ずB5またはB4版の報告メモ（レポート）を作成してくること。レポートに書くことで頭の中が整理できる。また小さな積み重ねで、あとあと楽になる。

#### 成績評価の方法

参加の積極性で成績評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習Ⅱ	須山 聡 <small>す やま さとし</small>	地理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成を指導する。

講義の内容・授業スケジュール

毎回3～4人ずつ進捗状況を発表する。前期はテーマの決定、対象地域・方法・調査計画の立案、予備調査の実施までに到達することを目標とする。テーマは各自の構想を提示してもらい、参加者全員の討論により緻密な内容に仕上げる。もちろんこれらの作業が早く進行すれば、前期中に現地調査やデータの分析にとりかかることも可能である。フィールドワーク主体のテーマを設定した者は、夏休みが勝負となる。後期は収集したデータの分析・整理を前期に立てた予定にしたがって遂行する。その経過は逐次発表し、参加者全員からの意見やサジェスションを盛り込み、内容を高度化させる。執筆段階においては、原稿のチェックを随時行う。

履修上の留意点

多くの参加者にとって卒論は学校教育の締めくくりとなるものであろう。これ以上「勉強」することはないのであるから、これまで得てきた能力のすべてを傾注されることを望む。就職活動などで4年生は多忙であろうが、中途半端な「やっつけ仕事」として卒論を捉えられることをもつとも危惧する。最初の授業までに卒業論文の構想を立案しておくことを希望する。

成績評価の方法

演習であるので、発表内容はもちろんのこと、質疑参加の状況も評価の対象となる。

教科書

とくに定めず、各自に適切なものを紹介する。

その他

授業時間内で不足な場合、個別指導を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習Ⅱ	高木 正博 <small>たかぎ まさひろ</small>	地理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を主体とする。とくに、①適切な論文のテーマを設定すること、②研究成果の要旨をまとめて発表すること、③論文作成の具体的な方法を指導することなどである。授業では、文献講読、資料の収集・選択・整理、現地調査や製図作業などを課題として指示する。また、前期と後期の発表では、参加者相互に活発な討論をして問題意識を高めてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は卒論題目の決定を目指す。各自がこれまでに描いていた構想について発表し、その内容に応じた適切なテーマを考える。

後期は、現地調査や文献・資料から得た結果を整理・考察して発表する。その際、研究上重要な主題図を示す必要がある。これについて、出席者全員で討論しあい内容の充実をはかる。このほか、執筆要領など論文作成上の諸注意をおこない提出に備える。

履修上の留意点

テーマに沿った研究・調査は、早くから手掛けることが重要である。

受講者は、日頃から積極的に発表・討論に加わってほしい。自分に関係ないと思われるテーマでも、議論してゆくと参考になる事柄があるので無関心ではいられないはずである。場合によっては調査に協力してもらうこともできるであろう。授業を欠席する場合は事前に連絡すること。

成績評価の方法

課題の提出状況、口頭発表や討論内容など、平常点で決める。

参考書等

適宜紹介する。

その他

基本的には教場を使用するが、少人数の時や文献調査が必要な時は教員研究室も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	たけうち けいいち 竹内啓一	地理4必	4

講義のねらい

教場における演習を卒業指導と切り離して、7月、9月、10月に行う。その内容は、各自が自分の関心にしたがって、地理学と関係はあるが狭義の地理学以外の複数の専門書を読み、その内容を、地理学にひきつけて批判的に紹介し、全員で討論する。

夏休み中の課題として、卒論のテーマとは別の複数の読みである本の書評、旅行記、ビデオ作品の製作などをしてもらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒論作成指導のために、以下の日程で、2泊3日の、卒論についての発表・討論会を行うので万難を排して参加すること。

第1回 5月3日(月)13:30集合 5月5日(水)13:00解散

場 所：八王子セミナーハウス

費 用：1万2千円(飲食費込み)

各自、卒論の構想について約20分報告してもらう。

第2回 10月下旬または11月初旬、大学祭の頃

場 所：駒澤大学富浦セミナーハウス

費 用：1万円(飲食費込み)

あと卒論の指導は、随時個別指導のかたちで行う。

成績評価の方法

成績評価の基準は、卒論に関しては、まず卒論の内容、2回の合宿における報告内容と討論への参加状況、そして最終口述試験におけるディフェンス(私からの質問に対する答弁)による。演習Ⅱに関しては、主として夏休みの課題による。仲間の報告に対して活発に討論を展開することを期待する。

そ の 他

4月の第1回目の授業時間の時には、年間の予定についていろいろ相談すること、指示することがあるので、必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習Ⅱ	つち なた とし はる 土 谷 敏 治	地理 4 必	4

講義のねらい

3年間に学習した成果をふまえ、各自が卒業論文作成のスケジュールをつくり、そのスケジュールにしたがって、卒業論文の目的設定、研究の意義づけ、研究対象地域の選択、資料収集、現地調査、資料整理、分析、図表化、考察を行い、論文を完成させるための演習・指導を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月：これまでの学習成果と卒業論文の題目・目的について発表する。  
 5・6月：各自の研究の参考となる論文を紹介するとともに、自分の研究の目的と意義、研究対象地域の概要、分析資料・調査方法について発表し、全員で討論する。  
 7月：夏休み中の研究・調査計画について討論する。  
 8月：各自が資料収集、現地調査、データの分析を行い、中間報告をまとめる。  
 9～10月：研究の中間報告を行い、各自の研究の長所や問題点について討論することにより、今後の研究の方向づけをする。  
 11～12月：最終的な分析・研究内容について討論し、卒業論文の完成をめざす。  
 1月：卒業論文の発表会を実施し、討論を通じて全員の研究結果の総括をするとともに、各自が研究成果を自己評価する。

履修上の留意点

授業の開始時に発表担当者のスケジュールを決定し、毎回2～3名が発表を行い、その内容について全員で討論する。発表のための資料は、事前に作成し、申し出れば必要部数を学科で準備することができる。討論の際の司会・進行役も受講生が交代で行う。このため、毎回の出席がとくに重要である。就職試験、教育実習などでどうしても出席が不可能な日については、事前に申し出ることが必要である。発表担当日がこれらの日程に重なるときは、他の受講者と発表担当日を交替すること。

成績評価の方法

発表内容が最も重要であるが、演習としての授業の性格上、出席率、討論への参加や発言回数とその内容を総合して評価する。出席していても発言がない場合は、出席者として認定しない場合もありうる。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

卒業論文のテーマの選定やスケジュールのたてかた、書式などについては、次の文献が参考となる。

高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』（古今書院）

正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル よりよい地理学論文作成のために』（古今書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 II	はや 船 元 峰 はや ふね げん ぼう	地 理 4 必	4

講義のねらい	卒業論文作成および口頭発表の指導をおこなう。
講義の内容・授業スケジュール	前半には論文の作成・現地調査・文献資料の収集・整理などの方法について講じる。後半には卒業論文のテーマにしたがって調査研究した成果の発表（中間発表）や関係した論文の内容の紹介およびコメントをしてもらう。
履修上の留意点	就職活動や教育実習などで多忙であろうが、出来るかぎり出席すること。活発な討論がなされるよう積極的態度をのぞむ。
成績評価の方法	出席状況・口頭発表状況などで評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 II	ふじ しま のり たか 藤 島 範 孝	地 理 4 必	4

講義のねらい	交通と文化と伝播
講義の内容・授業スケジュール	世界には東と西、北と南に異なった文化がある。新しい文化と古い文化もある。外からの文化と内からの文化があるともいう。固有の文化を主張する人もいる。しかし、原則として文化は凝集するものではなく「交通」という手段で流離するものである。媒介として河、海、砂漠と草原がある。今は空も用いる。幾多の自然的障害を越えて、往来し、交易し、信仰し、時には民族間や国家間の拡張競争で侵略ルートが生れたりする。山登りしたり征服屋の御用開きの探検、冒険野郎が踏み分け道をつけたりする。地球を跨ぐこの種の道は動脈などと都合のよい表現を取るが、本当に血が通っているのだろうか。塩の道、稲の道、麦の道など生きるための道も誰のためにあったのだろうか。道の果ての人は宗教を容認し宦官と纏足は拒否した。道は人の生病老死まで決めていたのではないだろうか。交通という道を通れる文化の基層を確かめ、底流になにがあるか、文化の伝播は地球的に如何なる意味をもつのか。道の末端にいるとは思わぬが車の端の民族にとって、文化なるものの来し方行く末について考えてみたいと思っている。殊に、交通路と古地名と古文化に深い興味をもっているため、学際的な多難な研究であるが挑戦があれば普段に再考してみようと思っているので手を貸して戴ければと念じている。
教 科 書	教科書として青木一夫訳『全訳マルコ・ポーロ東方見聞録』（校倉書房）2,000円と安田暎胤『玄奘三蔵のシルクロード』（能登印刷出版部）1,600円を用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	なが むら かず お 中 村 和 郎	地理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成の指導を行う。研究成果の中に意味のある地図を入れるように指導する方針は今年度も変わらない。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 卒業論文の意義
- (2) 論題の決定と研究計画の立案
- (3) 研究方法（文献調査・野外調査・実験等）
- (4) 論文の書き方
- (5) 地図・写真・その他の図表の役割
- (6) 口頭発表（与えられた時間内に自分の研究成果を的確に発表する）

履修上の留意点

大学教育の中で学生がもっとも自主的、主体的に学ぶことができる授業である。といっても勝手にやってもよいということとは違う。卒業論文は、4年間に学んだ専門的知識と技術とを全部活かして作成するものであると考えている。個人々と接触する機会をできるだけ多くして、お互いに納得のいく最終学年にしたい。わからなくなったり、行き詰まったりしたときこそ、頻繁に相談に来てほしい。先輩や同級生にも指導を仰ぐ心構えを期待したい。

成績評価の方法

研究成果のできばえはもとよりであるが、それ以上に途中の研究プロセスを評価したい。自分から進んで研究しようとする態度を評価する。

参考書等

浮田典良編『ジオグラフィックパル 地理学便利帖』（海青社）2,200円  
 浮田典良『大学地理教育とレポート』（古今書院）2,575円  
 高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』（古今書院）2,700円  
 正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル』（古今書院）2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	なが むま のぶ お 長 沼 信 夫	地理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文献・資料の蒐集・整理、調査・研究の方法、論文の書き方、さらに各自のテーマに関連する文献の紹介などについてゼミ形式で行う。  
 後期は、各自のテーマによる調査・研究の成果を踏まえて、主に口頭発表の形式で中間報告および討論を行っていく。

履修上の留意点

最近の卒業年次生諸君は、就職活動のためと称して頻繁に欠席する。最後の年度であるので、極力出席するよう努力してもらいたい。

成績評価の方法

出席回数、文献紹介（口頭）、レポート、卒論中間発表などを基に総合的に評価する。

教科書

必要に応じて、文献・資料の紹介やプリントの配布を行う。

その他

この演習では、卒論作成に関する話題提供や討論が中心となるため、自主的に努力することが期待される。また、後期には卒論発表会のための合宿を予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
巡 検 C ( 前 期 )	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい

調査とレポート作成中心の「地理学調査法」とは違って、現地を見て回る楽しさを実感できる授業にしたい。ただし、教師という観光ガイド付きのツアー客では安易すぎるので、逆に履修者各自が交代でガイドとなり、互いに案内役を務めることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

日帰りの徒歩巡検を2回行なう。コースは、1回目は日本橋～旧江戸城（皇居東御苑・北の丸公園）～九段下、2回目は大山街道（二子新地～溝口）と二ヶ領用水を予定している。期日は未定（日曜日を実施することもありうる）。履修者は分担して下調べを行ない、巡検の際に担当エリアのガイドを務める。

履修上の留意点

一日中歩き続けるので、足に自信のない人は遠慮してほしい。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、巡検時のガイドの状況、巡検後のレポートによる。通常の授業への無断欠席と巡検不参加は、どんな理由であれ、単位は認めないものとする。

そ の 他

体8前の掲示に従い、4月初めの地理学科による振り分け（といっても今年度はこの1コマだけだが）に必ず出席すること。無断で履修届を出しても認められない。振り分けの際に履修希望者が多い場合は、こちらから提示した課題についてレポートを書いてもらい、その内容によって履修者を選抜する。

地  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 図 学	や な せ さ と す 柳 瀬 訓	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

土地・地域に関する自然的・人文的事象を記述し、伝達する手段としての地図。その基本である地形図利用のための基礎、および基本的な主題図作成方法について講義する。また、空中写真判読の基礎についてもふれたい。

講義の内容・授業スケジュール

地図の種類、地形図の作り方と精度、地形図の図式と読図のための注意点、地形図を使った各種計測法、地図記号から判読される地域特性、メッシュデータ化など地図情報のデジタル化とその利用、データ（地理統計）の解析と作図法、空中写真判読の基礎など

成績評価の方法

期末試験（またはレポート）を主に行うが、授業中に行う小テスト、出席状況などをこれに加味する。

教 科 書

なし

参 考 書 等

授業中に紹介する。

そ の 他

理解を容易にするため地形図（コピーで配布）上で簡単な図上作業を行うことも考えているので、20cm 直線定規、2色鉛筆などを用意してもらおう場合がある。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
図学実習(後期)	清水 長正 <small>しみず ちやうせい</small>	地理2・3・4選	1

講義のねらい	本実習では、地形図図式の理解、地図製図や編集に関する種々の技術の習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>以下の内容について、ミニ試験、各種の成果品の作製などをベースに実施する。</p> <p>① 現在・2万5千分1地形図は地理調査等の基図として最も利用されている。この地形図を作製するにあたって、基準となる事項をまとめたものが『地形図図式』である。地理調査を行うための利用者としても、地形図の性質を知ることは意味のあることと思われるので、ここでは『地形図図式』を読み合わせ、ミニ試験などを実施しながら、その内容の理解を深めてもらう。</p> <p>② 実際の地形図を用いて、各種読図・地図編集作業を実施する。</p> <p>③ ロトリングペンやガラス棒を用いた地図製図法や数値地図の利用法について実習を行う。</p>
履修上の留意点	地図学・測量学などの講義は、事前または同時に履修していることが望ましい。
成績評価の方法	①～③を修得した上で、各自がある調査地域および調査主題を設定し、主題図を作製してもらう。これに調査レポートを附して最終成果とし、それを評価する。
教科書	使用テキスト：『昭和61年2万5千分1地形図図式』（日本測量協会）
参考書等	使用する地形図等は実習中に指示する。
その他	半期の実習で、時間が少ないので、②③は実習中の宿題、最終成果（主題図の作製およびレポート）は冬休みの宿題となろう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外国地誌特講	梅原 弘光 <small>うめ はら ひろみつ</small>	地理2・3・4選	4

講義のねらい	フィリピンの農村社会はいま大きな変化過程にあるが、その変化の内容とそれをもたらした要因を分析し、第二次世界大戦後半世紀間のフィリピン農村社会変容、地域変化を明らかにする。
講義の内容・授業スケジュール	地域とその形成、弧状列島、モンスーン気候、稲作とその特徴、中部ルソン平野、農村社会不安、土地制度、農地改革、「緑の革命」、農業商業化、就業構造、農村階層文化、地域変化。
成績評価の方法	レポートと期末試験。
参考書等	適宜紹介する。
その他	講義中心。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 生 態 学	なか <sup>な</sup> 中 また <sup>ま</sup> 俣 ひとし <sup>ひ</sup> 均	地理 2・3・4 選	4

#### 講義のねらい

「文化」ということばと「生態」ということばとは、どうして結びつくのだろうか。しかもそれが、地理学の一分野として、あるいは少なくともこのように地理学科の選択科目として、提供されるということは、どのような意味があるのだろうか。この講義では、そうした問題についてまず考えてみることから始めて、「文化」を地理学ではどのように把握すべきか、どのような見方がありうるのか、といった点について、わたしなりの整理をしてみたい。前期は、こうしたいわば概論的なことを、できるだけ具体的に講義し、後期にはいわば応用編として、わたしのフィールドである「沖縄」を対象にした各論を展開する。

#### 履修上の留意点

うるさく出席をとる趣味はもたないので、教室には意欲のある学生だけが存在していると考えらる。よって、教室内における私語は、ぜひ慎まされたい。

#### 成績評価の方法

学期末および学年末の「試験」（形式については未定）による。

#### 教科書

あえて指定はしない。毎回、プリント教材を配布し、それをもとに講義を進める。

#### 参考書等

- 一般的なものとして、下記をあげておくので、講義理解のための参考にされたい。
- ・高橋伸夫ほか『文化地理学入門』（東洋書林）1995
- ・歴史教育者協議会編『知っておきたい沖縄』（青木書店）1998

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア地誌	佐藤哲夫	地理2・3・4選	4

講義のねらい

この科目では、タイランドに焦点をあてながら東南アジアの地誌を学ぶ。しかし対象地域をタイランドに限定した講義を行うわけではない。講義内容に述べるように、全体を大きく2部に分け、第1部ではタイランドの地理的特徴を通論的に取り上げるが、そこでは汎東南アジア的事象とタイランド固有の事象を区別して論じる。また第2部では、タイランドの中の諸地域が直面する問題を、全国的な動向と、国境を越えて接する地域の動向から把握する。

このように、地誌の構成を〈東南アジア-タイランド-タイランドの各地方-隣接する諸国・地域〉という4層の構造で展開することによって、地理学に特有の、「複数のスケールに対応した地域理解」の方法を生かそうと試みているわけである。受講者には、地理学的な観点から、東南アジアをより深く理解してほしい。

地理

講義の内容・授業スケジュール

序章 東南アジア地誌研究の流れ

第1部 東南アジアの中のタイランド

第1章 自然景観と地域

1. 東南アジアの気候 1) 大気の大循環 2) モンスーン 3) ドライゾーン
2. 東南アジアの地形 1) プレート運動 2) 河川の特徴 3) スンダ陸棚
3. タイランドの自然地域 1) 暦と季節 2) チャオプラヤ川流域 3) メコン川流域 4) マレー半島部

第2章 人々の生活様式

1. 東南アジアの農耕 1) 森林と耕地 2) 農耕文化論 3) 照葉樹林帯の文化
2. 東南アジアの稲作 1) 稲作の拡大 2) 伝統的農村社会 3) 稲作技術の革新
3. 東南アジアの諸民族 1) 大陸部の民族 2) 島嶼部の民族 3) 華人とインド人
4. タイランドの民族と社会 1) タイ族の分布 2) タイ族の文化 3) 少数民族

第3章 文化景観の形成

1. 海上交易と文化交流 1) インド文明の影響 2) イスラム化 3) 中国との関係
2. 植民地支配の遺産 1) 貿易拠点の建設 2) 植民地の開発 3) 日本軍の占領
3. タイランドの王朝と都 1) 古代都市 2) スコタイとアユタヤ 3) バンコク

第2部 タイランドを構成する地域

第1章 全体としてのタイランド

1. 国際環境の変化 1) アジア諸国の独立 2) ベトナム戦争 3) ASEANの発展
2. 開発と地域問題 1) 農業の多角化 2) 工業化の胎動 3) 急成長の代償

第2章 タイランドの5つの地域

1. バンコク大都市圏 1) 郊外への発展 2) 都市問題の深刻化 3) 運河と集落
2. 中部地方 1) 東部臨海工業地帯 2) 中北部の平原 3) 西部の開発
3. 北部地方 1) 山地と盆地 2) 集約的な農業 3) ランナタイの文化
4. 東北地方 1) 氾濫原と台地 2) 農村の貧困 3) タイラーオの文化
5. 南部地方 1) 丘陵と海岸 2) 漁業と観光業 3) マレー文化の影響

第3章 国境を越えた地域の動向

1. ラオス、カンボジア 1) 民族の歴史 2) ベトナムとの関係 3) 開発援助への期待
2. マレーシア、シンガポール 1) 英領時代の開発 2) 独立と民族政策 3) 高度経済成長
3. ミャンマー 1) 複雑な地域構成 2) 軍事政権の統制 3) 経済開放への着手
4. 中国 1) 東アジアの構図 2) 国内の諸地域 3) 経済格差の拡大

履修上の留意点

今年度の授業内容は、前年度とかなり異なる。

成績評価の方法

夏休み前の試験と、学年末レポートを50%ずつで評価する。したがって、前期の成績が10%未満だと、その時点で不合格となる。

教科書

参考資料を授業時間に配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 地 誌	す 須 やま 山 さとし 聡	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

ラテンアメリカ地誌について講義する。とくにブラジル植民の拠点となったブラジル北東部(ノルデステ)については詳細に講義する。またラテンアメリカ地域に限らず、日系人の出稼ぎなど我々の身近なテーマについても言及する予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. ラテンアメリカの地理的位置
2. 自然環境
3. 国家と国民
4. 歴史的背景
5. 産業基盤
6. 都市と農村
7. ノルデステの風土
8. ノルデステの伝統的農牧業
9. ノルデステの近代化
10. ラテンアメリカの巨大都市
11. ラテンアメリカの日系移民
12. H系人の「再移民」

履修上の留意点

地図帳を必ず持参されたい。

成績評価の方法

学年末試験(60%)、出席状況(40%)で判定。

教 科 書

斎藤ほか編著『ノルデステ』(大明堂、99年3月刊行予定)を後期のテキストとする。  
その他適宜資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ地誌	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久	地理2・3・4選	4

地  
理

講義のねらい	自然環境と人間活動との関係、文化の地域的多様性と共通性、経済活動の多様性に着目しながらヨーロッパ全体を眺め、その核心部である北西ヨーロッパの地域的問題を考える。
講義の内容・ 授業スケジュール	文化地域としてのヨーロッパの共通性と多様性を様々な分布図の重ね合わせから考え、その後、中核部としての北西ヨーロッパについて、特にその農業の発達、地域性、近年の農村・農業の状況を、日本のそれと対比しながら考えていきたい。
履修上の留意点	出来る限り、毎授業の最後に疑問や質問をミニ教場レポートで書いてもらい、次時にはその学生の疑問や質問を取り上げるつもりであるので、授業に積極的に参加するよう望みたい。
成績評価の方法	出席とミニレポート50点、夏休みレポート20点、試験30点といったバランスで評価したい。
教科書	ジョーダン著・山本・石井訳『ヨーロッパ文化』(大明堂) 5,160円
参考書等	桜井明久『西ドイツの農業と農村』(古今書院) 4,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済地理学	なま い ざわ すすむ 生 井 沢 進	地理2・3・4選	4

講義のねらい	経済地理学の対象は都市・交通・産業（農業、工業、商業）・貿易等多方面に渡ると同時に、これらの経済活動の立地的側面（立地論等）について考察する学問分野である。 本講義ではこのうち特に都市経済活動の中心である商業活動（卸売業・小売業）に焦点を当て、流通構造の変化と都市構造の変化との関連についての分析を行ってゆく。
講義の内容・ 授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 流通機能と流通機構</li> <li>2. 生産・流通構造の変化のパターンと方向</li> <li>3. 都市構造と流通構造</li> <li>4. 消費者行動と小売構造の変化</li> <li>5. 情報化の進展と流通構造の変化の方向を中心とする。</li> </ol> 講義においてはなるべく新しいデータと最近の話題（ニュース）を用い、現在進行中の「価格革命」の意味と都市の変化との関連をわかりやすく説明してゆくつもりである。
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 夏期休暇中に各自調査を行い、レポートを作成・提出（テーマは講義中に与える）。これを約50%の評価にする。</li> <li>② 定期試験結果を約50%の評価にする。</li> </ol>
参考書等	講義の最中にその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 地 理 学 特 講	す 須 やま さとし 山 聡	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

経済地理学の基本的な概念を理解した上で、日本の在来工業・地場産業地域を対象に、その発展・変容、日本経済に占める役割、今後の展望について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 以下の予定で講義を進める。
1. 経済地理学の目的と方法
  2. 経済地理学の基本的概念
  3. 日本の在来工業地域の概観
  4. 徒弟制による熟練形成と労働市場
  5. 在来工業地域の形成
  6. 在来工業地域の発展と変容
  7. 近代工業と在来工業の競合・共存
  8. 大都市の在来工業（西陣織・江戸木目込人形）
  9. 地方都市の在来工業（輪島塗・井波彫刻）
  10. 農村地域の在来工業（結城紬）

成績評価の方法

出席状況（40%）と試験（60%）を規準とする。

教 科 書

とくに定めず、適宜資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
村 落 地 理 学	ふじ しま のり たか 藤 島 範 孝	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

村落は歴史的伝統の上に成立する居住形態であると同時に農業の生産を主とする生産構造に依存した後進地域的性格をもつとされているが、実は人間が自然に適応し生活する原型と考えている。

特に村落形成の要因に社会的、経済的、民族的、歴史的過程を重視することが等閑視されている。熱帯の村落、砂漠の村落、高地の村落など事例をあげて事例研究を重視する。

講義の内容・  
授業スケジュール

アジア各地域に中国に於ける遊牧民族や客家や少数民族の村落形態、回教徒村落など紹介したい。事例を挙げ日本の村落究明の実情と比較したいと考えている。

履修上の留意点

家族、婚姻、儀礼、集団秩序、家夫長関係といったアジア特有の人間関係の重層について関心を要望する。

成績評価の方法

事例に関して括め、自から人間関係の原点を追求して貰う報告をして貰う。

教 科 書

「村落社会地理」及び「集落地理」関係の読書を望む。特定の教科書指定せず。

参 考 書 等

参考書として東南アジア学「東南アジアの社会」「東南アジアの文化」等の講座（弘文堂・全十巻）の一読をすすめる。又、参考として引用する。

そ の 他

講義中心。プリントに作図することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 形 学	こ い け か ず ゆ き 小 池 一 之	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである。  
1. 地形学の成り立ち、2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、組織地形）、4. 海水の働きと地形、5. 地球内部に力によって形成される地形（火山地形など）、6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書

貝塚爽平著『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円  
小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

その他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地形学実習（前期）	し み ず ち ょ う せい 清 水 長 正	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい

本実習は、地形学・地質学・第四紀学などで学習する地形および第四紀地質の調査方法の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの『発達史地形学』をベースとして、空中写真判読、現地調査、レポートの作成の3項目に重点を置く。空中写真判読は、各種地形形態の写真上での把握をベースとし、各種地形の相互関係から地形発達をある程度推定できるまでの技術の向上を目指す。現地調査については、休日を利用して地形調査の巡検を2～3回程度行い、現地における地形形態の実測および地形を構成する物質（とくに第四紀地質）の露頭調査など、各種器材の使用法を含めた実習を行う。レポートの作成では以上の実習内容をレポートにまとめ、地形の記載の仕方について会得してもらう。

履修上の留意点

地形学、地質学、地球物理学、第四紀学などの地形に関する講義は、事前または同時に履修してもらいたい。また、空中写真実体視はマスターしていることが望ましい。

成績評価の方法

読図・空中写真判読成果および巡検のレポートなどにより評価する。

教科書

貝塚爽平『発達史地形学』（東京大学出版会）

参考書等

参考書は実習中に指示する。

その他

空中写真はカラーコピーを使用するので、代金（700～800円程度）がかかる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会地理学	みやぐちとしみち 宮口 侗 迪	地理2・3・4選	4

講義のねらい

地理学の中で社会地理学がどう位置づけられ、いかなる方向をめざすべきかを示し、最終的には日本の農山村の発展の方向を議論したい。

講義の内容・授業スケジュール

最初に社会地理学の立場を説明し、しだいに具体的な地域・空間の提示によって、社会空間がどうつくられていくかを実感してもらう。

履修上の留意点

スライドなどを適宜使用するので出席はチェックする。

成績評価の方法

学年末に試験を行う。

参考書等

宮口侗迪著『地域を活かす』（大明堂）

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
交通地理学	つちたにとしはる 土 谷 敏 治	地理2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会において、1地域は人・物質・情報をはじめとする各種の相互作用によって他の地域と密接に結びついており、相互に依存し合っていると見えよう。本講義では、現実の交通現象や交通政策に加えて、これらの相互作用を含めた地域間の結びつきについても解説する。

講義の内容・授業スケジュール

前期はこれまでの地理学の研究成果を中心に、後期は具体的な事例を中心に次のような内容を予定しているが、講義担当者も少しは勉強していきたいと考えているので、その成果によっては多少の変更が生じるかもしれない。

1. 交通と都市システム
2. 交通ネットワーク
3. 交通とアクセシビリティ
4. 航空交通の特色と都市間結合関係
5. 鉄道交通の現状と問題点
6. 公共交通の課題

履修上の留意点

多少の数字・数式等を用いて講義を進めるので、了解しておくこと。ただし、その内容は中学校程度のものであり、数学の専門的知識はとくに必要としない。

成績評価の方法

前期と後期それぞれの最終回の授業時間に試験を実施、その総合得点（すなわち、2回の試験の合計点）で成績を評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

井田仁康『航空旅客流動と空港後背地』（大明堂）  
奥井正俊『自動車交通の地域分析』（大明堂）  
奥野隆史『交通と地域』（大明堂）

その他

後期は、具体的な事例を示すため、スライド・ビデオを使用する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
気 候 学	なか むら かず お 中 村 和 郎	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

日本および世界各地の気候現象と人間生活との関係などの具体的事例を通して、気候現象のメカニズムを学び、気候学の基本的な諸概念を理解する。大気の物理学というよりは、大気現象を中心とした地理学に近づけたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 気候現象のスケール
2. 地球の温暖化と寒冷化 大気組成とエネルギー収支
3. 雲と風の地理学 気象衛星画像
4. 気団と前線 高気圧と低気圧
5. 大気大循環
6. 気候現象の空間的把握 気候分類と気候区分
7. 同上 世界の気候と日本の気候
8. 気候現象の時間的把握 季節学
9. 同上 気候変動と気候変化
10. 気候と人間生活

履修上の留意点

提出期限に遅れたレポートは受け取らないので注意。

成績評価の方法

前期のレポート、小テストおよび年度末の試験によって評価する。

教 科 書

特定の教科書は用いない。

参 考 書 等

気象衛星センター監修『ひまわりで見る四季の気象』（大蔵省印刷局）  
 住 明正『地球の気候はどう決まるか？』（岩波書店）  
 中村和郎・木村竜治・内嶋善兵衛『日本の気候』（岩波書店）  
 中村和郎『雲と風を読む』（岩波書店）  
 吉野正敏『気候学』（大明堂）  
 吉野正敏ほか編『気候学・気象学辞典』（二宮書店）

そ の 他

OHP などを用いて講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
気候学実習(後期)	ながむら かずお 中村和郎	地理2・3・4選	1

講義のねらい

「気候学」の講義で学ぶ知識を確かなものとすることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 気象観測
2. 気象統計・作物統計などの扱い方(各種統計値の計算、統計グラフの作成など)
3. 統計地図の作成
4. 天気図の作成
5. 断熱図の作成

履修上の留意点

「気候学」の講義を履修していることが望ましい。自分で工夫して調べなければできない課題を出すことが多いので注意。

成績評価の方法

出席と課題の提出によって評価する。

教科書

とくに用いない。

参考書等

その都度提示する。

地  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
水 文 学	ながぬま のぶお 長沼信夫	地理2・3・4選	4

講義のねらい

地理学の一分野でもある水文学の基本的な見方・考え方、水文環境の現状などについて講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の概要は次に示す通りである。

- 1) 水の科学としての海洋学、陸水学、水文学：地理学的立場から水圏科学の現状について概説する。
- 2) 地球上の水循環と水量：地球上の水の一部は常に循環している。その循環過程と水量、さらに地球上の水の総量などについて概説する。
- 3) 陸地における水の基本的な在り方：陸水は、それぞれの場によって河川水、湖沼水、地下水などに区分することができる。そこで河川・湖沼・地下水の存在状況などについて概説する。
- 4) 水文学の中心概念である水収支の見方・考え方：横浜地域などを事例に、降水～流出の過程を水文調査で得られた資料を基に言及する。
- 5) 水と地域と人間活動：横浜・川崎地域や南西諸島などを事例に、水環境の現状とその問題点について水文学的立場から考える。

履修上の留意点

選択科目であるため、水文学に興味ある学生諸君の受講を希望する。

成績評価の方法

授業期間内に2～3回程度(前期と後期)の筆記試験を実施する。

教科書

地学団体研究会編『地球の水圏——海洋と陸水——』(東海大学出版会)1995年 2,625円

参考書等

講義中に適時指示する。

その他

必要に応じて、教材プリントの配布やOHPを使用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
水文学実習(前期)	たかぎ まさひろ 高 木 正 博	地理2・3・4選	1

講義のねらい

身近な河川や湧水などを対象として、野外で水量や水質などの測水調査を行い、水文環境の一端を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

調査の準備段階として、対象水域の概要や水量・水質などに関する基礎的な学習を行ってから、調査目的、水域、地点の選定、調査項目、計測器材の特徴と使用法などについて検討する。調査後は、資料の分析、図表の作成、結果の整理・考察などをおして総括する。測水調査は2～3回予定している。

地  
理

履修上の留意点

野外での調査、実験室での分析など授業時間以外にもかなりの時間を必要とする。時間の制約等が考えられるが、積極的に受講してほしい。

成績評価の方法

日頃の実習態度を基礎点とし、提出物の成果と合わせて評価する。

教科書

新井 正『水環境調査の基礎』(古今書院) 2,500円

参考書等

日本分析化学会北海道支部編『水の分析』(化学同人)  
日本地下水学会編『名水を科学する』(技報堂出版)、その他随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人口地理学	おおとも あつし 大 友 篤	地理2・3・4選	4

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり(空間)と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明らかにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介することが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを並行して説明する。

講義の内容・授業スケジュール

人口構造(基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造)、人口動態(出生、死亡)、人口移動(国内移動、国際移動)、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 地 理 学	お だ まさ やす 小 田 匡 保	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

日本の事例を中心に歴史地理学の各分野を概観する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 人口 2. 村落 3. 都市 4. 交通

成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位認定は保証できない。

参 考 書 等

藤岡謙二郎ほか『新訂 歴史地理』（大明堂）3,107円

そ の 他

村落についての話は、昨年度の村落地理学の講義内容と重複するが、了承されたい。

地  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 地 理 学 実 習 ( 後 期 )	お だ まさ やす 小 田 匡 保	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい

歴史地理学の研究では、古い時代の史料を扱うことが必要になる。この科目では、歴史地理学の史料（あるいは研究対象）として利用されることの多い古地図に親しむことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書として挙げた『江戸時代古地図をめぐる』には、全部で95枚の古地図が掲載されている。これらの古地図を、記載文字・地図表現などを頼りに、履修者が分担して読んでいく。その作業の中で、くずし字や古文書特有の表現に慣れる。あわせて、古地図に関する学習も行なう。

履修上の留意点

旧漢字の知識があることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況・報告内容とレポートで行なう。無断欠席が3回になった段階で、単位不要と判断する。

教 科 書

山下和正『江戸時代古地図をめぐる』（NTT 出版）1,650円

参 考 書 等

林英夫監修『増訂近世古文書解説辞典』（柏書房）2,524円

そ の 他

教科書が品切になって入手できない場合は、別の授業内容を考える。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地球物理学	やなぎ だ まこと 柳 田 誠	地理2・3・4選	4

講義のねらい

地理学専攻学生を対象として、地球物理学の講義を行う。とくに、第四紀学と地形学に密接な関係をもつ分野について論ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の項目をわかりやすく取り扱う。  
 固体地球の大気・水との境界  
 地球の地形と水星・金星・月・火星の地形  
 地球の物質組成  
 プレート運動  
 第四紀地殻変動  
 活断層と地震  
 火山活動

履修上の留意点

地形学と第四紀学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

小テスト、出席状況、レポートの結果から総合的に判定する。

教科書

貝塚爽平『発達史地形学』（東大出版会）1998 3,400円

そ の 他

OHP、スライドを使用し、必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
土壌地理学	うるし ばら かず こ 漆 原 和 子	地理2・3・4選	4

講義のねらい

種々の岩石が土壌生成作用を受けて熟成していく過程を説明し、次に世界と日本の気候と植生の差に対応して分布する土壌型とその分布様式について考える。土壌特性の差がどうして生じるのか、人々はその特性をどのように利用してきたのかについて説明する。さらに人間活動が関与して変化した土壌特性や開発上の問題点についてもふれる。基礎知識として、地形学、気候学を履修していることが望ましい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は基礎を、後期は分布様式と人間活動について講義する。

履修上の留意点

教科書以外の教材も多用するので必ず出席すること。

成績評価の方法

成績評価は出席と試験によっておこなう。

教科書

ブリッジズ著『世界の土壌』（古今書院）3,800円

そ の 他

スライドを用い、プリントを配布する。土壌のサンプル、岩石のサンプルにふれ、分類する機会をつくる。講義が主体。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物地理学	しみず よしかず 清水 善和	地理2・3・4選	4

### 講義のねらい

現在、地球上には1000万種を越える生物が存在していると推定されている。これらの種の一つ一つが地球上で特有の分布を有している。これら種の分布は現在の様々な環境条件に規定されているのみならず、過去の環境の変化やその種のたどってきた進化の道筋を反映して定まったものである。一方、個々の種はバラバラに存在するのではなく、地球の歴史や環境条件のまとまりに応じて大小様々な生物地理区を形成している。生物の分布の裏側にはさまざまな情報が隠されているわけである。そこで、本講義では生物の分布をキーワードにして、その背景にある生物進化のプロセスや生物と環境との関わりについて、具体的な地域や生物グループを取り上げながら考えていく。また、生物を取り扱う上で必要な生物進化や分類学の基本的な知識を解説し、実際のフィールド・ワークに役立つように、生物図鑑の検索方法、植物標本の作り方、植生調査の方法などについても説明する。

地  
理

### 講義の内容・ 授業スケジュール

#### 第1章 生物地理学の基礎

- (1) 「生物地理学」とは？
- (2) 生物の分布と移動
- (3) 進化とメカニズム
- (4) 生態系とニッチ

#### 第2章 分類体系

- (1) 分類体系と学名
- (2) 生物五界説
- (3) 種の定義と属性
- (4) 系統樹

#### 第3章 区系生物地理学

- (1) 分布パターン
- (2) 世界の生物地理区 (植物、動物)
- (3) 日本の生物地理学 (植物、動物)
- (4) 分布境界線と移行帯

#### 第4章 生態地理学

- (1) 気候帯
- (2) 温量指数
- (3) 世界の植生帯
- (4) 日本の植生帯
- (5) 植物群落体形と植生図
- (6) 植生調査法

#### 第5章 過去をさぐる方法

- (1) 化石と地質年代図
- (2) 花粉分析
- (3) 年輪解析
- (4) 放射能の半減期
- (5) 地磁気の逆転
- (6) 南極の水柱
- (7) 分子時計
- (8) 全地球史解説

#### 第6章 絶滅

- (1) 絶滅と大量絶滅
- (2) 恐竜の絶滅
- (3) 大型哺乳類の絶滅
- (4) 人為による絶滅
- (5) 絶滅危惧種

#### 第7章 大陸移動と生物分布

- (1) プレートテクトニクス
- (2) ゴンドワナ大陸
- (3) 南北米大陸の接合
- (4) ヒマラヤ造山
- (5) 海産生物のルーツ

#### 第8章 氷河期と生物分布

- (1) 氷期の気候変動
- (2) 後氷期の生物移動
- (3) 海面変動と生物分布

#### 第9章 大洋島の生物

- (1) 大洋島と天陸島
- (2) 長距離散布と定着
- (3) 動的平衡モデル
- (4) 適応放散の種分化
- (5) 島症候群
- (6) 島大陸と古代湖

#### 第10章 帰化生物

- (1) 人為的な生物の移動
- (2) 代表的な帰化生物
- (3) 帰化生物の影響
- (4) 家畜の野生化

### 成績評価の方法

テスト、レポート、出席を勘案して評価する。

### 教科書

特に用いない。

### 参考書等

適宜紹介する。

### その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境地理学	はやふね げん ぼう 早 船 元 峰	地理2・3・4選	4

講義のねらい

自然の人間への影響、人間の自然へのはたらきかけについて、土地利用・水利用を通じ歴史的観点から論じる。

講義の内容・授業スケジュール

- 北海道富良野市・美瑛町の傾斜地（観光資源“丘”）における土地利用の変化と環境保全（土壌侵食防止）について
- 多摩川上流域や祖谷川流域の傾斜地における日本古来の伝統農法と環境保全について
- 畑作の卓越している群馬県大間々扇状地と水田の卓越している富山県黒部川扇状地における土地利用と水利用などについて

成績評価の方法

課題（地形図より主題図作成）・小テストなどによる平常点。

参考書等

氷見山幸夫・岡本次郎編著『土地利用変化とその問題』（大明堂）  
脇田武光・石原照敏編『観光開発と地域振興』（古今書院）

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
計量地理学	つち たに とし へる 土 谷 敏 治	地理2・3・4選	4

講義のねらい

地理学の分析に必要な統計的方法・計量的方法を理解するとともに、それらの方法を用いて実際にデータを処理・分析し、さらにその結果を解釈する能力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、下記の各項目について解説する。

1. 統計データの種類と特色
2. 統計データの集計
3. 基礎統計量
4. 相関・回帰分析
5. 多変量解析

後期は、前期に学習した分析方法について、実際にデータを処理・分析・考察することによって、それぞれの方法の理解を深める。そのため、提示されたデータや受講者各自が収集したデータを分析・考察して、結果をレポートとして提出する。また、担当者を決めて分析結果の発表を行い、全員で討論する。なお、計量的分析にはコンピュータの使用が必要であり、総合情報センターと地理学科のコンピュータを使用する。

履修上の留意点

この授業は実習的側面ももっているため、毎回の出席と、後期においては課題の提出が重要である。なお、コンピュータを使った分析では、Microsoft WindowsとMicrosoft Excelをおもに使用するため、これらを使いこなせることが履修の条件である。ただし、これらの未経験者であっても、前期において「計量地理学実習」をあわせて履修する場合は、本講義を履修することができる。また、総合情報センターを使用するため、その利用者登録を行う必要があるが、方法については授業時に指示する。

成績評価の方法

前期：7月の最終回に試験を実施する。  
後期：試験は行わず、提出されたレポート・発表内容・討論への参加状況を得点化する。  
成績評価は、前期試験の得点、後期のレポート・発表・討論の評価点に出席率を加味して行う。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

奥野隆史『計量地理学の基礎』（大明堂）  
野上道男・杉浦芳夫『パソコンによる数理地理学演習』（古今書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
計量地理学実習 (前期)	つち なたし はる 土 谷 敏 治	地理2・3・4選	1

講義のねらい

地理学の分析に必要な統計的・計量的方法を駆使するためには、コンピュータを活用できることが1つの前提条件である。本実習では、そのような分析のためのパーソナルコンピュータやソフトウェアの使用法を習得し、実際に分析が行えるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 次のようなスケジュールで実習を行う。
- ① パーソナルコンピュータに慣れる
  - ② Microsoft Windows の使用方法
  - ③ Microsoft Excel の使用方法
  - ④ 統計データの処理
  - ⑤ グラフ作成
  - ⑥ 地図化

地  
理

履修上の留意点

パーソナルコンピュータや Microsoft Windows・Microsoft Excel などのソフトウェア使用の未経験者、未習熟者を対象とする。すでにこれらを使いこなせる者は、履修の必要はない。「計量地理学」履修希望者で、これらの未経験者、未習熟者は、必ず本実習を履修すること。実習であるので、毎回出席し、課題を提出することが必要である。

成績評価の方法

各課題を得点化し、さらに出席状況を加味して評価する。

教科書

とくに指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
測 量 学	こ いかず ゆき 小 池 一 之	地理2・3・4選	4

講義のねらい

測量学は、地球表面の任意の点の位置関係を決定する技術を研究する実学性の強い学問分野である。それぞれの点の間の距離や高度差(比高)、および、それらの点を結ぶ線の方位を測定することが測量の基本である。本講義では測量学の基本を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球の姿、2. 誤差論、3. 角測定法、4. 距離測定法、5. 水準測量、6. 多角測量、7. 地形測量、8. 写真測量、9. 写真判読法
- の順で各項目に2～3時限をあてる予定である。それぞれの項目の講義終了後に実習をおこなうか課題を義務付ける。

履修上の留意点

この講義は国家資格である測量士補取得(国家試験免除)のための必修科目である。したがって、成績評価は厳しい。また高校の数学(とくに三角関数、対数の基礎)を十分に復習しておくこと。ちなみに測量士補の国家試験の合格率は例年15%前後である。

成績評価の方法

成績の評価は、期限内に提出された課題を基礎点として学年末試験の点数を加えた総合点で評価する。課題の提出不足や不提出者は試験の点数が満点に近い場合のみ単位が与えられる。

教科書

森野安信著『測量の基礎知識』(市ヶ谷出版社)2,200円

参考書等

測量士補受験用図解テキスト2～4(今井佐一監修2. 水準・地形・応用測量、3. 三角・多角測量、4. 写真測量・地図編集)(市ヶ谷出版社)各2,000円  
小田部和司著『図解土木講座「測量学」』(技報堂出版)2,884円

その他

授業の中心は講義形式であるが、年間数回の課題実習を行う。3年次に履修することが望ましい。



科目名	担当者名	配当学科	単位
リモートセンシング	佐藤 哲夫	地理2・3・4選	4

地  
理

講義のねらい

この科目では、環境や資源の調査に利用されているリモートセンシングの初歩（空中写真の利用を含む）を学ぶ。入門的な授業とはいえ、応用的な性格の強い分野なので、関係する技術の全てを、根本的な原理から積み上げて理解するのは大変困難である。したがって、主に実習による技術の体験を通じて、リモートセンシングの長所・短所や可能性について知ることに重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 リモートセンシング入門   | 12 環境研究への応用例    |
| 2 空中写真の利用       | 13 デジタル解析の基礎    |
| 3 空中写真の判読       | 14 画像の計測と出力の調整  |
| 4 空中写真の計測       | 15 レベルスライス      |
| 5 実体視と視差        | 16 フィルタリング      |
| 6 空中写真測量        | 17 バンド間演算       |
| 7 リモートセンシングの原理  | 18 シングルセル分解     |
| 8 様々な衛星画像データ    | 19 最短距離法による分類   |
| 9 衛星画像データの入手法   | 20 幾何補正         |
| 10 衛星画像の判読      | 21 土地利用研究への応用例  |
| 11 汎用画像処理ソフトの利用 | 22 土地被覆分類図の作成実習 |

履修上の留意点

パソコンによる処理を行うので、ウィンドウズを操作できることが受講の前提となる。また、課題を仕上げるために自宅でウィンドウズを利用できない場合は、総合情報センターの利用登録を行い、自習室を利用すること。地図の読図や作図作業の嫌いな人には向いていない。

成績評価の方法

空中写真判読のレポート、空中写真測量の練習問題、衛星画像判読のレポート、土地被覆分類図作成のレポートがそれぞれ20%、そのほかに実習の過程で課す小課題を総合して、合計100%の評価とする。

教科書

教材（フロッピーディスクなど）や空中写真の判読と計測に関する参考資料は配布する。衛星リモートセンシングに関しては、下記をテキストとして指定するほか、補足的な資料を配布する。ただし、テキストは上記の授業スケジュールにあわせて、ランダムに参照する。  
長谷川 均 『リモートセンシングデータ解析の基礎』（古今書院）3,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化地理学	小 <sup>お</sup> 田 <sup>だ</sup> 匡 <sup>まさ</sup> 保 <sup>やす</sup>	地理2・3・4選	4

## 講義のねらい

広義の文化地理学は人文地理学とほとんど同じであるが、本講義では狭義の文化地理学に的を絞り、特に宗教地理学の研究例について述べる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 宗教集落・宗教都市
5. 山岳宗教
6. 巡礼
7. 墓地

## 成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位認定は保証できない。

## 教科書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
第 四 紀 学	すずき たけひこ 鈴 木 毅 彦	地理 3・4 選	4

地  
理

講義のねらい

第四紀とは現在を含む最も新しい地質時代であり、今からさかのぼること約170万年間をいう。現在の地球上でみられる地形、気候、人類の姿の大部分は、第四紀におきた現象の累積として説明できる。本講義のねらいは、第四紀の地形と気候の変化、人類の歴史をふりかえり、その結果として現在があること、また、将来を予測するためには過去を知ることが重要であることを理解することである。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容は、氷期-間氷期サイクルに関連する気候と海面の変化、第四紀の地形編年と層序の2項目を中心に、地殻変動、火山活動、植生、土壌、人類などの変遷史をテーマとしてとりあげる。第四紀学は歴史学でもあるので講義にあたっては具体的な事例を題材とする。その際にはなるべく身近な事例（関東地方、日本列島など）を取り上げるが、内容によっては全地球が対象となることはいうまでもない。

履修上の留意点

講義の中心は第四紀の歴史であり地質学的な側面が多いが、現在の地球の姿、すなわち自然地理学的な関心・知識を有することが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験、および各自が各々の関心に応じて適当な単行本ないしは学術論文を選び、それについての評論を行ない、成績評価とする。また、講義中に簡単な作業などを要求することもある。

教 科 書

日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,233円

参 考 書 等

貝塚爽平『東京の自然史』（紀伊国屋書店）1,650円

そ の 他

OHP、スライド、時にビデオを用いて講義を行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 地 理 学	たかぎ まさひろ 高 木 正 博	地理 3・4 選	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマが求められるであろう。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水文学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体として捉えることを基本とし、流域（地域）の自然とその土地の人々とのかかわりあいを利用・災害・自然環境などの視点から考える。また、ヨーロッパの河川特性・管理などについても紹介する。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利用・災害・河川環境などの視点からそれぞれ河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加味する。

教 科 書

授業時間に配布するプリントを使用。

参 考 書 等

高橋裕『河川工学』（東京大学出版会）その他随時紹介する。

そ の 他

講義中心。事例紹介のためのスライドや OHP、ビデオも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 域 計 画 論	こ 今 野 修 平	地 理 3 ・ 4 選	4

#### 講義のねらい

地理学の研究対象である地域は、自然、歴史等の基礎条件の下、市場原理に基づく資本の動向と、社会的意志決断による政策選択により大きく影響を受け、日々新たになりつつ未来へ向けて人々の努力が続けられている。

本論は社会的意志決断による政策選択を主として取上げ、これが地域形成にもたらした影響とこの政策の在り方を考えることを講義のねらいとしている。地理学にとって Sein の科学から Solen の科学への道を切り拓こうとするものでもある。

戦後体制の中で体系化している準拠法、行政体系、政策の沿革等を認識した上で、体系上の基本計画となる全国総合開発計画を詳細に取上げ、現在審議中の次なる全国総合開発計画にも触れる。学習の一環として実地に則した学習の一つとして、夏休みには「ふるさとの未来像」と取組むこととしている。

#### 履修上の留意点

本講義の関連科学として最も密接な領域は経済政策、交通計画、都市学、環境生態学等多岐に亘るため、幅広い学習が求められると共に、これを克服していく熱い情熱と意欲が求められる。

#### 成績評価の方法

成績の評価は、夏休みを取組む「ふるさとの未来像」の取組みと、年度末試験によるが、途中何回かの小論文テストとレポートがあり、重要事項の復習と思考力および論文作成能力向上のトレーニングを行う。

#### 教科書

教科書はとりあえず『第4次全国総合開発計画』（国土庁刊）を使用するが、国における政策の進展状況によっては、新しい刊行物を追加利用する。またコピーや OHP での資料配布等も随時行なう。

#### 参考書等

参考図書等は講義中紹介する。

#### その他

地域を地域住民の手で自らつくり上げていく上で、取組むべき姿勢、不可欠な視点、基礎認識として必要な学識、計画策定への思考方法の最も基本的領域に取組み、地域づくりの主人公としての市民が持つべき責務を痛感させられる講義にしたいと念じている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 情 報 論	むら やま ゆう じ 村 山 祐 司	地 3 ・ 4 選	4

地  
理

講義のねらい

地理情報の収集と空間解析の方法について説明するとともに、近年注目を集める地理情報システム GIS について概説する。

GIS は、地図（地域）情報と属性（主題）情報を一元的に取り扱う。多様な情報源から大量の空間的データを取り込み、地図情報を主体としたデータベースを作成する。それを効率的に蓄積・検索・変換・解析して、地図出力やレポート作成などを行い、ユーザの意思決定を支援する。

GIS は、国土、県域、都市などの計画管理・行政支援、ビジネスをはじめ、多くの分野で活用され始めている。極めて将来性に富んだ分野である。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 地理情報の収集方法（文献）
2. 地理情報の収集方法（統計データ）
3. 地域分析に有用な統計パッケージ
4. 地理情報と空間分析
5. 多変量解析
6. 地理情報システム GIS とは
7. GIS のハードウェア
8. GIS の発展史
9. GIS のデータ構造
10. アナログ地図とデジタル地図
11. ラスターデータとベクターデータ
12. 社会モニタリング
13. GIS の空間解析機能（オーバーレイ・バッファリング）
14. GIS の空間解析機能（ネットワーク分析・テッサレーション）
15. GIS の社会的応用（環境問題・防災）
16. GIS の社会的応用（行政・民間）
17. インターネットによる GIS・地理情報の入手
18. インターネット GIS
19. GIS の将来
20. 地理学と GIS（まとめ）

成績評価の方法

期末テストの結果に出席回数を加味して行う。

教 科 書

中村和郎・寄藤 昂・村山祐司編（1998）『地理情報システムを学ぶ』（古今書院）3,000円

そ の 他

- 1) 駒澤大学「情報処理センター」において、GIS のデモを行う。
- 2) GIS 関連の企業・行政機関を訪問し、地理情報システムの使われ方に関して実地見学を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代地理学特論	はせがわ ひどし 長谷川 均	地理2・3・4選	4

講義のねらい

新聞やテレビで“沖縄”の二文字を日にすることが多い。沖縄県では、本土復帰以降、巨額な資金がつぎ込まれ、島々の自然がいたるところで痛めつけられている。また最近、本島北部に米軍基地の移転と空港建設を目指した新知事が誕生し、それに伴う自然へのダメージを懸念する声も強い。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」「沖縄における土地変化と自然環境の悪化」である。これらは、私が最近興味をもって取り組んでいるテーマでもある。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。地元紙の記事やインターネットで流れている情報なども紹介する予定である。なお、後期は前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地域や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。

地  
理

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退出は認めない。

成績評価の方法

2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、スライド、PCによるプレゼンもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学特講Ⅱ (前期)	なま い ざわ すずむ 生井 沢 進	地理3・4選	2

講義のねらい

地理学の応用部門の一つとして、「地域開発」、「地域振興」の分野が存在している。ところが、この分野は経済学を始めとして様々な分野の研究対象となっており、決して地理学からのアプローチのみに限定されているわけではない。

本講義では、この「地域振興」に関する地理学のアプローチの特徴を明確にするために、他分野からのアプローチ、特にマーケティング的アプローチとの比較を中心として展開してゆく。講義においては事例の紹介とその解説を中心としてしてゆくことを考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書は特に指定しないが、「地域のマーケティング」(P コトラー、井関・前田他訳、東洋経済新報社)を参考として、これに収録されている事例の解説を中心としてゆく。

成績評価の方法

出席点、レポート内容を重視して成績を評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学特講Ⅲ	おきの 沖野行男	地理3・4選	4

講義のねらい

観光産業の中核である「旅行業」及び関連産業である「運送業」「宿泊業」「娯楽施設業」には共通する旅行業務の取扱責任者としての運輸省管轄の「旅行業務取扱主任者国家資格」があり、文学部地理学科の学生諸氏の専門科目の実際的应用適用を図る上での本資格試験受験・合格を目指すことが本講座の設置目標であり、その学生諸氏への補助的講座としての位置付けには変更がない。

講義の内容・授業スケジュール

- 受験科目は：1) 法及びこれに基づく命令についての知識(旅行業法令)  
 2) 旅行業約款、運送約款及び宿泊約款に関する知識(旅行業関連約款)  
 3) 国内旅行実務(国内運賃料金・国内観光地理・国内旅行業務)  
 4) 海外旅行実務(国際運賃料金・海外観光地理・観光英語・出入国法令/手続・海外旅行業務)

の四科目であるが、これは一般主任者に必須で国内主任者は1) 2) 3) の三科目である。毎年一回の試験は国内が9月に、一般は10月に実施される。従って夏期を含めて前半(前期)に受験対策講義が集中するので、週1回の講義では全ての受験科目内容をカバーすることには制約がある。年間設置課程であるが前期では共通受験科目である「旅行業法令」と「旅行業関連約款(標準旅行業約款)」にのみ講義の焦点を絞り込む。

試験事務代行機関が国内では全旅協(ANTA)、一般では日旅協(JATA)と異なるので共通科目であっても出題傾向と内容に差異があるので、傾向・対策につき必要に応じてプリント配布を行い業界全体像とともに解説を展開する。

一年課程設置の場合の後期では一般の受験科目である「海外旅行実務」科目のうち「旅程管理業務(添乗業務)」を軸として「海外旅行教務」と「C(税関)・I(出入国管理)・Q(検疫)法令と手続」について必要知識と実際に関し講義を展開し、プリントを配布する。

履修上の留意点

本講座は国家資格の受験・合格が設置目標であるから、他の受験科目である観光英語・国内/国際運賃・料金・国内/海外観光地理については「その傾向と対策」の解説に止め、詳細については学生の自主的勉強に委ねる。

成績評価の方法

出席状況及び前期/後期に提示課題についてのレポート提出により単位付与並びに成績評価をする。

教科書

『一般・国内旅行試験の合格点』'99旅行試験シリーズ1(自由国民社)3,000円

参考書等

社団法人 日本旅行業協会 刊行 指定講習会用 分冊教科書  
 旅程管理研修用 分冊教科書  
 社団法人 全国旅行業協会 刊行 国内旅行業務マニュアル  
 小池洋一・足羽洋保著『観光学概論』(ミネルヴァ書房)2,500円  
 水野潤一著『観光学原論』(東海大学出版会)2,100円  
 学生諸氏が専門学校・通信教育などで「旅行業務取扱主任者試験」講座を受講している場合には各種教科書・資料等を授業に持参することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講Ⅳ	たけうち けいいち 竹内啓一	地理3・4選	4

講義のねらい

現代の経済地理学の体系を、英語圏で最も多く用いられている概説書の日本語訳を教科書にして講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書は上下に分かれていて、上巻は古典的な経済立地論で、経済地理学を展望した序論の後、以下の6章からなっている。この部分を4月から10月までの間に勉強する。

- 1 経済活動の空間的組織：単純化されたモデル
  - 2 異質的地表面
  - 3 輸送と経済活動の空間組織：経路、ネットワーク、輸送費
  - 4 生産費の空間的差異
  - 5 需要、規模、および集積
  - 6 時空間の次元：累積的経済発展
- 11月以降勉強する下巻は、以下の4章からなっている。
- 7 現代のビジネス世界：その経済構造、企業組織、競争過程
  - 8 大企業組織の戦略行動：地理学的展望
  - 9 マルクスの社会・経済理論による立地研究
  - 10 社会関係と生産の地理学

履修上の留意点

教科書をよく読み、またすでに履修した部分をよく理解していないと講義の内容がまったく理解できなくなるので、丁寧に復習すること。この点をチェックするため、何回か予告なしに小テストを行う。

この教科書は経済地理学の体系的な提示としては非常によくできているが、日本語訳には誤訳等、いくつか問題があり、この点は講義の中で指摘する。また、巻末に掲げられている参考文献には、日本語訳があるものがあるが、これもこの日本語訳では示されていないので、講義の中でそれぞれ指摘する。

この教科書は若干値がはるので、もとをとるつもりでしっかり勉強して内容をマスターしてほしい。

成績評価の方法

上記授業時間中の小テストの成績と、学年末の試験による。小テストはノート、教科書等、参照するものは一切自由であるが、学年末試験は持ち込み一切不可で実施する。

教科書

ピーター・ディッケン、ピーター・E・ロイド著、伊藤喜栄監訳『立地と空間：経済地理学の基礎理論』上・下（古今書院）1996年 各3,200円

参考書等

参考文献はこの教科書にたくさん示されており、いくつかの日本語訳については、講義の中で提示する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講 V	なかむらかずお 中村和郎	地理3・4選	4

講義のねらい

気候学の基礎を学んだ後に、地理学専攻の学生として、さらに進んで世界各地の気候について学びたいという学生が増えてきた。残念なことに日本語で書かれた世界気候誌の本が少ないので、もっぱら英語の書物を使って講義をする。自然地理学関係の英語を読む力をつけることもねらいとしている。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 熱帯地方の気候  
アフリカ  
東南アジア
2. 温帯・寒帯地方の気候  
地中海地方  
北アメリカ東岸  
ニュージーランド

履修上の留意点

気候学を履修していること。  
英語の専門書を読む意欲を持っていること。  
予習をしてくること。

成績評価の方法

平常点とレポートによって評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

G. T. Trewartha *The Earth's Problem Climates.*  
K. Boucher *Global Climate.*  
D. Martyn *Climates of the World.*

# 1 專門教育科目

## (4) 歷史學科



# 1 専門教育科目

## (4) 歴史学 科

基礎歴史学(中村 淳)	181
基礎歴史学(松本 信道)	181
基礎歴史学(小林 和幸)	182
史学概論(伏島 正義)	182
日本史概説Ⅰ〔古代・中世〕(松本 信道)	183
日本史概説Ⅱ〔近世・近代〕(佐藤 元英)	183
東洋史概説Ⅰ〔古代・中世〕(中村 淳)	184
東洋史概説Ⅱ〔近世・近代〕(藤谷 浩悦)	184
西洋史概説Ⅰ〔古代・中世〕(伏島 正義)	185
西洋史概説Ⅱ〔近世・近代〕(青木 道彦)	186
考古学概説Ⅰ〔日本〕(酒井 清治)	187
考古学概説Ⅱ〔外国〕(飯島 武次)	187
日本史史料講読Ⅰ(瀧音能之)	188
〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕	
日本史史料講読Ⅱ(久保田 昌希)	189
〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕	
日本史史料講読Ⅲ(廣瀬 良弘)	190
〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕	
日本史史料講読Ⅳ(小林 和幸)	190
〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕	
東洋史史料講読Ⅰ(中村 淳)	191
〔平成9年度以前入学生：東洋史史料講読〕	
東洋史史料講読Ⅱ(藤谷 浩悦)	191
〔平成9年度以前入学生：東洋史史料講読〕	
西洋史史料講読Ⅰ(伏島 正義)	192
〔平成9年度以前入学生：西洋史史料講読〕	
西洋史史料講読Ⅱ(佐々木 真)	192
〔平成9年度以前入学生：西洋史史料講読〕	
日本史学史(葉貫磨哉)	193
東洋史学史(中村 淳)	193
西洋史学史(佐々木 真)	194
考古学史(古庄 浩明)	194
考古学実習(写真)(鈴木 昭夫)	195
考古学実習(測量)(柳瀬 訓)	195
考古学実習(石器)(上敷領 久)	196
考古学実習(土器)(千葉 基次)	196
考古学実習(情報)(鈴木 敦)	197
考古発掘実習(飯島 武次・酒井 清治)	197
演習Ⅰ(久保田 昌希)	198
演習Ⅰ(小林 和幸)	198
演習Ⅰ(佐藤 元英)	199
演習Ⅰ(瀧音能之)	199
演習Ⅰ(葉貫磨哉)	200
演習Ⅰ(廣瀬 良弘)	201

演習	I (松本信道)	202
演習	I (中村淳)	202
演習	I (佐々木真)	203
演習	I (伏島正義)	203
演習	I (飯島武次)	204
演習	I (酒井清治)	204
演習	II (久保田昌希)	205
演習	II (小林和幸)	205
演習	II (佐藤元英)	206
演習	II (瀧音能之)	206
演習	II (所理喜夫)	207
演習	II (葉貫磨哉)	208
演習	II (廣瀬良弘)	209
演習	II (松本信道)	210
演習	II (中村淳)	210
演習	II (片岡一忠)	211
演習	II (佐々木真)	211
演習	II (伏島正義)	212
演習	II (飯島武次)	212
演習	II (酒井清治)	213
演習	II (千葉基次)	213
古文書学	(瀧音能之・久保田昌希・小林和幸・廣瀬良弘) …	214
古文書講読	I (久保田昌希)	215
古文書講読	II (中野達哉)	215
日本仏教史	I (遠藤廣昭)	216
日本仏教史	II (休講)	
日本仏教史	III (休講)	
西洋文化史	I (佐々木真)	216
西洋文化史	II (休講)	
日本文化史	I (廣瀬良弘)	217
日本文化史	II (休講)	
日本史各説	I (瀧音能之)	218
日本史各説	II (久保田昌希)	218
日本史各説	III (中野達哉)	219
日本史各説	IV (小林和幸)	219
日本史特講 I [古代]	(松本信道)	220
日本史特講 II [中世]	(尾上陽介)	220
日本史特講 III [中世]	(廣瀬良弘)	221
日本史特講 III [中世]	(粟野俊之)	222
日本史特講 IV [近世]	(宮本由紀子)	222
日本史特講 V [近世]	(小高昭一)	223
日本史特講 VI [近代]	(小林和幸)	223
日本史特講 VII [近代]	(小泉雅弘)	224
東洋史各説 I [古代]	(休講)	
東洋史各説 II [古代]	(小林惣八)	224
東洋史各説 III [中世]	(休講)	
東洋史各説 IV [中世]	(石田肇)	225

東洋史各説Ⅴ〔近世〕(野沢佳美)	225
東洋史各説Ⅵ〔近世〕(休講)	
東洋史各説Ⅶ〔近・現代〕(趙軍)	226
東洋史各説Ⅷ〔周辺史〕(奈良修一)	227
東洋史各説Ⅸ〔周辺史〕(松本弘)	228
東洋史各説Ⅹ〔周辺史〕(片岡一忠)	229
東洋史特講Ⅰ〔古代〕(休講)	
東洋史特講Ⅱ〔古代〕(小林惣八)	230
東洋史特講Ⅲ〔古代〕(休講)	
東洋史特講Ⅳ〔中世〕(休講)	
東洋史特講Ⅴ〔中世〕(石田肇)	231
東洋史特講Ⅵ〔中世〕(休講)	
東洋史特講Ⅶ〔近世〕(休講)	
東洋史特講Ⅷ〔近世〕(野沢佳美)	231
東洋史特講Ⅸ〔近世〕(休講)	
東洋史特講Ⅹ〔近・現代〕(趙軍)	232
東洋史特講Ⅺ〔近・現代〕(休講)	
東洋史特講Ⅻ〔近・現代〕(休講)	
東洋史特講Ⅼ〔周辺史〕(奈良修一)	233
東洋史特講Ⅽ〔周辺史〕(休講)	
東洋史特講Ⅾ〔周辺史〕(休講)	
西洋史各説Ⅰ(岩本裕子)	234
西洋史各説Ⅱ(休講)	
西洋史各説Ⅲ(伏島正義)	235
西洋史各説Ⅳ(休講)	
西洋史特講Ⅰ(長谷川岳男)	235
西洋史特講Ⅱ(休講)	
西洋史特講Ⅲ(亀長洋子)	236
西洋史特講Ⅳ(休講)	
西洋史特講Ⅴ(佐々木真)	236
西洋各国史Ⅰ(渡辺知)	237
西洋各国史Ⅱ(鳥越泰彦)	237
西洋各国史Ⅲ(休講)	
西洋各国史Ⅳ(長谷川岳男)	238
考古学各説Ⅰ(休講)	
考古学各説Ⅱ(蘇哲)	239
考古学各説Ⅲ(休講)	
考古学各説Ⅳ(設楽博己)	239
考古学特講Ⅰ(休講)	
考古学特講Ⅱ(高浜秀)	240
考古学特講Ⅲ(休講)	
考古学特講Ⅳ(矢野和之)	241
西域美術史(松平美和子)	242
哲学史(山口祐弘)	242
歴史哲学(麻生建)	243
仏教美術(山下裕二)	243
中国歴史文学(南雲智)	244

有	職	故	実	(大	塚	英	子)	.....	244
日	本	民	学	(谷	口	貢	)	.....	245
美	術	史	説	(矢	野	陽	子)	.....	246
ラ	テ	ン	語	(佐	藤	玖美子)		.....	246
ギ	リ	シ	語	(長	谷川	岳	男)	.....	247
歴	史	地	学	(小	田	匡	保)	.....	247
人	文	地	説	(小	池	とみ子)		.....	248
地		理	学	(川	元	豊	和)	.....	248
地		誌	学	(久	保田	武)		.....	249
地		誌	学	(藤	島	範	孝)	.....	249

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎歴史学	なかむらじゆん 中村淳	歴史1必	4

講義のねらい

学校教育における日本史・世界史あるいは歴史小説などと、大学で学ぶ歴史学との間には、歴然としたそして大きな違いがある。そのことを理解してもらうことが、本講義最大の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

史料の扱い方、ものの見方・考え方など、歴史学という学問領域における研究方法について、具体的な事例を提示しながら講義する。

履修上の留意点

出席重視。随時、レポート等を課す。

成績評価の方法

出席点にレポート等の結果を加味して、総合的に判断する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

授業中に随時、紹介する。

その他

随時、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎歴史学	まつもと のぶみち 松本信道	歴史1必	4

講義のねらい

歴史を理解するための基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

歴史とは何か、歴史を学ぶ意味とは何か、歴史を研究する目的とは何か、などの歴史を研究する上での基本的な問題について講述し、また歴史認識と歴史観の変遷、歴史研究の方法論、史料批判の方法論などの具体的なテーマについてもアプローチしてみたい。

履修上の留意点

大学は受動的に教わる場ではなく、主体的に学習していく場であることを自覚して授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートで成績を評価したい。

教科書

浜林正夫・佐々木隆爾編『歴史学入門』（有斐閣）

参考書等

福井憲彦『新しい歴史学とは何か』（講談社学術文庫）

その他

授業の方法は講義形式で進める。



科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎歴史学	小林和幸	歴史1必	4

講義のねらい	歴史学を学ぶにあたって、歴史学がどのような性質の学問であり、また、研究していく上でいかなる心構えが必要であるかを学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	現在までの様々な歴史観の特性について概観し、さらに歴史を認識する上での注意点や史料批判の方法を、様々な角度から講義する。また歴史を学ぶ上で必要となる基礎知識について具体的に解説していく。
履修上の留意点	必要に応じて、参考資料などを紹介するので積極的に授業に参加し、歴史学の面白さを自分のものにしてほしい。
成績評価の方法	定期試験、レポート及び出席。
教科書	テキストは、必要に応じて配布する。
参考書等	随時、指示する。
その他	授業は、講義形式であるが、必要に応じてビデオなども用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
史学概論	伏島正義	歴史2・3・4必	4

講義のねらい	「歴史とは何か。」「歴史学は学問たりうるのか。」等の質問にたいする答えには公式な正解があるわけではない。各人が自身で探求するほかない。本講では、歴史はどのように認識されてきたのかについて、古代以来のその道筋を概略し、辿ってみる。
講義の内容・授業スケジュール	古代から近代までの、歴史認識の展開とその特徴を、日本、中国、西洋においてみる。
履修上の留意点	本講は「歴史とは何か。」を自身で考えるために、その参考となるように古代以来の考え方を概観するものであり、歴史についての狭義の知識を詰め込もうという性格のものではない。したがって本講を受講するに当たって必要なのは自分自身で考えようとする心構えであり、特別な歴史の知識の多寡ではない。
成績評価の方法	この点は毎年あらかじめ定められているわけではない。具体的には受講生と相談し、決めている。これまでは概して、前期終了のころ提出していただくレポートと、学年末テストに拠って成績の評価をした。
教科書	教科書は特に定めない。前期の講義開始の最初の授業で参考書を掲げ、また講義の進行の途上でその都度必要に応じて参考書を指摘する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史概説Ⅰ 〔古代・中世〕	まつもと のぶ みち 松 本 信 道	歴史1・2・3・4必(日本史) 歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	4

講義のねらい	日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	本講座では、とくに飛鳥・奈良・平安時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通して概観したい。
履修上の留意点	受動的でなく、主体的に学習してほしい。
成績評価の方法	前期・後期の2回の試験の平均点で成績を評価する。
教科書	『史料による日本の歩み 古代編』(吉川弘文館) 2,900円
参考書等	青木和夫『日本古代史』(日本放送出版会) 1,650円、笹山晴生『日本古代史講義』(東京大学出版会)
その他	授業の方法は講義形式で進める。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史概説Ⅱ 〔近世・近代〕	ま とう もと えい 佐 藤 元 英	歴史1・2・3・4必(日本史) 歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	4

講義のねらい	近世・近代における対外交渉史を概説する。時期区分によって歴史的発展段階の特徴を明確にすること、個々の対外交渉史上の事実に関し、歴史的な性格ならびに位置付けを確定する枠組をつくりあげていくことをねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	前半は、近世初期の対外関係・ポルトガル貿易と糸割符・米航外国船と管理統制・長崎貿易の展開・日朝関係の展開・幕藩体制と琉球問題を論じ、後半は幕末維新期における列国の対日政策と日本の対応・明治初年の領土問題・条約改正運動・日清日露戦争・日露戦後の日米対立・第一次大戦とシベリア出兵・ワシントン体制と幣原外交及び日中外交・満州事変と国際的孤立化・日中戦争・日米交渉・太平洋戦争などについて講述し、近世より近代の対外交渉の時期区分を試みる。
成績評価の方法	定期試験及び出席状況による。
参考書等	中田易直編『近世対外関係史論』 池井優『日本外交史概説』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史概説Ⅰ 〔古代・中世〕	なかむら じゅん 中 村 淳	歴史1・2・3・4必(東洋史) 歴史1・2・3・4選必(東洋史以外)	4

講義のねらい

東洋史概説Ⅰでは、広く近代以前のアジアの歴史を対象とする。従来、前近代の人類は、いくつかの孤立した文明圏もしくは歴史世界の中で、閉鎖的にそれぞれの歴史を歩んだかのように理解されてきた。しかしながらそこでは、それらの歴史世界の真ん中に位置する中央ユーラシアと、そこに展開した遊牧国家については、ほとんど顧みられることはなかった。本講では、彼ら遊牧民が果たした歴史的役割を素直に見つめながら、より客観的・俯瞰的に前近代アジア史をとらえ直してみたい。同時に、既存の歴史観や文献史料の記述に引きずられないための基礎訓練となることをねらっている。

講義の内容・授業スケジュール

地域は、時に西アジアやヨーロッパにまで及ぶが、とくにアジア東方が中心となる。匈奴と漢の対立・共存時代から順に、モンゴルが人類史上最大の版図を実現した13～14世紀(近年、この両世紀を「モンゴル時代」と呼ぶ)までを扱う予定であるが、余裕があれば18世紀にまで言及する。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点に定期試験の結果を加味して、総合的に判断する。定期試験は論述形式で、授業内容を理解しているか、かつ、そのことが答案に示されているかを見る。

教科書・参考書等

教科書はとくに指定しない。授業中に随時、参考書を紹介する。

その他

随時、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史概説Ⅱ 〔近世・近代〕	ふじや こう えつ 藤 谷 浩 悦	歴史1・2・3・4必(東洋史) 歴史1・2・3・4選必(東洋史以外)	4

講義のねらい

本講義では、中国を中心とした東アジアの歴史について、政治や社会の仕組み、文化的特徴などを中心にすえて考察する。東洋史概説Ⅱは近世・近代が中心となるが、概説ⅠをとらずにⅡのみをとるものもいると思われるので、前期には東アジアの歴史を古代も含めて概観する。そして、前期はⅠ 東アジアの地形と風土、Ⅱ 中国の古代、Ⅲ 思想と文化、後期はⅣ 茶の世界史、Ⅴ アヘン戦争、Ⅵ 中国の近代、に分けて論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

授業の概要は、以下の通りである。  
 (前期) 1. 授業の趣旨説明 2. 地形と風土 3. 司馬遷の『史記』 4. 中原と華・夏 5. 春秋戦国と秦Ⅰ 6. 春秋戦国と秦Ⅱ 7. 諸子百家と孔子 8. 死生観と魂・魄 9. 医術と身体 10. 気と風水 11. 都市と庭 12. 色  
 (後期) 1. 授業の趣旨説明 2. 茶の世界史 3. コレラと茶 4. 茶とアヘン 5. アヘン戦争Ⅰ 6. アヘン戦争 7. 上海と横浜 8. 頭髪と「近代」 9. 「中体西用」論 10. 留学生と日本 11. 秘密結社 12. 中国の20世紀

成績評価の方法

評価は定期試験を中心とする。

教科書

テキストは特に指示しない。参考図書は、授業中適宜言及する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋史概説Ⅰ 〔古代・中世〕	ふせ じま まさ よし 伏 島 正 義	歴史1・2・3・4必(西洋史) 歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)	4

## 講義のねらい

私達が日常経験する土地所有をめぐる問題は、さまざまな話題を提供している。しかしこの近代的土地所有形態も一つの歴史的形態である。本講ではそうした近代的土地所有形態の淵源を尋ねたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

西洋古代末期から近世初頭までを範囲として、土地の「所有」形態、経営形態の変遷について概説する。特にゲルマン民族大移動を契機として生まれた新しい社会、つまり西洋中世社会の成立過程、その社会構造、発展と盛衰を基軸に据える。講義で通税を紹介し、特にその力点を史料の根拠に置く。地域としてはイギリス、フランス、ドイツを中心とする。

## 履修上の留意点

近代的所有形態の本質の1つは私的所有であるが、当該所有形態が具体的に、いつ、どのような過程において発生したのかについては必ずしも定説があるわけではない。本講ではこの点について、これまでの研究史および関連する諸史料をふまえ、各人が自身の答えを探求しようとする姿勢を必要とするものであり、必ずしも西洋史の知識をあらかじめどれだけ多く知っているかが前提となるものではない。

## 成績評価の方法

この点は毎年あらかじめ定められているわけではない。具体的には受講生と相談し、決めている。これまでは概して、前期終了のころ提出していただくレポートと、学年末テストに拠って成績の評価をした。

## 教 科 書

教科書は特に定めない。前期の講義開始の最初の授業で参考書を掲げ、また講義の進行の途上でその都度必要に応じて参考書を指摘し、あるいは史料のプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 概 説 Ⅱ 〔 近 世 ・ 近 代 〕	あおき みちひこ 青 木 道 彦	歴史1・2・3・4必(西洋史) 歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)	4

講義のねらい

ヨーロッパ(特に西欧)中心に講義するが、中世までは必ずしも他の文化世界に対して、優位にたっていなかった西欧世界が、なぜ世界の近代工業化の先頭にたつて、他の文化世界に強い衝撃を与えるようになったのかという問題を理解させるための、一種の「ヨーロッパ論」を展開することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

この問題に関連をもつ範囲で、中世史にもふれ、以下のように授業を進めて行く。

1. ヨーロッパ文明史叙述の問題点
2. ビレンヌのヨーロッパ成立論
3. ヨーロッパ形成史の問題点 ①ヨーロッパ農業社会の変遷 ②西欧自治都市の成立 ③身分制議会と官僚制 ④十字軍時代から百年戦争期へ
4. ルネサンス、宗教改革、絶対王政と海外進出(西欧世界拡大期の問題点検討)
5. イギリス革命、17～18世紀の国際関係、植民地抗争(工業化開始の前提条件検討)
6. 産業革命、フランス革命などの市民革命、自由主義と国民主義、1848年の意義
7. 国家主義の台頭、帝国主義と第一次世界大戦、戦間期の動向

履修上の留意点

1. 出席してノートをとることが肝要。
2. 四年生を除き、現代史に関する読書課題を課す。

成績評価の方法

上記の読書課題と定期試験の成績によって、評価を決定する。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

以下の三冊が適当と思われる。

- ① 衣笠茂ほか著『西洋史概説』(東京創元社)
- ② 祇園寺信彦編『西洋史要綱』(御茶の水書房)
- ③ 大下尚一ほか編『西洋の歴史(近現代編)』(ミネルヴァ書房)

\*特に購入の必要はない。図書館などで随時参照するとよいと思われる。

そ の 他

なし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学概説Ⅰ 〔日本〕	さか い きよ じ 治 酒 井 清 治	歴史1・2・3・4必(考古学) 歴史1・2・3・4選必(考古学以外)	4

講義のねらい	日本考古学の現状は、細分化された研究が増加している。しかし、細分化された研究を理解する上にも、自ら卒論テーマとして研究する上にも、考古学の基礎なくしては成り立たない。
講義の内容・授業スケジュール	日本考古学の研究史、最新の発掘調査事例を紹介しながら、日本考古学の概説をしたい。
履修上の留意点	遅刻をしないこと。
成績評価の方法	定期試験で採点。
参考書等	鈴木公雄『考古学入門』（東大出版会） 安蒜政雄『考古学キーワード』（有斐閣） 江上波夫『考古学ゼミナール』（山川出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学概説Ⅱ 〔外国〕	い い じ ま た け つ ぐ 次 飯 島 武 次	歴史1・2・3・4必(考古学) 歴史1・2・3・4選必(考古学以外)	4

講義のねらい	東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。
履修上の留意点	欠席・遅刻をしないこと。
成績評価の方法	成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。
参考書等	飯島武次『夏殷文化の考古学研究』（山川出版社）1985年 飯島武次『中国新石器文化研究』（山川出版社）1991年 飯島武次『中国周文化考古学研究』（同成社）1998年
その他	スライドやビデオを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史史料講読Ⅰ (H10年度以降入学生)	たき おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (H9年度以前入学生)		歴 2 必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

奈良時代を対象として、関連する史料を『続日本紀』を中心に読みこんでいくつもりです。奈良時代はわずか70年あまりの短い期間ですが、そこには政治・経済・文化・外交といったさまざまなできごとが詰めこまれています。また、聖武天皇・藤原不比等といった権力者から「百姓」といわれた民衆にいたるまで多様な階層の姿を時代のうねりの中に見い出すことができます。こうした姿を史料を通してみつめたいと思っています。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを使って毎回、ひとつずつテーマをとりあげて、それについて関連する史料をできるだけいねいに読みこんでいきます。

履修上の留意点

史料についての読解力もさることながら、何よりも意欲をもって参加することを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末のテストを重視してつけますが、それに加えて出席状況などの平常点を考慮して総合的に評価します。

教 科 書

瀧音能之著「奈良時代の史料と社会」(岩田書院)

参 考 書 等

中村修也編『続日本紀の世界』(思文閣)

そ の 他

授業は講義形式でおこないますが、何回かは講義に関連したビデオなども使用したいと思っています。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史史料講読Ⅱ (H10年度以降入学生)	くぼ た まさ き 久 保 田 昌 希	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (H9年度以前入学生)		歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

言うまでもないが歴史研究には史料が必要である。それ故に歴史(日本史)研究の出発点(基本)は史料を読むことと解釈にあるといつてよい。  
史料講読は、3・4年次の演習Ⅰ・Ⅱで行うが、より早い段階から史料への取り組みに慣れておく必要があるということで、本講座では中世史分野に関する基礎史料を対象とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

それでは中世に関する史料にはどのようなものがあるのだろうか。前代までの朝廷・寺社関係に加えて新たに鎌倉・室町幕府、守護・戦国大名その他在地領主といった武士階層による文書や記録、さらに農民・惣村や町・都市に伝わった文書・記録が増えてくる。  
また、最近の中世史研究が明らかにしているように、例えば絵図や絵画・絵巻物、板碑・鰐口をはじめとする金石文、中世考古遺物・遺跡の有効な活用は、文書・記録の多角的な解釈とともにこれまでの既成の中世社会像への再検討を提起するにいたっている。  
これらの史料は今日、多くのものが活字化されてきており、わたくしたちも容易に見られるようになってきている。そのことが中世史研究の発展につながっているといえよう。  
本講座としては、上に掲げた中世史料をすべて対象とすべきなのであるが、もとより中世史料は膨大で、かつ時間的な制約もあり、その一端に止めざるをえない。なお史料の講読・紹介につとめつつ、史料所蔵機関や閲覧についても解説していきたい。

歴  
史

履修上の留意点

本講座に限ったことではないが、本学図書館には多くの活字化(刊行)された史料がある。そういったものに早く、自分なりに問題関心にそつて目を通そうとすることが大切だと思う。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定しない。適宜必要に応じて資料を配布する。

参考書等

『史料による日本の歩み(中世編)』(吉川弘文館)2,936円



科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史史料講読Ⅲ (H10年度以降入学生)	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (H9年度以前入学生)		歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

いうまでもないことであるが、歴史を研究していく上では、史料を読解する力や、その背景にあるものを明らかにする分析力が求められる。本学科では3年次に演習Ⅰ、4年次に演習Ⅱを設け、史料を解読する力を養い、卒業論文の作成に備えているが、やはり、なるべく早い段階から史料への取り組みに慣れておく必要があるということから本講座が設けられている。近世史研究に必要な基礎的な史料を講読していくことにする。

講義の内容・授業スケジュール

近世史料の特徴は、村や町で大量の文書が作成され、それが今も残されているということである。まして、幕府や藩は膨大な史料を残している。また朝廷・公家・寺社も同様である。商業や諸産業に関する史料も多い。

これらの史料の解読に基づく研究成果は豊富であるが、近年はそれに加えて、絵図や金石文(石碑や梵鐘の銘文など)、近世考古遺物・遺跡の研究、あるいは外国人が本国へ送った手紙なども訳されており、近世史像は、より豊かに形成されつつある。本講座では、①戦国大名の領国支配と産業の発達に関する史料、②統一政権成立期の史料、③江戸期の村や町の史料、④幕政や藩政史料、⑤商業や諸産業に関する資料などから活字化されているものを読み進めていく。史料保存機関等の、史料展示も随時紹介していく。

履修上の留意点

ともかく古い史料には、現代の私たちには想像もできないような面白いことが含まれている場合がある。期待を持って臨んでほしい。本学の図書館や町の図書館で「〇〇市史近世史料編」を聞いてみるなど、自分の住んでいる所の歴史に興味をもつこと。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況。

教科書

随時、史料のコピーを配布する。

参考書等

『新編史料による日本の歩み(近世編)』(吉川弘文館) 3,914円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史史料講読Ⅳ (H10年度以降入学生)	こ ばやし かず ゆき 小 林 和 幸	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (H9年度以前入学生)		歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

歴史研究の基礎となる文献史料の取扱い方と解読の手法を学び、日本近代史研究のための基礎的な史料読解力の養成を目的とする。あわせて、近代史料の特質や史料の伝来等を解説すると共に、各史料保存機関の所蔵史料についても随時紹介していく。

講義の内容・授業スケジュール

近代日本の公文書類や政治家の書翰、日記等の一次史料をテキストにして、受講者と共に解読し史料内容の検討分析を行う。

履修上の留意点

テキストは、教室で配布するので、各自解読の予習をする必要がある。

成績評価の方法

レポート及び定期試験

教科書

随時、テキストとなる史料を配布する。

その他

児玉幸多編『くずし字解読辞典』(東京堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史史料講読Ⅰ (H10年度以降入学生)	なかむらじゅん 中村淳	歴史2選必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4
東洋史史料講読 (H9年度以前入学生)		歴史2必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

東洋史のみならず歴史を研究する際、史料を読解しあるいは論文を読むために修得しなければならない言語は数多い。本講では、その中でも最も基本的な英語で書かれた論文をとりあげる。できれば引用された論文(日本語・英語・現代中国語など)や史料(漢文中心)についても検証し、論文の読み方や漢文をはじめとする史料の扱い方の基礎を養いたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

何を読むかは、授業時に指示し、分担箇所・分担者を決める。担当者には、分担箇所の和訳を作成、引用された論文や史料などを調べ、レジュメを作成して報告してもらう。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

演習形式で授業を進めるので、出席点・平常点を総合して評価する。

教科書

必要なテキストは、プリントで配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史史料講読Ⅱ (H10年度以降入学生)	ふじやこうえつ 藤谷浩悦	歴史2選必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4
東洋史史料講読 (H9年度以前入学生)		歴史2必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

本講読では、中国の湖南省に関する文献を講読する。前期は湖南省の地方志を、また後期は辛亥革命にかかわる文史資料を読みながら、湖南省の近代を考える。

講義の内容・授業スケジュール

授業に先立ち、近代における湖南省の特徴について触れ、また受講生に関連する事項について調べてもらう。

履修上の留意点

成績は授業の報告の内容とレポートによって行なう。前期は漢文の訓読が中心となるが、後期は文献を中国語でも読ませるため、受講生は中国語を履修したものであることが望ましい。

成績評価の方法

評価は平常点に出席点を加味する。

教科書

テキストはプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史史料講読Ⅰ (H10年度以降入学生)	かせ じま まさ よし 伏 島 正 義	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	4
西洋史史料講読 (H9年度以前入学生)		歴史2必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	

講義のねらい

西洋史を学ぼうとする場合、それが人文・社会科学の1部門であるとの立場に立つ限り、その根拠として、史料は必要不可欠であり、必須の前提条件であることは言うまでもない。しかも史料を読むことにより、それを包む社会がいかなるものであったのかについて、さまざまな角度からの検討を可能とさせる。なぜならば、史料は自身からはなんら自動的に語り出すものではなく、我々の史料への問かけ次第で、多くの事柄について汲めども尽きないヒントを与えてくれるはずだからである。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にいかなる史料を扱うかについては受講生と相談のうえ、決める。但し本講では西欧諸国を対象とし、概して前近代をその範囲とする。また史料は翻訳に拠ることなく原典それ自体を読むこととしたい。なぜならば、翻訳は翻訳者の一定の見解を濾過したものである限り、それに依存することは我々各人の自由で、独創的な解釈を阻害する危険があるからである。したがって初歩的な原典の原語を学ぶ場合もありうる。

履修上の留意点

歴史を原典史料に降り立って、じっくりと研究しようとする志を持つ、地道な姿勢が期待される。

成績評価の方法

演習形式で授業を進めるため、毎回授業に出席し、いかに積極的にして熱心に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

教科書

特に定めない。必要な史料等はプリントして、配布する。

参考書等

授業に合せて、その都度指摘する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史史料講読Ⅱ (H10年度以降入学生)	さ き まこと 佐 々 木 真	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	4
西洋史史料講読 (H9年度以前入学生)		歴史2必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	

講義のねらい

西洋史の研究には、外国語の読解力が必要不可欠である。本講義では、西洋史に関する史料を原文で講読し、西洋史研究に必要な基礎的な語学力を養成するとともに、史料の内容を検討することにより、史料を通じての歴史像把握の力を養成することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

ヨーロッパ近代史に関する史料をゼミ形式で輪読する。具体的な書名は、受講生が興味をもっている分野を提案し、第1回の授業時に受講生と相談して決定する。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してくる。また、歴史学の授業であるので、単に単語のみならず、テキストの中に登場する固有名詞の内容などについても調べておくこと。出席することが大切なので、欠席は原則として認めない。

成績評価の方法

成績は、授業中の各自の発表の内容に出席を加味して決定する。ただし、受講生の人数によっては、レポートを年に1回あるいは2回課したり、学年末に試験を行なうこともあり得る。

教科書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

その他

授業はゼミ形式で行い、1時間に2人から3人に発表をしてもらう。西洋史専攻2年次生の必修科目なので、該当する西洋史専攻の学生は必ず、いずれかの授業を受講すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史学史	は 葉 ぬき 賞 磨 ま さい 哉	歴史2・3・4必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4

#### 講義のねらい

この授業は古代から近代までの間に、どのような歴史書が編まれて来たかを、時代を追って説明しようとするのが狙いである。従って講義形式をもって授業は進められる。前期は古代・中世、後期は近世・近代が中心となる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この授業は必修課目であるので、毎回出欠をとり、半分以下の出席日数では受験資格を失うので注意されたい。また理由のない遅刻は出席日数に影響するので注意を要する。

#### 履修上の留意点

最初の授業は必ず出席の事、席順を指定するので、妄りに席を変えない事、遅刻の席は前もって指定する。欠席・遅刻の合計日数が規定に反する場合は、別にレポートの提出を求める事がある。

#### 成績評価の方法

成績の評価は、定められたレポートの外に、学期末に行う試験の結果によって評価する。

#### 教科書

教科書は別に定めない。授業の進行状態に応じて、参考文献など明示する。この授業は歴史研究上の基礎的な知識を学ぶ授業であるから、なるべく早い時期に履修する事が望ましい。自分の専攻しようとする時代に、どのような歴史書があるかを、卒業論文を執筆する前に、予め知って置く必要があるからである。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史学史	な が 中 む ら 村 じ ゆ ん 淳	歴史2・3・4必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4

#### 講義のねらい

東洋史学は、日本が世界に誇ることの出来る学問のひとつである。本講では、日本における東洋史学の成り立ちと発展についてできるだけ平易に概論し、現在の我々の位置するところを理解してもらうことを第一の目的とする。同時に、東洋史を学ぶ上で当然知っておかなければならない基本的な事項を修得してもらう。

#### 履修上の留意点

出席重視。できるだけ工夫して講義を進めるが、本講の性格上、やや単調とならざるを得ない。しかし、東洋史学を学ぶ上で必要不可欠なことばかりで、また、学年を経る毎に重要になる内容であることは間違いないので、心して受講してもらいたい。

#### 成績評価の方法

とにかく出席重視。また、随時小テストを行ないレポートを課して、理解度をみる。それらの評価を出席点に加味し判断する。

#### 参考書等

授業時に随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋史学史	佐々木 真	歴史2・3・4必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	4

講義のねらい

西洋史の各時代の主要な歴史作品を紹介し、歴史学の方法論に関する基礎知識、とりわけ西洋史を学ぼうとする者が当然知っていなければならない学問上の常識を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

以下の順序で講義を進める。

1. 古典古代の歴史作品（ギリシア、ローマ、ヘレニズム）
2. 中世の歴史記述（キリスト教歴史観と世俗の歴史叙述）
3. ルネサンス～近世期の変化（文献学の発達と啓蒙思想）
4. 近代歴史学の成立（ランケ、ヘーゲル、マルクス）
5. 現代歴史学の諸課題（アナル学派を中心に）

履修上の留意点

西洋史学史の全貌を1年の講義で紹介することは不可能なので、受講生は講義中に紹介された書籍をなるべく多く読んでほしい。

成績評価の方法

成績は前期終了時、秋および学年末に3回提出してもらうレポートにより判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

林健太郎・澤田昭夫『原典による歴史学入門』（講談社学術文庫）  
 グーチ『19世紀の歴史と歴史家たち』（筑摩叢書）  
 ピーター・パーク『フランス歴史学革命』（岩波書店）  
 リン・ハント編『文化の新しい歴史学』（岩波書店）  
 竹岡敬温『「アナル」学派と社会史』（同文館）など。

その他

授業は講義形式で行ない、随時参考資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学史	古庄 浩 明	歴史2・3・4必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	4

講義のねらい

日本考古学の成り立ちを学史を通じて読みとる。

講義の内容・授業スケジュール

日本における近代考古学の始まりから現代構造主義までのうち、学史的に重要な研究及び研究者を時代を追って解説する。

履修上の留意点

正当な理由のない遅刻・欠席を禁止する。

成績評価の方法

平常点と試験

教科書

なし。

参考書等

重要な文献は授業中に紹介。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学実習（写真）	すずき あき 鈴 木 昭 夫	歴史2・3・4必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

科目名は、考古学実習（写真）である。然し考古写真を学ぶ以前に先ず必要とされる事は、写真全般にわたる基礎知識を習得する事である。

講義の内容・  
授業スケジュール

先ず講義を主体とし「写真基礎技術論」より入る。つまりフィルム・レンズ・カメラ器材等の特性、使用方法をそれぞれ器材を使用し説明する。そして前期後半より後期にかけ実技指導を行なう。具体的に説明すると、考古遺物・美術作品・文献複写等の撮影実技及びフィルム現像・印画紙焼付等の暗室作業である。

履修上の留意点

実習が主体となる為、授業を欠席した場合その時間に行なわれた実技の復習は殆んど不可能となる。つまり次の実技に移る事が困難となる。

成績評価の方法

平常点及び作品（写真）提出により成績を評価する。

参 考 書 等

鈴木昭夫他著『研究者の為の資料写真の撮り方』（理工学社刊）  
弓削重久編『写真表現の技術』（理工学社刊）

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学実習（測量）	やな せ 柳 瀬 さとす 訓	歴史2・3・4必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

遺跡・遺物の現状の正しい把握という目的のための比較的限られた区域の測量方法について、実習を中心に行う。したがって、測量の方法としては、多角測量・水準測量・平板測量が主となる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 測量の基礎（測量で用いる基礎的な数学、誤差、座標など）
- ② 水準測量（測量機器の取り扱いの比較的やさしい水準測量から始める）  
水準測量の基礎（基準面、測量方法、使用機器など）、レベル（水準儀）の操作法、水準測量実習
- ③ 多角測量  
距離測量・角測量の基礎、多角測量の基礎（測量方法、座標計算など）、トランシットの操作法、多角測量実習
- ④ 平板測量  
測量方法、平板測量実習、オフセット測量

成績評価の方法

実習成果、小テスト（練習問題などによる）、出席状況

教 科 書

授業開始時に指定する。

参 考 書 等

授業時に紹介する。

そ の 他

- ①三角関数機能のついた電卓を必携
- ②実習は数人の班に分けて行います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学実習（石器）	かみ しきりょう 上 敷 領 ひさし 久	歴史2・3・4必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

石器は先史時代社会の生活形態を理解するためには最も基本的な資料であり、そこには様々な情報が盛り込まれている。この情報を抽出するためには、石器の細部を注意深く観察し、理解することが必要である。こうした石器研究の基礎となる石器実測図作成の基本的知識についての講義・実習を行う。石器研究史および実測図の歴史、石器制作の原理、石器研究の理論的な知識をふまえた実技を通して、考古資料の観察法と記録化およびその目的について学ぶ。

履修上の留意点

授業第1週に、具体的な年間スケジュールと実技の必需品を紹介するので必ず出席すること。また石器実測の技術を体系的に身につけていただきたいのでちよくちよく休むようであれば初めから受講しないように。考古学専攻生以外には不向きである。

成績評価の方法

成績評価は実技・レポート・授業への取組み方などを総合して行う。

教科書

特になし。

参考書等

特になし。作成したプリントを配布し、参考書および参考文献等は講義中に適宜紹介する。

その他

実技にはグラフ用紙、コンパス、ディバイダー等の個人で準備する文房具類が必要となる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学実習（土器）	ち ば 千 葉 もと 基 つぐ 次	歴史2・3・4必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

土器・石器等の資料の的確な図化は、考古学研究の基礎資料化に不可欠。図化のための基礎的技術と物の見方の修得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義と実技を併用する。

履修上の留意点

技術修得に必要な道具箱内の必要工具類の準備と説明を行うので、受講希望者は、年度第1回目の授業へ必ず出席のこと。

成績評価の方法

授業出席と図化成果図と試験を考えている。

参考書等

『発掘調査の手びき』（国土地理協会）  
『考古資料の見方〈遺物編〉』（柏書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学実習（情報）	すずき 木 敦	歴史2・3・4必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

履修者がパソコンに関しては全くの初心者であることを前提に、文化系のエンドユーザとして最低限必要と思われるレベルのコンピュータリテラシーの習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期はワープロと表計算を中心に学習する。後期は未定であるが、施設上の条件並びに履修者のニーズ・能力に応じて、初級システムアドミニストレータ資格試験の受験対策も考慮しつつ、ワープロ・表計算に関するより高度な内容、通信、データベース等の習得を考えている。

履修上の留意点

一定の技術を身につけるための実習であるので、授業に欠かさず出席していたというだけでは不十分であると考えて戴きたい。復習を中心に、相当量の自習をこなす覚悟が必要である。

成績評価の方法

平常点と試験の結果を総合して行う。試験は、こちらから提示した課題を制限時間内にパソコンで作成するという形式を考えている。

教科書

横沢正芳編『情報処理入門』（培風館）1,900円

参考書等

必要に応じて、その都度指示する。

その他

実際にパソコンを操作する時間を重視し、黒板を使つての講義は極力圧縮する。

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古発掘実習	いじま 飯島 武次・酒井 清治	歴史3必(考古学) 歴史3選(考古学以外)	2

講義のねらい

発掘技術の習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

履修上の留意点

夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが例年である。従つて履修者は、博物館実習との関係等をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後に計画を作ること。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席・遅刻は一切認めない。またいかなる理由があつても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

教科書

『考古学調査ハンドブックス1 野外編』（雄山閣）2,800円 1984年



科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	久保田 昌希	歴史 3 必選 歴史 3 選	4

講義のねらい	本講座は特定の史料の講読を受講者自身が分担し発表形式で行い、他の受講者との内容討論を行うことによって、受講者（発表者）自身はもちろん受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を高めることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。
講義の内容・授業スケジュール	本講座では数年来、織田信長の右筆太田牛一の著した「信長記」（池田本）をテキストとしてきたが、一昨年度でようやく読み終えた。 昨年度から一新して、戦国大名関係の文書と取り組んでいるが、とくに東国戦国大名を対象としている。その理由は発給文書の数も多く、また内容も多岐にわたっており、しかも研究史としての蓄積も比較的多いと思われるからである。演習では一枚の文書を中心に、発表担当者には、そこから読み取れることを研究史も含めて、できるだけ調べてくることを課したい。それによって来るべき卒論への準備段階として、史料への認識を大いに持っていただきたいと考えている。
履修上の留意点	受講人数によっては補講を実施することがある。
教科書	適宜史料コピーを配布する。
参考書等	適宜紹介する。また大いに図書館を利用してほしい。
その他	定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	小林 和幸	歴史 3 必選 歴史 3 選	4

講義のねらい	日本近代史の政治、思想、文化に関する諸問題を検討する。近代日本の形成・確立の過程は、その複雑さと多様性の故に、確定されていない歴史的な事実も多く残されている。また、それだからこそ、興味深い研究のテーマも豊富に存在している。本演習は、受講者による史料に則した報告を通じて、各自が日本近代史の研究方法を身につけることを目的としている。
講義の内容・授業スケジュール	本演習では、維新・明治期の史料を素材とし、受講者がその中から興味深いテーマを見つけ、関係史料や先行研究業績を適宜参照して報告、さらに討論することで日本近代史に関する理解を深めていく。
履修上の留意点	既存の価値判断から離れ、史料に基づいた新しい近代史像を構築するという積極的な姿勢を期待する。
成績評価の方法	報告、学習態度を勘案する。
教科書	日本近代思想大系「天皇と華族」（岩波書店）
参考書等	報告に則して、関連する先行研究を適宜参照すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	さ とう もと せい 佐 藤 元 英	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

明治初年より大正末期に至るまでの政治・外交・軍事に関する、①中央官庁及び地方自治体の文書いわゆる公文書、②各種民間団体・機関（政党・会社等）の文書いわゆる準公文書、③政治家・官僚・軍人・各種団体指導者の関係文書いわゆる私文書等、多種多様な文書の読解力を養う。明治・大正期の外交には二つの大きな側面があり、一つはイギリス・アメリカなど先進国に対する面であり、他は朝鮮・中国等近隣発展途上国に対する面であるが、先進国との折衝には、利益の交換と妥協という交渉上のルールがあったが、発展途上国に対する場合は軍事上の威圧が妥協に先行する場合が多く見られた。そうした特質を史料を通して分析するとともに、時代の展開を広い視野をもって大局的にとらえる基礎知識を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

近代の文書・記録類は量的にきわめて膨大であり、その種類、形態は多種多様であるが、それは単に時代が新しくなるほど文書・記録類の消滅の度合いが減ずるという一般的な理由によるだけでなく、歴史的時代としての近代の政治的・経済的・文化的特質に基づくものである。従ってこの多種多様な文書を読み、検討することによって、日本の近代史上における重要な事件・事項について理解を深める。

履修上の留意点

受講者は授業スケジュールに従って分担予習し、レジュメを作成して授業時にそれを配布しながら報告すること。報告内容は事件・事項・人物などの解説及び関係研究文献などの紹介等。他の受講者との質疑応答をおこない、またそれに教員が補足説明を加える方式で授業を進める。

成績評価の方法

定期試験は行なわないが、発表の内容、授業内の討論、出席状況などによる。

教科書

大久保利謙他編『史料による日本の歩み 近代編』（吉川弘文館）2,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	たき おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

古代史の基本的な史料である『古事記』をテキストとして、演習をおこないます。古代史を学ぶにさいしては、政治、経済、文化、外交のいずれを勉強する場合にも、『古事記』と『日本書紀』、すなわち「記紀」の内容を知っておくことは不可欠です。この演習では、こうした基本的知識を身につけると共に、史料に対してのとり扱いの方法について知ることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

最初の授業のさいに、史料の割りあてなどのガイダンスをおこないます。その後、何回かは、『古事記』の性格などについて講義をおこないます。そして、できるだけ早いうちから、各人もしくは各グループによる発表報告を主体とした授業に入っていくつもりです。

履修上の留意点

演習は、学生諸君の発表報告が主体の授業です。何よりも意欲をもって参加してくれることを期待いたします。

成績評価の方法

成績の評価は、発表報告の内容を重視しますが、それに加えて、他の報告者に対するコメントおよび出席状況も考慮しまして総合評価といたします。

教科書

教科書は、岩波文庫版の『古事記』を使用いたします。

参考書等

参考書は、特にあげませんが、各人の発表報告にさいしまして、関連するものをできるだけ多く読むようにして下さい。

その他

授業は、発表報告が主体ですが、報告者だけが調べてきたことをのべればよいというのではなく、発表報告に対するコメントの時間も重視するつもりです。発表報告に対して、積極的な討論を期待いたします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	は ぬき ま さい 葉 貫 磨 哉	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

歴史を研究する上で文書・記録の類は重要な史料である。この授業は記録を中心として読解力を養うための授業である。

講義の内容・  
授業スケジュール

『蔭涼軒日録』を講読して、室町時代の五山禅林の姿を見ようとするものである。この日録は五山禅林を統制管轄する鹿苑僧録司を補佐する副僧録の公用日記である。文体は漢文体で、日を追って書きついだもので、筆者は季瓊眞薬と亀泉集証の2人である。内容は季瓊の分が、永享7年6月から8・9・10・11・12年・嘉吉元年7月6日まで、この日は將軍義教が嘉吉の乱で斃れ、茶毗と仏事の記事である。その後16年間の空白があつて、長禄2年正月から再び書きつがれ、文正元年9月までが季瓊の筆である。次いで亀泉の分は、文明16年8月から同19年（長享元）9月までと、延徳2年正月から明応2年9月までが亀泉の手になり、時代を経るに従つて記事の内容が豊富になる。今年は長享2年正月の条から講読する。

歴  
史

履修上の留意点

漢文の日記であるので漢和辞書を用意して予習を怠らない事。

成績評価の方法

平常の授業の成否によって評価する。休暇後はレポートを提出の事。

教 科 書

使用しない。教材はコピーを配布する。

参 考 書 等

授業の折りに触れて指示する。

そ の 他

五山派のあり方を知るために見学も行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ひろせ りょうこう 廣瀬良弘	歴史 3 必修 歴史 3 必修	4

講義のねらい

戦国期・織豊期・江戸期の史料を用い、戦国時代・織豊政権期を経て、近世幕藩体制社会が成立していく過程を考え、当該期の社会・文化などについて考え、戦乱や貧困の多い中、人びとはいかに生き抜いていったかを考える。近世史料の読解力・分析力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

移行期から近世初期にかけての史料（秀吉・家康等に関する文書や、家康の家臣である松平家忠の『家忠日記』など）と江戸前期から中期にかけての史料（町奉行から町方へ出された法令を集めた『江戸町触集成』や遠州の名主の日記である「中井家日記」など）の講読を交互に行い、史料の読解力・分析力を養い、当該期の社会・文化への知識を深め、4年次の卒論作成に備える。

受講者は、上記の史料から、希望するものを選び、その解説・分析を行い、その史料の背景にあるものを分析して発表する。その際には、発表に必要な資料を作成すること。また、受講者は、他者の発表の時には積極的にディスカッションに参加すること。

授業スケジュールは、

〔前期〕

- ① 移行期から江戸期における研究動向に関する知識を深める学習をする。
- ② 家康の発給文書や『家忠日記』などの史料の講読を行う。
- ③ 『江戸町触集成』を中心とした町触の江戸前期～中期の史料を講読する。

〔後期〕

- ④ 家康の関東入国前後の関連史料の講読を行う。
- ⑤ 江戸期の村方に関する史料の講読を進める。
- ⑥ これらに合わせて、移行期から江戸期の文化に関する史料にも親しむ。
- ⑦ 卒論に向けてこの準備報告を行う。史料見学を兼ねた合宿を予定。

履修上の留意点

探究心をもって歴史史料に臨んでほしい。

成績評価の方法

発表状況・発言状況・出席状況など。試験は行わない。

教科書

随時、史料のコピーを配布する。

参考書等

随時紹介してゆくが、『くずし字解説辞典』（東京堂出版）2,200円などがあるとよい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	まつもと のぶ みち 松 本 信 道	歴史 3 必 歴史 3 選	4

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の養成と史料を通して当該時代の歴史的状況を把握することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は『日本後紀』をテキストとして用い、輪読しながら平安時代初期の政治・経済・文化の諸様相について再検討してみたい。後期は卒業論文作成の準備過程として正倉院文書・木簡・金石文・律令その他の性格の異なる史料を輪読し、史料読解力を養成するとともに、文献の検索・収集・読解の方法と研究の進め方などについても指導する。

履修上の留意点

受講生は必ず予習して出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教科書

当該部分をコピーして配布します。

参考書等

『新字源』（角川書店）

その他

授業の方法は輪読と討論のゼミ形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	なかむら じゅん 中 村 淳	歴史 3 必 歴史 3 選	4

講義のねらい

清の趙翼が著した『二十二史劄記』を講読しながら、漢文読解能力を養成し、受講者各自がより具体的な問題意識を持つきっかけとなることをねらう。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にどの箇所を読むかは、授業時に指示する。毎回、担当者を決め、担当者にはレジュメを作成し、それに基づいて報告してもらう。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点と平常点を総合して評価する。

教科書

必要な史料はプリントで配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	佐々木 真	歴史 3 必選 歴史 3 必選	4

講義のねらい

西洋史に関するフランス語文献をテキストとし、その輪読により授業を進め、外国語文献・史料の読解力を養う。またこれと平行して、次年度の卒業論文作成への準備として、文献の探索や研究史の整理などを実習する。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、授業開始時に受講生と相談して決定する。また、夏休みを利用して、各自が関心を持っている分野に関する研究文献（研究書や研究論文）の調査レポートを作成してもらう。卒業論文作成の準備として、後期には、各受講生に自分が論文のテーマにしようとする分野に関する報告を義務づけ、対象領域の研究史整理を実施してもらう。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してくる。原則として欠席は認めない。4年生になると就職活動等に忙殺されるので、卒業論文のテーマ設定と研究状況の整理は、3年次に終了するように心がけること。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定する。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となる。出席はあくまでも必要条件でしかないことに注意すること。

教科書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

その他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人～3人に発表してもらう。フランス語選択者は必ずこの演習に参加すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	伏 島 正 義	歴史 3 必選 歴史 3 必選	4

講義のねらい

まず第1に、当該演習Iは4年次に課される卒業論文の作成のための第1次準備段階であることからして、各人は自己の卒論テーマ具体的に決定し、その研究に着手しなければならない。したがってそのための文献、史料の収集とその方法に習熟することである。第2に、受講生にとって共通となる文献を輪読し、相互の意見交換などにより、歴史研究を深める機会とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず各自の設定した卒論のテーマに添って、文献、史料の収集と読解に努める。次に前期においては受講生の共通となる論文、専門書などの文献を、とりわけ西欧史研究では依然として共通語の1つである独語が書かれた文献を、発表などを交えながら輪読する。後期は、前期から各人の進めてきた卒論のテーマの研究を1人1時限を使って発表、質疑応答する。

履修上の留意点

卒論のテーマに該当する言語に習熟することは言うまでもなく、当該演習の共通言語たる独語にも読解力をつけておくことが必要である。研究文献、史料の検索、収集には多大の時間を必要とするものである。したがってそのための気概が期待される。

成績評価の方法

演習にいかに関心を持って積極的に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

教科書

テキストは受講生と相談し、決める。

参考書等

必要に応じて随時指摘する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	飯島武次	歴史 3 必選 歴史 3 選	4

講義のねらい

中国原典『新中国的考古発現与研究』の講読。

講義の内容・授業スケジュール

1時間当たり半頁を読む予定。テキストは授業開始後コピーして渡す。中文講読は、発音と内容解釈からなり、講読部分の引用関連文献にも目を通しておく必要がある。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと、発表者の欠席・遅刻は他の学生の大変な迷惑になる。発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

教科書

『新中国的考古発現与研究』（中国社会科学院考古研究所）1984

その他

授業方法は学生による原典講読と研究発表。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	酒井清治	歴史 3 必選 歴史 3 選	4

講義のねらい

将来卒業論文を作成するための基礎的な力を養うため、日本考古学の論文の読み方、論文作成のための資料収集、執筆の方法などを学ぶ。また、研究レポートを作成し、論文作成の基礎知識を養う。

講義の内容・授業スケジュール

いくつかの日本考古学の論文を選び、文献や資料の使い方、図版の作り方などを学び、その問題点などについて全員で討議する。

各自で興味あるテーマを日本考古学の中から選び、研究レポートを書く。それを授業で資料の収集の方法などを含め、発表要旨を添えて発表してもらおう。それについての問題点等を質疑応答する。

履修上の留意点

受講者はそれぞれが積極的に論文を読み、発表に対する質疑にも積極的に参加すること。

成績評価の方法

研究レポート、発表と報告者へのコメント、出席状況。

教科書

特になし。

参考書等

論文掲載の引用文献

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	久保田 昌 希	歴史 4 必選 歴史 4 必選	4

講義のねらい

本講座では、3年での演習Ⅰの成果に立って、特定の史料や受講者自身の研究テーマについて、それぞれ発表し、且つ他の受講者とのそれらに関する討論を行う。そしてそのことで、受講者(発表者)自身はもちろん、受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を一層はかることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。

なお、本講座ではあわせて卒業論文の指導も行う。

講義の内容・授業スケジュール

まず本講座の最初に、講読する史料を決めるか、卒業論文に関する個人研究にするかを話し合いたい。その結果により年度の方針を決めたいと思う。

履修上の留意点

卒業論文は、本学科に学んだ成果の現れでもある。大いに尽力してほしい。

成績評価の方法

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定しない。特定の史料が決定次第そのコピーを配布する。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	小林 和 幸	歴史 4 必選 歴史 4 必選	4

講義のねらい

維新、明治大正期を中心とする日本近代史研究の現状、史料状況を検討分析し、日本近代の政治や文化について考察する。あわせて、「卒業論文」指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

演習参加者による報告と討議を行い、先行研究や関係史料の紹介と検討などを通じて、各自のテーマの理解を深める指導をする。

履修上の留意点

研究テーマに対する積極的且つ真摯な取り組みが欲しい。

成績評価の方法

報告、授業態度などを勘案する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	佐藤元英	歴史 4 必選 歴史 4 選	4

講義のねらい

近代文書の中でも特に内閣・外務省・陸軍省・海軍省の公文書および個人文書（日記等）について解説を行いつつ、卒業論文作成のための指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期授業は近現代史に関する史料の所蔵機関である、国立公文書館、外務省外交史料館、防衛庁防衛研究所図書館、国立国会図書館憲政資料室及び地方公文書館、史料館などについて解説をする。後期授業は、受講生各自の研究報告を中心に討論形式で進める。

履修上の留意点

受講生各自の研究課題にそった文献目録（5月末）、及び史料目録（6月中旬）を提出させる。

成績評価の方法

卒業論文の成績及び同論文の口頭試問によって評価する。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	瀧音能之	歴史 4 必選 歴史 4 選	4

講義のねらい

日本古代史に関する卒業論文指導をおこなうつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

授業は討論・報告形式をとり、前期には各人の卒業論文のテーマの決定・目次の作成・文献目録の作成をめざします。後期には研究史の整理、そして実際に卒業論文を作成するための準備をおこします。

履修上の留意点

卒業論文は4年間のしめくりです。各人がはっきりとした自覚をもって積極的にとりくむ意欲をみせて下さい。

成績評価の方法

授業における報告・討論、そして、卒業論文の内容によって評価を決定します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	ところ 所 理 喜 夫	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

本講座は私の講座「演習Ⅰ」と相まって、将来日本近世史の研究者となるもの、あるいは社会の中核としての知識人となるもののために、基礎的な史料解釈能力の育成をねらう。とくに卒業論文の課題選択と執筆方法を教授する。

講義の内容・  
授業スケジュール

スケジュールは以下ようになる。

- 4月～5月 『大岡忠相日記』（演習Ⅰに使用）の史料解釈を通じて、論文作成の方法を説明し、ついで卒業論文の作成の方法・意義について講述する。
- 6月～ 卒業論文の課題選択について、個別、あるいは全体的に指導する。
- 6月10日～ 教務部へ卒業論文題目を提出する。
- 6月～7月～ 各受講生に、卒業論文の章節構成を考えさせる。
- 9月末日～ 受講生に、卒業論文の章節構成を提出させる。
- 10月～ 受講生に卒業論文の執筆を指示する。
- 10月～12月 受講生の疑問点を質問し、個別指導する。
- 12月10日～ 卒業論文提出。

履修上の留意点

日本史専攻生のうち、卒業論文題目に、日本近世政治・社会経済史を選ぶものが望ましい。

成績評価の方法

講義日数の3分の2以上出席を前提とし、卒業論文の成績を中心として総合的に判断する。

教 科 書

とくにない。指導内容に従って指示する。

参 考 書 等

卒業論文題目によって異なるので個別指導する。

そ の 他

6月に教務部に卒業論文題目を提出しないと、12月に提出しても無効となる。とくにこの点に注意する。授業の方法は、4月～5月は講義、6月以降は、発表、それにもとづく討議、個別指導となる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	は 葉 ぬき 磨 さい 哉	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

この授業は卒業論文作成に伴う記録等の史料を講読し、論文作成上の指導を行う授業である。

講義の内容・  
授業スケジュール

鎌倉・室町時代の歴史を研究するために、必要と思われる史書・記録・文書等を紹介し、卒業論文執筆上の留意点を講義し、更に論題決定までの間は、研究書や論文の掲載誌などの助言を与え、各自が論題を決定した後は、鎌倉期・室町期に二分して時代範囲に共通する、必要史料をコピーして講読する。

履修上の留意点

卒業年度生は、教育実習やその他の実習によって欠席する事が多く、なるべく早い時期から問題意識を闡明にして授業に臨む事、後期はまた就職活動などと重なり、欠席回数が多いので、出来得る限り出席して研究発表などを積極的に行う事。

成績評価の方法

成績の評価は、研究発表や研究方法など研究上の姿勢を見て評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

適宜指示する。

その他

後期には研究発表を通して、討論形式をとる場合もあるので、出席して研究の度合・論文の進捗状態を報告する事。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅱ	ひろ せ 瀬 りょう こう 廣 瀬 良 弘	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

史料の読解・分析力を養い、より高い水準の卒業論文の完成をめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者各自が提示した卒業論文テーマ・関連研究論文等に対して、受講生全員によるディスカッションを行い、卒論の論題を確定し、各自卒論の中心的史料・文献等の講読・分析を通じて、論点を明確にし、卒論の完成をめざしていく。

授業スケジュールとしては、

- ① 卒業論文のテーマの提示（4月～）
- ② 研究史の整理（5月～）
- ③ 卒論論題の確定（6月10日教務部へ論題提出）
- ④ 研究史の整理と参考文献の検討
- ⑤ 中心的史料等の分析と論点の明確化（6月～）
- ⑥ 卒論の章立に関する作業
- ⑦ 卒論の概要に関する発表（7月～）
- ⑧ 卒論作成に関する技術的なアドバイス（7月～）
- ⑨ 中間報告（9月中旬～）
- ⑩ 最終報告（10月下旬～）
- ⑪ 下書の提示に基づく指導と添削（10月末～11月20日）
- ⑫ 清書・完成・提出（12月10日提出）

の順で、論題提出日、卒論提出日等に合わせて進めていくが、全体として、発表・相互のディスカッション・指導の形式で進めていく。

履修上の留意点

よりよい卒業論文を完成させる意欲を持って臨んでほしい。随時、発表を求めらるので早めに作業・研究を進めて授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

卒業論文の内容とともに、完成に至る過程も重視して評価する。

教 科 書

各自の卒論のテーマに応じて随時示していく。

参 考 書 等

随時、示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	まつもと のぶ みち道 松本 信 道	歴史 4 必選 歴史 4 選	4

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の習熟と史料解釈を通じての歴史的諸様相の把握を目的とし、必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは『令義解』所収の「職員令」を用い、輪読・討論しながら奈良時代の官僚組織について考えてみたい。

履修上の留意点

受講生は必ず予習をして出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教科書

『令義解』の当該部分をコピーして配布します。

参考書等

『新字源』（角川書店）

その他

授業の方法は輪読・討論のゼミ形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	なかむら じゅん 中村 淳	歴史 4 必選 歴史 4 選	4

講義のねらい

卒業論文に関する指導を主とし、並行して文献講読を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の相談会・中間発表を随時行なう。スケジュールについては、最初の講義の際に発表する。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点と平常点とを総合して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	かた 片岡 かつ 一 ただ 忠	歴史 4 必選 歴史 4 必選	4

講義のねらい

卒業論文の作成に向けての指導をおこなう。各自のテーマに則した文献について紹介・解説していく。

講義の内容・授業スケジュール

文献は授業開始時に決定する。夏休み明けに各自の卒業論文に関する報告をしてもらう。

履修上の留意点

各自、関連論著について事前に調べておくこと。詳細は授業開始時に指示する。

成績評価の方法

平常点と出席点を総合して評価する。

教科書

プリントして配布する。

その他

全員参加を旨とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	さ さ き 木 まこと 真	歴史 4 必選 歴史 4 必選	4

講義のねらい

フランス語文献の輪読を中心として授業を進め、随時必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、授業開始時に受講生と相談して決定する。また、前期と後期に1度ずつ、各受講生に卒業論文の準備状況を報告してもらう。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してくること。また、前期は就職活動等があるが、卒業論文になるべく多くの時間を割き、後期からの本格的執筆に備えること。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定する。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となる。出席はあくまでも必要条件ではないことに注意すること。

教科書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

その他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人～3人に発表をってもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	伏島正義	歴史 4 必選 歴史 4 選	4

講義のねらい

演習Ⅰで進めてきた卒論のテーマに添った研究を最終的に完成するよう指導することが最大のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰの段階で読むことのできなかった文献の入手と解読に全力を尽くすとともに、これまでの研究上の不備な点を再検討し、万全を期す。

履修上の留意点

上記の諸点は夏期休暇の期間内に履行し、ほぼ完了することが望ましい。なぜならば、卒業後就職せんとする者にとっても、さらに上級の大学へ進学しようとする者にとっても当該演習Ⅱの4年生はなすべきことはあまりにも多く、したがって忙殺のため当初掲げたさまざまな課題を十分に満足することのできなかった例をこれまで少なからず見てきたからである。なによりもそのための努力、忍耐が期待される。

成績評価の方法

演習にいかに関心を持って参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	飯島武次	歴史 4 必選 歴史 4 選	4

講義のねらい

卒業論文の指導。

講義の内容・授業スケジュール

考古資料の調査研究を行う。毎時間、履修者の研究発表となるが、発表者は配布資料等を十分に準備して発表に臨むこと。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと。発表者の欠席・遅刻は他学生の大変な迷惑になるので、発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

その他

授業方法は、学生による研究発表。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	さか い きよ じ 酒 井 清 治	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい	卒業論文の指導を行う。
講義の内容・ 授業スケジュール	卒業論文を書くために、どのようにしたらよいのか、テーマについても話し合いながら進めたい。また、各自テーマを決める前、あるいは決めたあとにも、それについて学生に発表してもらい、討議する講義方法をとる。
履修上の留意点	発表者は事前に発表する日を知らせるので、準備するとともに、当日、発表者は遅刻、欠席をしないこと。欠席した場合は単位が取れないと考えてほしい。
成績評価の方法	卒論の進行状況を把握するためにも出席を重視する。
教科書	特になし。

歴史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	ち は もと つぐ 千 葉 基 次	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい	卒業論文作成への指導。
講義の内容・ 授業スケジュール	一般的な論文の書き方(技術的部分)の概略説明から始めて、以後逐次受講者自身の研究発表。
履修上の留意点	研究発表を含む受講者の遅刻と無届け欠席は御法度。発表の順番を決めるため、年度第1回目の授業には必ず出席のこと。
成績評価の方法	授業出席と研究発表と論文提出が評価の基礎。教師側の判断で、次年度再履修も充分有り得る。
そ の 他	年度第1回目授業欠席者には、研究発表順位第一位を無条件で付与する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
古文書学	滝音之・久保田昌希 小林和幸・廣瀬良	歴2・3・4選	4

講義のねらい

古代から近現代にいたるわが国の史料保存の歴史や史料論について講義する。とかくおちいりがちな、ひとつの時代に片寄った史料論ではなく全時代を対象とした古文書学をめざす。また、文書を後世に残していこうという姿勢を国家レベルで打ち出した公文書館法（昭和62年制定）やアーキビスト（文書士）養成問題などもふまえて史料の保存と利用に関する問題にもふれるつもりである。さらに、古文書のみならず歴史資料として絵画や出土遺物・金石文なども視野に入れて考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① ガイダンス……4月15日（担当教員全員）。
  - ② 古代の文書様式、木簡、漆紙文書・墨書土器などの利用法、金石文の有効性…4月22日～5月27日（滝音担当）。
  - ③ 中世の記録史料およびその特徴、中世古文書の形態・様式、中世古文書学の発達と保存・伝来とその利用法…7月8日～10月7日（久保田担当）。
  - ④ 近世の古文書学、古文書の整理・分類方法、史資料の保存・利用法…6月3日～7月1日（廣瀬担当）。
  - ⑤ 近現代の情報文書学、近現代の公文書と私文書の収集・整理・修復・保存・利用法…10月14日～11月18日（小林担当）。
  - ⑥ 現代史料情報学の歩みと将来…11月25日～12月16日（担当教員全員）。
- ※以上とは別途に文書館・史料館等への見学を実施する予定。

履修上の留意点

古代から近現代までの古文書の全体について学びたいと思っている学生、また、従来の古文書学に加えて史資料の保存・利用といった観点に興味をもっている学生の履修を期待する。

成績評価の方法

試験・レポートの成績によって評価する。

教科書

教科書は特定のものを用いず、必要に応じて担当教員が指示する。

参考書等

各担当教員が教場において指示・紹介する。

その他

講義が中心となるが、必要に応じてビデオ・スライド・OHPなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
古文書講読Ⅰ	くぼた 昌希 久保田 昌希	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

今日中世文書はその多くが活字化されており、われわれは普段は兎角、それらを活字で読みがちである。しかしそれらを離れて原文書に接するとき、筆の勢い、紙質、その折り方、花押や印章など中世文書への魅力は拡大する。本講座では原文書ではないが、写真版で解説することにより親しむことにつとめたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講座ではとくに中世文書を解説する。鎌倉幕府関係文書からはじめて、建武政権関係文書、室町幕府関係文書、戦国大名関係文書、織田・豊臣氏関係文書まで読み進めたい。その過程で証文などの私文書の類や、荘園関係文書、在地領主層などの文書や惣村関係文書なども配慮したい。一応、教科書を指定し読み進めていくが、適宜古文書のコピーを配布する。

履修上の留意点

機会あるごとに、文書館・史料館をはじめとする史料所蔵機関、博物館などで開催される中世文書の展示会を紹介する。ぜひ見学して古文書を見る「目」を養ってもらいたい。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

『演習古文書選（古代・中世編）』（吉川弘文館）1,400円

参考書等

『古文書解説辞典』（柏書房）2,500円など、適宜紹介する。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
古文書講読Ⅱ	なか の たつ や 中野 達哉	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近世になると、識字率は、飛躍的に上昇する。中世までは、領主層を中心に上層の者だけに限られていた文字利用が、近世には、庶民にまで拡大するためである。そして、近世の社会は文書（もんじょ）による支配が行われたといわれるように、領主支配を始め、意志の伝達や契約が、文字・文書を通じて行われた。しかし、多量に作成され、伝えられてきた近世文書のほとんどは、活字化されておらず、近世史の研究には原文書を読む力をつけることが必要である。また、古文書の利用とともに、保存について考えることも重要な課題となっている。

こうした立場から、本講座では、近世文書について知り、読解力を養うことを目的とする。さらには古文書の利用と保存の問題についても考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、近世文書の概要や基礎知識について講義するが、そのあとは、武家・町方・村方・寺社文書などについて、実際に講読しながら説明する。講読は、初歩的なことから始め、次第に難解なものへと進むが、読解力をつけるため、学生に文書を読んでいただく。講読を進めるなかで、随時、近世文書の整理・保存方法などについても講義し、今日の近世文書の利用と保存の問題点などにも触れる。

履修上の留意点

文書の読解力は、文書に慣れ親しむことからつく。予習・復習はもちろんのこと、講義だけでなく、日頃から文書に接する時間をつくることが望まれる。

成績評価の方法

年度末の定期試験により評価する。試験では、原文書一点をあげ、その読み下し文と意味を書かせて、文書の読解力を問う。なお、授業の出欠状況も参考とする。

教科書

講読する史料のプリントを配布する。

参考書等

『古文書解説辞典』（柏書房）2,500円 『くずし字解説辞典』（東京堂出版）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教史 I	えん どう ひろ あき 遠 藤 廣 昭	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中世の仏教諸宗派の展開を、特に関東にスポットをあてて概観し、その過程を明らかにしていきたい。その中でも、地域社会とのかかわりを中心にしていきたい。また一見それとかわりの無いように見える「学僧」とよばれた僧侶の活動も詳述して見たい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度は、仏教の伝来から奈良・平安時代の仏教について前期で講義した。本年度は古代仏教も概観するが、講義の中心は中世の関東における仏教諸宗派の展開にしぼって見たい。

中でも真言宗と曹洞宗については詳述する。なぜならば、関東においては、古代仏教諸宗派中真言宗が最も多く展開を見、いわゆる鎌倉新仏教の中では曹洞宗が最も展開をとげていることから、両宗は地域社会とのかかわりも深いと考えられるからである。このうち真言宗の展開の場合は、鎌倉・室町時代を通して、京都・鎌倉との関係は無視できない。そのような視点からも講義を進めて見たい。

成績評価の方法

成績評価は、定期試験の結果を基本とするが、出席も重視する。

教科書

特になし。必要な資料は、授業時に配布する。

参考書等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋文化史 I	さ さ き 佐々木 真	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近世末から近代にかけて、ヨーロッパ諸国において戦争や軍隊が有していた意味について講義をする。軍隊のあり方やその機能、国家による戦争の遂行は、近代国家や近代社会の形成に非常に大きな影響を与えており、最近ではそのような視点に立った研究が見られるようになった。本講義では、そのような研究動向をふまえ、フランスを主な題材として、近世から近代への移行において、戦争や軍隊がどのような役割を果たしたのかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。

1. 絶対王政期の軍隊と戦争（戦術の変化、軍隊の実態、軍制改革、王権と戦争）
2. フランス革命と戦争（革命下の軍制改革、兵士と市民的自由）
3. 近代社会と戦争・軍隊（国民化・近代システムと軍隊、国家と軍隊、総力戦体制）

履修上の留意点

授業中に紹介する文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。

成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加算して判定する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

参考文献は、授業中に随時紹介するが、主要なものとしては以下のようなものがある。  
アルフレート・ファークツ『ミリタリズムの歴史』（福村出版）  
山内進『掠奪の法観念史』（東京大学出版会）

その他

授業は講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史 I	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに①～⑦の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

#### 履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

#### 成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

#### 教 科 書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

#### 参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史各説Ⅰ	たき おと よし のき 瀧 音 能 之	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

時代的には古代を対象とし、地域的には出雲に注目して、そこに展開されたであろう歴史的要素をとりあげるつもりです。古代史における出雲地域の特殊性については、しばしば指摘されるどころです。記紀神話にみられる出雲系神話のウェイトの大きさに加えて、近年の神庭荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡の発見は古代における出雲の重要性を再確認させました。こうしたことをふまえて古代史の再構成をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもとにして、毎回、ひとつのテーマをとりあげて、それについて述べていくつもりです。

履修上の留意点

古代の特に地域史に興味をもっている学生の積極的な参加を期待しています。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末のテストを重視しておこないますが、それに加えて出席状況などの平常点を考慮して総合評価とします。

教科書

瀧音能之著『古代の出雲の世界』（白鳥舎）

参考書等

瀧音能之著『古代出雲と風上記世界』（河出書房新社）

その他

授業は講義形式でおこないますが、何回かはビデオなど使用して、立体的な授業にしたいと思っています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史各説Ⅱ	くぼ た まさ き 久保田 昌 希	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講座は中世史を概観し、日本史上に占める位置を考えることを目的とする。  
日本中世史の研究は、明治期における原勝郎の『日本中世史』によって提起された、いわば武家社会発展史（公家政権の衰退史）が伝統的史観であり、それは戦後日本中世史研究の出発点となった石母田正の『中世的世界の形成』へ継承されていく。  
それから約50年後の今日、中世史研究は活況を呈している。それはなぜであろうか。それはおそらく先に述べたように、政治史的には武家領主層が王朝権力との拮抗を軸に展開し、ついにはそれを凌駕していく過程や、一方で歴史の主役に民衆が登場してくるという躍動感あふれる時代というイメージが強いということもあろう。本講座ではこれらの視点に立って、研究史も紹介しながら概観していく。  
中世という長い時代を年間約25回の講義で、全体的に細かくまとめることはなかなかむずかしい。したがって、焦点を絞りながら、当該の研究史も紹介しつつ述べていきたい。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定はしない。適宜史料コピーを配布することがある。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史各説Ⅲ	なかのたつや 中野達哉	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近世前期の領主支配と地域社会の形成・変容について、関東、とくに武蔵国を中心に、現在の研究上の問題点に触れながら考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

関東転封より江戸幕府開幕までの関東領有期の徳川氏の領国整備の過程を中心に、おおよそ享保期までの在地支配と地域社会について、具体的に史料をあげながら講義する。徳川氏の関東転封、近世初頭の江戸および江戸城の状況とその建設、徳川氏の家臣団の知行割と初期検地、代官頭および代官の支配と村社会、近世社会の基礎を支えた村の構造、村社会の慣行と秩序、そして、それらによる地域社会の形成と変容などについて触れていく。

履修上の留意点

「知識としての日本史」を深めるために受講するのではなく、日本史あるいは近世の社会を大局的に捉え、考えるための糧とすべく講義を受講して欲しい。

成績評価の方法

基本的には、年度末の定期試験により評価する。試験は論述方式をとる。なお、授業の出欠状況も参考とする。

教科書

必要な資料は、授業時に配布する。教科書はなし。

参考書等

とくになし。

その他

授業は、史料を読みながら講義を中心に進める。史料に慣れ、解読力をつけるため、適宜、学生に史料を講読させる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史各説Ⅳ	こばやし かず ゆき 小林和幸	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本史の展開の中での日本近代史が占める意義ばかりでなく、広く世界史上に占める意味を考える事を目的とする。

日本近代史の研究は、近年の新資料の発掘や資料の新しい解釈によって、通説的な歴史理解も様々に修正されつつあり、また、研究の対象が現代に生きる我々にとっても極めて身近であるということから、特に活性化した研究分野となっている。本講は、こうした最近の研究成果を踏まえながら、様々な国際関係上の諸問題の中で近代日本が如何なる政策を選択し、それが如何なる社会状況生み出したかを検討するものである。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の講義では、明治期には海軍大臣、大正期には朝鮮総督、昭和戦前期には内閣総理大臣を歴任するという日本近代政治の焦点にいた人物、斎藤実の生涯を主軸に、国際環境の中での日本近代政治の展開を読み解く。

履修上の留意点

新しい歴史理解を発想することが出来る柔軟な思考を持って講義に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポート、定期試験、出席状況などによる

教科書

特に指定しないが、授業の必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 I 〔 古 代 〕	まつ ちと のが みち 松 本 信 道	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

奈良時代の政治と仏教の関係について、具体的な史料の再検討を試みながら講述することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

『延暦僧録』（『日本高僧伝要文抄』所収）に記載されている  
 (ア) 皇族（聖武天皇・光明皇后など）  
 (イ) 官人・貴族（淡海三船・石上宅嗣など）  
 (ウ) 僧尼（鑿真・思託・普照・榮叡）  
 などの伝記を講読しながら政治と仏教の関係について考えてみたい。

履修上の留意点

必ず予習して出席すること。

成績評価の方法

成績評価の方法は前期・後期2回のレポートによって評価したい。

教 科 書

『日本高僧伝要文抄』（吉川弘文館）の当該部分をコピーして配布します。

参 考 書 等

速水佑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

そ の 他

授業の方法は史料講読と講義を平行して行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 II 〔 中 世 〕	おの うえ よう すけ 尾 上 陽 介	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

およそ11世紀から13世紀までの、いわゆる摂関政治期から院政期に至る時代には、政治・経済・文化など社会のさまざまなところで、それまでの古代的な状況から新しい中世的世界への転換がみられる。本講義では、このように極めて興味深い時期の社会について多方面から分析を加え、問題点の検討を積み重ねることにより、日本中世社会の特質について考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

平安時代中期以降の歴史学研究には、難解なものではあるが、生々しく自己の見聞や感想を記録している貴族の日記は欠かせない史料である。本講義では、この貴族の日記を主な材料としながら、毎回、具体的な史料に即して個別の問題点について考察する。

成績評価の方法

学年末試験による。

教 科 書

授業で用いる史料はコピーして配布する（教科書は特に用いない）。

参 考 書 等

『岩波講座 日本通史』第6巻古代5・第7巻中世1（岩波書店）。その他、個別の参考文献については授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 III 〔 中 世 〕	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中世から近世にかけての禅僧・禅寺と地域社会とのかかわりについて考察する中で、宗教が持つ地域社会の中で果たした機能や地域文化に与えた影響について考えてみることにする。禅僧・禅寺と戦国大名の領国支配とのかかわり、駈込み寺としての禅寺、授戒会活動や葬祭活動と武士と民衆、近世社会の中での禅寺とその活動、町や村の人びとの戒名と過去帳などについて分析し、考究してみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

禅宗の地方展開について概観し、つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 日本禅宗史・禅宗の地方展開史概観
- ② 山岳信仰と禅僧の活動
- ③ 地域の神々と禅僧・禅寺
- ④ 温泉と禅僧・禅寺
- ⑤ 葬祭活動と武士と民衆
- ⑥ 授戒会活動と武士と民衆
- ⑦ 下剋上の世と禅僧・禅寺
- ⑧ 禅寺とアジュール（駈込み寺としての禅寺）
- ⑨ 戦国大名の領国支配と禅僧・禅寺
- ⑩ 禅宗と朝廷と大名
- ⑪ 禅寺と地域社会の秩序
- ⑫ 山伏と禅僧の公事
- ⑬ 近世社会の葬祭と過去帳
- ⑭ 引導法語と戒名（村の寺と村人の戒名）

履修上の留意点

現代社会の宗教と社会との関係などにも関心を持ち、講義の内容と比較しながら受講すると一層興味が深くなると思う。

成績評価の方法

定期試験の結果と出席状況などを重視。

教 科 書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時示していく。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅲ 〔中世〕	あわのとしゆきの 栗野俊之	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本中世史は、中世封建制社会あるいは荘園公領制社会の研究を基本とする。その研究は多岐にわたり、簡単にまとめることは出来ないが、時代的には中心となる政治権力の交代があり、動乱の時代であった。そのため、中世社会には多くの魅力的な題材が潜んでいる。中世とはいかなる時代であり、その様相はどうであったのかを考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

中世は少なくとも平安末期から織田・豊臣期に至るおよそ四百年の時代的な幅を持つので、具体的には中世後期を対象としたい。はじめに、中世社会の基本的な事柄について講義する。ついで、中世後期の社会の様相を戦国・織田・豊臣期を中心として、大名・領主と村落・農民を対比させながら考察する。授業は、史料を講読しながら進めるつもりである。日本史では、史料を解読し、理解・解釈した上で、それを史料として論文に結び付ける作業が必要となる。このような作業の一助となるべく授業を行うし、受講者は、卒業論文作成にあたり、有益な授業となることを保障する。

履修上の留意点

受講者は、出席することが第一である。普段の講義を聞き、その内容を理解しなければ、結局授業を受けた意味がない。出席することが、最終的に受講者の利益となる。

成績評価の方法

成績評価は、年度末の定期試験を基本とする。これとともに、出席を参考として単位を認定する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、授業の進行の中で提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅳ 〔近世〕	みやもとゆきこの 宮本由紀子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

身分制度という枠のほかに女性というもう一つの枠のなかで生きぬいた近世の女性たちについて法制学・社会学・民俗学等の成果を取り入れて立体的に講義する。何故不況になると女子学生に対して社会は就職の場を閉ざすのか、日本民族に流れる男尊女卑の思想はいつ、どうして生まれたのかという疑問を女性史に立脚して考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

恋愛・結婚・出産・教育・離婚・犯罪などのテーマをたてて、前期・後期を通じて講義する。

履修上の留意点

ノート中心とするため講義にはできるだけ出席し、よく聞いて疑問点は質問や自分で調べる努力をし、補充しつつノート作りに励むこと、批判的精神を養ってほしい。

成績評価の方法

論述試験を実施する。また成績評価の際出席日数を参考にする。

教科書

なし。

参考書等

なし。

その他

講義のみ。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講 V 〔近 世〕	お だか しょう いち 小 高 昭 一	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近世に生きた庶民、特に村落生活者に視点をあて、彼らのライフサイクルや日常生活を探り、近世社会の実態を考える。成人した男女の婚姻、家督相続、遺言や財産分与、あるいは村の日常生活で起るもめごとがどのように結着・処理されたのか、史料を解説しながら考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

教材には古文書史料（活字史料）を配布して毎回受講生に解説させ、史料読解力をつけていただく。自分なりにノートを作成し、予習・復習が必要となる。

成績評価の方法

論述試験を実施。成績評価には出席日数を参考にする。

教科書

なし。プリントを随時配布する。

参考書等

随時紹介する。

その他

講義のみ。講義1回あたり4～5人に解説・板書等の指名をする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講 VI 〔近 代〕	こ ばやし かず ゆき 小 林 和 幸	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本近代史、特に明治期の政治史に関する諸問題を検討する。本年度は、明治国家による立憲政治運営の実態に関する検討分析を主軸とし、近代史の主要な問題に於ける藩閥政府・政党・貴族院・官僚等の諸政治勢力の動向を随時検討しながら、明治国家の政治を解明していく。

講義の内容・授業スケジュール

- 本年度の講義は以下のように進める。
1. 帝国議会の成立過程  
帝国憲法を巡る諸政治勢力の動向  
帝国憲法の成立と帝国議会
  2. 帝国議会の実態  
衆議院と貴族院  
貴族院と華族
  3. 帝国議の運営  
初期議会の貴族院と党派  
貴族院の制度化と藩閥政府・政党

履修上の留意点

参考文献を適宜紹介するので、積極的に参照してほしい。

成績評価の方法

レポート、定期試験

教科書

なし

参考書等

随時提示する。

その他

基本的に講義を中心に行うが、随時ビデオなどの映像史料も利用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ 〔近代〕	こいずみ まさひろ 小泉雅弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった明治維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら近代国家の成立について考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、幕末の政治運動、戊辰戦争、維新政権、民権分権問題、廃藩置県、岩倉使節団と留守政府、明治六年の政変、文明開化、藩閥権力の生成、士族反乱と農民一揆、自由民権運動などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史各説Ⅱ 〔古代〕	こぼやし そう へい 小林惣八	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義で取扱う範囲は、秦の統一から後漢滅亡までの約400年間である。  
今日確認できる最古の王朝は夏王朝を倒した殷王朝からである。文献学上のうえで最古の王朝とされる夏王朝はその実在が確認されておらず、今後の中国考古学の大きな課題となっている。殷王朝の実体は多数の邑制国家の連合体であった。次の西周においても、この構造は基本的には同じであった。東周時代の初めには、このような邑制国家は二百数十を数えたが、春秋・戦国時代の激しい抗争の間に滅国併合された結果、秦が天下を統一して秦そして漢の統一国家の時代を迎えるのである。またこの間は、新石器時代に芽生えた文明が中国固有の文化に発展して1つの結実をもたらした時期でもあった。その高度な文化は周辺の諸民族に多大な影響を与え、やがて中国を中心とする東アジア世界の形成に向かうのである。  
中国の歴史の中で、我々はこの一連の時期を古代としてとらえている。したがって本講義の取扱う範囲は中国古代史であり、そのうちでも特に漢代史に焦点を当てるものである。

講義の内容・授業スケジュール

取扱う内容は  
 ① 古代帝国の成立（秦時代）。 ② 古代帝国の発展（前漢時代）。  
 ③ 古代帝国の没落（新・後漢時代）。 ④ 古代中国をめぐる国際関係。  
 以上を軸に、講義を主に、時にディスカッションを交えて進めたい。

履修上の留意点

中国史の概説書・図表を座右に置き、常に出席することを心掛ける。

成績評価の方法

評価については、追って指示する。

教科書・参考書等

特に定めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史各説Ⅳ 〔中世〕	いしだ はじめ 石田肇	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

〈唐宋変革期の諸問題〉と題して講義します。唐から宋にかけては唐宋変革期といわれ、中国史上の大きな転換期として、ひいては東アジア史上の転換期として認識されており、時代区分の問題とも絡んで重要な時期ですので、様々な議論がなされています。そこでこの変革に絡めて講義します。

講義の内容・授業スケジュール

前期では時代区分論について紹介し、ついで唐宋変革期を概説し、後期では前期をふまえていくつかのテーマについてお話しする予定です。現段階ではテーマは決まっていますが、思想史・士大夫論・史学史・科学論といった私の関心のある分野から選んで講義することになると考えられます。

履修上の留意点

講義ではなるべく史料を示して解説してゆきますので、配布史料は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席ならびに課題提出そして試験によります。

教科書

なし。

参考書等

適宜、講義中に示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史各説Ⅴ 〔近世〕	の ざわ よし み 野 沢 佳 美	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中国は、唐の後半期からさまざまな現象に変化が見られ、中国の歴史上、大きな転換期となっている。いわゆる「唐宋変革」とよばれる唐宋・五代・宋初におよぶこの時期には、さまざまな分野で中世的なものから近世的なものへの変化が確認される。こうした動きは、中国王朝自身はもちろん、周辺諸国にまで波及し、とくには北方および西方に強力な新王朝が建国され、中国王朝を圧迫し、やがては中国王朝の一部もしくはそのすべてを支配するまでに成長した。いわゆる「征服王朝」の出現である。本講義では、唐代後半期以降の中国に現れたさまざまな変化について、契丹（遼）・金・西夏などの周辺諸国との関係を視野に入れながら、その歴史的な意義を時代の流れにそって概観したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、唐代後半期に起きた「安史の乱」以降、藩鎮や黄巢の乱、唐の滅亡、五代十国時代などについて、その推移と人物の行動などを通じて概観する。後期は近世の特徴の一つである「征服王朝」についての理論をまず取り上げ、遼・金の出現とそれに伴う宋（北宋・南宋）の対応と変化について、南北関係を中心に概観したい。

履修上の留意点

本講義は、あくまでも概説であるから、あまり専門的な問題点まで深入りしない。しかし概説という性格上、その歴史的流れを重視したいので、各種出版されている概説書の多読を希望する。

成績評価の方法

概説的講義が中心となるため、本講義では出席を重視する。またレポートなどを提出してもらうことがある。これらと年度末試験とを総合的に評価する。

教科書

本講義では特定の教科書は使用せず、随時プリントを配布する。

参考書等

竺沙雅章『征服王朝の時代』（講談社現代新書）。その他は講義時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史各説Ⅶ 〔近・現代〕	ちょう 趙 ぐん 軍	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

数千年にわたる中国の歴史の中で、現代史は一番身近な歴史で、しかも今日の東アジア及び世界情勢に対して大きな影響を及ぼしているものである。本講義は政治・経済・外交・文化などの方面を通して、近代以来の中国の歴史を概的に解説し、中国の歴史と現代を正しく理解できる知識や教養を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は1840年のアヘン戦争から1949年中華人民共和国の成立までの歴史を解説し、後期は中華人民共和国成立以来の歴史を解説する。

主な項目は次の通りである。

1. アヘン戦争と中華帝国の動揺
2. 太平天国運動
3. 洋務運動と清朝政府の「中興」政策
4. 日清戦争及びその影響
5. 変法自強運動と義和団農民運動
6. 新政の施行と辛亥革命
7. 北洋軍閥の台頭と五・四運動
8. 国民革命と軍閥戦争
9. 日本の満州侵略と抗日戦争
10. 「惨勝」と解放戦争
11. 経済の復興と朝鮮戦争
12. 「三反五反」と「三面紅旗」
13. 社会主義への試行錯誤と中ソ対立
14. 文化大革命の理念と現実
15. 「四つの現代化」と改革開放
16. 中国的特色のある社会主義と中国の未来像

歴  
史

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学期末にレポートの提出やペーパー試験を行う。試験成績と出席率による総合評価を行いたい。

教 科 書

小島晋治・丸山松幸著『中国近現代史』岩波新書336（岩波書店）

参 考 書 等

竺沙雅章監修・堀川哲男責任編集『アジアの歴史と文化⑤ 中国史—近・現代』（同朋舎）1995年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 VIII 〔 周 辺 史 〕	な ら しゅう いち 奈 良 修 一	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

現在では、「シルクロード」と言うと、古代からの東西交通路を意味し、有名な、中央アジアを通るオアシスルートだけでなく、北アジアを通るステップルートとインド洋を通る海上ルートをも意味するようになってきている。

特にこの海上ルートは、紀元前後から、モンスーンを利用して機能するようになり、様々な商品だけでなく、文化・技術・思想なども運んでいる。

この講義では、この海上ルートをテーマに取りあげる。海上ルートの歴史は古いが、おもに、16-18世紀に活躍した、オランダ東インド会社（VOC）の活動に焦点を当てたい。というのは、この時代は、近世（Early Modern）であり、この近世こそ、海上交易が盛んになった時代であるからである。また、VOCが、歴史上初めて、一つの組織によって、ヨーロッパから東アジアに至る海上交易ルートの管理を行ったからである。

このVOCの歴史を通し、改めて、シルクロードと呼ばれる交易ルート、特に海上ルートがどのような歴史を持ち、また、どのような商品が運ばれるたか、さらに、この交易により、他の地域のどのような変化を起こしたのか、という、東西相互の関係を考察していきたい。

授業においては、最初に、古代から中世の海上貿易について概観し、その上で、15世紀からの大航海時代、さらに、VOCの歴史へと移っていききたい。

東西交渉史となると、どうしても、扱う範囲が広がる。そのために、基本的な世界史の知識を確認しておくほうが、良いかと思う。

成績はレポートによって評価する。

歴  
史

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 「近世」以前の海上交易の実態と地理
- 2) 近世までのヨーロッパ史
- 3) オランダの歴史 : VOC 成立の背景
- 4) VOC の成立とその機構 : その組織と歴史的な位置づけ
- 5) VOC の商館 : バタヴィア
- 6) : スラット
- 7) : スリランカ
- 8) : ベンガル
- 9) : 台湾
- 10) : 日本
- 11) : トンキン
- 12) : アユタヤ 等
- 13) VOC のあつかった商品 : 生糸
- 14) : 香料
- 15) : コーヒー
- 16) : 茶
- 17) : 鉄砲等
- 18) VOC 時代のヨーロッパ : EIC 前史
- 19) VOC と EIC
- 20) VOC の終焉 : バタヴィアの崩壊
- 21) 「近世」と「近代」
- 22) 結論 : 近世における VOC の位置

参 考 書 等

永積昭『オランダ東インド会社』（近藤出版社）1971  
 秋野孝蔵『オランダ東インド会社の歴史』（同文館）1988

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 IX 〔 周 辺 史 〕	まつもとひろし 松 本 弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は中東史であり、一般にイスラム期と呼ばれる中世と、近現代がその内容となる。近年、中東やイスラムに関わる事件が報道で大きく扱われるようになってきているが、それら個々の問題や中東、イスラム全般に関わる理解は、未だ不十分と思われる。それゆえ、講義の対象には初学者を想定し、中東及びイスラムの基礎的な理解のための情報提供を第一の目標とする。

しかし同時に、中東に関する一般的な興味、関心が上記した報道内容にあることも考慮して、現在報道されている個々の事件についても解説や論評も行いたく、これが第二の目標となる。当然、両者は別々のものではなく、中東史に関わる基礎的・一般的理解と、その現状に関わる個別的理解との総合が、本講義の大きな枠組みとなる。

講義の内容・  
授業スケジュール

「中東 (Middle East、地理用語では西アジア及び北アフリカ)」という言葉の意味から始めて、中東における民族や宗教を概観し、アイデンティティの問題を論じることによって、その社会の特質を明らかにする。加えて、ユダヤ教、キリスト教、イスラムという中東で成立した一神教の流れから、イスラムの占める位置も確認する。

次いで、預言者ムハンマドから正統カリフ、ウマイヤ朝、アッバース朝のイスラム史を概観し、その政治史や政治体制を解説するとともに、イスラム神学・法学やイスラム神秘主義といった思想史も扱いたい。

その後は、オスマン帝国の概説から中東の近代史に入り、ヨーロッパ列強の進出とそれに対する抵抗の過程を通して、「中東の近代」に関わる特質を論じる。そして、アラブ民族主義や中東和平問題から現代史に入り、イスラム原理主義や湾岸戦争後の情勢などを解説して、中東における歴史と現状の関わり合いについて、筆者なりの評価を示してみたい。

成績評価の方法

前後期2回の試験によって、成績を評価する。

教 科 書

特に用いない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 X 〔 周 辺 史 〕	かた 片 おか 岡 かず 一 ただ 忠	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本と中国は長い交流の歴史をもっている。今日でも両国の関係はいろいろな分野で活発であるが、時としてはトラブルが起きている。その背景には近代における日中関係が影を落としているといえる。講義では近代における両国の政治・文化的分野での事件を取り上げ、今日の両国の歴史的背景とその問題点を提示したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

①近代以前の日中関係 ②近代日中関係の開始 ③日清修好条規 ④国境確定と日中関係 ⑤琉球問題 ⑥1880年代の日本の変化 ⑦日清戦争 ⑧中国人の日本留学 ⑨日本の中国関係団体 ⑩辛亥革命と日本 ⑪第一次大戦時期の日中関係 ⑫日中戦争 ⑬日中国交正常化の途 ⑭日中間の諸問題

履修上の留意点

とくに予備知識を必要としない。日本史・アジア史に関心のある学生の聴講を歓迎する。

成績評価の方法

前後期各1度の小テストと後期末試験の成績に平常点・出席点を加算する。

教 科 書

とくに指定しない。関係資料を配布する。

参 考 書 等

授業のなかで指示する。

そ の 他

講義形式。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 II 〔 古 代 〕	こ ばやし そ う はち 小 林 惣 八	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

内陸アジア史において先進的な役割を演じたのはオアシス地帯である。そこには支配者及びその行政機関が存在し、農産物・工業製品は豊かに、隊商は東西に往来した。東西各地の名のある宗教が行われ、寺院においては高僧が求道や布教に努め、芸術も盛んで、高度な文明が現出した。しかし、その孤立的な性格は全体として統一されることなく、東西の交通をみずから一元的に維持するほどの力もたなかった。この地帯を安穏に通行することは遊牧民の力を借りずにはなし得なかった。玄奘が西突厥可汗の紹介でインドまで出られたことや、後のモンゴル帝国の交通繁栄の場合などがそのよい例であろう。遊牧民こそはその政治的統一によってオアシス国家を支配下におき、この大道を保護し、東西交通を円滑にした実力者であった。

また一方中国のような大農耕地帯と相対するときには、遊牧民はその帝国の混乱期には一個の強力な軍事集団として参加し、征服への道を追及する。そしてみずから支配者、帝王となり強固な政治組織を建設する。いわばアジアの専制主義機構は多くの場合、彼らによって再建されたのである。北魏以降清朝に至る大帝国の成立は皆それが事実であることを証明するであろう。内陸アジアはアジア全体に対して政治的エネルギーの発生源となっており、そこに内陸アジア史の大きな歴史的意義を我々は考えることができる。

講義の内容・授業スケジュール

取扱う内容は

- ① 遊牧国家とオアシス国家  
匈奴遊牧国家以前とそれ以降  
オアシス諸国家
- ② 征服王朝

以上を軸に、講義を主にディスカッションを交え進めたい。

履修上の留意点

アジア史の概説書・図表を座右に置き、常に出席することを心掛ける。

成績評価の方法

評価については、追って指示する。

教科書

特に定めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講 V 〔中世〕	石田 肇 <small>いしだ はじめ</small>	歴史2・3・4選	4

## 講義のねらい

〈金石学の種々相〉と題して講義します。金石学は英語の EPIGRAPHY に相当し、これは銘辞学と訳されています。一般に金属や石などに施された文字や文章、つまり金石文、あるいはそれら金属や石などを研究対象にします。金石文は史料ですから、金石学は紙以外に記された史料を対象とするともいえます。文献史料が少なれば少ないほど重要な意味を持つといえますので、近頃では金石文に注目して新しい史料を見いだそうとする傾向があり、関心が高まりつつあります。

## 講義の内容・授業スケジュール

この講義では基礎的なこととお話する予定です。前期では金石学の意義、金石学の大綱、日中の金石学の歴史などを簡単にお話し、後期では具体的な例をいくつか取りあげることになります。それらは唐宋時代の墓誌、石碑、仏足石、鐘銘などで、これらの歴史的背景を説明し、金石文を読み、史料として扱って行く予定です。ところで金石文は活字の文字ではないため、文字には異体字も多く、釈文に苦労することがあります。そのため本年度は時間的に余裕があれば、文字の歴史についても取りあげることとし、いかに金石文を読むか、という点にも配慮します。一方、受講者の関心を深めるために日本の金石も取りあげ、日本の身近な金石についてのレポートを提出してもらいます。東洋史専攻者だけでなく日本史の専攻者の受講を歓迎します。それゆえ受講者に応じて取りあげる素材を変える予定です。金石を扱うには拓本の取り方を知らなければなりませんので、時間の余裕があれば拓本の手ほどきもします。

## 履修上の留意点

講義ではなるべく資料を示しますので、配布資料・史料を必ず持参すること。

## 成績評価の方法

出席ならびに課題提出そして試験によります。

## 教科書

なし

## 参考書等

適宜、講義中に示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講 VIII 〔近世〕	野沢 佳美 <small>のざわ よしみ</small>	歴史2・3・4選	4

## 講義のねらい

中国と日本との関係を知る上で、中国正史のなかにある日本関係の史料は重要なものであることはいまでもない。通常、『魏志倭人伝』や『隋書倭国伝』などが有名であるが、宋代以降の正史中にある日本関係史料も、それぞれの時代において中国がどのように日本を見ていたかがわかり興味深いものがある。本講義では、『隋書』以降の正史中の日本に関する史料を取り上げ、その記述を通じて各時代の中国歴代王朝および中国の人々がどのように日本を見ていたかを考えたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期では、まず正史とはなにか、また日本に関する記録がどこに収められているかの特徴を押さえ、『隋書』『旧唐書』『新唐書』中の倭国・日本伝の記述を輪読しながら、記述内容の変化とそこに述べられた日本国の状況を比較検討する。後期では『宋史』『元史』中の日本国伝を取り上げ、近世以降の中日間における人物や文化の交流を検討する。

## 履修上の留意点

本講義では、史料の輪読という形式をとることがある。

## 成績評価の方法

本講義では、授業への参加意欲、出席状況などを重視して評価する。

## 教科書

石原道博編訳『新訂 魏志倭人伝他三篇』(岩波文庫)、同『新訂 旧唐書倭国日本伝地二篇』(岩波文庫)。

## 参考書等

参考書は授業時の随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 X 〔 近・現代 〕	ちやう 趙 ぐん 軍	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

太平洋の東に浮かぶ島国日本の経済生活は、他国との貿易に大きく依存している。特に中国を初めとするアジア各国とは、歴史的にも文化的にも極めて深い関係におかれてきた。本講義は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概要的に解説し、日本とアジア各国との関係を正しく理解できる知識や教養を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概要的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第1次世界大戦以後の日中関係を具体的に解説する。

主な項目は次の通りである。

1. 近代以前の日中交通史
2. 「日清提携論」と「征亜論」の創生
3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭
4. 宮崎滔天と中国
5. 頭山滿と中国
6. 辛亥革命・孫文と日本
7. 内田良平と中国
8. 中国の国民革命と日本の対応
9. 「満洲事変」から日中戦争へ
10. 日本の敗戦と台湾との「国交」
11. 政経分離と政経不可分
12. 国交正常化と日中平和友好条約
13. フィーバーと摩擦と
14. 「成熟の時代」
15. 改革開放と「新アジア主義」
16. 日本の対中国政策決定－組織と過程－
17. 真のアジア共生をめざして

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学期末にレポートの提出やペーパー試験を行う。試験成績と出席率による総合評価を行いたい。

教 科 書

- ① 趙軍『大アジア主義と中国』（亜紀書房）1996年
- ② 田中明彦『日中関係 1945-1990』（東京大学出版会）1991年

参 考 書 等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 XIII 〔 周 辺 史 〕	な ら しゅう いち 奈 良 修 一	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現在、「近世」(Early Modern)という概念が、世界史の中で使われるようになってきている。この概念は、中世と近代の間と考えてもよいが、一つの独立した時代ととらえられている。この時代区分は、東南アジア史研究において、頻繁に使われるが、東南アジアだけでなく、東アジア史研究でも使われる概念であると考えられている。

この授業においては、「近世」を、「モンゴル帝国」の時代から、18世紀までの時代と考える。この時代は、モンゴル人の大遠征により、ユーラシア大陸の東西が緩やかに結合され、経済が発展したあと、各地で様々な王朝が成立した時代である。東アジアでは、中国の明・清王朝、朝鮮の李氏朝鮮、日本の安土桃山時代から江戸幕府が成立した時代であり、東南アジアでは、「商業の時代」に重なる。さらに、ヨーロッパ人が来航し、タイのアユタヤ朝などの海外貿易が盛んになった時代である。そのために、この地域の各地の政府が海上貿易を統制するようつとめ、しかも、民間人による貿易活動が盛んとなっていた。

この近世の東・東南アジアを、「東方アジア」として、一つのまとまりと考え、この地域が歴史的にも、文化的にも、一つの世界と考えられることを考察したい。この地域だけでなく、地の地域との比較や、世界史的な視野から、その相互関係を中心として見ていきたい。この地域を一つとして見る試みは、新しいものであるが、F・ブローデルがその著『地中海』で、地中海世界を一つの世界として考察した手法を取り入れて、「シナ海世界」を考えていく予定である。このために、中国人の活動について、焦点をあわせることが多くなるが、それだけでなく、日本人や、オランダ人、イギリス人などのヨーロッパ人、さらに、東南アジア各地の人々の活動にも、ふれていく予定である。

さらに、経済活動だけでなく、思想や宗教の普及といった文化交流も考察していく。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| 1) 東方アジア       | : 地理、気候              |
| 2) 東方アジア       | : インド化された地域と中国化された地域 |
| 3) 「近世」の歴史     | : モンゴル帝国             |
| 4)             | : 明帝国                |
| 5)             | : 清帝国                |
| 6)             | : 琉球                 |
| 7)             | : マラカ                |
| 8)             | : アユタヤ               |
| 9)             | : ヴェトナム              |
| 10)            | : 日本                 |
| 11)            | : ジャワ・ミャンマー          |
| 12) 東方アジアの統一原理 | : 朝貢冊封体制             |
| 13)            | : 「鎖国」               |
| 14)            | : 民間の商人              |
| 15)            | : 18世紀               |
| 16)            | : その貿易実態             |
| 17)            | : 儒教                 |
| 18)            | : 仏教                 |
| 19)            | : 道教、ヒンドゥー教、イスラム     |
| 20) 東方アジアの言語   | : 中国語関係              |
| 21)            | : 東南アジア諸語            |
| 22) 結論         | : 前近代の世界のあり方         |

#### 履修上の留意点

受講する際に基本的な世界史の知識を確認しておいていただきたい。

#### 成績評価の方法

成績はレポートによって評価する。

#### 参 考 書 等

フェルナン・ブローデル『地中海』(藤原書店)、全5巻 1991  
そのほか、必要に応じて、授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 各 説 I	いわもと ひろこ 岩 本 裕 子	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

西洋史の中でもアメリカ合衆国の歴史を講義してきている。これまでは、「インディアン」と間違っって呼ばれた先住民が、最初にアジア大陸から南北アメリカ大陸に渡ったときから現在までを対象とした通史、あるいは「多文化社会アメリカ」を形成する様々な要素、すなわち人種、民族、宗教、ジェンダー（男女性別）、セクション（地域性）など合衆国独特のテーマ別史、また担当者の専門領域「アメリカ黒人の歴史と文化」など、年度ごとに様々なテーマで講義してきた。

昨年度は、合衆国の歴史を「映画の中に読み込む」ことがテーマであった。拙著『スクリーンで旅するアメリカ』を手がかりにした。引き続き今年度も映画を題材にアメリカ史を講義する。映画はフィクションであり、歴史学の対象にはなり得ないが、映画が歴史に裏付けられることは「時代考証」という言葉からも明らかである。映画を読む上で歴史の知識が必要であることが実証されるような講義にしていく。歴史学科生だから「歴史嫌い」はないだろうが、「映画嫌い」はあるかも知れない。「映画を学ぶことが大切だとわかる歴史好き」になる講義を展開したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

通年のテーマは、「アメリカ映画を民族、宗教、人種、ジェンダーをよむ」である。

★前期：「民族と宗教でハリウッド映画をよむ」

ハリウッド映画は、ユダヤ系アメリカ人によって作られたものだ。ユダヤ教徒、カトリック教徒といえ、アメリカ社会ではマイノリティである。この人たちによってハリウッド映画は発展してきた。ユダヤ系では、スビルバーグ監督の『シンドラーのリスト』が有名であろう。ウッディ・アレンという鬼才監督もユダヤ系である。さらに、カトリックの中には、アイルランド系とイタリア系が代表格である。消防士の映画『バックドラフト』、警察官の『コップランド』、さらにIRAがらみで『デビル』などを検討する。イタリア系ならば、マフィアの抗争を描いた『ゴッドファーザー』、20年代のイタリア系アメリカ人、サッコとバンゼッティの悲劇を描いた『死刑台のメロディ』などを検討することでアメリカ社会の陰をみていきたい。

さらに前期後半では、民族としては、先住民（インディアン）を対象にした映画『ラスト・オブ・モヒカン』『ダンス・ウィズ・ウルブズ』『ジェロニモ』などを取り上げ、西部劇の悪者とされた先住民の虚像と実像を考えたい。

★後期：「映画でみるアメリカ黒人女性」

担当者の専門領域であるアメリカ黒人女性史を基礎にしなが、歴史に従ってアメリカ映画を読み込んでいく。対象になる映画は『風と共に去りぬ』『カラーパープル』『ビリー・ホリディ物語』『ティナ』『ロング・ウォーク・ホーム』『ボディガード』など多数である。アメリカ史ばかりか、黒人史や女性史に不案内な学生も、後期開始時までにはテキストを刊行する予定なので、理解は容易になると思う。

#### 履修上の留意点

講義で引用する映画のシーンについては、可能な限り講義の中で見せていきたいと思うが、時間や教室の限界もあり、言葉での引用に終わるケースの方が多くなることは避けられない。そうなるで見ないまま映画で合衆国を語ることになり、不十分な理解になってしまう。ビデオが普及している昨今なので、受講生の個々人で映画を見ることで確認をするという作業をしてほしい。

#### 成績評価の方法

前期と後期の各期で試験を行う。同配分で評価の対象とするため2回受けることは必須である。自筆のノートのみ持ち込みの試験であるため、講義に出席することは大前提である。

#### 教科書

(後期に使用予定)

岩本裕子『映画でみるアメリカ黒人女性』仮題、99年9月刊行予定、(メタ・ブレン社)

#### 参考書等

前期にはテキストがないため、個々のテーマに関して講義の折々に参考文献を紹介する。後期には、上記教科書巻末に参考文献リストをあげる予定なので、参照してほしい。特に、拙著『アメリカ黒人女性の歴史』(明石書店)1997年をここにあげてほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋史各説Ⅲ	伏島正義	歴史2・3・4選	4

- 講義のねらい** 中世史に興味がひかれる契機は、ある伝説的物語のもつ魅力に負うところが少なくない。本講ではそうした物語を選んでみたい。そして、そうした物語がある特定の歴史的背景を反映したものであるとの認識に立ち、それがいかなる社会的背景に基づくものであるかについて考えてみたい。具体的にはどのような物語を扱うかについては、受講生と相談のうえ決める。
- 講義の内容・授業スケジュール** 文献、関係論文(邦文、英文)、史料などを読み、それを演習形式により授業を進める。なお、本講では論文(邦文、英文)をその数において多く読むことよりも、その1つ1つを丁寧、正確に読むことを心がけることにより、当該論文の筆者の主張を深く理解し、合せて歴史研究の方法を学ばんとするものである。
- 履修上の留意点** 本講は西洋史一般の知識を広く、そして多く獲得することを単に目的とするものではなく、むしろ歴史の深部を探究し、考究せんとするものである。したがって授業は演習形式で行うため、受動的な態度ではなく、地道にして、しっかりした心構えを持つ受講生を希望します。
- 成績評価の方法** あらかじめ定められているわけではない。具体的には受講生と相談し、決める。但し、その場合、毎回授業にどれ程熱心に、積極的に参加しているかが基本的な基準となることは言うまでもない。
- 教科書** 特に定めはない。必要な論文、史料はプリントして配布する。
- 参考書等** 授業の進行に合わせて、その都度指摘する。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋史特講Ⅰ	長谷川岳男	歴史2・3・4選	4

- 講義のねらい** 西洋史を専攻する場合、欧米文化の講読は不可欠な作業となる。なぜならば自分が研究したいテーマに関する日本語文献は史料も研究論文も不十分に無いと思われるからである。これに対して英語の文献は様々な分野の研究に及んでおり、また英語に翻訳された様々な言語の史料も存在する。それゆえ英語の読解力がまず必要となる。そこで本講義においては、西洋史を学ぶために必要な英語の読解力の向上をめざしたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 研究文献や史料の読解とは受験までの速読による概要把握ではなく、なによりもまず一字一句の精読によって内容を正確に知ることが求められる。そこで本講義において時間を要することは構わず、学生諸君一人一人の訳す作業を通して英文の正確な理解とそれを土台に文献から必要な情報を得る術を習得してもらいたい。
- 履修上の留意点** 上記の目的を達成するためには丹念に辞書を繙き事前に予習することは当然である。しかし本講義は語学の授業ではないので日本語に訳すだけで満足しないで、それに加えてテキストの内容を歴史的に理解しなければならない。そのため叙述にある歴史的事件、人名、地名等も事前に調べることも必要である。なお、新2年生および昨年度履修できなかった西洋史専攻の希望の3年生は必ず出席すること。
- 教科書** 第一時限目に指示する。欧米文化の特質を古代ギリシア・ローマ文化の影響という観点から考察した論考を予定している。
- その他** ゼミ形式で、事前に訳者を割り当てはしない。それゆえ必ず予習して、そして英和辞書(最低でも中辞典以上のもの)を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史特講Ⅲ	かめなが ようこ 亀長洋子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、中世イタリアを中心に、歴史のなかの家族、というテーマをとりあげる。本講義を通じて、家族という、一見普遍的な存在に思われがちなものが、いかに歴史的に変化するものであるかを味わってほしい。また、家族の問題を考える素材やテーマの多様性にも頭をめぐらせてほしい。加えて、自分がこれまで関わってきた家族、将来自分が形成しようと思う家族像を再考し、自分が現代の家族、さらには社会構造のなかでどのような位置におかれ、そのうえでどのような判断を下して生きているのか、また、これから生きていこうとするのかを、考えてみてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では  
 (A) 歴史学において近年活発になった家族史研究の動向の概観  
 (B) 実証研究の舞台となる、中世中北部イタリアの状況紹介  
 (C) 具体的に、ある中世イタリア商人の家族についての実証的考察を行う予定である。

成績評価の方法

学年末の試験によって評価する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史特講Ⅴ	ささき まこと 佐々木真	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

歴史学の研究においては、自分の研究テーマにかんして、過去の研究動向を調べたり、歴史上の事件・人物などを調査したりと、さまざまなことを調べることが、常に必要とされる。また、最近では歴史学の分野でもインターネットの利用が広がり、インターネットが情報源の一つとなっている。そこでこの授業では、まず様々なことの調べかたを講義し、その後受講生各自に、自分が選んだテーマ（歴史上の事件や人物）にかんする報告をしてもらう。また後期には、歴史学におけるインターネットの利用法を実習する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、最初の数回の講義により、事項や研究文献の調べかたを述べる。この場合、必要に応じて図書館の見学なども実施する。その後、各受講生にテーマを決めてもらい、それについて事実関係や現在までの研究状況、各人の意見などを報告してもらい、必要に応じて討論を行う。後期には、情報センターを利用して、インターネットによる情報検索の実習を行う。

履修上の留意点

指定された報告者は、自分が選択したテーマに関して、きちんと調査して報告することが義務づけられる。他の受講生も必ず出席して、他の学生の報告を参考とするとともに、討論に参加してほしい。授業に積極的の取り組むことにより、自分で物事を調べ楽しさを味わってほしい。またインターネットの実習においては、西洋史という性格上、外国のホームページにアクセスすることになるので、ある程度の英語力が必要となる。

成績評価の方法

成績の評価は、出席と報告の内容および、自分の報告にかんして前期と後期の2回に作成するレポートの内容によって決定する。

教科書

特に指定しない。必要な文献については、授業の中で随時指示をする。

その他

授業は各人の報告による演習形式と実習が主体となる。授業の性格上、受講生が多い場合には、英語のテスト等による選抜を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋各国史 I	わた なべ ちか 渡 辺 知	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

前期は「イギリス帝国」を、後期は「イギリスの衰退」をキー・ワードに、イギリス近現代の歩みを見て行くこととします。これらのテーマを通じて、イギリスの歴史がどのような特殊性を有しているのか、また、イギリスの近現代の歩みが世界的にどのような意味を持つのか、考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。また、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。前期は、こうしたイギリス帝国の多様なあり方をジェントルマン、民衆、女性、子供、景観などとの関わりで論じていきます。後期に取り上げる予定の「イギリスの衰退」は古くから議論されているテーマですが、近年イギリスは衰退していないという論が力を得てきています。この背景として、現在のイギリスの状況を指摘できます。授業では、「イギリスの衰退」をめぐる諸論を、その論が展開された社会状況を考慮に入れつつ検討していくこととします。

成績評価の方法

前、後期末にそれぞれ試験を行います。また、夏休み明けにはブックレポートを提出していただきます。成績はこれらの総合評価とします。

教科書

使用しません。

参考書等

講義中に随時、紹介します。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋各国史 II	とり ごえ やす ひこ 鳥 越 泰 彦	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

〔東欧〕史入門〕  
「西洋史」とか「ヨーロッパ史」という言葉はよく耳にするが、「西洋史」や「ヨーロッパ史」の一部のはずなのにあまり知られていない地域がいくつかある。そのような例の一つとしてこの講義では「東欧」を扱う。

講義の内容・授業スケジュール

まず「東欧」とはどのような地域なのか、またその地域がどのような歴史的展開を経て現在に至っているのかを、皆さんが比較的知っているであろう、イギリス・フランス・ドイツ史などとの対比の中で概観していきたい。さらに時間が許せば、現在のユーゴ問題や社会主義崩壊後の「東欧」諸国をめぐる諸問題についても言及したいと思う。(以上前期)  
次に、講義者の主たる関心のあるオーストリア＝ハンガリー帝国（ハプスブルク帝国）の19世紀後半から、帝国崩壊までの経過をたどりながら、改めて「東欧」とは何かという問いを考えていきたいと思う。またここでは史料をいくつか紹介し、歴史学（受験の歴史ではない）の方法の一端も紹介したいと考えている。(以上後期)

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、できる限り諸君の意見や感想を取り入れていきたい。特に「東欧」についての知識は前提としないが、高校で世界史を履修したか、または世界史を履修していないが、「東欧」には関心があるという学生諸君の受講を希望する。是非、受講者諸君が自ら考え、講義者を含む他人の意見も容れて、さらに考えを深めて欲しい。

教科書・参考書等

教科書は特になし。講義中に随時参考文献については伝えていく。

その他

なお本講義はあくまで「東欧」史の入門的な講義ではあるが、さらに進んで学んでみたい諸君や、卒論でとりあげてみたいと言う諸君には個人的にアドバイスをするつもりである。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋各国史Ⅳ	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

現在から2000年以上前にイタリア半島の中部に興ったローマは地中海を中心に広大な帝国を形成し、それを数百年に渡り維持した。この歴史的経験がその後の西洋文明形成にはかり知れない影響を与えていることに異論を唱える者はいないにちがいない。それゆえ西洋文明を本質的に理解するためには、古代ローマ世界とはいかなるものであったのかを知る必要がある。本講義ではその古代ローマ世界のいくつかの面に注目し、その実態の一端に触れてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

ローマは紀元前3世紀の半ばからイタリア半島から海外進出を開始し、その後約一世紀間で地中海の覇者となった。ローマはその拡大にあたりいかなる意図を有していたのかというローマの「帝国主義」の問題は古くから絶えることなく議論されている。最初はこの問題を取り上げることによりローマの社会的特質の一面を考察したい。次いでその文化的様相に注目し、特にギリシア文化への対応を中心に共和政末期から帝政前半の期間に成立し、その後の文化の出発点となった「古典古代文化」とは何かを考えてみたい。最後にこのローマ世界は帝国内の住民にいかなる痕跡を残したのかという問題を扱う予定にしている。

履修上の留意点

ただ古代ローマの情報を得るのではなく、講義内容を土台に古代ローマ世界とはいかなるものであったのか、西洋文明とはいかなるものであったのかを自分なりに考えるという積極的な姿勢で講義に参加して貰いたい。

成績評価の方法

講義をした上で考えたいが、出席が前提となる。

教科書

使用しない。

参考書等

講義中に随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学各説Ⅱ	蘇 哲	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

魏晋南北朝（220-589）は、中国歴史上の南北分裂、漢民族と北方系遊牧民族の文化激しく衝突する時代であり、考古学遺跡と遺物も多彩な地域性と民族性が表れている。この民族融和の長い陣痛から生まれたのは、統一と繁栄の隋唐（589-907）時代である。時代の特質を把握しながら、魏晋南北朝・隋唐時代考古学資料の取り扱い能力を養成することを目指して、講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

魏晋南北朝・隋唐時代都城プランの特徴、城跡調査・復原の理論と実践、古墳の年代学、古墳の等級差別と地域性、墓誌の読み方、古墳壁画の解釈、金属工芸、仏教寺院遺跡の調査を基本内容として、現代中国学会の研究動向と問題点、日中発掘調査と研究方法の同異、中国考古学報告書による資料の取り扱い方法なども講義する。

履修上の留意点

授業だけでは中国魏晋南北朝・隋唐考古学全般はカバーできないので、中国魏晋南北朝・隋唐考古学関係の文献を読んで、美術館で中国から出土した遺物を見て、自ら思考すること。

成績評価の方法

平常点及びレポートによって評価する。

教科書

その都度資料コピーを配布する。

参考書等

月刊『考古』（北京科学出版社）  
月刊『文物』（北京文物出版社）  
関野雄監訳中国社会科学院考古研究所『新中国の考古学』（平凡社）1988年  
平岡武夫『唐代の長安と洛陽』（地図と資料）1956年  
岡崎敬『中国の考古学 隋唐篇』（同朋舎）昭和62年  
岡崎敬『東西交渉の考古学 増補』（平凡社）1980年  
町田章『古代東アジアの装飾墓』（同朋舎）昭和62年

その他

授業中スライドを使うこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学各説Ⅳ	した ちひろ 博 己	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

『魏志』倭人伝は、3世紀の日本の状況を伝える希有の史料である。3世紀といえば、弥生時代から古墳時代へという激動の時代である。前方後円墳が築かれ、日本が国家形成に向けて歩み出す。古代史においても重要な時期といえる。近年の考古学的な調査は、『魏志』倭人伝の記述を裏付けたり、倭国の状況や倭人の生活ぶりを生き生きと伝える資料を続々と提供している。さらに、従来の弥生文化のイメージをくつがえす事実も明らかにされている。この講義では、最新の考古学や古代史の調査と研究成果をもとに、魏志倭人伝の内容を、国のあり様、倭人のくらし、倭国の政治状況などのテーマに即して掘り下げてみたい。

履修上の留意点

テキストは適宜こちらで用意するが、テーマごとに課題を設けて事前に学習してもらい、発表も織りこみながら、全員参加で講義を進めてゆきたい。

成績評価の方法

成績評価は試験かレポート。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学特講Ⅱ	たか しま しゅう 高 浜 秀	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

ハンガリーから中国の北にかけて広がるユーラシア北方草原（ステップ）地帯では、古来牧畜を主な生業とする人々が暮らしていた。ここでは農耕に依存する定住民の文化とは異なった文化が発達したが、紀元前1千年紀の初め頃（前10世紀～7世紀頃）に開始された騎馬による遊牧は、この地域の文化を大きく変えた。生活形態や物質文化のきわめて類似した文化がここに数多く形成されたのである。これは西アジアや中国などの定住民に大きな影響を与えるとともに、東西交渉の道としても機能することになった。これらの文化はまとめて初期遊牧民文化、あるいは代表的な民族の名を取って、スキタイ系文化とも呼ばれている。中国の北、現在の内蒙古からモンゴル国にかけての地域は、なかでも重要な地域であり、この文化の形成に大きな役割を果たしたと考えられる。講義では中国の北を中心として、初期遊牧民文化形成の問題を扱う。中国の時代区分では殷代から漢代までに相当する。

履修上の留意点

この地域の考古学の最新の成果を伝える日本語の参考書はきわめて少ない。講義に出席することが必要である。

成績評価の方法

成績はレポートにより評価する予定。講義に関連した題目を出題する。

教科書・参考書等

教科書はないが、参考書や参考文献は、講義の初めなどに適宜指示する。

そ の 他

講義を中心とし、プリント、スライドおよびビデオを時に応じて使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 IV	や の かず ゆき 矢 野 和 之	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。  
このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
  - ・日本建築史（古代）概要
  - ・遺構とその上部構造体の復元
  - ・保存計画概論
  - ・保存科学、保存工学概論
  - ・まちづくりと文化財
  - ・計画策定の実務
  - ・国内の事例
  - ・海外の事例、文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物

教科書

なし

参考書等

適宜指示

その他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西域美術史	まつ だいら みわ こ 松 平 美 和 子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中国が漢代以来「西域」と呼んでいた地域はパミール高原の東側の東トルキスタンであるが、後には西トルキスタン、そしてアフガニスタンやイラン以西の諸国も西域と呼ばれるようになる。講義では東トルキスタンからイランまでを広義の西域と考え、いわゆるシルクロードとして大いに繁栄したこの地域の考古美術品の中に東西文化混淆の様子を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① イラン装飾文様とその東伝  
イラン美術に見られる「葡萄唐草文」、「花喰鳥文」、「王冠飾り」、「有翼人物像」などの装飾モチーフの変化について。
- ② クシャーナ朝美術とその意義  
東西文化の接点であるクシャーナ朝の遺跡と遺品について。
- ③ タクラマカン砂漠周辺のアアシス都市の美術  
狭義の西域美術であるクチャ、トゥルフアン、ホータン、敦煌などの美術について。

成績評価の方法

学年末と夏期休暇後の二回のレポートで評価する。

教科書

講義時にプリントを配布する。

参考書等

講義時に適宜紹介する。

その他

具体的な美術作品を対象とする学問なので、毎時間スライド、ビデオを多く用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学史	やま ぐち まま ひろ 山 口 祐 弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確かな思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	麻生建	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は、単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教科書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教美術	山下裕二	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

仏像や仏画を見れば、だれもがそれを「仏教美術」だと認識する。だが、きらびやかな色彩の花鳥画や、落ちついた水墨の動物画にも、仏教的なイメージは流れこんでいる。この講義では、一見「仏教美術」とは思われないような作品をあえてとりあげて、読み解いていくこととする。

講義の内容・授業スケジュール

①江戸時代の画家・伊藤若冲 ②南宋時代の画家・牧谿 ③江戸時代初期の風俗画・彦根屏風、他にも適宜多数の作品を紹介し、最新の研究論文を読んでもらう。

履修上の留意点

仏教美術に対する固定化したイメージを捨てて講義に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポートにより評価する

教科書

なし

参考書等

参考文献は適宜コピーして配布する。

その他

スライド・ビデオを多用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 歴 史 文 学	な くも さとる 南 雲 智	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

詩や文がどのようにして生まれ、定着し、人びとに読みつかれていったのかを考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

長い歴史を持つ中国文学のすべてを見渡すことは難しいと思われるが、代表的なジャンルと作品に触れながら、それらを生み出した社会をあわせてみておきたい。

成績評価の方法

評価はレポートによっておこなう。

教 科 書

講義を進めるなかでプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
有 職 故 実	おお つか ひて こ 大 塚 英 子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

「有職故実」の本来の意味は、故実（正しい前例）に精通している事であって、博搜された前例に基づき、多くは国家的行為の当事者が正しいと判断した方法によって行事を実施し、それをまた記録して故実化しようとするという、政治的文化的営為によって形成された前近代のシステムである。本講座は、こうした「有職故実」の細目を学習して古典解読の参考に供するだけでなく、そのシステムを対象化して論ずることにより、国文学や国史の研究に一視点を提供したい。具体的方法としては、平安朝の儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗・文化との関係を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前期 A 「有職故実」とは何か。学年最初の講義日に説明する。必ず出席してほしい。
- B 平安朝の年中行事
1. 「年中行事絵巻」を映像資料として、平安朝における年中行事の意義を考える。
  2. 正月の年中行事を詳説し、政治と年中行事（特に朝賀）との関係を考察する。
  3. 『源氏物語』花宴の巻が書かれるまでの「花の宴」の伝統を考察し、文化的年中行事成立の条件について示唆する。
  4. 平安朝において二月～十二月に行われていた年中行事の一つを題にレポート作成。
- 後期 A 『源氏物語絵巻』と服飾
1. 平安貴族社会の服飾を制度と流行の二側面から概説、『かさね色目』の展示。
  2. 撰閲時代の男性装束と女性装束を、故実書や文学から例文を引用して解説する。
  3. 絵巻の内容について、服飾の観点から解説を試みる。
- B 平安朝における官職位階の制度

成績評価の方法

後期で学習した事項について学年末にテストを行い、前期のレポートとあわせて評価する。

教 科 書

河鱈実英『有職故実』（塙書房）1,900円  
コンパクト版『日本の絵巻』（中央公論社）1,400円、及びプリントを使用。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 民 俗 学	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

本講義では教科書は使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美 術 史 概 説	矢 野 よう こ や の よう こ	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

美術史とはどういう学問か、その方法にはどんなものがあるのかを具体例を通して考えながら、西洋美術史の基礎知識を学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

研究分野としての美術史に関して以下のような視点で講義を進めます。  
美術史の起源  
西洋美術史学の方法と歴史  
原作、複製、文献  
描写と解釈  
合わせて古代から現代への流れを概観していきます。

成績評価の方法

前期レポートと学年末試験によって評価する予定です。

参 考 書 等

マーク・ロスキル著 中森義宗訳『美術史とはなにか』（日貿出版社）  
マルシア・ポイント著 木下哲夫訳『はじめての美術史』（スカイデア）  
高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』（美術出版社）  
このほか適宜、授業中に参考文献を紹介します。

そ の 他

スライドで具体的に数多くの作品を見ながら、授業を行ないます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ラ テ ン 語	佐 藤 玖 美 子 さとう くみこ	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

この講座は、英米語をはじめとする現代ヨーロッパ言語のより良い理解者となるための、古典ラテン語の基礎知識の習得、とくに文法規則を学び、動詞、名詞の変化に慣れることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

ラテン語の文字及び推定される当時の発音の説明からはじめて、ラテン語の初級文法全般を出来る限りやさしく説明します。また皆さんの興味を少しでも高める目的で、おりに触れて現在私達の知る英語やその他フランス語、スペイン語、イタリア語などのラテン系の言語とのつながり、発展過程などについても話したいと思います。  
また、文法の進度に従って、簡単な物語の講読を行い、ローマの歴史や伝説にも親しんでもらいたいと思います。

履修上の留意点

テキストは一応講義のガイドとして用いますが、内容的にはテキストから逸脱する部分が多いので、必ずノートをとって下さい。また、教室に必ず辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

前期の文法テスト及び後期の翻訳テストの結果に、平常の学習態度、出席状況を加味して成績評価を行います。

教 科 書

松本悦法著『ラテン語入門』（駿河台出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ギリシャ語	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違いますが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書がある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への(特に近代以降の欧米文化)影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学(例えばヘッセの『車輪の下』)でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をとまなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいのので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教科書

田中利光著『新ギリシア語入門』(大修館書店)1994

参考書等

参考となる資料は随時、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史地理学	おだ まさやす 小 田 匡 保	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本の事例を中心に歴史地理学の各分野を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 人口 2. 村落 3. 都市 4. 文化 5. 産業 6. 交通

成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位認定は保証できない。

教科書

藤岡謙二郎ほか『新訂 歴史地理』(大明堂)3,107円

その他

村落についての話は、昨年度の村落地理学の講義内容と重複するが、了承されたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学概説	小池とみ子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

地理学における人文地理学分野をとり扱う。地理学的視点から、世界の諸地域の問題を検討することによって、現代世界の現状と課題を明らかにすることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、地理学発達史・人文地理学と自然地理学・環境論・地域論などについて検討する。次に現代世界の概観をふまえた上で、人種・民族と国家、人口問題、産業立地と地域の変容などを柱として、世界各地が現在どのような問題をかかえているか、具体的に各地域をとりあげながら、概説を試みる。

履修上の留意点

地図帳を持参していただきたい。

成績評価の方法

試験を行う。また平常時のレポートも参考にする。

教科書

特に指定しない。講義時に資料プリントを配布する。

参考書等

高校用地図帳〔「新詳高等地図」帝国書院など。高校時代に使用したものがあればそれでもよい。〕  
その他の参考書は講義の中で順次紹介する。

その他

授業は講義形式で行う。ときどきビデオ、スライドなどを取り入れる予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地誌学	川元豊和	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

南及び東南アジアの地誌について講義する。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。

講義の内容・授業スケジュール

前半では、主にバングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。また、農村から大量の人々を吸収し続けている都市についても考察したい。後半では、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴やマレー村落とその変貌、社会経済構造の変化などについて最近の地域研究の成果を紹介しながら、地域の特性を明らかにしたい。また、近年の高度経済成長にともなう工業化・都市化の問題についても考えてゆきたい。

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教科書

特に定めず、プリントを配布する。

参考書等

白田雅之・佐藤宏・谷口晋吉編『もっと知りたいバングラデシュ』（弘文堂）1993 2,800円  
水島司編『アジア読本マレーシア』（河出書房新社）1993 2,000円

その他

年に2～3回はスライドを使用した授業を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地誌学	くぼた たけし 久保田 武	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

一般教養として広く世界の諸地域の特色と課題について基礎的知識の修得と理解  
高校地歴科、中学校社会科の授業で世界の諸地域を扱う際に必要な基礎知識の修得  
暗記科目にせず世界の諸地域に対し生徒の興味関心を増す教授内容構成と教授法の考察

講義の内容・  
授業スケジュール

◆講義の内容  
世界の諸地域の地域学習（地理・歴史・その他の内容）。大地域は一通り学習。中小地域と国は  
範例学習的に選択  
教授者による毎回の授業、夏季休業中学生による地域紹介作成課題とその内容指導、生徒の学習  
評価法、教授者の自己評価法、情報源になる資料紹介、その他  
◆授業スケジュール  
前期は講義（教授者による授業例）と関連事項の質疑・実習・課題作成等  
後期はそれに加え夏季休業中の課題「学生による地域学習案作成」の添削指導

履修上の留意点

毎回授業の終わりに授業内容に関連して、簡潔なまとめ、コメント、実習内容等の提出を求め  
出欠調査に代える。提出物は添削（質問、意見には回答）のうえ次回に返却する

成績評価の方法

定期試験、毎授業後の提出物、授業への参加意欲（出席状況他）等を総合して評価  
原則として授業時数の2/3以上出席しないと単位を認定しない

教科書

使用しない

参考書等

授業の時に紹介する。但し、地理教科書、地図帳、歴史年表、歴史地図、統計資料等は、この  
際揃えた方がよい。とりあえず地図帳と統計資料、歴史年表は初回から持参のこと

その他

毎授業時間の前半は講義、後半は質疑、実習、課題作成等を原則とする  
OHP、スライド、ビデオ、写真など視聴覚機材を講義内容理解と補足のため頻繁に使用する

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
地誌学	ふじ しま のり たか 藤 島 範 孝	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

アジアには30億の人が居住し、古代文明を生み出したが、その後欧米至上主義によって旧態依  
然といわれる。更に民族独立と社会主義崩壊、人口爆発と飢餓、核汚染と地球環境の破壊など多  
くの問題をかかえてきた。この実情をアジアに見る。特に日本はアジアの一員であることを忘れ  
てきた経緯を反省し、各分野から分析してみたいと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

アジアの地図を描き、最近の変貌を加え、新しいアジア観の把握に努める。

履修上の留意点

各種の地図を利用するので、描写及び着色することがあるので、作図できるようにしておく。  
国境及主都等は構造として把握する。

成績評価の方法

最近のアジア各地の変貌を報告発表を要求する。

教科書

大藪友和『アジアを読む地図』（講談社）1,800円

参考書等

浅井信雄『民族世界地図』（新潮社）1,000円 泉三郎『世界地図の新しい読み方』（日本実業  
出版社）1,300円 アンドリュウ・ボイド『世界紛争地図』（創元社）1,600円

その他

講義、作図。



# 1 専門教育科目

## (5) 社会学科

社会学専攻  
社会学コース

社会(社会学)



# 1 専門教育科目

## (5) 社会学科(社会学コース)

社会学概論	(坪井 健)	255
社会調査	(前期：江上 渉) (後期：玉野 和志)	256
社会学基礎研究	(川本 勝・安藤 喜久雄・金丸 由雄 川崎 賢一・坪井 健・吉田 素子)	257
情報処理実習	(軽 部 幸 浩)	258
調査統計基礎演習	(川崎 賢 一)	259
調査統計基礎演習	(三重野 卓)	259
社会学史	(安藤 喜久雄)	260
理論社会学	(金丸 由雄)	260
外書講読	(金丸 由雄)	261
現代社会学論	(安藤 喜久雄)	261
政治社会学	(岩瀬 庸 理)	262
家族社会学	(岩上 真 珠)	263
法社会学	(小林 弘 人)	264
宗教社会学	(芳賀 学)	265
地域社会学	(前期：江上 渉) (後期：玉野 和志)	266
災害社会学	(田 中 淳)	266
マス・コミュニケーション論	(休 講)	
産業・職業社会学	(休 講)	
社会心理学	(坪井 健)	267
社会病理学	(休 講)	
社会学原論	(渡 辺 源 樹)	268
社会調査演習	(川崎 賢 一)	269
社会統計学演習	(江上 渉)	269
社会調査実習	(吉田 素子)	270
社会学理論研究Ⅰ	(川崎 賢 一)	270
社会学理論研究Ⅱ	(川本 勝)	271
社会学特殊講義Ⅰ	(吉田 素子)	271
社会学特殊講義Ⅱ	(吉田 素子)	272
行政法	(鷄 徳 啓 登)	272
法学(福祉)	(小林 弘 人)	273
社会福祉援助技術総論	(休 講)	
社会保障論	(長 尾 讓 治)	273
老人福祉論	(東 條 光 雅)	274
児童福祉論	(許 斐 有)	275
地域福祉論	(渡 辺 一 城)	276
児童心理学	(横 山 剛)	277
産業心理学	(高 橋 誠)	277
環境心理学	(浅 井 正 昭)	278
老年心理学	(中 里 克 治)	278
社会政策	(光 岡 博 美)	279
労働法	(藤 本 茂)	280



民		法 (竹 中 智 香) .....	281
経	濟	論 (浅 野 克 巳) .....	281
	原		

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学概論	つばい 井 健 <small>つよし</small>	社会1必	4

#### 講義のねらい

この講義は、社会学を初めて学ぶ学生を対象に、社会学の見方・考え方の基礎を学ぶことを目的とする。具体的には、社会現象と特有の性格の社会的分析例、社会学の基礎的概念の使い方、さらに現代社会の諸問題をトピックスとして取り上げ、さまざまな領域の社会的研究を具体的研究例を通じて理解する。そして、2年次以後の社会学研究の基礎づけと方向づけに資する内容の講義を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
2. 社会学とは何か - 3つの方法 -
3. 私の社会学観 - 人生と社会学の経験 -
4. 社会現象の不思議1 - 予言の自己成就 -
5. 社会現象の不思議2 - 自殺的予言と潜在的機能 -
6. 社会現象の不思議3 - 社会的ジレンマ -
7. 社会現象の不思議4 - 歴史のパラドックス -
8. 社会現象の不思議5 - 組織のパラドックス -
9. 社会現象の不思議6 - 犯罪のパラドックス -
10. 社会現象の不思議7 - 情報社会のパラドックス -
11. 社会学の基礎概念1 - 社会的行為 -
12. 社会学の基礎概念2 - 相互作用 -
13. 社会学の基礎概念3 - 地位と役割 -
14. 社会学の基礎概念4 - 価値と規範 -
15. 社会学の基礎概念5 - 集団と組織 -
16. 社会学の基礎概念6 - 社会的生活と社会化 -
17. 現代社会論1 - 崩壊する家族 -
18. 現代社会論2 - 情報化と管理化 -
19. 現代社会論3 - 人生と職業労働 -
20. 現代社会論4 - 高齢化社会と世代 -
21. 現代社会論5 - 世界の中の日本 -
22. 現代社会論6 - 豊かさとは何か -
23. まとめ - 社会学の仕方 -

#### 履修上の留意点

1. 授業時間中の私語は厳禁する。目に余る場合は、出席停止とし単位を与えない。
2. 毎回、授業の感想や意見・評価用紙を配布するので、積極的に記入すること。
3. 個別質問は、講義後5分程度の質疑応答時間を設けるので、その際、積極的に尋ねてもらいたい。
4. 各テーマを1時間完結の予定である。内容や順序は変更することもある。
5. 授業中は配布プリントを参考にノートを取り、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

#### 成績評価の方法

1. 出席+毎時間の受講態度、感想、意見、質問など (30%)
2. 課題レポート・期末試験 (70%)

#### 教科書・参考書等

各テーマの授業時間に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 調 査	前期：江 <sup>え</sup> 上 <sup>がみ</sup> 後期：玉 <sup>たま</sup> 野 <sup>の</sup> 和 <sup>かず</sup> 志 <sup>わたる</sup>	社会 1 必	4

講義のねらい

社会学は「方法の学問」である。つまり、社会学の研究では、現実の社会で生じていることをどのような「方法」で観察し理解するかが重要な問題なのである。社会調査は、社会学研究における「方法」の一つであり、だからこそ1年次で基礎的な科目として社会調査を学ぶのである。ただし、この講義の目的は社会調査に関する知識や技術の習得だけではない。社会学がどのような「方法」によって現実の社会を認識しようとするのか、それを学んで欲しい。

講義の内容・  
授業スケジュール

次のような内容で講義を進める予定である。  
社会調査とは何か／社会調査の意義／社会学理論と社会調査／仮説と操作化／信頼性と妥当性／統計調査と事例調査／調査方法の選択／サンプリング／尺度構成／調査票の作成／現地調査の進め方／集計と分析

履修上の留意点

この科目は社会学専攻の必修科目であると同時に、2年次以降に履修する専門科目の基礎となる科目であるから出席は特に厳しくチェックする。また、成績評価も厳しく行う。

成績評価の方法

出席状況および試験によって評価する（前期・後期で担当者が交代するので、それぞれ成績評価を行って通年の評価をする）。

教 科 書

特に使用しない。

参 考 書 等

社会調査に関する文献は数多く出版されている。必要に応じて適宜指示、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学基礎研究	<small>かわもと まさる あんどう きく お</small> 川本 勝・安藤喜久雄 <small>かなまる よしお かわさき けんいち</small> 金丸 由雄・川崎 賢一 <small>つばい つよし よしだ もとこ</small> 坪井 健・吉田 素子	社会 1 必	2

講義のねらい

社会学科社会学専攻に所属することになった新入生諸君は、これから4年間の大学生活で社会学を中心に学んでいくことになる(その成果は「卒業論文」としてまとめられる)。高校までの勉強では、問題が与えられ、それに必ず解答があったはずである。ところが、大学での学習は、問題(研究テーマ)をみずからみつけなければならないし、その問題(研究テーマ)に模範解答などというものは存在しない。自分で解答を探し出していくということが求められるのである。こうした大学での社会学研究を進めていくにあたって必要な知識やノウハウを習得し、同時に社会学という学問がもっている多様な側面を紹介することによって、新入生諸君の問題発見に役立ててもらおう、というのがこの授業のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

前期：受講生はすべて1つの教室に集まって授業をおこなう。6人の教員が持ち回りで2～3回ずつ講義をおこなう。受講生はわかるがわる登壇する6人の教員全員の講義を聴くことができるわけである。社会学を学んでいくにあたってのところがまえ、あるいは諸君が自分自身で研究テーマを見つけていく手助けとなるような内容の講義をする。社会学と一口にいってもその研究領域は多岐にわたるので、各教員がその専門とする領域の立場から講義をおこない、社会学の多様な側面を紹介することになる。

後期：受講生は6人の教員いずれかのもので授業を受けることになる。したがって少人数で授業をおこなう。内容は、社会学研究にあたって必要となるさまざまな知識やノウハウの習得である。社会学がその研究対象とする「社会」を見る眼とは何かといったことにはじまり、文献や資料、統計データの探し方・読み方・まとめかた、レジュメや論文・レポートの書き方、ゼミでの報告のしかたなど具体的な内容までを含んだ授業内容となる。

履修上の留意点

授業の進め方が前期と後期で異なるなど、複雑である。したがって、必要に応じて掲示などで指示をおこなう。また、必修科目であるから出席は厳しくチェックする。後期の教員の担当(クラス分け)については別途指示するのでそれにしたがうこと。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、習得状況などから総合的に評価する。

教科書

特に用いない。

参考書等

必要に応じて指示するが、社会学を学ぼうとするものとして「社会学辞典」を1冊もつことが望ましい。「社会学辞典」にも分厚く高価なものからコンパクトで廉価なものまで数多くある。具体的には授業の中で紹介するので、購入するのはその後にとすること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 実 習	かる べ ゆき ひろ 軽 部 幸 浩	社 会 1 必	4

#### 講義のねらい

現在の情報化社会において人間とコンピュータとは、いっそう密接なかかわりを持ってきている。ここ数年の情報スーパーハイウェイ構想やマルチメディアの浸透により、大学における情報処理教育は、依然過渡期であるといえよう。それにともない本格的なカリキュラムの変更も検討されている。

本講義では大学生に必要な最低限度のコンピュータ・リテラシ、ネットワーク・エシックの獲得と理解を目的とする。具体的には、コンピュータを活用してレポート等が作成できる能力を養う。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することをすすめる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題、授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作と OS の基礎
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick)
- ・日本語ワープロの習得 (MS-Word)
- ・スプレッド・シートの習得 (MS-Excel)
- ・統計ツールパッケージの習得 (秀吉 for Windows)
- ・応用実習 (データの収集、解析、プレゼンテーションの総合実習)
- ・データベースの習得
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・電子メールおよび WWW の利用

#### 履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。

授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回(1回平均約2時間程度)の実習が必要となる(昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである)。

また、Type Quick、MS-Word、MS-Excel、秀吉 for Windows の習得は、単位取得のための必須条件である。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とする。年度末におこなう筆記試験とあわせて総合的に評価する。ただし、講義の理解、実習での応用力の程度によっては、期末試験を免除する場合がある。

#### 教 科 書

年度始めの授業のときにあらためて説明する。

#### 参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
調査統計基礎演習	川崎賢一	社会 2 必	4

講義の内容・  
授業スケジュール

社会調査の実施・分析に必要な、社会統計学の基礎知識・技術を身につけることを目的とする。具体的には、統計に必要な、確率論・確率分布を基礎にして、記述統計学（グラフ化・度数分布など）と推測統計学（正規分布・平均の差の検定・カイ自乗検定など）について学習する。実際の調査データを用いたり、計算問題を解くことなどを中心に授業はおこなわれる。

教科書

テキストはもうけないが、準テキスト扱いのものは、以下の3つである。  
 D. ロウトリー、『涙なしの統計学』（新世社）1991  
 P. G. ホーエル、『初等統計学』（培風館）1963  
 ボーンシュテット・ノーキ、『社会統計学』（ハーベスト社）1990

科目名	担当者名	配当学科	単 位
調査統計基礎演習	三重野卓	社会 2 必	4

講義のねらい

社会調査を企画・実施し、調査結果を集計・分析するための統計学の知識と技術を習得することを目的とする。具体的には、記述統計学と推測統計学の基礎を理解することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本演習を理解するためには、高校程度の積分、確率論の知識を必要とする。これらの授業を高校で履修していないひとのために、また、履修しているひとにとっては復習のために、数学的な基礎知識を教授する。

具体的な内容としては、まず、①社会調査のプロセスを明らかにする。その場合、社会学の理論と実証の関係、変数の操作化、尺度化などについて検討する。②記述統計学の理解としては、平均、分散、標準偏差、積率などについて講義し、さらに、2変数間の関係を表すピアソンの相関係数、クラマーの関連係数（クロス表分析）についても検討する。③推測統計学の理解のために、確率変数、確率分布、標本分布の考え方を明らかにし、それらを踏まえ、推定（点推定、区間推定）、検定について詳細に検討する。

履修上の留意点

統計学は、欠席すると次週以降の授業内容の理解が困難になる。授業のペースにあわせて勉強し、復習をすること。分からないところは、積極的に質問しに来て欲しい。

成績評価の方法

前期、後期の2度の試験により評価する。毎回、出欠をとり、出席率のよいものについては、成績評価において加味する。

教科書

特に指定しない。なお、授業では、毎回、プリントを配布する予定。

参考書等

G. W. ボーンシュテットほか（海野、中村訳）『社会統計学』（ハーベスト社）

その他

授業は、なるべく学生と会話しながらすすめ、簡単な演習問題をやってもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学史	あん じょう きく お 安 藤 喜久雄	社会2必	4

講義のねらい

社会学の創設者である A. コントから現代の社会学者に至るまでの主要な社会学理論を概観する。とくに、その中において現代の社会学理論に影響を与えている主要な理論を中心に講義を進める予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

初めに、社会学の起源を時代背景をふまえて述べるとともに、個別科学としての社会学の確立に貢献したジンメル、テンニース、ウエーバー、デュルケームなど前世紀末から今世紀初頭に活躍した人びとの理論の内容と特徴について概観する。さらに、アメリカ社会学の基礎を築いた19世紀末から1930年代までの主要な研究について概観する。

次いで、1930年代、アメリカでパーソンズの機能主義社会学があらわれ、第二次大戦後、一世を風靡した。パーソンズの機能主義社会学は社会学のみならず、人文科学や社会科学の各分野にも大きな影響を与えた。それゆえ、パーソンズを中心にマートンなど機能主義社会学に連なる人びとの理論と特徴を概観する。

1960年代後半以降は機能主義社会学に対する批判も含めて多様なパラダイムが輩出した。社会的交換理論、シンボリック相互作用論、現象学的社会学、エスノメソドロジー、構造主義社会学などである。それらの諸理論について概観する予定である。

成績評価の方法

出席点と定期試験の両方で成績を評価する。

教科書

児玉幹夫編著『社会学史の展開』（学文社）2,500円

社会(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
理論社会学	かな まる よし お 金 丸 由 雄	社会2・3・4選	4

講義のねらい

他の全ての学問と同様に、社会学のいかなる分野も、「理論的」でないことはない。

問題は、世界が大きく変わりつつある現在、社会学、特にその理論的枠組みが、その根底から変容を迫られているということである。

西欧の伝統に起源を有する社会学は、他の社会諸科学とともに、人間の行為について、ある前提を無意識的に設けて来たのであるが、本講ではこの前提そのものを最重要の問題とする。従来の人間行為に関する理論は、この観点から徹底に検討されるであろう。

履修上の留意点

受講者は、講師が講義の展開とともに指示する文献を自らが読み、考えることが要求される。

成績評価の方法

未定であるが学年末以前に決定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外 書 講 読	かな まる よし お 金 丸 由 雄	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会変動を最初に感知し、その変動のきざしに表現を与えるのは芸術家である。特に「造形芸術家」と謂われる人々が、最も敏感に変動を把え、それに視覚的表現を与える。  
 本講では、従来の伝統的社会学が芸術家の活動をいかなるものと考えて来たかを確認する一方で、これと真向から対立する見解（社会学者及びそれ以外の分野からする批判）を講読する。  
 外国語で書かれた文献を勉強することは、自分の文化（言語はその根幹である）を相対化する視角を与える。それに上達するには、多く、しばしばこれに接し、これと取り組むことである。受講者は予習は必ずして来るように要求されるが、これが上達の鍵だからである。

成績評価の方法

平常点によるものとする。

教 科 書

具体的なテキストは、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現 代 社 会 論	あん どう き く お 安 藤 喜 久 雄	社会2・3・4選	4

講義のねらい

現代産業社会の当面している諸問題の中から、主として次の事項を中心に講義を進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 産業構造と就業構造の変化
2. 経済サービス化とホワイトカラー化
3. 職業構造の変化と職業をめぐる諸問題
4. 女子就業者の増加と共働き夫婦
5. 高齢化と高齢者雇用をめぐる諸問題
6. 労働市場の変化と転職者の増加
7. 国際化の進展と外国人労働者の増加

成績評価の方法

試験あるいはレポートと出席点の両者で成績評価の方法評価を行う。両者の割合は試験の場合は概ね7（試験）対3（出席点）、レポートの場合は5（試験）対5（出席点）

教 科 書

安藤喜久雄他『産業社会学』（学文社）2,500円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 社 会 学	いわ せ のが ただ 岩 瀬 庸 理	社会2・3・4選	4

講義のねらい

政治社会学の講義目標は、社会学の理論と概念を用いて「市民社会」と「政治社会」の相互関係を理解し、説明する能力を育成することです。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 政治社会学の対象と方法  
政治社会学の分析視角、政治社会学の学説史、システム理論と行学理論、政治社会学の現状
- (2) 政治的社会化  
政治的自我的形成、政党支持態度の学習、社会化機関の比較、社会化パターンの変容
- (3) 参加行動  
投票行動の変化、階層の非構造化、社会移動の効果、社会運動の類型
- (4) 権力構造  
支配構造の特徴、大衆社会の権力構造、地域社会の権力構造、多元的権力構造
- (5) イデオロギー  
イデオロギーの構造、イデオロギーとパーソナリティ、イデオロギーと市民社会

履修上の留意点

共に考えるという姿勢をもって出席して欲しい。

成績評価の方法

試験。

教 科 書

教室で指示する。

参 考 書 等

教室で指示する。

そ の 他

講義形式とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家 族 社 会 学	いわ 岩 上 真 珠	社会2・3・4選	4

講義のねらい

家族はこれまで、主要で基礎的な社会集団だといわれてきた。しかし今日、未婚化、少子化、女性の就労、長寿化とライフサイクルの変化といった社会現象の諸変化に伴って、結婚の意味、子育ておよび子どもの教育、親子関係夫婦関係のあり方、老後生活の送り方などをめぐって、あらためて「家族」が問われている。

講義では、かつての概念や定義が大きく揺れている「家族」の現状をあきらかにし、家族とは何かを一緒に考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。

- 1) 家族と文化－多様な社会・多様な家族
- 2) 産業化と家族－近代家族の出現
- 3) 日本の家族－いえ制度とその後
- 4) 結婚と家族
- 5) 家族のライフサイクル
- 6) ジェンダーと家族
- 7) 家族の脱制度化

履修上の留意点

柔軟な発想で聴講してもらいたい。また随時、意見や感想をレポートしてもらおう予定である。

成績評価の方法

中間と期末の2回の定期試験および平常点で評価する。

教 科 書

講義のはじめに指示する。

参 考 書 等

講義中、適宜指示する。

そ の 他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 社 会 学	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	社会2・3・4選	4

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する(例えば、モンテスキュー、イェーリング、マックスウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。)

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料はかなり配布するが、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教 科 書

及川伸著『法社会学講義』(法律文化社) 2,781円

参 考 書 等

講義初日に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 社 会 学	は 芳 が 賀 まなぶ 学	社会2・3・4選	4

講義のねらい

現代日本では、多くの若者たちが宗教現象に関心を寄せていると言われる。「豊かな時代」の今、若者たちは宗教に何を求めているのだろうか。この講義では、この問題を解くことを目指して、さまざまな現象を順次取り上げ、社会的背景とそこに生きる人々の心理構造に照準して考察を進めていくこととしたい。言い換えれば、ここでは、白黒の判断を下す前段階として、まず、宗教現象に関与する人々（とその心理）を理解することが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール

スケジュールを示せば、まず、最初の数回、ここで採用するアイデンティティに関わる視点について、その特徴を解説する。それに続く前期の講義では、この視角を用いて、幕末から現在に至る日本の新宗教の歴史を、信者の入信理由とその社会的背景の変遷に着目しつつ概観する。一方、後期の講義では、自己啓発セミナー・エステ・占いなどの宗教周辺現象を取り上げ、現代の若者の置かれている社会状況に関して、より突っ込んだ考察を進めていく。

履修上の留意点

この講義を履修するに当たって要望したいのは以下の2点である。①有用な情報を用意しているので、可能な限り講義には出席すること。②多くの情報をどん欲に摂取すると同時に、それを鵜呑みにせず、自分に引きつけてじっくりと考える態度を意識的に維持すること。

成績評価の方法

成績の評価は、夏休みに課すレポートと、年度末に行うペーパーテストとの総合評定で行う。なお、レポート・テストのいずれかが欠ける場合には、単位は基本的に認定しない。

教 科 書

使用しない

参 考 書 等

授業開始後に適宜紹介する。

そ の 他

授業方法の中心は講義であるが、ビデオ映像なども折にふれ積極的に活用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地域社会学	前期：江上 渉 後期：玉野 和志	社会2・3・4選	4

講義のねらい

私たちの生活実感から地域社会を感じるができなくなってから久しい。たぶん、学生諸君も自分の生活にとって地域社会がどのような意味をもっているか、実感としてとらえにくいのではないだろうか。地域社会がこうした現状にあることが、地域社会学を学ぶことの意義の一つである。また、地域社会学は地域社会という部分社会をその分析の対象としているが、それを通して現代社会の全体的な構造の把握を目標としている。この講義では、地域社会を社会学の視点から検討・分析することで現代社会における地域社会の意味と構造を考えるとともに、現代社会そのものの構造を解明する糸口をつかみたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

講義は次の4つのテーマから構成される。1と2を前期に、3と4を後期に講義する予定である。

1. 地域社会学とは何か（地域社会の概念、地域社会の歴史的展開）
2. 地域生活論（家族生活と地域生活、地域生活論の展開）
3. 地域集団論（ボランティア・アソシエーション論、公共政策と地域集団）
4. 地域政治論（地方政治と構造と過程、市民参加と地方分権）

履修上の留意点

授業中にレポートなど、多くの課題を提出してもらう予定である。

成績評価の方法

前期と後期で担当者が交代するので、前期・後期それぞれ成績評価を行って通年の評価を行う。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
災害社会学	田中 淳	社会2・3・4選	4

講義のねらい

講義の目標は、災害という特殊な状況を視座として、個人や社会に関する理解を深めることにある。それは、災害が日頃は隠されている個人や社会の特性や問題を顕在化させることによるし、また広い学際的なアプローチを要求することによる。したがって、心理学、社会心理学、社会学の領域にまたがって見ていく。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】災害社会学の母体の一つである集合行動論を紹介する。

- i) 集合行動の諸相：集合行動の典型的な事例の紹介と基本的概念の導入
- ii) 集合行動論：代表的な集合行動論の紹介
- iii) 集合現象への示唆：流行、世論など日常の集合現象との連続性の分析

【後期】社会と災害の関わりを踏まえ、災害研究の歴史や論点を紹介する。

- i) 社会の変化と災害：社会の変化が災害過程および災害研究に及ぼす影響の分析
- ii) 個人・組織・社会：個人・組織・社会それぞれのレベルでの災害研究の論点を紹介
- iii) 災害研究の手法：被害想定、社会調査、フィールド調査など災害研究の手法の紹介

成績評価の方法

成績評価は、前期末および後期末の試験による。出席状況が悪い場合には、履修を認めない。

教科書

教科書は用いない。

参考書等

参考書は以下の通り

- ・J. B. ペリー他／三上俊治訳『集合行動論』（東京創元社）
- ・エンドガール・モラン『オルレ안의うわさ』（みすず書房）
- ・吉井博明『都市防災』（講談社現代新書）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会心理学	つば 坪 井 つよし 健	社会2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、個人の社会的行動、対人関係、集団行動と個人、集団心理現象など、われわれが日常に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、実験、テスト、観察、調査など社会学と心理学の研究方法が用いられており、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この講義では、境界科学としての特徴を生かし、具体的テーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて授業を展開したいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
2. 社会的自己のはなし - 自己過程の社会心理 -
3. 他者との関わり - 友人関係と対人魅力 -
4. 対人関係の心理 - 援助行動と社会的影響 -
5. 集団の中の個人 - 同調行動と意思決定 -
6. 文化現象と個人 - 異文化と日本人 -
7. 現代社会と個人 - 現代人の社会心理 -
8. その他 (社会的認知、社会的欲求、態度変容、リーダーシップなど)

履修上の留意点

1. 授業中に、小実験や心理テスト、エキササイズなど行うことがあるので積極的に参加すること。
2. 授業内容は、通年テーマの概略である。授業の流れとの関係で内容や順序は変更することもある。
3. 授業中は配布プリントを参考にノートを取り、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席+毎時間の受講態度、感想、意見、質問など (30%)
2. 課題レポート・期末試験 (70%)

教科書・参考書等

各テーマの授業時間に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学原論	わた なべ もと き 渡 辺 源 樹	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会学的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 授業内容とそれに必要な準備
- 第1回 社会学とは何か  
社会的事実／実証性“予期せんがために見る”／社会学的分析／現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為  
なぜ‘action’からなのか／社会の基礎的単位として行為／行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程  
人間の行為は‘inter’して社会的となる／人間関係・社会関係・国際関係／交換／社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準
- 第5回 1. 役割の取得 — 社会化 フロイドとパーソンズの‘社会化の過程’を中心に
- 第6回 2. 役割の準拠 — 準拠集団 準拠枠／所属集団と準拠集団／動機と態度の概念
3. 役割の葛藤 — マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム／マージナルマンとして青年期／マージナルマンとして職場人間
- 第7回 社会統制と逸脱行為
- 第8回 1. 規範と同調 — 逸脱の次元 行為と社会的秩序／サンクション・パターン
2. ラベリングと予言の自己成就 印象操作／シンボルとシンボル操作／逸脱とラベリング／予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論、マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団
- 第11回 1. 社会集団とは何か 集団の特質／集団の分類／家族と企業体
2. 社会有機体説と構造・機能・機能連関／機能要件 (AGIL 図式)
- 第12回 3. 集団と構造と機能 地位と役割 集団の単位としての役割／ロールセット、地位系列／業續的地位・帰属的地位
- 第13回 4. 集団のリーダーシップ 集団目標／集団効果性／ホワイトのリーダーシップ論／PM 理論とリーダーシップ
- 第14回 5. 集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉一性／集団規範／凝集性を高める条件／モラール
- 第15回 前期試験 集団・文化・パーソナルティ
- 第16回 組織論と官僚性
1. 組織の一般理論 現代社会と組織体／組織の一般理論
- 第17回 2. 官僚制組織の基本原則 ウェーバーの支配の3類型／官僚制組織の基本原則 (ウェーバー、ミヘルス)／支配・権力・権威
- 第18回 3. 官僚制組織の動態 官僚制組織における“目標の転移”／ホーソン実験／グールドナー、ブラウの官僚制論
- 第19回 社会意識
1. 社会意識とは何か 社会意識の2つの途／マルクスとウェーバー
- 第20回 2. ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第21回 3. 社会的性格
- i) フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- 第22回 ii) ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第23回 4. 社会的態度(社会心理) 行為の科学的説明／ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第24回 全体社会の構成
1. 経済と社会…経済と経済社会学／産業社会・消費社会／経済の国際化・従属理論
- 第25回 2. 政治と社会…政治と政治社会学／権力／政治文化
3. 法と社会…法と法社会学／法の機能／規範
4. 教育と社会…教育と教育社会学／学歴と社会移動
- 第26回 社会成層の社会学 階級と階層／職業構成／社会移動／地位の一貫性・非一貫性／成層研究の課題

成績評価の方法

定期試験 (有り)、レポート (有り)

教科書

開講時に提示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会調査演習 (前期)	川崎賢一 <small>かわ きさき けん いち</small>	社会2・3・4選	2

講義のねらい

サンプリングや調査データの集計・分析など、社会調査のプロセスで必要になるいくつかの作業に取り組んでもらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

系統抽出法、確率比例抽出法によるサンプリング、尺度構成のための GP 分析、統計図表の書き方など。

履修上の留意点

演習科目であり、かつ作業を行うので欠席はしないこと。

成績評価の方法

ひとつの作業が終了するごとにレポートを提出してもらう。

教科書

特に使用しない（プリントを使用）。

参考書等

必要に応じて適宜指示、紹介する。

その他

電卓（ルートの計算ができるもの）を用意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会統計学演習 (後期)	江上渉 <small>え がみ わたる</small>	社会2・3・4選	2

講義のねらい

社会統計学の基礎ができている学生を対象にする。応用に重点を置き、相関・重回帰・多変量解析などをマスターさせたい。なお、SPSS 統計パッケージを用い、文化社会学的データを利用した実習的内容にする予定である。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会調査実習	よし だ もと こ 吉 田 素 子	社会3・4選	4

講義のねらい

社会学の方法論には大きく分けて定量的分析 (quantitative method) と定性的分析 (qualitative method) の2つがある。この講義では、定量的分析のうち、とくにサーベイについて、実習を通してその計画の立て方、質問の構成法、分析法等を学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、理論的な問題として、どのような社会学の問題がサーベイによって研究するのに適しているか、並びにどのように理論と質問を関連させたらよいかといったことを学び、次にどのようにしたら解答率を高められるか、解答ミス避けられるか、正確性・客観性を保てるかといった実践的な問題を検討する。実際に与えられたあるいは学生自身の興味のある問題に関してサーベイを作成し実習する。さらにサーベイの社会学の方法としての欠点・問題点、今日の社会学の方法論の中での位置づけについても考察したい。

成績評価の方法

学習態度・実習の内容によって評価する。

教科書

講義中に指示する。

参考書等

土田昭司著『社会調査のためのデータ分析入門』(有斐閣)

社会(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学理論研究Ⅰ (前期)	かわ さき けん いち 川 崎 賢 一	社会3・4	2

講義のねらい

社会学理論の中でも、文化とグローバリゼーションに関連するものを取り上げる予定である。単に講義にとどまらずに、行為論・文化論・グローバリゼーション論に関する論文・本などを読み込んでもらう予定である。テキストは特に決めないが、参考文献は、以下のものである。

参考書等

川崎賢・『情報社会と現代日本文化』(東京大学出版会) 1994

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学理論研究Ⅱ (後 期)	かわもと まさる 川 本 勝	社会3・4選	2

講義のねらい

この講義では、いわゆるマス・コミュニケーション研究、メディア・コミュニケーション研究における社会学理論を扱う。

今日、社会や人びとの生活の諸領域に、多様なメディアが位置づいている。そこで日々生じている諸現象は、多くがメディアを媒介とし、コミュニケーションとの相互関連によって成り立っている。したがって、社会学の一研究領域としてマス・コミュニケーション研究、メディア・コミュニケーションが研究が行われ、多くの社会学的理論が展開されてきた。ここでは、その社会学理論を概観する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ほぼ次のようなテーマを扱う予定である。

1. マス・コミュニケーションと社会をめぐる社会学理論  
マスメディアの活動とその社会的機能に関する理論を中心として。
2. マス・コミュニケーションの利用と効果をめぐる社会学理論  
マスメディアの効果研究における理論を中心として。

成績評価の方法

受講生の数にもよるが、レポートと試験を行い、場合によっては出席を加味して評価する。

教科書・  
参考書等

教科書・参考書は特に指定しないが、講義の中で適宜紹介する。

社会(社会学)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学特殊講義Ⅰ (前 期)	よし だ もと こ 吉 田 素 子	社会3・4選	2

講義のねらい

この講義では、アメリカを中心として発達してきた医療社会学の様々なパースペクティブを、研究例を挙げながら紹介することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

おおまかな講義内容の予定は次の通り。

1. 健康と病の社会的なコンテキスト
  - 1) 医療のための社会学－健康と病の社会的要因の研究
  - 2) 健康と病の社会的・文化的意味づけ
2. 医療システム
  - 1) 医療システムの構造と医療政策
  - 2) 医療提供者－患者関係の社会学
3. 医療プロフェッションの社会学
4. 生命倫理の社会学
5. 社会変動と医療システム

成績評価の方法

成績の評価は、期末に行うペーパーテストの結果によって行う。

教科書

特になし。

参考書等

講義中適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学特殊講義Ⅱ (後 期)	よし だ もと こ 吉 田 素 子	社会3・4選	2

講義のねらい

メンタルヘルスの社会学

この講義では、メンタルヘルスや精神疾患について社会学がどう理論づけてきたかを検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、精神医学と心理学で精神障害及び精神疾患がどのような理論的枠組みで考えられているかについて概観する。次に、社会学において機能主義やコンフリクト理論やラベル理論での精神疾患に関する理論づけを検討していく。そのような理論づけに基づいた研究例なども紹介する。

成績評価の方法

成績の評価は、期末に行うペーパーテストの結果によって行う。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

講義中適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行 政 法	けい とく ひろ とう 鷄 徳 啓 登	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国内的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

i 行政とは何か ii 行政の原則 iii 行政法の意義と解釈 iv 行政作用の分類と内容・効力  
v 行政行為の瑕疵と効力 vi 行政手続 vii 行政上の強制の方法と制裁 viii 国家による賠償と補償  
ix 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教 科 書

林修三著『行政法』（第1法規出版株式会社）1,800円  
『小六法』出版社・定価各種

参 考 書 等

原田尚彦著『行政法要論』（学陽書房）3,000円  
塩野宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』（有斐閣）4,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 学 ( 福 祉 )	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・授業スケジュール

①憲法と社会福祉、②民法と社会福祉、③社会福祉の法、④社会福祉の組織、⑤社会福祉の財政、⑥社会福祉の争訟、⑦公的扶助の法、⑧児童福祉の法、⑨単身家庭福祉の法、⑩心身障害者福祉の法、⑪身体障害者福祉の法、⑫精神薄弱者福祉の法、⑬老人福祉の法

成績評価の方法

出席、年2～3回のレポート、期末テストなどを総合的に勘案して評価する。

教 科 書

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』（創成社）3月末刊行予定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社 会 保 障 論	なが お じょう し 長 尾 謙 治	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであろうか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、わが国における社会保障制度の現状と課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

- |                     |                 |              |
|---------------------|-----------------|--------------|
| 1 現代社会における生活問題      | 2 社会保障の史的展開     | 3 社会保障の理念    |
| 4 社会保障の概念、範囲、規模     | 5 社会保障の財政       | 6 社会保障の機能    |
| 7 社会保障の問題点と今後の課題    | 8 わが国の社会保障制度の体系 |              |
| 9 わが国の社会保障各制度の沿革と概要 |                 |              |
| 1) 年金保険             | 2) 医療保険         | 3) 労災保険      |
| 4) 雇用保険             | 5) 公的扶助         | 6) 児童手当      |
| 7) その他              |                 |              |
| 10 民間保険の役割          | 11 社会保障の実施体制    | 12 社会保障研究の動向 |

成績評価の方法

年度末試験に出席点を加味して評価する。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編集『改訂社会福祉士養成講座 5 社会保障論』（中央法規）

参 考 書 等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）  
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 人 福 祉 論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、高齢年金の減額、介護保険の導入決定等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、近未来の21世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その21世紀に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 ⇒ 人口高齢化の意味と状況  
わが国における高齢者の生活実態及び高齢者像  
老年期の心身の状況、etc.
- 後期 ⇒ わが国における高齢者対策の歴史  
老人福祉対策・サービスの現状および課題  
今後の高齢化社会にむけて、etc.

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないので、そのつもりで履修すること。

成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

教科書

冷水豊編『老人福祉論』（メヂカルフレンド社）  
冷水豊編『老人福祉－政策・処遇の視点と方法－（第三版）』（海声社）2,000円

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
児童福祉論	この 許 斐 ゆう 有	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、「児童福祉」を《社会的子育てシステム》と捉え、現行の児童福祉の法制度を検討しながら、子どもを養育する社会の責任および公的責任、子育てに対する公的・社会的支援・援助のあり方を考察する（子ども家庭福祉論）。また、児童福祉法の成立・展開過程や子どもの権利条約等の検討を通して、子どもの権利の基本的な考え方および児童福祉法の基本理念を学び、《子どもの権利擁護システム》としての児童福祉制度について理解を深める。なお、これらの参考として、カナダの子ども家庭サービスについても言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 子どもの現状と子どもの人権
- 2) 子ども家庭政策の展開と最近の動向
- 3) 子どもの権利の考え方
- 4) 児童福祉法の理念
- 5) 子ども家庭福祉に関する法制度
- 6) 子ども家庭福祉サービスの現状と課題
- 7) 児童虐待の実態と相談援助の実際
- 8) カナダの子ども家庭サービス

履修上の留意点

受講学生には、児童福祉を知識として学ぶだけではなく、子どもが権利の主体であるという新たな理念を正しく理解し、子どもと家族に対する支援・援助のあり方を自分なりに考えることを期待している。

成績評価の方法

主として学年末の試験によるが、レポート等の成績を加味することもある。

教科書

許斐有『子どもの権利と児童福祉法』（信山社）  
『社会福祉小六法』（出版社は問わない）

参考書等

永井憲一・寺脇隆夫編（許斐共著）『解説・子どもの権利条約』（日本評論社）  
ささやななえ『凍りついた瞳——子ども虐待ドキュメンタリー』（椎名篤子原作）（集英社）ほか

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地域福祉論	わた なべ かず くに 渡 辺 一 城	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

我が国の社会福祉の流れはいま正に大きな転換期にある。80年代後半から今日にかけて議論されてきた制度改革におけるキーワードはいうまでもなく「地域福祉、であり、これが社会福祉を進めていく上での基本的な考え方となっている。従って、地域福祉は、社会福祉の一分野ないしは方法というより、それらを総合化した社会福祉の現代的形態として理解される必要がある。それは限りなく地域における住民の現実の生活に着目した、かつ新しい福祉を切り開く視点を内包した領域であるといえることができる。

本講義では、こうした前提を踏まえ、これから社会福祉に関わる上で必要な地域福祉の視点や課題を学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は主として次の事項を扱う。

- ・地域福祉の理念や概念、内容
- ・地域福祉の歴史的展開
- ・在宅福祉サービスのあり方と供給方法
- ・地域福祉の主体形成と福祉教育
- ・ボランティア活動やNPO活動とその支援
- ・地域福祉を推進する機関と組織（社会福祉協議会、ボランティアセンター、共同募金会のあり方や、関係機関や仲介調整組織との関係など）
- ・地域福祉を支えるコミュニティワーカーの役割
- ・小地域におけるインフォーマルネットワークのあり方
- ・地域福祉計画の策定とコミュニティワークの展開

成績評価の方法

出席、テストなどにより評価を行う。

教科書

大橋謙策著『地域福祉論』（放送大学教育振興会）

参考書等

大橋謙策・宮城孝編『社会福祉構造改革と地域福祉の実践』（東洋堂企画出版社）  
牧里毎治・野口定久・河合克義編『地域福祉』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
児童心理学	よこ 横 山 つよし 剛	社会1・2・3・4選	4

## 講義のねらい

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する規制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動、知覚・認知、言語、記憶、思考、情緒・パーソナリティ、社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

## 履修上の留意点

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことも予定しています。第一回から積極的に参加して下さい。

## 成績評価の方法

平常点+レポート課題+試験

## 教科書

山内宏太郎編『人間の発達を考える 上』(北樹出版)

## その他

プリント資料、VTR、スライドも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
産業心理学	たか 高 橋 まこと 誠	社会1・2・3・4選	4

## 講義のねらい

コンピュータによる高度情報技術が仕事の内容や仕方に与えた影響、その中で的人間的な仕事のあり方について、産業・組織心理学や人間工学の研究分野から考える中で、必要とされる研究内容や研究方法を身につける。

 講義の内容・  
授業スケジュール

前半は、高度情報技術の内容とオフィスや工場における適用の実態、業務・組織やワーカーの健康に及ぼした影響を検討する。後半は産業・組織心理学や人間工学といった研究分野から、高度情報技術社会での仕事環境をより人間的なものにするためにどのようなアプローチがなされ、さらにどのようなアプローチが必要か、事例をとおして学ぶ。

## 履修上の留意点

新聞や雑誌等とおして、コンピュータ、情報処理・通信技術、労働をキーワードに、現在進行している技術革新の徴候に注目されたい。

## 成績評価の方法

授業への参加とレポート内容

## 教科書

教科書は使用せず、プリントを準備する。

## 参考書等

授業の中で参考書等の情報を提示する。

## その他

講義形式というより、提供した資料に基づいて、データの捉え方、課題の発見、課題解決のための研究目的・方法等を考えていく方式を採用したい。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
環境心理学	あさ 浅 井 正 昭	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

環境計画系諸科学（都市計画学・建築学・ランドスケープアーキテクチャー・インテリア・デザインなど）および行動科学系諸科学（心理学・社会学・文化人類学など）を統合する学際的研究領域として近年注目を集める環境・行動研究について特に心理学サイドから展望する。

講義の内容・授業スケジュール

最初に学際的科学として成立した環境心理学誕生の時代的背景を解説する。  
 次に環境汚染、アメリカにおけるゲットウ出現による都市の荒廃化に触れ、現代の環境心理学に重要な影響を与えた4人のパイオニアとその学説を概観する①MIT グループダイナミックス研究所 Lewin, K に学び、カンサス大学へ移行した Barker, R および Wright, H らと生態学的心理学。②環境を空間内位置から捉えた文化人類学者 Hall, E とその著作「沈黙の言語」、「かくれた次元」で明らかにされた接近学（Proxemics）的アプローチ、Sommer, R によって発展された個人空間。③「都市のイメージ」によって建築学界に衝撃を与えた Lynch, K の認知地図による都市空間表象の分析的研究法。④同じく建築学者 Alexander, C によるパターン言語に基づく市街地・建築物の記述技法などを講述する。そして1960年代に始まる5つの代表的環境心理学研究センター開設の社会的背景を探求し、生態学的心理学の基礎概念 Behavior Setting が現在の環境心理学を方向づける環境と人間行動間の Transaction 研究と展開された道程を講述する。併せて POE 景観測定法・認知地図・環境シミュレーターなど環境心理学研究技法を紹介する。

履修上の留意点

実験心理学の基礎知識および学際的アプローチに対する関心

成績評価の方法

学期末における論文体筆記試験

教科書

使用しない。

参考書等

プロシャンスキー・イッテルソン・リプトン『環境心理学』全六巻（誠信書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
老年心理学	なか 中 里 克 治	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢（老化）と病的な加齢（病気）を区別することも大切である。一生涯にわたる発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

教科書

下仲順子（編）『老年心理学』（培風館）1997 1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつ 光 岡 博 美	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上に述べたように(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うほか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。

#### 教科書

特にないが、講義の内容と関連して適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
労働法	ふじもと しげる 藤 本 茂	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行に見直しがなされています。現在は、激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働条件決定に組合の及ぼす影響は、一見地味ではありますが、無視できません。

また、この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の改正なども見られます。

解釈においては、何が、変わるのかまた、このような中にあっても変わるべきでないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。

(2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。

ここでは、一応のアウトラインを述べるに止めます。

- ① 労働法の基礎的考え方
- ② 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- ③ 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- ④ 雇用における平等・同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント、
- ⑤ 労働条件を決定しているもの－就業規則、労働契約、労働協約
- ⑥ 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為、
- ⑦ 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間、
- ⑧ 人事異動－配転、出向、転籍、
- ⑨ 雇用の出口－解雇、定年、退職、
- ⑩ 賃金、諸手当、退職金、
- ⑪ 労働時間、時間外労働、
- ⑫ 休憩、休日、休暇、
- ⑬ 労働災害など

#### 履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

#### 成績評価の方法

出席を加味することはありますが、学年末試験がメインです。

#### 教科書

指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

#### その他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい	民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。
履修上の留意点	教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。
成績評価の方法	おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。
教科書	遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版〕』（有斐閣双書）1,648円
参考書等	久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経 済 原 論	あさ の かつ み 浅 野 克 巳	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい	現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を解説する。なお、公務員試験(その他の国家試験)の受験対策としても役立つよう必要に応じ問題練習も行うので、下記の問題集も用意されたい。		
講義の内容・授業スケジュール	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">           I. マクロ経済学の理論            1. 経済循環と国民所得の概念            2. 国民所得の決定            3. 経済の変動と成長            4. 賃金・物価・インフレーション            III. 公共政策         </td> <td style="vertical-align: top;">           II. ミクロ経済学の理論            1. 消費者行動の理論            2. 企業行動の理論            3. 市場と価格決定            4. 市場・企業・産業            IV. 国際経済学         </td> </tr> </table>	I. マクロ経済学の理論 1. 経済循環と国民所得の概念 2. 国民所得の決定 3. 経済の変動と成長 4. 賃金・物価・インフレーション III. 公共政策	II. ミクロ経済学の理論 1. 消費者行動の理論 2. 企業行動の理論 3. 市場と価格決定 4. 市場・企業・産業 IV. 国際経済学
I. マクロ経済学の理論 1. 経済循環と国民所得の概念 2. 国民所得の決定 3. 経済の変動と成長 4. 賃金・物価・インフレーション III. 公共政策	II. ミクロ経済学の理論 1. 消費者行動の理論 2. 企業行動の理論 3. 市場と価格決定 4. 市場・企業・産業 IV. 国際経済学		
履修上の留意点	現代経済学の勉強で不可欠なことは、現実の経済問題に関心をもつことである。とくに『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおり、必要な記事はスクラップブックに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つであろう。		
成績評価の方法	筆記試験とレポートによって行う。		
教科書	浅野・荒木・浅田『エコノミクス改訂版』（成蹊堂）1995年		
参考書等	青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）1996年		



# 1 専門教育科目

## (6) 社会学科

社会福祉学専攻  
社会福祉コース



# 1 専門教育科目

## (6) 社会学科(社会福祉コース)

社会福祉原論(伊藤秀一)	287
法学(福祉)(小林弘人)	288
ソーシャルワーク・リサーチ論(菊地和則)	288
情報処理論(軽部幸浩)	289
社会福祉援助技術総論(高橋重宏)	290
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ(伊藤秀一)	291
社会福祉基礎演習(伊藤秀一)	292
社会福祉基礎演習(小畑和)	292
社会福祉基礎演習(東條光雅)	293
社会福祉基礎演習(許斐有)	293
社会福祉発達史(林千代)	294
国際社会福祉論(山本真実)	294
社会福祉計画論(川廷宗之)	295
リハビリテーション論(生川善雄)	296
家族療法(休講)	
社会福祉学特講Ⅰ〔児童〕(前期:長尾讓治)	297
(後期:許斐有)	
社会福祉学特講Ⅱ〔老人〕(児玉谷広子)	298
社会福祉学特講Ⅲ〔障害児・者〕(安梅勅江)	299
社会福祉学特講Ⅳ〔相談・援護〕(山本真実)	299
社会福祉学特講Ⅴ〔保健・医療〕(船水浩行)	300
社会福祉学特講Ⅵ〔家族〕(小畑和)	301
社会福祉援助技術各論ⅠA(北島英治)	301
社会福祉援助技術各論ⅠB(川廷宗之)	302
社会福祉援助技術各論ⅡA(川廷宗之)	303
社会福祉援助技術各論ⅡB(坂田周一)	304
社会保障論(長尾讓治)	304
保健福祉論(長尾讓治)	305
家庭福祉論(岩上真珠)	306
公的扶助論(伊藤秀一)	306
障害者福祉論(生川善雄)	307
老人福祉論(東條光雅)	308
児童福祉論(前期:山本真実)	309
(後期:許斐有)	
女性福祉論(林千代)	309
医療福祉論(春見静子)	310
地域福祉論(渡辺一城)	311
外書講読(東條光雅)	312
社会学(福祉)(橋爪敏)	312
心理学(福祉)(高橋良博)	313
社会病理学(休講)	
心理検査法(森山敏文)	313
医学一般(小林臻)	314
介護概論(児玉谷広子)	315



家 族 社 会 学	(岩 上 真 珠)	.....	316
法 社 会 学	(小 林 弘 人)	.....	317
行 政 法	(鷄 德 啓 登)	.....	317
環 境 心 理 学	(浅 井 正 昭)	.....	318
精 神 医 学	(井 出 惠)	.....	318
社 会 政 策	(光 岡 博 美)	.....	319
劳 働 法	(藤 本 茂)	.....	320
民 法	(竹 中 智 香)	.....	321
経 済 原 論	(浅 野 克 巳)	.....	321
社 会 福 祉 調 査 実 習	(東 條 光 雅)	.....	322
社 会 福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習 Ⅱ	(伊 藤 秀 一)	.....	322
社 会 福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習 Ⅱ	(前 期 : 長 尾 讓 治)	.....	323
	(後 期 : 許 斐 有)		
社 会 福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習 Ⅱ	(小 畑 和)	.....	323
社 会 福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習 Ⅱ	(長 尾 讓 治)	.....	324
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 Ⅰ	(北 島 英 治)	.....	324
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 Ⅰ	(讀 岐 真 佐 子)	.....	325
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 Ⅰ	(長 尾 讓 治)	.....	326
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 Ⅱ	(北 島 英 治)	.....	326
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 Ⅱ	(讀 岐 真 佐 子)	.....	327
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 Ⅱ	(長 尾 讓 治)	.....	327

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉原論	伊藤 秀一 <small>いとう しゅういち</small>	福祉1必	4

#### 講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、感化救済事業、社会事業などと呼ばれていたものが、時代とともに拡大し、組織的に発展して、今日では、社会を組み立てていくための不可欠の仕組み、すなわち「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日の時代なりの貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉がこのように変化してきた跡をたどり、なぜ、今日の社会福祉が現代社会の生活環境基盤として確立されねばならないのかについてのあらましを述べることに重点をおく。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、他の1年次配当の科目との関連を考慮しつつ、社会福祉についての基礎知識を整理するとともに、社会福祉の今日的な動向と課題についての理解を深めることを主なねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の意義
  - 1) 社会福祉の意味
  - 2) 社会福祉と関連する諸概念
  - 3) 社会福祉の対象と主体
  - 4) 社会福祉の補充性
- 2 社会福祉の歴史的発展
  - 1) 欧米における社会福祉の発展
  - 2) わが国における社会福祉の発展
- 3 社会福祉の組織と運営
  - 1) 社会福祉法制
  - 2) 社会福祉法制の体系
  - 3) 社会福祉事業の経営主体
  - 4) 福祉の措置
  - 5) 社会福祉の経費
- 4 社会福祉の分野
  - 1) 公的扶助（生活保護）
  - 2) 児童福祉
  - 3) 老人福祉
  - 4) 障害者福祉
- 5 社会福祉の方法
  - 1) ケースワーク
  - 2) グループワーク
  - 3) コミュニティワーク
- 6 社会福祉における人の問題
  - 1) 人の問題の重要性
  - 2) 社会福祉従事者の動向
  - 3) 職種の問題
  - 4) 社会福祉職員の専門職論
  - 5) ボランティアの問題
- 7 社会保障と社会福祉
  - 1) 社会政策と社会事業
  - 2) 社会保障と社会福祉

#### 成績評価の方法

評価は、前期末と年度末の2回の試験の総合評価とする。

#### 教科書

仲村優一著『社会福祉概論』（誠信書房）

#### 参考書等

講義の内容を上記のテキストのみでは十分にカバーすることができないので、講義の進行にあわせて必要な参考文献を紹介する。なお、本講の内容は極めて広い範囲にわたるので、この参考文献にもとづいて各自学習を深めることを求めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 学 ( 福 祉 )	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	福 祉 1 必	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

①憲法と社会福祉、②民法と社会福祉、③社会福祉の法、④社会福祉の組織、⑤社会福祉の財政、⑥社会福祉の争訟、⑦公的扶助の法、⑧児童福祉の法、⑨単身家庭福祉の法、⑩心身障害者福祉の法、⑪身体障害者福祉の法、⑫精神薄弱者福祉の法、⑬老人福祉の法

成績評価の方法

出席、年2～3回のレポート、期末テストなどを総合的に勘案して評価する。

教 科 書

小林弘人編著『高齢化社会における社会福祉の法』（創成社）3月末刊行予定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ソーシャルワーク・リサーチ論	きく ち かず のり 菊 地 和 則	福 祉 1 必	4

講義のねらい

大学で専門的な勉強をしていく上で論文や報告書を読むことは欠かせないが、その中にはソーシャルワーク・リサーチ（社会福祉調査）に関するものが数多くある。それらを理解するためには調査の専門用語や技法など基本的なことを理解している必要がある。この授業は社会福祉の勉強をする上で必要な、ソーシャルワーク・リサーチ（社会福祉調査）に関する基本的な知識を習得することを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容は、ソーシャルワーク・リサーチ（社会福祉調査）を初めて勉強することを前提として基本的な知識の習得を中心にするが、実際に行われている調査の紹介などを含めて、調査の意義や楽しさを理解できることを目的とする。

履修上の留意点

授業への出席を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、前期・後期の定期試験およびレポートによって行う。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 論	かる べ ゆき ひろ 軽 部 幸 浩	福 社 1 必	4

#### 講義のねらい

現在の情報化社会において人間とコンピュータとは、いっそう密接なかかわりを持ってきている。ここ数年の情報スーパーハイウェイ構想やマルチメディアの浸透により、大学における情報処理教育は、依然過渡期であるといえよう。それにともない本格的なカリキュラムの変更も検討されている。

本講義では大学生に必要な最低限度のコンピュータ・リテラシ、ネットワーク・エシックの獲得と理解を目的とする。具体的には、コンピュータを活用して実験レポート等が作成できる能力を養う。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することを推奨する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作と OS の基礎
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick)
- ・日本語ワードプロセッサの習得 (MS-Word)
- ・スプレッドシートの習得 (MS-Excel)
- ・データ解析への応用
- ・プレゼンテーション・ソフトを利用したプレゼンテーションの総合実習
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータネットワークとインターネットの現状
- ・電子メールおよび WWW の利用

#### 履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。

授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくとも年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回（1回平均約2時間程度）の実習が必要となる（昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである）。

また、Type Quick、MS-Word、MS-Excel の習得は、単位取得のための必須条件である。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とする。年度末におこなう筆記試験とあわせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

#### 教 科 書

年度始めの授業のときにあらためて説明する。

#### 参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術総論	たか はし しげ ひろ 高 橋 重 宏	福 祉 2 必	4

講義のねらい

社会福祉援助技術総論（ソーシャルワーク論）は、ソーシャルワーカーに必要な「福祉倫理」、「専門知識」、「専門技術」の基礎を学ぶことが中心となる。

具体的には、ソーシャルワークの基礎知識及び関連理論、歴史的展開過程、ソーシャルワーカーの専門性等についての入門的解説を中心に展開したい。また、コミュニケーションのスキルについても解説する。

さらに、臨床事例を用いながら、ソーシャルワーカーになるための基礎理解を深め、福祉倫理や専門対人援助関係の形成の実際についても論究したい。

成績評価の方法

成績は、①出席状況を基本に、②レポート、③年度末の定期試験を総合して評価する。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術総論』（中央法規）2,500円  
高橋重宏他編『ソーシャルワークを考える』（川島書店）1,700円

参 考 書 等

社会福祉実践理論学会編『社会福祉実践基本用語辞典』（川島書店）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	伊 藤 秀 一 <small>いとう しゅういち</small>	福祉 2 必	2

#### 講義のねらい

「福祉は人なり」と言われるように、いかに立派な制度を構築しても、またその制度のもとに目をみはるばかりの施設を建造したとしても、サービスを提供する人が有効適切に機能しなければ、その意味を保有することは不可能に近い。しかも、最近のわが国の社会福祉の状況をみると、その人の問題の重要性が格段に高くなつてきている。

本講は、こうした時代の要請ともいべき福祉の専門的マンパワーの養成を前提としつつ、2年次開講の必修科目として1年次配当の科目や2年次に平行して履修される科目との関連を考慮し、社会福祉の原理と実践をつなぐかけ橋としての重要な位置を占める。また、この講義の内容は、3年次での社会福祉援助技術現場実習Ⅱへの準備学習が中心となる。

したがって、社会福祉援助技術現場実習の意義を理解し、自己の実習分野を考え、かつ社会福祉実践の実態を把握することを目的とする。そのため、授業では、ビデオなどの視聴覚教材の活用、グループ学習、福祉現場の従事者による講演などを予定している。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 講義方針の説明
- 2 社会福祉援助技術現場実習の基礎知識
  - 1) 意義、目的
  - 2) カリキュラム上の位置、専門資格（社会福祉主事、社会福祉士）
  - 3) 実習先の説明（社会福祉現業機関・施設）
- 3 ビデオによる学習
  - ・ビデオ視聴を通じて、主につぎの事項についての理解を深める。
  - ①入所者のADL ②入所者相互の関係 ③入所者と職員との関係 ④施設内の環境
  - ⑤入所者に対する職員の援助

なお、授業では、ビデオの概要についての説明、視聴するポイントについての説明、ビデオの放映、ビデオを視聴しての感想発表、感想発表で示された意見の整理、レポート課題についての説明を行う。

- 4 グループ学習及び報告
  - 1) 福祉事務所、児童相談所、婦人相談所等
  - 2) 老人福祉施設（特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム）
  - 3) 児童福祉施設（養護施設、母子寮、肢体不自由児施設等）
  - 4) 障害者施設（精神薄弱者援護施設、身体障害者更生援護施設等）
- 5 福祉現場の従事者による講義

#### 成績評価の方法

レポート課題として、実習の意義、ビデオを視聴しての感想および疑問点、現場職員の講話を聞いての感想および疑問点などを予定している。

なお、評価の方法は、出席点とレポートを総合して行う。

#### 教科書

開講時に指示する。

#### 参考書等

随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉基礎演習	伊 藤 秀 一 い どう しゅう いち	福祉 2 必	4

講義のねらい

広く社会福祉全般にわたる基礎学習を中心に演習形式の授業を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前段部分では、共通のテキストを使用し、各人レジメを作成し、発表を行う。その後、グループ別の研究や発表を行い、ディスカッションを重ね深めていく。

成績評価の方法

出席状況・各人の研究発表内容、レポートなどによって評価する。

教科書・  
参考書等

授業開始時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉基礎演習	小 畑 和 お ぼた かず	福祉 2 必	4

講義のねらい

社会福祉専攻の学生が専門分野を学ぶ上で必要な基礎的事項について広く学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

演習の内容は教科書の内容に準拠して行うが、社会福祉全般に及ぶ。  
教科書の内容は、「現代社会と社会福祉、社会福祉の歴史、社会福祉法制と社会福祉の実施のしくみ、社会福祉施設の体系と施設運営、地域における福祉、社会福祉の狙い手、社会福祉援助技術、公的扶助、児童福祉、女性と家族の福祉、障害者福祉、高齢者福祉、社会福祉と社会保険、これからの社会福祉の課題」である。

履修上の留意点

講義の形態は演習であり、討論学習を主とする。演習が明るく、活発に行われるために初回講義で一定の約束をする。

成績評価の方法

出席状況・日常の課題に対する取り組みの状況・提出されたレポートの内容などに勘案して評価する。

教科書・  
参考書等

吉田宏岳監・編集『最新・社会福祉』（みらい発行）2,000円

そ の 他

日本社会福祉実践理論学会編『社会福祉基本用語辞典』（川島書店）2,400円をいつも携帯することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉基礎演習	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉 2 必	4

講義のねらい

この演習は、3・4年次に配置されている専門演習での研究の前段となる、社会福祉の入門的な基礎学習が内容である。演習であるから、履修学生の自主的・主体的な活動が中心となる。

3～4年次でのゼミ論や卒論をまとめる為のデータや情報の収集方法、それらの分析方法、発表の仕方などを実践的に学習してもらうことになる。

講義の内容・授業スケジュール

最初の数回は、研究の進め方とまとめ方について講義形式で授業を展開する。その後、研究関心のあり方によってクラスを4～5名の小グループに班分けし、班ごとにテーマを決定して研究活動を行う。冬季休暇中（12月）に合宿を行い、研究成果を発表してもらう予定。

履修上の留意点

基礎演習のクラスは事前にクラス分けが発表されるので、第一研究館5階の社会学科事務室前の掲示板で配属クラスを確認した上で間違わずに履修すること。

成績評価の方法

評価はグループ評価ではなく個人評価である為、授業中のディスカッションへの参加状況、グループでの研究活動の仕方、研究発表の内容・姿勢等を総合的に判断して評価する。

教科書

特になし。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉基礎演習	この み ゆう 許 斐 有	福祉 2 必	4

講義のねらい

社会福祉を学習・研究するために必要な研究方法、そして「ものの見方・考え方」を学ぶ機会としたい。

講義の内容・授業スケジュール

全員での文献講読、小グループでの研究・報告・討論、全体での討論などを組み合わせたいと考えている。

成績評価の方法

授業中の平常点（グループ報告を含む）と年度末のレポートを総合的に考慮する。

教科書

授業開始時に指示する。

参考書等

その都度紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 千代	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

教科書

特になし

参考書等

今岡 他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際社会福祉論	やまもと 山本真実	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

国際社会における福祉、社会福祉における国際化、「国際社会福祉」を捉える視点に定議はない。日本以外の国の生活を通して、社会福祉とは何かを考えること、また国際社会において発生する軋轢や衝突、問題等に対応し解決していくものとして社会福祉をどのように考えるかを考察していくことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

二つの柱を通して国際社会福祉の理解を深めていく。まず、一つは福祉先進国と言われる北欧の社会福祉制度・サービス、ベトナムやフィリピン等の途上国の社会福祉制度、生活等各国の実情を通して、日本の社会福祉の現状や考え方について振り返り、見直すこと。二つ目は、国際社会において発生する貧困、戦争、児童労働、異文化への理解等テーマごとにどのような取り組みがあるかを学習し、生活を支える社会福祉制度の在り方について考察する。

履修上の留意点

特に社会福祉の基礎がなくても構わない。

成績評価の方法

出席状況（カード）、レポート、試験の総合評価により評価する。

教科書

特になし

参考書等

適宜授業中に紹介

その他

ビデオ使用。  
適宜感想を記入するカードを配布。  
積極的な討議、意見発表を高く評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉計画論	かわ 川 たい 廷 もと 宗 ゆき 之	福祉2・3・4選必	4

#### 講義のねらい

問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面も強調されるように変化してきたことよって起きている近年の社会福祉サービスの領域の拡大は、そのサービス提供を組織的計画に行なわなければならない段階に到達しつつある。このような需要の増大に対応した行政計画の考え方は、建設領域や産業振興領域において戦後の長い蓄積がある。が、福祉領域においては、計画化の歴史は短い。その理由は、福祉には建設や産業振興とは違う要素が多く、計画的展開に馴染みにくかったことや、問題対応的な福祉サービスから抜けきれなかったためである。とすれば、福祉計画を考える時、これらの産業計画や建設計画と、福祉計画の性格がどのようにことなるのかが考察されなければならない。

さらに、計画は実際の市民生活に多大な影響を与える実践である。その意味では、計画をどう作るのか、その手法も大きな問題となる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

上記のような問題意識にもとづいて、福祉を中心のその計画（国家計画、地域計画、地域福祉計画、施設経営計画、市民生活の計画、等々）について学ぶが、その前提としては、福祉運営管理等についてもふれておく必要があるので、ソーシャル・アドミニストレーションの理論についての学習や、日本における施設の運営管理上の課題、などについても触れる予定である。

理論的内容を前期、実践的な計画技術についての考察や演習を後期に履修する。講義内容やスケジュールの詳細については、開講第1～2回の授業で説明する。なお、受講者数にもよるが、実際の計画立案技術の演習等をも行う予定であるので、それらの演習には、質問や意見の提案など積極的な関わりを期待している。

#### 履修上の留意点

この講義では、開講第1～2回で全体のスケジュール等を説明するので、必ず第1回から出席していただきたい。途中からの受講では事実上単位修得は難しいと理解してほしい。

社会計画はすぐれて実践的に学ばないと理解しがたい点も多い。そのため、授業ごとに資料を探したり読んで来る簡単な課題がだされることも多い。従って、欠席すると授業で何をしているのか理解できなくなる可能性が高いので、なるべく欠席しないように、又、実習等でやむを得ず欠席する場合は、受講する友人に内容を聞いておいてください。

なお、文学部社会学科福祉コースの学生以外の諸君が選択する場合は、この科目が社会福祉原論や社会福祉援助技術総論などで学ぶ福祉に関する基礎的な知識を前提として開講されている点を理解して、関係領域についての文献を読むなどの自己学習を並行して行っていただきたい。特に、社会福祉援助技術総論にでてくるソーシャルワークの基本的な考え方や、コミュニティ・オーガニゼーション理論などについては、必ず修得しておいていただきたい。

#### 成績評価の方法

日常的な課題の提出状況、授業への質問や、意見を積極的に出しているかどうか、などに見る授業への参加度、期末に行われるレポートの提出、出席状況（最低出席日数の確保）等を配慮して、評価する。

#### 教科書

教科書について、第1回日の授業時に指定する。

#### 参考書等

- ① 高田真治『社会福祉計画論』（誠信書房）1979年
- ② R. パールマン A. グリン著 岡村重夫 監訳『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』（全国社会福祉協議会）1980年
- ③ 全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』（全国社会福祉協議会）1984年

#### その他

計画の立案演習を行う過程で、若干の資料代やコピー代が必要になると予想される。出来るだけ負担を軽くするようにするが、一部の学習経費の自己負担は止むを得ないので、若干の教材費については予定して選択してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
リハビリテーション論	なる かわ よし お 生 川 善 雄	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

リハビリテーションとは、障害のある人が人間らしく生きる権利の回復、すなわち『全人的回復権』である、といえよう。

本講義においては、リハビリテーションの理念、医学・教育・職業の3領域のリハビリテーションについての概略、社会的リハビリテーションの基本問題の学習を通して、障害のある人が人間らしく生きる権利をどのように回復してゆくべきかについて考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、リハビリテーションの理念に触れる。次いで、医学、教育、職業、社会の4領域のリハビリテーションについての概説を行ない、それら4領域の関連性についても言及する。これら4領域のリハビリテーションのうちでも、社会的リハビリテーションは、障害者福祉との関連も深いといえるので、本講義においても主としてこれに多くの時間をあてる予定である。しかし、社会的リハビリテーションは、医学的リハビリテーションや職業的リハビリテーションに比べて、その考え方や技術の枠組みはいまひとつ確立されていないといえよう。そこで、社会的リハビリテーションについては、諸々の社会的リハビリテーションに関する研究を取り上げながら、検討していきたい。すなわち、障害者の社会活動への参加、障害者のQOLとADL、障害者をめぐる環境、障害者と家族、障害者の自立ならびに自立援助、地域に根ざしたリハビリテーション、施設リハビリテーション、社会的リハビリテーションの種々の方法などをとりあげながら、社会的リハビリテーションの基本問題を論じていきたい。

履修上の留意点

履修者は「人間らしく生きる権利の回復」という語句の意味を考えながら、学習を深めてほしい。

成績評価の方法

授業中の小課題に対する回答と、テストにより評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

- ・小島蓉子・奥野英子 編著 『新・社会リハビリテーション』（誠信書房）1994
- ・七田 敏 『リハビリテーションを考える』（青木書店）1983

その他

講義形式で進める。何回かビデオを使用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉学特講Ⅰ 〔児童〕	前期：長尾 謙治 後期：許斐 有	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

本特講を児童福祉論の特講と位置づけ、児童福祉（子ども家庭福祉）の基本的問題、とくに児童福祉分野における子どもの権利論をより掘り下げて考察する。知識を提供するのではなく、受講学生とともに「考える」という姿勢で取り組むので、受講学生にも主体的に授業に参加していただくことを期待している。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 取り上げる主なテーマは、以下のとおりである。
- 1) 子どもの権利条約の考え方と日本への影響
  - 2) カナダの子ども家庭サービスと子どもの権利
  - 3) 児童福祉施設に入所している子どもの権利擁護
  - 4) 子どもの権利擁護システム構築の課題
  - 5) 親権法制と子どもの権利擁護

履修上の留意点

すでに児童福祉論の履修を終えた学生の受講を原則とする。

成績評価の方法

学年末の試験および平常点（レポート等）の成績による

教科書

許斐有『子どもの権利と児童福祉法』（信山社）

参考書等

児童擁護研究会編『養護施設と子どもたち』（朱鷺書房）  
 中澤弘幸『常識福祉のウソ』（日本評論社）  
 津崎哲郎『子どもの虐待』（朱鷺書房）  
 明治学院大学立法研究会編『子どもの権利——子どもの権利条約を深めるために』（信山社ほか）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講Ⅱ 〔老人〕	こ だま や ひろ こ 児 玉 谷 広 子	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

高齢者の生活を具体的にとらえられるようになることを目指す。そして、高齢者の生活を支えるサービスネットワークの中で、福祉職が重視する価値観、援助について考察を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期…高齢者の特徴と生活、サービスについて理解を深める。

1. 高齢者の理解
2. 高齢者の生活と課題（健康、経済、就労、住宅、学習・社会参加等）
3. 在宅サービスを利用する高齢者の生活と課題
4. 施設サービスを利用する高齢者の生活と課題

後期…高齢者に対する接し方、援助のありかたを考察する。

5. 高齢者の家族の理解と援助
6. サービス利用者の選択、自己決定を尊重した援助について
4. サービス利用者の権利擁護を重視した援助について
8. 高齢者支援のネットワークの中での福祉職の関わり方

履修上の留意点

個人あるいはグループでテーマ毎に文献等により課題をまとめ、発表し、議論を深める積み重ねの過程を重視するので、出席、参加が望まれる。

成績評価の方法

出席数…20%  
 テーマ別レポート（個別、グループ）…50%  
 最終レポート…30%

教 科 書

特定のものは使用しないが、テーマ毎に資料を配布する。

参 考 書 等

テーマ毎に、講義中、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉学特講Ⅲ 〔障害児・者〕	あん 安 梅 勅 江	福祉2・3・4選必	4

## 講義のねらい

保健、医療、福祉の連携から統合へ、また市町村における保健福祉計画の策定等、地域における昨今の障害児・者対策は大きな転換期にある。本講では、障害児・者に対する保健、医療、福祉支援の体系及びその実状を把握する中から、障害児・者を含むサービスを必要とする対象者への支援のあり方につき学習することを目的とする。

 講義の内容・  
授業スケジュール

保健、医療、福祉にかかわる障害児・者関連施設機関における処遇の体系的整理と実態把握。

## 履修上の留意点

講義及びゼミ形式であり、可能な限り出席・参加できる者が望ましい。

## 成績評価の方法

ゼミ出席状況。  
レポート提出(数回)。

## 教科書

高山忠雄、安梅勅江他『保健福祉学』(川島書店)2,500円

## 参考書等

高山忠雄編『保健福祉のケア科学－看護、介護、福祉、医療サービスの向上に向けて－』(ベネッセコーポレーション)2,500円。

## そ の 他

講義及びゼミ形式。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉学特講Ⅳ 〔相談・援護〕	やま 山 本 真 実	福祉2・3・4選必	4

## 講義のねらい

地域における子どもと家庭への相談・援護の支援・サービスを軸に、地域における福祉サービスの体系、種類、方法等について学習する。子どもと家庭に対する相談・援護の支援は、昨今の社会問題や少子化等の動向に伴い、多様化且つ増加している。地域レベルにおいた時には福祉セクターのみならず、関係所管の連携や協力が必死になってくるが、「子ども」という特殊性故に他のサービスと同列で捉えることが難しい。自治体における実際のサービス提供システムを通して、対象の問題把握、また行政と民間との役割分担等について学習し、社会サービスとしての援護・相談ニーズについてのイメージを持つことを目的とする。

 講義の内容・  
授業スケジュール

前半は主に講義形式をとり、子どもと家庭に対するサービスの全体像、地域における行政サービスの全体像、子どもと家庭に発生する相談・援護のニーズ等について学習する。また、後半は児童育成計画(地方版エンゼルプラン)、地域福祉計画等行政の計画を通して、サービスの体系を学習した上で、実際に自治体の計画書等から特徴、課題の整理等を行うことにより、身近なレベルに近づけながら子どもと家庭への社会サービスの体系のイメージを持っていく。グループによる作業を行った成果を発表することを通して、プレゼンテーションの基礎についても学ぶ。

## 履修上の留意点

特に限定はないが、児童福祉論の講義を履修しているか、もしくは並行して履修している方が望ましい。

## 成績評価の方法

出席状況、授業への参加態度、レポートの総合評価により判定

## 教科書

特になし

## 参考書等

適宜授業中に紹介

## そ の 他

ビデオ使用。  
積極的な討議、作業への参加を高く評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講 V 〔保健・医療〕	ふな 船 みず 水 ひろ 浩 ゆき 行	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

わが国における社会保障、社会福祉は、いま大きな転換期を迎えているが、その中で、福祉と保健・医療との関係を巡っては、社会保障の給付構造という面からはバランスの転換の必要性が指摘され、サービス提供という面からは連携強化、統合化という考え方が必要不可欠のものとして認識されつつある。

本講の主題は、「なぜこうしたことが必要となってきたのか」を改めて考察することにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、主として前者の「社会保障の給付構造におけるバランスの転換の必要性がなぜ必要なのか」について、わが国における医療保障や医療制度に関する基本的理解を得た上で、現代の人口構造や疾病構造との関係での課題点、最近の政策動向を概観することにより考察する。

後期は、主として「福祉と医療・保健の連携強化、統合化がなぜ必要か」について、現代の貧困問題を起点に、その内実が示す個別の生活問題に対しては、生活保護による経済的保障とともに、いわゆる福祉5法のほか、保健、医療、さらには教育など、多様な資源の活用による対応が要請されているという現実の状況を、福祉事務所における精神障害者、アルコール依存者、薬物依存者等への実践活動等とおして概観することにより考察する。

成績評価の方法

随時課すレポート課題により実施します。詳細は、授業時に提示します。

教 科 書

保阪正康『日本の医療』（講談社文庫）1994年  
※上記のほか、文庫版又は新書版の文献を随時指定します。

参 考 書 等

随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉学特講Ⅵ 〔家族〕	お ぼた 小 畑 か ず 和	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

出生減退現象と言うのは社会に現れたひとつの表徴である。その社会現象は別の面から見れば、胎児の生命をどのように考えるかという生命倫理に関する側面を持っている。つまり、出生前診断による産み分けや世界的な人工妊娠中絶（abortion）の容認の傾向は、言い換えれば、ProlifeかProchoiceかの問題であり、また、この現象を家族の側面から論ずれば、親子関係が希薄化し、家庭の崩壊、家庭の教育力の低下や学校教育の崩壊の繋がり、社会的側面から見れば消費の停滞、人口の減少、経済の停滞と不安定、犯罪の増加、社会の崩壊に連動していくことの要因になっている。

講義では出生減退現象を通して生命倫理の問題、家族の変貌、社会保障制度などを取り扱うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

成熟社会では成長が頂点に達し社会が袋小路（blind alley）に突入する。一方、限界生活費は増大するために、家族を益々制限し少子化や核家族を促し、他方では老人問題を発生させている。また、人間関係は本質的關係よりは手段の關係になりシビア（severe）でドライ（dry）になる。個々人の間に緊張感を生じ孤立化するのは家族間でも同じである。

このような観点から以下のような項目で講義する。

- ① 経済社会のマクロ的な説明
- ② Prolife（胎児の生まれる権利）かProchoice（産む、産まないは女性の権利）か
- ③ 資本蓄積と出生減退の關係、出生減退原因の諸説の紹介
- ④ 家族の変貌（血縁、住居、経済的基盤などの家族の構成要素の変化）
- ⑤ 家族に関する福祉制度（医療、年金、生活保護、児童手当、児童扶養手当…）
- ⑥ 家庭裁判所制度（調停制度、特別養子縁組制度…）
- ⑦ 教育（学校教育、家庭教育、社会教育…）・就職（雇用制度、雇用保険制度、労働災害保険制度…）・結婚・離婚・育児制度・エンゼルプランなどの家族間諸問題

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

初回の講義で説明する。

教科書・参考書等

講義の中で必要に応じて紹介する。

その他

授業形態は講義形式であるが、ビデオやOHPが使用可能なら利用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅠA	きた しま えい じ 北 島 英 治	福祉1・2・3・4選	4

開講時に指示します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅠB	かわ 川 廷 宗 之	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

社会福祉援助技術の中で、直接援助技術に分類されている集団援助技術について学習する事が、この科目の目的である。かつて北米ではグループ・ワークとして発展してきたこの領域の援助技術は、小集団の心理学的な分析や、中でも特にグループ・ダイナミクスの理論的考察を踏まえ、一方実際の技術の中では、この援助技術がセツルメント活動の実践の中から生まれて来た事が示す様に、地域社会を始めとする様々な社会資源を生かして展開されるなど、一見、簡単にみえるが中々奥行き深い内容と技術をもっている。又、基礎としての人間関係の理解の仕方が、欧米と日本では異なる事の影響を強くうけているために、この技術は日本にはいまだに十分に理解され、定着しているとは言いがたい。しかし、日本の社会福祉の今後の国際的な課題や活動を考えるとき、このグループワークの理論を理解し、技術としても使える事は大変重要な事であろう。その意味で、この理論面を中心に前期、技術面を中心に後期、学んでいく事とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は理論面を中心に、①集団援助技術の意義・沿革・定義、②集団援助技術の構造（機関、援助者、メンバー、グループ、プログラム、等）、③集団援助技術の実践原則、④集団援助技術の展開過程、⑤集団援助技術の実際とその応用展開、⑥集団援助技術における記録とスーパービジョン等を学ぶ事にする。後期は技術面を中心に、①小集団観察技術、②援助技術項目チェックリスト作成技術、③小集団援助の概要計画作成技術、④メンバー選考決定技術、⑤地域資源の活用技術、⑥グループワークの全体プログラム作成技術、⑦毎回のグループワーク援助プログラム作成技術、⑧ソシオメトリー作成技術、⑨レクリエーション援助（ゲーム等の展開）技術等を、課題の作成を通して細かく学んでいく事にする。詳細の日程は第1回目の授業時に知らせる。

#### 履修上の留意点

この科目は、前述の様に前期後期とも、様々な課題をこなしながら技術を修得していく授業である。技術の修得は、課題をこなすことによる体験や、授業時間中の体験学習などで、行う。そのため欠席すると、課題の意義やその解き方が判らなくなって、何をやっているのか判らなくなりがちである。（課題はただこなせば良いと言うことではなく、その課題をする意義を理解して取り組む事で、技術の修得につながっていく事は言うまでもない。）従って、欠席は極力避ける事。又、実習等止むを得ぬ欠席も予想して、ノートや授業の情報を交換したり、配付物を代わりに受け取って貰える人を予め決めておく事が望ましい。又、以上の様な点についての詳細は、第1回目の授業で説明するので、第1回めの授業は必ず出席してほしい。

#### 成績評価の方法

成績評価の方法は、次の三つの観点から評価する。第一は、基礎知識や理論が修得されているか、第二に技術が修得されているか、第三にこの様にして修得した知識や技術を実際の場面で活用できると（担当教員が）予想できるか。以上の様な観点について、提出された課題の内容や、学年末に行う簡単なテストや、毎回の授業中にしばしば行われる意見発表やレポート報告の内容とそれに対する関わり方等を、個々に評価してその合算として総合的に評価する。課題の提出状況や学年末のテストの結果如何では、再履修を指示する事もある。（過去、毎年数人が再履修になっている。）

#### 教科書

川田誉音編『グループワークー社会的意義と実践』（海声社）  
川廷宗之著『社会福祉援助技術・演習用ワークブック』（川島書店）

#### 参考書等

大塚達雄他編著『グループ・ワーク論』（ミネルヴァ書房）  
福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術各論Ⅰ』（中央法規出版）  
その他、授業中に適宜指示する。

#### その他

授業中の演習のため、1～2回の授業は（実習で指定される程度に）服装等を指定する事があるので、予め了解しておいて下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅡA	かわ 川 廷 宗 之 <small>がわ てい もと ゆき</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉援助技術の中で、間接援助技術に分類されている地域援助技術(コミュニティワーク)及び社会福祉運営管理と社会福祉計画技術について学習する事が、この科目の目的である。これらの技術は、欧米に於いてそれぞれの歴史的地域的な背景のもとに、ケースワークやグループワークなどの社会福祉援助の他の技術と密接に絡まりながら、発展してきた。その意味で、この技術は、チャリティ・オーガニゼーション・ソサイエティ(COS)運動と、セツルメント運動の二つの活動に源流をもつ、コミュニティ・オーガニゼーションと呼ばれていたのである。日本では近年コミュニティ・ワークと呼ばれる事が多い。その背景には、社会福祉サービスのあり方やその供給の方法をめぐっての、政治経済的な状況を踏まえつつ、社会学的な、又、近年では特に生態学的な観点からの考察を踏まえた技術の発展がある。この技術は『社会福祉協議会』の専門領域の様に日本では考えられる傾向があるが、もっと市民レベル住民レベルでの一つの地域社会における問題の解決技術とも言うべき技術である。特に、近年の日本における近隣コミュニティの崩壊現象が進む中で、日本ではいまだに十分に理解され定着しているとは言いがたいこの技術を活用しての、地域コミュニティの復権は、地域生活のアメニティを確保する意味でも、重要な課題となりつつあると言えよう。特に、日本の社会福祉の今後の国際的な課題や活動を考えるとき、この理論を理解し、技術としても使える事は大変重要な事であろう。その意味で、この理論面を中心に前期、技術面を中心に後期、学んでいく事とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は理論面を中心に、①地域援助技術の意義・沿革・定義、②地域の組織化と福祉の組織化、③地域援助活動の基本的性格、④コミュニティ・ワーカー、⑤地域援助の具体的展開、⑥地域援助技術の内容、⑦社会福祉の運営管理、⑧社会福祉の計画技術、等を学ぶ事にする。後期は、技術面を中心に、①地域課題の発見方法としてのインタビュー技術、②数値化されないデータの集約技術、③統計からの問題発見(予測)技術、④地域診断技術、⑤地域問題の構造分析と解決効果予測技術、⑥地域問題解決のための地域資源確認発見技術、⑦地域問題解決のための計画技術、⑧地域集団運営のための予算決算技術、⑨地域援助のための広報技術、等を、課題の作成を通して細かく学んでいく事にする。詳細の日程は第1回目の授業時に知らせる。

履修上の留意点

この科目は、前述の様に前期後期とも、様々な課題をこなしながら技術を修得していく授業である。技術の修得は、課題をこなすことによる体験や、授業時間中の体験学習などで、行う。そのため欠席すると、課題の意義やその解き方が判らなくなると、何をやっているのか判らなくなりがちである。(課題はただこなせば良いと言うことではなく、その課題をする意義を理解して取り組む事で、技術の修得につながっていく事は言うまでもない。)従って、欠席は極力避ける事。又、実習等止むを得ぬ欠席も予想して、ノートや授業の情報を交換したり、配付物を代わりに受け取って貰える人を予め決めておく事が望ましい。又、以上の様な点についての詳細は、第1回目の授業で説明するので、第1回めの授業は必ず出席してほしい。

成績評価の方法

成績評価の方法は、次の三つの観点から評価する。第一は、基礎知識や理論が修得されているか、第二に技術が修得されているか、第三にこの様にして修得した知識や技術を実際の場面で活用できると(担当教員が)予想できるか。以上の様な観点について、提出された課題の内容や、学年末に行う簡単なテストや、毎回の授業中にしばしば行われる意見発表やレポート報告の内容とそれに対する関わり方等を、個々に評価してその合算として総合的に評価する。課題の提出状況や学年末のテストの結果如何では、再履修を指示する事もある。(過去、毎年数人が再履修になっている。)

教科書

高田真治・他・著『コミュニティ・ワーカー地域福祉の理論と方法』(海声社)  
川廷宗之著『社会福祉援助技術・演習用ワークブック』(川島書店)

参考書等

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術各論Ⅱ』(中央法規出版)  
高田真治・著『地域福祉計画論』(誠信書房)  
その他、授業中に適宜指示する。

その他

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅡB	さか 坂 田 周 一 た しゅう いち	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉の間接援助技術のうち地域援助技術以外の部分を解説するものである。すなわち、組織への働きかけとしての社会福祉運営管理、援助の合理的実践としての計画と評価、援助の科学的実践のための社会福祉調査法がその対象となる範囲である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 社会福祉組織論（前期）
  2. 社会福祉計画論（前期）
  3. 社会福祉調査論（後期）
- に大きく分けて、組織論5回、計画論7回、調査論12回の割り当てにより行う。

成績評価の方法

出席20%、小テスト20%、学年末テスト60%の割合で総合評価を行う。

教 科 書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 保 障 論	なが お じょう し 長 尾 譲 治	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであろうか。社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、わが国における社会保障制度の現状と課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

- |   |                 |              |
|---|-----------------|--------------|
| 1 現代社会における生活問題                                  | 2 社会保障の史的展開     | 3 社会保障の理念    |
| 4 社会保障の概念、範囲、規模                                 | 5 社会保障の財政       | 6 社会保障の機能    |
| 7 社会保障の問題点と今後の課題                                | 8 わが国の社会保障制度の体系 |              |
| 9 わが国の社会保障各制度の沿革と概要                             |                 |              |
| 1) 年金保険 2) 医療保険 3) 労災保険 4) 雇用保険 5) 公的扶助 6) 児童手当 |                 |              |
| 7) その他  |                 |              |
| 10 民間保険の役割                                      | 11 社会保障の実施体制    | 12 社会保障研究の動向 |

成績評価の方法

年度末試験に出席点を加味して評価する。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編集『改訂社会福祉士養成講座5 社会保障論』（中央法規）

参 考 書 等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）  
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
保健福祉論	なが お じょう じ 長 尾 謙 治	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

保健福祉学とは、保健学・福祉学、及び関連諸科学を統合し、これまでのように為政者の都合によるサービス提供に代わって、利用者の立場に立ったサービスのあり方を考える新しい社会福祉の分野である。本講義では、保健福祉学の視座に基づいて、従来の社会福祉諸サービスを再構成し、これからの生活関連諸サービスの動向と課題について考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 保健福祉とは  
保健福祉の歴史／保健福祉学の視座
- 2 日本のヘルスケア制度の体系  
健康保険／国民健康保険／老人保健／福祉医療／クライアントの人権とこれからのヘルスケア
- 3 ライフサイクルと保健福祉  
児童／成人／老人／ターミナル・ケア／女性と保健福祉
- 4 傷病別に見た保健福祉  
身体障害／知的障害／精神障害／難病・結核／ハンセン病／AIDS
- 5 リハビリテーションと保健福祉  
リハビリテーションの理念と実際／福祉機器・用具サービス
- 6 保健福祉の国際的動向  
先進諸国／開発途上国／日本
- 7 保健福祉の課題  
保健福祉計画／規制と情報公開／バイオエシックスとインフォームド・コンセント

成績評価の方法

年度末試験に出席点を加味して評価する。

参考書等

追って紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
家庭福祉論	いわ 岩 上 真 珠	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

個人と家庭のウェルビーイングはいかにして達成されるのか。講義では、親と子のウェルビーイングと家庭福祉の問題を、男女平等社会の役割分担のあり方や家族の多様化をふまえて考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。

- 1) 「ウェルビーイング」の考え方
- 2) 家庭の機能とは何か
- 3) 少子化・高齢化と家庭機能の変化
- 4) 個人化社会と家庭福祉
- 5) 男女平等社会と子育てサポート
- 6) 家族の多様化と子どもの福祉

履修上の留意点

問題意識をもって聴講してもらいたい。また随時意見や感想をレポートしてもらおう予定である。

成績評価の方法

小レポート、期末試験、および平常点（出席状況を含む）で評価する。

教科書

特に指定しない

参考書等

講義中、適宜指示する

その他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
公的扶助論	い とう しょう いち 伊 藤 秀 一	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。

講義内容としては、上述した問題意義のもとに、以下の項目について講じていく予定である。併せてイギリスの福祉権運動（Welfare rights work）の動向等にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代社会と公的扶助
2. 低所得問題対策の概要
3. 生活保護制度のしくみ
4. 生活保護の最近の動向
5. 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方

成績評価の方法

出席状況、小テスト、学年末定期試験を総合して評価する。

教科書

テキスト等については開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
障害者福祉論	なる かわ よし お 生 川 善 雄	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、①障害のある人々の障害状況を可能なかぎり軽減し、障害のない人々と同様の生活条件を享受できるようにすること、②障害があるが故に入学しにくい、就職しにくい、などの社会常識の根底に潜む障害者観の歪み（差別や偏見など）を変革すること、の2つの面が課題となってくる、ともいえよう。

今日のわが国の障害者福祉は、行政努力、当事者運動、国民の人権意識などを繁榮して、さらには、国際障害者年や各種の国際会議などの影響もあり、制度的にも実践的にもかなり発展してきている。

本講義においては、上記のことをふまえ、障害問題、障害者に関する諸研究を整理し、大きく変化しつつある今日の福祉状況を見つめながら、障害者福祉の課題について検討していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

内容としては、障害者福祉の基底に流れる理念、障害者の自立、障害の概念、障害者の実態と福祉ニーズ、身体障害者、知的障害者、精神障害者に対する福祉施策・制度、保健・医療・雇用、所得保障などの障害者福祉の関連施策、障害者福祉における民間活動、障害者福祉にたずさわる専門職・ボランティア、障害者の家族支援、障害者に対する相談援助活動などについて言及する。

履修上の留意点

履修者は、障害者福祉の課題を念頭に置きながら、学習を深めてほしい。

成績評価の方法

授業中の小課題に対する回答と、テストにより評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

- ・星野貞一郎 他編『障害者福祉論入門 改訂版』（有斐閣双書）1982
- ・福祉士養成講座編集委員会 編『障害者福祉論』（中央法規）1996

その他

講義形式で進める。何回かビデオを使用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
老人福祉論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入決定等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、近未来の21世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その21世紀に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 ⇒ 人口高齢化の意味と状況  
わが国における高齢者の生活実態及び高齢者像  
老年期の心身の状況、etc.
- 後期 ⇒ わが国における高齢者対策の歴史  
老人福祉対策・サービスの現状および課題  
今後の高齢化社会にむけて、etc.

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないのも、そのつもりで履修すること。

成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

教科書

冷水豊編『老人福祉論』（メヂカルフレンド社）  
冷水豊編『老人福祉－政策・処遇の視点と方法－（第三版）』（海声社）2,000円

参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 福 祉 論	前期：山 <sup>やま</sup> 本 <sup>もと</sup> 真 <sup>ま</sup> 後期：許 <sup>この</sup> 斐 <sup>み</sup>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、「児童福祉」を《社会的子育てシステム》と捉え、現行の児童福祉の法制度を検討しながら、子どもを養育する社会の責任および公的責任、子育てに対する公的・社会的支援・援助のあり方を考察する（子ども家庭福祉論）。また、児童福祉法の成立・展開過程や子どもの権利条約等の検討を通して、子どもの権利の基本的な考え方および児童福祉法の基本理念を学び、《子どもの権利擁護システム》としての児童福祉法制度について理解を深める。なお、これらの参考として、カナダの子ども家庭サービスについても言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 子どもの現状と子どもの人権
- 2) 子ども家庭政策の展開と最近の動向
- 3) 子どもの権利の考え方
- 4) 児童福祉法の理念
- 5) 子ども家庭福祉に関する法制度
- 6) 子ども家庭福祉サービスの現状と課題
- 7) 児童虐待の実態と相談援助の実際
- 8) カナダの子ども家庭サービス

履修上の留意点

受講学生には、児童福祉を知識として学ぶだけではなく、子どもが権利の主体であるという新たな理念を正しく理解し、子どもと家族に対する支援・援助のあり方を自分なりに考えることを期待している。

成績評価の方法

主として学年末の試験によるが、レポート等の成績を加味することもある。

教 科 書

許斐有『子どもの権利と児童福祉法』信山社  
『社会福祉小六法』（出版社は問わない）

参 考 書 等

永井憲一・寺脇隆夫編（許斐共著）『解説・子どもの権利条約』日本評論社  
ささやななえ『凍りついた瞳——子ども虐待ドキュメンタリー』（椎名篤子原作）集英社ほか

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 福 祉 論	はやし ちよ 林 千代	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

戦後のある時期“婦人福祉”という概念が登場した。以来、唯一、女性を対象としている社会福祉事業は、売春防止法に基づいて制度化されている婦人保護事業である。しかし、女性という特性ゆえに遭遇する生活上の困難は多様であり、何らかの解決策を必要としている。

女性福祉という概念はまだまだ成熟しているとはいえないが、売買春問題を基底に据えて、婦人保護事業の現実から女性の福祉阻害の実態をとらえ、女性の権利回復の検討を課題としたい。それは、当然、男性の人権侵害を問い考えることになる。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

林 千代編『恋愛寮に生きた女性たち』（東京創文社）  
林 千代編『現代の女性と売買春』（ドメス出版）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 療 福 祉 論	はる み しず こ 春 見 静 子	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

保健・医療の領域における専門職としての医療福祉職の実践について理解する。  
医療ソーシャルワークがどのような学問を基礎とし、どのようなフィールドで、いかなる援助技術を用いてなされるかを学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 教科書に沿って
- 1 社会福祉とソーシャルワーク
  - 2 医療・保健機関におけるソーシャルワークの特徴
  - 3 医療について 健康の概念、病気の概念  
医療機関の組織と医療従事者のチームワーク  
疾病分類  
疾病に関する知識
  - 4 医療ソーシャルワーカーの役割 MSWの歴史、ワーカーの課題  
総合病院のソーシャルワーカー、精神科領域、老人病院、  
援助手段としての社会資源
  - 5 医療ソーシャルワークの実際  
援助技術の方法（ケースワーク、グループワーク）、面接  
の方法、外来段階の援助、入院段階の援助

履修上の留意点

時々小グループで討議することがあるので、積極的に参加して欲しい。希望する人には医療機関の実習を紹介する。

成績評価の方法

出席点と期末試験の点数で評価する。

教 科 書

山川哲也『臨床医療ソーシャルワーク』（誠信書房）2,500円

そ の 他

毎年、医療機関の見学の機会を設けている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地域福祉論	わた なべ かず くに 渡 辺 一 城	福祉1・2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

我が国の社会福祉の流れはいま正に大きな転換期にある。80年代後半から今日にかけて議論されてきた制度改革におけるキーワードはいうまでもなく「地域福祉」であり、これが社会福祉を進めていく上での基本的な考え方となっている。従って、地域福祉は、社会福祉の一分野ないしは方法というより、それらを総合化した社会福祉の現代的形態として理解される必要がある。それは限りなく地域における住民の現実の生活に着目した、かつ新しい福祉を切り開く視点を内包した領域であるといえることができる。

本講義では、こうした前提を踏まえ、これから社会福祉に関わる上で必要な地域福祉の視点や課題を学ぶことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容は主として次の事項を扱う。

- ・地域福祉の理念や概念、内容
- ・地域福祉の歴史的展開
- ・在宅福祉サービスのあり方と供給方法
- ・地域福祉の主体形成と福祉教育
- ・ボランティア活動やNPO活動とその支援
- ・地域福祉を推進する機関と組織（社会福祉協議会、ボランティアセンター、共同募金会のあり方や、関係機関や仲介調整組織との関係など）
- ・地域福祉を支えるコミュニティワーカーの役割
- ・小地域におけるインフォーマルネットワークのあり方
- ・地域福祉計画の策定とコミュニティワークの展開

成績評価の方法

出席、テストなどにより評価を行う。

教科書

大橋謙策著『地域福祉論』（放送大学教育振興会）

参考書等

大橋謙策・宮城考編『社会福祉構造改革と地域福祉の実践』（東洋堂企画出版社）  
牧里毎治・野口定久・河合克義編『地域福祉』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外 書 講 読	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉1・2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

社会福祉に関する英語の外国文献あるいは学术论文を講読してゆく予定である。訳すということとは目的ではなく手段であり、そこに書かれている内容を吟味してゆくことが目的である。進め方としては、授業当初に履修学生に担当箇所の割り当てを行い、以降順次報告してもらうことになる。

履修上の留意点

英語の授業ではないので、基本的な英文和訳能力は必要であろう。積極的に授業に臨んでもらいたい。なお、出来れば英和大辞典を所持することが望ましい。

成績評価の方法

毎回の報告内容やそれに対する討議内容などを総合して行う。また、前期と後期の終わりに、英文和訳の小テストを考えている。

教 科 書

履修学生が決定した時点で、学生の意向も考慮しながら決定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学(福祉)	はし づめ さとし 橋 爪 敏	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、社会福祉士ならびに社会福祉主事を目指す学生に「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この「社会学(福祉)」の授業は社会福祉士、社会福祉主事の資格取得に関わるものである。しかし、こうした資格に関わる受験対策そのものをねらいとするものではない。また、「福祉社会学」を論ずるものでもない。あくまでも、「社会学」の基礎知識の習得がねらいである。したがって、社会学の歴史、社会集団の類型、現代社会の諸問題などを取り上げることとする。

履修上の留意点

この授業は、すでに社会学についての若干の予備知識のあるものと、まったくの初心者も受講すると言う、変則的なところがあるが、初心者に判り易く語ることを主にしていきたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座12/社会学』(中央法規出版)

参 考 書 等

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)  
安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』(学文社)  
高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房)  
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』(講談社学術文庫)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学(福祉)	たが はし よし ひろ 高 橋 良 博	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉の現場で、必要とされる「心理学」の基礎的な知識を、習得することを目的とする、講義である。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、まず、心理学的なものの見方を身につけ、次に、社会福祉に関連するトピックスをとり上げてゆく。具体的には、以下の項目について、1年間を通し重点的にふれてゆく。①心理学の歴史と現状に対する理解 ②人間の心理学的理解に関する基礎概念 ③人間の成長・発達 of 心理と諸問題 ④心理学的な人間理解に基づく援助技術  
また、心理学研究の雰囲気にもふれるため、適宜、供覧実験や人格テストの体験なども折込ながら講義を進めてゆく予定である。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを総合して評価を行う。

教科書

福祉士養成講座編集委員会 編集『改訂 社会福祉士養成講座 11 心理学』(中央法規) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理検査法	もり やま とし ふみ 森 山 敏 文	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

昨今、特殊(養護)教育・学校教育の領域、矯正教育の現場、精神神経科・心療内科を始めとした医療の領域、さらに、産業関係の領域などにおいて、各々その目的は異なるものの、様々な心理アセスメント・心理テストが行われています。その多くが、何らかの身・心障害や不適応状態への専門的な援助やケアを、より効果的効率的に行うためのものであるとともに、それらの障害や不適応の状態像・内容・メカニズム・程度を、より客観的な視点からアセスメント・評価・測定することによって、その個人の身・心両面の全体的全人的な理解の助けになるものといつてよいでしょう。

つまり、よりよい援助には、より確かなしかも客観的なアセスメントが不可欠であるということです。ここでは、“悩める現代人”にとっての初歩的で教養的なパーソナリティー・アセスメントについて学んで頂くこと、さらにアセスメントに関連する臨床的な知識、基本的な考え方を学ぶことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

一年を通して、心理テスト・アセスメントの理論や技法、パーソナリティー理解のための考え方について学んでいくことになります。

履修上の留意点

将来、専門的な仕事——養護教員、精神保健福祉士やワーカーなどの社会福祉援助技術者を始めに、カウンセラー、臨床心理士——を希望・願望している学生は勿論、教養として身につけたい学生も受講を歓迎します。

成績評価の方法

平常点による評価。発表・討論・報告書の内容・受講態度を中心に、出席率を参考。

教科書

必要に応じて紹介したいと思います。

参考書等

必要に応じて紹介したいと思います。

その他

講義・実習・グループディスカッション・報告書作成等を通じて、心理的なアセスメントの原則について学んで頂きたいと考えてます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 学 一 般	こ ばやし いたる 小 林 臻	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

健常者、病弱者および高齢者に対する医学・保健学の基本的な知識を体得し、ひいては社会福祉士を目指す者にも役立つ内容とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

人体の構造と機能、現代社会と疾病、老化と身体的変化、精神保健、リハビリテーション、公衆衛生、保健医療対策、医療行政、医事法制等について、講義の予定。

履修上の留意点

出席はきわめて重視する。緊急の場合を除き、欠席については連絡をすること。

成績評価の方法

筆記試験、課題提出、授業姿勢、出席状況、自己表現の良否、などから総合判断して評価する。

教 科 書

『医学一般』（中央法規）2,500円

参 考 書 等

講義開始時に連絡する。

そ の 他

一方通行の講義でなく、学生諸君と時間を共有する姿勢で、討論や質疑を中心にすすめてゆく予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
介護概論	こだま や ひろ こ 児 玉 谷 広 子	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

心身の障害を持つ人への生活援助、特に高齢化の進む今日の社会において介護に関しては共通の社会的関心事であり、介護の必要な人やその家族を社会的に支える制度や周囲の人々の意識の向上が問われる。介護福祉とは、障害を持つ人が、その人らしさを尊重され、心身の自立をめざし心身の安定を保ち社会との関係を保ちながら、生活の質の向上を達成できるように支える科学的なあり方と方法である。本講義では、ソーシャルワーカーとして、介護の必要な対象者に対して、どのような価値観と知識、技術を持って関わっていくかを学ぶ。また、介護サービスの実情や介護政策の動向について理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ・高齢者と介護福祉の背景、問題点
- ・障害者（児）と介護福祉の背景、問題点
- ・家族と介護、介護の社会化
- ・介護福祉の概念
- ・制度的発展、公的介護保険制度
- ・介護福祉の原則、倫理
- ・介護福祉の目的、機能、役割
- ・要介護者と介護サービス提供者との援助関係
- ・介護技術の基本
- ・様々な障害に応じた介護技術（日常生活動作の介護、生活習慣に関する介護、ターミナルケア等）
- ・介護の技法（安全・安楽の方法、観察、コミュニケーション、記録、等）
- ・他職種、他機関との連携
- ・施設介護の活動、在宅介護の活動
- ・介護者の健康管理、労働安全
- ・ケアマネジメント、ケアプラン

随時、小レポートやグループディスカッション、ロールプレイ、事例研究、ビデオ学習、質疑を取り入れ、主体的な講義内容理解を促す。また、社会福祉士国家試験対策についても適宜伝える。

#### 成績評価の方法

- 出席日数…15%
- 授業参加度・理解度（提出物等）…15%
- 夏休みの課題…30%
- 学期末テスト…40%

#### 教科書

岡本民夫・久恒マサ子・奥田いさよ編『社会福祉士・介護福祉士養成テキスト 介護概論——理論と実践のためのミニマム・エッセンシャルズ』（川島書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家 族 社 会 学	いわ 岩 かみ 上 ま 真 み 珠	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

家族はこれまで、主要で基礎的な社会集団だといわれてきた。しかし今日、未婚化、少子化、女性の就労、長寿化とライフサイクルの変化といった社会現象の諸変化にともなって、結婚の意味、子育ておよび子どもの教育、親子関係や夫婦関係のあり方、老後生活の送り方などをめぐって、あらためて「家族」が問われている。

講義では、かつての概念や定義が大きく揺れている「家族」の現状をあきらかにし、家族とは何かを一緒に考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。

- 1) 家族と文化－多様な社会・多様な家族
- 2) 産業化と家族－近代家族の出現
- 3) 日本の家族－いえ制度とその後
- 4) 結婚と家族
- 5) 家族のライフサイクル
- 6) ジェンダーと家族
- 7) 家族の脱制度化

履修上の留意点

柔軟な発想で聴講してもらいたい。また随時意見や感想をレポートしてもらおう予定である。

成績評価の方法

中間と期末の2回の定期試験および平常点で評価する。

教 科 書

講義のはじめに指示する。

参 考 書 等

講義中、適宜指示する。

そ の 他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 社 会 学	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい 法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・授業スケジュール 日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する(例えば、モンテスキュー、イエーリング、マックス・ウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である)。

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点 とくになし。資料はかなり配布するが、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法 レポートと期末テストを勘案して行う。

教科書 及川伸著『法社会学講義』(法律文化社) 2,781円

参考書等 講義初日に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行 政 法	けい とく ひろ とう 鷄 徳 啓 登	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい 現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国内的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール i 行政とは何か ii 行政の原則 iii 行政法の意義と解釈 iv 行政作用の分類と内容・効力 v 行政行為の瑕疵と効力 vi 行政手続 vii 行政上の強制の方法と制裁 viii 国家による賠償と補償 ix 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法 成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書 林修三著『行政法』(第一法規出版株式会社) 1,800円  
『小六法』 出版社・定価各種

参考書等 原田尚彦著『行政法要論』(学陽書房) 3,000円  
塩野 宏著『行政法 I・II』(有斐閣) 4,000円



科目名	担当者名	配当学科	単位
環境心理学	あさ 浅井 まさ 正 あき 昭	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

環境計画系諸科学（都市計画学・建築学・ランドスケープアーキテクチャー・インテリアデザインなど）および行動科学系諸科学（心理学・社会学・文化人類学など）を統合する学術的研究領域として近年注目を集める環境－行動研究について特に心理学サイドから展望する。

講義の内容・授業スケジュール

最初に学際的科学として成立した環境心理学誕生の時代的背景を解説する。  
 次に環境汚染、アメリカにおけるゲットウ出現による都市の荒廃化に触れ、現代の環境心理学に重要な影響を与えた4人のパイオニアとその学説を概観する①MIT グループダイナミックス研究所 Lewin, K に学び、カンサス大学へ移行した Barker, R および Wright, H 5 と生態学的心理学、②環境を空間内位置から捉えた文化人類学者Hall, Eとその著作「沈黙の言語」、「かくれた次元」で明かにされた接近学（Proxemics）的アプローチ Sommer, Rによって発展された個人空間。③「都市のイメージ」によって建築学界に衝撃を与えたLynch, Kの認知地図による都市空間表象の分析的研究法。④同じく建築学者Alexander, Cによるパターン言語に基づく市街地・建築物の記述技法などを講述する。そして1960年代に始まる5つの代表的環境心理学研究センター開設の社会的背景を探求し、生態学的心理学の基礎概念 Behavior Settingが現在の環境心理学を方向づける環境と人間行動間の Transaction 研究と展開された道程を講述する。併わせて POE 景観測定法・認知地図・環境シミュレーターなど環境心理学研究技法を紹介する。

履修上の留意点

実験心理学の基礎知識および学際的アプローチに対する関心

成績評価の方法

学期末における論文体筆記試験

教科書

使用しない。

参考書等

プロシャンスキー・イッテルソン・リプトン『環境心理学』全六巻（誠信書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
精神医学	い 井 て めぐみ 恵	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

精神医学（psychiatry）とは医学のうち、とくに精神面を直接の対象とする分野である。その知識は、心理・福祉・教育など、広い分野において有益なものである。さらにそうした職業を考える者や、人間の内界に興味を持つ学生もにとっても、基礎的な精神医学的考え方を身に付けておくことが役立つと思われる。

本講義では、精神分裂病、躁うつ病、神経症など精神医学において中心となる疾患だけでなく、最近注目されている人格障害（境界型人格障害、自己愛性人格障害など）や、回避・引きこもりなどの社会的行動の諸問題についても言及する。授業ではなるべく具体的な症例を挙げて各病態の理解を深めるよう努める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 原因と症状と診断名
- 2 主に心因によるもの  
心身症、神経症、その他
- 3 主に内因によるもの  
感情障害（躁うつ病、精神分裂病）
- 4 主に器質因によるもの  
痴呆、アルコール関連障害など
- 5 性格のかたより（人格障害）

成績評価の方法

レポートによる

参考書等

山下格 新版『精神医学ハンドブック』（日本評論社）2300円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ 光 おか 岡 ほく 博 み 美	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学の中なかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦前の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上に述べた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うかあるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。

教 科 書

特にないが、講義の内容と関連して適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行に見直しがなされています。現在は、激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

労働組合を中心に扱う集团的労働関係法領域では、労働条件決定に組合の及ぼす影響は、一見地味ではありますが、無視できません。

また、この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の改正なども見られます。

解釈においては、何が、変わるのかまた、このような中にあっても変わるべきでないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。

(2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応のアウトラインを述べるに止めます。

- ① 労働法の基礎的考え方
- ② 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- ③ 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- ④ 雇用における平等－同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント、
- ⑤ 労働条件を決定しているもの－就業規則、労働契約、労働協約
- ⑥ 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為、
- ⑦ 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間、
- ⑧ 人事異動－配転、出向、転籍、
- ⑨ 雇用の出口－解雇、定年、退職、
- ⑩ 賃金、諸手当、退職金、
- ⑪ 労働時間、時間外労働、
- ⑫ 休憩、休日、休暇、
- ⑬ 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

成績評価の方法

成績は、出席を加味することはありますが、学年末試験がメインです。

教科書

教科書は、指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版〕』（有斐閣双書）1,648円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経 済 原 論	あさ の かつ み 浅 野 克 巳	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他国家試験）の受験対策として必要に応じ問題練習も行うので、下記の問題集も用意されたい。

- I マクロ経済学の理論
  - 1. 経済循環と国民所得の概念
  - 2. 国民所得と決定
  - 3. 経済の変動と成長
  - 4. 賃金・物価・インフレーション
- II ミクロ経済学の理論
  - 1. 消費者行動の理論
  - 2. 企業行動の理論
  - 3. 市場と価格決定
  - 4. 市場と企業
- III 公共政策
- IV 国際経済学

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス改訂版』（成蹊堂）1995年

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）1996年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉調査実習	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉 2 選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

この授業では、学生自身が実際に調査を行ってみることが要求される。自分の関心・興味に基づく調査を企画・設計し、作業仮説を検証出来るような調査票を作成し、実査を行い、パソコンを使って集計し、最終的に結果を報告書の形式でレポートにまとめ上げるという、社会調査の一連の手続きを体得することが目的である。履修学生の数にもよるが、基本的には5～6名を単位とする班を構成してもらい、班ごとの作業を進めてゆく。ただし、報告書は個人ごとに提出してもらう。なお、調査内容としては、「社会福祉調査実習」であるので、社会福祉に関するテーマ設定、福祉ニーズの測定などといったものが望ましい。

〔前期の内容〕

班の決定、調査テーマの決定、作業仮説の設定、調査対象の選定、既存・先行調査のレビュー、調査票の作成、プリテスト

〔後期の内容〕

調査票の修正・印刷、調査実査、回収票の点検、コーディングガイドの作成、コーディング、データ入力、集計プログラムの作成、集計・分析、報告書の作成

履修上の留意点

本授業では、授業時間内だけでなくそれ以外の時間も使って情報センターのパソコンを使用することになるので、情報センターの利用説明会に参加したり、利用手続きを行う必要がある。現時点で、パソコンの使用方法が分からなくても問題はない。授業の進展にしたがって必要に応じ教授するので、その点を心配する必要はない。

成績評価の方法

基本的には班による作業が中心となるため、出席率も重視するが、それ以上に作業参加・貢献度が重要となる。なお、最終的には提出される個人ごとの報告書の内容が評価の中心となる。

参 考 書 等

古谷野巨著『多変量解析ガイド-調査データのまとめかた-』（川島書店）  
柳井晴夫・岩坪秀一著『複雑さに挑む科学-多変量解析入門-』（講談社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	い とう しゅう いち 伊 藤 秀 一	福祉 3 選	4

講義のねらい

本実習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。実習の具体的な展開は、「社会福祉士養成のための社会福祉援助技術現場実習指導マニュアル」のガイドラインに基づいて行う。

なお、社会福祉援助技術現場実習Ⅱは、2年次の秋に実施した選考試験及び面接に合格した学生が履修できる。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラス・ワーク（事前学習及び実習報告）と配属先での評価表の評価を総合して評価する。

参 考 書 等

日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』（全国社会福祉協議会）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	前期：長尾 譲治 後期：許斐 有	福祉 3 選	4

講義のねらい

本実習は、「社会福祉士」国家試験受験資格取得に必要な指定科目の一つである。

履修上の留意点

実習という性格上、学生が主体的にかかわることが前提となる。したがって、8割以上の出席、レポート提出、クラスワークでの報告・発表などを義務づける。  
成績評価の方法 成績は、学内でのクラスワークと配属先での評価（実習評価表）を総合的に考慮する。いくら実習をしても、クラスワークの成績が悪い場合には単位の取得を認めないこともあるので注意すること。

教科書

授業開始時に指示する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	小畑 和	福祉 3 選	4

講義のねらい

この演習は国家資格「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目であるから、将来福祉事務所の生活保護担当のケースワーカーや特別養護老人ホームの生活指導員、行政機関の行政計画プランナー等などの専門職として勤務されることが期待されている。それ故、人間的資質が強く要求される。何よりも人に優しく接することの出来る人格形成が大切である。日常の講義でも全人教育を重視したい。

講義の内容・授業スケジュール

年間スケジュールは事前教育、4週間の配属実習、事後教育の3つに分けられる。事前教育は配属実習が上手くいくための指導・教育である。事後教育は配属実習で培われた経験をより有効なものに深め、拡大していくための指導・教育であるから報告と討論が中心になる。

成績評価の方法

社会福祉士としての人間的資質と実習レポートの内容などを勘案して評価する。

教科書

初回の講義で説明する。

参考書等

初回の講義で説明する。『社会福祉基本用語辞典』（日本社会福祉実践理論学会編・川島書店）2,400円をいつも携帯することが望ましい。

その他

ビデオ教材の利用

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	なが 長 尾 譲 治	福祉 3 選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

本授業は、前年に「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の履修者に対して実施された選考試験に合格した学生のみ履修できるものである。

授業の内容としては、1年間のクラスワークと4週間にわたる社会福祉施設・機関への配属実習とから成っている。配属先は学生の希望を勘案して決定されるが、期間・内容に関しては必ずしも学生の希望が生かされるものではない。

クラスワークは、実習前の事前学習と実習後の実習報告から成る。したがって、主に後期の授業は実習体験者による報告とそれに対するディスカッションが中心となる。

また、年度末には「実習総括レポート集」の原稿作成を全員に課す。

履修上の留意点

講義の内容・授業スケジュールにも書いたが、本授業履修の可否は前年度に決定されるので、それ以外の学生は履修出来ない。また、クラスも複数開講され、事前にそのクラス分けが掲示されるので、それを確認して履修手続きを行うこと。

成績評価の方法

実習先の指導担当職員による実習評価表が後日送付されてくるが、大学での評価はそれだけによるものではなく、クラスワークへの出席状況やディスカッションでの貢献度等を加味して行われるが、「レポート集」の原稿提出が絶対条件である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	きた 北 島 英 治	福祉 3 選	4

講義のねらい

本演習Ⅰはソーシャルワークの基本的援助技術について体験的に学習し、その技術を習得することが講義のねらいである。ソーシャルワーカーは相談による援助だけでなく、社会資源などを活用したり、ケースマネジメントによって対人援助を行うが、この基本的援助技術はその基本といえるものである。児童相談所などの社会福祉機関、養護施設などの生活ホームにおける相談や対人援助活動を将来希望するものにとってこの基本的援助技術の習得は不可欠であるといえる。また本演習は国家試験「社会福祉士」の試験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・  
授業スケジュール

演習の内容は前期はロールプレイ(役割演技法)、グループ・エンカウンターなどの方法を用いながら、グループワーク形式で、受講生の参加による体験学習を中心に行う。ソーシャルワーカーとして重要な自己覚知(Selfawareness)の促進を目的とするプログラムを展開する。これによって専門職としてのソーシャルワーカーの援助態度を相互に高め、その習得をめざす。さらに、事例研究などによって、クライアントのウェルビーイングの促進、自己実現への道を専門職としてどのように支援、援助するかを理解するとともに、その時のソーシャルワーカーの援助態度と関与(介入)のあり方についても学びたい。

後期は受講生同志によるロールプレイをビデオで録画し、それから逐語録(対話をおこした記録)をとり、ソーシャルワーカーとしてのクライアントへの関わり方を体験的に学ぶ。

参 考 書 等

追って指示する。

そ の 他

授業の方法は、後期にビデオによる録画がある。  
なお、本科目は「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	讃岐真佐子	福祉3選	4

講義のねらい

社会福祉に携わる場面では、何よりもその目の前の人とどう関わるか、どのように対応していくかというその質が問われてくるだろう。この演習では他者に援助していくとはどういうことを、主に「いかに人の話を聴くか」という観点から、幾つかの体験的学習を通して徹底的に学んでいさくと思う。また本演習は国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「聴く事」をめぐる諸講義、そしてまず自分自身により良く気づくための幾つかのワーク・プログラムを経て、2人ずつのペアを組み各々がワーカーとクライアント役割を取るロールプレイ（役割演技法）を実施していく。後期も引き続き行うが、折にふれて絵画療法等の非言語的な援助技術内容についても概説したい。

履修上の留意点

出席を重視し、各ワークへの参加が不可欠となる。ロールプレイは録音し、逐語録を作成して自分の発表日に資料として配布する。発表日は前もってわかるので、各自の責任において実施する事。また本演習に引き続き同じクラスで同演習Ⅱを行うので、同時に取得することが望ましい。

成績評価の方法

上記（履修上の留意点）に基づいて評価する。

教科書

必要な資料は随時配布する。

参考書等

- ・河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）本体2,000円
- ・鏑幹一郎『試行カウンセリング』（誠信書房）3,500円

その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	なが お じょう 長 尾 譲 治	福 祉 3 選	2

講義のねらい

本演習は、社会福祉士指定科目の1つであり、社会福祉の専門援助技術を、実技指導を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させながら、老人や障害者を中心とする具体的事例をとりあげ、個別指導ならびに集団指導を通して習得することを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 対人コミュニケーション技術  
社会福祉従事者に求められるコミュニケーション技術の実践トレーニング
- 2 ケースワーク  
ケース（事例）研究／ロールプレイ
- 3 グループワーク  
グループワークの計画と実践
- 4 間接援助技術との関連  
コミュニティ・ワーク、ソーシャルワーク・リサーチの模擬実践

履修上の留意点

技術演習であるため、実技参加やディスカッションなど、学生個人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動することが求められる。

参 考 書 等

追って紹介する。

そ の 他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	きた じま えい じ 北 島 英 治	福 祉 3 選	2

講義のねらい

本講習Ⅱは社会福祉援助技術演習Ⅰと同じくソーシャルワークの基本的援助について体験的に学習し、その技術を習得することが講義のねらいである。また本講習Ⅱも国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・  
授業スケジュール

演習の内容は社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

参 考 書 等

参考書は追って指示する。

そ の 他

授業の方法は、後期にビデオによる録画がある。  
なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	讀 岐 真 佐 子 <small>さぬき まさこ</small>	福祉3選	2

講義のねらい

本演習Ⅱは社会福祉援助技術演習Ⅰに引き続いて行われ、Ⅰと同様ソーシャルワークの基本的援助技術について体験的に学習し、その技術を習得することをその目的としている。また本演習Ⅱも国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・授業スケジュール

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

履修上の留意点

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

成績評価の方法

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

教科書

必要な資料は随時配布する。

参考書等

- ・河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）本体2,000円
- ・鎌幹八郎『試行カウンセリング』（誠信書房）3,500円

その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	長 尾 譲 治 <small>なが お じょう じ</small>	福祉3選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。



# 1 専門教育科目

(7) 心 理 学 科  
社 会 学 科

心理学コース



# 1 専門教育科目

## (7) 心理学科・社会学科(心理学コース)

心理学概論	(間島英俊)	333
心理統計学	(寺岡隆)	334
コンピュータ実習	(大塚秀治)	335
コンピュータ実習	(中丸茂)	336
人格心理学	(谷口泰富)	336
学習心理学	(小野浩一)	337
社会心理学	(萩原滋)	338
臨床心理学	(佐々木雄二)	339
生理心理学	(谷口泰富)	339
認知心理学	(永田陽子)	340
心理学基礎実験	(茅原正・間島英俊・山岸直基・青塚徹)	340
心理学基礎実験	(谷口泰富・永田陽子・堀内正彦・青塚徹)	341
心理学研究方法	(小野浩一)	342
禅心理学	(茅原正)	343
心理学実験演習Ⅰ	(寺岡隆)	344
心理学実験演習Ⅱ	(茅原正)	344
心理学実験演習Ⅲ	(佐々木雄二)	345
心理学実験演習Ⅳ	(休講)	
心理学実験演習Ⅴ	(小野浩一)	345
心理学実験演習Ⅵ	(谷口泰富)	346
心理学実験演習Ⅶ	(間島英俊)	346
演習	(小野浩一)	347
演習	(佐々木雄二)	347
演習	(谷口泰富)	348
演習	(茅原正)	348
演習	(寺岡隆)	349
演習	(永田陽子)	349
演習	(間島英俊)	350
環境心理学	(浅井正昭)	350
児童心理学	(横山剛)	351
産業心理学	(高橋誠)	351
老年心理学	(中里克治)	352
宗教心理学	(久保田圭作)	352
健康心理学	(休講)	
比較行動学	(幸島和子)	353
精神医学	(井出恵)	353
心理学特講Ⅰ	(デワラジャ R. D.)	354
心理学特講Ⅱ	(佐藤方哉)	354
心理学特講Ⅲ	(讀岐真佐子)	355
心理検査法Ⅰ	(森山敏文)	356
心理検査法Ⅱ	(森山敏文)	356
カウンセリング	(鈴木順一)	357
情報処理解Ⅰ	(軽部幸浩)	358
情報処理解Ⅱ	(牧野晋)	359

宗 教 人 類 学 (佐々木 宏 幹)	360
心 理 学 特 殊 演 習 (小 野 浩 一)	361
心 理 学 特 殊 演 習 (佐々木 雄 二)	361
心 理 学 特 殊 演 習 (谷 口 泰 富)	362
心 理 学 特 殊 演 習 (茅 原 正)	362
心 理 学 特 殊 演 習 (永 田 陽 子)	363
心 理 学 特 殊 演 習 (間 島 英 俊)	363
マス・コミュニケーション論 ( 休 講 )	
産 業 ・ 職 業 社 会 学 ( 休 講 )	
社 会 病 理 学 ( 休 講 )	
家 族 社 会 学 (岩 上 真 珠)	364
宗 教 社 会 学 (芳 賀 学)	365
行 政 法 (鷄 德 啓 登)	365
社 会 福 祉 援 助 技 術 総 論 ( 休 講 )	
障 害 者 福 祉 論 (生 川 善 雄)	366
老 人 福 祉 論 (東 條 光 雅)	367
児 童 福 祉 論 (前期：山本 真実)	368
(後期：許斐 有)	
勞 働 法 (藤 本 茂)	369
民 生 法 (竹 中 智 香)	370
経 済 原 論 (浅 野 克 巳)	370

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 概 論	ま じま ひで とし 間 島 英 俊	心 理 1 必	4

講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に究明する学問であるといえるだろう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をとおして自己理解に結びつくものと思われる。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実にのみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
- 2 発達——自己から自己へのタイムトラベリング
- 3 “こころ”のゆきづまり
- 4 人と人との絆（家族と社会）
- 5 みること・きくこと
- 6 学ぶこと・考えること
- 7 ここを動かす・行動を起こす
- 8 人・仲間とかかわる
- 9 ことばとコミュニケーション

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定です。

履修上の留意点

本講義は1年次の必修専門科目であるために出席を重視します。

成績評価の方法

基本的には年度末定期試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも考査されます。

教 科 書

根本和雄編著『理解とふれあいの心理学』（ミネルヴァ書房）2,575円

参 考 書 等

講義内にて紹介します。資料は都度配布しますが、欠席したものへの後日配布はしません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 統 計 学	てら おか たかし 寺 岡 隆	心 理 1 必	4

講義のねらい

本科目は心理学のどの領域を勉強するにしても必要になる科目であるので心理学科では必修科目になっている。心理統計学とは心理学で用いられる統計学的手法一般をさすが、これは既成の統計学をたんに心理学課題に適用しただけのものではなく、本来、心理学のなかで心理学者が開発してきた数学的手法も含むものである。数学的な知識は積み重ねが必要である。しかし、本学では入学試験に数学系の科目が課せられていない関係で、講義内容的には心理統計学を勉強するための統計学の基礎概念を習得するための部分にかなりの時間をかけなければならないので、本来の心理統計学にはあまり深くは立ち入ることができず、残念ながら全体的にその方向性を示すに留まらざるを得ないというのが実状である。したがって、この講義を基礎として是非自学自習して本来の心理統計学を身につけてほしいと念じている。とくに大学院進学を志望する者、心理学専門職に就職しようとする者には重要と考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は統計学基礎知識、すなわち、測定・尺度等の基礎知識、1変量・2変量（最小自乗法による実験式の求め方を含む）・3変量（偏相関・重相関を含む）の記述統計学的知識と関連する基礎数学、母集団・標本の関係、確率論の基礎、基本的確率分布、統計的推論（各種の推定・検定を含む）、実験計画法の基礎、心理検査論、心理実験法・心理測定法における統計的基礎、多変量解析の基礎（因子分析等）についての解説をする予定である。講義資料は各回配布する。

成績評価の方法

試験は筆記試験を2回（前記・後期）行ない、出席回数よりは試験結果によって評価される理解度を重視し、試験に合格した場合のみ単位を与える。再試験は実施しない。本講義は1年目学生が主対象であるが卒業まで4回受験の機会がある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コ ン ピ ュ ー タ 実 習	おお つか ひで はる 大 塚 秀 治	心 理 1 必	2

講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者も独力でコンピュータを活用して心理学実験レポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は全て実習形式で行う。ビデオの映写が可能ならビデオ教材も使用したい。キーボードのブラインドタッチの習得のために指定したソフトを購入する必要がある。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・パソコンの基本操作
- ・ブラインドタッチの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・MS-Windows の習得
- ・日本語ワードプロセッサの習得 (MS-Word)
- ・スプレッドシートの習得 (MS-Excel による集計、グラフ、データベース)
- ・プレゼンテーションの実際 (MS-PowerPoint を利用したプレゼンテーションの基礎)
- ・電子的コミュニケーション (電子メールの利用法)
- ・Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・情報処理の基礎

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なおこの科目は必修科目であるため単位の認定を受けられないものは翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。従って1年次に履修を完了すること。

教科書

教材は授業の中で全て配布する。それまでに配布された資料は授業に際して常に用意しておくこと。そのためにフォルダやファイルを用意するとよい。また、Type Quick については学内紀伊国屋書店で安価 (約2,500円) に購入できるように手配する。その他に年間約5枚程度の3.5インチ高密度のフロッピーディスクが必要となる。

参考書等

授業中に最新のものを指示する。

その他

年間約22回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回 (1回2時間程度) の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、情報教育センター (有料: 年間1,000円) を利用する。また、心理学実験室のパソコンについても実験等に使われていなければ利用可能である。独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンで MS-Windows と MS-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ実習	なか まる しげる 中 丸 茂	心理 1 必	2

講義のねらい

現在、心理学を研究するにあたって、論文作成や実験制御のためにコンピュータの操作は「必要な技能となっている。本コンピュータ実習では、特に、心理学レポートの作成に必要なワープロソフトと表計算ソフトの習得を主な目的とし、さらに、実験制御に必要なプログラムの知識にふれることによって情報処理の概念を学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 情報処理とは？
2. レポート作成 (MS-WORD)
  - ・イメージ・印象の測定 (SD 法)
  - ・図・表作成
3. 表計算 (MS-EXCEL)
  - ・数値計算
  - ・データベース操作
  - ・図・表作成
  - ・統計処理
4. 心理学レポート
  - ・性格検査の作成 (質問紙法)
  - ・文章作成 (ワープロ検定対応)
5. 情報処理
  - ・フローチャート
  - ・A/D 変換
  - ・ホームページ (インターネット)

履修上の留意点

自主性、積極性を重んじる。

成績評価の方法

1. ワープロ検定 4 級程度以上 (必)
  2. 心理学レポート作成 (必)
  3. その他、随時、課題を提出
- \*すべて、プラス評価

教科書

情報教育研究会編『情報処理演習 MS-Word MS-Excel 入門』(ムイスリ出版株式会社) 1997

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人格心理学	たに ぐち やす とも 谷 口 泰 富	心理1・2選必	4

講義のねらい

パーソナリティ研究には4つの課題がある。1つは、ある人がどのような人かを表現する方法であり、2つ目は、人間の行動における個人差を予測することである。3つ目は、発達過程においてある特徴的行動や態度がいかんして学習されるかを理解し予測すること、そして最後が、人間の行動をいかに変容させるかを明らかにすることである。本講では、これらの課題を解明するために行われてきた歴史的研究について述べ、パーソナリティ研究の将来的展望について解説することをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

本講では、まず、パーソナリティの本質について述べ、次に代表的なパーソナリティ理論、パーソナリティの形成発達やその変容等について解説する。  
また、人格の測定と診断についても一部解説する。

履修上の留意点

遅刻したり欠席したりすると、講義内容の面からして、全体的把握ができなくなるので注意すること。

成績評価の方法

当該時間内でおこなう小テスト及び定期試験の結果で評価する。

教科書

加藤義明・中里至正編『入門人格心理学』(八千代出版) 2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単位
学習心理学	小野 浩一	心理1・2選必	4

### 講義のねらい

心理学で学習というとき、それはものを覚えたり技術を習得するという狭い意味ではなく、もっと幅広い「行動の変化」全体を含んでいる。毎日同じような生活を繰り返しているように見えても、数カ月あるいは数年前の自分の行動と今の自分の行動は違っている。たとえば、「前は嫌いだった中島みゆきの曲をよく聞くようになった」、「朝寝坊の自分が早起きになった」、「最近学校を休みがちである」、「よく話をするようになった」などいろいろな変化に気づくだろう。

学習心理学は、このような行動変化の原因を解明し、科学的な言葉で説明しようとするものである。ただし、行動変化はすべて、学習によってもたらされるわけではない。あるものは成長や成熟によって、またあるものは疲労や薬の効果によって生じる。また、行動の中には、その行動様式や行動変化が主として遺伝によって決定されているものもある。その中で、学習心理学は、経験によって生じる比較的永続的な「行動変化」を主に扱う。

本講義は、「行動変化」をもたらす2つの代表的な手続きであるレスポナント条件づけとオペラント条件づけのうち、特に言語行動を含む人間の行動変化の多くの部分を説明するオペラント条件づけ研究とその展開の解説に重点をおき、興味深い最新の研究を紹介してゆく予定である。この講義を通して、受講生には、科学的に行動の原因を探求することの重要性、必要性を理解してもらいたいと願っている。随時 OHP やビデオを使ってできるだけ平易に説明するつもりである。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 行動の原因とその説明 — 人はなぜそのように行動するのか
  - ① 行動についての常識的な説明と科学的説明
  - ② 行動の原因 — 遺伝と環境
  - ③ 行動の説明 — 行動分析的説明と認知的説明の違い
  - ④ 行動とは何か
2. 行動の種類とその原因
  - ① 単細胞生物の行動から人間のことばまで — おもしろい動物の行動
  - ② 行動変化の2つの手続き — レスポナント条件づけとオペラント条件づけ
3. レスポナント条件づけ
  - ① パブロフの条件反射
  - ② レスポナント条件づけの諸現象 — ポプ・ディランを聞くときと甦えるあの甘くせつない想い
  - ③ レスポナント条件づけの発展と応用
  - ④ 現在の研究状況
4. オペラント条件づけ
  - ① 行動の結果の重要性 — 廊下を走るな！「忠告」「貼紙」はなぜ効かない？
  - ② オペラント条件づけの基本 — 三項強化随伴性
  - ③ オペラント研究の基本 — 動物実験のやり方
  - ④ 新たな行動の形成 — シェイピング
  - ⑤ 行動を変化（増加、減少、維持、消失）させる手続き — 強化スケジュール
  - ⑥ 罰による行動の変化 — そして何もなくなった
  - ⑦ 行動は時と場合によって変化する — 刺激統制（般化と弁別、行動対比と頂点移動）
  - ⑧ 動物と人間の行動の違い
  - ⑨ オペラント行動に関する最近の研究動向
5. 迷信行動
  - ① 迷信はオペラント条件づけによって生じる
  - ② 行動の変動性は迷信行動を減少させる
6. 選択行動
  - ① すぐの1つより後の3つの方がいい？ — セルフ・コントロール
  - ② 人もハトも「強制」より「自由」を好む
7. 不確実場面における行動  
確率学習 — なんてそうするの？（非合理的な人間の行動）
8. 言語と認知
  - ① 言語の基本 — ことばの獲得と刺激等価性
  - ② 言語の働き — Skinner の言語行動論
  - ③ ことばによる行動の制御 — ルール支配行動と言行一致訓練
  - ④ 認知的事象も行動である — プライベート・イベント
  - ⑤ 性格は特定の行動パターンに対するラベルである
  - ⑥ 知識の獲得 — 事例からの一般化（帰納的推論）

9. 社会的行動  
競争や協力関係は環境によって作られる
10. 応用行動分析  
オペラント条件づけの知見を自分自身や社会に活かす

成績評価の方法

出席と定期試験による総合評価

教科書

使用せず

参考書等

レイノルズ著、浅野俊夫訳『オペラント行動入門』（サイエンス社）  
佐藤方哉著『行動理論への招待』（大修館書店）  
小川隆監修『行動心理ハンドブック』（培風館）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会心理学	はぎ わら しげる 萩 原 滋	心理1・2選必	4

講義のねらい

主として心理学の立場から社会心理学の研究領域をカバーする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、社会的認知、態度と態度変容といったことに関して、「均衡理論」「認知的不協和理論」「帰属理論」など従来の社会心理学の代表的理論を紹介する。後期は、説得といった対人コミュニケーションの場面から各種メディア、特にテレビの社会的役割や影響力といったマスコミュニケーションの状況を含めて幅広く「コミュニケーション」に関わる問題を取り上げる。

履修上の留意点

遅刻をしないこと。

成績評価の方法

前期と後期に1回ずつ筆記試験を行い、それらの得点を総合して成績を評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
臨床心理学	佐々木 雄二	心理1・2選必	4

講義のねらい

臨床心理学に関する基礎的知識を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

臨床心理学の定義、歴史、課題、臨床心理士の要件などについて講義し、さらに心理臨床の実践に必要な心身の諸障害の症状、原因、診断法、治療法などについて述べる。

成績評価の方法

試験と出席

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生理心理学	谷口 泰富	心理1・2選必	4

講義のねらい

生理心理学は、自然科学的手法により心と体の関係を明らかにしていく学問である。本講は、主に、統合的有機体としての人間の行動を解明するための生物学的基礎について学ぶことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

心的活動の基礎としての脳の機能と、身体の関係について解説し、さらに、意識や学習、感情、知覚・感覚の概念等について述べる。  
また、初歩的な生理心理学的測定について解説し簡単な実験も行う。

履修上の留意点

中学校で学習する程度の理科的教養が欲しい。

成績評価の方法

レポート及び定期試験による総合的評価。

教科書

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
認知心理学	なが た よう こ 永 田 陽 子	心理1・2選必	4

講義のねらい

心理学においては心理学的事象をどのような立場で捉えるかという研究上の視点の問題がある。この立場にはいろいろあるが、そのうち主要なふたつの立場、すなわち、行動の側面に焦点をあてて考察しようとする立場と認知という側面に焦点をあてて考察しようとする立場が基礎心理学においては極めて重要な視点であるといえる。通常、前者を行動論といい、後者を認知論という。認知的視点に立脚して心理学的事象を捉えようとする心理学は認知心理学ともよばれている。本講義は認知心理に対する基本的知識を習得させる目的で用意されている講義である。

講義の内容・授業スケジュール

認知心理学は近年急速に発展してきている分野である。本講義では認知心理学の歴史的概観をおさえた上で、種々の最新トピックスを取り上げ、これらに対する認知心理学の基本的考え方について言及していく予定である。

履修上の留意点

本講義は心理学コースの学生の必修単位であるが、受講学生を1年目から4年目までの学生にいわばひろく開かれたかたちで開講されているので、どの学年においても履修可能である。

成績評価の方法

前期と後期の2度にわたる筆記試験のほか、出席状況などを考慮し、総合的に評価される。

教科書

特定の教科書を使用することはないが、適宜、参考書等は紹介される。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学基礎実験	ちほら ただし ましま ひでとし 茅原 正・間島 英俊 やまざし なおき あおつか とおる 山岸 直基・青塚 徹	心理2必	2

講義のねらい

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っているといっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から6つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

講義の内容・授業スケジュール

ミュラー・リエル錯視 系列記憶 重量弁別  
鏡映描写 流言の分析 好悪判断

履修上の留意点

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

出席状況（遅刻は2回で1回欠席になる）、6単元分の実験レポート、前後期2回の試験、被験者経験の結果をあわせて総合的に評価する。

教科書

吉岡一郎編著『心理学基礎実験手引』（北大路書房）および配布プリント。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学基礎実験	たにぐち 谷口 堀内 やまとみ 泰富 正彦 ながた ようこ 永田 陽子 あおつか とおる 青塚 徹	心理 2 必	2

#### 講義のねらい

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っているといっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から6つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ミューラー・リエル錯視 系列記憶 重量弁別  
鏡映描写 流言の分析 好悪判断

#### 履修上の留意点

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

#### 成績評価の方法

出席状況（遅刻は2回で1回欠席になる）、6単元分の実験レポート、前後期2回の試験、被験者経験の結果をあわせて総合的に評価する。

#### 教科書

吉岡一郎編著『心理学基礎実験手引』（北大路書房）および配布プリント。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学研究法	おのの 小野 浩一	心理 2 必	4

### 講義のねらい

現代の科学的心理学の知識は、論理的な思索や理論的考察によって導き出されたものではなく、具体的な実証的データの積み重ねによって成り立っている。特定の研究テーマに従って推進された1つ1つの研究の単位をリサーチといい、リサーチは、問題（目的）の設定－特定の研究デザインによるデータの収集－データの分析－結論づけ－結果の公表という一連のステップによって成り立っている。

この科目は、すでに1年間心理学を学んできた学生に心理学におけるリサーチとはどのようなものであるかを提示し、3年次以降に履修する心理学実験演習Ⅰ～Ⅵ、心理学特殊演習、演習、卒業論文へと発展させていくように設置されたものである。

心理学の研究には心理学の専門用語についての最低限の知識が必要である。そこで本講義のサイドワークとして、1年間を通じて1,000語の心理学用語（日本語と英語）を学習するプログラムを取り入れている。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 心理学研究法総論
  - ① イントロダクション：心理学におけるさまざまなアプローチ
  - ② 心理学の対象と方法：歴史の変遷
  - ③ 科学的研究のプロセス：失敗例を検討する
  - ④ データ収集と処理の基本：代表値と散布度を例として
2. 文献検索法
  - ① 文献にはどのようなものがあるか：研究の公表方法－学会発表と論文、学術論文と紀要・ジャーナル（国内および海外）のいろいろ
  - ② 文献をどのように手に入れるか：Psychological Abstractの利用方法、データベースの利用・図書館の利用方法
  - ③ 引用文献のはたらき：引用法
  - ④ 文献からみた研究の進展課程：Kuhn（1970）の理論の応用
3. 観察法
  - ① 観察法の種類
  - ② 直接観察の手順：問題の設定と標的行動の選択・標的行動の定義、反応次元の選択（頻度・持続時間・潜時・強度・トポグラフィ）
  - ③ 直接観察による行動測定：事象記録・持続時間の記録・潜時記録・間隔記録・瞬時タイムサンプリング
  - ④ 信頼性と妥当性
4. 実験法
  - ① 実験の目的：科学的心理学の目的・実験と観察の相違
  - ② 実験の種類：要因決定実験と関数決定実験
  - ③ 行動をコントロールしている要因：実験変数と剰余変数、実験変数の統制・剰余変数の統制・個体変数の統制法
  - ④ 実験デザイン
    - 1) 多標本実験デザイン：単一グループ実験デザイン・独立2群実験デザイン・関連2群実験デザイン・多重処理デザイン
    - 2) 単一被験体法：ABAデザイン・多重ベースラインデザイン
5. テスト理論
  - ① 項目反応理論と内的整合性
  - ② 心理テスト作製の方法
6. 質問紙調査

### 成績評価の方法

出席と定期試験とレポート（授業期間中に1回提出）による総合評価

### 教科書

使用しない。適宜、プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 心 理 学	ち 茅 原 <sup>ほら</sup> 正 <sup>ただし</sup>	心 理 3 必	4

#### 講義のねらい

複雑で、ストレスに満ちた現代、瞑想に関する科学的研究がさかんに行われ、身心に及ぼす良好なる効果が数多く発表されている。

本学における「禅の心理学的研究」の成果は、国内のみならず国際的にも高く評価されている。心理学のコースの3年次必修専門科目としての「禅心理学」は、建学の精神を活かすものであり、禅の精神によって培われた、心豊かな「行学一如」の人材の育成を目指す、他大学には例をみない本学の特色である。

本講義では、坐禅を主とする禅の心理生理学的研究の歴史、および研究の成果について概観するとともに、実験的課題と展望、禅の心理論理、唯識の心理学などについても考察する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

本年度は、以下のようなテーマにそって、授業を進めるつもりである。

- ・東洋の心理学の特質
- ・禅と心理学
- ・東洋的行法の研究－日本－
- ・東洋的行法の研究－外国－
- ・禅瞑想の心理・生理学的研究
- ・調身・調息・調心
- ・「普勧坐禅儀」考
- ・禅とコトバ
- ・禅の心理論理
- ・「空」の立場
- ・「有時」－存在と時間－
- ・華嚴の世界観
- ・唯識の心理学

#### 履修上の留意点

本講義は3年次の必修専門科目であるため、出席を重視する。

#### 成績評価の方法

年度末の定期試験のほか、課題、講義への出席状況を考慮して、総合的に判定する。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

秋重義治『禅の心理学』（法政大学出版局）  
 春木・清水・水沼（監訳）『瞑想の心理学』（川島書店）  
 児玉和夫（監訳）『瞑想の生理学』（日経サイエンス社）  
 その他、参考文献、資料等については、講義の際、詳しく紹介する。

#### その他

授業は主として講義の形式で進めるが、OHP、プリント等により、理解しやすいように努めるつもりである。また、坐禅堂の使用が可能であれば、禅の精神を体得するという意味で、月に一度ぐらい坐禅の実習を行う予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学実験演習Ⅰ	寺岡隆 <small>てらおか たかし</small>	心理3選必	2

講義のねらい

自作のプログラムを用いた実験心理学の小実験を実験者として実際に実施することを体験し、この体験を通して、心理学実験研究をいかに計画し、いかに実験を実施し、いかにデータの分析を行なうかを具体的な主題について体得するための実験演習。主題は教室など種々の制約から、基本的には簡単な知覚実験・認知実験か思考心理学・問題解決論・意思決定過程などに関係したものに限られる。一般に、実験研究は個別的なものであるから、既成のソフトやプログラムがあるわけではなく、自分で計画した実験専用のプログラムを自分で作成しなければならない。したがって、前半は主としてプログラミングの基礎技法を習得することを主眼とするが、ここで習得した知識を用いて実際に個別的な主題に応じて刺激提示・反応処理・結果の分析などを含むプログラムを担当教員の助言を受けつつ自分で作成し、後半はこのプログラムを用いて実際の被験者に対する実験を実施してデータを分析することになる。最終的にはその結果をレポートとして提出するが、レポートには自作のプログラムを添付する。評価はプログラミングの理解度・巧拙・効率性、教室で行なう実験の遂行状態、および、レポートの良否などが対象になる。使用言語はBASICとし、教室は基本的には情報処理センターの実験室を予定している。プログラミングの技法の習得は積み重ねと経験が大切であるのでこの演習では出席を重視するが、重要なことは技法を十分に習得することにある。この実験演習は個人実験を中心とした地道な実験心理学的研究に関心のある学生向けの演習であるので、このような地道なプログラミング作業に関心がない者の参加は望まない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学実験演習Ⅱ	茅原正 <small>ち はら ただし</small>	心理3選必	2

講義のねらい

応用心理学の諸研究を通して、文献、実験計画、方法、結果、論文のまとめ方、などを学ぶ。照明、騒音、温熱など、実際の生活場面における社会的・物理的条件が、人間の行動に如何なる影響を及ぼすか、基本的な実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の実習テーマとして、精神テンポや時間評価など、時間体験に関する実験、情動に関わる呼吸機能の生理学的測定、精神集中やリラクゼーションなど、身心のコントロールに関する実験等を予定しているが、受講者と相談の上、別のテーマを設定して実験を計画することも考えている。

履修上の留意点

実験演習という科目の性質から出席を重視する。実習テーマの課題レポート提出は必須である。

成績評価の方法

年度末の筆記試験、課題レポート、出席状況等、総合的に行う。

教科書・参考書等

特に使用しないが、必要に応じて文献等の紹介をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 実 験 演 習 Ⅲ	き さ き ゆう し 佐 々 木 雄 二	心 理 3 選 必	2

講義のねらい

臨床心理学領域（臨床心理学、カウンセリング心理学、健康心理学など）における心理学的研究を進めていく上で必要な具体的な方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

受講生は、比較的最近の心理学系専門誌（とくに臨床心理学・カウンセリング心理学・健康心理学領域）から自分が関心のある論文を選び、その内容を発表する過程を通して、臨床心理学領域の現在の課題、研究計画、研究結果のまとめ方、論文の書き方などを学ぶことになる。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席、発表内容、質疑応答の内容を勘案して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 実 験 演 習 Ⅴ	お の こう いち 小 野 浩 一	心 理 3 選 必	2

講義のねらい

心理学研究のプロセスを統一的に習得することを目的として、文献検索法、論文の読み方、実験デザインを組み方、実験の実施方法、結果のまとめ方、論文の書き方、口頭発表の仕方などを含めた総合的な実習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

実習テーマとしては「感覚による音楽や飲料の識別」、「不確実場面（ギャンブルのように予測が困難な場合）の行動の分析」、「迷信行動の生成」、「性格テストの作り方」などを予定しているが、これとは別に受講者と相談の上適当なテーマを設定して実験を計画することも考えている。

成績評価の方法

出席とレポートによって評価する。

教科書

その都度配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学実験演習Ⅵ	谷口泰富	心理3選必	2

講義のねらい

本講は、生理心理学的測定の技法、機器の操作方法及び資料の分析方法等についての学習を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

機器等はかなり整備されているが、受講者の数によっては内容を一部変更することがあり得る。従って、受講者が決定した後に計画表を配布する。

履修上の留意点

精密機器を扱うことが多く、また危険防止のためにも細心の注意をして実験を行うこと。受講者をいくつかのグループに分け、各グループが異なる実験を行う。従って、グループ編成のためにも初回の説明会には必ず出席すること。遅刻や欠席については厳しく指導する。  
なお、内容は主として生理心理学的測定であるので、予め生理心理学を受講しておくこと。

成績評価の方法

各実験終了後に提出されたレポートにより評価する。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学実験演習Ⅶ	間島英俊	心理3選必	2

講義のねらい

本演習は発達心理学領域における心理学的研究のプロセスを総合的に学ぶことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

受講者は研究上必要な文献検索、実験・調査計画、またそれに必要な実験器材の操作ならびに心理検査の習熟、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、そしてプレゼンテーションの方法について実習します。

実習テーマは発達に関することを予定していますが、別に受講者の希望があれば話し合いにて別のテーマの設定も考えています。

履修上の留意点

初回の演習ガイダンスには出席して、この実験演習の説明をきいて履修を決定してください。

成績評価の方法

出席はもとより、真摯な研究態度に対して評価がなされます。

参 考 書 等

教材についてはその都度配布しますし、参考図書については演習内にて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習	小野浩一	心理 4 必	4

講義のねらい

受講者各自の卒論テーマに則した指導を行うと共に、行動分析学について学ぶ。行動分析学はスキナーによって始められたオペラント条件づけの研究に端を発するが、現在では基礎研究のみならず、応用行動分析として人間社会のさまざまな問題に取り組んでいる。本演習では、基本的文献を題材に関連する諸問題について議論する。

履修上の留意点

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席と平常点によって評価する。

教科書

本年は、次の文献をテキストに使う予定である。  
 Skinner, B. F. (1987). *Whatever happened to psychology as the science of behavior?*  
 (American Psychologist,) 42, 780-786.

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習	佐々木雄二	心理 4 必	4

講義のねらい

受講生各自の研究テーマに合わせた卒業論文作成に必要な指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

随時、研究論文の「構想発表」、「中間発表」の時間を設ける。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	谷 口 泰 富 <small>たに ぐち やす とみ</small>	心 理 4 必	4

講義のねらい

本講は、主として卒業論文作成に関する詳細な実験計画やデータの分析方法等について解説し、各自が自分の研究を心理学の各領域の中に位置づけられるようにすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

学生一人一人の研究テーマに沿った形で計画的に指導を行う。従って、当該時間内だけでの指導では不十分であるので学生と相談の上、別の時間割を作成しそこで個別に指導を行う。

履修上の留意点

研究テーマにより個別指導が中心となる。従って、週2回以上の指導をうけることが義務となる。学生の人数によっては、早朝や深夜の指導もあり得るので留意されたい。また、遅刻や欠席は厳に慎まれたい。なお、ゼミ決定後、『卒業論文作成カルテ』を配布する。このカルテに従って進行すれば論文が完成する仕組になっている。

成績評価の方法

課題報告（毎週）の内容、レポート、卒業論文の質的側面から評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	茅 原 正 <small>ち はら ただし</small>	心 理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心におこなう。各人のテーマに関わる問題点の指摘や研究のすすめ方、論文の書き方など、具体的な指導をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、テーマの決定・参考文献・資料の収集・分析、実験・調査の計画、論文の構成など、文献研究を中心に、問題点を整理して構想を練る。  
後期は、実験・調査のデータ整理、結果の報告、論文構成の決定、執筆というスケジュールで、各自が研究の成果を検討・考察して中間報告をおこない、発表・討論を経て論文の完成を目指す。

履修上の留意点

前期は、卒業論文の構想について文献的研究中心の中間発表。  
後期は、随時、関連する論文の内容の紹介や、実験・調査の結果報告や卒論の具体的内容について発表・議論してもらう。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習	寺岡隆 <small>てら おか たかし</small>	心理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文における主題の決定、実験・調査の具体化、データ整理法・分析方法の吟味、論文の作成法などを中心に個別的に指導・助言を与える主題の決定から卒業論文提出まで継続する演習。広義の実験・調査系の学生を対象とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習	永田陽子 <small>なが た よう こ</small>	心理 4 必	4

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成指導を主としている。従って、各受講者の論文の完成を最終目標として、そのための文献研究、実験の計画とその実施、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、さらに口頭発表の仕方を指導することが本演習の目的である。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者各自の論文テーマに則した実質的・具体的な指導を個別かつ演習形式で遂行していく。受講者は各自のテーマについて個別に指導をうけると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、論文の完成を高めていくこととなる。

履修上の留意点

各受講者の卒業論文に関わる面接は随時行われる。

成績評価の方法

演習における年間を通じた研究姿勢によって評価される。



科目名	担当者名	配当学科	単位
演習	ま じま ひで とし 間 島 英 俊	心理4必	4

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成を最終目的としています。したがって、論題（卒論テーマの決定）、問題（文献研究）、目的・方法（研究計画とその実施）、結果・考察（研究結果の分析、議論）のスケジュールにそって、指導がなされます。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には受講者各自の研究テーマにそって、上述のスケジュールに則った具体的指導が個別になされますが、演習という性格から、受講者は、1 卒論テーマの設定 2 文献研究法 3 研究計画および実施 4 研究結果の考察、議論についての研究経過の発表、意見、討論をとうしてお互いの研究向上を目指すこととなります。

履修上の留意点

演習時間内では、上述の1～4の発表、意見、討論ならびに個別指導がなされますが、個人の研究の進捗状況によっては演習時間外も考えられますので、個別に調整します。

成績評価の方法

出席はもとより演習における真摯な研究態度に対して評価がなれます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境心理学	あさ い まさ あき 浅 井 正 昭	心理2・3・4選	4

講義のねらい

環境計画系諸科学（都市計画学・建築学・ランドスケープアーキテクチャー・インテリアデザインなど）および行動科学系諸科学（心理学・社会学・文化人類学など）を統合する学際的研究領域として近年注目を集める環境・行動研究について特に心理学サイドから展望する。

講義の内容・授業スケジュール

最初に学際的科学として成立した環境心理学誕生の時代的背景を解説する。  
次いで環境汚染、アメリカにおけるゲットウ出現による都市の荒廃化に触れ、現代の環境心理学に重要な影響を与えた4人のパイオニアとその学説を概観する。①MITグループダイナミックス研究所 Lewin, K に学び、カンサス大学へ移行した Barker, R および Wright, H らと生態学的心理学。②環境を空間内位置から捉えた文化人類学者 Hall, E とその著作「沈黙の言語」、「かくれた次元」で明らかにされた接近学（Proxemics）的アプローチ、Sommer, R によって発展された個人空間。③「都市のイメージ」によって建築学界に衝撃を与えた L.Lynch, K の認知地図による都市空間表象の分析的研究法。④同じく建築学者 Alexander, C によるパターン言語に基づく市街地・建築物の記述技法などを講述する。そして1960年代に始まる5つの代表的環境心理学研究センター開設の社会的背景を探究し、生態学的心理学の基礎概念 Behavior Setting が現在の環境心理学を方向づける環境と人間行動間の Transaction 研究と展開された道程を講述する。併わせて、POE 景観測定法・認知地図・環境シミュレーターなど環境心理学研究技法を紹介する。

履修上の留意点

実験心理学の基礎知識、および学際的アプローチに対する関心。

成績評価の方法

学年末における論文体筆記試験。

教科書

使用しない。

参考書等

プロシャンスキー・イッテルソン・リプトン『環境心理学』全六巻（誠信書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 心 理 学	よこ 横 山 つよし 剛	心理2・3・4選	4

講義のねらい

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する機制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動・知覚・認知・言語・記憶・思考・情緒・パーソナリティ・社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことも予定しています。第一回から積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点+レポート課題+試験

教 科 書

山内宏太郎編『人間の発達を考える上』（北樹出版）

そ の 他

プリント資料・VTR・スライドも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産 業 心 理 学	たか 高 はし 橋 まこと 誠	心理2・3・4選	4

講義のねらい

コンピュータによる高度情報技術が仕事の内容や仕方に与えた影響、その中での人間的な仕事のあり方について、産業・組織心理学や人間工学の研究分野から考える中で、必要とされる研究内容や研究方法を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は、高度情報技術の内容とオフィスや工場における適用の実態、業務、組織やワーカーの健康に及ぼした影響を検討する。後半は産業・組織心理学や人間工学といった研究分野から、高度情報技術社会での仕事環境をより人間的なものにするためにどのようなアプローチがなされ、さらにどのようなアプローチが必要か、事例をとおして学ぶ。

履修上の留意点

新聞や雑誌等をとおして、コンピュータ、情報処理・通信技術、労働をキーワードに、現在進行している技術革新の徴候に注目されたい。

成績評価の方法

授業への参加とレポート内容

教 科 書

使用せず、プリントを準備する。

参 考 書 等

授業の中で情報を提示する。

そ の 他

講義形式というより、提供した資料に基づいて、データの捉え方、課題の発見、課題解決のための研究目的・方法等を考えていく方式を採用したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
老年心理学	なかざと かつほる 中里 克治	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢(老化)と病的な加齢(病氣)を区別することも大切である。一生涯にわたる発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

教科書

下仲順子(編)『老年心理学』(培風館)1997 1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教心理学	くぼ た けい さく 久保田 圭 作	心理2・3・4選	4

講義のねらい

ひと口に「宗教」と言っても、さまざまな様相を呈している。例えば祭のような社会現象として、また個人の心の中に存在する信仰という心理現象として、そして宗教芸術や宗教文学などのような文化現象として、さらに時代によって変遷する歴史現象として等々、いろいろな様相で現れている。このような多様な宗教現象のうち、この講義では宗教の心理的な側面や次元を探究する。

講義の内容・授業スケジュール

宗教心理学のさまざまな領域の中から、本講義で取りあげる主要テーマは次のとおり。但し講義は下記の番号順に行うとは限らない。

- ① 心理学と宗教：宗教の定義と宗教の諸類型  
心理学的宗教心理学と宗教学的宗教心理学  
宗教心理学概史
- ② 気質・性格の類型と宗教
- ③ 宗教意識：神観念、罪意識など
- ④ 宗教経験：回心、ヌミノーゼ、神秘体験、至高体験など
- ⑤ 宗教情操：成熟した宗教情操と未成熟な宗教情操
- ⑥ 修行の心理：ヨーガ、十牛図、靈操など
- ⑦ 自己実現と宗教：ユング、マズローなど
- ⑧ 聖者と聖者性
- ⑨ 宗教の内面化の次元
- ⑩ 病と宗教：信仰治療、心理療法との関連
- ⑪ 母性原理・父性原理と宗教

履修上の留意点

受講生は信仰の有無に関係なく、宗教になんらかの関心を有する者であること。

成績評価の方法

年2回の定期試験とレポートによる。

参考書等

- ・ G. E. W. スコピィ (中村昭之監訳)『宗教心理学』(大明堂)
- ・ 松本滋『宗教心理学』(東大出版)
- ・ G. S. スピックス (久保田圭伍訳)『人間心理と宗教』(大明堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較行動学	こう しま かず こ 幸 島 和 子	心理2・3・4選	4

講義のねらい

春にさえずる鳥達。闇の中で点滅するホタル。秋の夜長を鳴き通す虫達。動物達の行動には一体どんな意味やはたらきがあるのでしょうか。比較行動学-エソロジーは、動物の行動を生物学の立場から解き明かそうとする学問です。もちろん私達人間の行動も研究対象です。

前期は、行動研究の発達史から始め、様々な動物の行動の“しくみ”や“はたらき”、“発達”など行動学の基礎的概念について講義を進めます。また動物が環境をどう認識しているか、動物間でどのようなコミュニケーションがなされているのかについても講義します。

後期には、オスとメスのかけひきや精子戦争、利他的な行動の進化など、行動が動物の生存にどう役立っているのか“行動の機能”を中心に講義を行なう予定です。

また、心の科学である心理学と最近の脳科学の成果との接点についても触れてみたいと思います。

より身近に生物学的な理解を深められるよう、できるだけOHPやスライド、ビデオなど視覚的資料を使い動物達の野外での生き方を提示する予定です。

また、前・後期あわせて2回程人間の行動観察（マン・ウォッチング）実習を行ない、日頃あまり気にとめることのない私達の日常の興味深い行動について実際に観察し考察する予定です。

成績評価の方法

講義の進行にあわせて提示するテーマやマン・ウォッチング実習の結果についてのレポートと期末試験の成績に基づいて評価します。

参考書等

随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
精神医学	い で めぐみ 井 出 恵	心理2・3・4選	4

講義のねらい

精神医学（psychiatry）とは医学のうち、とくに精神面を直接の対象とする分野である。その知識は、心理・福祉・教育など、広い分野において有益なものである。さらにそうした職業を考える者や、人間の内界に興味を持つ学生もにとっても、基礎的な精神医学的考え方を身に付けておくことが役立つと思われる。

本講義では、精神分裂病、躁うつ病、神経症など精神医学において中心となる疾患だけでなく、最近注目されている人格障害（境界型人格障害、自己愛性人格障害など）や、回避・引きこもりなどの社会的行動の諸問題についても言及する。授業ではなるべく具体的な症例を挙げて各病態の理解を深めるよう努める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 原因と症状の診断名
- 2 主に心因によるもの  
心身症、神経症、その他
- 3 主に内因によるもの  
感情障害（躁うつ病、精神分裂病）
- 4 主に器質因によるもの  
痴呆、アルコール関連障害など
- 5 性格のかたより（人格障害）

成績評価の方法

レポートによる

教科書

山下格 新版『精神医学ハンドブック』（日本評論社）2300円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特講Ⅰ	RATNIN DEWARAJA (デワラジャ R. D.)	心理2・3・4選	4

講義のねらい

この講座では、主に「行動療法」がよくつかわれる臨床心理学的および医学心理学的な問題を概観し、その心理的問題が「行動療法」を用いてどのように治療されているのかその実際を事例研究（ケーススタディ）を通して学習し、クラスディスカッションによって理解を深めていく。そしてこの講座の終わりには、心理的問題を行動心理学的な立場から理解することを目指している。また適宜心理学用語を英語で教示していくので、専門用語の習得にも役立ててほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 行動療法の特徴と他の治療法との比較
- 2) 行動療法の基礎
- 3) 恐怖症とその行動療法
- 4) 広場恐怖症とその行動療法
- 5) 社会恐怖および対人恐怖症とその行動療法
- 6) 社会的技能訓練 (social skills training)
- 7) 強迫神経症とその行動療法
- 8) パニックディスオーダー
- 9) 不眠症とその行動療法
- 10) 痛みと痛みに対する行動療法
- 11) 摂食障害とその行動療法
- 12) 異常性行動とその行動療法
- 13) 家族問題とその行動療法
- 14) 認知行動療法

履修上の留意点

各学生が積極的にディスカッションに参加することを望む。

成績評価の方法

出席と平常のディスカッションでの参加態度・内容で評価する。さらに個人またはグループ単位で、「行動療法」の事例研究（ケーススタディ）を一つ選んで学習発表してもらい、そのディスカッションの内容も評価する。

教科書

とくにない。

参考書等

随時紹介していく。MEDLINE と PSYCHOLOGICAL ABSTRACTS データベースからも適当な論文を提示する。

その他

さらに詳しい情報が欲しい場合は、インターネットの <http://www.intio.or.jp/ratnin> のホームページにアクセスしてください。なお授業は日本語で行います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特講Ⅱ	さ とう まさ や 佐 藤 方 哉	心理2・3・4選	4

講義のねらい

テーマは「人間行動論」。行動主義心理学の立場から、人間が他の動物と比較してどのようにユニークかについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

動物行動の一般的原理を概観した後、人間を人間たらしめているともいえる言語の問題を分析し、それを踏まえて人間の特徴を浮き彫りにする。言語を有するが故に、人間の知覚、動機づけ、情動、学習、記憶、思考などが他の動物とどのように異なるかを明らかにしたい。

履修上の留意点

「学習心理学」を履修済みか履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

期末テストの成績のみではなく、随時行う小テストの結果や、平常の討論への参加などを考慮して総合的に評価する。

教科書

教科書は、杉山尚子・他『行動分析学入門』（産業図書）1998

参考書等

参考文献は、必要に応じて紹介する。

その他

講義を中心とするが、活発な討論を期待する。毎時間 OHP を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特講Ⅲ	讃岐真佐子	心理2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、臨床心理学の基礎を学ぶ事を目的としている。臨床心理学は、何らかの状況において心の悩みをもつ人に対して、その人自身の力が回復していくよう、心理的な働きかけをする面接活動を中心とし、その過程で生じる様々な現象や問題について研究する領域と考えられる。そのためには種々の勉強が必要だが、①人間の心をどう把握するかという“理論的学習”、②多様な体験をとおして自分自身を理解していく“体験的学習”、③実際のカウンセリング（面接）場面で起こり得る事柄を、事例によって学んでいく“事例研究”等が特に重要と思われる。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義では、主にこの①と③を中心に進めていく。具体的には、前期はまず一般的な面接について、その位置付けや構造、初回面接の意味等を学び、さらに主に深層心理学的観点から心の基礎理論を概観する。次にこれらを踏まえ、人間の発達段階にそってその時期に発現してくる様々な問題行動や症状を説明し、事例を通してその理解を深めていく。

後期は、前期の内容をさらに発展させ、細かく学んでいく。また箱庭療法や絵画療法等、言語を直接用いない諸技法についても、適宜触れていきたい。（スライド・ビデオ使用）

履修上の留意点

授業の性質上、出席を重視する。講義中心で進めるが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらう。また事例は事実とは異なるが、十分な配慮をもって扱う事。事例に関する資料は原則として回収する。

成績評価の方法

出席状況と定期試験の両方を考慮する。

教科書

必要な資料はその都度配布する。

- ・河合隼雄著『ユング心理学入門』（培風館）本体1,300円
- ・『臨床心理ケース研究4』（誠信書房）2,500円

参考書等

- ・鎌幹八郎・名島潤慈編著『心理臨床家の手引』（誠信書房）4,000円
- ・河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）2,000円
- ・『箱庭療法入門』（誠信書房）約2,000円

その他

ビデオやスライド使用時は、教場変更となるので注意する事。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理検査法Ⅰ	もり やま とし ふみ 森 山 敏 文	心理2・3・4選	4

講義のねらい

近年、特殊教育や学校教育の領域、矯正教育の現場、精神神経科や心療内科を始めとする医療の領域、さらに産業関係の領域などにおいて、各々の主な目的は異なるものの、様々な心理テストが行われています。中でも質問紙法によるパーソナリティ・テストや知能テスト、適性テストあるいは器具を用いた知能テストなどは、パーソナリティの評価や解釈に伴う、テスターの専門的なトレーニングは常識的なこととしても、現代人の教養としての初歩的な知識や技能の水準程度は学んでおきたいものです。

さらに、将来、臨床心理士の専門資格を取得するための第一段階としても必要な技能であり知識といえます。

講義の内容・授業スケジュール

一年を通して、数種の心理テストの理論と技法を学んでいくことになります。

履修上の留意点

将来、専門的な仕事—カウンセラーや臨床心理士を始めとして—を希望している学生は勿論、どうしようか迷っている学生も、進路を考えていくための一助にして欲しいと思います。

成績評価の方法

平常点による評価。発表・討論・報告書の内容・実習態度を中心に、出席率を参考にしていきます。

教科書

必要に応じて紹介したいと思います。

その他

実習を中心に、グループ・ディスカッション・リポート作成などを通じて、心理テストの原則について学んで頂きたいと考えています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理検査法Ⅱ	もり やま とし ふみ 森 山 敏 文	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講座では、いわゆる Projective Technique について体験学習を中心に進めていきたいと考えています。実際の心理臨床の場面に役立つ、基礎的な知識や技能の修得を目指すという意味では、心理アセスメント法としては勿論ですが、心理的なケアや心理面接のための基礎になる体験になれば、さらに良いと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

一年を通して、数種の Projective Method — 描画法、SCT、TAT など — を学んで頂きたいと考えています。さらに、ロールシャッハ法の基礎知識の修得とテスト体験まで入っていけると、一層よいでしょう。

履修上の留意点

心理臨床の専門職を将来希望している学生には是非履修して頂きたいと思っています。専門職とは何かと想像している学生にも、答えていきたいと思っています。

成績評価の方法

平常点による評価。発表・討論、報告書の内容、実習参加への態度を評価します。出席率は参考にしていきます。

教科書

必要に応じて紹介していきたいと思っています。

その他

実習と討論を旨としていきたいと思っています。随時、コメントやアドバイスをしていく予定です。本講座は、一般的な興味や関心のある方々にとっても、Technique Manualとして学ぶことは、自分や他人の理解の上で、少なからず役立つでしょうし、心の健康ということを考えていくばあいの手掛かりになると思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
カ ウ ン セ リ ン グ	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	心理2・3・4選	4

講義のねらい

カウンセリングは、単に知識や理論を概念学習するだけでは不十分な実践習です。実際に人とかかわり、援助し援助される関係を体験学習すると共に、絶えず自己を見つめ自己成長しつづける必要があります。  
本講座では、様々なカウンセリングの理論と技法を、まず自分自身に適用してみて自己理解を深め、カウンセラーとしての自己成長をめざして、グループによる体験学習をすすめていきます。

履修上の留意点

毎回出席をとり、出席が重視されます。

成績評価の方法

平常点と体験レポートにより評価します。

教 科 書

中西信男・渡辺三枝子編『最新カウンセリング入門』（ナカニシヤ出版）2,000円

参 考 書 等

西光義敞『暮らしの中のカウンセリング』（有斐閣）  
國分康孝『カウンセリングの理論』（誠信書房）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 I	かる べ ゆき ひろ 軽 部 幸 浩	心理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義では、コンピュータを用いて、自らが心理学実験システムを構築できうるだけの、最低限のプログラミング知識をやしなうことを目的としている。具体的に授業中で習得を目標としているコンピュータ言語は、Visual Basicである。また、プログラミングをおこなう上で、必要となる種々の基本的な知識については、1年次の「コンピュータ実習」ですでに習得済みであるので、授業では、さらに深くコンピュータ・システムについての説明をおこなう。また、授業内で提出する印刷物は、すべてワープロ（MS-Word）によって作成する。

なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで、より理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中に購入することをすすめる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、授業内でその課題についての説明と実習をおこなう。課題は基本的プログラミングと、それに付随して応用的プログラミングの両方をおこなう。具体的な内容は次のとおりである。

- ・プログラミングの基礎
- ・フローチャートについて
- ・Visual Basic の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・電子メールおよび WWW の利用方法

#### 履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を3回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする（心理学基礎実験準拠）。

授業時間内だけでは、絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回（1回平均約2時間）程度の実習が必要となるであろう。また、課題を電子メールにて提出することをおこなうため、電子メールアドレスは必須のものである。

なお、教室のパソコン台数の都合上、履修を希望する学生が多数の場合、抽選をおこなうこともありうる。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とする。年度末におこなう筆記試験とあわせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

#### 教 科 書

基本的には授業中に配布する資料でおこなう。

#### 参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理Ⅱ	まきの野 晋	心理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義では、コンピュータ実習や情報処理Ⅰなどを通じて身に付けたコンピュータ・リテラシーを十分に活用し、情報処理に関するより深い理解とより高度な技術の習得を目的とする。まず、情報処理に関する基礎知識、コンピュータ・ネットワークに関する基礎知識などを学ぶ。次に、実験データの分析について学ぶ。また、コンピュータを利用した効果的なプレゼンテーション方法などについても身に付けてもらいたいと考えている。これらを通して、各自がパーソナルコンピュータを個人で所有した際、それを自力で活用できるような応用力を身に付けさせたい。

具体的な主な講義内容は次のとおり。まず、計算機・情報処理、コンピュータ・ネットワークやインターネットに関する基礎知識の習得を行う。この単元は主に講義形式になる。次に計算機を使ったデータ解析を中心に、コンピュータを用いて卒業論文レベルの実験データの分析が独力で可能となることをめざす。実習にはPC-SASを使用する予定だが、単に統計パッケージの使い方をマスターするのではなく、統計的手法の基本を含めて学習する。得られた結果をレポートにまとめることで、他のアプリケーションとの連携についても学習する。さらに、コンピュータを使ったプレゼンテーションの技術を習得し、自分の考えをいかに効果的に表現するかについて学ぶ。これは卒論の発表などや卒業後社会に出てから必要になる知識であろう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式に加え、主に実習形式で行う。ビデオの映写が可能ならばビデオ教材も使用したい。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回簡単な課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・情報処理概論
  - ハードウェアとソフトウェア、OSの理解、データの符号化と内部表現など
- ・コンピュータ・ネットワークの基礎とインターネットの現状について
  - ネットワークの基礎知識の習得
  - 自分のパソコンをインターネットに接続するには？
  - HTML入門など（可能ならば）
- ・主にPC-SASを利用しての統計処理および分析方法の理解
  - データ解析と統計的手法の基礎
  - PS-SASの操作方法の習得
  - SASプログラムの書き方
- ・コンピュータを使ったプレゼンテーションの総合実習
  - MS-PowerPointを使ったプレゼンテーション

#### 履修上の留意点

本講義の受講にあたっては、コンピュータ実習の単位を習得していること、または同等の知識を持っていることが条件となる。キーボードのブラインドタッチもできないような状態での受講はできない。ワープロを使ってのレポート提出、Excelを使ってのグラフ作成などを求めるので、これらを習得していることも条件になる。

また、本講義は実習形式で行うことが多いので、2回以上続けて欠席すると授業の内容が理解できなくなるので注意を要する。

さらに、本格的にコンピュータを応用するためには実習が不可欠である。授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足するので、各自自習室等を利用した自習が必要となる。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、年度末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、履修人数、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

#### 教科書

- ・授業の中で配布する印刷教材。
- ・新城明久著『PC SASによる基礎統計学入門』（東海大学出版会）

#### 参考書等

参考書については、授業中に適宜紹介する。

SAS、ネットワークの基礎については、次の参考書をあげておく。

- ・竹内 啓監修、市川伸一・大橋靖雄・岸本淳司・浜田知久馬著  
『SASによるデータ解析入門 [第2版]』（東京大学出版会）
- ・SASの具体的なプログラミング方法についてわかりやすく解説してある。独力でプログラミングする必要に迫られたとき、よい参考書になるので教科書と合わせて手元に置きたい。
- ・高辻秀典・大塚秀治編著『インターネット・リテラシー』（工学図書）
- ・コンピュータ・ネットワークやインターネットの基礎知識から利用マナーまで、大学生とし

て身に付けておくべき知識について解説してある。電子メールなどの具体的な操作方法については環境が異なる部分もあるが、是非目を通してもらいたい。

そ の 他

年間2～3枚程度のフロッピーディスク（2HD）が必要となる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 人 類 学	さ さ き こう かん 佐 々 木 宏 幹	心理2・3・4選	4

講義のねらい

宗教は人類文化の最古層に属すると考えられている。宗教人類学は人間の営みとしての宗教文化を文化人類学、社会人類学、民俗学の方法と理論に拠って研究する学問である。  
人間にとって、人類にとって宗教とはなにかという問題を、人類学や民俗学の研究成果を十分に利用しながら追究し、人間が生きるということの意味の考察につなげていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下のような内容を企図している。1.文化と人間、2.社会と世界観、3.宗教の原形形態、4.人間と動物、5.民族宗教、6.世界宗教、7.アニミズム・多神教・一神教の関係、8.仏教・キリスト教・イスラム教、9.民族問題と宗教、10.環境問題と宗教、11.習合宗教、12.アジア宗教の特色、13.日本宗教の特色、14.新宗教とは、15.「ほとけさま」と日本人。  
講義には必要に応じて資料を配布し、またスライドやビデオを使用し、理解の助けにしたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。  
夏休み中に「故郷の宗教行事」（仮題）のようなりポートを書いてもらうことを考えている。

成績評価の方法

講義内容にそったりポート作製。400字詰原稿用紙5枚～8枚程度（参考文献名を明記すること）。

教 科 書

佐々木宏幹著『聖と呪力の人類学』（講談社）840円

参 考 書 等

佐々木宏幹著『宗教人類学』（講談社）980円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	小野 浩一	心理3選	4

講義のねらい

本演習は、卒論2年間コースを希望する学生のための3年次の演習である。3年次においては各自テーマを決定し、そのテーマについての学習を行い、データ収集の準備（できれば予備実験や予備調査）を行う。

演習は、テーマが近いもの同士でグループを作り、各グループが共通の問題について論文を調べたり、議論した成果をさらに全体場で討議するという形で進める予定である。

履修上の留意点

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席とレポートによって評価する。

参考書等

米国科学アカデミー編（1996）『科学者をめざす君たちへ』（化学同人）

B. F. スキナー（1990）『罰なき社会』行動分析学研究第5巻第2号

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	佐々木 雄二	心理3選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文作成へ直結する演習である。したがって本講を受講する過程で、自分の卒業研究のテーマを見出し、具体的な研究計画を立てていくことになる。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 臨床心理学領域（カウンセリング心理学、健康心理学、心身医学を含む）の専門誌（欧文誌が望ましい）から近年の研究動向を知る。
- ② それらの中に見出される研究内容から自分の関心の強いテーマを探す。
- ③ そのテーマで卒業研究として進めていくことができる具体的な方法を追求する。

参考書等

本学図書館で閲覧可能な心理学領域欧文誌の「一覧表」を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 特 殊 演 習	たに ぐち やす とみ 谷 口 泰 富	心 理 3 選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文が必修となっているが、実証的研究の時間としては1年間では不十分である。そこで本講では、将来の卒業論文作成に関する基礎的問題を演習形式にて検討することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講では、学生が自分の関心のある研究領域を決定するための助言を行い、卒業論文作成のための文献講読や予備実験等についての指導を行う。

履修上の留意点

本講では、特に生理心理学や人格心理学の領域にしぼった形での指導が中心となるので、学生も予め自分の興味のある分野について考えておくことが望ましい。また、演習形式にて実施するので、課題やレポートの提出回数は多くなる。従って、そのための時間が充分であることが必要である。なお、遅刻や欠席については厳しく指導する。

成績評価の方法

研究報告書や課題レポート（一人一人異なる）により評価する。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 特 殊 演 習	ち ほら ただし 茅 原 正	心 理 3 選	4

講義のねらい

3年次選択の「心理学特殊演習」は、対話討論方式の授業によるもので、4年次必修の「演習」に準ずる性格をもつ。したがって、この演習は卒業論文作成の準備段階としての役割を担っており、学生も2年間かけて卒論研究に取り組むことになるので、各人が、関心をもった自己のテーマをよく考慮した上で選択されたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前 期〕

意識の問題、心理的時間、瞑想の心理・生理、身心の統御、呼吸法などに関する欧文文献を輪読する。

〔後 期〕

各自がテーマとする分野に関する報告を義務付ける。特に、年度の後半においては、各自の研究結果の発表、質疑応答を通して問題点を認識し、4年次の卒論作成に備える。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

教 科 書

*The Psychology of Consciousness* by R. E. Ornstein の予定である。  
プリント配布。

参 考 書 等

参考書・文献等については、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	なが た よう こ 永 田 陽 子	心理 3 選	4

講義のねらい

本演習は4年次に提出の卒業論文を2年間かけて作成することを希望する3年次の学生を対象として設けられた演習である。従って、受講者が卒業論文のための各自の主題を明確にし、そのための文献研究や実験・調査の準備を行うことが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、受講者各自の論文テーマを明確にするために、文献研究を中心に行う。後半は、その研究テーマをもとにした具体的な研究方法について検討する。受講者は各自のテーマについて個別に指導をうけると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、4年次の卒業論文に備える。

履修上の留意点

各受講者の研究に基づく面接は随時行われる。

成績評価の方法

口頭発表とレポートによって総合的に評価される。

参考書等

必要な参考図書および文献は演習時に随時提示される。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	ま じま ひで とし 間 島 英 俊	心理 3 選	4

講義のねらい

本演習は4年次の卒業論文作成を2年間かけてじっくり構想をかさね、より質的に高い研究をするための3年次の演習であります。そのために、4年次の演習の「講義のねらい」に準拠します。

講義の内容・授業スケジュール

4年次の「演習」の講義のねらい、講義内容・授業スケジュールをそのまま当てはめることができます。ただし、時間的には余裕がありますので、この演習では各自の研究テーマの設定のために、前期は文献研究を中心に進め、後期は研究テーマの設定、研究計画および実施まで辿り着きたいと思えます。

履修上の留意点

基本的には上述のように4年次の演習に結びつくことがねらいですが、履修届けの前に一応どんなことに興味をもって卒論として取りくみたいかを話し合いたいと思えます。その上で、本演習を希望するのであれば履修していただきたいと思えます。

成績評価の方法

出席、レポート、発表等演習における真摯な研究態度に対して評価がなされます。

参考書等

参考書、文献等については随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
家族社会学	いわ 岩 上 真 珠	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

家族はこれまで、主要で基礎的な社会集団だといわれてきた。しかし今日、未婚化、少子化、女性の就労、長寿化とライフサイクルの変化といった社会現象の諸変化にともなって、結婚の意味、子育ておよび子どもの教育、親子関係や夫婦関係のあり方、老後生活の送り方などをめぐって、あらためて「家族」が問われている。

講義では、かつての概念や定義が大きく揺れている「家族」の現状をあきらかにし、家族とは何かを一緒に考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。

- 1) 家族と文化－多様な社会・多様な家族
- 2) 産業化と家族－近代家族の出現
- 3) 日本の家族－いえ制度とその後
- 4) 結婚と家族
- 5) 家族のライフサイクル
- 6) ジェンダーと家族
- 7) 家族の脱制度化

履修上の留意点

柔軟な発想で聴講してもらいたい。また随時意見や感想をレポートしてもらう予定である。

成績評価の方法

中間と期末の2回の定期試験および平常点で評価する。

教科書

講義のはじめに指示する。

参考書等

講義中、適宜指示する。

その他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教社会学	はが まなぶ 芳賀 学	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい	現代日本では、多くの若者たちが宗教現象に関心を寄せていると言われる。「豊かな時代」の今、若者たちは宗教に何を求めているのだろうか。この講義では、この問題を解くことを目指して、さまざまな現象を順次取り上げ、社会的背景とそこに生きる人々の心理構造に照準して考察を進めていくこととしたい。言い換えれば、ここでは、白黒の判断を下す前段階として、まず、宗教現象に関与する人々（とその心理）を理解することが目標となる。
講義の内容・授業スケジュール	スケジュールを示せば、まず、最初の数回、ここで採用するアイデンティティに関わる視点について、その特徴を解説する。それに続く前期の講義では、この視角を用いて、幕末から現在に至る日本の新宗教の歴史を、信者の入信理由とその社会的背景の変遷に着目しつつ概観する。一方、後期の講義では、自己啓発セミナー・エステ・占いなどの宗教周辺現象を取り上げ、現代の若者の置かれている社会状況に関して、より突っ込んだ考察を進めていく。
履修上の留意点	この講義を履修するに当たって要望したいのは以下の2点である。①有用な情報を用意しているので、可能な限り講義には出席すること。②多くの情報をどん欲に摂取すると同時に、それを鵜呑みにせず、自分に引きつけてじっくりと考える態度を意識的に維持すること。
成績評価の方法	成績の評価は、夏休みに課すレポートと、年度末に行うペーパーテストとの総合評定で行う。なお、レポート・テストのいずれかが欠ける場合には、単位は基本的に認定しない。
教科書	使用しない
参考書等	授業開始後に適宜紹介する。
その他	授業方法の中心は講義であるが、ビデオ映像なども折にふれ積極的に活用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法	はい とく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい	現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国内的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。 本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	i 行政とは何か ii 行政の原則 iii 行政法の意義と解釈 iv 行政作用の分類と内容・効力 v 行政行為の瑕疵と効力 vi 行政手続 vii 行政上の強制の方法と制裁 viii 国家による賠償と補償 ix 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続
成績評価の方法	成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。
教科書	林修三著『行政法』（第1法規出版）1,800円 『小六法』出版社・定価各種
参考書等	原田尚彦著『行政法要論』（学陽書房）3,000円 塩野 宏著『行政法I・II』（有斐閣）4,000円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
障 害 者 福 祉 論	なる かわ よし お 生 川 善 雄	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、①障害のある人々の障害状況を可能なかぎり軽減し、障害のない人々と同様の生活条件を享受できるようにすること、②障害があるが故に入学しにくい、就職しにくい、などの社会常識の根底に潜む障害者観の歪み（差別や偏見など）を変革すること、の2つの面が課題となってくる、ともいえよう。

今日のわが国の障害者福祉は、行政努力、当事者運動、国民の人権意識などを反映して、さらには、国際障害者年や各種の国際会議などの影響もあり、制度的にも実践的にもかなり発展してきている。

本講義においては、上記のことをふまえ、障害問題、障害者に関する諸研究を調整し、大きく変化しつつある今日の福祉状況を見つめながら、障害者福祉の課題について検討していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

内容としては、障害者福祉の基底に流れる理念、障害者の自立、障害の概念、障害者の実態と福祉ニーズ、身体障害者、知的障害者、精神障害者に対する福祉施設・制度、保健・医療、雇用、所得保障などの障害者福祉の関連施策、障害者福祉における民間活動、障害者福祉にたずさわる専門職、ボランティア、障害者の家族支援、障害者に対する相談援助活動などについて言及する。

履修上の留意点

履修者は、障害者福祉の課題を念頭に置きながら、学習を深めてほしい。

成績評価の方法

授業中の小課題に対する回答と、テストにより評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

- ・星野貞一郎 他編『障害福祉論入門 改訂版』（有斐閣双書）1982
- ・福祉士養成講座編集委員会 編『障害者福祉論』（中央法規）1996

そ の 他

講義形式で進める。何回かビデオを使用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 人 福 祉 論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、高齢年金の減額、介護保険の導入決定等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、近未来の21世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その21世紀に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前期 ⇒ 人口高齢化の意味と状況  
わが国における高齢者の生活実態及び高齢者像  
老年期の心身の状況、etc.
- 後期 ⇒ わが国における高齢者対策の歴史  
老人福祉対策・サービスの現状および課題  
今後の高齢化社会にむけて、etc.

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないので、そのつもりで履修すること。

成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

教 科 書

冷水豊編『老人福祉論』（メヂカルフレンド社）  
冷水豊編『老人福祉－政策・処遇の視点と方法－（第三版）』（海声社）2,000円

参 考 書 等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童福祉論	前期：山本真 後期：許斐	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、「児童福祉」を《社会的子育てシステム》と捉え、現行の児童福祉の法制度を検討しながら、子どもを養育する社会の責任および公的責任、子育てに関する公的・社会的支援・援助のあり方を考察する（子ども家庭福祉論）。また、児童福祉法の成立・展開過程や子どもの権利条約等の検討を通して、子どもの権利の基本的な考え方および児童福祉法の基本理念を学び、《子どもの権利擁護システム》としての児童福祉法制度について理解を深める。なお、これらの参考として、カナダの子ども家庭サービスについても言及したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 子どもの現状と子どもの人権
- 2) 子ども家庭政策の展開と最近の動向
- 3) 子どもの権利の考え方
- 4) 児童福祉法の理念
- 5) 子ども家庭福祉に関する法制度
- 6) 子ども家庭福祉サービスの現状と課題
- 7) 児童虐待の実態と相談援助の実際
- 8) カナダの子ども家庭サービス

履修上の留意点

受講学生には、児童福祉を知識として学ぶだけではなく、子どもが権利の主体であるという新たな理念を正しく理解し、子どもと家族に対する支援・援助のあり方を自分なりに考えることを期待している。

成績評価の方法

主として学年末の試験によるが、レポート等の成績を加味することもある。

教科書

許斐有『子どもの権利と児童福祉法』（信山社）  
『社会福祉症六法』（出版社は問わない）

参考書等

永井憲一・寺脇隆夫編（許斐共著）『解説・子どもの権利条約』（日本評論社）  
ささやななえ『凍りついた瞳——子ども虐待ドキュメンタリー』（椎名篤子原作）（集英社ほか）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行に見直しがなされています。現在は、激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働条件決定に組合の及ぼす影響は、一見地味ではありますが、無視できません。

また、この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の改正なども見られます。

解釈においては、何が、変わるのかまた、このような中にあっても変わるべきではないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

(1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。

(2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応の項目を述べるに止めます。

- ① 労働法の基礎的考え方
- ② 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- ③ 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- ④ 雇用における平等－同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント、
- ⑤ 労働条件を決定しているもの－就業規則、労働契約、労働協約
- ⑥ 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為、
- ⑦ 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間、
- ⑧ 人事異動－配転、出向、転籍、
- ⑨ 雇用の出口－解雇、定年、退職、
- ⑩ 賃金、諸手当、退職金、
- ⑪ 労働時間、時間外労働、
- ⑫ 休憩、休日、休暇、
- ⑬ 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。

教科書

指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法	たけなか 竹中智香	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版〕』（有斐閣双書）1,648円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論	あさの 浅野克巳	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（其他国家試験）の受験対策として必要に応じ問題練習も行うので、下記の問題集も用意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I. マクロ経済学の理論
  1. 経済循環と国民所得の概念
  2. 国民所得の決定
  3. 経済の変動と成長
  4. 賃金・物価・インフレーション
- II. ミクロ経済学の理論
  1. 消費者行動の理論
  2. 企業行動の理論
  3. 市場と価格決定
  4. 市場と企業
- III. 公共政策
- IV. 国際経済学

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス改訂版』（成蹊堂）1995年

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）1996年

## 2 他学部履修科目



## 2 他学部履修科目

禅学概論	(佐藤秀孝)	377
中国禅宗史	(田中良昭)	377
日本禅宗史	(原田弘道)	378
禅籍講読 I	(田中良昭)	379
禅籍講読 III	(佐藤秀孝)	380
仏教概論	(平井俊榮)	381
インド仏教文化史	(奈良康明)	382
中国仏教文化史	(永井政之)	383
日本仏教文化史	(袴谷憲昭)	383
中国古典語初級	(石井公成)	384
中国哲学史	(前川亨)	384
上代文学研究 I	(小野寛)	385
中古文学研究 I	(高橋文二)	385
中世文学研究 I	(村上光徳)	386
近世文学研究 I	(富士昭雄)	386
近代文学研究 I	(畑實)	387
比較文学	(満谷マーガレット)	387
児童文学	(山口節子)	388
西洋思想史	(麻生建)	388
演劇概論	(井上理恵)	389
編集実務	(長谷川孝)	389
イギリス文学特講 I	(石原孝哉)	390
イギリス文学特講 II	(高野正夫)	390
イギリス文学特講 III	(岡崎寿一郎)	391
イギリス文学特講 IV	(富士川義之)	391
イギリス文学特講 V	(高松雄一)	392
イギリス文学特講 VI	(丸小哲雄)	393
アメリカ文学特講 I	(新倉俊一)	394
アメリカ文学特講 III	(足田和人)	394
演劇特講(イギリス・アメリカ)	(荒井良雄)	395
時事英語	(サンダース, L. P.)	396
地理思想史	(休講)	
地形学	(小池一之)	397
人口地理学	(大友篤)	397
文化地理学	(小田匡保)	398
応用地理学	(高木正博)	398
現代地理学特論	(長谷川均)	399
日本史特講 VII [近代]	(小泉雅弘)	399
東洋史特講 X [近・現代]	(趙軍)	400
考古学特講 III	(休講)	
日本仏教史 II	(休講)	
西洋文化史 I	(佐々木真)	401
日本民俗学	(谷口貢)	402
哲学史	(山口祐弘)	403
歴史哲学	(麻生建)	403
産業・職業社会学	(休講)	



マスコミュニケーション論 ( 休 講 )		
社会福祉発達史 (林 千代)	404	
国民所得論 (吉野 紀)	405	
日本経済史 (渡辺 新)	406	
中小企業論 (三井 逸友)	407	
社会政策 (光岡 博美)	409	
教育経済論 (谷敷 正光)	410	
日本経済論 (工藤 昌宏)	411	
アジア経済論 (郭 洋春)	412	
中国経済論 (小杉 修二)	413	
アメリカ経済論 (瀬戸岡 紘)	414	
ロシア・東欧経済論 (山縣 弘志)	416	
商業政策 (岩下 弘)	417	
マーケティング (曾我 信孝)	418	
経営管理論 (百田 義治)	419	
労務管理論 (石井 脩二)	420	
財務会計論 (遠藤 孝)	421	
会計監査論 (飯岡 透)	423	
管理会計論 (中原 章吉)	424	
原価計算論 (加藤 利安)	425	
貿易論 (古沢 紘造)	426	
銀行法論 (齊藤 正)	427	
比較憲法論 (齊藤 寿)	428	
比較憲法 ( 休 講 )		
親族法 (竹中 智香)	429	
相族法 (竹中 智香)	429	
西洋法制史 (北野 かほる)	430	
英米法 (北野 かほる)	431	
国際政治学 (岡田 外司博)	432	
ヨーロッパ政治史 (小堀 訓男)	433	
地方自治法 (浦田 早苗)	433	
地方自治法 (富井 幸雄)	434	
議会関係法 ( 休 講 )		
立法過程論 (前田 英昭)	435	
比較政治学 (岩崎 正洋)	436	
現代国家論 (大塚 桂)	437	
比較憲法 ( 休 講 )		
経営労務論 (鹿嶋 秀晃)	438	
国際経営論 (茂垣 広志)	439	
商史 (山田 勝)	440	
保険経営論 (石名坂 邦昭)	441	
財務會計論 ( 休 講 )		
経営分会論 (片桐 伸夫)	442	
税務分会論 (高木 克己)	443	
経営情報論 (高井 徹雄)	444	
情報管理論 (西村 和夫)	445	
経営統計論 (長 国強)	446	
上代文学講読 (佐原 作美)	447	

中 古 文 学 講 読	( 鈴 木 裕 子 )	.....	447
中 世 文 学 講 読	( 藺 部 幹 生 )	.....	448
近 世 文 学 講 読	( 菅 野 一 雄 )	.....	448
近 代 文 学 講 読	( 石 割 透 )	.....	449
現 代 文 学 講 読	( 安 藤 幸 輔 )	.....	449
時 事 英 語	( 休 講 )		
英語演習 I [英語音声の基礎]	( ア シ ュ エ ル, T. )	.....	450
応 用 計 測 学	( 櫃 尾 英 次 )	.....	451



科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	佐藤秀孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禅那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にはかならない。

はじめにインド仏教における禅（禅定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禅宗）の基本的な歴史（禅宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）や田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	田中良昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、中国の禅宗の歴史を考察するものである。仏教の実践道とされた禅が中国に伝来し、菩提達磨を初祖とする系統がやがて中国禅宗を形成し、更にそれが独自の展開を果たし、後にチベット、韓国、日本へと伝承された。この中国禅の歴史的展開を、近年出現した敦煌資料を活用しながら検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

菩提達磨の渡来以前の仏教における禅の状況を序説的に第Ⅰ部とし、達磨の渡来による独特の禅法の開示から、馬祖の洪洲宗、石頭の石頭宗によって禅宗が一宗として確立された中国禅宗の成立を第Ⅱ部とし、禅宗が五家七宗として各々その特性を発揮する唐末・五代から、日本の禅宗の元となった宋朝の禅、更に元代以後の禅という中国禅宗の展開を第Ⅲ部として全体を体系化する。

履修上の留意点

中国・日本の禅学や曹洞宗学を学ぼうとする学生諸君には、その基礎的な知識として歴史的な禅の流れを確かなものにしておくことが、その後の学習にとって最善の方法であると確信している。

成績評価の方法

学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席を重視し、その結果を加味して評価する。

教科書

現在適当なものが存在しないので、ノートを使用する。

参考書等

比較的理解しやすいものに、〈講座禅〉第3巻『禅の歴史——中国——』中の柳田聖山稿『中国禅宗史』があるが、入手困難のため図書館を利用されたい。専門書としては、関口真大『禅宗思想史』、柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、田中良昭『敦煌禅宗文献の研究』、篠原壽雄・田中良昭編『敦煌仏典と禅』、鈴木哲雄『唐五代禅宗史』、石井修道『宋代禅宗史の研究』等が代表的なものである。

その他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて資料を配布し、内容についての説明を可能な限り詳細に加えていきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本禅宗史	原 <sup>はら</sup> 田 <sup>だ</sup> 弘 <sup>ひろ</sup> 道 <sup>みち</sup>	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

- 我国に伝来した禅はその主流となって、類型を異にするものが五つあったと考えられる。
- I. 栄西・聖一・法燈等の流派であり、教禅兼修の家風である兼修禅——教乘禅的性格をもったもの。
  - II. 蘭溪・祖元等の来朝した中国僧によって伝えられた鎌倉禅であり、これは禅林の清規によって祖師禅を挙揚した。
  - III. わが国の南浦紹明（大応国師）が入宋求法して松源一派の禅を伝え、純一無雜に祖師禅を挙揚し、大応・大燈・関山の三代に亘って基盤を築いた応燈関の一流である。
  - IV. これらの臨濟禅とは別に道元によって伝来され、瑩山に至って、宗団として形成され、その門流によって展開された曹洞禅である。
  - V. 江戸時代に隠元によって伝えられた明朝禅——念仏禅——である。  
講義ではこれらを中心にして日本禅宗の歴史を考察する。内容は伝来・受容、発展の実態とその思想的意義も明らかにしておく。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 禅宗の伝来（奈良・平安時代）
2. 兼修禅の勃興とその系譜
3. 曹洞禅の伝来と原始僧団
4. 臨濟禅の伝来と形成
5. 五山の成立と五山文学
6. 臨濟禅（応・燈・関）の展開
7. 曹洞禅の地方展開
8. 近世の禅宗
9. 近代の禅宗

履修上の留意点

禅の教理、思想の理解、日本史の一般的知識の習得をしておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

参 考 書 等

『禅の歴史——日本——』（講座禅第四巻）、鈴木泰山『禅宗の地方発展』  
荻須純道『中世日本禅宗史』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 I	た な か りょう しょう 田 中 良 昭	国文・英文文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、中国で成立した初期の禅籍（禅宗語録）を講読するものである。本年は、初期の禅籍の内、六祖慧能（638～713）が韶州大梵寺で道俗のために説法した語録とされる『六祖壇経』を読む。『六祖壇経』は、長い年月にわたって数多くの異本が生み出されたが、現存最古のテキストである敦煌本の内、近年その内容が明らかにされた敦煌県博物館所蔵本（敦煌本）を用い、その読解を通じて、初期禅思想、特に南宗禅の特色を明らかにしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

オリジナルテキストは写本であるが、近年、楊曾文氏の校定本、周紹良氏の影印・校写本が刊行されているので、両者を比較しながら読解を進める。尚、上記校訂本はいずれも白文（かえり点のない漢文）であるが、佐藤悦成氏による訓読と現代語訳が出版されているので、順番に読み下しと解釈をしてもらい、その上で読み方と内容について詳しい解説を加えていきたい。

履修上の留意点

この講義の履修を通して、原文に触れることの意義を体験し認識していただきたい。

成績評価の方法

平常の当番の際の読解力、出席状況、学年末試験の結果を総合して評価する。

教 科 書

楊曾文校写『敦煌新本・六祖壇経』（上海古籍出版社）、周紹良編著『敦煌写本壇経原本』（文物出版社）の該当部分をコピーして配布する。

参 考 書 等

佐藤悦成和訳『敦煌新本・六祖壇経』（全国曹洞宗青年会事務局）、柳田聖山訳『六祖壇経』（世界の名著）18 『禅語録』（中央公論社）、及び（世界古典文学全集）36A『禅家語録』I（筑摩書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 III	ま とう ひで たか 佐 藤 秀 孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この講義は日本禅宗でも初期の禅籍（禅宗文献）を講読するものであり、それを通して日本の禅宗の特質を考えていくことを目的とする。日本への禅宗の伝来は平安末期から鎌倉時代に始まっており、南北朝時代から室町・戦国時代にはその隆盛期を迎えている。ここで初期の日本禅籍というのは、こうした中世禅林に成立したものをその対象としている。

はじめに日本への禅宗の伝来、兼修禅と純粹禅、臨済宗と曹洞宗の展開とその状況、五山叢林と林下、漢文語録と仮名語法などの問題を概観し、日本禅籍の分類や特徴を講ずる。とくに永平道元（1200～53）や瑩山紹瑾（1264～1325）に始まる曹洞宗の禅籍についてはいくぶん詳しく説明したい。

その後当該の禅籍を講読するわけであるが、今年は『道元禅師語録』をその対象とし、特徴的な上堂語その他を順次に読み進めることにしたい。本書は道元の語録である『道元和尚広録』（『永平広録』とも）10巻を抜粋編集して1巻となした『永平元禅師語録』すなわち『永平略録』のことであり、その編集は道元と同門に当たる南宋の無外義遠（？～1266）によってなされているらしい。その間の事情などを踏まえて本書を精読吟味していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめは講義形式で行ない、後半は内容の講読へと進みたい。

履修上の留意点

仮名の『正法眼蔵』と違い、本書は漢文の語録であるので、読解力を増すように努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表態度）と年度末の定期試験による。

教 科 書

鏡島元隆訳註『道元禅師語録』（講談社学術文庫）700円

参 考 書 等

大久保道舟訳註『道元禅師語録』岩波文庫（岩波書店）520円  
酒井得元訳註『永平元禅師語録』『道元禅師全集』第5巻に所収（春秋社）4,120円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	ひら い しゅん えい 平 井 俊 榮	英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

仏教について基本的な教理を中心に概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

次の大綱にしたがって授業をすすめる。

- 序 章 仏教とは何か
- 第1章 仏陀の生涯
- 第2章 仏の本質
- 第3章 法——仏教の真理観——
- 第4章 一切法——法の分類——
- 第5章 輪廻と業の煩惱
- 第6章 悟りへの道
- 第7章 心——実践の主体——
- 第8章 修行者の理想像
- 第9章 戒律と教団の組織
- 第10章 仏教の歴史

履修上の留意点

出欠は随時採る。

成績評価の方法

期末筆記試験の成績により評価

教 科 書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）1,600円（変更あるやも知れず）

参 考 書 等

平川彰著『三国仏教通史』（春秋社）2,575円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド仏教文化史	な ら やす あき 奈 良 康 明	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

インド仏教を「教理」としてではなく、「文化」としてとらえて、検討したい。ここに「文化」とは生活様式、行動様式としての文化であり、「仏教徒」という社会を構成する人々（出家修行者および在家信者を含む）が、事実として、何を考え、どのように生活していたかをさぐる。したがって、悟りのレベルにある修行や教理、悟りに基づく倫理的生き方などは、無論、仏教である。同時に、功德を積んで良き後生を願う観念や行動、六道輪廻の理解、通過儀礼、祖先崇拜、呪術、祈願儀礼、占星等も仏教徒の生活「文化」である。両者は宗教的レベルと機能を異にするが故に、相互補完の形で共存し、その共存のあり方が興味ある研究対象である。又、インド仏教（徒）はそれを生み、育てたヒンドゥー世界とどうかかわり、如何に位置づけられるか、も興味ある研究テーマである。資料は梵語、パーリ（そして漢訳）語の経・律典と碑文、考古学的遺品等が中心となる。文献学的操作を経て得られた結果は、当時の仏教徒の現実の生活文化と、教団が主張するところとは大きなギャップのあることを示しているし、この構造は中国、韓国、日本ないし東南アジアのテーラヴァーダの仏教文化でも同様である。そして、このギャップこそが仏教（宗教）教団の社会への定着・発展のダイナミズムとしてとらえられるべきものである。

以上の問題意識のもとに今年度は、おおよそ次のテーマにしたがって講義したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 仏教を「文化」としてとらえるとはどういうことか。  
「仏教」をどうとらえるか  
「文化」とは何か？  
仏教（宗教）の二つのレベル：「世間」（自我充足）と出世間（自己凝視）  
仏教文化の「表層」と「基層」  
仏教文化研究の方法論：M. Spiro, M. Ames, 他
2. 古代インドにおける仏教文化とヒンドゥー文化。  
民族宗教としてのヒンドゥー教（世界）  
ヒンドゥー教の特徴：神観念・宗派・特定の教義のないこと・ダルマ  
カースト・ヴァルナ制度と仏教  
古代インドの仏教徒とヒンドゥー教徒の関係（特にカーストをめぐる）
3. 仏教文化における業・輪廻思想の意味。  
古代インドにおける業・輪廻思想の成立  
業思想の構造と機能（含む 死後世界の構造と機能）  
一般的業論の「自覚的業論」への昇華  
懺悔の思想と実践  
業と果報の関係  
業の止滅と改変
4. 功德観念の文化史的発展。  
善業と功德（punya）・悪業と悪徳（papa）  
「作功德→生天」の図式の倫理的・宗教的意味  
功德観念の「出世間レベル」への関係付けないし昇華  
功德の廻向（adesana）と廻向（parinama）  
死者儀礼・祖先崇拜儀礼における功德観念  
「生天」観念の発展と解脱の関係
5. 「餓鬼」（preta）研究。  
ヒンドゥー教におけるプレータと祖霊祭  
古代インド仏典にみる「餓鬼世界」の住人としての餓鬼  
古代インド仏典にみる死者儀礼と関わる餓鬼  
『ペータヴァットゥ』『ヴィマーナヴァットゥ』における餓鬼供養の構造と意味  
テーラヴァーダ仏教における餓鬼観念の変遷と儀礼  
中国、日本における餓鬼供養の構造と変遷

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。そのような文化を中国の歴史の上で見たいこうとするのが、本講義の主眼となる。言葉をかえていうなら、各時代を通じて中国人と仏教がどのような関係にあったかということになる。

今年度は、主として宋という中央集権国家に組み込まれた「禅宗」が、政治・経済・社会とどのように対応していったかを考える。

本来は「方外」の士であるべきにも関わらず、中国の仏教者は、その当初から国家権力への配慮を余儀なくされる。それが伽藍や教団の盛衰に直結していたからである。このような二律背反の世界を抱えつつも、彼らは仏教の中国的な理解に励み、またその受容に努力する。このことは現代に生きる我々にとってもさまざまな示唆をあたえるのではないか。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

教科書

必要なテキストは授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教文化史	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

私は日本の「仏教文化」について講義する資格を有しないと自らは思っている。それを私は仏教学部に申し出ているが、私の思うとおりをやって頂いてよい、ということなので、通常の講義と思って出る方は、失望と落胆を味わうことになると思うので遠慮されたい。この授業は講義ではなく、『国体の本義』の批判的な講説を通して、日本における「仏教文化」の問題点を考えていこうという、むしろ演習であると了解されたい。

講義の内容・授業スケジュール

『国体の本義』を冒頭より演習形式で読みすすめる。最初の数時間のみは、本書の成立状況等について講義するが、これが1年間続くのだとは、履修登録の際には決して考えないでもらいたい。

履修上の留意点

教科書はもとより関連諸文献を自ら読もうとする者でない限りは履修は無理と思われるので、その点留意されたい。

成績評価の方法

平常点とする。

教科書

『国体の本義』（昭和12年3月、文部省刊）。もちろん、現物を今求めることは難しいが、図書館には多数所蔵されているので、借り出すかコピーするかして授業には必ず持参してもらいたい。

参考書等

家永三郎『日本文化史』第二版（岩波書店）1982年 600円

袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）1998年 4,800円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国古典語初級	いし 井 公 成 石 井 公 成	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『莊子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。

成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

教科書

使用せず、コピーを配布する。

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国哲学史	まえ かわ どのる 前 川 亨	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

中国人の世界観・人間観・死生観などを歴史的に把握することを目的とする。具体的には儒教・仏教・道教の思想とその相互関係を理解するように努める。その際、東アジアの思想史という広い視野を失わないように心掛けたい。中国人の思考様式、諸思想（宗教）がいかに我々日本人に受け容れられたか、また受け容れられなかったかを考えてみたい。一見抽象的にみえる思想史も、実は我々の現実と深くつながっているのだということを、共に学んでいこうと思っている。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者の顔ぶれ・関心の方向を勘案して、前年度同様に孔子から始めて唐・宋代に及ぶか、それとも前年度に引き続いて唐・宋代から始めて近・現代に及ぶかを決めたい。いずれにしても、断代史的ではなく、問題史的に進めていくつもりである。受講者はそこから関心のある問題を発見して行ってほしい。

履修上の留意点

中国の思想・宗教・文化など多方面の関心のある諸君の受講を期待する。現代中国語もしくは古典中国語の初歩的な知識をもっていること（持とうという意欲を持っていること）が望ましいが、授業したいはそれなしでも理解可能であろう。但し当然ながら、本講義内容に関心をもち、継続して出席する意欲を意志を有する者に限る。レポートだけ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちで登録してはならない。

成績評価の方法

授業に関連するレポートを前期・後期に提出してもらおう。それ以外の評価方法も検討したい。

教科書

特に必要としない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの情報を提供するため、講義形式をとるが、受講者の皆さんの意見なども聞きながら進めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究Ⅰ	おのの 野 寛 <small>ひろし</small>	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい	万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。
講義の内容・授業スケジュール	昨年は万葉集巻一をよみ進めて来たが、今年度はその続きを同じく巻一から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。
履修上の留意点	講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。
成績評価の方法	学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。
教科書	小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究Ⅰ	たかほし 高 橋 文 二 <small>ぶんじ</small>	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大・短英	4

講義のねらい	平安朝の女流文学作品の中に表れた人間観、宗教観、自然観の意味するところを問い尋ね、その文学世界の特質を考える。
履修上の留意点	講義の該当箇所を予習し、そこに出てきている作品の原文を確認しておくことが望ましい。
成績評価の方法	出席の状況、夏休みの課題レポートの提出、期末テストの成績で評価する。
教科書	未定（4月出版予定のものを使用予定）
参考書等	講義時間内に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学研究 I	むら 村 かみ 上 みつ 光 のり 徳	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

中世隠者文学について講ずる。隠者とは何か。中世の隠者文学の特色などを考え、西行・長明・兼好・正徹、心歌などの遁世の動機や生き方、物の考え方、さらにそれぞれの作品を読み、自然観、無常観、美意識などを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

講義が中心、そのときどきに応じて講読する作品を配布し、西行から一人一人について考えて行く。

成績評価の方法

①筆記試験、②出席状況。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学研究 I	ふ 富 じ 士 あき 昭 お 雄	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

芭蕉の俳諧紀行の講読を通して、芭蕉の俳諧文学の特質を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

『野ざらし紀行』『笈の小文』などを精読して、『おくのほそ道』へ至るまでの俳諧紀行文の成立と展開の諸相について理解を深める。

成績評価の方法

学年末の定期試験で評価するが、出席状況も考慮に入れる。

教科書

プリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学研究 I	はた 実 のる	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい	明治の末に文壇の中心的存在であった自然主義文学をとりあげる。その当時に出た小説、評論類を考察して日本の自然主義文学の特色をあきらかにすると共に、文壇の主流を占めた理由、およびその限界等を考えていくことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	前後期とも講義を中心とするが、必要に応じてプリントを配布し小説や評論の一部を読むことにより理解を深めたいと考えている。
成績評価の方法	学年末に試験を行い出席状況等を考慮しながら総合的に評価する。
教科書	使用しない。
参考書等	授業時に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較文学	みつたに 満谷マーガレット	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短大	4

講義のねらい	文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。明治時代の日本は西欧文化のすべてを「翻訳」しようとしていたといっても過言ではないが、授業では、比較的扱いやすい詩の問題が中心になる。前期では、讃美歌、イギリスの浪漫派、フランスの象徴派の詩人たちやシェークスピアなどが近代日本にどのようにして翻訳されてきたか、作品を精読しながらみていきたい。後期では、逆に日本語の詩（短歌、俳句を含めて）の翻訳問題を焦点にして、十九世紀からの英訳短歌、E. パウンドの英訳謡曲や戦後のハイク・ブームなどをみていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	講義科目ではあるが、授業中、なるべくたくさんのテキストを精密に読んでいきたい。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。
成績評価の方法	前期、後期と試験を行う。
教科書	プリント
参考書等	秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995 日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991 西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994など

科目名	担当者名	配当学科	単 位
児 童 文 学	やま ぐち せつ こ 山 口 節 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英	4

講義のねらい

子どもの発見に始まる日本児童文学の流れの中で、リアリズム作品、ファンタジー作品がそれぞれどう描かれてきたかを、具体的作品を通して理解する。特に宮沢賢治の日本的ファンタジー作品については、作品の底を流れる賢治童話のフィロソフィーを共に考え合う。また、ファンタジー作品が今日的状況をのりを超える力をもつことを、M. エンデの『モモ』やルグインの『ゲド戦記』などの海外児童文学も含めて読み解く。

講義の内容・授業スケジュール

日本児童文学の成立と展開を年代を追ってリアリズム、ファンタジー作品ごとにとりあげる。今日の現代児童文学の状況と新しい潮流について、作家・作品を具体的にとりあげながら児童文学の流れとこれからの展望を考察する。賢治作品については、人間とは何か、真実とは何か、生きるとは何かといった人間の本質を、作品を通して共に考え合い、生きる力を得る授業としたい。海外児童文学では、テーマ、モチーフ、全体の構成を理解し、ファンタジーのもつ力とは何かに迫る。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品は事前に予告するので、必ず読んで授業に臨んでいただきたい。

成績評価の方法

成績評価は、前・後期2回のレポートによる。出席状況や授業態度も考慮に入れる。

教科書

授業の際に、事前に紹介する。

参考書等

授業の進行に併せて関連図書を紹介する。

そ の 他

講義を中心に、ビデオなども用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西 洋 思 想 史	あ そう けん 麻 生 建	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理・経済 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

ヨーロッパ人の基本的なものの考え方、さらに思想史という形で何が形成され、求められてきたかを、できるだけ日本との比較の視点から明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

特に言語の問題に焦点を当て、教科書に基づきながら説き明かし、その背景をも考察する。

履修上の留意点

教科書は毎回持参すること。問題を自分なりに整理し直すため、ノートをとることを勧める。講義は連続しているので、可能なかぎり続けて出席するよう努力すること。

成績評価の方法

学年末の試験による。教科書に記述されていることのみが講義の内容ではないから、その都度の講義に留意すること。

教科書

麻生建著『ドイツ言語哲学の諸相』（東京大学出版会）3,502円

参考書等

特になし。必要な場合は授業中に指示する。

そ の 他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇概論	いの井 うえよし え 恵	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかのように収斂すればいいのかについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

演劇史、ドラマトウルギー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになる。ビデオで舞台に展開される演劇を視聴しながら西洋と日本の演劇の違いも取り扱う。

履修上の留意点

個別な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は国文学特講Ⅹを同時に受講されることが望ましい。

また、実際の舞台を見にいて批評を書いてもらうつもりであるから本講座を受講する者は劇場に足を運ぶことを条件としたい。(観劇料3,500～4,500円)

成績評価の方法

レポート(二回、観劇批評含む)とテストによる。

教科書

木下順二『劇的とは』(岩波新書)650円、平田オリザ『演劇入門』(講談社現代新書)640円(必携)

参考書等

毛利三彌『東西演劇の比較』(放送大学教育振興会)

その他

講義形式ではあるが、ビデオ視聴や観劇後に討論をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
編集実務	はせがわ たかし 長谷川 孝	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英	4

講義のねらい

編集とは、「だれかに—何かを—伝える」という過程に携わる仕事です。つまり「何か」に気づき、その中の意味をとりたて、表現の形を与えて、受け手に引き渡していく、一連の過程が編集という仕事です。そこでは、ものごとの何に目をつけ、何を読みとるのかという「視点(目のつけどころ)」が問われます。この授業では、書籍・新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の整理やレイアウト、原稿づくりなどの、「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを主要なテーマとして、「自分の視点」を育てることを目指したいと考えています。

「だれかに—何かを—伝える」という過程は本来、日常生活や仕事の中でだれもが行っていることでもありますから、編集について考えることは実は、一人ひとりが何をどのように読みとり、どのように伝えて生きているかを考えることだ、とも言えます。現在の情報社会は、多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、一人ひとりが情報の発信人になるよう求められていると言われます。こうした観点からも、編集を考えてみることであれば、と思います。個人紙(誌)づくりの課題は、こうしたねらいもあります。

成績評価の方法

B4判2つ折り4ページの個人紙(誌)を課題作品として提出してもらいます。

教科書

教科書は使いません。(随時、プリントを使用)



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	いし ほん こう さい 石 原 孝 哉	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

シェイクスピアを中心にルネッサンス期のイギリス文学を、広くヨーロッパ文学の流れの中で講じる。

講義の内容・  
授業スケジュール

主としてとりあげる内容は：①神話と文学 ②文学の源流 ③詩・民話・劇 ④ルネッサンスと新学問 ⑤トマス・モアと新しい流れ ⑥エドモンド・スペンサーと『妖精の女王』 ⑦クリストファー・マーロウとヒューマンイズム ⑧ウィリアム・シェイクスピアの世界Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ ⑨獄中作家ジョン・バニヤン ⑩ミルトンの世界 ⑪文学とイギリスの文化

履修上の留意点

完全な講義形式で行なうので予習は必要ないが、トマス・モア、エドモンド・スペンサー、クリストファー・マーロウ、ウィリアム・シェイクスピア、ジョン・バニヤン、ジョン・ミルトンなどの主要作品を、読んでいることが前提となる。このため3・4年生の受講を希望する。

成績評価の方法

成績はレポート、期末試験で評価する。

教 科 書

『シェイクスピア喜劇とロマンスの発展』（三修社）2,000円

参 考 書 等

『同一性の寓話』（法政大学出版局）、その他教場にて指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅱ	たか の まさ お 高 野 正 夫	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版されたLyrical Balladsという、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

履修上の留意点

授業ではよくノートをとること。

教 科 書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	おか ぎき とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernity という言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマッシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらに D. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩に到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅳ	ふ じ かわ よし ゆき 富 士 川 義 之	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

18世紀と19世紀における文学と絵画の関連（いわゆる「<sup>シスター・アーツ</sup>姉妹芸術」）について、とくに風景画と風景庭園の流行、ピクチャレスク美学の成立、ワーズワスからラスキンやペイター等にいたる文学者たちにおける風景志向等に注目しながら講義する。

講義の内容・授業スケジュール

主として取り上げるのは、理想風景、ピクチャレスク美学、風景の発見、ゲインズボロ、ターナー、コンスタブルなどの風景画家、ワーズワス『序曲』、ラスキンのターナー解釈、ペイターにおける風景と記憶の問題、ワイルドの庭など。

履修上の留意点

講義を中心とし、機器を使って風景画などを見る予定。

成績評価の方法

出席は毎回とる。成績はレポートと試験により評価する。

教科書

必要に応じて、プリントを配布する。

参考書等

教室でその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 V	たかまつ ゆう いち 高 松 雄 一	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

本講義ではイギリスにおけるモダニズム文学の種々相を考察する。モダニズムとは20世紀の初め、1910年前後に、英米およびアイルランドに出現した若い文学者たち、たとえば小説のジェイムズ・ジョイス、ヴァージア・ウルフ、批評のT. E. ヒューム、詩のエズラ・パウンド、詩と批評のT. S. エリオット、それに年長の詩人イェイツなどが、それぞれの分野で新しい実験的な表現法による作品を生みだし、従来の伝統的な手法を革新した1つの文学運動というべきものである。

彼らはこの運動の存在理由を自らの批評活動によって論理づけ主張することを怠らず、1920年代から40年代の初めまでイギリス文学の主流を占めるに至ったが、今日のいわゆるポストモダニズムの時代にも、有形無形の影響を残していると言っている。

講義の内容・授業スケジュール

この運動は、しかしながら、唐突に生じたのではない。当時の社会的な変動や、19世紀から20世紀にいたる一連の文学的な展開と密接に結びついている。本講義では19世紀初めのロマン主義文学運動、および世紀末の唯美主義批評との関連にも触れながら、モダニズムの特質を明らかにしてゆきたい。ただし主義主張を羅列するのではなく、上記の詩人や作家の作品から適宜抜粋して具体的に読み、分析しながら考察を進める。

教 科 書

講義内容に応じてプリントアウトした作品や批評を読む。

参 考 書 等

高松雄一編『イギリス文学』（放送大学教育振興会）。イギリス文学の流れをつかむのに役立つであろう。

高松雄一編『想像力の変容』（研究社出版）。主としてモダニズム関係の論考を集めたもの。内容は専門的。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	丸 小 哲 雄	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

#### 講義のねらい

批評行為は人間の本能です。文学テキストの読みに関しての論議が必要なのは、やみくもに文学テキストを読んでもそれほど大きな効用がなく、テキストの読み・解釈・批評の交通整理が必要であるからです。テキスト間の相違に折り合いをつける枠組は、いわば作者の「方法」を読みとるためであり、読み手自身のテキストを作ることでもあります。その「方法」は一般化、普遍化できるものですが、人間の不合理や不条理を取り扱う文学論はテキストの神秘的な解釈から脱神秘的な解釈へいたる回路を、いかに創り出してゆくかが問題となります。

ですから、初発の読書体験を大切に、主体としての〈持続する〉テキストをどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程において、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、テキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。そのために文学テキスト内部からテキスト外部へどう出てゆくのかの手順を批評的ディスカールとして説明してゆきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

テキストの読み方と研究の仕方を覚えるためにさまざまな文学テキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か：日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程：文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

#### 成績評価の方法

試験等による成績評価については、平常点50%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）50%。クラスでの発表者には別途評価。

#### 教科書

『〈持続する〉テキストへの意匠』（英宝社）

#### 参考書等

開講時に読書リストのプリントを配布します。また、読書のための参考書は適宜必要に応じて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	<small>にい</small> 新 <small>くる</small> 倉 <small>とし</small> 俊 <small>かず</small> 一	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

アメリカにおける近代詩の成立の歴史的状况をふまえて、いかにイギリスとは異なるユニークなアメリカ詩が発展したかを、具体的な作品に即して説明していく。それと併せて、新体詩以来の日本の詩にアメリカ詩が及ぼした影響を取り上げたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主として19世紀までのアメリカの詩人たちを紹介し、ポー、ホイットマン、エマソン、ディキンソンからロビンスン、フロストまでの作品を対象とする。後期は第一次大戦前後からアメリカ詩に大胆な革新をもたらしたパウンド、エリオット、ウィリアムズ、ステイーヴンズ、ムア、カミングズ、ハート・クレインから、第二次大戦後に詩と人間の関係を問い直したロバート・ローエル、ベリマン、スナイダー、ギンズバーグ、プライなどの現代詩人の作品を取り上げる。なお、適宜に、エマソンと北村透谷、ポーと萩原朔太郎、ホイットマンと有島武郎、エリオットと西脇順三郎、それに「荒地」の詩人たちやギンズバーグらのいわゆる「ビート詩人」たちの影響などをふれていきたい。

履修上の留意点

講義を中心とし、適宜、ビデオで詩人の紹介を行う予定。

成績評価の方法

前期はレポート提出。後期は詩の解釈および訳についてテストを行う。

教科書

新倉『アメリカ詩の世界』（大修館書店）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	<small>あし</small> 足 <small>だ</small> 田 <small>かず</small> 和 <small>ひと</small> 人	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションと呼ばれる作家の短編小説を読み、その特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの技法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の作品に目を通しながら、講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定された英文テキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求められることもあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間、小レポートを提出してもらい出席とする。加えて、前期・後期あわせて2回のレポートを課し、年間の評価とする。

教科書

『現代アメリカ短編小説選(3)』（南雲堂）

参考書等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 特 講 (イギリス・アメリカ)	あらいよしお 荒井良雄	禪・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

イギリス演劇史とアメリカ演劇史を、欧米演劇の原点であるギリシア・ローマ演劇の伝統をはじめ、最近のロンドンやブロードウェイにおける上演や、映画化作品、さらには日本における受容をも視界に入れて講義する。とくに近代劇と現代劇を中心に、ミュージカルも取り上げて、世界中で上演されている英米演劇の特色と魅力を明らかにしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期はアメリカ演劇を、ユージン・オニールの作品を中心に講義する。後期はバーナード・ショーとノエル・カワードの演劇が中心である。

1. Tragedy and Comedy
2. Eugene O'Neill
3. Lillian Hellman
4. Arthur Miller
5. Tennessee Williams
6. Edward Albee and Sam Shepard
7. Mediaeval Religious Drama
8. Elizabethan Drama
9. William Shakespeare
10. Comedy of Manners
11. Oscar Wilde
12. Maugham, Coward and Rattigan
13. Peter Shaffer
14. Musicals
15. Theatre and Film

履修上の留意点

戯曲を読んだり、舞台を見たり、映画化作品を映画館やビデオで見たりして、英米演劇を積極的に鑑賞したり研究したりするのが好きな学生の受講を期待する。

成績評価の方法

レポートと学年末試験の成績で評価する。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。戯曲や参考書は講義の主題毎に紹介する。

参 考 書 等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』（新樹社）2,500円  
 太平和登・荒井良雄共著『ブロードウェイ！ブロードウェイ！』（朝日新聞社）1,200円

そ の 他

舞台や映画のビデオや演劇の朗読テープを随時使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短国・短放	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。  
Intertextual Analysis のメソッドで行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

長谷川潔、L. P. サンダース著 *ASIAN CROSSROADS* (成美堂)

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	小池一之	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉 心理・経済・商・短大	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事象（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである。  
1. 地形学の成り立ち、2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、組織地形）、4. 海水の働きと地形、5. 地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）、6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書

貝塚爽平著『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円  
小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

その他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	大友篤	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明らかにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介にすることが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを平行して説明する。

講義の内容・授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化地理学	お だ まさ やす 小 田 匡 保	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

広義の文化地理学は人文地理学とほとんど同じであるが、本講義では狭義の文化地理学に的を絞り、特に宗教地理学の研究例について述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要 2. 宗教地理学 3. 宗教分布 4. 宗教集落・宗教都市  
5. 山岳宗教 6. 巡礼 7. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位認定は保証できない。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用地理学	たか ぎ まさ ひろ 高 木 正 博	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマが求められるであろう。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水理学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体として捉えることを基本とし、流域（地域）の自然とその土地の人々とのかわりあいを利水・災害・自然環境などの視点から考える。また、ヨーロッパの河川特性・管理などについても紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加味する。

教科書

授業時間に配布するプリントを使用。

参考書等

高橋 裕『河川工学』（東京大学出版会）その他随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドや OHP、ビデオも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代地理学特論	はせがわ ひとし 長谷川 均	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

新聞やテレビで“沖縄”の二文字を目にすることが多い。沖縄県では、本土復帰以降、巨額な資金がつかぎ込まれ、島々の自然がいたるところで痛めつけられている。また最近、本島北部に米軍基地の移転と空港建設を目指した新知事が誕生し、それに伴う自然へのダメージを懸念する声も強い。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。これらは、私が最近興味をもって取り組んでいるテーマでもある。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。地元紙の記事やインターネットで流れている情報なども紹介する予定である。後期は、前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地球や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退中は認めない。

成績評価の方法

2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、スライド、PCによるプレゼンもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ 〔近代〕	こいずみ まさひろ 小泉 雅弘	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった明治維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら近代国家の成立について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、幕末の政治運動、戊辰戦争、維新政権、民権分離問題、廃藩置県、岩倉使節団と留守政府、明治六年の政変、文明開化、藩閥権力の生成、士族反乱と農民一揆、自由民権運動などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 X 〔 近・現代 〕	ちょう 趙	くん 軍 禪・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

太平洋の東に浮かぶ島国日本の経済生活は、他国との貿易に大きく依存している。特に中国を初めとするアジア各国とは、歴史的にも文化的にも極めて深い関係におかれてきた。本講義は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概略的に解説し、日本とアジア各国との関係を正しく理解できる知識や教養を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概略的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第1次世界大戦以後の日中関係を具体的に解説する。

主な項目は次の通りである。

1. 近代以前の日中交通史
2. 「日清提携論」と「征亜論」の創生
3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭
4. 宮崎滔天と中国
5. 頭山満と中国
6. 辛亥革命・孫文と日本
7. 内田良平と中国
8. 中国の国民革命と日本の対応
9. 「満洲事変」から日中戦争へ
10. 日本の敗戦と台湾との「国交」
11. 政経分離と政経不可分
12. 国交正常化と日中平和友好条約
13. フィーバーと摩擦と
14. 「成熟の時代」
15. 改革開放と「新アジア主義」
16. 日本の対中国政策決定－組織と過程－
17. 真のアジア共生をめざして

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学期末にレポートの提出やペーパー試験を行う。試験成績と出席率による総合評価を行いたい。

教 科 書

- ① 趙軍『大アジア主義と中国』（亜紀書房）1996年
- ② 田中明彦『日中関係 1945-1990』（東京大学出版会）1991年

参 考 書 等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋文化史Ⅰ	佐々木 真 <sup>まこと</sup>	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

#### 講義のねらい

近世末から近代にかけて、ヨーロッパ諸国において戦争や軍隊が有していた意味について講義をする。軍隊のあり方やその機能、国家による戦争の遂行は、近代国家や近代社会の形成に非常に大きな影響を与えており、最近ではそのような視点に立った研究が見られるようになった。本講義では、そのような研究動向をふまえ、フランスを主な題材として、近世から近代への移行において、戦争や軍隊がどのような役割を果たしたのかを考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。
1. 絶対王政期の軍隊と戦争（戦術の変化、軍隊の実態、軍制改革、王権と戦争）
  2. フランス革命と戦争（革命下の軍制改革、兵士と市民的自由）
  3. 近代社会と戦争・軍隊（国民化・近代システムと軍隊、国家と軍隊、総力戦体制）

#### 履修上の留意点

授業中に紹介する文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。

#### 成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加算して判定する。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

参考文献は、授業中に随時紹介するが、主要なものとしては以下のようなものがある。  
アルフレート・ファークツ『ミリタリズムの歴史』（福村出版）  
山内進『掠奪の法観念史』（東京大学出版会）

#### その他

授業は講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本民俗学	たにぐち みつぎ 谷 口 貢	禅・仏教・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教科書

本講義では教科書は使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲 学 史	やま ぐち まさ ひろ 山 口 祐 弘	国・英米文・地理 社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動してものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉えた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴 史 哲 学	あ そう けん 麻 生 建	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は、単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教科書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 福 祉 発 達 史	ほやし 林 ちよ 代	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営・短大	4

講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

教 科 書

特になし

参 考 書 等

今岡 他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 民 所 得 論	よしの 吉野 紀	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回  
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。  
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回  
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。  
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回  
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。  
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回  
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果が取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。  
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回  
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス(上)』(第6版)(多賀出版)



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	わた <small>なべ</small> 渡 辺 <small>あらた</small> 新	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・短国・短放	4

講義のねらい

日本経済の歴史的分析を通じ、第1に日本経済の通史的理解を深め、第2に経済史的な考え方および経済史の基礎的知識を学び、広い意味での歴史認識を養うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

主な講義内容は以下の通りであるが、近年の歴史学の研究動向を反映させ、できる限り隣接諸科学（たとえば国家論、地域社会論、女性論など）との接点を探っていきたい。

- ① 日本経済史の課題
- ② 前近代の経済構造
- ③ 日本における原始的蓄積
- ④ 日本における産業革命
- ⑤ 日本帝国主義の構造
- ⑥ 昭和恐慌と戦時統制経済
- ⑦ 戦後改革と高度経済成長

成績評価の方法

筆記試験ないしはレポートによって評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	三井逸友	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

### 講義のねらい

「中小企業」を論じるということは、意外に容易ではない。なぜなら、「社会科学的概念」を抽象的に論じるのではなく、慣れ親しんでおり、それなりの「固定観念」や「イメージ」が「言霊」としてつきまとっているのが、日本語の慣用語の一つとしての「チューショーキギョー」だからである。しかしそんな「日用語」を一年もかけて論じようというのがここでのねらいではない。ねらいはむしろ、「中小企業は経済のきわめて重要な（critical）構成要素である」（クリントン米国大統領）と評される事実を、客観的総合的にとらえ、考えていくことにある。

日本の中小企業はその数約600万、企業の99%、従業者数の80%を占め、製造業中心企業に限っても80万を数え、付加価値の50%以上を生み出している。まさしく、『日本は「中小企業国」だから強い』（森清著、ダイヤモンド社刊）のである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が十分その成果の恩恵にあずかっていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差・不利・経営不安などの「問題状況」も依然広く見られ、長期不況と信用収縮の中でまた、きわめて深刻ともなっている。しかもこのように「期待」と「困難」とが交錯するという事態は、いずれの国でも共通して確認できる。

中小企業をめぐる現実をとくカギを、その役割と当面する問題、そしてこれに対する経済学的な理解の方法を検討し、中小企業の役割・可能性とこれを妨げる諸問題への政策的対応の意味を通じて明らかにしていくのが、この講義のねらいである。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 第一部 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況

ここでは、「中小企業論」の性格と方法を示し、その対象としての中小企業の存在の実態を、国際比較を含めて概観する。その上で、中小企業が直面している問題状況や、中小企業の新生・成長と転廃業・退出の経済的社会的メカニズムを具体的に検討し、「日本の中小企業問題」の位相と今日性を再確認する。

#### 第二部 「中小企業論」研究の理論と方法

ここでは、中小企業の存立と問題性をめぐる従来の理論・研究を振り返り、新たな方法を提起する。「中小企業存立論」「問題論」や「貢献論」だけでなく、今日の「企業家論」、さらに、いわゆる「ベンチャー企業論」や「企業家精神論」、「ポストフォーダイズム論」もここで批判的検討対象である。それらの限界性をふまえて、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけの方法を指摘する。

#### 第三部 中小企業の現代的存在形態と「経済システム」「経済的關係」

ここでは、うえの研究方法にもとづいて、中小企業の存在の実態を構造的に解明する。「下請制」「地場産業産地」「大都市中小工業」などといった、我が国の従来の中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追う。あわせて、80年代後半以降の、日本企業の「国際化」のもとでの、日本的企業間関係と管理手法の「輸出」、「現地化」の示した特徴と限界から、中小企業の存立の普遍的意味をあらためて考える。結合生産力の「効率性」と、競争と統制・管理の原理の貫徹がもたらす「経済的關係」のうちの問題状況・「自立」企業の可能性と経営展開の意義が、基本的視角となる。

#### 第四部 中小企業政策の展開と国際比較

ここでは、「中小企業問題」の展開とこれに対する各国の「中小企業政策」の国際比較研究を行う。ポイントは「生産力的」に成功を収めてきた我が国の「中小企業の近代化政策」の評価であるが、これに対する欧米の政策の相違、そして世界経済の一体化、地域経済圏の形成のもとで、近年の「収斂傾向」を検討し、特に EU 欧州連合ならびに欧州諸国の政策の最新の特徴にふれる。また、我が国についても、近年の「構造転換」対応策、創業促進策、ベンチャー企画支援策なども検討する。

### 履修上の留意点

中小企業の研究は、ナマの企業の実態から始まるものであり、その意味で現実感覚が大切である。講義の中では、「教科書をなぞる」ようなことはなるべく避け、今日的現実的な話題を重視したいので、教科書くらいは事前に読んでおくようにしてほしい。また、夏休みには補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。

### 成績評価の方法

基本的には、他の専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。「出席」を取るという空しい作業をするつもりはないが、「出席状況」は加味する。

### 教科書

三井逸友『現代経済と中小企業』（青木書店）2,800円（税抜）  
同編『日本の生産システムの評価と展望』（ミネルヴァ書房）（予定）

### 参考書等

三井『EU 欧州連合と中小企業政策』（白桃書房）2,300円

巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ新版』（有斐閣）2,200円  
中小企業庁編『中小企業白書』[各年次]  
中小企業総合研究機構訳編『ヨーロッパ中小企業白書 1997』（同友館）3,500円  
佐藤編『21世紀、中小企業はどうなるか』（慶大出版会）2,300円

そ の 他

「講義」形式を基本とするが、企業のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上映、「ベンチャー」起業家、企業経営者や行政関係者の方々の話なども取り入れたい。その中で、企業の経営実態、産業動向等についての、担当者の世界各地や全国での最新の見聞も豊富に活用していく。また、諸方面のWEBサイトの提供する情報は（担当者自身のものを含めて）、必須の材料である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつ 光 おか 岡 はく 博 み 美	禅・仏教・国文 英米文・地理・歴史 経営・短国・短放	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。

#### 教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育経済論	や 谷 敷 正 光	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一斉に教育改革に着手している。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「2000年アメリカ」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化と教育
- (2) 日本の経済成長と教育
- (3) 日本の産業高度化と教育
- (4) 日本の「新高度成長」と教育
- (5) 日本の人的開発政策
- (6) レーガン大統領の経済政策と教育 (一部ビデオ)
- (7) ブッシュ大統領の経済政策と教育 (一部ビデオ)
- (8) クリントン大統領の経済政策と教育 (一部ビデオ)
- (9) サッチャー首相の経済政策と教育 (一部ビデオ)
- (10) メージャー首相の経済政策と教育 (一部ビデオ)
- (11) ブレア首相の経済政策と教育 (一部ビデオ)

2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (12) 学制時代における実業教育政策 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
- (13) 学制時代における実業教育政策 2 学制公布と実業教育
- (14) 教育令時代における実業教育政策 1 工場払下
- (15) 教育令時代における実業教育政策 2 教育令公布と実業教育
- (16) 学校令時代における実業教育政策 1 産業革命
- (17) 学校令時代における実業教育政策 2 学校令公布と実業教育
- (18) 実業学校令時代における実業教育政策 実業学校令、専門学校令公布と実務教育

3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (19) 復興期の経済発展と教育 1 (一部ビデオ)
- (20) 復興期の経済発展と教育 2 産業教育振興法公布 (一部ビデオ)
- (21) 高度成長第 1 期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (22) 高度成長第 2 期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (23) 高度成長第 3 期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (24) 高度成長終焉後の産業教育

履修上の留意点

- ① 年間 5 回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のため視聴覚教室でビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間 30~40 枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

沼口 博『学校教育と経済発展』(学文社)  
 小林泰宏『アメリカで進む教育改革』(朝日新聞社)  
 原田和男『ブッシュの米国経済』(日本経済新聞社)  
 宮崎正弘『クリントンの日米経済』(銀河出版)  
 森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』(岩波新書)  
 天野郁夫『教育と近代化』(玉川大学出版部)  
 その他、講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済論	工藤 昌宏	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・法律 政治・短国・短英	4

講義のねらい

第二次大戦後の日本経済と、そこに貫かれる資本主義経済システムの論理を探ることをねらいにします。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は大きく前期と後期に分け、前期は主に50年代後半以降今日までの世界経済の動向とそれの中の日本経済の位置を確認し、それを通じて日本経済の特殊性と問題点を検出します。具体的には、IMFや世界銀行を重要な装置にしたバクス・アメリカナ体制とその動揺、50年代後半から70年代初頭にかけての高度経済成長過程、石油危機と日本経済、日本経済摩擦の展開、バブル経済とその崩壊などを中心に講義します。

後期は前期の内容を踏まえて、敗戦後の日本経済の基本的枠組みとそれを形成した経済再建過程、朝鮮戦争とその影響、高度経済成長に至る過程を分析します。その中ではとくに経済主体としての個別企業に焦点を当て、その発展とそれを支えた条件を明らかにします。

講義の進め方。

1回ごとにテーマを設定しますが、全体として連続性をもたせます。また具体例、数値を用いて、日本経済の在り方とそれを担う経済主体の行動に焦点を当てて考察します。

講義の到達目標。

戦後日本経済の推移、基本構造、問題点を捉えることができるように認識を高めるようにします。また新聞などの経済記事の内容についてある程度理解できるようにし、今日の様々な経済現象とその根底にある論理を大筋で捉えることができるようにします。

履修上の留意点

講義は1回ごとに独立したテーマを設定しているので、講義時間に遅れないこと。ノートは確実にとること。

成績評価の方法

前期、後期各1回ずつの試験によって評価します。

教科書

サブ・テキストを含めて、開講時以降、随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アジア経済論	かく 郭 よう 洋 しゅん 春	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

### 講義のねらい

「世界経済の成長のセンター」「開発途上国の優等生」、これらは1980年代に入り急速に成長してきたアジア諸国（特に東・東南アジア）を指して使われた言葉である。

植民地支配解放後、長く低開発に喘いでいた開発途上国の中から登場したこれらアジア諸国は、今や先進国の仲間入り寸前のところまで来ている。しかし、1997年7月以降、アジア各地に波及した通貨・金融危機は、世界経済そのものの根幹を揺るがしている。

一方で、インドネシアの「東チモール問題」、ミャンマーの「民主化問題」、中国の「三峡ダム問題」「南沙諸島、尖閣列島問題」など民族紛争、人権問題、環境破壊、領土問題など冷戦後特に、賦の遺産が噴出しているのもアジア地域なのである。

従って、本講義では急成長を遂げたアジア諸国の経済メカニズムの解明と、その陰に隠れて見落とされがちな負の要因の分析の両面から、アジア経済の実態を明らかにしていく。その際、我々の身の回りから見たアジア、という視点についても触れていきたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下の通りであるが、状況に応じて多少の変更はあり得る。

- I アジアの台頭
  - ①NICsの登場、②NIEsへの転換、③ASEANとは何か、④変貌するASEAN
  - ⑤日本に来るアジア人旅行者、
- II ダイナミック・アジア
  - ①アジアの経済政策、②経済開発に果たした国家の役割、③外資導入とアジアの工業化
  - ④日本のODAとアジアの工業化、⑤経済開発の推進母体としての財閥、ビッグ・ビジネス
- III 迷走するアジア
  - ①アジアの環境破壊、②飢餓と飽食のアジア、③軍事大国化するアジア、④アジアの開発独裁
  - ⑤アジアに広がる日本文化
- IV 21世紀のアジア
  - ①地域経済圏とアジア、②継続するか「成長のセンター」、③アジアは先進国の仲間入りをするののか

### 履修上の留意点

教員による一方通行的な授業ではなく、応答の授業形態を模索するので、積極的・主体的姿勢で参加すること。授業中は私語・携帯電話類は厳禁。

### 成績評価の方法

授業中に行う小テストと前期末レポート、学年末試験を合わせた総合評価

### 教科書

郭 洋春『アジア経済論』（中央経済社）3,360円

### 参考書等

横山正樹・涌井秀行編著『ポスト冷戦とアジア』（中央経済社）3,045円。他は授業中に随時紹介する。

### その他

授業方法は講義中心であるが、学生との討論も考えている。また、ビデオを多用し視覚からも授業を理解してもらおうつもりである。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国経済論	小 <sup>すぎ</sup> 杉 <sup>しゅう</sup> 修 <sup>じ</sup> 二	権・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

#### 講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。

現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6.4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。

本講義ではこのような目前的変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的解明をはかる。

前期授業のはじめに、キーワードを3週間分かけて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。

これにつづいて、中国経済の解明に取り組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立(1949年)から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル(1949～57年)、(2)毛沢東モデル(1958～78年)、(3)鄧小平モデル(1978～)として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。

このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまり近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えられるからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれないであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。

上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

#### 履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ上映による説明の二本立てで行っている。

教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。

また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

#### 成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事(中国経済)を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である(学説の受入れとは異なる)。テストは基準となる一つの学説(とりあえず、私の説)の正確な理解ができたかどうかを見るものである。

#### 教科書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設——超大国志向・低開発経済・社会主義』(龍溪書舎) 4,000円

#### その他

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	せとおか 瀬戸岡 弘	釋・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

#### 講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅ひろく、トータルな解説をするのがこの講義です。それとともに、アメリカのでできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です

この講義を受講するために特別な経済学の予備知識は必要としません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済につよい関心をもつ学生諸君には、さらに深めた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探究をこころみるものではなく、奥ふかく興味をつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

アメリカ経済について自力で学習していく力をつけることが目標です

受講者のみなさんが、アメリカ経済について自分の力で学習研究していくための動機をつかみ、その基礎的能力をつけることが、この講義のねらいです。ビデオの多用とか、資料の過剰な配布などはしませんが、それもむしろ受講者諸君が自力でビデオを活用し資料を収集する力量がつくように指導したいと考えるからです。この講義は、新入生から卒業年度生まで、いずれの学年でも受講できますが、以上にのべたこの講義の性格からして、3年生までに受講することをすすめます。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

年間をとおしてきくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

##### 《導入の話題》

◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

##### 《総論》

◇アメリカの建国の理念と現代の経済

◇アメリカ経済の歴史的過程

##### 《アメリカ経済各論》

◇アメリカの農業

◇アメリカの工業

◇アメリカの企業家とベンチャービジネス

◇アメリカの雇用と労働者

◇アメリカの商業とサービス

◇アメリカの交通・通信・情報

◇アメリカの金融

◇アメリカの教育と経済

◇アメリカの科学技術

◇アメリカの先端産業

◇アメリカ経済と環境問題

◇アメリカ社会とヴォランティア

◇女性・マイノリティーとアメリカ経済

##### 《世界とアメリカ》

◇国際通貨ドルの地位と IMF

◇アメリカと貿易 (GATT と WTO)

◇アメリカ軍の世界的ネットワークとその経済的意義

◇アメリカの海外援助

◇アメリカの多国籍企業

◇多国籍企業とアメリカ経済

## 《アメリカと世界の諸地域》

- ◇アメリカとカナダ・メキシコ
  - ◇アメリカとEU
  - ◇アメリカと日本
  - ◇アメリカとアジア・太平洋
- 《むすびの話題》
- ◇アメリカの経済学（あたらしい学派の見解）

### 1回の講義でひとつのテーマをとりあげます

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

### あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話しします。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらぬで、ことの真相や本質的なことがらを、ちょっとたちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

### アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をおとさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

### 熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です

この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。すなわち、この講義では、一発の年度末試験よりも、平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定なのです。たとえば、授業で学んだことがらや感想を簡単に記した文章を何回か提出してもらうことを考えていますし、受講者の希望により、この講義のなかでいただくようになった問題意識をもとにアメリカ経済にかんする自由論題で小論文を年度末に提出してもらい試験に替えることも考えています。今年度も受講者との合意が成立すれば、平常点を考慮にいれつつ小論文を中心に成績評価をすることにしたいと考えています。

### 最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山 縣 弘 志	福・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達したか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
  - (1) 社会主義論とマルクス
  - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
  - (1) 1920年代から30年代への転換
  - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と経済管理システム
  - (1) 「計画経済」の成立と実態
  - (2) ソ連型経済管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
  - (1) 経済構造の特質と軍事生産
  - (2) 工業生産力と工業技術
  - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
  - (1) 経済改革の時代
  - (2) ブレジネフと停滞の時代
  - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
  - (1) ロシア・東欧の文化と社会
  - (2) 資本主義化の諸問題
  - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業政策	いわ 岩 した 下 ひろし 弘	権・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義の内容・  
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
  - 1 90年代の小売商業構造
  - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
  - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
  - 1 中小小売商保護政策論
  - 2 流通近代化政策論
  - 3 流通システム化計画論
  - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
  - 1 70年代の流通
  - 2 80年代流通産業ビジョン
  - 3 90年代流通ビジョン
  - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
  - 1 百貨店法
    - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
  - 2 中小小売商業振興法
  - 3 小売商業調整特別措置法
  - 4 大店法
    - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
    - 3) 1991年改正法
  - 5 凍結宣言、要綱及び条例
  - 6 通産省による行政指導=抑制措置
  - 7 規制緩和
    - 1) 規制緩和の流れ-前川レポート、行革審報告
    - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
  - 8 特定商業集積法
  - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
  - 1 大店立地法
  - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
  - 1 イギリス
    - 1) 出店調整政策-都市・農村計画法
    - 2) 日曜営業問題-商店法
  - 2 フランス-ロワイエ法
  - 3 ドイツ-土地利用計画
  - 4 アメリカ-ゾーニング規制

成績評価の方法

試験、レポート、出席により評価。

教科書

岩下弘編『流通国際化と海外の小売業』（白桃書房）2,800円

参考書等

保田芳昭編『日本と欧米の流通政策』（大月書店）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
マーケティング	曾我信孝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短国・短放	4

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前期はマーケティングの基本的な政策である4つの政策を現状をふまえながら講義する。その概要は次のとおりである。
  - 製品政策……マーケティングで展開される製品にかかわる政策の内容を説明し、それらが需要創造にどのように作用しているかも同時に説明していく。その内容は、①製品の差別化、②市場の細分化と製品の細分化、③製品のライフサイクルの短縮化と陳腐化政策の関係などである。
  - 価格政策……現代の価格は需要と供給で決定されているとはいえない。また、小売価格は生産原価と必ずしも因果関係があるとはいえなくなっている。一般的には購買環境を前提にして価格は設定されているといっても過言ではない。そのような価格設定がマーケティングの政策のひとつである。そこで、①価格設定の方法、②差別価格と消費者との関係、③価格による消費者支配などを説明する。
  - チャンネル政策……自己製品の流通経路の政策について説明する。企業にとって、自己の製品の特性にあわせて、もっとも合理的な流通経路を選択しようとしている。それにはたんに流通コストの問題だけでなく、販売チャンスや需要創造の問題にもかかわるからである。そこで①商業の排除と系列化、②流通支配の形態、③新業態への対応などを説明する。
  - 促進政策……上記の3つの政策も販売促進政策の効果があるが、それらに含まれない販売促進政策について説明する。その内容は①販売員管理、②広告の方法と実態についてである。
- 後期はマーケティング理論の応用と国際マーケティングについて説明する。とりわけ、日本企業が国際マーケティングを展開するようになった背景を説明し、日本企業の多国籍化の過程について説明する。その内容は次のとおりである。
  - 国際経済環境の変化と日本企業の対応……NAFTA、EUなどブロック経済化に日本企業が現地法人で対応してきた過程を説明する。その内容は①アメリカでの現地化の過程、②EUへの現地化の方法と過程、③日本企業の現地化と総合商社の役割などである。
  - 国内市場の変化と国際化……とりわけ価格志向品の現地生産とその製品の輸入について説明する。その内容は、①日本の規制緩和と製品輸入、②途上国・共産国での現地生産と輸入、③中小企業の現地化と総合商社との関係などである。
  - 日本企業の多国籍化と財務……日本の多くの企業が多国籍化を展開したのは、外的要因によるところが大きい。しかもそれは急速に展開しなければならない状態であった。それを実現できた日本の企業は、膨大な資金調達が可能であったからである。その内容を①資金調達の多様化、②エクイティ・ファイナンスと金利などの面から説明する。
  - 総合商社と国際マーケティング……日本の多国籍企業の典型である総合商社のマーケティングの展開について説明する。これまで総合商社は素材を中心とした貿易業務を主体としてきたが、日本企業を取り巻く環境の変化によっていっそう排除の傾向が強くなってきた。それに対応する政策として、自ら生産や小売部門に進出しマーケティングを展開している。そこで、①総合商社の子会社戦略、②総合商社のマーケティングの特性などについて説明する。

成績評価の方法

定期試験（場合によって小テスト、出席等）によって評価する。定期試験に大きなウエイトをおいていることはいうまでもないが、ここでは講義内容の理解はもちろん、問題に対する自分なりの解決の力と応用力を期待している。

教科書

曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

参考書等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 管 理 論	ひゃく た よし はる 百 田 義 治	禅・仏教・国文・英米文 地 理 ・ 社 会 福 祉 ・ 心 理 ・ 短 国	4

講義のねらい

現代企業の経営管理（組織と管理）について、大学生に必要な基礎知識を提供することと、その現代的諸課題の現状と問題点を明らかにすることが一年間の講義を通しての課題です。

講義の内容・  
授業スケジュール

多数の人々の協働体である組織が、さまざまに変化する環境の中で、目的・目標の設定から達成までのプロセスを効率的に運営する活動が経営管理です。したがって、経営管理は、学校や病院や政府諸機関など非営利組織（NPO）、あるいはボランティア活動の組織（NGO）にも必要不可欠な活動です。しかし、現代社会において組織という場合に、企業を除いて組織を語ることはできません。一年間の講義の中では、NPOやNGOの組織の特性や管理の課題についても up-to-date な話題にふれて言及しますが、講義の中心は現代企業の経営管理問題です。

一年間の授業スケジュールは以下の通りです。

前期（4月－7月）は経営管理論の流れを「個人と組織」の問題を中心にフォローし、その現代的意義について考えます。前期の授業の内容は次のような問題です。

- ① 授業ガイダンス（経営管理論では何を学ぶのか？）
  - ② 現代の組織と経営管理（企業の経営管理とNPO・NGOの経営管理は異なるか？）
  - ③ 経営管理論の源流1：科学的管理法（唯一最善的管理法は存在するか？）
  - ④ 経営管理論の源流2：管理過程と管理原則（経営管理は学校教育で学べるか？）
  - ⑤ 組織の人間関係（人間の非論理的・非合理的行動とは何か？）
  - ⑥ 現代組織論1：個人と組織の統合理論（個人の欲求充足と組織目標の達成は両立するか？）
  - ⑦ 現代組織論2：意思決定論（経営者の意思決定は科学の対象になるか？）
  - ⑧モチベーション論（自己実現とは？勤労意欲は何から生みだされるか？）
  - ⑨ 人的資源管理論（行動科学とは？「労働力」と「人的資源」では何が異なるか？）
- （夏休みの課題）前期の授業についてレポートの提出を求めます。

後期（9月－1月）は現代企業の経営管理の実際（当面する諸問題）を具体的に検討します。

- ⑩ 企業戦略論（現代企業のもっとも重要な経営管理問題とは何か？）
- ⑪ 日本企業の国際競争力（トヨタ・システムはフォード・システムを超えたか？）
- ⑫ グローバリゼーションとジャパナイゼーション（日本の経営は国際的に通用するか？）
- ⑬ 日本企業の国際化（グローバル化とローカル化の両立は可能か？）
- ⑭ 経営管理と情報化1（企業内・企業間ネットワーク化は経営管理を根本的に変革するか？）
- ⑮ 経営管理と情報化2（情報化は中間管理職を無用化するか？）
- ⑯ 地球環境問題と経営管理（共生の時代の経営管理に求められるものは何か？）
- ⑰ コーポレート・ガバナンスと企業倫理（経営者の社会的責任とは何か？）
- ⑱ 労働の未来と経営管理の課題（一年間のまとめ）

（学年末試験）

履修上の留意点

新聞・雑誌・ニュースなどを通して現代の企業と経営に関心を持つことが大事です。「なぜ」という疑問がなければ勉学意欲は持続しません。現実の経営管理問題にマークシート方式の解答はありません。すべてが応用問題です。洞察力と問題解決能力も90％は経験と学習です。

成績評価の方法

出席（10%）、小レポート（10%）、夏季レポート（20%）、学年末試験（60%）で総合的に評価します。

教 科 書

笹川・山下・仲田・渡辺編著『現代の企業経営を学ぶ』（ミネルヴァ書房）1996年  
片岡・篠崎・高橋編著『新しい時代と経営学』（ミネルヴァ書房）1998年

参 考 書 等

授業や夏期レポートに関連して随時紹介する。

そ の 他

授業に関する質問などがあれば研究室（第2研究館4階2436：電話03-3418-9345）を気楽に訪ねるか、E-mail（授業で説明）で問い合わせして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
労務管理論	いし い しゅう じ 石 井 脩 二	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

講義のねらい

日本企業を取り巻く経営環境は、急激に変化しつつある。国際的にはいわゆる冷戦体制の崩壊の中で、欧州・アメリカ・アジアを中心とする世界三局経済体制への動きを背景に、国際市場で激しく展開される企業間競争は今やメガコンペティションといわれる様相を現出させている。他方、国内に目を向ければ急速に進行する情報技術革命を背景とした産業構造の転換、豊かさを背景とした市場の不透明度の高まり、企業戦略の変化など従来までの経営理念や経営姿勢ではもはや環境変化に対応できない状況が生まれている。さらに近年の日本企業を特徴づける政官財癒着にみられる企業倫理観のない企業犯罪の多発、中高年層のみならず若年層をも巻き込んだ容赦のない人員整理などは、改めて企業とはいかなる存在意義を持つのかという疑問を抱かせるに十分である。このような企業環境の変化や企業の社会的存在意義への疑問は、日本企業がこれからのような方向へ進んでいくのかという「将来展望」を曖昧にしているばかりでなく、その予測をきわめて困難なものにしている。社会の進む方向も企業の将来も極めて透明な時代に必要とされることは、現実が生じている様々な動きや事例についての多くの情報を集め、これらの事実情報に基づいて次なる時代の方向性を自分なりに見定めることである。この講義では、日本企業を取り巻く経営環境の変化や日本企業の現実に関する最新の情報に基づきながらこれからの日本企業の動向やそこの勤労生活の変化などを経営側からの様々な従業員対策の展開に即して検討しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

企業は、一般にヒト・モノ・カネ、さらには情報といった有形無形の経営資源を組み合わせ利用することによってその目的とするものを実現する。かつて日本企業が世界市場で強い競争力を発揮し日本経済の豊かさを実現したのは、これら経営資源の中でもヒト資源の活用が巧みであったことによるといわれてきた。このヒト資源の活用に関わる一連の経営活動がこれまで人事労務管理といわれてきたものである。日本企業における人事労務管理こそは、日本的経営の別名でもあり、日本企業の競争力の源泉であったということである。しかし、今日、日本企業の競争力にかげりが見え始めているといわれる。これは、従来まで日本的経営が競争力を発揮する事のできた経営環境が急速に変化していることを反映している。経営環境の変化は、この講義のキーワードの一つである工業化社会から情報化社会への転換ということに他ならない。この講義では、日本企業が工業化社会というモノ作り中心の産業社会で築き上げてきたヒト資源の活用システムすなわち「人事労務管理」が情報化社会という知識創造や情報創造が中心となる産業社会で妥当性を持たなくなり「人材資源管理」という名称に変化していることに注目し、情報化社会でのヒト資源の活用に関わる最近の企業の動きを中心に検討を加える。同時に、ヒト資源に対する新しい活用への企業側の取り組みが従業員側からみたときにどのような結果を生み出すことになるのかも併せて検討する。このような検討を通して、最終的には日本企業の将来を考えるというところにこの講義の焦点がある。以下のような順序に従って進めていく。

- |                        |             |
|------------------------|-------------|
| 序 章 人事労務管理から人材資源管理へ    | 第5章 報酬管理    |
| 第1章 企業内従業員秩序の編成原理とその変化 | 第6章 労働時間管理  |
| 第2章 採用管理               | 第7章 福利厚生管理  |
| 第3章 教育訓練と能力開発          | 第8章 女性労働の管理 |
| 第4章 昇進管理               | 第9章 国際人事    |

成績評価の方法

定期試験のみにて評価。評価の基準は解答内容の論理性と説得性。

教科書

現在作成中のため、当面は授業時間中に配布するプリントを中心に行う。

参考書等

津田真澄編著「人事労務管理論」(ミネルヴァ書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	えん どう たかし 遠 藤 孝	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短大	4

講義のねらい

会計学、とくに企業の活動内容を外部に伝達開示することを目的とする財務会計(FINANCIAL ACCOUNTING)について、その伝達、開示の手段である貸借対照表(BALANCE SHEET)、損益計算書(INCOME STATEMENT)を中心に、その性格、内容、役割について講義する。できるだけ時の実務上の会計問題にひきつけて講義する。例えば、'98年度ではヤオハン、三田工業の粉飾問題。

講義の内容・  
授業スケジュール

前 期

- (1) 4月第1週  
企業会計、財務会計とは何か。会計学、財務会計論とは何か。その企業会計、財務会計の何を学ぶのか。
- (2) 4月第2週  
先週に引続き、企業会計、財務会計とは何か。企業会計、財務会計がわれわれの生活とどのように関係しているのかを中心に講義。
- (3) 5月第1週  
財務会計の制度性について。  
財務会計制度とは何か。日本の企業会計制度、各国企業会計制度のタイプ。
- (4) 5月第2週  
貸借対照表論。貸借対照表とは何か、実際に企業が作成した貸借対照表で説明。貸借対照表の役割、貸借対照表学説。
- (5) 5月第3週  
資産評価について。流動資産－棚卸資産の評価、有価証券の評価、現行評価制度の問題点。
- (6) 6月第1週  
資産評価について。固定資産の評価、土地評価、減価償却について。
- (7) 6月第2週  
繰越資産について。繰延資産の特殊性、繰延資産項目とその償却。
- (8) 6月第3週  
引当金について。引当金とは何か。引当金の設定基準－商法、「企業会計原則」の引当金、引当金会計の問題点。
- (9) 6月第4週  
同上。
- (10) 7月第1週  
資本会計について。

後 期

- (11) 9月第1週  
損益計算書とは何か。費用収益の認識。
- (12) 9月第2週  
連結財務諸表とは何か。
- (13) 9月第3週  
同上。
- (14) 10月第1週  
セグメント会計について。  
リース会計について。  
年金会計、退職給与引当金と年金会計
- (15) 10月第2週  
企業内容、会計内容の開示について。  
注記 財務諸表附属明細表(書)。
- (16) 10月第3週  
同上。
- (17) 10月第4週  
財務諸表の監査、商法上の監査。
- (18) 11月第1週  
財務諸表の監査、証券取引法上の監査。  
「企業会計原則」について。
- (19) 11月第2週  
会計の国際化、会計基準の国際的調整。
- (20) 11月第3週



- 同上。
- (21) 11月第4週  
日本、世界企業会計の最新動向。
- (22) 12月第1週  
同上。
- (23) 12月第2週  
会計学を学ぶについて考えるべきこと。パソコン時代の企業会計。総括。
- (24) 最終週  
予備。  
以上のスケジュールは、学会出張、大学祭など大学の行事によって変更することがある。

履修上の留意点

講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

試験による。(前期、後期2回実施の予定)

教科書

遠藤孝他著『会計学』(森山書店)1998年

参考書等

遠藤孝著『引当金会計制度の展開』(森山書店)1998年

その他

授業の方法、教科書、OHP、ときにプリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	飯 岡 透	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短教	4

講義のねらい

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化、一部企業における不正問題の発生などに伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。そこで、この講義では、こうした会計監査の発展過程、制度、社会的役割などを中心に会計監査について受講者の理解を深めることを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

この講義での授業内容とそのスケジュールは次のとおりである。  
〔前期〕

- 4月 会計監査の目的と種類
  - (1) 会計監査の目的
  - (2) 会計監査の種類
  - (3) 監査基準の必要性とその構造
- 5月 わが国監査制度の展開
  - (1) 第2次世界大戦前におけるわが国監査制度の展開
  - (2) 第2次世界大戦後におけるわが国監査制度の展開  
監査人の要件と責任
    - (1) 監査人の要件
    - (2) 監査人の選任と解任
    - (3) 監査人の職務権限と責任
- 6月 監査要点と監査手続の選択適用
  - (1) 監査要点の意義と種類
  - (2) 通常実施すべき監査手続とその内容
- 7月 監査証拠の種類と内容
  - (1) 監査証拠の意義と分類
  - (2) 十分な監査証拠と合理的な基礎

〔後期〕

- 9月 内部統制と監査リスク
  - (1) 内部統制の構成要素
  - (2) 内部統制の評価
  - (3) 監査リスクと重要性
- 10月 監査計画と組織的監査
  - (1) 監査契約と予備調査
  - (2) 監査計画の目的とその設定
  - (3) 組織的監査の重要性と審査機能の整備
  - (4) 他の監査人の監査結果の利用
- 11月 監査調書の目的と種類
  - (1) 監査調書の目的と作成要件
  - (2) 監査調書の種類と保存  
経営者確認書の意義と記載内容
    - (1) 経営者確認書の意義と目的
    - (2) 経営者確認書の記載内容
- 12月 監査報告書と監査概要書
  - (1) 監査報告書の意義と機能
  - (2) 監査報告書の種類
  - (3) 短文式監査報告書の記載内容
  - (4) 特記事項の記載内容
  - (5) 監査概要書の目的と記載内容
- 1月 この講義の総括と年度末試験の説明  
なお、以上のスケジュールは、学会出張や大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

会計監査は、財務諸表の適正性についての意見表明を目的とするものであるから、会計学総論簿記論及び財務会計論の講義を履修し、財務諸表について十分に理解していることが望まれる。

成績評価の方法

成績は、レポート（30%）及び年度末のテスト（70%）の結果によって評価する。

教科書

飯岡・市村・島崎共著『会計監査概論』（中央経済社）3,500円

参考書等

飯岡透著『中間財務情報制度論』（中央経済社）3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管理会計論	中原章吉	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

講義のねらい

「管理会計」という分野は、多くの人にとって、大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段もの段階を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということです。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、管理会計の本質、体系その中の「意思決定会計」と「業績管理会計」をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連についても講義していきたいと思えます。

後期は、管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

履修上の留意点

1年生で「会計学総論」を選択しなかった経済学科の学生は会計学の入門書を読んでおくと講義が理解しやすいと思えます。例えば、『企業会計の基礎』（創成社）

教科書

『管理会計論』（税務経理協会）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 価 計 算 論	かとうとし やす 加 藤 利 安	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

#### 講義のねらい

19世紀中葉において確立した原価計算は、目的手段体系として、その成立の当初から現在に至るまでさまざまな実践の場から提起され、時代とともに変容する各種の目的に応えることが期待されてきた。わが国の「原価計算基準」は原価計算の果たす目的を5つ列挙している。換言すると、財務諸表作成目的（財務会計目的）と経営管理目的という包括的な2つの目的を達成すべきものとして設定されている。しかしながら、基本的には財務会計的側面に強く傾斜しており、全部原価計算による製品原価の計算に主眼が置かれている。しかし他方において、戦後における原価計算の研究は、その経営管理的利用面において大いに開発されてきている。標準原価計算、直接原価計算そして貢献利益計算等が提唱され、さらに最近に至ってはプロジェクト・プランニングや戦略的な経営管理の計数的技法として関連原価計算や活動基準原価計算が論議されている。このように、一定の時代的、環境的状况の認識の下で、ある特定の社会的役割を果たすべく設定されてきた原価計算制度・「原価計算基準」も、その変容した今日的な経済的、社会的な環境下で、現実的な課題への適合性が問題とされるに至り、原価計算システムの再構築や管理会計基準設定等の提言が数多くみられるようになっている。それは、「異なる目的には異なる原価計算システム」の開発可能性という様相を表わしている。一定の環境状況の下で、企業経営の現実的課題と関連して計算目的が設定され、目的達成の手段であるとすれば、原価計算の目的手段体系の因果的理解ができるのでないか。このような趣旨で本年度の授業内容は、わが国の原価計算基準を所論展開の中心としながらも、その後展開された各種委員会の研究成果を踏まえつつ、それらを一過性の会計現象として捉え、それをできるだけ系統的に分析し、原価計算の展開過程を論理的に解明することをこころがける。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期では、原価計算の基礎的考察を行う。原価の諸概念の検討や「原価計算基準」設定の意義、そしてその構成上の特質について検討を加える。

後期では、近年における原価計算の展開過程の特徴を「原価計算基準」と関連させながら解明する。そこでは主として、意思決定指向的な原価計算としての関連原価計算、活動基準原価計算について検討を加える。

#### 成績評価の方法

原則として、学年末の定期試験の成績に基づいて評価するが、夏期休暇前の最終授業時において簡単な試験も行う。

#### 教 科 書

最初の授業時に指示する。

#### 参 考 書 等

授業時に適宜挙げる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう ぞう 古 沢 紘 造	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法律・政治・経営・短放	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
  1. 農産物と貿易
  2. 水産物と貿易
  3. 林産物と貿易
  4. 鉱物資源と貿易
  5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
  1. 開発援助と貿易
  2. 環境と貿易
  3. 公正と貿易
  4. グローバリゼーション
  5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教 科 書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参 考 書 等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 論	さいとう 藤 正 齊 藤 正	禪・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 法律・政治・短国・短英	4

### 講義のねらい

近年、経済の様々な分野で「規制緩和」、すなわち自由化が喧伝され、金融業においても「6大改革」の重要な柱として金融ビッグバン構想が展開されている。官僚的規制には様々な問題が指摘できるが、モラルを欠いた「自由化」がそのまま認められることにはならない。とりわけ銀行は、「預金通貨の供給」を通じて経済社会の決済システムを担っており、その安定性（信用秩序の維持）なしには経済社会の安定も達成されないという意味で、他の産業と異なる独自の「社会的責任」が存在する。相次ぐ経営破綻、数々の金融スキャンダル、巨額の不良債権など信用秩序の動揺は、「野放しの自由化」が銀行を収益至上主義に陥らせ、その結果経済社会に対しても多大な否定的な影響を及ぼすことの例証である。また、「堅実で、比較的高賃金」というイメージで、就職先としての人気も高いとされる銀行の職場は現在、自由化の下での競争激化に伴う「経営合理化」によって、サービス残業、苛酷なノルマなど、「長時間・過密労働」がさらに強められるとともに、出向・転籍が常態化し、健康と将来への不安を抱く行員が増えている。

このように銀行を取り巻く状況は内外ともに問題が多いと言わざるをえないが、しかし、銀行は依然として「貨幣の供給」及び決済システムを担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の役割を果たしている。それゆえ、今こそ銀行の健全なあり方が強く望まれるのである。

本講義では銀行の基礎理論を踏まえたうえで、戦後の日本経済の展開に果たした銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき姿を考えてみたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1) 前期は銀行の基礎理論を中心に講義する。
  - ① ここでは古代からすでに存在した「金貸し業者」や「高利貸」と「銀行」との違いがどこにあるのかを検討しながら、「銀行」の基本的機能及び経済社会（メーカー、商社、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
  - ② 銀行が、一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。だが、銀行は受け入れた預金をそのまま現金で貸し出すわけではなく、受け入れた預金を基礎として、貸し出す際に「信用貨幣」（預金通貨）を創造する。現代社会では、エレクトロニクス技術の進展に伴い、ファームバンキングやホームバンキング、さらには電子マネーといった「キャッシュレス社会」現象がみられるが、それは銀行を頂点とした信用（債権債務）関係の高度な発展であると同時に、返済の確実性を前提に成り立っていることを忘れてはならない。
- 2) 後期は戦後日本の経済に果たした銀行の役割を、時期毎に検証し、将来の銀行制度の望ましいあり方について検討する。
  - ① まず、専門的金融機関制度あるいは分業主義といわれる戦後日本の金融制度の特殊性とそれぞれの専門機関（普通銀行、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など）の果たした役割の理解を目指す。
  - ② 時期区分は、おおまかに高度成長期、スタグフレーション期、自由化以後、とし、欧米の動向も参照しながら、それぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されたのかを併せて紹介する。
  - ③ とりわけ、現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半の「バブル経済」と90年代以後の「バブル崩壊」である。戦後銀行制度の構造的転換という視点からこの時期の諸問題を検証する。
  - ④ 以上を通じて現在日本の銀行が抱える問題を理論的にも制度的にも的確にとらえ、金融ビッグバン構想について検討を加えながら望ましい銀行制度のあり方についての理解を深めたい。

### 成績評価の方法

成績は、基本的には前期試験（レポートに変更の場合もありうる）と後期試験によって評価するが、出席状況、授業態度における積極性も十分加味する。また、履修にあたっては、「独自の銀行観」の習得を目指すことを望む。

### 教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。また、毎回レジメを配布し、それに沿って講義する。

### 参考書等

- 谷田・野田・久留間編『現代金融の制度と理論』、熊野・龍編『現代日本の金融』  
いずれも大月書店 1992年。山田・野田編『現代日本の金融』（新日本出版社）1997年
- 日本銀行『新版 わが国の金融制度』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	さいとう 齊 藤	ひまし 寿	4

講義のねらい

「各種行政法原理の究明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、各種行政法の法理究明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用収用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。

— 私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) — との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親 族 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 政治・経営・短大	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版〕』(有斐閣双書) 1,648円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・政治・経営・短大	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(9)相続〔第4版〕』(有斐閣双書) 1,648円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	祥・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。イギリスの法制度の歴史を、特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066-1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造Ⅰ 中世ヨーロッパの封建制
    - 第3節 社会構造Ⅱ イングランドの封建制
    - 第4節 統治構造 封建制の解体
  - 第3章 近世 (1350-1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	また の 北 野 かほる	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を概観し、その主要な理由をなすと考えられる。法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1編 概論
  - 第1章 法系論
    - 第1節 西洋近代法の法系
    - 第2節 英米法系の特色
  - 第2章 英米法の特徴
    - 第1節 法内容の歴史性
    - 第2節 法観念の社会性
    - 第3節 法思考の実務性
  - 第3章 判例法の理論
    - 第1節 総論：「判例法主義」
    - 第2節 先例拘束性の原理
    - 第3節 判決における「法」
    - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
  - 第1章 裁判所制度
    - 第1節 イギリス
    - 第2節 アメリカ合衆国
  - 第2章 訴訟過程
    - 第1節 英米訴訟制度の特徴
    - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

望月礼二郎『英米法（改訂第二版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円  
その他の参考書：年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	わか だ と し ひろ 岡 田 外 司 博	禅・仏教・国文・英米文 地 理 ・ 歴 史 ・ 社 会 福 祉 ・ 心 理 ・ 経 営 ・ 短 放	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

参 考 書 等

初回の講義の時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際政治学	こほりのお 堀 訓 男	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経済 商・法律・経営・短国・短英	4

#### 講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生と共に考えたい。

#### 履修上の留意点

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は、必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業をすすめたい。よって、積極的な参加を求める。

#### 成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

#### 教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ政治史	うらたさなえ 浦 田 早 苗	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・経営・短放	4

#### 講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること及び、現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 近代の始点ルネサンス期と18世紀 ○英国革命とIRA ○ジャコバイトと英国王室
- 議院内閣制の成立変遷過程 ○英国における政治腐敗防止過程 ○フランス革命と国家の概念
- フランス政治におけるジャコバン主義 ○「後発国型近代化」の問題点 ―ドイツの場合―
- 統合ヨーロッパの源流

#### 成績評価の方法

前期レポート 7～8×400字 は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

#### 教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地方自治法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短国・短放	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。その際、現在進行している地方分権推進のシナリオは参考になる。

講義の内容・  
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位、自治立法権について議論を行う。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。

成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とする予定である。単位認定のとき考慮することがある。

教科書

南博方他『行政法(3)（第3版）』（有斐閣双書）1,800円

参考書等

原田高彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）。『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）

なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方自治』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
立 法 過 程 論	まえ だ ひて あき 前 田 英 昭	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経済 商・法律・経営・短国・短英	4

講義のねらい

法律はどのような経過を経て、どのような人々の手によって、どのようにつくられるのかを勉強することによって、法律、政令、条例などの法令の起案の仕方や、社会生活において必要とされる規則のつくり方に習熟し、法令や規則の理解を容易にすることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

立法過程とは、立法を中心に議会でのさまざまな決定をめぐる繰り返される議会内外諸勢力の公式・非公式の相互作用の実質的な過程であり、狭義には、議会内部での法律制定に関する立法手続の諸過程をさす。今年度は、後者を主として対象とする。

[取り上げるテーマ] 立法過程とは。国会における審議過程。立法過程における政府の役割。立法過程における議員の役割。内閣提出法律案。議員提出法律案。内閣法制局と議院法制局。常任委員会制。法律の体裁と用語の解説。法律・政令・条例。政府委員。審議会。会議制。会議の公開。委任立法（行政立法）。法律と予算。法律の公布・施行。その他サッカーくじ法など個別法案。（順不同）

履修上の留意点

この講義は、公務員志望の学生、立法機関としての国会や地方議会に関心のある学生向きである。できるだけ出席して国会職員としての経験談も聞き講義のテーマに関連した時事問題の解説にも注目すること。

成績評価の方法

平常点と期末試験（ノート持ち込み可）

教 科 書

前田英昭『国会の立法活動』（信山社）

参 考 書 等

小島和夫『法律のできるまで』（日本評論社）  
浅野一郎『立法過程』（ぎょうせい）  
前田英昭『国会の100年』（原書房）  
岩井泰信『立法過程』（東大出版会）  
林修三『法令用語の常識』（日本評論社）  
中村睦男・前田英昭『立法過程の研究』（信山社）近刊

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 政 治 学	いわさきまさひろ 岩崎正洋	禪・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経済 商・法律・経営・短国・短英	4

#### 講義のねらい

この科目で取り扱うテーマは、現代世界の民主主義諸国の政治に関する問題を、現代の比較政治学の理論の観点から検討することである。科目名は、「比較政治学」であるが、広義に捉えれば、「現代政治分析論」ということもできよう。

本講義では、比較政治学の基本的な理論の検討を通して、「比較政治学は現実政治を考える上でどのように役立つのか」という点を考える。比較政治学が研究対象とするのは、世界のあらゆる国々である。それ故、焦点を向けるのは、先進諸国だけではなく、また発展途上国だけというでもない。先進国同士を比較することもあれば、発展途上国同士を比較することもある。さらには、先進国と発展途上国との比較を行うこともある。

本講義では、各国の政治現象を説明するさまざまな議論に言及し、現実政治の理解と政治理論の理解との間を架橋することを目的とする。この講義でとり上げる比較政治学の諸理論は、各国の政治の類似点や相違点を明らかにするための視点を提供することになるだろう。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下のような項目に従って、比較政治学の理論を広範に見渡し、現実政治が政治理論によってどのように説明され、捉えられているのかを明らかにする。それにより、現実政治と政治理論との間の橋渡しを行うこととする。

- I 比較政治学の課題と方法
- II 政治システム
- III 政治発展
- IV 政治文化
- V 政治体制
- VI 連立政権
- VII コーポラティズム
- VIII 福祉国家
- IX 民主化
- X 政党システム

なお内容・スケジュールについては、現実政治の変動を受けて、若干変更することもあるので、その点に留意されたい。

#### 履修上の留意点

この科目のみが学部内の政治学に関連する科目として独立して存在するのではないため、関連分野の他の科目と併せて履修することが望ましい。

しかし、本講義のテーマに関心をもつ者が初学者であったとしても、何ら履修上の差し支えはない。受講者の知識の習得と理解の増進に役立つような授業展開としたい。

日常生活や研究においても、この科目に関連する情報を、新聞や雑誌、ニュース、インターネットを通じて収集し、理解増進に役立てられたい(例えば、各国の選挙結果についてのデータ・アーカイブや政党や政府のホームページなど)。

#### 成績評価の方法

原則として、定期試験およびレポートの評価を総合して行う。前期もしくは後期のいずれかを試験とし、もう一方の学期をレポートとするような形態を考えている。

ただし履修者の数などにより、その方式に変更がありうることを念頭に置かれたい。

#### 教科書

教科書というかたちで、何か特定の書物を一年間にわたり使用することはないが、授業中に適宜、参考書および関連文献を提示する。

#### 参考書等

講義の際に詳細な文献目録を提示するが、さしあたり、以下に挙げる書物は、比較政治学について考える際に役立つだろう。

- \*M. ドガン&D. ベラッシー／櫻井陽二訳『比較政治社会学』(芦書房) 1983年
- \*西川知一編『比較政治の分析枠組』(ミネルヴァ書房) 1986年
- \*H. J. ウィアールダ編／大木啓介他訳『比較政治学の新動向』(東信堂) 1988年
- \*砂田一郎・藪野祐三編『比較政治学の理論』(東海大学出版会) 1990年
- \*青木一能・野口忠彦・岩崎正洋編『比較政治学の視座』(新評論) 1998年
- \*Jan-Eric Lane and Svante O. Ersson, *Politics and Society in Western Europe*, 3rd ed., (Sage), 1994.
- \*Jan-Eric Lane and Svante O. Ersson, *Comparative Politics: An Introduction and New Approach*, (Polity Press), 1994.

#### そ の 他

基本的に講義中心とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 国 家 論	おお つか かつら 大 塚 桂	禪・仏教・国文・英文文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経済 商・法律・経営・短国・短英	4

講義のねらい

福祉国家の見通しが叫ばれて久しい状況にあります。ありうべき国家とは何か、が今日の重要課題とされています。本講義は、諸君がいままで履修してきた政治学、憲法などの学科目の知識をふまえて、現代国家の実相にせまるのを目的とします。

さしあたって、現代国家を理解するには、国家概念の展開を理論（史）的に整理することからはじめるのが、ヘダーでしょう。政治学の発達を顧みたと、政治学＝国家論であったことがわかります。講義では、隣接科目（憲法・行政法・政治哲学・政治思想史・政治史・行政学）の研究成果をとりいれながら「国家」の問題を討究していきます。国家論は総合科学としての性格をもつものといえるでしょう。

講義の内容・  
授業スケジュール

- A 国家論の課題ならびに研究方法
- B 国家学説の史的展開
  - ①古代国家学説 ②中世国家学説 ③近代国家学説 ④現代国家学説
- C 法治国家の構成原理
  - ①法治国家論 ②政治制度 ③官僚制 ④国家緊急権
- D 行政国家の構成原理
  - ①福祉国家 ②ネオ・コーポラティズム ③シティズンシップ ④きたるべき国家

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかにより単位を認定します。

A方式（レポートによる単位認定）

～年4回の課題を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。

B方式（試験による単位認定）

～中間・期末試験により、成績を評価します。B方式のみ追・再試験を実施します。

教 科 書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

そ の 他

上記テキスト所収の〈参考文献〉を参照のこと。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 労 務 論	か しま ひで あき 鹿 嶋 秀 晃	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、経営労務学説史、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、日本の生産システム、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、90年代の労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には講義を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったように問題点を掲げ、その解説をおこなう。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明をするので、初回は重要。出席は取らないので、出席点はなし。私語は他の学生に迷惑になるので遠慮してもらいたい。

成績評価の方法

学期末の試験のみによる。内容はA方式：①空欄補充問題（約50点分）②論述問題1問（約50点分）の計100点、またはB方式：論述問題1問（100点）のいずれかを選択のこと。詳細は初回の講義で説明する。

教 科 書

テキストは津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993 定価3,000円程度

参 考 書 等

労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995 定価2,600円程度、経営労務をより体系的に深く学習するのにより白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992 定価3,500円程度をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

そ の 他

授業は講義の形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際経営論	もがきひろし 茂垣広志	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・政治・短放	4

#### 講義のねらい

国際経営とは、「国境を越えて事業展開しているその各拠点間の諸活動をどのようにマネジメントするのか？」という課題に取り組んでいる経営学の一領域である。したがって、既存の経営諸理論を基礎として、各事業拠点を高度に海外に分散化した多国籍企業特有の問題を扱っている。本講義のねらいとしては、経営戦略論、マネジメント論、組織論等をベースとして、比較経営論ないし異文化経営論の視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントを考える際の基本的フレームワークについて、種々の理論（アプローチ）、データ、ケースを援用し考察していきたい。つまり、企業の国際化、多国籍化にまつわる諸現象を企業経営の観点から多面的に捉え、検討することを通じて、国際経営に関する理解を深めることを目的としている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

海外に拠点を高度に分散化している MNC にとっての大きな課題は、それら拠点の現地化（適応性）の要請とグローバルな統合化（効率性）の要請のバランスないしその同時達成である。日本企業の場合、急速な海外展開と日本的マネジメントの特徴から、アメリカ系および欧州系 MNC と異なる様相を示している。授業では、その日系 MNC の戦略及びマネジメントの特徴を理論、欧米系 MNC との比較、ケースを通じて理解し、課題ないし問題点を理解することに主眼を置くことにする。より具体的には、以下のような内容を予定している。

- I. 国際経営のフレームワーク（隣接領域との異同と関連性）
- II. 企業の多国籍化を説明する諸理論の検討（IPLC 仮説、寡占反応仮説、差別化優位仮説、内部化優位仮説、経営資源優位仮説、折衷仮説等）
- III. 国際経営／企業多国籍化の発展段階モデル（ロビンソン・モデル、小林モデル、マッキンゼー・モデル、ルートの海外市場参入段階モデル、EPRG モデル等）
- IV. 国際経営の戦略選択モデル（国際競争戦略）
  1. 国際競争優位性（規模の経済・範囲の経済・連結の経済、比較優位・国家特殊優位性）
  2. 国際競争戦略の類型（ポーター・モデル、ドズ＝ブラハラード・モデル、バートレット＝ゴシヤール・モデル等）
- V. 国際戦略と国際経営管理
  1. マクロ構造（国際事業部制、世界的地域別構造、世界的製品別構造、世界的マトリックス構造）とミクロ構造および内部ネットワーク
  2. 欧州系 MNC とアメリカ系 MNC の戦略およびマネジメント上の特徴（経営伝統と現状）
  3. 日系多国籍企業の海外子会社マネジメントの特徴（その現状と課題）
- VI. 国際マーケティング戦略
  1. 海外市場参入と現地マーケティング戦略の展開（現地マーケティングミクス）
  2. 国際マーケティング戦略における現地適応化とグローバル標準化
- VI. 日本企業の国際化と人的資源管理
  1. 異文化マネジメント
  2. 海外派遣社員の人事管理
  3. 国際人的資源管理（能力開発、処遇、キャリアデベロップメント）
- VII. 国際研究開発戦略
  1. R&D の集中化と分散化
  2. 規格競争と戦略提携（R&D コンソーシアの形成）

以上が講義内容の要目であるが、講義では単なる理論の紹介のみならず、各種調査データや具体的な企業のケースを通じて理解を深めていきたい。

#### 履修上の留意点

経営学、経営戦略論の知識があった方が理解しやすいので、そのような関連科目を既に履修しているか、現在している方が望ましい。ただ、授業中にも概説する。

#### 成績評価の方法

成績は、出席状況および期末試験の結果により判断します。

#### 教科書

茂垣広志・池田芳彦『国際経営論』（学文社）2,800円＋税

#### 参考書等

根本孝・諸上茂登『国際経営の進化』（学文社）

#### その他

講義が中心であるが、その際 OHP ないしプロジェクターを用いてビジュアル的な授業を行う。その際、使用資料について配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	やま だ まさる 山 田 勝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短国・短放	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点      | (6) 継続性       |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流通量       |
| (3) 利 潤         | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商 品         | (9) 価格革命      |
| (5) 市 場         | (10) 情報社会と商業  |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。  
教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教 科 書

山田勝著『現代商業史』（創成社）2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いしな ぎか くに あき 石 名 坂 邦 昭	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の態度と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメント』(白桃書房)  
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営分析論	かたぎり のぶ お 夫 片 桐 伸 夫	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・政治・短放	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
- 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
- 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、

といった内容です。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、教科書で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと学年末試験で行います。

\*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

\*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

渋谷武夫著『経営分析の考え方・すすめ方』（中央経済社）3,568円

参考書等

随時、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 務 会 計 論	たか き かつ み 高 木 克 己	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法律・政治・短放	4

#### 講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
  - (1) 移転価格税制
  - (2) タックス・ヘイブン対策税制
  - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

#### 履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

#### 成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

#### 教科書

開講時に指示する。

#### 参考書等

開講時に指示する。

#### その他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 情 報 論	たか 高 井 徹 てつ お 雄	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・政治・短国	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。

本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

I. 経営情報と系統的観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなものの方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観する。また、インターネットと同様な環境をベースとした、イントラネット・エクストラネットに触れ、現在から近未来における戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法など乱数を用いる基礎的方法に触れた後、分散系シミュレーションモデルの構築方法を学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

※なお、適宜（前期3、後期5回程度）、情報教育センターのコンピュータルームを利用して実習形式で授業を行う。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。  
その他、出席状況と実習授業時の課題も評価に反映する。

教 科 書

高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円  
上記教科書の他に、適宜プリントで補足する。

そ の 他

情報処理基礎、統計原論を先にまたは同時に履修しておくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報理論	にしむらかずお 西村和夫	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・政治・短国	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（ビットという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報をフロッピーディスクに記録するために十分な枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

講義の内容・授業スケジュール

月	回数	内 容
4	3	授業内容概説、情報とは、情報量への要求
5	3	対数の原理と性質、計算練習
6	4	情報量の定義、練習、情報量の利用
7	3	暗号系と用語、古典的な暗号
9	2	現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
10	2	符号化（JISコード、万国共通文字符号）、対数・情報量の中間試験
10	2	確率過程およびマルコフ過程
11	2	遷移確率と同時確率
11	1	エントロピーの定義
12	2	冗長度、言語のエントロピー
12	1	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
1	1	チェック桁、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年生が履修するのは困難です。2～3年生のうち履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、OHPとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

各種の参考書をそのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕 → 経営情報論



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 統 計	ちやう 国 強 長 国 強	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・法律・政治・短放	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・  
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：	経営統計の役割、基礎概念	1回
統計特性値：	平均、分散、正規分布	2回
市場調査と統計整理：	調査の諸段階、標本設計、データ整理	6回
統計推測：	標本分布、区間推定、仮説検定	2回
前期復習と中間試験：	(七月中旬)	2回
経営時系列：	季節指数、時系列予測	4回
経営指数：	物価指数、数量指数	2回
分散・回帰分析：	一元配置法、相関係数、最小2乗法	3回
統計的意志決定理論：	意思決定基準、期待効用理論	2回
後期復習と定期試験：	(翌年一月中旬)	2回

履修上の留意点

年間6回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により統合的に判断する。

教 科 書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

参 考 書 等

西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』（培風館）1992  
守口栄一・竹田仁共著『経営数学：経営統計とその応用』（日本理工出版社）1992

そ の 他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 代 文 学 講 読	佐 原 作 美	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

授業では『万葉集』を対象にその講読を行う。『万葉集』は承知のごとく、舒明朝（629-641）の頃から奈良朝の天平宝字3年（759）までの約120年間の和歌約4,500首が収められている、わが国最大の和歌集である。そこで授業では、『万葉集』の中から代表的な歌人で個性豊かな、山上憶良等の和歌を中心に講読していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

『万葉集』を理解するには、作品を読解し作者を知るほかに、当時の歴史や社会的文化的な背景を視野に入れながら読んでいくことが大切である。そうした点を考慮に入れ踏まえながら、作品を読んでいきたい。

成績評価の方法

レポートや出席状況をもって評価する。

教 科 書

土橋 寛編『作者別 万葉集』おうふう（桜楓社）刊 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 古 文 学 講 読	鈴 木 裕 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるのでしょうか。受講者一人一人に答を見付けてもらいたいと思います。そのためには、とにかく原文を自分の力で読まなくてはなりません。作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、最後には、他者の評価を鵜呑みにするのではない、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになるとよいと考えています。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年は、初音の巻から読みます。完成した六条院に玉鬘を迎え、いよいよはなやかに我が世の春を誇る光源氏。いわゆる玉鬘十帖の構造や意味についても理解を深めていきたいと思っています。

履修上の留意点

授業は、テキストを用いての講義を中心に行ないます。が、教師の一方通行にならないように、受講生の積極的な質問や感想・意見など建設的な発言は歓迎します。

成績評価の方法

期末に試験を行ないます。（前期一回、後期一回）その他、授業中に適宜レポート等を課し、出席状態などの平常点を加味して評価します。

教 科 書

『源氏物語四』新潮日本古典集成（新潮社）

参 考 書 等

秋山虔・室伏信助編『源氏物語必携事典』（角川書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学講読	その べ みき お 園 部 幹 生	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

中世文学の中から、本年度は『御伽草子』をとりあげる。『御伽草子』は、「一寸法師」「浦島太郎」「物くさ太郎」「鉢かづき」「酒呑童子」その他（狭義では二十三編）のたいへんによく親しまれた作品群であるが、古典の原文を読むことで、幼い頃に親しんだ御伽話とはまた異なる作品世界を味わいたい。作品それ自体が持つおもしろさを堪能することも講座のねらいではあるが、加えて、それ以前の古典作品とは質的に変貌してきた中世文学のあり方や享受の問題について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前後期を通して、『御伽草子』の中の作品を出来るだけ多く講読する。

履修上の留意点

毎時間、その日の講義内容に対する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限に提出する意見文によって50点分を評価し、12月末の時間内に50点満点の筆記試験を行う（試験はテキスト・ノート・辞書・参考書等何でも持ち込み参照可）。なお、追再試験はレポート提出とするが、これについては1月の授業時間内に指示するので、必ず出席すること。

教科書

臼田甚五郎・藤島秀隆・岡田啓助・成田守編『御伽草子』（おうふう）1,848円

参考書等

必要に応じて時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学講読	かん の かず お 菅 野 一 雄	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

現在の劇場で上演される「文楽」は、「浄瑠璃」演奏による人形芝居で、世界の人形劇の中でも独特なものである。この「浄瑠璃」とは、中世後期に発生し、近世に発展・盛行した芸能である。浄瑠璃詞章の作者として代表的なのが近松門左衛門である。近松はたくさんの名作を残したが、『曾根崎心中』は元禄16年に初めて身の廻りの町人の生活から取材して書いた作品で、大当りをとったものである。醤油屋の手代徳兵衛と遊女お初が、愛し合っているが心中に至ってしまう物語で、現在の「文楽」でも繰り返し上演される人気演目である。

この講義において、浄瑠璃とはどういうものか、近松はどのような作品を作ったか、『曾根崎心中』の二人の主人公やその周囲の人々に近松がどういう眼を向けていたか、何を観客に訴えようとしていたか、などを学習して考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

浄瑠璃の歴史、近松門左衛門の略歴などを説明し、『曾根崎心中』をくわしく読む。言葉の意味、引用されている先行作品、表現技巧などをこまかく吟味し、現在の「文楽」で上演する形態も適宜考察しながら読んで行く。

履修上の留意点

だいたい講義式で進める。時々全員での斉読を行う。毎時出欠をとる。学生の私語や無礼には厳しく対応する。

成績評価の方法

随時小テスト（テキスト・ノート携行）を行い、その結果と出欠状況などを総合して評価する。

教科書

祐田善雄校注『曾根崎心中・冥途の飛脚他五篇』（岩波文庫）

参考書等

講義の進展につれ、随時参考資料や観劇資料を紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学講読	いし わり とおる 石 割 透	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい	1910年代から1920年代に発表された、わが国の代表的な小説を、多様な角度から読み、同時代の文学史、表現史の検討の一助としたい。
講義の内容・授業スケジュール	扱う作品は芥川龍之介『奉教人の死』『秋』『齒車』、谷崎潤一郎『少年』『帮間』『痴人の愛』、志賀直哉『十一月三日午後』、『雨蛙』、内田百閒『冥途』『施順入城式』、宇野浩二『蔵の中』など。また、それらの作品や時代に共通する課題をかかえた菊池寛、近松秋江、江戸川乱歩などの作品も自由にとり入れて、この時代の文学の問題を考えていく予定。
履修上の留意点	文庫本などで接することが難しい作品を扱う場合もあるが、そうした作品も、受講者は必ず授業でとりあげる作品を前もって読んで授業に臨んでほしい。
成績評価の方法	レポートなどでは、これまでの研究文献にもたれかかるとのこない、斬新な視覚によるものを期待したい。
教科書	『奉教人の死・煙草と悪魔』『大導寺信輔の半生・手中・湘南の扇』（以上、岩波文庫）、谷崎潤一郎『刺青・秘密』（新潮文庫）、『美食倶楽部-谷崎潤一郎大正作品集』（ちくま文庫）、志賀直哉『小僧の神様・城の崎にて』（新潮文庫）、内田百閒『冥途・旅順入城式』（岩波文庫）
参考書等	授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代文学講読	あん どう こう すけ 安 藤 幸 輔	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい	「戦後文学」の代表的作家の作品を講読する。すなわち、 ・太宰治『富嶽百景』『斜陽』『お伽草子』『ヴィヨンの妻』『駆け込み訴え』など。 ・坂口安吾『風博士』『桜の森の満開の下』『青鬼の禪を洗う女』など。 ・大岡昇平『俘虜記』『武蔵野夫人』など。 ・三島由紀夫『金閣寺』『橋づくし』『近代能楽集』など。 (上の各作家の作品は、掲げることのできなかつた作品も扱いたい。受講生が手にしやすい文庫本に収録されているものを選ぶようにするため、作品や順序に変更があるかもしれない。)
教科書	テキストは、そのつど指示する。
参考書等	参考文献は、そのつど指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習 I 〔英語音声の基礎〕	Ashwell, Tim (アシュウエル, ティム)	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 福祉・心理・短国・短放	4

講義のねらい

It is hoped that by taking this course students will become proficient in aspects of the spoken language which may have been overlooked in their English language education to date, namely word and sentence stress, discourse stress and the equally important feature of reduction. By developing these aspects, it is hoped that students' listening comprehension will improve as well as their production of spoken English.

講義の内容・  
授業スケジュール

Part of each lesson will be devoted to exercises from the textbook, 'Clear Speech', but time will also be set aside for working on the skills necessary to give an effective oral presentation in English. Facilities permitting, it is also hoped that students will engage in shadow speaking exercises, recording their own voices on tape alongside a model. Emphasis will, in any case, be laid upon the recordings students make for homework.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absence are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Grades will be based on: 1). effort shown in class: 2). homework: 3) presentations: 4). attendance.

教科書

*Clear Speech* by Judy Gilbert (Cambridge University Press)

その他

Students should buy a 90 minute cassette.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 計 測 学 ( 前 期 )	かし 櫃 尾 英 次	禪・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉 心理・経済・商・経営	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まれなかった重要な機器について行う。

医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
  - 放射性核種および放射線計測の基礎
  - ガンマカメラ
  - SPECT
  - PET
  - 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) X線診断装置
  - CR (Computed Radiography)
  - DSA (Digital Subtraction Angiography)
- 3) 超音波診断装置
- 4) PACS (画像管理システム)
- 5) 生体電気計測
- 6) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。



# 3 随意科目





### 3 随 意 科 目

英		語	(海	外	演	習)			457			
宗	教	学	概	說	(洗		建)		457			
宗	教	学	概	說	(池	上	良	正)	458			
宗	教	学	概	說	(津	城	寬	文)	458			
哲	学	概	說	(末	木	恭	彦)	459				
哲	学	概	說	(国	嶋	一	則)	459				
倫	理	学	概	說	(久	保	陽	一)	460			
宗	教	人	類	学	(佐	木	宏	幹)	461			
民	間	信	仰	論	(谷	口	貢)	462				
日	本	宗	教	文	化	史	(池	上	良	正)	462	
日	民	衆	宗	教	成	立	史	(津	城	寬	文)	463
歷	史	哲	学	(麻	生	建)			463			
美	術	史	概	說	(矢	野	陽	子)	464			
東	洋	思	想	史	(末	木	恭	彦)	464			
日	本	仏	教	史	(遠	藤	廣	昭)	465			
日	本	文	化	史	I	(廣	瀬	良	弘)	465		
日	本	民	俗	学	(谷	口	貢)		466			



科目名	配当学科	単 位
英語（海外演習）	全学科・短大 1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、プリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科目名	担当 者 名	配当学科	単 位
宗 教 学 概 説	あらい けん 洗 建	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心 理 2 年 次 ～	4

講義のねらい

実証的研究としての宗教学の立場から、我々現代日本人とのかかわりを念頭に置いて、世界の諸宗教について概説し、宗教を理解することがあらゆる人間の営み（諸文化、諸学問）を理解することといかに深くかかわっているかを明らかにする。

この教科は教職科目であるので、できれば近代と宗教、憲法理念と宗教の問題にも言及したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

宗教学の性格、原始宗教、民族宗教、仏教、キリスト教、イスラーム教、神道、新宗教運動、近代化、世俗化、信教の自由、政教分離などの諸問題について考える。

履修上の留意点

できるだけ出席し、事実を覚えることより、宗教学のものの見方を理解して貰いたい。したがって、原則として出席をとる。

成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

教 科 書

特に指定しないが、水野弘元、柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）を持っていれば、参照すること。

参 考 書 等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 概 説	いけがみ よし まさ 池 上 良 正	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年 次 ~	4

講義のねらい

「宗教」とよばれる現象には、特定の教祖によって開かれ、制度的・教典的な背景や歴史をもった「世界宗教」とよばれるものから、共同体の生活週間や年中行事に組み込まれた「習俗」、あるいは機能分化した近代社会に生きる個人の「生き甲斐」まで、多様な幅がある。また、教祖・聖者などの宗教的達人やエリートによって説かれた「思想」から、現代祈祷・死者供養・祭礼・禁忌・呪い、などとよばれるような庶民の「実践」まで、途方もない広がりをもっている。

本講義では、主として一般庶民の生活に根ざした、宗教の民俗・民衆的な側面に焦点を合わせ、宗教学の視点から、この側面を捉える方法や、その具体的な研究成果について考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義形式によって、代表的な研究を紹介することを予定しているが、受講者の人数によっては、学生諸君に課題を与えて発表してもらうこともある。

成績評価の方法

レポートを予定しているが、試験に変更する可能性もある。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。さしあたり、佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）などが役に立つ。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 概 説	つ しろ ひろ ふみ 津 城 寛 文	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年 次 ~	4

講義のねらい

世界宗教史と日本宗教史を軸にして、原始宗教・古代宗教から現代の宗教現象まで、宗教としての共通点と、それぞれに固有の特性が明らかになるような講義にしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は世界宗教を軸に、後期は日本宗教史を軸に、講義を進めます。日本宗教史は概説ではなく、仏教関係の話題も重複のないように省き、興味深い話題に焦点をあてた各論にします。おおまかなスケジュールは次のとおりです。

前 期

比較宗教学の前提、呪術と宗教、アニミズム・シャーマニズム、原始宗教・古代宗教、ヒンドゥー教と仏教、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教、世界の新宗教運動

後 期

固有信仰、神と仏、宗教者の群像、近代化の中の宗教、宗教と国家、宗教と教育

履修上の留意点

とくにありませんが、私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行ないます。

教 科 書

用いません。

参 考 書 等

その都度紹介します。

そ の 他

数回ビデオを用います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学概説	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

#### 講義のねらい

哲学とは何であろう。そして、それは人生に如何なる意味を持つのであろうか。哲学を学ぶ以前にこのような問いがある。この問いにこそ、この講義を通じて探究を試みる。始めに述べた問いは、我々東アジアの人間にとっては極く自然である。何故なら、東アジアの学問の伝統の中には哲学なる学問は無かったからである。この地域では近代欧米諸国文化の強い圧力下に、新しい学問として哲学を成立させた。その時、唯翻訳するのではなく東アジアの伝統的学問を再構成して、哲学として成立させようと努力する一群の人々もいた。中国にあって、伝統をふまえて独自の哲学を試みた人々の仕事を紹介し、それを通じて冒頭の問いに我々なりの見解を持ちたい——そのような企図の下に、この講義を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

今年度は、中国の近代哲学者として最も世界に名を知られた馮友蘭を取挙げる。始めに彼の哲学の背景を理解するために、伝記を紹介する。その後、彼独自の哲学新理学の主要著作の中から『新事論』『新世訓』の学説を紹介する。

#### 成績評価の方法

次のものを材料にして成績をつける。

1. 試験あるいはレポート
2. 平常の受講態度（年数回抜き打ちの理解調査を行う）
3. 受講をこえる積極的な学習（任意のレポート、質問〈書面で提出して貰う〉などで判断する）

#### 教科書

『馮友蘭自伝』、馮友蘭『新事論』『新世訓』（ともに和訳はないので、必要箇所を講師が訳し編集したものをプリントして配布する。中文版については授業中に解説する）

#### 参考書等

馮友蘭『哲学回憶録』（吾妻重二訳、『みすず』275号～284号）／柿村峻・吾妻重二訳『中国哲学史』（富山書房）／高田庚次『新儒家哲学について』（同朋舎）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学概説	くに しま かず のり 国 嶋 一 則	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

#### 講義のねらい

われわれは、生きてゆくための支えとなるものを求めざるをえない。「支え」となるものは価値のあるものである。価値とはいかなるものを明らかにするには、まず価値が、自然や人間や歴史などの存在するものと、いかなる関係にあるかを、さらにその前に、存在するものがいかなるものであるかを、明らかにしなければならない。

ところで、世界、人間、歴史などの存在するものが、いかなる仕方で存在するかという存在論の問題を考えるためには、われわれは何を、いかに認識しうるかという認識論の問題について知っておかねばならない。そしてまたそのためには、認識の真偽を論ずる真理問題が明らかにされておらねばならない。

以上、価値、存在、認識（知識）、真理という哲学思索を進めるべき手段を辿ったが、その段階は哲学の体系でもある。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、哲学の基礎概念と思索を進めるための論理の学習。後期は、体系的立場から、現代の主義を哲学的に考察する。

#### 成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートにより成績評価する。

#### 教科書

学期のはじめに発表する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 概 説	く 久 ぼ 保 よう 陽 いち 一	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

古代から現代にいたる倫理学の主な学説を学び、現代社会における人間の生き方の手掛かりを得ることをめざす。現代はしばしば「ポスト・モダン」の時代だと云われる。それは、近代の科学技術文明や社会制度が様々な問題を露呈し、その解決が求められているからだろう。けだし近代では、それまで結びついていた経済と政治、政治と宗教、個人と社会、人間と自然、学問(真)と道徳(善)と芸術(美)とが相互に分裂し、それぞれ独立の権限を主張するようになる一方、その前提から新たな総合が求められてもいる。けれども、いまだ—かつての宗教や国家に代る—有効な統合原理は見出されえないでおり、そのため種々の混乱が生じている。そこで本講義では、近代の倫理学説を、一方で古代・中世の倫理学説との連関で取り上げると共に、他方で現代の倫理学説との連関で、批判的に考察することにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

近代の倫理学 — 快楽主義、功利主義、社会契約と人権の思想、理性主義、カント等。  
現代の倫理学 — ヘーゲル、マルクス、ニーチェ、ハイデガー、ハーバーマス等。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取組みが受講の要件であり、そのために1年間で少なくとも古典を1冊読了するようにすること。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

読むべき古典を含め、参考書等は、授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	佐々木宏幹	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉 2年次～	4

講義のねらい

宗教は人類文化の最古層に属すると考えられている。宗教人類学は人間の営みとしての宗教文化を文化人類学、社会人類学、民俗学の方法と理論に拠って研究する学問である。  
人間にとって、人類にとって宗教とはなにかという問題を、人類学や民俗学の研究成果を十分に利用しながら追究し、人間が生きているということの意味の考察につなげていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下のような内容を企図している。

- |                     |           |                   |
|---------------------|-----------|-------------------|
| 1. 文化と人間            | 2. 社会と世界観 | 3. 宗教の原辺形態        |
| 4. 人間と動物            | 5. 民族宗教   | 6. 世界宗教           |
| 7. アニミズム・多神教・一神教の関係 |           | 8. 仏教・キリスト教・イスラム教 |
| 9. 民族問題と宗教          |           |                   |
| 10. 環境問題と宗教         | 11. 習合宗教  | 12. アジア宗教の特色      |
| 13. 日本宗教の特色         | 14. 新宗教とは | 15. 「ほとけさま」と日本人。  |

講義には必要に応じて資料を配布し、またスライドやビデオを使用し、理解の助けにしたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。  
夏休み中に「故郷の宗教行事」（仮題）のようなりポートを書いてもらうことを考えている。

成績評価の方法

講義内容にそったりポート作製。400字詰原稿用紙5枚～8枚程度（参考文献名を明記すること）。

教科書

佐々木宏幹著『聖と呪力の人類学』（講談社）840円

参考書等

佐々木宏幹著『宗教人類学』（講談社）980円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民間信仰論	たに ぐち 谷 口 貢	英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

履修上の留意点

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定で、筆記試験は実施しない。

教 科 書

とくに教科書を使用しないが、参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、桜井徳太郎・他編『シャーマニズムとは何か』（春秋社）の3冊を紹介しておきたい。

そ の 他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本宗教文化史	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

主として東北地方や沖縄地方の民俗・民衆的な宗教現象の具体例を紹介しながら、日本の宗教文化を根底から支えてきた基盤の広がり、その独特の性格などを考えてみたい。具体的には、日本人の運命観、死生観、霊魂観、系譜へのこだわり、「のろい」「うらみ」などの情緒への対処、「平等」に対する感性、などが話題になろう。

講義の内容・  
授業スケジュール

なるべく具体的な事例の考察を中心に話を進めたい。特に、東北地方のイタコ、カミサマ、沖縄地方のユタ、ムスリリなど、民間巫者などの総称によって捉えられてきた「野の宗教者」の世界に光を当てる。前期は東北地方、後期は沖縄地方の話が中心となる。

成績評価の方法

年度末のレポートによる。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

スライド、ビデオを適宜使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民衆宗教成立史	津 城 寛 文 つ しろ ひろ ぶみ	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

深層文化論と宗教学の接点にたつて、民間信仰、民俗宗教、民衆宗教などの成立と基盤とを扱います。大伝統に対する小伝統、エリートに対する民衆、イデオロギーに対する非イデオロギー的な習慣習俗などに焦点をあてて、われわれの文化や社会や心の深層にある、民衆的な宗教性を浮き彫りにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

主要テーマは下記の4つであり、前期は深層文化論を軸に、後期は民衆宗教論を軸に、講義を進めます。

前期

- ① 深層文化論の整理
- ② 深層文化論と宗教研究

後期

- ① 民俗主義的な深層文化
- ② 新宗教の発生と展開

履修上の留意点

とくにありませんが、私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行ないます。

教科書

用いません。

参考書等

参考書としては、深層文化論に関しては、拙著『日本の深層文化序説 — 3つの深層と宗教』(玉川大学出版部) 1995年を用います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	麻 生 建 あ そう けん	国文・英米文・ 地理・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は、純粋な講義の形をとるので、きちんとノートをとり、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は、教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教科書

麻生建著『解釈学』(世界書院) 2,500円

随  
意  
科  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美 術 史 概 説	矢 野 陽 子	英米文・地理・社会・福祉・心理2年次～	4

講義のねらい

美術史とはどういう学問か、その方法にはどんなものがあるのかを具体例を通して考えながら、西洋美術史の基礎知識を学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

研究分野としての美術史に関して以下のような視点で講義を進めます。  
 美術史の起源  
 西洋美術史学の方法と歴史  
 原作、複製、文献  
 描写と解釈  
 合せて古代から現代への流れを概観していきます。

成績評価の方法

前期レポートと学年末試験によって評価する予定です。

参 考 書 等

マーク・ロスキル著 中森義宗訳『美術史とはなにか』（口賀出版社）  
 マルシア・ポイント著 木下哲夫訳『はじめての美術史』（スカイドア）  
 高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』（美術出版社）  
 このほか適宜、授業中に参考文献を紹介します。

そ の 他

スライドで具体的に数多くの作品を見ながら、授業を行ないます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 思 想 史	末 木 恭 彦	英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理2年次～	4

講義のねらい

始めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛かりにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を講読する。講読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に触れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

最低書下し文が理解できる程度の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。  
 1. 試験又はレポート（年1回以上）  
 2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）  
 3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

教 科 書

授業は講師が用意したプリントを用いる。参考書は適宜授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教史	えん 遠 藤 ひろ 廣 あり 昭	国文・英米文・地理・ 社会・福祉・ 心理2年次～	4

講義のねらい

中世の仏教諸宗派の展開を、特に関東にスポットをあてて概観し、その過程を明らかにしていきたい。その中でも、地域社会とのかかわりを中心にしていきたい。また一見それとのかかわりの無いように見える「学僧」とよばれた僧侶の活動も詳述して見たい。

講義の内容・  
授業スケジュール

昨年度は、仏教の伝来から奈良・平安時代の仏教について前期で講義した。本年度は古代仏教も概観するが、講義の中心は中世の関東における仏教諸宗派の展開にしばって見たい。  
中でも真言宗と曹洞宗については詳述する。なぜならば、関東においては、古代仏教諸宗派中真言宗が最も多く展開を見、いわゆる鎌倉新仏教の中では曹洞宗が最も展開をとげていることから、両宗は地域社会とのかかわりも深いと考えられるからである。このうち真言宗の展開の場合は、鎌倉・室町時代を通して、京都や鎌倉との関係は無視できない。そのような視点からも講義を進めて見たい。

成績評価の方法

成績評価は、定期試験の結果を基本とするが、出席も重視する。

教科書

特になし。必要な資料は、授業時に配布する。

参考書等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本文化史 I	ひろ 廣 せ 瀬 りょう 良 こう 弘	地理・社会・福祉・ 心理2年次～	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに①～⑦の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれるものである。物・道具にも文化・歴史と感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口 貢	英米文・地理・ 社会・福祉・ 心理学 2年次～	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教科書

本講義では教科書は使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

# 4 日本語・日本事情科目



## 4 日本語・日本事情科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

### 《日本語科目》

日	本	語	I	(佐野典子)	471
日	本	語	I	(多田羅哲子)	471
日	本	語	II	(佐野典子)	472
日	本	語	II	(多田羅哲子)	472
日	本	語	III	(多田羅哲子)	473
日	本	語	III	(湯村礼子)	473
日	本	語	IV	(石川守)	474
日	本	語	IV	(湯村礼子)	474
日	本	語	V	(石川守)	475
日	本	語	V	(多田羅哲子)	475
日	本	語	VI	(石川守)	476
日	本	語	VI	(多田羅哲子)	476

### 《日本事情科目》

日本事情 I	〔地理〕	(後期)	(小池一之)	477
日本事情 II	〔自然〕	(前期)	(清水善和)	477
日本事情 III	〔歴史〕	(後期)	(宮本由紀子)	478
日本事情 IV	〔思想〕	(前期)	(赤羽由規子)	478
日本事情 V	〔社会〕	(後期)	(江上涉)	479
日本事情 VI	〔政治・法律〕	(前期)	(関口雅夫)	479
日本事情 VII	〔文学〕	(前期)	(奥原淳子)	480
日本事情 VIII	〔文化・芸術〕	(後期)	(赤羽由規子)	480
日本事情 IX	〔経済〕	(前期)	(瀬戸岡紘)	481
日本事情 X	〔経営〕	(前期)	(前田和利)	482





## 《日本語科目》

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	佐野典子	全学科・短大 (短放随意)	2

### 講義のねらい

聴解を中心に、高度な日本語能力を養う。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期は時事問題のビデオを教材とする。

### 成績評価の方法

小試験、提出物、研究発表、出席率などにより、総合的に評価する。

### 教科書

教材は、担当者が準備する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	多田羅哲子	全学科・短大 (短放随意)	2

### 講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。  
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- 語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- 助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

### 成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

### 教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、小説、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	佐 野 典 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

読解を中心に、日本語及び日本文化への総合的理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

小説、小論文、雑誌記事、新聞記事などの読解を、ゼミ形式で行う。

成績評価の方法

小試験、提出物、討論への参加度、出席率などにより、総合的に評価する。

教 科 書

教材は、担当者が準備する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を養う。

- 事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
- 発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
- あわせて書く練習もする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- 話したことを文章にまとめる。
- テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 Ⅲ	た た ら あさ こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
  - 一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発言や提出物を重視する。

教 科 書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 Ⅲ	ゆ むら けい こ 湯 村 礼 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テスト etc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度 etc）を総合的に評価する。

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の中・上級のさまざまな文型の用法を分析して、理解するばかりでなく、会話や作文で使えるようにしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の進め方は、テキスト「日本語中上級文型」を使って、そこに出てくる文型や、文法事項、語彙、表現、アクセントの問題などをともに分析して進めていきたい。

履修上の留意点

授業は一方的な講義の形ではなく、教師の側が、学生に質問をしながら進めて行く。教師から教えてもらうのではなく、自分で考え、自分で準備し、積極的に参加するようにしてもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	ゆ むら れい こ 湯 村 礼 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）  
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物 etc）

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	た たら あき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

中上級の文法・表現練習及び作文演習。主としてレポート・論文等を正しく適切な表現を用いてわかり易く書くための基本的練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

- 留学生の文章によく見られる問題箇所（たとえば「は」と「が」の使い分け、その他の助詞、他動詞、接続表現、文末表現など）について正しく書けるよう練習する。
- より適切な表現が選べるよう中上級の文法・表現の復習をする。
- 話し言葉と書き言葉の使い分け、事実と意見の述べ方、表・グラフを使う表現等レポートを書くときに役立つ基礎的な練習をする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI	いし かわ まちる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の「会話文型」を中心に、より高度な日本語の日常会話の表現について分析する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は ICJ (intermediate) の会話部分を用い、そこに出現する会話文型、会話特有の文型、アクセント等について分析をしながら進める。

履修上の留意点

講義は教師が一方向的に講義するというのではなく、常に学生に質問をしながら進めるため、自分の意見をはっきりもってもらいたい。また、本講義は、日常会話の文型や文法的要素を分析するもので、実際の会話をしたり、会話練習をするものではない。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを押さえながら、本・新聞・雑誌等の生教材を読む。
- 関連したビデオを見て、それらが実際にどう使われているかを知る。
- テーマについて話し合ったり書いたりすることで日本語を豊かにする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

プリントを配布、ビデオを使用。

## 《日本事情科目》

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅰ 〔地理〕(後期)	小池 一之	全学科・短大 (短放随意)	2

### 講義のねらい

この講義では、日本人が変化に富んだ日本列島とどのように付き合ってきたか考えてみる。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

半年の講義の中で、重点的に触れるのは次のような点である。

- a. 稲作技術の伝来と平野の開発
- b. 江戸－東京の発展－その自然的な背景－
- c. 治山・治水事業－自然災害との闘い
- d. 「白砂青松」－代表的な日本の海岸成立の背景－

### 履修上の留意点

出来るだけ明瞭な日本語で講義するよう心掛けるが、学術的な用語が解りにくい場合、遠慮せずに質問すること。

### 成績評価の方法

平常の出席状況と課題レポートによる。

### 教科書

特定の教科書はないが、授業中に紹介する。

### その他

出来るだけプリント類を配布し、スライド、ビデオなどを多用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅱ 〔自然〕(前期)	清水 善和	全学科・短大 (短放随意)	2

### 講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り、亜熱帯の沖縄まで約3,000kmの細長い国土を有している。国土の67%は山地であり、複雑な海岸線とあいまって多様な地形を形成している。日本は複数のプレートの境界域に当たり、世界でも有数の火山・地震地帯となっている。このような多様な環境を反映して、日本には独特の動物・植物が多数生息・生育している。

本講義では日本の自然を気候、地形・地質、生物の3分野に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジアの自然の中での日本の位置づけ、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながり、(3)自然と日本の文化との関係。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることによって、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。また、講義の最後には日本の自然破壊の歴史とその保護の在り方についても言及する。

### 成績評価の方法

レポート(2、3回)と出席回数に基づいて評価する。

### 教科書

特定の教科書はなし。参考書は適宜紹介する。

### その他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。適宜スライドによる事例紹介を行なう。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	みやもと ゆきこ 宮本由紀子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとして。

講義の内容・  
授業スケジュール

特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。

履修上の留意点

板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートで成績の評価とする。

教科書

なし

参考書等

なし

その他

講義のみ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	あかほ ゆきこ 赤羽由規子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民俗音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。  
民俗音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

その他

その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 V 〔 社 会 〕 (後 期)	え 江 上 <small>がみ</small> <small>わたる</small>	全 学 科 ・ 短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

この講義では、現代日本の社会の特質を素描する。  
戦後における日本は、高度成長をとげ社会の構造的変動を経て、著しい変化をしてきた。その変動の過程でさまざまな社会問題が発生し、人びとの社会生活、社会意識等も大きく変容してきた。そうした日本社会の諸相について、社会学的なアプローチから概観する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ほぼ次のようなテーマを扱う予定である。  
1. 日本社会の構造的変化  
2. 大衆社会化の進展とマスコミ  
3. 情報化社会の進展と社会生活

履修上の留意点

この講義は、社会学的な考察を行うので、社会学の基礎を学んでおくことが望ましい。

成績評価の方法

受講生の数にもよるが、レポートと試験を行い、場合によっては出席を加味して評価する。

教科書・  
参考書等

教科書、参考書は特に指定しないが、講義の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VI 〔 政 治 ・ 法 律 〕 (前 期)	せき 関 口 <small>ぐち</small> <small>まさ</small> <small>お夫</small>	全 学 科 ・ 短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

日本事情VI〔政治・法律〕は、新聞にでてくる政治と法律についての記事を利用して、受講生の日本語を読む力、日本語を正確に話す力、日本語でよい答案を書く力を高めることを目的としています。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず先生が新聞の記事を読みます。つぎに受講生におなじ記事を読んでもらいます。それから、記事の内容を検討し、全員が理解できるようにします。その後、この記事に関連して話し合いをし、おわりに、この記事の内容を正確な日本語で表現できるようにします。

履修上の留意点

かならず出席してください。

成績評価の方法

平常点により評価します。

教科書

最初の授業の日に受講生の日本語の能力を見て、教材を作成します。コピー代は、150円ぐらいです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VII 〔 文 学 〕 ( 前 期 )	おく はら じゅん こ 奥 原 淳 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

目標は、問題発見能力の涵養と、文学・言語に対する理解を深めることにあります。  
 具体的には、各自がテーマを選定し調査研究して発表する、という方式で授業を進めます。その際、内容はもちろん、言語面での問題点も共に考えていきましょう。  
 テーマは、文学作品、作家、また、日本語の言語項目を対象とします。なお、文学作品の中では、日本語の作品とその翻訳版との比較なども興味深いだろうと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

第一回の授業には、予め、関心のある文学作品や作家、言語項目を持って出席できるといいと思います。  
 各自で調査研究を進め、順次教室で発表、検討していきます。

履修上の留意点

授業には、受身でなく、積極的な姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

出席状況／研究発表

参 考 書 等

その都度指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VIII 〔 文化・芸術 〕 ( 後 期 )	あか ぼ ゆき こ 赤 羽 由 規 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。  
 また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅸ 〔経済〕(前期)	瀬戸岡 紘 <small>せと おか ひろし</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

#### 講義のねらい

日本の経済事情のアウトラインをわかりやすく解説します。わかっているようで、わからないことを、なるべくいいねいに話します。たとえば、明治時代以来の工業化は、アジア諸国のなかでなぜ日本が先んじて成功したのか？ 日本の経営が今あちこちで問題にされていますが、どのようにしてそれが日本に根をおろしていったのか？ 就業人口にしめる農業人口の割合は、日本とオーストラリアとイギリスとアメリカでは、どこが一番高いか？ そして農業生産高はどうか？ そして時には余談もします。たとえば、この国本当の名前ってニホンなの？ニッポンなの？それともジャパンでもいいの？など、みなさんが日本にきた以上、ぜひ知って帰りたいことを、たくさん話すことがねらいです。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下のようなトピックを一回の講義でひとつずつとりあげます。しかし、とりあげる順序は、みなさんの希望に応じていれかえることがあります。

日本の工業地帯と工業  
日本の農村と農業および日本の水産業  
日本のサービス業および金融  
明治維新以前の日本経済の歴史  
第2次世界大戦以降の日本経済の展開  
日本経済とアメリカ経済  
日本経済とアジア経済  
日本経済と政府の役割  
日本の労働者・サラリーマンの生活  
日本経済と社会や文化の変化  
その他

#### 成績評価の方法

日ごろの授業態度で評価します。具体的には、出席40%、小テスト(クイズ)30%、宿題30%が目安です。

#### 教科書

日本経済について書かれた本はあまりにたくさんあるので、特定の本を指定することはいいたしません。しかし、授業のなかでその都度適切な本を紹介します。日々のニュースをよく聞いてください。この講義では、日ごろあなたが目にするそのものを題材として授業をすすめます。いわば、あなたの周囲にあるものそれ自体が教科書です。とくに、よい本をもとめたい人は、私に相談してください。いくらでも紹介します。

#### その他

授業は、おおむね日本語です。しかし、その日の要点は、英語でも話します。質問は、日本語でも英語でもどちらでも受けつけます。授業のなかで、みなさんが積極的に発言することを期待しています。はじめのうち、どうしても日本語がうまくつかえなければ、英語で発言してもかまいません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情 X 〔経 営〕 (前期)	まえ だ かず とし 前 田 和 利	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本的経営とよばれるものが歴史的にどのように形成されてきたかを、企業の具体的経営行動のケースをとおして明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

1. コーポレート・ガバナンス、2. 雇用システム、3. 生産・流通システム、4. 政府と企業の関係というテーマにそってケースをとりあげていく。

履修上の留意点

講義形式はとらない。あらかじめ担当者を決めておき、その報告にもとづいてディスカッションしながら日本の企業経営についての理解を深めることとする。自主的受講態度が望まれる。

成績評価の方法

平常点と筆記試験によって評価する。

教科書

伊丹敬之・加護野忠男・宮本又郎、米倉誠一郎編『日本的経営の生成と発展』(有斐閣) 1998年。

# 5 教職・資格講座

- I 教 職 課 程
- II 学校図書館司書教諭講座
- III 社会教育主事講座
- IV 博物館学講座
- V 社会福祉主事講座  
社会福祉士基礎

※上記の教職および資格講座授業科目の講義内容が掲載されていますが、各学部において受講できる課程および講座は以下のとおりです。  
(履修についての詳細は、『教職課程・資格講座履修要項』を参照すること。)

課程・講座名	資格取得学部
教 職 課 程	全 学 部
学校図書館司書教諭講座	全 学 部
社会教育主事講座	全 学 部
博物館学講座	仏教学部・文学部
社会福祉主事講座 社会福祉士基礎	全 学 部



## 5 教職・資格講座

〔注意〕頁（ ）は、他の課程・講座と兼用科目のため、講義内容は、主たる課程・講座  
にのみ掲載し、その頁を表示しています。

### I 教 職 課 程

#### (1) 教職に関する専門科目（必修）

教 育 原 理 (豊 田 千代子)	493
教 育 原 理 (北 村 三 子)	493
教 育 原 理 (伊 藤 茂 樹)	494
教 育 原 理 (村 山 輝 吉)	495
教 育 原 理 (坂 本 信 昭)	495
教育心理学〔教育方法論を含む〕(大 浜 幾久子)	496
教育心理学〔教育方法論を含む〕(国 眼 眞理子)	496
教育心理学〔教育方法論を含む〕(角 野 善 司)	497
教育心理学〔教育方法論を含む〕(遠 藤 司)	498
青年心理学〔教育方法論を含む〕(大 浜 幾久子)	498
青年心理学〔教育方法論を含む〕(川 田 三 夫)	499
青年心理学〔教育方法論を含む〕(小宮山 要)	500
青年心理学〔教育方法論を含む〕(川 原 誠 司)	500
道 徳 教 育 の 研 究 (加 藤 幸 夫)	501
道 徳 教 育 の 研 究 (加 藤 幸 夫)	502
道 徳 教 育 の 研 究 (鶴 卷 武)	503
特 別 活 動 (小 川 一 郎)	503
特 別 活 動 (鶴 卷 武)	504
生 活 指 導 (遠 藤 司)	505
生 活 指 導 (佐 藤 尚 人)	506
宗 教 科 教 育 法 (小 山 一 乘)	507
国 語 科 教 育 法 (神 谷 道 倫)	508
書 道 科 教 育 法 (那 須 隆 吉)	508
英 語 科 教 育 法 (佐 藤 真 二)	509
社会科・地理歴史科教育法 (久保田 武)	510
社会科・地理歴史科教育法 (桜 井 明 久)	510
社会科・地理歴史科教育法 (藤 木 正 国)	511
社会科・公民科教育法 (橋 爪 敏)	511
社会科・公民科教育法 (谷 敷 正 光)	512
社会科・公民科教育法 (上 條 末 夫)	513
商 業 科 教 育 法 (谷 敷 正 光)	514
職 業 科 教 育 法 (前 田 幸 一)	515
教 育 実 習 (豊 田 千代子)	515
教 育 実 習 (坂 本 信 昭)	516
教 育 実 習 (村 山 輝 吉)	516
教 育 実 習 (北 村 三 子)	517
教 育 実 習 (伊 藤 茂 樹)	517

#### (2) 教職に関する専門科目（選択）

教 育 関 係 法 規 (広 沢 明)	518
教 育 評 価 (大 浜 幾久子)	518
教 育 法 規 研 究 (休 講)	



教 育 哲 学	(汐 見 稔 幸)	519
教 育 情 報 学	(小 倉 康 仁)	520
教 育 臨 床 心 理 学	(牟 田 隆 郎)	520
教 育 社 会 学	(熊 谷 一 乘)	521
教 育 史	(北 村 三 子)	522
教 育 調 査	(鈴 木 規 夫)	523
芸 術 教 育	(香 川 良 成)	523
現代社会の諸問題と教育	(熊 谷 一 乘)	524
青 少 年 問 題 研 究	(讚 岐 真 佐 子)	525
宗 教 教 育	(小 山 一 乘)	526
生 涯 学 習 概 論	(豊 田 千 代 子)	(527)
視 聴 覚 教 育	(飯 森 彬 彦)	(527)
社 会 教 育 施 設	(村 山 輝 吉)	(527)
学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	(山 田 節 子)	(527)
読 書 と 豊 かな 人 間 性	(山 田 節 子)	(527)
学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	(源 昌 久)	(528)
情 報 メ デ ィ ア の 活 用	(源 昌 久)	(528)
学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	(山 田 節 子)	(528)

(3) 教科に関する専門科目

【社会・地理・歴史・公民】

東 洋 思 想 史	(末 木 恭 彦)	529
美 術 史 概 説	(矢 野 陽 子)	529
民 間 信 仰 論	(谷 口 貢)	530
人 文 地 理 学 概 説	(小 池 と み 子)	530
自 然 地 理 学 概 説	(高 木 正 博)	531
自 然 地 理 学 概 説	(早 船 元 峰)	531
地 誌 学 概 説	(川 元 豊 和)	532
地 誌 学 概 説	(久 保 田 武)	533
地 誌 学 概 説	(藤 島 範 孝)	534
日 本 仏 教 史	(遠 藤 廣 昭)	534
日 本 文 化 史 I	(廣 瀬 良 弘)	535
日 本 文 化 史 II	(休 講)	
歴 史 哲 学	(麻 生 建)	535
日 本 史 概 説	(黒 田 基 樹)	536
日 本 史 概 説	(小 松 寿 治)	536
世 界 史 概 説	(井 村 行 子)	537
世 界 史 概 説	(松 本 弘)	537
社 会 学 原 論	(渡 辺 源 樹)	538
宗 教 人 類 学	(佐々木 宏 幹)	(539)
経 済 原 論	(浅 田 統 一 郎)	540
経 済 原 論	(天 野 光 則)	541
経 済 原 論	(小 野 俊 夫)	542
民 法 学 I	(大 宮 隆)	543
政 治 学 原 論	(大 塚 桂)	544
日 本 宗 教 文 化 史	(池 上 良 正)	545
民 衆 宗 教 成 立 史	(津 城 寛 文)	545
宗 教 学 概 説	(洗 建)	546
宗 教 学 概 説	(池 上 良 正)	546

宗	教	学	概	說	(津	城	寛	文)	.....	547
哲	学	概	說	(国	嶋	一	則)	.....	548	
哲	学	概	說	(末	木	恭	彦)	.....	548	
倫	理	学	概	說	(久	保	陽	一)	.....	549
【職	業】									
産	業	概	說	(前	田	幸	一)	.....	550	
職	業	指	導	(山	田	勇	治)	.....	550	
商	業	実	習	(前	田	幸	一)	.....	551	
【商	業】									
職	業	指	導	(山	田	勇	治)	.....	(551)	

## II 学校図書館司書教諭講座

### 必修科目

学校経営と学校図書館 (山田節子)	555
読書と豊かな人間性 (山田節子)	555
学校図書館メディアの構成 (源昌久)	556
情報メディアの活用 (源昌久)	556
学習指導と学校図書館 (山田節子)	557

## III 社会教育主事講座

### (1) 必修科目

社会教育計画 (村山輝吉)	561
生涯学習概論 (豊田千代子)	562
社会教育実習 (豊田千代子)	562
社会教育実習 (村山輝吉)	563

### (2) 選択必修科目

社会教育行政 (東寿隆)	564
社会教育施設 (村山輝吉)	564
成人学習論 (東寿隆)	565
女性と学習 (矢口悦子)	565
企業内教育・職業訓練 (塩川正人)	566
社会体育 I (古田潤子)	567
社会体育 II (古田潤子)	567
教育原理	(568)
教育心理学〔教育方法論を含む〕	(568)
青年心理学〔教育方法論を含む〕	(568)
社会心理学 (坪井健)	569
視聴覚教育 (飯森彬彦)	(569)
教育社会学 (熊谷一乘)	(569)
教育史 (北村三子)	(570)
教育調査 (鈴木規夫)	(570)
児童文化 (香川良成)	570
現代社会の諸問題と教育 (熊谷一乘)	(570)
青少年問題研究 (讃岐真佐子)	(571)
青少年指導演習 (平野学)	571
博物館学 I〔概論〕 (太田喜美子)	(572)
博物館学 II〔資料論〕 (竹内順一)	(572)

## IV 博物館学講座

### (1) 必修科目

視 聴 覚 教 育 (飯 森 彬 彦) .....	575
考 古 発 掘 実 習 (飯 島 武 次・酒 井 清 治) .....	575
博 物 館 学 I [概 論] (太 田 喜 美 子) .....	576
博 物 館 学 II [資 料 論] (竹 内 順 一) .....	576
博 物 館 学 III [経 営 論・情 報 論] (竹 内 順 一) .....	577
博 物 館 実 習 I [館 務] (飯 島 武 次・酒 井 清 治・太 田 喜 美 子) .....	578
博 物 館 実 習 II [収 集] (酒 井 清 治・太 田 喜 美 子・國 見 徹 久 保 田 昌 希・佐 々 木 真・佐 藤 元 英 所 理 喜 夫・廣 瀬 良 弘) .....	578
博 物 館 実 習 III [見 学] (酒 井 清 治・太 田 喜 美 子・松 本 信 道) .....	579
教 育 原 理 .....	(579)
生 涯 学 習 概 論 (豊 田 千 代 子) .....	(579)

### (2) 選択必修科目

イ ン ド 仏 教 文 化 史 (奈 良 康 明) .....	580
中 国 仏 教 文 化 史 (永 井 政 之) .....	581
日 本 仏 教 文 化 史 (袴 谷 憲 昭) .....	581
禪 美 術 (海 老 根 聰 郎) .....	582
仏 教 美 術 (山 下 裕 二) .....	582
仏 教 民 俗 学 (須 藤 寛 人) .....	583
日 本 民 俗 学 (谷 口 貢) .....	584
美 術 史 概 説 (矢 野 陽 子) .....	585
現 代 美 術 (矢 野 陽 子) .....	585
地 形 学 (小 池 一 之) .....	586
第 四 紀 学 (鈴 木 毅 彦) .....	586
考 古 学 概 説 I [日 本] (酒 井 清 治) .....	587
考 古 学 概 説 II [外 国] (飯 島 武 次) .....	587
日 本 文 化 史 I (廣 瀬 良 弘) .....	588
西 洋 文 化 史 I (佐 々 木 真) .....	589
日 本 文 化 史 II (休 講) .....	
西 洋 文 化 史 II (休 講) .....	
考 古 学 特 講 I (休 講) .....	
考 古 学 特 講 II (高 浜 秀) .....	590
考 古 学 特 講 III (休 講) .....	
考 古 学 特 講 IV (矢 野 和 之) .....	591
西 域 美 術 史 (松 平 美 和 子) .....	592
宗 教 人 類 学 (佐 々 木 宏 幹) .....	592

## V 社会福祉主事・社会福祉士基礎講座

### (1) 必修科目

※社会福祉原論 (伊藤秀一)	595
※社会福祉原論 (船水浩行)	596

### (2) 選択科目

※法学 [福祉] (小林弘人)	597
社会福祉発達史 (林千代)	597
リハビリテーション論 (生川善雄)	598
※社会保障論 (長尾譲治)	599
家庭福祉論 (岩上真珠)	600
社会福祉計画論 (川廷宗之)	601
国際社会福祉論 (山本真実)	602
保健福祉論 (長尾譲治)	603
※公的扶助論 (伊藤秀一)	604
※障害者福祉論 (生川善雄)	605
※老人福祉論 (東條光雅)	606
児童福祉論 (前期：山本真実)	607
(後期：許斐有)	
女性福祉論 (林千代)	607
医療福祉論 (春見静子)	608
※地域福祉論 (渡辺一城)	609
※社会学 [福祉] (橋爪敏)	610
※心理学 [福祉] (高橋良博)	610

上記科目のうち、※印は、社会福祉主事、社会福祉士基礎に兼用する科目、それ以外は社会福祉主事のみを対象とする科目です。

# I 教 職 課 程



## (1) 教職に関する専門科目 (必修)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育原理	とよ た ち よ こ 豊 田 千 代 子	教 職 2 必 ( 禪 ・ 仏 教 )	4

### 講義のねらい

自分自身の成長過程で経験した教育をふり返ることをとおして、教育について考えていきたい。取り上げるテーマとしては、次のものを考えている。

### 講義の内容・授業スケジュール

- ・現代の教育問題
- ・「子どもの権利条約」
- ・人権教育
- ・生涯教育論
- ・教師論
- ・国際理解教育
- ・教育改革の方向性

### 成績評価の方法

出席点、レポート等によって成績評価を行なう。

### 教科書

特になし。必要に応じて資料を配布する。

### 参考書等

篠田弘編『資料でみる教育学』（福村出版）  
大学教育実践研究会編『教育を考える』（相川書房）

### その他

自分たちで考えていくことを大切にしたいので、授業は、グループでの話しあいを中心に進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育原理	きた むら みつ こ 北 村 三 子	教 職 2 必 ( 国 文 ・ 英 米 文 ・ 社 会 ・ 福 祉 ・ 心 理 )	4

### 講義のねらい

第二次大戦後、民主主義と科学の精神を掲げて出発した日本の教育学は、今日の教育をめぐる様々な問題に十分に対応できなくなっている。また、誰もが環境問題に無関心ではいられない今日において、教育学も、それにふさわしい新たな人間観や、自然や自分や他者との関わりのある方を模索しなければならない。この授業では、教育の新しい方向を見いだすための一つの試みとして、(日本の教育学の源流である)西洋近代の教育学にとっては傍流であった、ゲーテやシュタイナーに焦点をあて、その可能性を探ってみたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

R シュタイナーは、近代教育学の中では極めて特異な存在であった。しかし、近代の矛盾が顕在化してきた今日では、シュタイナー学校への支持の高まりが見られるばかりでなく、欧米の公教育にも大きな影響を与え始めている。また、シュタイナーは、ゲーテの認識論を基礎にその思想を築いている。近代文明や近代科学によって見失われてきた、人間の身体性や全体性の追求がそこに見い出せるであろう。授業では、シュタイナーの著作をテキストにその教育思想や教育方法を検討するが、今日の子どもや若者をめぐる問題も、それと関連させて取り扱いたい。

### 履修上の留意点

多人数のためゼミ形式は取れないが、共に感じたり、考えたりできる時間にしたい。

### 成績評価の方法

年度末にレポート(4,000字程度)提出。また、授業時に資料についてのコメントを何回か求めるが、それも出席点として加算する。

### 教科書

R シュタイナー『教育芸術1 方法論と教授法』(筑摩書房) 3,200円

### 参考書等

高橋巖『シュタイナー教育入門』(角川選書) 子安美知子『ミュンヘンの小学生』(中公新書) 同『ミュンヘンの中学生』(朝日文庫)など。詳しくは、教場で指示。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育原理	伊藤茂樹	教職 2 必 (地理・歴史・法律・政治)	4

講義のねらい

教員免許の取得をめざす受講者に、教育を考え、行うにあたって基本的なものとらえ方を身につけてもらうことを目的とする。

教育について、経験だけに基づいて考えても理解できないこと、解決できない問題は必ずある(例えばいじめ)。教育の歴史や成り立ち(構造)や仕組み(メカニズム)について、様々な側面から知ることが不可欠であり、そのために教育学はある。しかし、知ることには受動性という限界がある。知識をもとに自分なりに現象や状況について考えることが、変化し続ける教育に携わっていくうえで不可欠である。知識と経験をつなぐものとして、状況を理解し、判断するための「目」が重要なのである。

この「目」を養うための鍵は、教育と社会とのつながりに着目することにある。これには、社会と教育を対比させ、社会が教育に及ぼす影響、教育が社会に及ぼす影響を考える方向と、教育の世界や学校、学級、子どもの集団それじたいを社会としてとらえる方向があり、これらを通じて、未知の問題に対しても的確に自分なりの視野の広い理解ができるようになることをめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。

- ・近代社会と教育
- ・現代の教育問題
- ・「学歴社会」とは
- ・現代の子ども、青少年
- ・学校という場
- ・教育改革の現在
- ・教育学という学問

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えてみることを心がけること。

成績評価の方法

中間試験、学年末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育原理	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	教職2必 (経 済)	4

講義のねらい

教育事象にかかわる学生自身の個人的経験やおもいを出発点としながらも、テキストにそい、下村湖人の著作等をも参考にしながら、人間の形成と教育・文化・社会のかかわりについて原理的・総合的な考察をおこなう。人間形成にかかわる諸事象を狭い個人的見地を超え広く開かれた社会的視野から攻究できる能力を育てることをめざしている。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1ステップ 教育にかかわる学生自身の体験やおもいの発表（口頭・作文）とその理論的な整理の作業
- 第2ステップ 第1ステップで整理された諸問題について、テキストその他の資料を参考にしながら、考察を深める作業
- 第3ステップ 夏休み中、関連する資料の読みとりとそのレポート作成
- 第4ステップ レポートを基に、日本の教育の現状についてその課題を明らかにし、望ましい改革の方向を探究する作業

成績評価の方法

出席、レポート、口頭発表、試験等により総合的に判定する。

教科書

堀尾輝久『教育入門』（岩波新書）480円

参考書等

『下村湖人全書』全10巻。  
その他についてはそのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育原理	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教職2必 (商・経営)	4

講義のねらい

教育は、一面においては理論的研究を必要とするが、それだけに止まっていることができない。他面において、実際に被教育者をいかにして教育していくか、という実践的・技術的研究が必要とされる。したがって教育は、狭い専門領域に立てこもっているわけにはいかず、人間生活の万般に関係をもつことになる。

教育原理は、これまでの教育学の研究成果をとり入れることはもちろんであるが、それとともに、それらの成果を、どのように実践に生かして行くかをも探究する。教育学は教育を対象として理論的研究を進めるものであるが、教育原理は、教育に従事しようとする人たちに教育についての理解を深め、実際に教育にあたる場合の技術や心得を培うことについても検討しなければならない。

履修上の留意点

講義と並行して、参考書欄に記した②「きょういく VISUAL NOTE」を、自学自習のテキストとして活用し、各自で作業（ノート）を完成させ、完了次第提出してもらいます。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、「きょういく VISUAL NOTE」及び年度末のテストなどによって、総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭天堂）2,600円

参考書等

田村皖司他著「きょういく VISUAL NOTE」（エイデル研究所）1,800円

その他

必要な資料を適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育心理学 (教育方法論を含む)	おおはま きくこ 大 浜 幾 久 子	教 職 2 必 (禅・仏教・国文・英文)	4

講義のねらい

今世紀の心理学研究の流れをたどりながら、心理学の諸分野で明らかにされてきたことが、今日における日本の教育の諸側面と、どのように関わるのかを考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基礎的な心理学実験や、性格テストなどの実習、さらにパソコンによる教育統計の入門など、できる限り実習の機会を多くとり、心理学の研究方法を知ると同時に、その背景にある理論について理解を深めていきたい。

成績評価の方法

年間4回程度のレポート提出を中心とした、平常点評価の予定である。

参 考 書 等

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

そ の 他

実習の他、ビデオ教材等も活用する。それらを通して、教育方法についても考えていきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育心理学 (教育方法論を含む)	こく がん まりこ 国 眼 眞 理 子	教 職 2 必 (国文・英文・地理・歴史・社会・福祉・心理)	4

講義のねらい

生徒理解や、生徒の心の発達を促すうえで役立つ基礎的な視点を学ぶ

講義の内容・授業スケジュール

前半は教科書を用いて、心理学の基礎的な考え方を習得する

1. われわれの世界の捉え方 (知覚)
2. 記憶や学習のメカニズム
3. 発達のメカニズムとその可能性
4. パーソナリティとは何か、その捉え方

後半は、前半で学んだ基礎知識をもとに、「青年期」理解を深めるとともに、教師と生徒間のコミュニケーションのあり方を考える。

1. 「青年期」と、その心理的な課題 (アイデンティティ形成)
2. 自己のアイデンティティを探る
3. 自己意識の発達
4. 自己の発達と対人関係 (親子関係、友人関係、その他)
5. 進路選択とアイデンティティ形成
6. サポーターとしての教師の役割 (「共感的理解」とは何か)
7. カウンセリングとは何か
8. コミュニケーション (非言語的なコミュニケーション、アサーションなど)

成績評価の方法

指定図書5冊の本の中から、2冊を選び、レポート提出。  
前期終了時に小テストを実施。  
後期終了時にレポートもしくは試験を実施。(受講者数による)

教 科 書

磯貝芳郎・下山剛編『心理学』(鷹書房) 1996

参 考 書 等

- ① 河合隼雄『カウンセリングを考える(上)』(創元社) 1995
- ② 菅佐和子『思春期女性の心理療法』(創元社) 1988
- ③ 清水将之『思春期のこころ』(日本放送出版会) 1996

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 心 理 学 (教育方法論を含む)	すみ 角 野 善 司	教 職 2 必 (地理・歴史・社会・福祉・心理・ 経済・商・法律・政治・経営)	4

#### 講義のねらい

教育心理学は、教育場面对して心理学的にアプローチする学問です。すなわち、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、心理学的な観点から考えようとするものです。

この講義で学び、そして考えたことを、教育場面で生徒と接するにあたっての1つのヒントにしてほしいと思います。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下の3つを中心テーマとして進めます。

- ① 発達：人間の生涯にわたる発達について
- ② 教授-学習：生徒の学習について、および学習に対する教授過程について
- ③ 測定・評価：教育場面における評価の目的やあり方について

#### 履修上の留意点

自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回講義に出席し、主体的な態度で臨んでください。出席回数が一定基準に達しない場合には、単位を付与しません。

#### 成績評価の方法

出席点1割、平常課題の提出状況1割、前期・後期末のテスト3割、夏季・冬期休暇時のレポート5割の配点で、評価します。

#### 教 科 書

指定しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

#### 参 考 書 等

子安増生ほか『ベーシック現代心理学6 教育心理学』(有斐閣)  
この他、講義の進行に合わせて、適時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理学 (教育方法論を含む)	えん どう 遠 藤	つかさ 司	4

講義のねらい

現在の教育に関する諸問題を考えるとき、心理学の様々な知見が影響力を持ち得ていることに気づかざるをえない。その様子を概観し、将来、教職に就こうとしている人間として、教育心理学的なものの方と見方とはどのようなものであるのか考えることを通して、自分なりの見方を確立することをテーマとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

教育心理学の中での主要なテーマを概観することが講義の主となる。中でも、「自己」の問題をテーマとして取り上げ、教育心理学の中で、「自己の成り立ち」、「自己と他者」等の問題がどのように考えられてきたかを見ながら、具体的な現象から考えていくこととしたい。また、「学習」の問題にも注目し、教育心理学の中で「学ぶ」ことをどのように考えてきたか、それに伴って「教える」ことをどのように考えてきたかを見直し、「評価」の問題、「教師-生徒関係のあり方」等の問題にも触れつつ、現在の学校において「学ぶ」ということを改めて問いなおしていきたい。

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

年度末試験を予定している。

教科書

特定の教科書は用いない。

参考書等

参考書等については授業中に随時紹介する。

その他

講義が中心になることは否めないが、ビデオ等を用い、できるだけ実際の場面などを見ながら、実践に即して様々な問題について考える機会を作りたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
青年心理学 (教育方法論を含む)	おお はま きくこ 大 浜 幾 久 子	教 職 2 必 (禪・仏教・国文・英文)	4

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに青年期に限らず、人間の発達とは何か、について考える。その上で青年期の様々な問題を取りあげ、それらに対する心理学的な分析の方法と最近の研究を検討していく。また、性格テストなどの実習や、基礎的な研究実習も可能な限り行っていきたい。

履修上の留意点

実習の機会を活かすためにも、毎回の講義への出席を大切にしてほしい。

成績評価の方法

年間4回程度のレポート提出を中心とした、平常点評価の予定である。

参考書等

参考資料については随時、準備し指示する。また、ビデオ教材なども活用していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青 年 心 理 学 ( 教 育 方 法 論 を 含 む )	かわ だ みつ お 川 田 三 夫	教 職 2 必 (国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理)	4

#### 講義のねらい

中学生になる頃から急速な体の成長や生理的变化を迎える。この第二性徴をもって青年期が始まる。身体的な変化は内面的な変化を引き起こす訳だが、必ずしも良い方向への変化ばかりではなく悪くなることもある。良い方向への変化にしても、その経過は必ずしも順調にいくとは限らない。ともかく問題の多い時期である。そのことは新聞やテレビの報道を見てもよく分る。こういった青年期の特徴を理解するのが、この講義の第一の目的である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- ① 青年(期)について(発達段階、ライフサイクルの中での青年、歴史・文化的所産)
- ② 体と心の発達(第二性徴、思春期危機)
- ③ 自己意識(自我～自己同一性)
- ④ 親子関係～対人関係(愛着、人見知り等)
- ⑤ 人格・性格(代表的な理論、自己愛)
- ⑥ 友達・仲間(近隣、学校、社会)
- ⑦ 若者文化(移り変わり、流行、風俗)
- ⑧ 性・恋愛(性意識・性行動、恋愛の発達)
- ⑨ 逸脱行動(非行・犯罪、道徳意識)
- ⑩ 心の病気(種類と症状、病理、背景)
- ⑪ 不登校(病理、背景要因、対処法)

大体以上の様なスケジュールで前期が終わる。後期はトピックや事件等をテーマにしながら講義をしたり学生に色々書いてもらったりしている。

#### 成績評価の方法

- ① 前期末と後期末に筆記試験を行なう。
- ② 夏休みに別途課題が出る。
- ③ 不定期に小テストがある。特に後期に小論文テストが数回ある。
- ④ 以上を総合して最終的な評価が出る。

#### 教 科 書

特に指定されたものはない。講義の時にプリント・資料が配布される。  
文献は適宜紹介する。  
時折体験的な心理テスト等を行なったりする(評価に際して若干考慮される)。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青 年 心 理 学 ( 教 育 方 法 論 を 含 む )	こ み や ま 小 宮 山 要	教 職 2 必 ( 地 理 ・ 歴 史 ・ 社 会 ・ 福 祉 ・ 心 理 )	4

講義のねらい

青年期にある学生自身にとって、青年期をどう生きるかについて考えると同時に、青年期にある中・高校生を正しく理解してよき教育を実践できる能力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 青年期は人間関係の拡大と深化の時期であり、その良否は精神的健康にも影響する。そこで、好ましい人間関係の形成に必要な理論や、ルール及びスキル等について幅広く学習する。
- 2) いじめ、登校拒否、非行、スチューデント・アバシー等の青年期に見られる病理現象について、その発生のメカニズムと対応について学習する。
- 3) 青年期の中心的テーマである恋愛と結婚について学習する。

履修上の留意点

予定された内容を終わらせるためには、講義はかなりのスピードで行われるので、自分で積極的にノートをとる習慣を身につけて欲しい。

成績評価の方法

通常の授業の中で行う小テストとレポート及び授業に対する態度等を総合して評価する。

教 科 書

小宮山 要著『間違いだらけのいじめ指導』(明治図書)

参 考 書 等

授業で適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青 年 心 理 学 ( 教 育 方 法 論 を 含 む )	か わ はら せい し 川 原 誠 司	教 職 2 必 ( 経 済 ・ 商 ・ 法 律 ・ 政 治 ・ 経 営 )	4

講義のねらい

教職科目ですので、細かな心理学的理論の伝達を主眼に置くことはしません。「教師としてのあり方」「学校現場で教師の受けている種々のストレス」「具体的な学級経営方法」といった実際の教育場面での問題に対して、心理学的な見方や手法がどのように活かされるのかという点を理解してもらうことを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容やスケジュールについては、受講者の数や受講者の動機などによって変わりますので、その状況を把握した上で、受講生に伝えます。

履修上の留意点

どのような学生がどの程度の人数受講するのかということを、私は最初の講義時間に把握したいと考えていますので、受講を希望する学生はそのつもりで行動して下さい。

成績評価の方法

受講人数や受講態度によって変わりますので、講義を進めていく中で受講生に伝えます。

教 科 書 ・  
参 考 書 等

講義を進めていく中で、必要なものを適宜紹介していきます。

そ の 他

授業の一部では、グループで検討する課題を出題したり、学級経営に関する英語の文献をグループで要約して発表してもらうことを予定しています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
道 徳 教 育 の 研 究 ( 前 期 )	か とう ゆき お 加 藤 幸 夫	教 職 2 ・ 3 必 ( 地 理 ・ 歴 史 ・ 経 済 ・ 商 ・ 法 律 ・ 政 治 ・ 経 営 )	2

#### 講義のねらい

道徳教育の問題は、単に学校教育だけの問題ではなく、子どもを取り巻く社会生活全体に係わる問題である。すなわち、時代や社会の変化の中で、人間（子ども）はいかに生きるべきかという課題と密接に関連している。それ故、道徳教育の研究においては、道徳性の原理的追究と学校教育における実際の側面を精確に把握することが常に求められる。

このような視点に立って、人間形成における道徳教育の位置づけを明確にし、且つ、道徳教育の歴史の変遷を概観しながら、現代における道徳教育の基本的課題を分析・考察することが本講義のねらいである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- I 現代社会と道徳教育
- II 道徳および道徳教育の本質
- III 戦前・戦後における道徳教育
- IV 道徳性の発達と道徳教育
- V 学校教育における道徳教育
- VI 道徳教育をめぐる諸問題

#### 履修上の留意点

これまで各自が受けた道徳教育を思い起こし、整理しておくことが望ましい。

#### 成績評価の方法

出席状況、レポート及び期末試験により総合的に評価する。

#### 教 科 書

中野目直明・小川一郎編『新しい道徳教育』（酒井書店・育英堂）1,995円

#### 参 考 書 等

岩村俊郎・志村欣一・他編『資料 道徳教育の研究』（北樹出版）

#### そ の 他

講義形式を主とするが、テーマに応じて適宜討論形式も併用する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
道 徳 教 育 の 研 究 ( 後 期 )	か とう ゆき お 加 藤 幸 夫	教 職 2 ・ 3 必 ( 禅 ・ 仏 教 ・ 国 文 ・ 英 米 文 社 会 ・ 福 祉 ・ 心 理 )	2

講義のねらい

道徳教育の問題は、単に学校教育だけの問題ではなく、子どもを取り巻く社会生活全体に係わる問題である。すなわち、時代や社会の変化の中で、人間（子ども）はいかに生きるべきかという課題と密接に関連している。それ故、道徳教育の研究においては、道徳性の原理的追究と学校教育における実際の側面を精確に把握することが常に求められる。

このような視点に立って、人間形成における道徳教育の位置づけを明確にし、且つ、道徳教育の歴史の変遷を概観しながら、現代における道徳教育の基本的課題を分析・考察することが本講義のねらいである。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 人間形成と道徳教育
- II 道徳教育の歴史
- III 現代社会と道徳教育
- IV 道徳性の発達と道徳教育
- V 学校における道徳教育
- VI 現代道徳教育の課題

履修上の留意点

これまで各自が受けた道徳教育を思い起こし、整理しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、レポート及び期末試験により総合的に評価する。

教 科 書

遠藤昭彦・鈴木博雄共編『現代道徳教育の課題』（振学出版）2,000円

参 考 書 等

岩村俊郎・志村欣一・他編『資料 道徳教育の研究』（北樹出版）

そ の 他

講義形式を主とするが、テーマに応じて適宜討論形式も併用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
道徳教育の研究 (前期)(後期)	つる 鶴 巻 武 まさ たけし	教職2・3必	2

講義のねらい

今日の学校教育は、いじめ不登校をはじめとして、学校の在り方にかかわる様々な問題に直面し、生徒に生きる力を育む教師の力量が期待されている。この時間では、小・中学校においては、教育課程の一領域として、また、高校においては学校の教育計画の一環として位置づけられている「道徳」の教育的意義や目標及び内容、方法等についての研究を行う。また、教師としての実践的な指導力を身につけるために道徳の年間指導計画や1単位時間の指導計画(道徳学習指導案)などについて、実際に立案し、具体的な指導の方法などを研究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

①道徳教育の基本的な在り方 ②道徳教育の目標と内容 ③道徳の時間の指導内容 ④主として自分自身に関する事 ⑤主として他の人とのかかわりに関すること ⑥主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること ⑦主として集団や社会とのかかわりに関すること ⑧道徳の時間の指導計画とその作成 ⑨道徳の時間の指導方法 ⑩道徳教育における評価の在り方 ⑪学級経営と道徳教育 ⑫学校、家庭、社会における道徳教育と相互の連携

履修上の留意点

文献に基づく道徳や道徳教育に関する理論的な研究とともに、特に道徳の具体的な指導の内容や方法について理解し、実際に指導できる能力を身につけることが大切である。

成績評価の方法

レポート、試験、出席状況等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部省『中学校解説書道徳編』(新学習指導要領告示後発刊予定)

参考書等

教員養成基礎教養研究会編『新訂道徳教育の研究』(教育出版)1,800円  
教師養成研究会編『道徳教育の研究』新訂版(学芸図書株式会社)1,000円

その他

講義及び年間指導計画、指導案の立案等

科目名	担当者名	配当学科	単 位
特別活動 (前期)(後期)	お 小 川 一 郎 がわ いち ろう	教職2・3必	2

講義のねらい

特別活動が人間形成に果たす役割は大きい。特に、青少年の社会性の欠如が言われている現代では、望ましい集団活動を通じて人間形成を図る特別活動の重要性は増大している。すべての教員が学級活動(ホームルーム活動)を中心に特別活動を指導することになるので、その実践的指導力を身につけることがねらいとなる。

講義の内容・  
授業スケジュール

①特別活動の意義・目的 ②特別活動の方法的特質 ③特別活動の歴史の変遷 ④特別活動の内容 ⑤特別活動の指導計画と実践 ⑥特別活動と新しい学力観 ⑦特別活動と総合的な学習の時間 ⑧特別活動と生徒指導 ⑨特別活動と道徳教育 ⑩特別活動と進路指導 ⑪特別活動と地域との連携 ⑫特別活動と人間形成

履修上の留意点

単なる知識の記憶でなく、実践的指導力を身につけることをねらいとしているので、出席して、意見・疑問等を出すことを希望する。

成績評価の方法

授業への参加を重視する。レポートか筆記試験のどちらかを行う。

教科書

小川一郎、中野直明編著『現代の特別活動』(酒井書店)2,000円

参考書等

小川一朗著『在り方生き方指導の理論と実践』(清水書院)1,500円

その他

講義を主に、随時討議などを行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
特 別 活 動 ( 前 期 ) ( 後 期 )	つるまき 鶴 巻 武	教職 2・3 必	2

講義のねらい

現在、教師には生徒の心身の健全な発達を図り、当面する課題に適切な指導や援助をする実践的な指導力が求められている。この時間で学ぶ「特別活動」は小・中・高等学校の教育課程の一領域であり、集団活動を通じた教育活動により、集団の一員としての自覚を深め、児童・生徒の個性の伸張と調和のとれた豊かな人間性を育成するとともに、学級（ホームルーム）や学校生活の基盤の形成に重要な役割を果たしている。この「特別活動」の教育的意義や目標、内容及び方法等について、理論と実践の両面から研究を行う。特に、実践的な面を重視し特別活動の内容や活動内容の取り扱い方、指導計画の作成及び指導方法などについての具体的な研究を行い、教師としての実践的な指導力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

①生きる力の育成を目指す教育改革と特別活動の役割 ②特別活動の教育的意義と目標 ③特別活動の特質と内容相互の関連 ④特別活動の指導計画の作成と指導の工夫 ⑤学級活動の指導とガイダンスの充実 ⑥生徒会活動の特質とその活性化 ⑦学校行事の特質と指導 ⑧特別活動と生徒指導 ⑨特別活動と学級経営 ⑩学級活動と教育相談 ⑪進路指導の充実 ⑫特別活動の指導と評価 ⑬特別活動と総合学習との関連

履修上の留意点

文献による理論的な研究を深めるとともに、特に特別活動の具体的な実践にかかわる指導計画の作成や指導内容、指導方法等についての研究を深め、教師としての識見を高め、実践的な指導力を身につけることが大切である。

成績評価の方法

レポート、試験、出席状況等を総合的に判断し評価する。

教 科 書

- ① 文部省『中学校解説書特別活動編』（新学習指導要領告示後発刊予定）
- ② 高橋哲夫・原口盛次・井上裕吉編『特別活動研究』（教育出版）1,900円

参 考 書 等

宇留田敬一著『特別活動論』（第一法規）1,800円

そ の 他

講義及び年間指導計画、指導案の作成

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 活 指 導 ( 前 期 ) ( 後 期 )	えん どう 遠 藤 つかさ 司	教職 2・3 必	2

講義のねらい

教師が生徒の生活面を指導することは現在の学校において様々な形で行われている。将来、教職に就こうとする人間として、生徒（他者）の生活を指導することの意味を改めて問いなおし、無意識のうちにもっている自らの生活指導観を自覚的にとらえなおすことが本講義の目的である。

講義の内容・  
授業スケジュール

「学校における問題行動とは何か」、「不登校問題はどのような視点から考えるべきか」などの問いについて考えることを通して、学校の中で適応的に生きることができない人に対して、教師としてどのような態度でのぞむかを考える。特に、現在の学校において様々な意味において不適応状態となっている人たちに対して、そのような状態にある生徒に対して、自分はどのような態度でのぞむかを考えることを通して、最終的には自分自身の生活指導観を問いなおしていくことにつなげていきたい。

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

期末試験を予定している。

参 考 書 等

参考書等については授業中随時紹介する。特定の教科書は用いない。

そ の 他

講義中心になることは否めないが、様々な問いを呈示し、それらに対して自らの考えに基づいて書いて答えるという機会をできるだけ多く作りたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 活 指 導 ( 前 期 ) ( 後 期 )	さ とう なお と 佐 藤 尚 人	教職2・3必	2

講義のねらい

学校教育において、教科の学習や集団生活への参加が、一人ひとりの児童生徒でスムーズにい  
くよう指導することを教師は求められる。しかしながら、子どもは決して等質・均一の存在では  
ない。画一化された教師の指導方法や対応では日々起こりうる種々の問題の解決がうまくいかな  
い、あるいはむしろ問題を引き起こしてしまうことすらあるであろう。

本授業では、昨今教育問題として取り上げられる機会の多い「いじめ」「不登校」「非行」など  
について、そのような問題行動を示す子どものこころのありようの理解や対応の仕方、さらには  
問題行動を未然に防ぐための教師としての心構えなどを考えてゆく。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 X はじめに 学校教育の歴史と目的 教師のなすべきこと
- 2 X 子どもの理解 問題行動について医学的・工学的な理解と教育的な理解
- 3 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その1)
- 4 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その2)
- 5 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その3)
- 6 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その4)
- 7 X さまざまな問題行動とその理解「いじめ」
- 8 X さまざまな問題行動とその理解「不登校」
- 9 X さまざまな問題行動とその理解「非行」
- 10 X こころの病・不適応「神経症」「精神病」
- 11 X 問題行動への対応の方法「学習理論にもとづくもの」
- 12 X 問題行動への対応の方法「心理療法にもとづくもの」
- 13 X まとめ 生活指導において大切なこと

履修上の留意点

原則として出席はとらないが単位を取得することを希望する学生は毎回出席すること。さらに、  
授業中に質問や意見などを積極的に表現することが望ましい。

参加学生に対してはすべて公平にあつかう。(さまざまな事情があっても特別扱いはしない。)

成績評価の方法

原則として定期的筆記試験(ノート等の持ち込みは一切不可)の結果により成績を評価する。  
ただし、授業中の発言(質問・意見)や宿題等の課題の提出を試験の成績にプラスして評価する。

教 科 書

特に使用しない。講義ノートをもとに授業を進めてゆく。

参 考 書 等

大貫・佐々木編著『心の健康と適応』(福村出版) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教科教育法	こ 小 山 一 乗	教職3必 (禅・仏教)	4

#### 講義のねらい

講義と模擬授業とで構成する。  
 教育関係法規下での「宗教科教育」の位置づけを概観する。憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、教育職員免許法を概観する。  
 特に、各教科と宗教科との関係、「宗教科教育」と「宗教教育」との異同点にも留意する。  
 我が国にかかわる第2次世界大戦後の、対日米国占領教育改革施策に看取される「宗教教育」の諸問題を例示しつつ、日本国憲法20条と教育基本法9条との関係、基本法9条と初期社会科学学習指導要領の文言との関係等を検証する。  
 その上で、「宗教の定義集」への着目をし、「『宗教に関する寛容の態度』の涵養」への展開を検討する。そこからさらに「宗教の社会生活における地位」に関する「宗教的無知」解消を図る授業展開を考える。  
 宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派教育の学習指導方法を具体的に探究して、異文化理解の課題にも備えるようにしたい。適宜、童歌なども、導入し、幼稚園教育から高等学校教育までの接続も考察に含めたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

『仏教概論——分かりやすい仏教——』をテキストにして、原則として模擬授業(50分)を課します。教材研究の実際、学習指導要領、学習指導案の基礎的・基本的事項を講義する。その上で、具体的に、学習指導案の様式と教育観との関係が思量でき、主体的に選択した様式に基づいて実際に学習指導案を作成してもらう。  
 模擬授業は、その様子をビデオに収録し、再生して、爾後の授業分析の鏡利用とし、自己分析に供する。

#### 履修上の留意点

学年、他教科との関連を常に勘案すること。社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

#### 成績評価の方法

模擬授業、レポート、出席点などにより評価する。特に出席を重視する。

#### 教科書

小山一乗著『教育と寛容——宗教的事実・規範の取り扱いとのおしえ方、評価の観点——』(宣協社) 2,940円  
 『仏教概論——分かりやすい仏教——』(曹洞宗宗務庁) 800円  
 小中高各『学習指導要領』各 230円 250円 370円  
 『仏教・キリスト教・イスラーム・神道 どこが違うか』(大法輪閣) 1,600円  
 『教育小六法』(学陽書房) 2,200円

#### 参考書等

井上順孝監修『宗教教育資料集』(すずき出版) 3,900円  
 『宗教教育の理論と実際』(鈴木出版) 1985年  
 その他適宜紹介する。

#### その他

講義を基調とするが、実際には、講義と模擬授業(演習)を折衷した形態となろう。定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をすることで視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。  
 プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語科教育法	かみ や みち のり 神 谷 道 倫	教職3必 (国 文)	4

講義のねらい

中学校・高等学校の国語科教育の意義・目標・内容、さらに各領域・教材に応じたそれぞれの指導方法等について概観したのち、実際の教材にあたって、基礎学力を点検するとともに、教材研究のあり方、指導事項、指導方法、指導過程等について、主に模擬授業の形式で具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

講義の内容・  
授業スケジュール

重点的に以下の三点を中心に進める。

- ① 国語科教育の現況の確認
- ② 国語科教育の方法、実践等について先人の試みの意義を探る。
- ③ 教育実践の準備

以上のうち①②については、教科書・プリント等を用いて講義形式で行う。③については、教材研究の実際、指導案の作成など課題形式のもの提出と、実際の教材による模擬授業の形式(グループ分けにより全員が何らかの形で必ず参加)で行う。基礎学力の点検にも配慮する予定。

履修上の留意点

科目の性質上、出席は当然重視する。(なお、中学校・高等学校時代使用の国語の教科書・副読本があれば、手元に整理して必要な場合参照できるようにしておくことが望ましい。)

成績評価の方法

定期試験の成績を主とするが、提出物、模擬授業の成果、授業参加(出席)の状況等の観点も加えて総合的に評価する。

教科書

全国大学国語教育学会編 新版中学校・高等学校『国語科教育研究』(学芸図書株式会社)  
1,300円+消費税

参考書等

国語科教育法に関するもの、特に後半使用する教材に関するもの等少なからずあるが、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道科教育法	な す たか よし 那 須 隆 吉	教職3必 (国 文)	4

講義のねらい

長い歴史を持つ書道の特徴を考察し、その指導法を学習する。そして将来の教師としての自覚を促し、その指導力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

文部省の芸術科学習指導要領を理解し、芸術科書道の指導計画の作成についての基本的な考え方や、学習指導のあり方、指導法の工夫などについて事例を挙げながら講じたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出により評価する。

教科書

高等学校芸術科書道指導資料 文部省編著『指導計画の作成と学習指導の工夫』(教育図書)  
990円

参考書等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 科 教 育 法	さ とう しん じ 佐 藤 真 二	教 職 3 必 ( 英 米 文 )	4

講義のねらい

中学校及び高等学校において、英語教師として授業を行うために必要な事項を学ぶとともに、実際に教壇に立ち、教えることに慣れることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

主に取り上げる内容は以下のとおりである。

- 1) 英語科教育の目標
- 2) 主な教授法 (文法訳読式教授法、直接教授法、オーラル・メソッド、グレイテッド・ダイレクト・メソッド、オーラル・アプローチ、認知学習理論、ヒューマンスティック・アプローチ、コミュニケーション・アプローチ)
- 3) 言語材料と指導 (音声、文字、文法、語彙)
- 4) 言語活動 (聞く、話す、読む、書く)
- 5) 授業の展開 (授業計画、授業の構成、指導案、中学校の授業、高等学校の授業)
- 6) 指導形態 (一斉指導、グループ指導、ペア指導、個別指導、学習熟度別指導、ネイティブ・スピーカーとのチーム・ティーチング)
- 7) 評価とテスト
- 8) 教具・視聴覚機器 (ピクチャー・カード、フラッシュ・カード、OHP、テープ・レコーダー、LL、VTR など)
- 9) 教師と学習者

履修上の留意点

自分が、近い将来、実際に教壇に立ち、生徒を前にして授業を行うことになるのだということを念頭におき、積極的に取り組んで欲しい。欠席は慎むこと。

成績評価の方法

試験、レポートのほか、授業内の発表も評価に加える。

教 科 書

塩沢利雄他著『新英語科教育の展開』(英潮社)

参 考 書 等

教場において指示する。

そ の 他

授業の方法は、教壇に立ち、授業を行うことに慣れるという目標を踏まえ、模擬授業を多く取り入れてゆく。また、本講義の中で学ぶ事項に関しても、担当の学生が、予習をしてまとめたうえで、他の学生に発表し、説明するという形式をとる予定である。それによって、人前で話し、教えることに馴染んで欲しいと願う。



科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科・地理歴史科教育法	くぼ た 武 久保田 武	教職 3 必	4

講義のねらい

中学社会科、高校地歴科を教えるにあたって必要な基礎的知識・技法の修得  
教科の目標（存在理由）と暗記科目にならない教授内容構成と教授法の考察

講義の内容・  
授業スケジュール

- ◆講義の内容  
毎回教授者による具体的な授業事例を通じて生徒の興味関心と学力を増す教授内容構成とその指導法を示す。  
学習指導要領の変遷とその背景  
生徒の学力評価法、生徒による教授者評価を利用する自己評価法  
希望する学生に対しレポートによる指導案の作成作業とその内容指導  
教育現場での体験談から具体的な学習指導法へのヒントを示す。
- ◆授業スケジュール  
前期は講義（教授者による授業例）と、関連事項の質疑・実習・課題作成等  
後期はそれに加え夏季休業中に教案作成課題を提出した学生の中から発表者を選んで模擬授業の機会を設ける。

履修上の留意点

授業の終わりに毎回授業内容に関連して、簡潔なまとめ、コメント、実習内容等の提出を求める（出欠調査に代える）。提出物は添削（質問、意見には回答）のうえ次回に返却する。

成績評価の方法

定期試験、毎授業後の提出物、授業への参加意欲（出席状況他）と実績（発表等）等を総合して評価。原則として授業時数の2/3以上出席しないと単位を認定しない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の時にそのつど紹介する。但し、地理、歴史、社会科教科書、地図帳、歴史年表、歴史地図、統計資料、文部省学習指導要領（地歴編、社会編）等は、この際揃えたほうがよい。とりあえず地図帳、年表と統計資料は初回から持参のこと。

その他

毎授業時間の前半は講義、後半は視聴覚学習、質疑、作業、実習を原則とする。  
OHP、スライド、ビデオ、写真など視聴覚機材を多用し講義内容の理解と機材の利用法を示す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科・地理歴史科教育法	さくら い あさ ひさ 桜井明久	教職 3 必	4

講義のねらい

中学校社会科、高等学校地理歴史科の教育の目標と方法について、地理分野、地理A、Bを例に概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- おおよその内容は、以下の通りである。
- ①地理教育の目標 ②マイクロティーチング ③教授方法上の工夫
  - ④指導案の作成 ⑤模擬授業 ⑥授業の研究と方法 ⑦地理教師の仕事

履修上の留意点

各自マイクロティーチングを試み、個人またはグループで模擬授業を行うなど、実際に授業を試みてもらうので、授業への積極的な参加が求められる。このため、巡検や調査による公欠以外の欠席については厳しく取り扱われる。同時に、担当部分の放棄、担当日の欠席は許されない。それが避けられない場合は、事前に連絡し、相談すること。  
中学校社会科地理分野と地理歴史科の科目・地理A、Bを中心題材とするので注意すること。

成績評価の方法

出欠、授業・討論への参加、マイクロティーチング・模擬授業の成果など 70点  
夏休みレポート 10点 期末試験 20点

教科書

桜井明久『地理教育学入門』（古今書院）1999（予定）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科・地理歴史科教育法	ふし き まさ くに 藤 木 正 国	教 職 3 必	4

講義のねらい

中学校社会科（特に歴史的分野）・高等学校地歴科（特に日本史）の教師として、自ら授業をくみため、実践できる能力を養う。直接的には教育実習にそなえる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は講義を中心とする。

- ① 明治以降日本教育制度の変遷
- ② 社会科成立の事情とその理念
- ③ 学習指導要領の変遷と地歴科成立のいきさつ
- ④ 学習指導計画と指導案の作成
- ⑤ 評価の考え方とその方法
- ⑥ 社会科をめぐる諸問題の考察

後期はグループ別に模擬授業を実施する。

履修上の留意点

受講する以上は、教員をまじり努力すること。安易な単位取得は考えない。出席状況と提出物はとくに重視する。常に努力と創意工夫とを忘れぬよう。

成績評価の方法

年間を通じての出席状況、提出物、定期考査などを総合し評価する。

参考書等

文部省学習指導要領、中・高教科書（必要に応じて授業時に紹介する）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科・公民科教育法	はし つめ まとし 橋 爪 敏	教 職 3 必	4

講義のねらい

この授業は、社会科・公民科教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能な形式で行ないたい。したがって、受講学生数によって、その方法は変わらざる得ない少人数（15名位迄）の場合は社会科・公民科に関わる文献講読を主としたい。15名以上の受講生の場合は、学生自身の自主研究の発表を主にしたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

履修上の留意点

教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。

成績評価の方法

前期・後期のレポート提出ならびに普段の研究報告、授業参加状況、出席状況などを総合して決定する。

教科書

文献講読の場合は、授業開始後に指示する。

参考書等

適宜、授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科・公民科教育法	や しき ただ みつ 谷 敷 正 光	教 職 3 必	4

#### 講義のねらい

社会科は民主主義の発展と平和的な国家・社会の形成者をめざす上で、重要な使命を負って誕生した教科であり、日本の将来を担ったと言っても過言ではない教科である。この社会科教育も戦後の政治・経済の発展とともに大きく変遷し、動揺を続けてきた。学習指導要領は1989年に第6回目の改訂が行われた。第6次の改訂は単なる教科内容の改訂にとどまらずに小学校低学年の社会科と理科を廃止し、新たに生活科を設け、高等学校の社会科を再編し、新たに地理歴史科と公民科を設けたことの意味を考えなければならない。

この授業のねらいは、しっかりとした社会科教育を樹立するため、単なる授業方法の技術論ではなく、より基本的な「教育とは何か社会教育とは何か」といったところまでさかのぼって検討してみることにある。その上で、社会科教育の歴史、社会科教育の基本原則とその内容・方法の把握につとめ、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 日本教育の現状
2. 教育の基本概念
3. 社会科の成立
4. 社会科学習指導要領の変遷
5. 中学校の教育課程と社会科
6. 高等学校の教育課程と公民科
7. 社会科の学習指導計画
8. 社会科学習指導案の意義と作成
9. ビデオによる社会科教師の授業研究
10. 4年生による模範授業
11. 模擬授業を通じての社会科の学習指導、授業実践の研究
12. 中学校社会科の目標・内容・取り扱いと平成10年12月告示の中学校学習指導要領
13. 高等学校公民科の目標・内容・取り扱いと平成11年3月告示の高等学校学習指導要領
14. 教育評価
15. 社会科教育実習の意義
16. 社会科教師論
17. 社会科教師と教員採用試験  
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

#### 履修上の留意点

- ① 教科書の補充として年間かなりのプリントを配布するので、必ずその時間に受け取ること。
- ② 現実的理解のためビデオなどで視聴覚教室を利用するので、常に教場には注意しておくこと。

#### 成績評価の方法

授業での課題の提出、学習指導案の作成、模擬授業実践などで総合的に評価する。

#### 教科書

大森・谷敷共著『社会科教育研究』（梓出版）

#### 参考書等

社会科・公民科の『教科書』、『中学校・高等学校学習指導要領』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科・公民科教育法	かみ じょう すえ あ 上 條 末 夫	教 職 3 必	4

#### 講義のねらい

社会科・公民科は民主主義国家社会の一員としての自覚と実践行動ができる人間を育成する上に、欠くことのできない教科である。したがって、生徒が民主主義を十分理解し、かつそれを実践することができるような具体的な指針をあたえる教育をすることが必要である。その方法論および技能が身につくようにすることが、この講義のねらいである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. 学校教育とはなにか
2. 学校教育の制度と目的
3. 学校教育法と社会科教育
4. 社会化の過程と学校教育
5. 学校環境と教員の影響力
6. 発達心理学にみる教育レベル
7. 理解せしめるための方法論 ①心的アプローチ
8. 理解せしめるための方法論 ②物的アプローチ
9. 表現力の養成 ①記号としての言語
10. 表現力の養成 ②記号としての文字
11. 表現力の養成 ③記号としての数字
12. 表現力の養成 ④記号としての象徴
13. 民主主義の実践 ①アイスプレイキング
14. 民主主義の実践 ②参加と有効感覚
15. 民主主義の実践 ③コミュニケーション効果
16. 民主主義の実践 ④リーダーシップ論
17. 情熱と持続力

#### 履修上の留意点

講義と演習の組み合わせの授業であるから必ず出席すること。

#### 成績評価の方法

出席および演習態度によって評価する。

#### 教 科 書

特に使用しない。

#### 参 考 書 等

プリントを配付する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 科 教 育 法	や しき ただ みつ 谷 敷 正 光	教 職 3 必 ( 経 済 ・ 商 ・ 経 営 )	4

#### 講義のねらい

「産業教育」(職業教育)の一つである商業教育は、日本の経済をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にともなうめまぐるしく変遷してきた。先端産業化、国際化、情報化時代をむかえ、大きく改善されている。さらに1994年度からは、「普通科」と「職業科」の中間形態ともいえる「総合学科」が誕生し、高等学校教育の改革が急速に進んでいる。従って、この講義のねらいは、「職業教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりとした商業教育を樹立するために、この「教科教育法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」「商業教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. 日本経済の発展と産業教育
2. 商業教育の現状と課題
3. 職業教育・商業教育の概念
4. 高等学校における商業教育の変遷
5. 高等学校の教育課程
6. 商業科の教育課程
7. 商業科の学習指導計画
8. 商業科学習指導案の作成
9. ビデオによる商業科教師の授業研究
10. 4年生による模範授業
11. 模擬授業を通じての商業科の学習指導、授業実践の研究
12. 商業の各科目の個別目標・内容・取り扱い
13. 教育評価
14. 商業科教育実習の意義
15. 商業科教師論
16. 商業科教師と教員採用試験  
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

#### 履修上の留意点

- ① 教科書の補充として年間かなりのプリントを配布するので、必ずその時間に受け取ること。
- ② 現実的理解のためビデオなどで視聴覚教室を利用するので、常に教場には注意しておくこと。

#### 成績評価の方法

授業での課題の提出、学習指導案の作成、模擬授業実践などで総合的に評価する。

#### 教 科 書

岡田修二他『新商業教育論』(多賀出版)

#### 参 考 書 等

高等学校商業科の『教科書』、『高等学校学習指導要領』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
職業科教育法	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教 職 3 必 ( 経 済 ・ 商 )	4

#### 講義のねらい

基本的には以下の項目に沿って授業を進めていきます。

- ① 「技術・家庭のあり方」について、新聞の切り抜きを通して考えていく。
  - ② 「中学校学習指導要領」の技術・家庭科について、その新旧の違い、変化などを比較検討していく。
  - ③ 職業教育について考えていく。
- ①、②は前期授業、③は後期授業で行う予定です。

#### 履修上の留意点

自分や周りの人の家庭や職業について改めて考えてきてほしい。

#### 成績評価の方法

筆記試験はせず、平常点かレポートで成績評価をします。

#### 教科書

『中学校学習指導要領』（文部省平成元年3月）。他については授業の際指示します。

#### 参考書等

中学校で使用していた『技術・家庭』の教科書など。

#### そ の 他

授業を受ける人は少人数なので、ゼミ形式で授業を進めていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習	とよ た ち よ こ 豊 田 千 代 子	教 職 4 必 ( 禅 ・ 仏 教 ・ 社 会 ・ 福 祉 ・ 心 理 )	3

#### 講義のねらい

2週間の教育実習を充実させるための準備を行なうことと、実習をとおしてみえてきた教育のさまざまな課題について、ともに考えることを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 事前指導 — ・実習の心がまえ  
・生徒指導について  
・教科指導について  
・指導案作成  
・模擬授業
- 訪問指導 — ・研究授業訪問指導
- 事後指導 — ・授業実習の検討

#### 成績評価の方法

実習ノート、実習校からの評価、授業での実習報告、レポート。

#### 教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

#### 参考書等

適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 実 習	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教 職 4 必 (国文・法律・政治・経営)	3

講義のねらい

教育実習での失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくするというよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導（教育）も大事にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容（領域）等に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。  
教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。  
教育実習後は、各自の教育実習報告、レポート作成（提出）、教育問題にかかわるビデオの視聴、ディスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か—どうあるべきか—について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像等についても一緒に考えたいと思う。

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

①実習校からの教育実習評価及び教育実習ノート、②教育実習報告（口頭報告）及び報告レポート、③ビデオ視聴のコメント（感想）、④年度末試験（または、課題レポート）によって、総合的に評価します。なお、①～④について重視する度合は、全て同グレードに考えている。

教 科 書

栗原敦雄他編『教育実習ガイド』（宣協社）1,500円

参 考 書 等

寺崎昌雄他編『教育実習57の質問』（学文社）1,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 実 習	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	教 職 4 必 (英米文)	3

講義のねらい

学生が教育実習に主体的にとりくみ、教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じておおむね次の事項を取りあげる。  
○教育実習の意義と心がまえ  
○学習指導について  
○生徒指導について  
○学校と教師に関する諸問題  
実習校における実習体験ははさんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

成績評価の方法

実習校からの評価、口頭発表、レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教 科 書

教科書・参考書等はそのつど指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 実 習	きたむらみつこ子	教 職 4 必 (地理・経済・商)	3

講義のねらい

二週間にわたって行なわれる中学・高校での実習は、教員免許を得るために乗り越えなくてはならない最大の課題であろう。教生とはいえ教師であることを求められる、責任の重い課題でもある。この授業は、その実習のための準備と、実習後その体験を他の人々と共有し、深めることを目的とするものである。実習がスムーズに進み、また、実り多いものとなるように、講義の内容・授業のスケジュールで述べるような様々なことを試みたい。また、実習後は、教える立場から新たに見えてきた、学校や教師、生徒の問題や、それらの存立基盤としての、社会や文化の問題を、考え合いたい。

講義の内容・授業スケジュール

実習の準備としては、全般的な諸注意、ビデオによる実習の概要把握、学習指導案の作成に関する指導、模擬授業などを行なう。実習後は、実習体験を語り合い、その中から、後期に検討すべきテーマを考えていく。夏休み明けには、それにそった資料を用意し、討議を中心とした授業を進める。具体的内容は、話し合いの上で決めたいが、今まで扱われたテーマは、いじめや体罰といった学校内での暴力、不登校、若者の文化や人間関係に関連するものなど、多岐にわたる。

履修上の留意点

実習の準備としては、教材研究を各自よくやること。後半は積極的に参加すること。教場を変更する場合がありますので注意すること。

成績評価の方法

実習ノート・評価表などの実習の記録、授業への参加度、最終授業時のまとめのテスト。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 実 習	いとうしげき伊藤茂樹	教 職 4 必 (歴 史)	3

講義のねらい

中学・高校での教育実習を実りあるものとするために、その準備と、実習の経験を生かして現代の教育と青少年、それをとりまく様々な社会的要因について考える機会を持つ。

講義の内容・授業スケジュール

実習前には、教育実習の意義や目的、内容に関しての講義と受講者による模擬授業を行う。実習後は、各自の実習の経験をふまえたうえで、そこから見えてきた教育や青少年の現実について、口頭発表、討論、文献講読、レポート作成などを通じて批判的にとらえる目を養うことをめざす。

履修上の留意点

受け身ではなく主体的な参加を求める。

成績評価の方法

実習校からの評価、実習ノート、授業への参加、レポートにより総合的に行う。

教科書

特になし。

参考書等

授業の中で適宜指示・紹介する。



## (2) 教職に関する専門科目（選択）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育関係法規	ひろさわ あきら 広 沢 明	教職2選	4

### 講義のねらい

憲法、教育基本法、学校教育法など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、いじめ、内申書、日の丸、君が代、宗教、教科書検定、障害児、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 校則(1)―丸刈訴訟
2. 校則(2)―バイク裁判
3. 校則(3)―生徒会
4. 懲戒(1)―退学・停学
5. 懲戒(2)―体罰・精神罰
6. 教育情報(1)―家庭環境調査書
7. 教育情報(2)―内申書・指導要録
8. 教育と宗教(1)―日曜日訴訟
9. 教育と宗教(2)―エホバの証人事件
10. 日の丸・君が代
11. 教科書裁判(1)―検定の事実
12. 教科書裁判(2)―法律上の争点
13. 戦後教育政策の変遷
14. 教育と平等(1)―民族教育
15. 教育と平等(2)―性差別
16. 教育と平等(3)―障害児
17. 義務教育（登校拒否を含む）
18. いじめ

### 履修上の留意点

ただ漠然と聴講するだけでなく、授業で取り上げたテーマにつき、自ら調べたり考えたりする前向きな姿勢を求める。

### 成績評価の方法

試験と出席状況によって評価する。毎回出席をとり、その結果は成績にかなり反映される。

### 教科書

使用しない。

### 参考書等

『解説教育六法』（三省堂）を必携。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育評価	おおはま きくこ 大 浜 幾 久 子	教職2・3・4選	4

### 講義のねらい

狭義の教育評価にとらわれず、人間の能力とは何か、学力とは何かについて、様々な側面から討論し、研究することを目的とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

はじめに、教育心理学の研究手法（実験・観察・調査・テスト）の基礎を学ぶ。その上で、発達や学習の測定、評価にかかわる研究実習を行う。実習においては、必要に応じパソコンも活用していく。

### 履修上の留意点

ゼミ形式で進める。討論、実習への積極的参加が不可欠である。パソコンに関しては、まったくの初心者でも可。

### 成績評価の方法

平常点による。

### 参考書等

資料等は随時、準備し指示する。また、受講生からの提案も歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 哲 学	しお み とし のさ 汐 見 稔 幸	教職2・3・4選	4

講義のねらい

「教育哲学」と銘うっているが、形而上学的な哲学論議をしながら教育を考えるというわけではない。現場に出ようとしている人、教育について一度じっくりと考えてみたいと思っている人などを対象に、現実の教育の諸問題を考察すること窓口にして、教育とは何か、どのような可能性をもつ営みなのか、ということを中心に原点に戻って考えようという授業である。具体的なテーマ、テキストなどは参加者の希望をもとにはじめの授業で決める。

講義の内容・  
授業スケジュール

例年4年生の受講者が多いので、教育実習（6月）教育採用試験（7～8月）、卒論しめきり（12月）などの前後には授業をしないで、かわって何回かの合宿ないし集中形式で行なう予定。  
2002年より、学校教育の本格的な改革が始まるが、この改革によって、現代の学校が抱えている諸問題が解決できるのかということが、今年度の授業の通奏低音となろう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育情報学	小倉 康 仁	教職2・3・4選	4

講義のねらい

- a. 教育分野でのコンピュータ利用方法・形態について、教育学の視点から理論的に考察する。  
 b. 普遍性のあるソフトウェアの操作実習を通して、教育現場で必要とされる実際的なコンピュータ（パソコン）活用能力とセンスを育成する。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は常にコンピュータ教室で行い、講義と実習を適宜組み合わせる授業を進める。  
 前期の授業内容としては、以下のものを予定している。  
 コンピュータの基礎知識（講義）、パソコンの基本操作（実習）、ワープロソフトの基本操作（実習）、表計算ソフトの基本操作（実習）、インターネットの基礎知識（講義）、初歩的なネットサーフィン（実習）  
 後期の授業内容としては、以下のものを予定している。  
 教育分野でのコンピュータ利用形態の分類・整理（講義）、コンピュータの教育的活用とは？（講義）、教育用ソフトの選択・活用方法について（講義と実習）、コンピュータネットワーク（LAN、パソコン通信、インターネットなど）と教育（講義）、インターネット（WWW）上での情報検索の方法（実習）、HTMLによるホームページ作成の実際（実習）

履修上の留意点

パソコンに初めて触れるという初心者も歓迎する。履修者はなるべく早く総合情報センター主催のネットワーク講習会に参加して、電子メールアドレスを取得するように心掛けること。

成績評価の方法

平常点（出欠、学習態度）、小テスト（ペーパーテスト）、提出物（レポート、課題作品）の総合点によって成績評価を行う。

教科書

教科書は使用せず、配布プリントを利用して授業を進める予定である。

参考書等

参考書等については、そのつど授業時間内で指示する。

その他

使用するパソコンは Macintosh のみを用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育臨床心理学	牟田 隆 郎	教職2・3・4選	4

講義のねらい

教育現場並びに教育をとりまく諸状況において生じている青少年の問題（教師、学校の問題も含む）の、臨床心理学的観点からの考察を施す。

講義の内容・  
授業スケジュール

初めに、人間事象を見つめる基本的視点について講義する。次いで、リアルタイムに今現在教育並びにその周辺に生じている種々の出来事を、新聞・雑誌・書籍等の媒体をテキストとし、その「人間心理」的側面の解説を試みる。

履修上の留意点

知識伝達型の講義ではなく、種々生起している事柄を「何故そうなのか」と共に考え、そしてまたそれらが、実は自ら自身にも深く関わるものとして考察する態度をもつことを期待したい。

成績評価の方法

出席点を基本とする。

教科書

特定の教科書・参考書は使用しない。必要とあらばその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育社会学	くま かい かの のり 乗 熊 谷 一 乗	教職2・3・4選	4

#### 講義のねらい

教育が行なわれるために形成されるさまざまな社会的な関係を研究して教育上の問題の解決に寄与し、教育の充実、向上をめざす学問—これが教育社会学である。講義では、そういう教育社会学の研究の成果をもとに、人間を成長、発達させるいとなみ—教育は、どのような社会的な関係のもとに行なわれているのか、教育は社会とどのような関係で結ばれているのか、その関係のなかでどのような問題が発生するのか、これらの問題はどのように解決されてきたか、されようとしているか、について現代日本の事例を取り上げ、明らかにしようと思う。

どんな人間をいかに育成するか、ということは、いつの時代でも重要な課題であった。どのような社会も、その存続と発展のために未来をにう後継の世代を教育する課題に真剣に取り組まなければならない。この課題は、人類にとって普遍的なものであるが、実は、文明が高度に発展すればするほど、その重大性が増してきていることに注目しなければならない。現在、わが国で、学校に直接関係して生活している人々—児童生徒・学生、教員・事務職員の数は、全人口の四分の一に達している。近年、教育のために支出される費用は、国民所得の8%前後にのぼっている。こうした数字は、今日の社会で教育が占める位置の大きさ、意味の重さをよく示している。ところがその教育をめぐる不登校・校内暴力など困った問題が多発している。今日の教育問題をどう解決すればよいか、という問題意識のもとに戦後日本の教育と社会の関係を主な事例として講義をすすみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### I部 [教育の展開と社会の条件]

- (1) 教育の成立と展開における政治的要因：社会現象としての教育、教育の政治性と政治的教育性、教育への政治にインパクト、終戦と教育改革、冷戦構造と教育の混乱、教育をめぐるイデオロギーの対立、冷戦構造の崩壊と教育改革をめぐる動向 政治体制と教育、教育の資源配分と政治の役割（4～5月）
- (2) 教育の展開と経済の関係：教育の条件としての経済、経済の条件としての教育、高度経済成長と教育、人材開発と教育投資、教育と能力主義、経済の自由化と教育の自由化、経済と教育の機会（6月）
- (3) 教育と地域社会：教育の場としての地域社会、教育の地域性と地域差、地域社会と子供・学校、過疎・過密の教育問題、地域社会の変動と子供の発達（7月）
- (4) 教育と文化の動向：教育の内容としての文化、伝統文化のインパクト、マスメディアの影響、映像文化の時代と教育、大衆化文化と教育、物質的価値の支配と教育（9月）

##### II部 [現代社会の学校の病理と教育改革]

- (1) 学校化社会の現状：学校人口、就学率・進学率、教育費の問題、ライフサイクルと学校(10月)
- (2) 学校化社会の病理：子供の問題行動、学歴主義の支配、差別・選別・レイベリング、画一化・管理と競争、少子化にともなう問題、脱学校論のインパクト(11月)
- (3) 教育改革の視点と動向：改革の視点—子供の人權(権利)・学習権・個性重視・人間化等、“第三の教育改革”、1980年代以降の教育改革の動向(12、1月)

#### 履修上の留意点

出席を重視、教育関係の分野に進出を希望する者を対象とする。

#### 成績評価の方法

年度末の試験の成績と出席状況による。

#### 参考書等

熊谷一乗『子どもの発達と社会』（東信堂）、熊谷一乗『現代教育制度論』（学文社）

#### その他

授業中に指示

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 史	また 村 三 子 北 村 三 子	教職2・3・4選	4

講義のねらい

90年代半ばから小学校の「学級崩壊」が問題化している。原因は複合的だが、行動や反応の幼児的化が指摘されることも多い。小学生ばかりでなく、中学・高校生のいわゆる問題行動にも、幼い子供時代の過ごし方に問題があるように見えるケースも多い。だが、どのような幼年期の体験が人間の心の成長にとって必要なのだろうか。この授業では、自伝的な作品の中で幼年期がどのように捉えられているかを歴史的な視点を入れて検討したい。また、幼年期の体験がその後の人生にとってどのような意味を持つのかも考えたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下のような文献を検討してゆく。  
 W.ベンヤミン『ベルリンの幼年時代』ベンヤミン著作集12（晶文社）  
 中勘助『銀の匙』（岩波文庫）  
 大岡昇平『幼年』『少年』（講談社文芸文庫）他

履修上の留意点

教育史のいわゆる「教科書」を授業で扱うことはないが、文献などに関して個別の相談には応じたい。授業はゼミ形式で行い、参加者の意見交換を大切にしたい。

成績評価の方法

平常点。ただし、発表回数が少ない場合には、レポート提出もありうる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 調 査	すずき のりお 鈴 木 規 夫	教職2・3・4選	4

講義のねらい

人間の行動について科学的な方法によるリサーチの技術と推論の論理を身につけるため、教育にかかわる身近な問題について具体的に調査を実施する。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的な調査内容は受講者自身が主体的に提案するものとし、授業ではその内容について議論するとともに調査を実施するにあたっての必要な基本プロセスを学習する。また、実際に調査を実施し、コンピュータを利用して調査結果をまとめる。その際、結果を要約するために不可欠なデータの解析法や推論の論理についても分かりやすく解説する。

履修上の留意点

調査内容は受講者自身が提案することになるので、受講前に何を調査したいのか予め考えておくことが望ましい。また、コンピュータを利用して分析を行うので多少のコンピュータに関する知識を有していることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は提出された調査結果報告書によって行う。

教 科 書

講義要旨および資料のコピーを授業当日配付する。

参 考 書 等

特に指定しない。

そ の 他

授業は討論中心の形態をとる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 教 育	か がわ よし しげ 香 川 良 成	教職2・3・4選	4

講義のねらい

日本の児童青少年演劇史（大人による子供のための演劇）と、演劇教育史（子供自身による子供のための演劇）を中心にすえ、各時代の児童文学・児童文化の流れにも目を配りながら、それらの明治以後の展開の歴史を振り返ってみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

以上の講義と、取り上げる諸作品の、受講者による研究発表とその講評とを併せながら授業を進めたい。

履修上の留意点

実習でやむをえない以外は、極力出席してもらいたい。

成績評価の方法

平常点と試験

参 考 書 等

富田博之著『日本児童演劇史』（東京書籍）・『日本演劇教育史』（国土社）、菅忠道著『日本の児童文学 Ⅰ総論』（大月書店）

そ の 他

現在行われている演劇教育の記録ビデオを観たり、舞台のビデオを観たり、実際観劇するというも行いたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代社会の諸問題と教育	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	教職2・3・4選	4

講義のねらい

わたしたちが生をいとなむ現代の社会は、解決の難しい問題に充ちている。科学技術の進歩に支えられた産業の高度な発展は、人々に豊かさと便利さという明るい「光」を与える一方で、人間疎外の進行・環境問題・エネルギー問題など厄介な暗い「陰」を落している。いま、教育の在り方は、この「光」と「陰」の影響を受けて激しく揺れ動き、変革を迫られている。教育も社会の「光」と「陰」のもとで問題に充ちているのである。社会の諸問題を解決するためにはどのような教育が必要となるのか。また望ましい教育のために社会は、どのようにあるべきなのか、何をなすべきなのか―講義は、以上の問題にこたえることをねらいとして行われる。

講義の内容・  
授業スケジュール

以上の問題意識のもとに、授業は次ぎの小テーマにしたがって行われる。

- (1) 軍事占領下の社会的諸問題と教育改革（終戦にともなう社会諸問題と教育、第1次米国教育使節団報告書、教育基本法、学校教育法の成立など）－4～5月
- (2) 「冷戦」の激化にともなう社会的変化と「戦後教育」の転換（イデオロギーの対立・主権の回復と教育、「55年体制」の確立と教育の緊張、教育集権化の動向など）－5～6月
- (3) 高度経済成長にともなう諸問題と教育（経済のための“人づくり”、教育投資論の影響、豊かさのなかの非行問題、「期待される人間像」など）－6～7月
- (4) 高度経済成長以後の社会的変化－地域社会の変動、映像文化の浸透、中間的大衆層の形成と支配―と教育改革の提案（情報化と“第三の教育改革”など）－9～10月
- (5) 社会的変化にともなう生涯教育論の登場（P. ラングランの生涯教育論、社会教育審議会の答申など）－10～11月
- (6) 自由化の波と臨時教育審議会（新自由主義・保守主義と1980年代以降の教育政策、戦後日本の総決算と自由化、「臨教審」の設置など）－11月
- (7) 冷戦・55年体制の崩壊と「臨教審」以後の教育政策（変化する子供、文部省と日教組とのパートナーシップ、連立政権下の教育政策、第14・15・16期中教審答申と21世紀への教育改革など）－12～1月

成績評価の方法

学年末の試験と出席状態による。

教 科 書

使用せず。

参 考 書 等

熊谷『現代教育制度論』（学文社）等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青少年問題研究	さぬ き ま さ こ 讃 岐 真 佐 子	教職2・3・4選	4

#### 講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶ事を目的とする。現代は不適応状態や問題が低年齢化し、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型の増大、さらに言語で訴えるよりも身体化の傾向等、様々な変化が見られるように思う。そういう意味でも「青少年」に関わる諸現象は、その時代を映し出す1つの鏡のようにも思われる。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係をもてるか、そしてそこからどう自分を育てていけるかという事が、この時期の中心的テーマになると思われる。

講義では、このような問題意識を基に、この期間に発現する諸問題の実際を、発達にそって具体的に学んでいきたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

まず人間の精神的発達に関する知見を、これまでの発達心理学や臨床心理学的見地から概観し、その中での青少年の発達段階の意味や位置づけを考えていく。そしてこれを踏まえ、主にテキスト記載の事例を中心に、児童期、青年期に生じる様々な状態（不登校、非行、対人緊張、思春期やせ症、無気力状態等々）について深く掘り下げて学んでいく。

#### 履修上の留意点

出席を重視する予定。授業は講義中心となるだろうが、何らかの形で受講生のフィード・バックを得る方法を考えていきたい。

#### 成績評価の方法

出席状況と定期試験

#### 教科書

氏原寛・東山絃久編『発達とカウンセリング』  
別冊『発達』第18巻（ミネルヴァ書房）2,500円

#### 参考書等

- ・馬場謙一・小川捷之他編『子どもの深層』『青年期の深層』  
『日本人の深層分析』第9巻と10巻（有斐閣）
- ・季刊『仏教—特集癒し』No. 31（法蔵館）2,000円
- ・河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』（楡出版）『子どもの宇宙』（岩波新書386）
- ・岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』（岩波書店）1,200円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 教 育	こ 山 やま がず のり 一 乗	教職2・3・4選	4

#### 講義のねらい

命題「法は風土の産物」(モンテスキュー『法の精神』)を問題意識の根柢におく。世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、比較法の知見に示唆されつつ、いわゆる「宗教(の)教育」の法的思考(legal mind)、そこに看取れるいわゆる宗教的思考(religious mind)、教育的思考(educational mind)の総合的考察をし、各国の宗教教育の実態も眺めつつ、これからのいわゆる宗教教育での、教授概念検討を経て、意味、目的、目標、内容、方法について具体的なデザインを試みる。特に宗教の教育における寛容の態度育成について広く深く考察したい。

いわゆる「宗教教育」論議は、政策・法律論議で、「何を教えることができないのか」の禁止事項に注意が傾斜した論議が久しく盛んでその喧しきは大である。だが、この論議に反して、同じ現行憲法・法規下で、「何を教えることができるのか」の肯定的事項に注意を向けた教育方法上の教授概念検討論議が極めて少ない。これはいわゆる戦後教育の盲点でさえある。この不均衡を醸成してきた歴史的背景を検証する。幕末、明治維新、対日米国占領宗教教育政策、憲法・教育基本法・教育関係法規立法審議制定過程を検証し、手垢の付いた用語としての「宗教教育」論を見直す。用語「宗教教育」は解釈者により一様ではない。本講義では、手垢の付いた先入観を回避し白紙から議論を構想したく、そのために、しばらくの間「宗教の教育」と措定したい。その上で、tell(告げる)と teach(教える)との差異、(religious education)と(education about religion)との差異につき、教授概念を検討する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

種々様々な事柄を取り上げ考察を試みる。用語・訳語としての宗教教育、宗教、religion、畏敬、注意深く観察する、(再)結合、宗、教、育、education、誓願、アニミズム、アニメーション等の字源・語源をさぐる。更に、何〜何事、what~whatness、児童生徒の疑問態(の調査研究)、内外の種々の童謡、節分、雛祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケア等を粗上に載せる。憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学習指導要領との絡みの中に、対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実を見る。宗教を文化現象の一形態として考えるが否かについて、諸説を見ておきたい。道徳教育の内容項目上の宗教的用語が「宗教の定義集」・「現代日本の諸家の宗教観」の二典中では、どう規定されているか、その脈絡を意味論的に概観する。多民族多文化多宗教共存社会のうねり、隣人は異邦人等がいわれ日常生活化しつつある国際化社会時代の問題・課題解決に与する宗教教育の目的論・目標論・内容論・方法論を具体的に考えたい。今後は例えば、国際結婚等にもより、混血児も学級には教人は存在するとの推計もある。家庭教育・学校教育・社会教育のいずれの教育の場面も、まさに、迂闊ではいられなくなる。宗教的無知は宗教的偏見よりも致命的な悲劇を生もう。無知解消の教育が要る。

#### 履修上の留意点

社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

#### 成績評価の方法

レポート、出席点、口頭発表等による。特に出席を重視する。

#### 教科書

小山一乗著『教育と寛容——宗教的事実・規範の取り扱いとそのおしえ方、評価の観点——』(宣協社)2,940円  
 小中高各『学習指導要領』各230円 250円 370円  
 『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこが違うか』(大法輪閣)1,600円

#### 参考書等

指定図書→『宗教教育の理論と実際』(鈴木出版)1985年  
 土持ゲーリー法一著『米国内閣使節団の研究』(玉川大学出版部)9,785円  
 井上順孝監修『宗教教育資料集』(すずき出版)3,900円  
 杉原誠四郎『教育基本法の成立「人格の完成」をめぐって』(日本評論社)  
 参考図書→KYOUKU INOUE. 1991. MACARTHUR'S JAPANESE CONSTITUTION. (THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS)

#### その他

定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論	豊田千代子	教職2・3・4選	4

(P.562) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
視聴覚教育	飯森彬彦	教職2・3・4選	4

(P.575) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育施設	むらやまてるよし 村山輝吉	教職2・3・4選	4

(P.564) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校経営と学校図書館 (前期)	やまだせつこ 山田節子	教職2・3・4選	2

(P.555) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
読書と豊かな人間性 (後期)	やまだせつこ 山田節子	教職2・3・4選	2

(P.555) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	教職2・3・4選	2

(P.556) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報メディアの活用 (後期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	教職2・3・4選	2

(P.556) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)(後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職2・3・4選	2

(P.557) 参照

### (3) 教科に関する専門科目（必修）

【社会・地理・歴史・公民】

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋思想史	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	教職教科	4

#### 講義のねらい

始めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を購入する。購読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に觸れてゆきたいと考えている。

#### 履修上の留意点

最低書下し文が理解できる程度の漢文の基礎的教養が必要である。

#### 成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。

1. 試験又はレポート（年1回以上）
2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）
3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

#### 教科書

授業は講師が用意したプリントを用いる。

#### 参考書等

適宜授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
美術史概説	や の よう こ 矢 野 陽 子	教職教科	4

#### 講義のねらい

美術史とはどういう学問か、その方法にはどんなものがあるのかを具体例を通して考えながら、西洋美術史の基礎知識を学んでいきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

研究分野としての美術史に関して以下のような視点で講義を進めます。

美術史の起源  
西洋美術史学の方法と歴史  
原作、複製、文献  
描写と解釈  
合わせて古代から現代への流れを概観していきます。

#### 成績評価の方法

前期レポートと学年末試験によって評価する予定です。

#### 参考書等

マーク・ロスキル著、中森義宗訳『美術史とはなにか』（日貿出版社）  
マルシア・ポイント著、木下哲夫訳『はじめての美術史』（スカイドア）  
高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』（美術出版社）  
このほか適宜、授業中に参考文献を紹介します。

#### その他

スライドで具体的に数多くの作品を見ながら、授業を行ないます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民間信仰論	谷口 貢	教職教科	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定で、筆記試験は実施しない。

教科書

とくに使用しない

参考書等

桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、桜井徳太郎・他編『シャーマニズムとは何か』（春秋社）

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学概説	小池 とみ子	教職教科	4

講義のねらい

地理学における人文地理学分野をとり扱う。地理学的視点から、世界の諸地域の問題を検討することによって、現代世界の現状と課題を明らかにすることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、地理学発達史・人文地理学と自然地理学・環境論・地域論などについて検討する。次に現代世界の概観をふまえた上で、人種・民族と国家、人口問題、産業立地と地域の変容などを柱として、世界各地が現在どのような問題をかかえているか、具体的に各地域をとりあげながら、概説を試みる。

履修上の留意点

地図帳を持参していただきたい。

成績評価の方法

試験を行う。また平常時のレポートも参考にする。

教科書

特に指定しない。講義時に資料プリントを配布する。

参考書等

高校用地図帳（『新詳高等地図』帝國書院など。高校時代に使用したものがあればそれでもよい。）  
その他の参考書は講義の中で順次紹介する。

その他

授業は講義形式で行う。ときどきビデオ、スライドなどを取り入れる予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学概説	たかぎ まさひろ 高 木 正 博	教 職 教 科	4

講義のねらい

自然地理学の分野のうち、河川や地下水などにかかわる水の地理学を講ずる。近年、河川環境や地下水汚染などに関心が寄せられている。これらのテーマを考えるため、その基礎となる河川や地下水の特性について、地域事例をもとに説明する。

講義の内容・授業スケジュール

次の諸点について講ずる。  
 1) 水循環・水収支など水文学の基礎について  
 2) 河川や地下水の水量や水質など特性と地域とのかかわりについて  
 3) 河川地形と水災害、利水・自然環境など流域の自然と人々の関係について  
 4) 身近な水源としての地下水・湧水の保全などについて  
 地域事例を紹介する際、地形図や空中写真などを利用して地域調査の基礎についても概説する。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも問題意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。地域を把握するために、地形図や地図帳などが必要である。

成績評価の方法

学年末定期試験と夏休みの課題の他、授業中に随時実施する課題など平常点も加味して行う。

教 科 書

授業時間にプリントを配布する。

参 考 書 等

地学団体研究会編『地球の水圏－海洋と陸水』（東海大学出版会）  
 その他随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学概説	はやふね げん ほう 早 船 元 峰	教 職 教 科	4

講義のねらい

人間生活の舞台である第四紀の大地の生成過程などを論じ、さらに自然に対し人間はいかにあるべきかを災害などの環境問題を通して共に考えていく。また、いくつかの地域をとりあげ、人間と自然とのかかわりあい（人間に対する自然の影響・自然への人間の働きかけ）を、歴史的観点をふまえて、主に環境地誌学的立場から論じる。

講義の内容・授業スケジュール

- ・関東平野の地形発達史
- ・北海道本部の気候地形
- ・北海道美瑛町・富良野市における傾斜地の土地利用の変化と環境保全
- ・大気温・湖水温の垂直分布の季節的变化と人間とのかかわり
- ・その他

履修上の留意点

国土地理院の地形図を数枚用意してもらい、それらをもとに種々の作業（土地利用図・帯状平行投影地形断面図・切峰面図など）をして理解をより一層深めてもらう。直定規・方眼紙・トレス紙・硬質色鉛筆・黒色水性ペンを各人用意すること。

成績評価の方法

課題（地形図より主題図作成）・小テスト出席状況などによる平常点。

参 考 書 等

水見山幸夫・岡本次郎編著『土地利用変化とその問題』（大明堂）  
 脇田武光・石原照敏編『観光開発と地域振興』（古今書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 誌 学 概 説	かわもととよかず 川 元 豊 和	教 職 教 科	4

講義のねらい

南及び東南アジアの地誌について講義する。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。

講義の内容・授業スケジュール

前半では、主にバングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。また、農村から大量の人々を吸収し続けている都市についても考察したい。後半では、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴やマレー村落とその変貌、社会経済構造の変化などについて最近の地域研究の成果を紹介しながら、地域の特性を明らかにしたい。また、近年の高度経済成長にともなう工業化・都市化の問題についても考えてゆきたい。

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教 科 書

特に定めず、プリントを配布する。

参 考 書 等

臼田雅之・佐藤宏・谷口晉吉編『もっと知りたいバングラデシュ』（弘文堂）1993 2,800円  
水島司編『アジア読本マレーシア』（河出書房新社）1993 2,000円

そ の 他

年に2～3回はスライドを使用した授業を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地誌学概説	くぼた 武 <sup>たけし</sup> 久保田 武	教職教科	4

#### 講義のねらい

一般教養として広く世界の諸地域の特色と課題について基礎的知識の修得と理解  
 高校地歴科、中学校社会科の授業で世界の諸地域を扱う際に必要な基礎知識の修得  
 暗記科目にせず世界の諸地域に対し生徒の興味関心を増す教授内容構成と教授法の考察

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- ◆講義の内容  
 世界の諸地域の地域学習（地理・歴史・その他の内容）。大地域は一通り学習。中小地域と国は範例学習的に選択  
 教授者による毎回の授業、夏季休業中学生による地域紹介作成課題とその内容指導、生徒の学習評価法、教授者の自己評価法、情報源になる資料紹介、その他
- ◆授業スケジュール  
 前期は講義（教授者による授業例）と関連事項の質疑・実習・課題作成等  
 後期はそれに加え夏季休業中の課題「学生による地域学習案作成」の添削指導

#### 履修上の留意点

毎回授業の終わりに授業内容に関連して、簡潔なまとめ、コメント、実習内容等の提出を求め  
 出欠調査に代える。提出物は添削（質問、意見には回答）のうえ次回に返却する

#### 成績評価の方法

定期試験、毎授業後の提出物、授業への参加意欲（出席状況他）等を総合して評価  
 原則として授業時数の2/3以上出席しないと単位を認定しない

#### 教科書

使用しない

#### 参考書等

授業の時に紹介する。但し、地理教科書、地図帳、歴史年表、歴史地図、統計資料等は、この  
 際揃えた方がよい。とりあえず地図帳と統計資料、歴史年表は初回から持参のこと

#### その他

毎授業時間の前半は講義、後半は質疑、実習、課題作成等を原則とする  
 OHP、スライド、ビデオ、写真など視聴覚機材を講義内容理解と補足のため頻繁に使用する



科目名	担当者名	配当学科	単 位
地誌学概説	ふじ しま のり たか 藤 島 範 孝	教職教科	4

講義のねらい

アジアには30億の人が居住し、古代文明を生み出したが、その後欧米至上主義によって旧態依然といわれる。更に民族独立と社会主義崩壊、人口爆発と飢餓、核汚染と地球環境の破壊など多くの問題をかかえてきた。この実情をアジアに見る。特に日本はアジアの一員であることを忘れてきた経緯を反省し、各分野から分析してみたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

アジアの地図を描き、最近の変貌を加え、新しいアジア観の把握に努める。

履修上の留意点

各種の地図を利用するので、描写及び着色することがある。作図できるようにしておく。国境及首都等は構造として把握する。

成績評価の方法

最近のアジア各地の変貌を報告発表を要求する。

教科書

大藪友和『アジアを読む地図』（講談社）1,800円

参考書等

浅井信雄『民族世界地図』（新潮社）1,000円  
 泉三郎『世界地図の新しい読み方』（日本実業出版社）1,300円  
 アンドリュウ・ボイド『世界紛争地図』（創元社）1,600円

その他

講義、作図。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教史	えん どう ひろ あき 遠 藤 廣 昭	教職教科	4

講義のねらい

中世の仏教諸宗派の展開を、特に関東にスポットをあてて概観し、その過程を明らかにしていきたい。その中でも、地域社会とのかかわりを中心にしていきたい。また一見それらとかわりの無いように見える「学僧」とよばれた僧侶の活動も詳述して見たい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度は、仏教の伝来から奈良・平安時代の仏教について前期で講義した。本年度は古代仏教も概観するが、講義の中心は中世の関東における仏教諸宗派の展開にしぼって見たい。中でも真言宗と曹洞宗については詳述する。なぜならば、関東においては、古代仏教諸宗派中真言宗が最も多く展開を見、いわゆる鎌倉新仏教の中では曹洞宗が最も展開をとげているから、両宗は地域社会とのかかわりも深いと考えられるからである。このうち真言宗の展開の場合は、鎌倉・室町時代を通して、京都や鎌倉との関係は無視できない。そのような視点からも講義を進めて見たい。

成績評価の方法

成績評価は、定期試験の結果を基本とするが、出席も重視する。

教科書・参考書等

教科書・参考書は特になし。必要な資料は、授業時に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本文化史 I	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	教職教科	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家はかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに①～⑦の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	あ そ う けん 麻 生 建	教職教科	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は、純粋な講義の形をとるので、きちんとノートをとり、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は、教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末試験

教科書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 概 説	くろ だ もと き 黒 田 基 樹	教 職 教 科	4

講義のねらい

歴史学という学問は、過去の社会を正確に認識するとともに、現代社会をどのように把握するか、ということを追究するものである。そのため、過去の日本社会を題材としつつも、常に現代の日本社会との対話を意識し、歴史を「考える」という観点を重視していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

日本史を通時的に概観するのではなく、主として平安時代末期から江戸時代初期を対象として、個々のテーマを設定し、検討する。

成績評価の方法

学年末に試験をおこない、出席数と試験の結果を総合して評価する。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

授業のなかで随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 概 説	こ まつ とし はる 小 松 寿 治	教 職 教 科	4

講義のねらい

「日本史」が日本国の歴史について学ぶ学問であることは承知のことと思いますが、日本国に住みながら「日本史」を知らない人が多いと思いませんか。日本という国に住んでいる人間ならば、日本で起こったこと、特に国際化が叫ばれる昨今、外国とどのようにかかわっていたかを知っていることは、必要なことと思います。国際社会の中で、自分の住んでいる国の歴史を知らないことは、恥かしいことではないでしょうか。社会科の教員免許を目指す皆さんは、それがたとえ歴史の免許でなくても、関連する専攻の状況を理解するために、歴史に関する目を持つことは重要なことと思います。

講義の内容・授業スケジュール

日本の歴史を現在国際問題となっている日本の歴史認識と関連づけながら講義をしたいと思っています。そのため通常の歴史の授業とは違い、若干、時代的には前後する話になるかもしれません。

成績評価の方法

前・後期二度の試験をします。教員となる人たちの授業ですので、出席を重視します。

教 科 書

特に用意しません。必要な資料は、授業の際に配布いたします。

参 考 書 等

授業の時、随時話します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
世界史概説	井 村 行 子	教職教科	4

講義のねらい

近代世界システムの成立と展開の過程として世界近現代史を捉える。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1回	近代世界体制成立の諸前提	第12回	19世紀後半のアジア
第2回	18世紀の西ヨーロッパ	第13回	帝国主義の開幕
第3回	18世紀の中・東ヨーロッパ	第14回	帝国主義の世界分割
第4回	18世紀のアジア	第15回	20世紀初頭の世界
第5回	二重革命の時代	第16回	第一次世界大戦
第6回	ヴェーン体制の成立	第17回	ヴェルサイユ体制の成立
第7回	19世紀前半のヨーロッパ	第18回	1920年代の世界
第8回	19世紀前半のアメリカ	第19回	1930年代の世界
第9回	19世紀前半のアジア	第20回	第二次世界大戦
第10回	19世紀後半のヨーロッパ	第21回	戦後世界の成立
第11回	19世紀後半のアメリカとロシア		

成績評価の方法

前期後期二回行う筆記試験による

教科書

使用しない。

参考書等

大江一道『世界近現代全史』全3巻 1991-97

科目名	担当者名	配当学科	単 位
世界史概説	まつもと ひろし 松 本 弘	教職教科	4

講義のねらい

本年度の世界史概説の東洋史は、中東の歴史を扱う。近い将来、学生諸君が教職について世界史を担当する際、最も困難を憶える部分は、おそらく中東やイスラムに関わるものであろう。近年、教科書における中東やイスラムに関わる記述は増えており、また中東和平問題やイスラム原理主義などの報道も大きく扱われている。にもかかわらず、中東は未だ「遠いところ」であり、その理解のための情報提供や教育はますます困難さを増しているように思われる。それゆえ本講義では、イスラム成立以後の中東の歴史を詳解し、学生諸君が教職につくという前提の下、中学及び高校において中東やイスラムに関する授業を行うために、最低限必要な情報と解説を示すことを講義の目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

「中東 (Middle East, 地理用語では西アジア及び北アフリカ)」という言葉の意味から始めて、中東における民族や宗教を概観し、アイデンティティの問題を論じることによって、その社会の特質を明らかにする。加えて、ユダヤ教、キリスト教、イスラムという中東で成立した一神教の流れから、イスラムの占める位置も確認する。

次いで、預言者ムハンマドから正統カリフ、ウマイヤ朝、アッバース朝のイスラム史を概観し、その政治史や政治体制を解説するとともに、イスラム神学・法学やイスラム神秘主義といった思想史も扱いたい。

その後は、オスマン帝国の概説から中東の近代史に入り、ヨーロッパ列強の進出とそれに対する抵抗の過程を通して、「中東の近代」に関わる特質を論じる。そして、アラブ民族主義や中東和平問題から現代史に入り、イスラム原理主義や湾岸戦争後の情勢などを解説して、中東における歴史と現状の関わり合いについて、筆者なりの評価を示してみたい。

成績評価の方法

前後期2回の試験による。

教科書・  
参考書等

教科書は特に用いない。参考書は適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学原論	わた なべ もと き 渡 辺 源 樹	教職教科	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会学的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 授業内容とそれに必要な準備
- 第1回 社会学とは何か  
社会的事実／実証性“予期せんがために見る”／社会学的分析／現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為  
なぜ“action”からなのか／社会の基礎的単位として行為／行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程  
人間の行為は“inter”して社会的となる／人間関係・社会関係・国際関係／交換／社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準  
1. 役割の取得——社会化 フロイドとパーソンズの“社会化の過程”を中心に
- 第5回 2. 役割の準拠——準拠集団 準拠枠／所属集団と準拠集団／動機と態度の概念
- 第6回 3. 役割の葛藤——マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム／マージナルマンとして青年期／マージナルマンとして職場人間
- 第7回 社会統制と逸脱行為  
1. 規範と同調——逸脱の次元 行為と社会的秩序／サンクション・パターン
- 第8回 2. ラベリングと予言の自己成就 印象操作／シンボルとシンボル操作／逸脱とラベリング／予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論、マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団
- 第11回 1. 社会集団とは何か 集団の特質／集団の分類／家族と企業体
- 第12回 2. 集団の構造と機能 社会有機体説と構造・機能／機能連関／機能要件 (AGIL 図式)
- 第13回 3. 集団の構造と機能 地位と役割 集団の単位としての役割／ロールセット、地位系列／業績的地位・帰属的地位
- 第14回 4. 集団のリーダーシップ 集団目標／集団効果性／ホワイトのリーダーシップ論／PM 理論とリーダーシップ
- 第15回 5. 集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉一性／集団規範／凝集性を高める条件／モラール
- 第16回 5. 集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉一性／集団規範／凝集性を高める条件／モラール
- 第15回 集団・文化・パーソナルティ
- 第16回 組織論と官僚性  
1. 組織の一般理論 現代社会と組織体／組織の一般理論
- 第17回 2. 官僚制組織の基本原則 ウェーバーの支配の3類型／官僚制組織の基本原則 (ウェーバー、ミヘルス)／支配・権力・権威
- 第18回 3. 官僚制組織の動態 官僚制組織における“目標の転移”／ホーソン実験／ダールドナー、ブラウの官僚制論
- 第19回 社会意識  
1. 社会意識とは何か 社会意識の2つの途／マルクスとウェーバー
- 第20回 2. ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第21回 3. 社会的性格  
i) フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- 第22回 ii) ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第23回 4. 社会的態度 (社会心理) 行為の科学的説明／ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第24回 全体社会の構成  
1. 経済と社会…経済と経済社会学／産業社会・消費社会／経済の国際化・従属理論
- 第25回 2. 政治と社会…政治と政治社会学／権力／政治文化
3. 法と社会…法と法社会学／法の機能／規範
4. 教育と社会…教育と教育社会学／学歴と社会移動
- 第26回 社会成層の社会学 階級と階層／職業構成／社会移動／地位の一貫性・非一貫性／成層研究の課題

成績評価の方法

定期試験（有り）、レポート（有り）

教科書

開講時に提示

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	佐々木宏幹	教職教科	4

(P.592) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論	あさ だ とう いち ろう 浅田統一郎	教職教科	4

#### 講義のねらい

本講義は、近代経済学の基礎理論をわかり易く体系的に解説し、『価格理論』および『国民所得理論』の一層進んだ内容を理解するための橋渡しをすることを目的にしています。また、本講義を受講することによって得られた基礎知識は、現実の経済問題を解釈し、その解決策を考えるための指針としても役立ちます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

近代経済学の理論体系は、「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」という二大分野に分けられます。ミクロ経済学は、19世紀のジェボンズ、マーシャル、メンガー、ワルラス、20世紀に入ってからヒックス、サムエルソン、アロー、ドブリュー等によって発展させられてきた理論分野で、経済を構成する個別的な消費者や企業の行動にまでさかのぼって市場における価格決定の問題を分析し、完全競争、独占、独占的競争、寡占等の市場形態の相違が資源配分の効率性や所得分配にどのような影響を及ぼすかを分析します。(駒沢大学経済学部では、『価格理論』という科目がこれらの問題を専門的に扱っています。)他方、マクロ経済学は、20世紀前半にイギリスの経済学者ケインズによってその基礎が築かれた経済学の重要な一分野で、国民所得、物価水準、失業率、政府財政余剰、国際収支等の「集計概念」(様々な細かい個別の変数を合計して、あるいは平均して得られる概念)を用いて、経済全体の動きを大づかみに把握することを目的としています。(駒沢大学経済学部では、『国民所得理論』という科目がこれらの問題を専門的に扱っています。)マクロ経済学の理論は、現在、政府による経済政策が経済全体に対して及ぼす影響と効果を分析したり論じたりする際に必要不可欠な思考の枠組を提供してくれますが、同時に、この分野は、正統派ケインジアン、ポスト・ケインジアン、マネタリスト、サプライサイドの経済学、合理的期待学派等、様々な学派が並存して各学派の間で活発な論争が行われている分野でもあります。また、ハロッド、ドーナー、ロビンソン、ソロー等によって発展させられた経済成長理論、ヒックス、カルドア、グッドウィン等によって発展させられた景気循環理論も、マクロ経済学から派生した分野とみなすことができます。

本講義では、これら二つの理論体系の基礎知識を以下の順序に従ってわかり易く解説します。

- |   |   |
|---|---|
| <p>I. ミクロ経済学</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消費者行動の理論</li> <li>2. 企業行動の理論</li> <li>3. 市場均衡の理論</li> <li>4. 不完全競争の理論</li> </ol> | <p>II. マクロ経済学</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国民所得の概念</li> <li>2. 国民所得決定の理論</li> <li>3. 貨幣と利子率 (IS・LM 分析)</li> <li>4. 財政・金融政策の効果</li> </ol> |
|---|---|

なお、教科書は、浅野・荒木・浅田『エコノミックス』改訂版(成蹊堂)を使用しますが、本講義の範囲を越えてもっと詳しくミクロ経済学とマクロ経済学を勉強したい受講者や本講義の修了者のために、下記の「指定図書」を推薦しておきます。

#### 成績評価の方法

成績は年2回(前期・後期)行う筆記試験によって評価します。

#### 教科書

浅野克巳・荒木勝啓・浅田統一郎著『エコノミックス』改訂版(成蹊堂)

#### 参考書等

〔指定図書・文献等〕  
 武隈慎一 著『ミクロ経済学』(新世社)  
 中谷巖 著『入門マクロ経済学』(日本評論社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あまの 野 光 則	教 職 教 科	4

#### 講義のねらい

経済学は、商品・貨幣経済を基礎とする近代社会（＝資本主義社会）の生成・発展のなかで、「社会認識」の学問として誕生した。

人々の生活はそれまでの自給自足的な生活から、自分の必要とするものを商品・貨幣関係＝市場を通して充足する生活へと変わって行き、それにともない人々の意識や行動も共同体的意識が次第にうすれ、個々人が自己の利益を優先し、「損得勘定」に従うようになっていった。こうして人々は、「利己心」を中心に市場を通して関係を取り結ぶようになり、こうした社会にあって個人と社会の関係がどのように「調和」するかということをめぐる経済学という学問は生まれたのである。経済学を一つの体系的な理論として示したのは、アダム・スミス『国富論』（1776年刊）であった。

スミスはイギリスにおける経済発展を考察しながら、近代社会が資本家・労働者・地主という三大階級からなり、階級間に貧富の差はあるけれども、分業にもとづく生産力の発展によってもっとも貧しい労働者階級にもその恩恵は及び、社会に「調和」が存在すると見なした。

しかし、18世紀末から19世紀初頭にかけての産業革命の進展とともに生産力は日ざましい発展を示しながら、資本主義社会の病理としての過剰生産恐慌は労働者を失業＝貧困に追いやり、社会の分裂・対立が大きな社会問題となった。この問題に真正面から取り組んだのが、マルクスであった。マルクスは資本主義社会を人類史における一つの歴史的・過渡的な社会ととらえ、そこにおける「経済的運動法則」の解明を意図して『資本論』（第一巻、1867年刊）を著わした。

本講義では、スミスからマルクスにいたるこうした経済学の流れを念頭におきながら、マルクスによって示された「資本主義の経済的運動法則」とはどのようなものであったかということ、明らかにして行きたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 前期

- 第1篇 経済学の対象と方法
- 第2篇 商品・貨幣論
- 第3篇 資本・剰余価値論

##### 後期

- 第4篇 資本蓄積論
- 第5篇 分配論（商業利潤論、利子論、地代論）

#### 履修上の留意点

第2回の授業の出席者をもって受講登録者と見なすので、受講希望者は必ず出席すること。毎時間出席を取ることはいないが、適宜出席を取り、平常的評価として加味する。

#### 成績評価の方法

前後期各2回、授業時に簡単なテストを行ない、出席状況を加味して成績評価を行なう。

#### 教 科 書

平井規之他著『経済原論』（有斐閣）

#### 参 考 書 等

マルクス『資本論』第1巻（新日本新書）  
 内田義彦『社会認識の歩み』（岩波新書）  
 大塚久雄『社会科学の方法』（岩波新書）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	おのの 小野俊夫	教 職 教 科	4

講義のねらい

経済は現代社会の基本であり、経済学、特に経済学原論は広く社会諸科学を学習し理解するためには必須の学問である。この講義では、現代経済社会の仕組みと運行の仕方を理解し、正しく分析し得る力を身につけるためには不可欠な理論の基本を、いわゆる近代経済学の立場から体系的に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は次の順序で行う。

1. 経済学発展史要説
2. ミクロ経済学：ミクロ的経済循環とミクロ経済学、消費者行動の理論、企業行動の理論（企業の生産技術と生産費、完全競争下の企業行動、独占企業の行動）、完全競争市場と独占市場、現代企業と市場の理論。
3. マクロ経済学：マクロ的経済循環とマクロ経済学、国民所得の諸概念、ケインズの有効需要原理と理論体系要説、ケインズ経済学体系（消費関数と貯蓄関数、国民所得の決定と投資乗数の理論、投資決定の理論、利子率決定の流動性選好理論、ケインズ理論体系と IS-LM モデル）、経済成長と景気変動、政府および外国貿易を考慮する一般的分析。

履修上の留意点

講義を理解するために経済に関する予備知識は必要としないが、学問はそもそも一つの体系であるから、常に出席して講義の順を追って理解して行かねばならない。

成績評価の方法

次の3点の総合評価による。

- (a) 講義への出席率
- (b) 後期の適当な時期に課するレポート提出
- (c) 後期の最終講義時間に行う教場試験。

教 科 書

小野俊夫編著『現代経済学の基礎』（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民法 I	おお <small>みや</small> <small>たかし</small> 大 宮 隆	教職教科	4

講義のねらい

民法という法律は、日常の社会生活（財産関係と家族関係）を規律の対象とし、総則・物権・債権・親族・相続の五編に編別されている。本講の対象は、第一編総則、第二編物権である。なかでも総則は、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定を集めて構成されているので、抽象的な法文形式が多い。講義においては、具体例を挙げてわかりやすく説明したいと思っている。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 民法の意義
- ② 民法典の編別
- ③ 民法の指導原理とその修正
- ④ 自然人
- ⑤ 法人
- ⑥ 物
- ⑦ 法律行為
- ⑧ 期間
- ⑨ 時効
- ⑩ 物権変動
- ⑪ 占有権
- ⑫ 所有権
- ⑬ 地上権
- ⑭ 永小作権
- ⑮ 地役権
- ⑯ 留置権
- ⑰ 先取特権
- ⑱ 質権
- ⑲ 抵当権

履修上の留意点

講義には六法持参のこと。講義終了時に次週の予告をするので、教科書を読んできること。

成績評価の方法

年度末の定期試験と出席状況を総合して評価する。

教科書

玉田弘毅『図解民法講義 総則・物権』（住宅新報社）1,854円

参考書等

講義の中で随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 原 論	おお つか かつら 大 塚 桂	教 職 教 科	4

講義のねらい

私は、いままでイギリスの政治的多元主義と新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれませんが。政治学のみならず、ひろく隣接領域（法学・哲学・歴史学・社会学・経済学）にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第2研究館8階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377(直)です。

講義の目的

第一の目的は、将来教壇にたったときに役立つ基本的な知識の習得をめざすことです。

第二の目的は、社会科学の思考方法を会得することです。

第三の目的は、自己の意見を論理的にはっきりと述べられるようにすることです。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義のすすめ方

政治学の基本問題を、一回一回テーマ主義でとりあげます。ワン・ウェイの講義をするのではなく、学生諸君との対話・討論形式をとりいれて授業をすすめていきます（場合によっては、学生諸君の報告や模擬授業も）。質問には、はずかしがらずに積極的にこたえて授業を盛り上げてください。

授業では、政治学のみならず隣接科目にまで話がおよんでいきます。履修者はあらかじめ高校時代の「政治経済」の教科書や参考書などに目をとおしておくといでしょう。

講義内容

講義でとりあげる問題は、以下のとおりです。

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| A 政治の思想         | C 日本の政治  |
| ～古代ギリシャ・ローマ政治思想 | ～明治国家の形成 |
| 中世政治思想          | 大正デモクラシー |
| 近代政治思想          | 軍部独裁     |
| 現代政治思想          | 戦後の政治    |
| B 政治の仕組み        | D 国際政治   |
| ～議会             | ～国際連合    |
| 内閣              | N G O    |
| 地方自治            | 国際関係     |
| 官僚制             |          |
| 政党              |          |
| 選挙              |          |
| 世論              |          |

履修上の留意点

将来教職を希望する人間が、教室に足を運ばないのはもってのほかです。単位の認定にあたっては、出席を特に重視します。正当な理由があって欠席する場合（実習・研修など）には、必ず届けを提出してください。

成績評価の方法

出席：50% 中間試験：20% 学年末試験：30%

以上の割合で評価します。

なお、追・再試験も実施します。

教 科 書

大塚桂編『政治学へのいざない』（成文堂）2,500円

参 考 書 等

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 宗 教 文 化 史	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	教 職 教 科	4

講義のねらい

主として東北地方や沖縄地方の民俗・民衆的な宗教現象の具体例を紹介しながら、日本の宗教文化を根底から支えてきた基盤の広がり、その独特の性格などを考えてみたい。具体的には、日本人の運命観、死生観、靈魂観、系譜へのこだわり、「のろい」「うらみ」などの情緒への対処、「平等」に対する感性、などが話題になろう。

講義の内容・  
授業スケジュール

なるべく具体的な事例の考察を中心に話を進めたい。特に、東北地方のイタコ、カミサマ、沖縄地方のユタ、ムヌシリなど、民間巫者などの総称によって捉えられてきた「野の宗教者」の世界に光を当てる。前期は東北地方、後期は沖縄地方の話が中心となる。

成績評価の方法

年度末のレポートによる。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

スライド、ビデオを適宜使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 衆 宗 教 成 立 史	つ しろ ひろ ふみ 津 城 寛 文	教 職 教 科	4

講義のねらい

深層文化論と宗教学の接点にたつて、民間信仰、民俗宗教、民衆宗教などの成立と基盤とを扱います。大伝統に対する小伝統、エリートに対する民衆、イデオロギーに対する非イデオロギー的な習慣習俗などに焦点を当てて、われわれの文化や社会や心の深層にある、民衆的な宗教性を浮き彫りにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

主要テーマは下記の4つであり、前期は深層文化論を軸に、後期は民衆宗教論を軸に、講義を進めます。

- 前期 ① 深層文化論の整理  
② 深層文化と宗教学研究  
後期 ③ 民俗主義的な深層文化  
④ 新宗教の発生と展開

履修上の留意点

私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行います。

教 科 書

用いません。

参 考 書 等

深層文化論に関しては、拙著『日本の深層文化序説——三つの深層と宗教』（玉川大学出版部）1995年を用います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学概説	あらい けん 洗 建	教職教科	4

講義のねらい

実証的研究としての宗教学の立場から、我々現代日本人とのかかわりを念頭に置いて、世界の諸宗教について概説し、宗教を理解することがあらゆる人間の営み（諸文化、諸学問）を理解することといかに深くかかわっているかを明らかにする。

この教科は教職科目であるので、できれば近代と宗教、憲法理念と宗教の問題にも言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

宗教学の性格、原始宗教、民族宗教、仏教、キリスト教、イスラーム教、神道、新宗教運動、近代化、世俗化、信教の自由、政教分離などの諸問題について考える。

履修上の留意点

できるだけ出席し、事実を覚えることより、宗教学のものの見方を理解して貰いたい。したがって、原則として出席をとる。

成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

教科書

水野弘元、柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）を持っていれば、参照すること。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学概説	いじ かがみ よし まさ 池 上 良 正	教職教科	4

講義のねらい

「宗教」とよばれる現象には、特定の教祖によって開かれ、制度的・教典的な背景や歴史をもった「世界宗教」とよばれるものから、共同体の生活慣習や年中行事に組み込まれた「習俗」、あるいは機能分化した近代社会に生きる個人の「生き甲斐」まで、多様な幅がある。また、教祖・聖者などの宗教的達人やエリートによって説かれた「思想」から、現世祈祷・死者供養・祭礼・禁忌・呪い、などよばれるような庶民の「実践」まで、途方もない広がりをもっている。

本講義では、主として一般庶民の生活に根ざした、宗教の民俗・民衆的な側面に焦点を合わせ、宗教学の視点から、この側面を捉える方法や、その具体的な研究成果について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式によって、代表的な研究を紹介することを予定しているが、受講者の人数によっては、学生諸君に課題を与えて発表してもらうこともある。

成績評価の方法

レポートを予定しているが、試験に変更する可能性もある。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

さしあたり、佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）などが役に立つ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 概 説	つ しろ ひろ かつみ 津 城 寛 文	教 職 教 科	4

講義のねらい

世界宗教史と日本宗教史を軸にして、原始宗教・古代宗教から現代の宗教現象まで、宗教としての共通点と、それぞれに固有の特性が明らかになるような講義にしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は世界宗教を軸に、後期は日本宗教史を軸に、講義を進めます。日本宗教史は概説ではなく、仏教関係の話題も重複のないように省き、興味深い話題に焦点をあてた各論にします。おおまかなスケジュールは次のとおりです。

前期

比較宗教学の前提、呪術と宗教、アニミズム・シャーマニズム、原始宗教・古代宗教、ヒンドゥー教と仏教、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教、世界の新宗教運動

後期

固有信仰、神と仏、宗教者の群像、近代化の中の宗教、宗教と国家、宗教と教育

履修上の留意点

私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行ないます。

教 科 書

用いません。

参 考 書 等

その都度紹介します。

そ の 他

数回ビデオを用います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	くにしまかずのり 国嶋一則	教職教科	4

講義のねらい

われわれは、生きてゆくための支えとなるものを求めざるをえない。「支え」となるものは価値のあるものである。価値とはいかなるものかを明らかにするには、まず価値が、自然や人間や歴史などの存在するものと、いかなる関係にあるかを、さらにその前に、存在するものがいかなるものであるかを、明らかにしなければならない。

ところで、世界、人間、歴史などの存在するものが、いかなる仕方 で存在するかという存在論の問題を考えるためには、われわれは何を、いかに認識しうるかという認識論の問題について知っておかねばならない。そしてまたそのためには、認識の真偽を論ずる真理問題が明らかにされておらねばならない。

以上、価値、存在、認識（知識）、真理という哲学思索を進めるべき段階を辿ったが、その段階は哲学の体系でもある。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、哲学の基礎概念と思索を進めるための論理の学習。  
後期は、体系的立場から、現代の主義を哲学的に考察する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポート

教科書

学期のはじめに発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	すえきやすひこ 末木恭彦	教職教科	4

講義のねらい

哲学とは何であろう。そして、それは人生に如何なる意味を持つのであろうか。—哲学を学ぶ以前にこのような問いがある。この問いにこそ、この講義を通じて探究を試みる。始めに述べた問いは、我々東アジアの人間にとっては極く自然である。何故なら、東アジアの学問の伝統の中には哲学なる学問は無かったからである。この地域では近代欧米諸国文化の強い圧力下に、新しい学問として哲学を成立させた。その時、唯翻訳するのではなく東アジアの伝統的学問を再構成して、哲学として成立させようと努力する一群の人々もいた。中国にあって、伝統をふまえて独自の哲学を試みた人々の仕事を紹介し、それを通じて冒頭の問いに我々なりの見解を持ちたい—そのような企図の下に、この講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、中国の近代哲学者として最も世界に名を知られた馮友蘭を取挙げる。始めに彼の哲学の背景を理解するために、伝記を紹介する。その後、彼独自の哲学新理学の主要著作の中から『新事論』『新世訓』の学説を紹介する。

成績評価の方法

次のものを材料にして成績をつける。

1. 試験あるいはレポート
2. 平常の受講態度（年数回抜き打ちの理解調査を行う）
3. 受講をこえる積極的な学習（任意のレポート、質問〈書面で提出して貰う〉などで判断する）

教科書

『馮友蘭自伝』、馮友蘭『新事論』『新世訓』（ともに和訳はないので、必要箇所を講師が訳し編集したものをプリントして配布する。中文版については授業中に解説する）

参考書等

馮友蘭『哲学回憶録』（吾妻重二訳、『みすず』275号～284号）／柿村峻・吾妻重二訳『中国哲学史』（富山房）／島田虔次『新儒家哲学について』（同朋舎）

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学概説	久保陽一	教職教科	4

講義のねらい

古代から現代にいたる倫理学の主な学説を学び、現代社会における人間の生き方の手掛かりを得ることをめざす。現代はしばしば「ポスト・モダン」の時代だと云われる。それは、近代の科学技術文明や社会制度が様々な問題を露呈し、その解決が求められているからだろう。けだし近代では、それまで結びついていた経済と政治、政治と宗教、個人と社会、人間と自然、学問(真)と道徳(善)と芸術(美)とが相互に分裂し、それぞれ独立の権限を主張するようになる一方、その前提から新たな総合が求められてもいる。けれども、いまだ—かつこの宗教や国家に代る—有効な統合原理は見出されえないでおり、そのため種々の混乱が生じている。そこで本講義では、近代の倫理学説を、一方で古代・中世の倫理学説との連関で取り上げると共に、他方で現代の倫理学説との連関で、批判的に考察することにする。

講義の内容・授業スケジュール

近代の倫理学 — 快楽主義、功利主義、社会契約と人権の思想、理性主義、カント等。  
現代の倫理学 — ヘーゲル、マルクス、ニーチェ、ハイデガー、ハーバーマス等。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、そのために一年間で少なくとも古典を一冊読了するようにすること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

読むべき古典を含め、授業中に紹介する。



## 【職業】

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業概説	まえだ ゆきかず 前田 幸一	教職教科	4

### 講義のねらい

授業は85（昭和60）年以降の日本の産業界の動向を業種別に流れをつかんでいく。

### 講義の内容・授業スケジュール

（総論）バブル経済と平成不況  
 （各論）非鉄金属、建設、食品、紙・パルプ、化学、繊維、石油、エネルギー、鉄鋼、産業機械、造船、重電、家電、コンピューター、半導体、自動車、商社、流通、銀行、生損保、証券、住宅、不動産、運輸、サービス、レジャー、外食産業、通信、ノンバンク、  
 なお、受講者の要望を聞きながらですが、今年度は工場見学などを授業に組んで、実施したいと考えています。

### 履修上の留意点

日経新聞などの経済・産業欄に目を通して授業に望んで欲しい。

### 成績評価の方法

当授業は多分に受講者が少ないと思いますので、ペーパーテスト等はしません。平常点で決めます。

### 教科書

高村寿一・小山博之編『日本産業史4』（日本経済新聞社）1,500円

### 参考書等

授業の際に提示します。

### その他

授業での受講者は恐らく少人数であろう。そこで授業の初段階では私が講義をしていきますが、その後はゼミ形式で、皆で議論しながら授業をすすめていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
職業指導	やま た ゆうじ 山田 勇治	教職教科	4

### 講義のねらい

職業指導（進路指導）は教職科目であるから、将来教員として役立つような講義内容にするように心掛け、なるべく教育現場の現状をふまえた上で、実践的な授業にするつもりである。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、職業指導の基礎的概念である「職業」についての理解を深めるとともに、職業の中でも特に公認会計士を中心にした会計専門職業についてアメリカの場合と比較しながら、特に教育面を中心にして講義していきたいと考えています。

後期は、中学・高校を中心とした学校進路指導の現状とその問題点について文部省が過去3回にわたって実施した実態調査を中心にしてその現状と問題点を考えていくような授業をするつもりである。なお、時間的な余裕があれば学校で実施されている心理テストについて説明したいと考えています。

### 履修上の留意点

受講する学生は、積極的に問題意識をもって教育問題を考えるようにしてほしい。

### 成績評価の方法

授業中における課題などの提出や出席状況を考慮しながら、期末のレポート提出によって評価します。

### 教科書

開講時に指示。

### 参考書等

有本章・近藤大生編『現代の職業と教育』（福村出版）2,000円  
 寺田晃・佐藤怜監修『進路指導』（中央法規出版）2,500円  
 仙崎武・野々村新・渡辺三枝子編著『進路指導論』（福村出版）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
商業実習	まえ だ けい かず 前 田 幸 一	教職教科	4

講義のねらい

貿易における商品取引の基礎的な実務を習得するに目標をおいて授業を進めていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は基本的に以下の項目で進めていきます。

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. 輸出実務の概要       | 10. 為替の予約   |
| 2. 取引関係の創設       | 11. 海上保険契約  |
| 3. 取引条件の取決め      | 12. 輸出検査と包装 |
| 4. 売買条件の取決めと契約成立 | 13. 輸出通関    |
| 5. 輸出信用状の照合      | 14. 船積み     |
| 6. 約定品の調達        | 15. 船積書類    |
| 7. 輸出保険          | 16. 輸出決済    |
| 8. 輸出承認と認証の取付け   | 17. 貿易クレーム  |
| 9. 運送契約の締結       |             |

成績評価の方法

筆記試験はしない。評価は平常点かレポート提出等によって行います。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

石田貞夫『貿易取引の実務』（教出版）  
 渋谷源蔵『貿易実務』（同文館）  
 藤田栄一『貿易取引の英語』（勁草書房）

【商業】

科目名	担当者名	配当学科	単 位
職業指導	やま だ ゆう じ 山 田 勇 治	教職教科	4

(P.550) 参照



## II 学校図書館司書教諭講座



## 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	図書(司)2・3・4必	2

### 講義のねらい

学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題・教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 学校図書館の理念と教育的意義
- 2 学校図書館の発展と課題
- 3 教育行政と学校図書館
- 4 学校図書館の経営
- 5 司書教諭の役割と校内の協力体制、研修
- 6 学校図書館メディアの選択と管理、提供
- 7 学校図書館活動
- 8 図書館の相互協力とネットワーク

### 成績評価の方法

小論文とテストによる。

### 参考書等

- 全国 SLA 図書館学編集委員会編『学校図書館学 1 学校図書館の原理と運営』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

### その他

講義・討論・ビデオ

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	図書(司)2・3・4必	2

### 講義のねらい

現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本を結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するため、司書教諭の役割と自らの責務を中心に、活動の原理と方法、技能についても、具体的に体得してもらおう。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 読書の意義と目的
- 2 子ども読書の実態と指導
- 3 読書資料の種類と活用
- 4 発達段階に応じた読書指導
- 5 子どもと本を結ぶための方法
- 6 読書指導推進活動と教員の責務
- 7 地域社会の関連施設等との連携

### 成績評価の方法

小論文とテストによる

### 参考書等

- 全国 SLA 編『学校図書館白書 2 学校図書館と子どもの読書の現状と課題』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

### その他

講義・討論・ビデオ・演習

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前 期)	みなもと 源 しょう 昌 ぎゅう 久	図書(司)2・3・4必	2

講義のねらい

本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク
- 2) 分類法(表)の解説・演習
- 3) 目録の解説・演習
- 4) 資料組織の機械化
- 5) 多様な学習環と学校図書館メディアの配置

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

教科書

『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会)セット定価 6,000円  
『日本目録規則 1987年版 改訂版』(日本図書館協会) 3,500円

参考書等

講義中に指示する。

その他

必要に応じて、ビデオを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報メディアの活用 (後 期)	みなもと 源 しょう 昌 ぎゅう 久	図書(司)2・3・4必	2

講義のねらい

学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 情報化社会と人間
- 2) 情報メディアの特性と選択
- 3) 視聴覚メディアの活用
- 4) 学校図書館におけるコンピュータの活用
- 5) 情報検索

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

教科書

情報科学技術協会編『CD-ROM 版情報検索の演習』(日外アソシエーツ) 2,200円

参考書等

講義中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)(後期)	やま だ さつ こ 山 田 節 子	図書(司)2・3・4必	2

#### 講義のねらい

学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学習図書館は、児童生徒が、「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動のさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。  
この科目は、その原理と方法を学ぶと共に教師に対するサービス・支援のあり方に関し、理解を深めることを目的とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 教育課程の展開と学校図書館
- 2 発達段階に応じた学校図書館メディアの選択
- 3 児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成
- 4 学習課程における学校図書館メディア活用の実際
- 5 学習指導における学校図書館の利用
- 6 学校図書館における情報サービス
- 7 教師への支援と働きかけ

#### 成績評価の方法

小論文とテストによる。

#### 参 考 書 等

- 全国 SLA 編『これからの学校図書館と司書教諭の役割：改正学校図書館法マニュアル』
- 井澤純著『図書館学大系7 読書教育原論』（全国 SLA 刊行）

#### そ の 他

講義・討論・ビデオ・演習





### Ⅲ 社会教育主事講座



## (1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育計画	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	社教主事2必	4

### 講義のねらい

かつて社会教育職員の専門性として、4P論（プランナー、プログラマー、プロデューサー、プロモーター）がいわれた。いま各自治体では住民の生活課題や地域づくりの課題に対応したきめ細かな生涯学習振興策とその計画化がもとめられている。この講義では、自治体の生涯学習計画の策定を中心に、できるだけ具体例に即して、ひろく生涯学習の方法、事業計画などの理論の理解を深められるようにしたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 生涯学習の方法と計画の今日的課題
2. 住民の課題と生涯学習計画
3. 生涯学習の方法と事業の計画・運営
4. 生涯学習と条件整備
5. 地域生涯学習計画の策定
6. 生涯学習計画と社会教育計画
7. 学習権の思想と社会教育計画の課題

### 履修上の留意点

できるだけ「生涯学習概論」を修得していることが望ましい。

### 成績評価の方法

出席、レポート、試験等により総合的に判定する。

### 教科書

酒匂・村山他編著『生涯学習の方法と計画』（国土社）2,800円

### 参考書等

そのつと紹介する。

### その他

夏休み中に、各自、自分のまちの社会教育行政の実情について調査し、レポートにまとめることをもとめる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯学習概論	とよ た ち よ こ 豊 田 千 代 子	社教主事2必	4

講義のねらい

1965年に、ユネスコのポール・ラングランによって「生涯教育」が提唱されて以来、教育を生涯教育・生涯学習という視点で捉えることが、教育改革の国際的動向となっている。わが国でも、今日、生涯学習の視点からの教育の見直しが課題となっている。

授業では、主にわが国の生涯学習政策についての概要を把握し、その検討を通して、今日求められている学校教育改革・社会教育改革の方向性について考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・生涯教育・生涯学習の理念  
(ユネスコの生涯教育論)
- ・生涯教育・生涯学習の国際的動向
- ・わが国における生涯学習政策
  - ・臨教審答申－「生涯学習体系化」への動き
  - ・国レベルの政策－「生涯学習振興整備法」の制定とその後の動き
  - ・地方自治体における生涯学習政策の展開
- ・生涯学習と学校計画
- ・生涯学習と社会教育
  - ・社会教育の概要（定義・社会教育施設・学習方法・形態など）
  - ・成人教育としての社会教育

成績評価の方法

出席点、レポート等によって成績評価を行なう。

教 科 書

確井正久、倉内史郎編著『新社会教育』（学文社）2,000円

参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会教育実習	とよ た ち よ こ 豊 田 千 代 子	社教主事3必	4

講義のねらい

公民館、図書館などの社会教育施設や、教育委員会での実習をとおして、社会教育についての理解を深めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 事前指導 — 社会教育の具体的なイメージをつかむために、様々な社会教育実践を取りあげ、グループで報告する。
- 訪問指導 — 実習先訪問指導。
- 事後指導 — 実習をとおして学んだこと、疑問に思ったことなどについて報告する。実習報告書を作成する。

成績評価の方法

①実習ノート ②授業への参加度（授業での実習報告、報告書作成への取り組みなど）

教 科 書

小林文人編『公民館の再発見 — その新しい実践』（国土社）

参 考 書 等

社会教育推進全国協議会編『新版 社会教育・生涯学習ハンドブック』（エイデル研究所）

そ の 他

適宜、公民館などの施設見学を行なう。  
実習報告書の作成に関しては、企画、編集、印刷、製本のすべてを自分たちで行なう。このこととおして、共同で学ぶ方法を身につけたり、共同で学ぶことの楽しさに気づいてほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 教 育 実 習	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	社教主事3必	4

講義のねらい

学生が社会教育実習に主体的にとりくみ、社会教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ・社会教育実習の意義と心がまえ — これまでの実習の経験に学ぶ事前指導
- ・実習期間 — 個別の訪問指導
- ・実習後 — 個別の体験の整理・検討と共通する課題の追求。  
〔例〕社会教育職員の専門性とはなにか。

成績評価の方法

平常の受講態度（出席、口頭発表、レポート、討議の質等）や実習先の評価等により総合的に判定する。

参 考 書 等

そのつと紹介する。

そ の 他

社会教育実習を受講する学生は、前年11月中におこなわれるガイダンスに必ず出席すること。

## (2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育行政	ひがし 東 とし 寿 たか 隆	社教主事2・3・4選	4

### 講義のねらい

憲法・教育基本法体制に沿った社会教育行政の本質について具体例を示しながら解明する。戦前・戦後の社会教育行政の歴史・社会教育法の成立の頃の実情、その後の社会教育行政の発展の状況・生涯学習行政の現情などを通して社会教育行政とは何かについて、社会教育主事などになった時に役立つような内容を明らかにしたい。  
授業外に社会教育施設などに赴いてボランティア活動を積極的にやって欲しい。

### 教科書

高田修一編『生涯学習のあらたな地平』（国土社）2,718円＋税  
月刊社会教育編集部『生涯学習時代の社会教育をつくる』（国土社）1,942円＋税

### 参考書等

社会教育推進全国協議会編『社会教育・生涯学習ハンドブック』（エイデル研究所）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育施設	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	社教主事2・3・4選	4

### 講義のねらい

社会教育の方法や形態を考えるうえで、戦後のわが国では公民館をはじめとする図書館・博物館社会教育施設の重要性があらためて認識された。本講ではその社会教育施設の歴史と現状について考察を深め、それが抱える諸問題について、望ましい展望を拓きたいと考えている。

### 講義の内容・授業スケジュール

- ・社会教育施設とは何か
  - ・社会教育施設にかかわる人々
  - ・公民館の歴史と現状
  - ・図書館の歴史と現状
  - ・博物館の歴史と現状
  - ・社会体育施設の歴史と現状
  - ・その他の社会教育施設・関連施設
  - ・社会教育施設をめぐる最近の動向と課題
- それぞれできるだけ具体例・実践例を挙げて理解をはかるようにしたい。

### 履修上の留意点

できればいくつかの施設見学を実施したいと考えているが、学生自身もすすんで適宜、施設の利用見学、施設で行われている学級・講座・サークル活動等に参加して施設体験を豊かにしてほしい。

### 成績評価の方法

出席・受講態度等の平常点、試験、レポート等により総合的に判定する。

### 教科書

適宜指示または紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
成人学習論	ひがし 東 とし 寿 たか 隆	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

成人が学習することによって発達することを各地の社会教育の事例を通して明らかにする。始めに社会教育の本質について語り、公民館・図書館・博物館などの社会教育施設等で行う学習活動の事例について、さらに地域づくりについて、また国際問題などの実践について学習させたい。授業外に社会教育施設などでボランティア活動を積極的に行うことをすすめる。

教科書

福尾武彦編著『現代を生きる学び』（民衆社）2,800円＋税

参考書等

酒匂一雄・千野陽一・那須野隆一・村山輝吉・谷貝忍共編著『生涯学習の方法と計画』（国土社）2,718円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
女性と学習	や 矢 ぐち 悦 こ	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

生涯学習が世界的潮流となった今日、学校以外の様々な場での学習が社会生活を支えている。そうした学習機会の提供について、特に女性問題（男性問題）の観点から検討を行うことが本授業のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

講義の前半では、ジェンダー、エンパワーメント等の概念を整理しつつ、基本的な視点の提示を試みる。後半では、具体的な学習事例を紹介し分析・検討を加える。

履修上の留意点

学生自身の問題関心に応えるような授業とするために、積極的な発言を求める。

成績評価の方法

レポート及びそれをもとにした発表の予定。

教科書

教科書は使用しない。必要な資料は配布する。

参考書等

授業の中で、必要に応じて紹介する。

その他

授業のタイトルが「女性と学習」となっているが、男性の受講を拒むものではありません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
企業内教育・職業訓練	しお かわ まさ と 塩 川 正 人	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

- この講義のねらいは「厳しい就職戦線に勝つ自分づくり」です。そのため毎回の授業は
1. 導入講義のあとは、対話と討論の授業とする。
  2. 大学卒業後の進路決定に直接役立つ授業とする。
  3. 就職を成功する決め手をつかむ授業とする。
  4. 企業と社会の現実をつかむ授業とする。
  5. 毎回、自己と対話し自己創造を積み上げる授業とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 担当講師は、日本能率協会の経営コンサルタント。200社を超える各種企業の経営指導を担当してきている。講義内容は企業の指導で行う教育とコンサルティングの理論・技法を紹介しつつ、学生生活の「革新」を指導する。その骨子は
- 「考える授業」を行う。そのため
    - ・大学生生活の過ごし方を本気で考える学生だけを対象の授業とする。
    - ・卒業後の進む道の本気で考える学生だけを対象の授業とする。
  - 「表現する授業」を行う。そのため
    - ・毎回、講師と学生、学生と学生による対話と討論を行なう。
    - ・自己表現の各種技法を習得し、就職試験などでの対応策を授業の中で体得する。
  - 「実行する授業」を行う。そのため
    - ・授業で体得した内容を、大学生生活全般に活用する。
    - ・卒業後の進路開拓に活用する。

履修上の留意点

- ・本授業は三年生のための卒業後の進路開拓の支援を目指す授業です。授業の後半から就職準備が始まります。授業内容はそのまま就職への準備行動として展開します。
- ・必ず配布資料があります。討議のまとめもコピーします。各自ファイルを準備して下さい。

成績評価の方法

毎回の授業への参加内容を重視し併せて筆記試験も行います。

教 科 書

なし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会体育Ⅰ (前期)	ふる 古 田 じゅん 潤 子	社教主事2・3・4選	2

講義のねらい

満ちて輝く心とからだ  
他者とひびき合う豊かな関係  
人間にとって本質的な生き方の問題を、自分のからだに向かい合うことから始めます。からだの感覚を手がかりに、からだの自然に気づき、自らの意思で、今を生きる確かさと自信を体得していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では、自然の原理に沿った動きで、ゆるやかに自分自身の心とからだを拓いていくことを主眼とします。具体的には、動きの基本となる三要素①余分な緊張を取り去る。②その時々姿勢におけるからだの最下部に全体重を任せ切る。③動きに最適な自然な呼吸。を目安とし、自己能力を発掘し、可能性を追求します。

履修上の留意点

からだの内的感覚に基づく履修内容なので連続受講が必要です。

成績評価の方法

平常授業（レポートも含む）

参考書等

野口三千三著『原初生命体としての人間』（三笠書房）  
野口三千三著『野口体操からだに真く』（柏樹社）  
野口三千三著『野口体操重さに真く』（柏樹社）  
池田潤子執筆「からだのレッスン」雑誌「ひと」（太郎次郎社）  
古田潤子「自然なからだのあり方を考える【円筒エリア】の発見と意義」  
駒沢大学教育学研究論集第13号 1997年

そ の 他

授業は実技を主に行います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会体育Ⅱ (後期)	ふる 古 田 じゅん 潤 子	社教主事2・3・4選	2

講義のねらい

後期では、他者との関係を豊かに拓いていくことを主眼とします。  
環境の変化に応じて、的確に落ち着いて対処できる心とからだを、自らの力でとらえ育て自信を身に付けます。屋内、屋外のいろいろな場所での体験実習も考えています。  
また、海外でのワークショップにおける豊富な経験をもとに様々な遊び道具の製作や、それを使った楽しい遊びも加味します。同時に日本人と外国人の考え方、感じ方、環境の変化に対する即応の仕方の違いなどについても一緒に研究をしていきます。

科目名	配当学科	単位
教育原理	社教主事2・3・4選	4

(P.493) 参照

科目名	配当学科	単位
教育心理学 (教育方法論を含む)	社教主事2・3・4選	4

(P.496) 参照

科目名	配当学科	単位
青年心理学 (教育方法論を含む)	社教主事2・3・4選	4

(P.498) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会心理学	つばい 井 健 <small>つよし</small>	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、個人の社会的行動、対人関係、集団行動と個人、集団心理現象など、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、実験、テスト、観察、調査など社会学と心理学の研究方法が用いられており、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この講義では、境界科学としての特徴を生かし、具体的テーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて授業を展開したいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
2. 社会的自己のはなし - 自己過程の社会心理 -
3. 他者との関わり - 友人関係と対人魅力 -
4. 対人関係の心理 - 援助行動と社会的影響 -
5. 集団の中の個人 - 同調行動と意思決定 -
6. 文化現象と個人 - 異文化と日本人 -
7. 現代社会と個人 - 現代人の社会心理 -
8. その他 (社会的認知、社会的欲求、態度変容、リーダーシップなど)

履修上の留意点

1. 授業中に、小実験や心理テスト、エキササイズなどを行うことがあるので積極的に参加すること。
2. 授業内容は、通年テーマの概略である。授業の流れとの関係で内容や順序は変更することもある。
3. 授業中は配布プリントを参考にノートを取り、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席＋毎時間の授業態度、感想、意見、質問など (30%)
2. 課題レポート・期末試験 (70%)

教科書

各テーマの授業時間に指示する。

参考書等

各テーマの授業時間に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
視聴覚教育	いいもり あき ひこ 飯 森 彬 彦	社教主事2・3・4選	4

(P.575) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育社会学	くま がい かず のり 熊 谷 一 乘	社教主事2・3・4選	4

(P.521) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育史	北村三子	社教主事2・3・4選	4

(P.522) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育調査	鈴木規夫	社教主事2・3・4選	4

(P.523) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童文化	香川良成	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

日本の児童青少年演劇史（大人による子供のための演劇）と、演劇教育史（子供自身による子供のための演劇）を中心にすえ、各時代の児童文学・児童文化の流れにも目を配りながら、それらの明治以後の展開の歴史を振り返ってみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

以上の講義と、取り上げる諸作品の受講者による研究発表とその講評とを併せながら授業を進めたい。

履修上の留意点

実習でやむをえない以外は、極力出席してもらいたい。

成績評価の方法

平常点と試験で成績評価を決めたい。

参考書等

富田博之著『日本児童演劇史』（東京書籍）『日本演劇教育史』（国土社）菅忠道著『日本の児童文学 I 総論』（大月書店）

その他

現在行われている演劇教育の記録ビデオを観たり、舞台のビデオを観たり、実際観劇するというも行いたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代社会の諸問題と教育	熊谷一乗	社教主事2・3・4選	4

(P.524) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
青少年問題研究	讃岐真佐子	社教主事2・3・4選	4

(P.525) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
青少年指導演習	平野学	社教主事2・3・4選	4

#### 講義のねらい

青年期を生きる学生諸君が“青少年指導”について学ぶには微妙な難しさが伴う。まずかかわる側自身、自らの歩みを見つめると共に、かかわりを通して更に色々なことを見つめる作業が大切になってこよう。ここではこうした認識を土台に、青年心理学や臨床心理学、カウンセリング学等の立場から、現代の青少年の状況やトピックス等論じつつ、その援助や指導のあり方について互いに学びたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

“演習”科目でもあることから、できるだけ体験学習や討議の時間を多くとって行なっていきたい。一応年間予定としては下記の通りだが、受講者の希望も適宜取り入れて進めるつもりである。

##### 《前期》

1. 互いに知り合うための、また自己理解を深めるためのエクササイズを実施。(4回)
2. 青少年について、主に発達観の観点から自らのことを振り返りつつ学ぶ。(2回)
3. 援助の基本としてのカウンセリングについて、小グループ形式で主にデモンストレーションやロールプレイを通して体験的に学ぶ。(6回)

##### 《後期》

4. 講師自身の援助例(不登校や非行に陥った青少年及び親へのカウンセリング)の提示と討議。(2回)
5. HIV・エイズ問題やカルト問題とそのカウンセリング(3回)
6. 夏休みレポートをもとに、受講者の様々な体験(ボランティア活動他)の報告と討議。(3回)
7. 1年間をまとめる意味で、河合隼雄氏等の文献のいくつかを輪読(分担発表)すると共に自由討議を行なう。特にカウンセリングと仏教との接点等についても互いに理解を深めたい。(2回)
8. その他(全体の振り返り他)。(2回)

#### 履修上の留意点

讃岐真佐子講師による『青少年問題研究』を履修済であることが望ましい。

出席して討論に加わり、感想等も適宜記してもらい、いわばコミット型の共に築き上げる授業にしていきたく、意欲的な学生の参加を望みたい。(実習も行なうので安易な受講は避けてほしい。)

尚、授業の初日に年間の大まかな予定等お話しするが、履修希望者からも何を学びたいか等、記してもらいたく、必ず出席願いたい。

#### 成績評価の方法

学年末レポート(年間授業を振り返る形でのもの)、夏休みレポート(体験報告または読書感想)、平常点(出席等)の三本柱で行なう予定。

#### 教科書

河合隼雄『カウンセリングを語る(上・下)』(創元社)各1,300円

#### 参考書等

河合隼雄『カウンセリングを考える(上・下)』(創元社)各1,300円  
 同 『大人になることのむずかしさ』(岩波書店)1,240円  
 同 『ユング心理学と仏教』(岩波書店)1,800円  
 佐治守夫他『カウンセリングを学ぶ』(東大出版会)2,800円  
 他にも授業の中で随時紹介していきたい。

#### その他

VTRやテープ等も多く使用して、具体的に学べるようにしたい。

授業という限られた場ではあるが、受講者それぞれに自らの成長に資するものとなるよう、心がけて参りたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館学Ⅰ（概論） （前期）	おお  た き み こ 太 田 喜 美 子	社教主事2・3・4選	2

(P.576) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館学Ⅱ（資料論） （前期）	たけ うち じゅん いち 竹 内 順 一	社教主事2・3・4選	2

(P.576) 参照

# IV 博 物 館 学 講 座





## (1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
視聴覚教育	飯森彬彦	学芸員2・3必	4

講義のねらい	視聴覚教育の背後にある基本的な考え方を理解する。 個々の視聴覚教材の基礎的な技法（教材の制作、利用の両面）を習得する。 変動する社会に即応し、メディアを活用する態度と能力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	視聴覚教育の歴史とその思想的背景 コミュニケーションの理論と視聴覚教育 視聴覚教材の制作と利用 情報化社会における視聴覚教育 生涯学習時代とメディア 以上のような内容であるが、特に「視聴覚教材の制作と利用」に重点をおいて講義する。
履修上の留意点	年に2回程度課題を出し、作品の提出を求める。作品制作に要する経費の負担をあらかじめ予定しておくこと。（OHPシート代、マーカー代、35ミリフィルム代、現像代など）
成績評価の方法	提出作品と試験の成績に出席状況を加味して評価する。
教科書	使用しない。
参考書等	浅野孝夫・堀江岡功編著『新視聴覚教育』（日本放送教育協会） 秋山隆志郎・岩崎三郎編著『視聴覚教育』（樹村房） 野津良夫編『視聴覚教育の新しい展開』（東信堂） 中野照海・佐賀啓男・赤堀正宣編著『メディアと教育』（小林書房）
その他	ビデオや写真などを多用して講義する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古発掘実習	飯島武次・酒井清治	学芸員3・4必	2

講義のねらい	発掘技術の習得を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。
履修上の留意点	夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが例年である。従って履修者は、博物館実習との関係等をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後に計画を作ること。 授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席・遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。
成績評価の方法	成績評価は平常点。
教科書	『考古学調査ハンドブックス1（野外編）』（雄山閣）1984年 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館学Ⅰ（概論） （前期）	おお たい まきこ 太田喜美子	学芸員2必	2

講義のねらい

博物館学講座（学芸員課程）の必修科目である。博物館法施行規則によると、「博物館学」6単位が必修である。この「博物館学Ⅰ」は2単位であり、6単位を充たすためには、あとふたつの「博物館学Ⅱ・Ⅲ（竹内講師）、各2単位」も履修していただかないと次年度へ進めないで注意を要する。

この講義では、「博物館法」をテキストにして、博物館の意義、学芸員の仕事等を理解してもらい、いっぽう「博物館学Ⅱ・Ⅲ」では、実際の学芸員の仕事や博物館の事業について、竹内順一講師に講義していただいている。

履修上の留意点

この「博物館学Ⅰ」は、年度初めの第1週の授業で、駒沢大学にあって、学芸員資格を取得する手続きと方法について、細かく説明するので、必ず出席すること。途中で（2回や3回目）出席して、手続きその他質問に来て、第1回目の教室で説明したことを、欠席者に特に丁寧に説明することはしないので注意しておいてもらいたい。

この授業は前期2単位の授業であるから、後期には無いはずであるが、実は後期になっても、教回教室に出席してもらうことにしている。したがって、水曜日3限目の後期については、「履修届」に書きこまないことをお勧めしたい。けれども、学科の必修科目にぶつかってしまうこともあるだろう。そういう方は、相談に来てほしい。

この「博物館学Ⅰ・Ⅱ」計4単位は、社会教育主事の選択科目にもなっているが、この場合も4単位履修していなければならないので、ⅠとⅡの両方を履修しないと通用しない。注意しておきたい。

その他

学芸員資格を取得しようとしていながら、途中で、棄権する（あるいはせざるえないという）場合、社会教育主事に切り換えることは比較的易しいので、これまた相談されたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館学Ⅱ（資料論） （前期）	たけ うち じゅん いち 竹内順一	学芸員2必	2

講義のねらい

博物館資料の収集、整理保管、展示などについて、理論や実践方法に関する知識と技術の習得をめざす。またあわせてこれらの基礎として必要な博物館資料の調査研究活動の意義と方法について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

収集活動は、博物館事業の出発点となる重要なものであるが、博物館の設立趣旨や経緯に基づき一定の制限があるものである。この制限下の収集が、結果として博物館の諸事業の個性化をもたらし、特色ある博物館像をつくりあげる。博物館のコレクションを論ずることによって、その博物館の特色を考える。また、具体的な収集手順について、学芸員の収集候補資料の調査からはじまり、収集委員会や買取評価委員会などの開催に至る制度上の手順と問題点を明らかにする。さらには、買取以外の寄贈・委託・交換・採取といった収集方法についても考える。

整理保管は、学芸員の職務として位置づけられているが、欧米ではレジストラと称する専門職が司る。この欧米との制度上の比較を行いつつ、資料の管理と登録の実際面を考察する。とくに収蔵庫内の静的な管理と展示や搬出搬入に関わる動的な管理との差異の理解を深め、同時にこの両者に共通する保存化学の基礎知識にふれる。

展示は特別展の開催に至る手順を、開催趣旨（テーマ）の決定から、出品リスト作成・出陳交渉・集荷・会場設営等をマニュアルとして把握する。研究は、文献主義ではなく、学芸員独自の「モノ主義」の立場を知る。

履修上の留意点

博物館法施行規則の改正にともない学芸員資格取得のための単位・科目変更に留意。

成績評価の方法

定期試験（筆記）とレポート課題による。

参考書等

授業中に指示する。

その他

毎回レジュメを配布する。またスライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
博物館学Ⅲ（経営論・情報論） （後 期）	たけ うち じゅん いう 竹 内 順 一	学芸員 2 必	2

講義のねらい

博物館経営および博物館における教育普及活動について理解を図る。また博物館における情報の意義と、その活用方法について理解を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

博物館の運営を行政と財政の二つの側面から考察する。とくに国公立の博物館と私立博物館の比較系統を加える。また近年注目されている「博物館経営（ミュージアム・マネージメント）」についても理論と実際例を紹介し、他の芸術経営との相異と共通点を明らかにする。博物館の運営は、そこに勤務する職員の能力（知恵）と、施設や設備と不可分な関係にある。いわばソフトとハードの両面から博物館の運営を考え、あわせて将来のあるべき姿としての専門職員の分業制についても論ずる。

教育普及活動は、昨今必要性があらためて認識されているが、その活動範囲はきわめて広く、展示品説明（列品解説・ギャラリートーク）、ワークショップ、各種普及講座など入館者を前にして行なうものと、作品解説ラベル（題箋）、パネル板、図録作成など文章を中心とする活動の二種に大別される。この両者に共通する要諦は「わかりやすさ」であり、事例研究を通してこれを明らかにする。

博物館の対外活動は、「情報の発信」とみなすことができる。これを広義の情報提供とすれば、個々の博物館資料に関する知見は、狭義の情報である。この両者を考察しつつ、狭義の情報提供と活用方法を各種のメディア機器の特色とともに考える。

履修上の留意点

博物館法施行規則の改正にともない学芸員資格取得のための単位・科目変更留意。

成績評価の方法

定期試験（筆記）とレポート課題による。

参 考 書 等

授業中に指示する。

そ の 他

毎回レジュメを配布する。またスライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館実習Ⅰ (館務)	飯島 武次・酒井 清治 太田喜美子	学芸員3・4必	2

履修上の留意点

この授業は4月第1週から、明年の最終講義まで、1回でも欠席・遅刻・早退すると、単位が取得不可能なので注意してほしい。この方法は、本学の博物館講座開設以来20数年間不変であるので、君だけ特別に単位を出しましょう、というわけにはいかない。

この講義時間に出るということは、君が企画専任者である特別展の開幕日開幕時に君がきちんと会場にいるかどうかということと同じに考えなさい、ということである。

この洗礼に対応してくださるお陰だと思うが、本学卒業生の学芸員就職率は、都内大学で、断然高く、また、学芸員としても、非常に高く評価されている。

毎週の授業の他に、主として、夏期休暇中に、一つの博物館で、学芸員実習を行う。この実習は、他の大学の実習生といっしょに行うため、他流試合的な趣きももっている。日頃の授業時と同じように、絶対に遅刻・欠席してはいけない。一度、そういうことをすれば「駒大には遅刻した学生がいる」と、10年ぐらいいは言われ続けるので、注意してほしい。また、多くの実習博物館に本学出身の学芸員の方がいらっしゃる。その先輩に迷惑をおかけすることにもなる。実習は夏期に行う館が80%を占めるが、別の時期に行う館もあるので、夏休みに海外短期留学などする方も相談に来てほしい。

この科目は、本学の博物館講座の縮括りになる実習なので、特に心を引き締めて履修していただきたい。「博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」・「博物館実習Ⅲ(見学)」に先だて、この科目を履修することはできない。つまり、この「博物館実習Ⅰ(館務)」を3年生次に履修して、「博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」あるいは「博物館実習Ⅲ(見学)」を4年生次に履修してはいけない、ということである。履修にあたっての細かい事柄は、その都度、教室で話をする。後期には実習した館の実習内容につき報告会をするので、きちんとまとめることを忘れぬよう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館実習Ⅱ (収集)	酒井 清治・太田喜美子 國見 徹・久保田昌希 佐々木 真・佐藤 元英 所 理喜夫・廣瀬 良弘	学芸員3・4必	2

講義のねらい

博物館活動の主たる3本柱のうちの「博物館資料の収集」の方法の勉強をする。博物館学芸員は、学芸員の個性を活かさなければならぬ面と、個性を殺さなければならぬ面がある。「博物館実習Ⅱ(収集)」では、一つの博物館が何年あるいは何十年にもわたって資料を収集し続けていても、恰かも、常に一人の人が収集してきたかともみえるような統一性が必要である。また、一つの展示をするにしても、その企画に参画する数人のスタッフの成果は、バラバラであってはならないのである。

その意味では、この「博物館実習Ⅱ(収集)」はあまりに個性豊かな人・あるいは協調性の乏しい人には、かなりきついようである。この実習は、必ず合宿して実施しているので、共同生活を知ろうとする意欲の有無がかなり影響をもっているらしい。

博物館学芸員を目指して履修している学生が、学芸員課程を断念するきっかけは、たいてい、この実習の直後であることが多い。つまり、合宿して収集実習を終えた時点で、これほど協調性が必要なら、自分には不向きである、と思いこんでしまうのであろう。そう自覚したら、確かに、君は学芸員に不向きなのかもしれない。そうした場合には、どんどん、個人的に相談に来てほしい。

また、本学で学芸員資格を取るための実習は、「Ⅰ(館務)」・「Ⅱ(収集)」・「Ⅲ(見学)」の3つが必修であるが、「Ⅱ(収集)」の代わりに、「考古発掘実習」を履修しても、学芸員課程の「実習Ⅱ(収集)」に読みかえることができる。ただし、発掘は、真夏の炎天下で1か月間参加することが必要なので、この科目を必修とする、考古学専攻生以外の方には勧められない。

この実習で、今年度予定しているのは、

1. 長野県北佐久郡望月町での近世文書調査と石仏収集調査実習。
2. 同上町での石仏収集調査実習。
3. 長野県飯田市周辺での石仏調査。

履修上の留意点

年度第1回目の授業に必ず出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館実習Ⅲ (見学)	酒井 清治・太田喜美子 まつもと のぶみち	学芸員2・3必	2

講義のねらい

本学での博物館実習は、2年次に行うこの実習と、3年次で行う、「Ⅰ(館務)」と「Ⅱ(収集)」の3つが規定されている。

つまり、この実習は、君がこの課程で、初めて行なう、学外での実習ということになる。都内あるいは周辺の博物館で見学をするのであるが、基本的には、見学館は10館。見学の度にレポートを提出する。そのレポートを添削して、原稿用紙の使い方から、字数のまとめ方等、かなり、しっかり、指導することになっている。

履修の方法は、なんとといっても、学外の博物館見学であるから、当然、1コマ90分内では無理である。そのため、履修にあたっては、学生の都合を充分、考えに入れたうえで、できるかぎり柔軟に対応して、あふれてしまう人がないように留意するつもりである。そのために、相談しなければならないことがあるので、年度第1週には必ず出席してほしい。学生の都合を汲んでA～Cの3組ぐらいに分けて、異なる見学方法をとることになることと、今年度は、履修希望者が非常に多くなると予測されるので、第1週に、出席した人数で組分けしてしまう。結果的に、第1週に欠席すると、はみ出してしまうことになる。

この授業は、水曜日の3・4限を通して行うことになるのだが、3限目あるいは5限目に学科の必修科目とぶつかってしまうこともある。そのような問題をもつ人は、必ず、第1週に出席してほしい。第1週の授業終了後に、個人的に相談に来て、もう、対応不能なので、その場合は、翌年履修する以外に方法が無い。

本学の学芸員課程が厳しい、とよく言われるが、学芸員という、貴重な文化財を扱う仕事の養成課程なのであるから、厳し過ぎるなどとは思わないようにしてほしい。それだからこそ本学出身の学芸員が高い評価を受けているのであるから。

科目名	配当学科	単位
教育原理	学芸員2必	4

(P.493) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯学習概論	とよ 田 ちよこ とよ 田 千代子	学芸員2・3必	4

(P.562) 参照

## (2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教文化史	な ら やす あき 奈 良 康 明	学芸員2・3・4選	4

### 講義のねらい

インド仏教を「教理」としてではなく、「文化」としてとらえて、検討したい。ここに「文化」とは生活様式、行動様式としての文化であり、「仏教徒」という社会を構成する人々（出家修行者および在家信者を含む）が、事実として、何を考え、どのように生活していたかをさぐる。したがって、悟りのレベルにある修行や教理、悟りに基づく倫理的生き方などは、無論、仏教である。同時に、功徳を積んで良き後生を願う観念や行動、六道輪廻の理解、通過儀礼、祖先崇拜、呪術、祈願儀礼、占星等も仏教徒の生活「文化」である。両者は宗教的レベルと機能を異にするが故に、相互補完の形で共存し、その共存のあり方が興味ある研究対象である。又、インド仏教（徒）はそれを生み、育てたヒンドゥー世界とどうかかわり、如何に位置づけられるか、も興味ある研究テーマである。資料は梵語、パーリ（そして漢訳）語の経・律典と碑文、考古学的遺品等が中心となる。文献学的操作を経て得られた結果は、当時の仏教徒の現実の生活文化と、教学が主張するところとは大きなギャップのあることを示しているし、この構造は中国、韓国、日本ないし東南アジアのテラヴァーダの仏教文化でも同様である。そして、このギャップこそが仏教（宗教）教団の社会への定着・発展のダイナミズムとしてとらえられるべきものである。

以上の問題意識のもとに今年度は、おおよそ次のテーマにしたがって講義したい。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 仏教を「文化」としてとらえるとはどういうことか。  
「仏教」をどうとらえるか  
「文化」とは何か：  
仏教（宗教）の二つのレベル：「世間」（自我充足）と出世間（自己凝視）  
仏教文化の「表層」と「基層」  
仏教文化研究の方法論：M. Spiro, M. Ames、他
2. 古代インドにおける仏教文化とヒンドゥー文化。  
民族宗教としてのヒンドゥー教（世界）  
ヒンドゥー教の特徴：神観念・宗派・特定の教義のないこと・ダルマ  
カースト・ヴァルナ制度と仏教  
古代インドの仏教徒とヒンドゥー教徒の関係（特にカーストをめぐる）
3. 仏教文化における業・輪廻思想の意味。  
古代インドにおける業・輪廻思想の成立  
業思想の構造と機能（含む 死後世界の構造と機能）  
一般的業論の「自覚的業論」への昇華  
懺悔の思想と実践  
業と果報の関係  
業の止滅と改変
4. 功徳観念の文化史的発展。  
善業と功徳（punya）・悪業と悪徳（papa）  
「作功徳→生天」の図式の倫理的・宗教的意味  
功徳観念の「出世間レベル」への関係付けないし昇華  
功徳の廻向（adesana）と廻向（parinamana）  
死者儀礼・祖先崇拜儀礼における功徳観念  
「生天」観念の発展と解脱の関係
5. 「餓鬼」（preta）研究。  
ヒンドゥー教におけるプレータと祖霊祭  
古代インド仏典にみる「餓鬼世界」の住人としての餓鬼  
古代インド仏典にみる死者儀礼と関わる餓鬼  
『ペータヴァットゥ』『ヴィマーナヴァットゥ』における餓鬼供養の構造と意味  
テラヴァーダ仏教における餓鬼観念の変遷と儀礼  
中国、日本における餓鬼供養の構造と変遷

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国仏教文化史	<sup>なが</sup> 永 <sup>まさ</sup> 井 <sup>し</sup> 政 之	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。そのような文化を中国の歴史の上で見たいこうとするのが、本講義の主眼となる。言葉をかえていうなら、各時代を通じて中国人と仏教がどのような関係にあったかということになる。

今年度は、主として宋という中央集権国家に組み込まれた「禅宗」が、政治・経済・社会とどのように対応していったかを考える。

本来は「方外」の士であるべきにも関わらず、中国の仏教者は、その当初から国家権力への配慮を余儀なくされる。それが伽藍や教団の盛衰に直結していたからである。このような二律背反の世界を抱えつつも、彼らは仏教の中国的な理解に励み、またその受容に努力する。このことは現代に生きる我々にとってもさまざまな示唆をあたえるのではないか。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

教科書

必要なテキストは授業において指示する。またコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本仏教文化史	<sup>はかま</sup> 袴 <sup>や</sup> 谷 <sup>のり</sup> 憲 <sup>あき</sup> 昭	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

私は日本の「仏教文化」について講義する資格を有しないと自らは思っている。それを私は仏教学部に申し出ているが、私の思うとおりをやって頂いてよい、ということなので、通常の講義と出て出る方は、失望と落胆を味わうことになると思うので遠慮されたい。この授業は講義ではなく、『国体の本義』の批判的な講義を通して、日本における「仏教文化」の問題点を考えていこうという、むしろ演習であると了解されたい。

講義の内容・授業スケジュール

『国体の本義』を冒頭より演習形式で読みすすめる。最初の数時間のみは、本書の成立状況等について講義するが、これが1年間続くのだとは、履修登録の際には決して考えないでもらいたい。

履修上の留意点

教科書はもとより関連諸文献を自ら読もうとする者でない限りは履修は無理と思われるので、その点留意されたい。

成績評価の方法

平常点とする。

教科書

『国体の本義』（昭和12年3月、文部省刊）。もちろん、現物を今求めることは難しいが、図書館には多数所蔵されているので、借り出すかコピーするかして授業には必ず持参してもらいたい。

参考書等

家永三郎『日本文化史』第二版（岩波書店）1982年 600円  
袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）1998年 4,800円＋税



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 美 術	え び ね と し お 郎 海 老 根 聰 郎	学 芸 員 2・3・4 選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の中世の絵画世界を、禅宗画僧による歴史として述べていく。鎌倉・南北朝・室町時代を対象とする。それらの画風の源泉は中国にあるから、合わせて、中国禅宗の中で描かれた絵画についても述べる。

授業は毎回スライドを映写する。

成績評価の方法

年度末に授業で述べたところから出題した筆記試験を行ない評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 美 術	や ま し た ゆ う じ 山 下 裕 二	学 芸 員 2・3・4 選	4

講義のねらい

仏像や仏画を見れば、だれもがそれを「仏教美術」だと認識する。だが、きらびやかな色彩の花鳥画や、落ちついた水墨の動物画にも、仏教的なイメージは流れこんでいる。この講義では、一見「仏教美術」とは思われないような作品をあえてとりあげて、読み解いていくこととする。

講義の内容・  
授業スケジュール

①江戸時代の画家・伊藤若冲 ②南宋時代の画家・牧 鉞 ③江戸時代初期の風俗画・彦根屏風、他にも適宜多数の作品を紹介し、最新の研究論文を読んでもらう。

履修上の留意点

仏教美術に対する固定化したイメージを捨てて講義に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポートにより評価する。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

参考文献は適宜コピーして配布する。

そ の 他

スライド・ビデオを多用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教民俗学	須藤寛人	学芸員2・3・4選	4

#### 講義のねらい

葬儀や、先祖崇拜、位牌・仏壇といったものを通して、多くの日本人は仏教と接していると思われまふ。こういった日常的な仏教との接点を手がかりとして、大宗教としての仏教が民間に浸透していった経緯を本講義では考察したいと思います。また今日の日常的な仏教的な営みの背景にある民俗的基盤の歴史と意味を再考することによって、仏教とのこれまでとは違った接し方のきっかけになればと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下の三点を以て、本講義の枠組みとし、盆行事や彼岸などの具体的事例を交えながら考察を行っていききたいと思います。

##### a. 祖先祭祀

祖先とは何か、先祖との違いは何かを明確にすることからはじめる。今日の日本仏教における寺院の主たる活動が、死者の葬式と追善供養からなっており、追善供養は祖先祭祀を民俗的背景として成り立っていることから、祖先祭祀は重要なテーマであると考えられる。

##### b. 葬送儀礼

葬式は多くの日本人にとって最も「仏教的」であることを再認識させられる出来事である。しかし、ほとんどの場合、そこでなが行われているのかは、一般の人には知らされていない。そこで、民俗的事例をあげながら葬式の構成を明らかにそこにどういう意味があるのかを明らかにする。

##### c. 仏壇・位牌・墓

多くの日本人にとって最も馴染み深い「仏教的」なものが、仏壇・位牌や、墓であろう。これらのものが、拜む対象になる所以を民俗的背景から明らかにする。

#### 履修上の留意点

遅刻・欠席はできるだけなくしてください。私語は慎んでください。

#### 成績評価の方法

試験・レポート等で総合的に評価します。

#### 教科書

教科書は用いませんが、講義の内容に沿って資料を配付します。

#### 参考書等

適宜紹介したいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	谷 口 貢	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

本講義では教科書は使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美 術 史 概 説	矢 野 陽 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

美術史とはどういう学問か、その方法にはどんなものがあるかを具体例を通して考えながら、西洋美術史の基礎知識を学んでいきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

研究分野としての美術史に関して以下のような視点で講義を進めます。  
美術史の起源  
西洋美術史学の方法と歴史  
原作、複製、文献  
描写と解釈  
合わせて古代から現代への流れを概観していきます。

成績評価の方法

前期レポートと学年末試験によって評価する予定です。

参 考 書 等

マーク・ロスキル著 中森義宗訳『美術史とはなにか』（日貿出版社）  
マルシア・ポイント著 木下哲夫訳『はじめての美術史』（スカイドア）  
高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』（美術出版社）  
このほか適宜、授業中に参考文献を紹介しします。

そ の 他

スライドで具体的に数多くの作品を見ながら、授業を行ないます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 美 術	矢 野 陽 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

現代美術は難しい、つまらないという声をよく聞くが、確かにルネサンスや印象派の美術に比べ、現代美術の作品は理解しにくいものが多い。しかし、美術作品は、現代のものに限らず、ただ好きなものを眺めていればわかるというものではない。理解するためには、制作された当時の社会背景や、作者の意図などを正確に知る必要がある。現代美術は、現代という時代と、そこに生きている我々のあり方を反映していると言ってよい。したがって、現代美術の考え方や表現技術を理解することは、我々の生活と決して無関係なものではなく、現代社会の問題点を考える手がかりになりうるだろう。

講義の内容・  
授業スケジュール

現代美術とは、一般に20世紀の美術を言う。この授業では、めまぐるしい変化をとげながら、新鮮で多様な表現を生み出してきた現代美術の流れをつかみ、それぞれの運動、主張、作品の特徴を理解することを目的とする。20世紀の美術は、それ以前の美術の歴史の継承と断絶であるから、19世紀美術から講義を始めることになる。前期では19世紀中頃（写実主義、印象主義など）から20世紀初頭までを、後期では抽象絵画の誕生以降、1960年代の多様な美術までを見ていく予定である。

履修上の留意点

美術史を学ぶには、実物を見ることが大変重要である。展覧会や美術館に積極的に足を運んでほしい。

成績評価の方法

前期レポートと学年末試験で評価する。

参 考 書 等

参考図書として、ニコラ・スタンゴス編 宝木範義訳『20世紀美術』（パルコ出版）  
美術出版社編集部編『現代美術入門』（美術出版社）  
を挙げておく。このほか適宜、授業中に文献を紹介する。

そ の 他

授業では毎回スライドを使用する。また必要な資料はコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 形 学	こ 池 一 之 こ いげ かず ゆき	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである。  
 1. 地形学の成り立ち、2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、組織地形）4. 海水の働きと地形、5. 地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書

貝塚爽平著『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円  
 小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

その他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
第 四 紀 学	すず き たけ ひこ 鈴 木 毅 彦	学芸員3・4選	4

講義のねらい

第四紀とは現在を含む最も新しい地質時代であり、今からさかのぼること約170万年間をいう。現在の地球上でみられる地形、気候、人類の姿の大部分は、第四紀におきた現象の累積として説明できる。本講義のねらいは、第四紀の地形と気候の変化、人類の歴史をふりかえり、その結果として現在があること、また、将来を予測するためには過去を知ることが重要であることを理解することである。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、氷期-間氷期サイクルに関連する気候と海面の変化、第四紀の地形編年と層序の2項目を中心に、地殻変動、火山活動、植生、土壌、人類などの変遷史をテーマとしてとりあげる。第四紀学は歴史学であるので講義にあたっては具体的な事例を題材とする。その際にはなるべく身近な事例（関東地方、日本列島など）を取り上げるが、内容によっては全地球が対象となることはいうまでもない。

履修上の留意点

講義の中心は第四紀の歴史であり地質学的な側面が多いが、現在の地球の姿、すなわち自然地理学的な関心・知識を有することが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験、および各自が各々の関心に応じて適当な単行本ないしは学術論文を選び、それについての評論を行ない、成績評価とする。また、講義中に簡単な作業などを要求することもある。

教科書

日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,233円

参考書等

貝塚爽平著『東京の自然史』（紀伊国屋書店）1,650円

その他

OHP、スライド、時にビデオを用いて講義を行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学概説Ⅰ 〔日本〕	酒井清治	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本考古学の現状は、細分化された研究が増加している。しかし、細分化された研究を理解する上にも、自ら卒論テーマとして研究する上にも、考古学の基礎なくしては成り立たない。

講義の内容・授業スケジュール

日本考古学の研究史、最新の発掘調査事例を紹介しながら、日本考古学の概説をしたい。

履修上の留意点

遅刻をしないこと。

成績評価の方法

定期試験で採点。

参考書等

鈴木公雄『考古学入門』（東大出版会）  
安藤政雄『考古学キーワード』（有斐閣）  
江上波夫『考古学ゼミナール』（山川出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学概説Ⅱ 〔外国〕	飯島武次	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。

履修上の留意点

欠席・遅刻をしないこと。

成績評価の方法

成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。

参考書等

飯島武次『夏殷文化の考古学研究』（山川出版社）1985年  
飯島武次『中国新石器文化研究』（山川出版社）1991年  
飯島武次『中国周文化考古学研究』（同成社）1998年

その他

スライドやビデオを多用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本文化史 I	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに①～⑦の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下廻上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教科書

とくに指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋文化史 I	佐々木 真	学芸員2・3・4選	4

#### 講義のねらい

近世末から近代にかけて、ヨーロッパ諸国において戦争や軍隊が有していた意味について講義をする。軍隊のあり方やその機能、国家による戦争の遂行は、近代国家や近代社会の形成に非常に大きな影響を与えており、最近ではそのような視点に立った研究が見られるようになった。本講義では、そのような研究動向をふまえ、フランスを主な題材として、近世から近代への移行において、戦争や軍隊がどのような役割を果たしたのかを考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。

1. 絶対王政期の軍隊と戦争（戦術の変化、軍隊の実態、軍制改革、王権と戦争）
2. フランス革命と戦争（革命下の軍制改革、兵士と市民的自由）
3. 近代社会と戦争・軍隊（国民化・近代システムと軍隊、国家と軍隊、総力戦体制）

#### 履修上の留意点

授業中に紹介する文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。

#### 成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加算して判定する。

#### 教科書

教科書は特に指定しない。

#### 参考書等

参考文献は、授業中に随時紹介するが、主要なものとしては以下のようなものがある。  
 アルフレート・ファークツ『ミリタリズムの歴史』（福村出版）  
 山内進『略奪の法観念史』（東京大学出版会）

#### その他

授業は講義形式で行う。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 II	たか <small>はま</small> 高 浜 <small>しゅう</small>	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

ハンガリーから中国の北にかけて広がるユーラシア北方草原（ステップ）地帯では、古来牧畜を主な生業とする人々が暮らしていた。ここでは農耕に依存する定住民の文化とは異なった文化が発達したが、紀元前1千年紀の初め頃（前10世紀～7世紀頃）に開始された騎馬による遊牧は、この地域の文化を大きく変えた。生活形態や物質文化のきわめて類似した文化がここに数多く形成されたのである。これは西アジアや中国などの定住民に大きな影響を与えるとともに、東西交渉の道としても機能することになった。これらの文化はまとめて初期遊牧民文化、あるいは代表的な民族の名を取って、スキタイ系文化とも呼ばれている。中国の北、現在の内蒙古からモンゴル国にかけての地域は、なかでも重要な地域であり、この文化の形成に大きな役割を果たしたと考えられる。講義では中国の北を中心として、初期遊牧民文化形成の問題を扱う。中国の時代区分では殷代から漢代までに相当する。

履修上の留意点

この地域の考古学の最新の成果を伝える日本語の参考書はきわめて少ない。講義に出席することが必要である。

成績評価の方法

成績はレポートにより評価する予定。講義に関連した題目を出題する。

教 科 書

教科書はない。

参 考 書 等

参考書や参考文献は、講義の初めなどに適宜指示する。

そ の 他

講義を中心とし、プリント、スライドおよびビデオを時に応用して使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 IV	矢 野 和 之	学 芸 員 2・3・4 選	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学・歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。

このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
  - ・日本建築史（古代）概要
  - ・遺構とその上部構造隊の復元
  - ・保存計画概論
  - ・保存科学、保存工学概論
  - ・まちづくりと文化財
  - ・計画策定の実務
  - ・国内の事例
  - ・海外の事例・文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

適宜指示。

そ の 他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 域 美 術 史	まつ だいら み わ こ 松 平 美 和 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

中国が漢代以来「西域」と呼んでいた地域はパミール高原の東側の東トルキスタンであるが、後には西トルキスタン、そしてアフガニスタンやイラン以西の諸国も西域と呼ばれるようになる。講義では東トルキスタンからイランまでを広義の西域と考え、いわゆるシルクロードとして大いに繁栄したこの地域の考古美術品の中に東西文化混淆の様子を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① イラン装飾文様とその東伝  
イラン美術に見られる「葡萄唐草文」、「花喰鳥文」、「王冠飾り」、「有翼人物像」などの装飾モチーフの変化について。
- ② クシャーナ朝美術とその意義  
東西文化の接点であるクシャーナ朝の遺跡と遺品について。
- ③ タクラマカン砂漠周辺のオアシス都市の美術  
狭義の西域美術であるクチャ、トゥルファン、ホータン、敦煌などの美術について。

成績評価の方法

学年末と夏期休暇後の二回のレポートで評価する。

教 科 書

講義時にプリントを配布する。

参 考 書 等

講義時に適宜紹介する。

そ の 他

具体的な美術作品を対象とする学問なので、毎時間スライド・ビデオを多く用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 人 類 学	さ さ き こう かん 佐 々 木 宏 幹	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

宗教は人類文化の最古層に属すると考えられている。宗教人類学は人間の営みとしての宗教文化を文化人類学、社会人類学、民俗学の方法と理論に拠って研究する学問である。人間にとって、人類にとって宗教とはなにかという問題を、人類学や民俗学の研究成果を十分に利用しながら追究し、人間が生きているということの意味の考察につなげていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下のような内容を企図している。1. 文化と人間、2. 社会と世界観、3. 宗教の原辺形態、4. 人間と動物、5. 民族宗教、6. 世界宗教、7. アニミズム・多神教・一神教の関係、8. 仏教・キリスト教・イスラム教、9. 民族問題と宗教、10. 環境問題と宗教、11. 習合宗教、12. アジア宗教の特色、13. 日本宗教の特色、14. 新宗教とは、15. 「ほとけさま」と日本人。

講義には必要に応じて資料を配布し、またスライドやビデオを使用し、理解の助けにしたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。  
夏休み中に「故郷の宗教行事」(仮題)のようなりポートを書いてもらうことを考えている。

成績評価の方法

講義内容にそったりポート作製。400字詰原稿用紙5枚～8枚程度(参考文献名を明記すること)。

教 科 書

佐々木宏幹著『聖と呪力の人類学』(講談社) 840円

参 考 書 等

佐々木宏幹著『宗教人類学』(講談社) 980円

V 社会福祉主事 講座  
社会福祉士基礎



## (1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉原論	伊藤 秀一 <small>いとう しゅういち</small>	社福主事2必	4

### 講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、感化救済事業などと呼ばれていたものが、時代とともに拡大し、組織的に発展して、今日では、社会を組み立てていくための不可欠の仕組み、すなわち「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日の時代なりの貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉がこのように変化してきた跡をたどり、なぜ、今日社会福祉が現代社会の生活環境基盤として確立されねばならないのかについてのあらましを述べることに重点をおく。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、他の1年次配当の科目との関連を考慮しつつ、社会福祉についての基礎知識を整理するとともに、社会福祉の今日的な動向と課題についての理解を深めることを主なねらいとする。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の意義
  - 1) 社会福祉の意味
  - 2) 社会福祉と関連する諸概念
  - 3) 社会福祉の対象と主体
  - 4) 社会福祉の補充性
- 2 社会福祉の歴史的発展
  - 1) 欧米における社会福祉の発展
  - 2) わが国における社会福祉の発展
- 3 社会福祉の組織と運営
  - 1) 社会福祉法制
  - 2) 社会福祉法制の体系
  - 3) 社会福祉事業の経営主体
  - 4) 福祉の措置
  - 5) 社会福祉の経費
- 4 社会福祉の分野
  - 1) 公的扶助（生活保護）
  - 2) 児童福祉
  - 3) 老人福祉
  - 4) 障害者福祉
- 5 社会福祉の方法
  - 1) ケースワーク
  - 2) グループワーク
  - 3) コミュニティワーク
- 6 社会福祉における人の問題
  - 1) 人の問題の重要性
  - 2) 社会福祉従事者の動向
  - 3) 職種の問題
  - 4) 社会福祉職員の専門職論
  - 5) ボランティアの問題
- 7 社会保障と社会福祉
  - 1) 社会政策と社会事業
  - 2) 社会保障と社会福祉

### 成績評価の方法

評価は、前期末と年度末の2回の試験の総合評価とする。

### 教科書

仲村優一著『社会福祉概論』（誠信書房）

### 参考書等

講義の内容を上記のテキストのみでは十分にカバーすることができないので、講義の進行にあわせて必要な参考文献を紹介する。なお、本講の内容は極めて広い範囲にわたるので、この参考文献にもとづいて各自学習を深めることを求めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 福 祉 原 論	ふなみず ひろゆき 船 水 浩 行	社福主事2必	4

講義のねらい

「社会福祉」という言葉は、現代社会ではとてもポピュラーな言葉となっている。新聞、テレビ等においても、しばしば目にし、また耳にする。選挙があれば、国政・地方、首長・議員いずれのレベルでも多くの候補者がその充実を公約に掲げる。

しかしながら、改めて「現代社会における社会福祉とは何なのであろうか」とか、「社会福祉の援助や活動とはどのようなものなのであろうか」とか、「社会福祉の基盤となっている考え方はどのようなものなのであろうか」といったことを問われた時、多くの人々はなかなか上手く答えることができないのが現実と思われる。

本講の主題は、上記にあげたような社会福祉を学んでいくにあたってのベースとなる点を学習していくことにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の理念とその意義
- 2 社会福祉の対象と援助の形態、方法
- 3 社会福祉サービスの体系
- 4 社会福祉の法体系、実施体制、財政
- 5 社会福祉の動向

成績評価の方法

年度末の定期試験により実施します。詳細は、授業時に提示します。

教 科 書

仲村優一『社会福祉概論』（誠信書房）

参 考 書 等

随時、紹介します。

## (2) 選択科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 学 ( 福 祉 )	こ ばやし ひろ と 小 林 弘 人	社福主事2・3・4選	4

### 講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

①憲法と社会福祉、②民法と社会福祉、③社会福祉の法、④社会福祉の組織、⑤社会福祉の財政、⑥社会福祉の争訟、⑦公的扶助の法、⑧児童福祉の法、⑨単身家庭福祉の法、⑩心身障害者福祉の法、⑪身体障害者福祉の法、⑫精神薄弱者福祉の法、⑬老人福祉の法

### 成績評価の方法

出席、年2～3回のレポート、期末テストなどを総合的に勘案して評価する。

### 教 科 書

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』（創成社）3月末刊行予定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉発達史	はやし ちよ 代 林 千 代	社福主事2・3・4選	4

### 講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的遺産である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

### 教 科 書

特になし

### 参 考 書 等

今岡 他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
リハビリテーション論	なる かわ よし お 生 川 善 雄	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

リハビリテーションとは、障害のある人が人間らしく生きる権利の回復、すなわち『全人的復権』である、といえよう。

本講義においては、リハビリテーションの理念、医学・教育・職業の3領域のリハビリテーションについての概略、社会的リハビリテーションの基本問題の学習を通して、障害のある人が人間らしく生きる権利をどのように回復してゆくべきかについて考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、リハビリテーションの理念に触れる。次いで、医学、教育、職業、社会の4領域のリハビリテーションについての概説を行ない、それら4領域の関連性についても言及する。これら4領域のリハビリテーションのうちでも、社会的リハビリテーションは、障害者福祉との関連も深いといえるので、本講義においても主としてこれに多くの時間をあてる予定である。しかし、社会的リハビリテーションは、医学的リハビリテーションや職業的リハビリテーションに比べて、その考え方や技術の枠組みはいまひとつ確立されていないといえよう。そこで、社会的リハビリテーションについては、諸々の社会的リハビリテーションに関する研究を取り上げながら、検討していきたい。すなわち、障害者の社会活動への参加、障害者のQOLとADL、障害者をめぐる環境、障害者と家族、障害者の自立ならびに自立援助、地域に根ざしたリハビリテーション、施設リハビリテーション、社会的リハビリテーションの種々の方法などをとりあげながら、社会的リハビリテーションの基本問題を論じていきたい。

履修上の留意点

履修者は「人間らしく生きる権利の回復」という語句の意味を考えながら、学習を深めてほしい。

成績評価の方法

授業中の小課題に対する回答と、テストにより評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

- ・小島蓉子・奥野英子編著『新・社会リハビリテーション』（誠信書房）1994
- ・上田 敏『リハビリテーションを考える』（青木書店）1983

そ の 他

講義形式で進める。何回かビデオを使用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会 保 障 論	なが お じょう じ 長 尾 謙 治	社福主事2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであろうか。社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、わが国における社会保障制度の現状と課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- |   |                 |              |
|---|-----------------|--------------|
| 1 現代社会における生活問題                                  | 2 社会保障の史的展開     | 3 社会保障の理念    |
| 4 社会保障の概念、範囲、規模                                 | 5 社会保障の財政       | 6 社会保障の機能    |
| 7 社会保障の問題点と今後の課題                                | 8 わが国の社会保障制度の体系 |              |
| 9 わが国の社会保障各制度の沿革と概要                             |                 |              |
| 1) 年金保険 2) 医療保険 3) 労災保険 4) 雇用保険 5) 公的扶助 6) 児童手当 |                 |              |
| 7) その他  |                 |              |
| 10 民間保険の役割                                      | 11 社会保障の実施体制    | 12 社会保障研究の動向 |

#### 成績評価の方法

年度末試験に出席点を加味して評価する。

#### 教科書

福祉士養成講座編集委員会編集『改訂社会福祉士養成講座 5 社会保障論』（中央法規）

#### 参考書等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）  
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家 庭 福 祉 論	いわ 岩 かみ 上 ま 真 み 珠	福祉主事2・3・4選	4

講義のねらい

個人と家庭のウェルビーイングはいかにして達成されるのか。講義では、親と子のウェルビーイングと家庭福祉の問題を、男女平等社会の役割分担のあり方や家族の多様化をふまえて考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。

- 1) 「ウェルビーイング」の考え方
- 2) 家庭の機能とは何か
- 3) 少子化・高齢化と家庭機能の変化
- 4) 個人化社会と家庭福祉
- 5) 男女平等社会と子育てサポート
- 6) 家族の多様化と子どもの福祉

履修上の留意点

問題意識をもって聴講してもらいたい。また随時意見や感想をレポートしてもらう予定である。

成績評価の方法

小レポート、期末試験、および平常点（出席状況を含む）で評価する。

教 科 書

特に指定しない

参 考 書 等

講義中、適宜指示する

そ の 他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉計画論	かわ 川 廷 宗 之 <small>か かわ てい もと けい</small>	社福主事2・3・4選	4

#### 講義のねらい

問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面も強調されるように変化してきたことよって起きている近年の社会福祉サービスの領域の拡大は、そのサービス提供を組織的計画に行なわなければならない段階に到達しつつある。このような需要の増大に対応した行政計画の考え方は、建設領域や産業振興領域において戦後の長い蓄積がある。が、福祉領域においては、計画化の歴史は短い。その理由は、福祉には建設や産業振興とは違う要素が多く、計画的展開に馴染みにくかったことや、問題対応的な福祉サービスから抜けきれなかったためである。とすれば、福祉計画を考える時、これらの産業計画や建設計画と、福祉計画の性格がどのようにことなるのかが考察されなければならない。

さらに、計画は実際の市民生活に多大な影響を与える実践である。その意味では、計画をどう作るのか、その手法も大きな問題となる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

上記のような問題意識にもとづいて、福祉を中心のその計画（国家計画、地域計画、地域福祉計画、施設経営計画、市民生活の計画、等々）について学ぶが、その前提としては、福祉運営管理等についてもふれておく必要がある。ソーシャル・アドミニストレーションの理論についての学習や日本における施設の運営管理上の課題などについても触れる予定である。

理論的内容を前期、実践的な計画技術についての考察や演習を後期に履修する。講義内容やスケジュールの詳細については、開講第1～2回の授業で説明する。なお、受講者数にもよるが、実際の計画立案技術の演習等も行なう予定であるので、それらの演習には、質問や意見の提案など積極的な関わりを期待している。

#### 履修上の留意点

この講義では、開講第1～2回で全体のスケジュール等を説明するので、必ず第1回から出席していただきたい。途中からの受講では事実上単位習得は難しいと理解してほしい。

社会計画はすぐれて実践的に学ばないと理解しがたい点も多い。そのため、授業ごとに資料を探したり読んで来る簡単な課題がだされることも多い。従って、欠席すると授業で何をしているのか理解できなくなる可能性が高いので、なるべく欠席しないように、又、実習等でやむを得ず欠席する場合は、受講する友人に内容を聞いておいてください。

なお、文学部社会学科福祉コースの学生以外の諸君が選択する場合は、この科目が社会福祉原論や社会福祉援助技術総論などで学ぶ福祉に関する基礎的な知識を前提として開講されている点を理解して、関係領域についての文献を読むなどの自己学習を並行して行っていただきたい。特に、社会福祉援助技術総論にでてくるソーシャルワークの基本的な考え方やコミュニティ・オーガニゼーション理論などについては、必ず習得しておいていただきたい。

#### 成績評価の方法

日常的な課題の提出状況、授業への質問や、意見を積極的に出しているかどうか、などに見る授業への参加度、期末に行なわれるレポートの提出、出席状況（最低出席日数の確保）等を配慮して、評価する。

#### 教科書

第1回目の授業時に指定する。

#### 参考書等

- ① 高田真治『社会福祉計画論』（誠信書房）1979年
- ② R. パールマン A. グリン著 岡村重夫 監訳『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』（全国社会福祉協議会）1980年
- ③ 全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』（全国社会福祉協議会）1984年

#### その他

計画の立案演習を行う過程で、若干の資料代やコピー代が必要になると予想される。出来るだけ負担を軽くするようにするが、一部の学習経費の自己負担は止むを得ないので、若干の教材費については予定して選択してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 社 会 福 祉 論	やまもと まみ 山 本 真 実	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい	国際社会における福祉、社会福祉における国際化、「国際社会福祉」を捉える視点に定義はない。日本以外の国の生活を通して、社会福祉とは何かを考えること、また国際社会において発生する軋轢や衝突、問題等に対応し解決していくものとして社会福祉をどのように考えるかを考察していくことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	二つの柱を通して国際社会福祉の理解を深めていく。まず、一つは福祉先進国と言われる北欧の社会福祉制度・サービス、ベトナムやフィリピン等の途上国の社会福祉制度、生活等各国の実情を通して、日本の社会福祉の現状や考え方について振り返り、見直すこと。二つ目は、国際社会において発生する貧困、戦争、児童労働、異文化への理解等テーマごとにどのような取り組みがあるかを学習し、生活を支える社会福祉制度の在り方について考察する。
履修上の留意点	特に社会福祉の基礎がなくても構わない。
成績評価の方法	出席状況（カード）、レポート、試験の総合評価により評価する。
教科書	特になし。
参考書等	適宜授業中に紹介。
その他	ビデオ使用。 適宜感想を記入するカードを配布。 積極的な討議、意見発表を高く評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 健 福 祉 論	なが 長 尾 譲 治	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

保健福祉学とは、保健学・福祉学、及び関連諸科学を統合し、これまでのように為政者の都合によるサービス提供に代わって、利用者の立場に立ったサービスのあり方を考える新しい社会福祉の分野である。本講義では、保健福祉学の視座に基づいて、従来の社会福祉諸サービスを再構成し、これからの生活関連諸サービスの動向と課題について考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 保健福祉とは  
保健福祉の歴史／保健福祉学の視座
- 2 日本のヘルスケア制度の体系  
健康保険／国民健康保険／老人保健／福祉医療／クライアントの人権とこれからのヘルスケア
- 3 ライフサイクルと保健福祉  
児童／成人／老人／ターミナル・ケア／女性と保健福祉
- 4 傷病別に見た保健福祉  
身体障害／知的障害／精神障害／難病・結核／ハンセン病／AIDS
- 5 リハビリテーションと保健福祉  
リハビリテーションの理念と実際／福祉機器・用具サービス
- 6 保健福祉の国際的動向  
先進諸国／開発途上国／日本
- 7 保健福祉の課題  
保健福祉計画／規制と情報公開／バイオエシックスとインフォームド・コンセント

成績評価の方法

年度末試験に出席点を加味して評価する。

参 考 書 等

追って紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 的 扶 助 論	伊 藤 秀 一 <small>いとう しゅういち</small>	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。

講義内容としては、上述した問題意識のもとに、以下の項目について講じていく予定である。併せてイギリスの福祉権運動（Welfare rights work）の動向等にも触れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 現代社会と公的扶助
2. 低所得問題対策の概要
3. 生活保護制度のしくみ
4. 生活保護の最近の動向
5. 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方

成績評価の方法

出席状況、小テスト、学年末定期試験を総合して評価する。

教 科 書

なお、テキスト等については開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
障 害 者 福 祉 論	<small>なる</small> 生 <small>かわ</small> 川 <small>よし</small> 善 <small>お</small> 雄	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、①障害のある人々の障害状況を可能な限り軽減し、障害のない人々と同様の生活条件を享受できるようにすること、②障害がある故に入学しにくい、就職しにくい、などの社会常識の根底に潜む障害者観の歪み（差別や偏見など）を変革すること、の2つの面が課題となってくる、ともいえよう。

今日のわが国の障害者福祉は、行政努力、当事者運動、国民の人権意識などを反映して、さらには、国際障害者年の各種の国際会議などの影響もあり、制度的にも実践的にもかなり発展してきている。

本講義においては、上記のことをふまえ、障害問題、障害者に関する諸研究を整理し、大きく変化しつつある今日の福祉状況を見つめながら、障害者福祉の課題について検討していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

内容としては、障害者福祉の基底に流れる理念、障害者の自立、障害の概念、障害者の実態と福祉ニーズ、身体障害者、知的障害者、精神障害者に対する福祉施策・制度、保健・医療、雇用、所得保障などの障害者福祉の関連施策、障害者福祉における民間活動、障害者福祉にたずさわる専門職・ボランティア、障害者の家族支援、障害者に対する相談援助活動などについて言及する。

履修上の留意点

履修者は、障害者福祉の課題を念頭に置きながら、学習を深めてほしい。

成績評価の方法

授業中の小課題に対する回答と、テストにより評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

- ・星野貞一郎 他編『障害福祉論入門 改訂版』（有斐閣双書）1982
- ・福祉士養成講座編集委員会 編『障害者福祉論』（中央法規）1996

その他

講義形式で進める。何回かビデオを使用する予定である。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
老人福祉論	とう じょう かつ まさ 東 條 光 雅	社福主事2・3・4選	4

#### 講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入決定等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、近未来の21世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その21世紀に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期⇒人口高齢化の意味と状況

わが国における高齢者の生活実態及び高齢者像  
老年期の心身の状況、etc.

後期⇒わが国における高齢者対策の歴史

老人福祉対策・サービスの現状および課題  
今後の高齢化社会にむけて、etc.

#### 履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないの、そのつもりで履修すること。

#### 成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

#### 教科書

冷水豊編『老人福祉論』（メヂカルフレンド社）  
冷水豊編『老人福祉－政策・処遇の視点と方法－（第三版）』（海声社）2,000円

#### 参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童福祉論	前期：山本真実 後期：許斐有	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、「児童福祉」を《社会的子育てシステム》と捉え、現行の児童福祉の法制度を検討しながら、子どもを養育する社会の責任および公的責任、子育てに対する公的・社会的支援・援助のあり方を考察する（子ども家庭福祉論）。また、児童福祉法の成立・展開課程や子どもの権利条約等の検討を通して、子どもの権利の基本的な考え方および児童福祉法の基本理念を学び、《子どもの権利擁護システム》としての児童福祉法制度について理解を深める。なお、これらの参考として、カナダの子ども家庭サービスについても言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 子どもの現状と子どもの人権
- 2) 子ども家庭政策の展開と最近の動向
- 3) 子どもの権利の考え方
- 4) 児童福祉法の理念
- 5) 子ども家庭福祉に関する法制度
- 6) 子ども家庭福祉サービスの現状と課題
- 7) 児童虐待の実態と相談援助の実際
- 8) カナダの子ども家庭サービス

履修上の留意点

受講学生には、児童福祉を知識として学ぶだけでなく、子どもが権利の主体であるという新たな理念を正しく理解し、子どもと家庭に対する支援・援助のあり方を自分なりに考えることを期待している。

成績評価の方法

主として学年末の試験によるが、レポート等の成績を加味することもある。

教科書

許斐有『子どもの権利と児童福祉法』（信山社）  
『社会福祉小六法』（出版社は問わない）

参考書等

永井憲一・寺脇隆夫編（許斐共著）『解説・子どもの権利条約』（日本評価論社）  
ささやななえ（椎名篤子原作）『凍りついた瞳——子ども虐待ドキュメンタリー』（集英社）ほか

科目名	担当者名	配当学科	単位
女性福祉論	林千代	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

戦後のある時期“婦人福祉”という概念が登場した。以来、唯一、女性を対象としている社会福祉事業は、売春防止法に基づいて制度化されている婦人保護事業である。しかし、女性という特性ゆえに遭遇する生活上の困難は多様であり、何らかの解決策を必要としている。  
女性福祉という概念はいまだ成熟しているとはいえないが、売買春問題を基底に据えて、婦人保護事業の現実から女性の福祉阻害の実態をとらえ、女性の人権復権の検討を課題としたい。それは当然、男性の人権侵害を問い考えることになる。

教科書

特になし。

参考書等

林 千代編『慈愛寮に生きた女性たち』（東京創文社）  
林 千代編『現代の女性と売買春』（ドメス出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 療 福 祉 論	はる 春 見 静 子	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

保健・医療の領域における専門職としての医療福祉職の実践について理解する。  
医療ソーシャルワークがどのような学問を基礎とし、どのようなフィールドでいかなる援助技術を用いてなされるかを学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 教科書に沿って
- 1 社会福祉とソーシャルワーク
  - 2 医療・保健機関におけるソーシャルワークの特徴
  - 3 医療について 健康の概念、病気の概念  
医療機関の組織と医療従事者のチームワーク  
疾病分類  
疾病に関する知識
  - 4 医療ソーシャルワーカーの役割 MSWの歴史、ワーカーの課題  
総合病院のソーシャルワーカー、精神科領域、老人病院、  
援助手段としての社会資源
  - 5 医療ソーシャルワークの実践  
援助技術の方法（ケースワーク、グループワーク）、面接  
の方法、外来段階の援助、入院段階の援助

履修上の留意点

時々小グループで検討することがあるので、積極的に参加して欲しい。希望する人には医療機関の実習を紹介する。

成績評価の方法

出席点と期末試験の点数で評価する。

教 科 書

出川哲也著『臨床医療ソーシャルワーク』（誠信書房）2,500円

そ の 他

毎年、医療機関の見学の機会を設けている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域福祉論	わたなべ かつくに 渡辺 一城	社福主事2・3・4選	4

#### 講義のねらい

我が国の社会福祉の流れはいま正に大きな転換期にある。80年代後半から今日にかけて議論されてきた制度改革におけるキーワードはいうまでもなく「地域福祉」であり、これが社会福祉を進めていく上での基本的な考え方となっている。従って、地域福祉は、社会福祉の一分野ないしは方法というより、それらを総合化した社会福祉の現代的形態として理解される必要がある。それは限りなく地域における住民の現実の生活に着目した、かつ新しい福祉を切り開く視点を内包した領域であるということができる。

本講義では、こうした前提を踏まえ、これから社会福祉に関わる上で必要な地域福祉の視点や課題を学ぶことを目的とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義の内容は主として次の事項を扱う。

- ・ 地域福祉の理念や概念、内容
- ・ 地域福祉の歴史的展開
- ・ 在宅福祉サービスのあり方と供給方法
- ・ 地域福祉の主体形成と福祉教育
- ・ ボランティア活動やNPO活動とその支援
- ・ 地域福祉を推進する機関と組織（社会福祉協議会、ボランティアセンター、共同募金会のあり方や、関係機関や仲介調整組織との関係など）
- ・ 地域福祉を支えるコミュニティワーカーの役割
- ・ 小地域におけるインフォーマルネットワークのあり方
- ・ 地域福祉計画の策定とコミュニティワークの展開 など

#### 成績評価の方法

出席、テストなどにより評価を行う。

#### 教科書

大橋謙策著『地域福祉論』（放送大学教育振興会）

#### 参考書等

大橋謙策・宮城孝編『社会福祉構造改革と地域福祉の実践』（東洋堂企画出版社）  
牧里海治・野口定久・河合克義編『地域福祉』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 ( 福 祉 )	はし づめ さとし 橋 爪 敏	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、社会福祉士ならびに社会福祉主事を目指す学生に「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この「社会学（福祉）」の授業は社会福祉士、社会福祉主事の資格取得に関わるものである。しかし、こうした資格に関わる受験対策そのものをねらいとするものではない。また、「福祉社会学」を論ずるものでもない。あくまでも、「社会学」の基礎知識の習得がねらいである。したがって、社会学の歴史、社会集団の類型、現代社会の諸問題などを取り上げることとする。

履修上の留意点

この授業は、すでに社会学についての若干の予備知識のあるものと、まったくの初心者も受講すると言う、変則的なところがあるが、初心者に判り易く語ることを主にしていきたい。

成績評価の方法

成績評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座12／社会学』（中央法規出版）

参 考 書 等

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）  
安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』（学文社）  
高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）  
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 ( 福 祉 )	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉の現場で、必要とされる「心理学」の基礎的な知識を、習得することを目的とする、講義である。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の予定としては、まず、心理学的なものの方を見方を身につけ、次に、社会福祉に関連するトピックスをとり上げてゆく。具体的には、以下の項目について、1年間を通し重点的にふれてゆく。①心理学の歴史と現状に対する理解 ②人間の心理学的理解に関する基礎概念 ③人間の成長・発達心理と諸問題 ④心理学的な人間理解に基づく援助技術  
また、心理学研究の雰囲気にもふれるため、適宜、供覧実験や人格テストの体験なども折込ながら講義を進めてゆく予定である。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会 編集『改訂 社会福祉士養成講座 11 心理学』（中央法規）2,500円